日本刀剣電脳倶楽部

一陽来復クロニクル
平成16年（2004年）編

あの頃、みんな若かった！

始めに

日本刀剣電脳倶楽部の過去ログは、参加された皆様の経験と知識が集約されたデータ集であり、ビギナーからベテランまで幅広い方々が参加した有益な情報源です。

今回、参加された皆様の経験と知識を「同好の士」に提供するため、閲覧や印刷に適した形に編集を行いました。
これらは、少なからず皆様のお役にたてるものと信じますが、ご利用に際して次のことにご注意ください。

1. 掲載されている情報は投稿当時のものであり、また、個人の意見であるため正確さを保証するものではありません。

2. 情報を利用することによって、何らかの不利益・不都合が生じた場合も利用された方の自己責任とし、投稿者および電脳倶楽部は一切の責任を負いません。

3. 一切の商業利用を禁じます。

4. 二次利用を希望される場合は、必ずご一報ください。

[2349] 新年でございます！ 8
[2363] 自分の子供に読み継がせたい本 11
[2383] 「江戸の釣り」を読む 21
[2385] 刀の鑑賞と手入れ 24
[2393] 国宝犬山城 25
[2404] 伝聞・近藤勇の最後 29
[2405] 新春刀剣鑑賞 31
[2409] 刀友新年会について 32
[2410] 鑑刀会 33
[2411] はじめまして 34
[2414] よみがえる赤羽刀 38
[2432] 刀剣画報。 40
[2435] 日本刀の美 41
[2437] ふぐ刺し 42
[2445] 畳水練 45
[2451] 春一番 48
[2459] メバル釣り 50
[2462] 他愛の無い話なんですが(;^_^A 51
[2472] 追善供養名品鑑賞会 54
[2474] 山中貞則氏訃報 58
[2486] 東信支部鑑賞会。 59
[2496] 展示会のお知らせ！！ 63
[2500] 富山県支部鑑賞会 66
[2508] だいじょうぶですか？ 67
[2510] 文武両道 68
[2516] 真改 71
[2521] DANNY 71
[2522] DANNY 71
[2525] 模造刀 72
[2534] もう、いくつ寝ると・・・。 77
[2535] 靖徳短刀 78

[2539] 私ごとですが・・・ 80
[2561] 先は長い 85
[2566] 刀装具にみる武士のお洒落 86
[2573] はじめまして 91
[2600] 新々刀の銘について 100
[2610] 訃報。 111
[2632] 現代刀荒試し 113
[2634] あまりにひどい 116
[2641] 加賀刀の名誉のために一言 118
[2642] 子のつけ方 121
[2645] 青江写し逆丁子 121
[2656] 鑑定会 124
[2661] 今月の通販誌から 128
[2668] 青江写し逆丁子　その２ 129
[2670] 日刀保新会長 131
[2671] そ～っと・・・ 131
[2676] 展示即売会 133
[2678] 岡村寧次元陸軍大将の指揮刀？ 133
[2683] 色々なご指導を有難うございました。 134
[2686] はい、これからも引き続き宜しくお願い致します。 135
[2689] 刀についての質問！ 136
[2691] 超有名刀工の改竄された刀の価値とは 137
[2696] 特別重要指定展 138
[2698] 遅ればせながら、なんでも鑑定団から 138
[2712] 空海・高野山展 143
[2728] ウィルス 147
[2730] 保存・特保審査 148
[2746] 狐ヶ崎 154
[2747] 鑑定会のご報告 162
[2771] 増補日本刀図解 165
[2779] 私の悩み 167

[2789] チベットをご紹介いたします。 172
[2794] 私もチベットなんか知らないのよ！ 173
[2796] 白龍齋さん 173
[2806] オークションで 180
[2819] 早い者勝ち 183
[2821] 鎬さんから報告 184
[2831] 西郷南洲遺訓 188
[2838] 武道・武術 190
[2841] 教えて下さい。 191
[2845] 江戸の坂めぐり 195
[2857] ☆　新作名刀展　!! 196
[2858] 愛刀家の心得るべき「結び」 196
[2860] 中国人の私が見た中国にある日本刀 198
[2861] 色々有難うございました。 198
[2867] 中国人の日本刀に対してのイメージ 199
[2868] 画像の数について 201
[2872] ご親切ご丁寧な解説を有難うございました。 201
[2875] ご無沙汰しております。 203
[2880] 無題 205
[2888] 赤羽刀。 206
[2892] はやく写真ＵＰしてよ～!! 207
[2896] コンクールは。。。 209
[2917] 行って来ました(#^▽^#) 213
[2921] 画像掲示板もよろしく！！ 215
[2923] 宝刀特別拝観 216
[2935] 第４８回　埼玉県名刀展 220
[2944] イベントのご紹介！ 223
[2947] 質問があります 224
[2952] 静嘉堂文庫美術館「刀剣王国 備前の名刀と刀装具」 226
[2965] 鑑定会・ご報告！！ 231
[2966] 大阪城＆大阪歴史博物館 233

[2981] オークション。 237
[2987] おそまきながら・・・ 238
[2998] ご質問 242
[3001] 回答　御礼。。 243
[3002] またしても・トリビアの泉！ 243
[3014] 台風・来たる！！ 248
[3018] 昭和 20 年 8 月 15 日　京城（ソウル） 249
[3022] 関西刀友会・活動報告 252
[3027] 刀友と・・・ 253
[3031] 台風の中継で・・・ 255
[3041] 暑さの新記録 256
[3046] 生野先生を偲んで 257
[3048] 靖国参拝 258
[3033] 今回（第１８回）の特別重要刀剣に指定された「額銘の延寿国村」 266
[3072] 額銘の某特重について 275
[3077] 問題の争点 279
[3109] 古備前行秀 295
[3112] 鑑賞用照明 297
[3121] ＲＥ：秋の刀友会全員集合!! 302
[3125] 大刀剣市での宿泊予約 303
[3138] 今さらながら・・・ 307
[3145] やられちまった 308
[3149] 台風その後 309
[3157] 秋だ!関西刀友会全員集合!! 313
[3165] 信州の名刀展。 314
[3167] 地震だ～！！ 315
[3175] 関西の刀剣店 319
[3182] 無題 321
[3183] 勉強の仕方 323
[3195] 刀の勉強 327
[3196] 刀の勉強　つづき 329

[3203] 軍刀や短刀の展示が無茶苦茶 329
[3213] ◎ 関西刀友会 ◎ ☆ 331
[3212] 燃えよ剣 332
[3225] ◎ 刀友会のご報告 ◎ ☆ 336
[3228] ありがとうございました 338
[3235] 一泊二日一人旅 340
[3245] 『旧日本帝国陸海軍　軍刀』 342
[3251] トリビア 343
[3239] 大刀剣市ＯＦＦ会のご案内 348
[3267] 大刀剣市 2004 352
[3278] 台風 355
[3284] 地震 358
[3291] 台風来るな！ 359
[3294] WARREN THOMAS(USA) TITANIUM KATANA 360
[3297] お疲れ様でした M(__)M 361
[3304] 楽しかったです。 364
[3310] ＴＨＥ　ＢＥＳＴ　ＯＦ　大刀剣市は・・ 367
[3313] 情報提供 372
[3319] 秋の特別鑑賞！！ 373
[3318] 大刀剣市レポート＆入院しました。 375
[3332] 良書ご紹介 381
[3348] 鐔に・・・ 383
[3355] 佐野美術館 385
[3369] 流采予正重 392
[3374] 教えてください。 392
[3390] 刀剣の美と心 398
[3393] 阿波刀 401
[3394] 無題 403
[3406] 京都国立博物館 408
[3414] はじめまして 409
[3420] わたしも 411

[3429] ところで 415
[3447] 義光。 416
[3432] 大阪新刀 417
[3457] 奈良国立博物館＆春日大社宝物館 424
[3480] 写真 427
[3484] 今年の通販誌 430
[3492] 天網恢恢疎ニシテ漏ラサズ 435
[3498] 別解　“郷土刀” 436
[3470] 鑑刀秘書 437
[3506] 御刀天国さん。 442
[3462] 居合と刃毀れ 443
[3513] ゆく年 447

[2349] 新年でございます！

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/01/01(Thu) 00:02

明けまして　おめでとうございます。＼(~o~)／。

真改２００４ということで、今年もよろしくお願い申し上げます。m(__)m。

今年一番に見る刀はなんだろう？なんて期待しております。(^^ゞ。

[2349 へのレス]Re: 新年でございます！

投稿者：花散里 投稿日：2004/01/01(Thu) 00:06

明けましておめでとうございます。
本年も、皆様のご健勝とご発展をお祈りいたします。

夜が明けましたら、窓をパ～ンと開け放して新年の空気を取り入れ、愛刀の手入れをいたします。
「一年の計は元旦にあり」今年も、刀友・刀運に恵まれますように。

[2349 へのレス]新年でございます！

投稿者：出島屋 投稿日：2004/01/01(Thu) 00:41

明けましておめでとうございます。

と言っても蘭国は、まだ３１日の夕方ですよ～(^^)/（時差８時間）
CNN インターナショナルニュースでも一番に東京の新年が報道されていました。
日の出る国、ですね！

平成１６年、日本は多難なスタートのようですが、皆様のご健康、ご多幸を心よりお祈り致します。

[2349 へのレス]Re: 新年でございます！

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/01/01(Thu) 01:00

明けましておめでとうございます。
本年も変わらず御指導御鞭撻いただけますよう宜しくお願い申し上げます。
…なんて言いながら…頭の中はワインとビールでデロデロです…。

皆様にとりまして良い一年になりますようお祈り申し上げます。

[2349 へのレス]Re: 新年でございます！

投稿者：菊久 投稿日：2004/01/01(Thu) 06:07

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
本年も昨年同様、よろしくお願い致します。

さてさて、今年はどんな刀に出会うことが出来るのだろう。
それもそれとして、どんな人たちと出会い、輪（和）を広げることが出来るのだろう。
未来が分からないから、生きていくのが楽しい。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

[2349 へのレス]Re: 新年でございます！

投稿者：隠居 投稿日：2004/01/01(Thu) 07:14

明けましておめでとうございます
今年も昨年にまして宜しくお願いします
私は、刀の手入れは二日の「事始」にいたします　本数はわずかでも三日まで続けます　正月にゆっくりした気持ちで見る刀、格別の味わいです。

[2349 へのレス]Re: 新年でございます！

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/01/01(Thu) 08:31

新年明けましておめでとう御座います。

本年も宜しくお願い申し上げます。

また、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

[2349 へのレス]Re: 新年でございます！

投稿者：内記 投稿日：2004/01/01(Thu) 09:38

明けましておめでとうございます。
昨年中は何かとご指導賜り心よりお礼申し上げると共に、先生・刀兄・刀友皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。
本年も引き続きご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。

東京は穏やかなお正月を迎えました。本年もよき出会いがありますように。

[2349 へのレス]Re: 新年でございます！

投稿者：薩州住無学 投稿日：2004/01/01(Thu) 10:19

謹賀新年
皆様のご多幸をお祈り致します。
何年かぶりに心も新たに初日の出を拝みに行きました。画像ＵＰ致しましたのでご覧下さい。
今年もどうぞ宜しくお願い頂き、無学な私に知識をお授け下さいませ。

[2349 へのレス]無題

投稿者：守重 投稿日：2004/01/01(Thu) 22:35

謹賀奉新年

昨年同様、今年も宜しくお願い申し上げます。
やっと実家から帰ってきました。
これからもご指導お願い申し上げます。

[2349 へのレス]Re: 新年でございます！

投稿者：千手院義弘 投稿日：2004/01/01(Thu) 23:49

明けましておめでとうございます。
今年もこの日本刀剣電脳倶楽部を見ることを楽しみの１つとして行きたいと思います。また、１本でも多くの御刀に回り逢えるよう、努力したいと思います。
皆さん、どうぞ今年もよろしくおねがいします。

[2349 へのレス]Re: 新年でございます！

投稿者：波平 投稿日：2004/01/02(Fri) 18:49

皆様、新年おめでとうございます。年末から留守にしていましたのでご挨拶が遅れまして失礼いたしました。m(_ _)m
関西で新しい年を迎えましたが温かい毎日で京都駅では「新選組」関連のポスターやグッズが目立っていました。昨年の新しい仲間との出会いを喜び、本年も素晴らしい年となることを祈っています。

[2349 へのレス]Re: 新年でございます！

投稿者：倭士 投稿日：2004/01/02(Fri) 21:05

皆様、新年明けましておめでとう御座います。

新参者ですがよろしくお願いいたします。

[2349 へのレス]Re: 新年でございます！

投稿者：右行劣 投稿日：2004/01/03(Sat) 10:48

明けましておめでとうございます。昨年は貴重な知識をいろいろとお教え頂きありがとうございました。今年も宜しくお願いします。

[2363] 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：花散里 投稿日：2004/01/03(Sat) 13:09

昨年の暮れは「海軍主計大尉小泉信吉」の話題で、思いがけず波平さん・内記さんと盛り上がってしまいました。
この作品は日本人親子の一典型として、長く読み継がれる名作だと思います。(今また読み返しています)
刀剣関係のお勧め本は、何度かこの一陽来復でも話題になりましたが、一般書でも皆様や自分の子供たちに勧めたい本も多々あると思います。
そこで、ジャンルを問わず、皆様のお勧め本をお教えいただけないでしょうか？

言いだしっぺの私からは、まず
【娘に語る祖国 つかこうへい著 光文社文庫 ISBN4-334-72592-9 ４３８円】
演出家つかこうへい氏が自らの娘に語り聞かせる形で、在日韓国人として経験した葛藤、日本人女性との結婚、娘の国籍選択などを通して祖国を考える。
ぶっきらぼうで歯に衣着せぬ語り口の中に、肉親への愛情と自らの誇りを綴った作品です。

皆様の投稿を、お待ちしています(^^)

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：内記 投稿日：2004/01/03(Sat) 18:51

＞花散里さん
明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

我家の希望は‘書物に慣れ親しんで欲しい”ということです。
そこで・・・
【池波正太郎氏の『真田太平記』　新潮文庫　全 12 巻】

超・長～編です。しかし長編であることを全く意識せず読みきれてしまう先の期待と物語のおもしろさ。読了後、全 12 巻の厚みにびっくりし、本はおもしろいな～と思ってくれたら占めたもの。

この実績はどんな長編でも臆すことが無くなります。また普通の文庫本なら 2～300 頁。「ＴＶの二時間ドラマと同じ時間だよ」と教えれば子供が勝手にＴＶか本かを選択します。私は読書の楽しみと時間が有限であることを伝えることかなと思っています。　(^^♪
最後に、子供は意外と親の本棚を覗いていますよ・・・(~_~)

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：波平 投稿日：2004/01/03(Sat) 20:25

＞花散里さん
新年おめでとうございます。本年も宜敷お願いいたします。
決定版の一冊というのは何かと考え込んでしまいました。
①本を嫌いにさせないこと。これが第一です。私は「彦一とんち話」が大　好きでした。
②日本史・世界史の全集。ただしわかりやすく、公平(特定の史観ではない　という意)に書かれていることが大切。
③伝記。古今東西の偉人の業績を知っておくことは大変に為になります。　シーザーがプルタルコス(プルターク)の「英雄伝」を愛読していたこと　はよく知られています。
　　私が子供の頃からお世話になっていた先生には「自伝」を読むように　と勧められました。その理由は他人から見たものではなく、苦しい時に　自分自身がどのような道をとったかがよくわかるからとのことでした。
④聖書。常識を知るという意味で。
⑤子供という枠をはずせば・・・日本史なら「日本史概説・坂本太郎著」
考えついたのはこのへんです。もっとも今の私は随筆ばかり読んでいます。

＞内記さん
「書物に慣れ親しむ」まったく同感です。

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：隠居 投稿日：2004/01/03(Sat) 20:45

「宮本武蔵」吉川英治著
「シラノドベルジュラック」エドモントロスタン著
「戦艦大和ノ最後」吉田満著

武蔵とシラノは「男の生き方」「生き様」としてぜひ考えてほしい。武蔵は日本の武士で最強の使い手であり、騎士シラノも剣の達人です。
戦艦大和は乗員が書いた真実の記録であり、戦後思い立って憑かれたように一気に書き上げたといわれるものだけに貴重であり、日本人必読の書と思います。

そして本ではないですが、「いろはかるた」と「百人一首」は覚えてほしいですね。

日本の常識という意味で。

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：波平 投稿日：2004/01/03(Sat) 21:32

＞ご隠居さま
本年もよろしくお願いいたします。
「戦艦大和ノ最後」ですが現在はわかりませんが一時高等学校用の国語の教科書に載っていました。
一読して強い印象に残った本です。ただしこの名著は同じ吉田満の「戦中派の死生観」とあわせて読んでほしい本です。

もう一冊是非に読んでほしい本がありました。「太田伍長の陣中日記」です。戦後最初の「文化の日」にある新聞の社説に一部引用された本です。私はインターネットで検索して九州の書店から手にいれました。
我が子への強い愛情と「文化・芸術・読書」を大切にするような人物になってほしいと諭したその内容は「海軍主計大尉小泉信吉」に勝るとも劣らない素晴らしいものです。海軍と陸軍のインテリジェンスを代表するものとして、私はこの２冊をお奨めいたします。

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：内記 投稿日：2004/01/03(Sat) 21:58

＞ご隠居さん
明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

吉田満氏の戦艦大和ですが、私の蔵書は『鎮魂　戦艦大和』です。
昭和 53 年の講談社文庫版上・下ですが単行本の初版は昭和 49 年と思います。
その中に「戦艦大和ノ最後」が収録されています。現在はこちらの文庫の方が求めやすいと思います。

徳島沖ノ西北二百浬ノ洋上、「大和」轟沈シテ巨体四裂ス　水深四百三十米
今ナオ埋没スル三千ノ骸
彼ラ終焉ノ胸中果タシテ如何

まさしく必読の書、同感です。

あえてもう一冊お許し頂けましたら、わが子だけでなく同世代の若人に・・
『いざさらば　我はみくにの　山桜』　靖国神社編
ぜひ読んでもらいたいと思います。

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：内記 投稿日：2004/01/03(Sat) 22:18

＞波平さん
「戦中派の死生観」とセットで・・・。同感です。

『【福田恆存語録】　日本への遺言』　文芸春秋刊　も入れて下さい(^^)!

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：波平 投稿日：2004/01/03(Sat) 23:05

花散里さん、ご隠居さん、内記さん。
「自分の子供に読みつがせたい本」というと私はどうも模範的なものにばかり目がいってしまうようです。
　最初に私が読んだ本はといえば「イソップ物語」でした。田舎の祖母は福島に居住していましたので買ってくれた本は維新血風録という本でしたが当然奥羽越列藩同盟の諸藩は「東軍」で薩摩長州は「西軍(官軍ではありません(^^;)」そして佐川官兵衛や土方歳三は大変な英雄で世良修蔵はとんでもない乱暴者で斬られて当然といったものでした。(鹿児島・山口の皆様ごめんなさい m(_ _)m)でもそんな本から読書の楽しみを感じていったのです。
　内記さんのおっしゃるとおり、親の本棚にある本を子供は見ているだけから手にとってみていくようになる気がします。

　イギリス文学を学ぶものがシェークスピアを読むように、いつの時代にも変わらぬ古典を読んでおくのが大切かもしれません。
　日本語を大切にして江戸の文化を学ぶうえでも「近松門左衛門」は必読かもしれませんし武士の教養の基本となった「論語」もたのしいです。私の友人は入院する時に論語一冊持っていきました。徒然草もいいですが個人的には「方丈記」のほうに奥の深さを感じます。
　そして万葉集には古代の人々に大らかさを再発見する思いです。とりとめない文章になってしまい申し訳ありません。

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：花散里 投稿日：2004/01/03(Sat) 23:39

＞内記さん、波平さん、ご隠居さん、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

やはり、皆さんのお勧めは、「生き方・生き様への指針」となる本が多いようですね。
「自分の子供＝次世代」と考えれば、必然的に波平さんが仰るように「模範的」になると思います(^^)

どうも、子供と言うものは「親の言うことは聞かない」もののようですが、意外と「親のすることはしっかりと見ている」もののようです。
まず、これらご紹介いただいた本を親の私たちが読んでいる姿を、しっかりと子供の目に焼きつけ、彼らの手の届くところにそれとなく置くのが良いでしょうか？(^^ゞ

ご覧の皆様も含め、さらにご紹介いただければ幸いです。

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/01/04(Sun) 01:32

自分が生まれた日本という国を知るために、考えるために、次のような本を読んで欲しいと思います。
『おじいちゃん　日本のことを教えて』『おじいちゃん　戦争のことを教えて』

この本は、アサヒビール名誉顧問の中條高徳さんが、孫娘との手紙のやり取りから日本や戦争のことを語ったもので、ひょっとしたら小学生高学年くらいの子供であれば、理解できるのではないかと思います。

あと小林よしのり氏の戦争論１・２・３やその他の著書。漫画であるからとっつきやすくて、そこから日本や世界を考えていく知恵や工夫を学べそうです。これは中学生以上かな。

読むだけではなく、考える力を与えてくれたらありがたいな～と、思います。
そして、いつか子供たちがもっと大きくなって、論争ができるようになったらもっと楽しいだろうなと、思います。

日本の歴史を知る本を読んで、日本の歴史にワクワクしてくるような本を小説でも教科書でもいいから選択して読んでほしいです。
自分（日本人として）に誇りを持てる力を与えてくれるのが、良書の要件の一つと思っております。

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：隠居 投稿日：2004/01/04(Sun) 07:58

波平さん
「戦艦大和ノ最後」はカタカナ混じりであり言葉が当時の文語体ですから大変読みにくいそうで、今では中年の人が読んでも分かり辛く、充分咀嚼できないということです。分からないと話になりませんから困ったものですね。
ＧＨＱの措置として当時の日本語そのものを解体し新仮名と登用漢字に変えてしまい、当時使われていた文字は“歴史的仮名遣い”と“歴史的正漢字”して忘れ去られようとしています。
ですからお墓や家の香典帖に書かれた自分の祖母の名前も読めない日本人が一杯いることになりま

した。つまり、「てふ」とか「かふ」や「かう」が「ちょう（蝶）」「こう（幸）」である事すら分からなくなってしまったわけです。
わずか６０年の間にです。アメリカの占領政策の大成功で、えらいことですね。
＜陸軍と海軍のインテリジェンス
全く同感です。従軍慰安婦やら虐殺やらで旧陸海軍の軍人はいわれのない辱めを受けています。その意味で下士官の書いたものはかえっていいでしょう。昔の軍隊の諸記録はほとんどが下士官の手になるものですから彼らの文章力（教養）が分かる格好の本でしょう。
そして「論語」をはじめとする古典、当然日本の基本的教養ですが、これは教育の問題であり、政治の問題ですね。

内記さん
「今ナオ埋没スル三千ノ骸彼ラ終焉ノ胸中果タシテ如何」
文語体による文章の簡潔さ、力強さ、この短い文章で一目瞭然ですね。
『いざさらば　我はみくにの　山桜』　靖国神社編
『【福田恆存語録】　日本への遺言』　文芸春秋刊
これらの書は一冊読めば読んだ者が次々に類似の書物を求めるでしょう。
手がかりになる書物という意味で同感です。

花散里さん
＜、子供は・・・意外と「親のすることはしっかりと見ている」もののようです。

そうです。私も家にあった僅かな父の蔵書の中に吉川英治や徳富蘇峰があって少年時代にむさぼるように読みました。
「読み継がせたい本」はたくさんあってしぼるのに困りますが、皆さんの考えもあまりかわりませんね。安心しました。

真改さん
＜自分（日本人として）に誇りを持てる力を与えてくれるのが、良書の要件

まったく同感、反日侮日の歴史書や回顧談、そんな非国民的な新聞や書物に老人の一部までが加担していますから情けないです。
教育から立て直すとすると先ず教師から養成しなければならず、あと何年かかるのでしょう。それまでの間、われわれは「つなぎ」であり「保存用の種もみ」です。このＨＰもそういう役割を担って頂きたいです。
今後ともよろしくお願いします。

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本
投稿者：花散里 投稿日：2004/01/04(Sun) 11:21

＞非国民的な新聞や書物に老人の一部までが加担していますから情けないです。

これ、【非常に】困ります。
党首が選挙区で落選するような政党や、ちょうにち新聞のプロバガンダは比較的見破りやすいのですが、時代の空気を肌で感じているはずの人にこれをされると、後世の人間は簡単に騙されてしまいます。
刀剣で言うところの【時代贋】で、歴史・常識など物事の道理がうまく組み立てられない中学生・高校生あたりには、百害あって一利なし、まさに呪縛となります。
かく言う私も高校生の時に、その衝撃的な内容から、「昭和初期生まれの本多勝一」氏に騙され、その後「いくらなんでも、これはでたらめ」と気づいたのは大学生活も半ばに近づいた頃でした。

見聞を広めると、真否はやがてわかってくるのですが、今から思えば貴重な青春時代に金と時間をドブに捨てたと思いますし、中にはそのまま呪縛から解き放たれない方々もおります。
残念ながら、売名や拝金を目的とした「似非書籍」が多いという現状からも、皆様の良識・経験に基づく「読み継がせたい本」のご紹介をお願いしている次第です。

[2363 へのレス]Re: ちょっと横道に入りますが

投稿者：隠居 投稿日：2004/01/04(Sun) 13:11

花散里さん、正にしかり、
戦中派のウソ話、“時代にせ”とはまさに云い得て妙です。仰せのちょうにち新聞ことＡ新聞が“戦争参加者の声を聞く会”とかで“市民”を集めて反日キャンペーンをやっていました。私の故郷京都府福知山市の歩兵１２０聯隊は南京に一番乗りした聯隊で日本中にその栄誉を讃えられました。しかしその後米軍の攻勢がつよく、比島上陸に備えて中支軍から転戦、最も上陸攻撃の可能性が高いとされたレイテ湾に展開、迎え撃って全軍玉砕しました。この部隊で病気のため比島への転戦をまぬかれた東一等兵（戦後上等兵）がＡ新聞の傀儡となり、南京虐殺のつくり話を吹聴、英霊たちを侮辱したことは余りにも有名です。これは生き残りの彼の上官橋本氏が裁判で争い永年の裁判の末ついに勝訴しましたので、いかなＡ新聞も彼を見限り今では口を閉ざしています。
彼のウソ話の一つは、「捕虜を郵便行嚢（こうのう）に入れて口をしばりそれに手榴弾を２個結びつけて海に投げ込んで爆発させた。云々」・・・なんですが
郵便こうのうに大人は入りませんし、手榴弾は撃鉄（げきてつ）を叩いてから７秒後に爆発しますから、一体そんなことが可能かどうか、一人前の兵隊なら誰でもわかるのですが、東は補充兵でろくに教育もうけていず、ついうっかりヨタ話が口に出たのでしょう。
Ａ新聞記者本多氏の「百人斬り」の話も同様で、このため戦犯で死刑になった小野少尉（でしたか？）は悲劇です。それを戦後にも訂正しない、訂正するどころかその生証人になったわけです。「百人斬り」とは勇者をたたえる形容詞のようなものです。百人斬れる刀がありますか？
まったく戦中派の一人としてお恥ずかしい限りです。せめてこの場をお借りして彼らの“にせ者ぶり”のごく一部をご披露申し上げました。

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：内記 投稿日：2004/01/04(Sun) 17:41

花散里さんの『時代贋』、ご隠居さんの『市民』は正に厄介な存在です。
そこでまず大人がこれらの詐欺に引っかからない為に一冊。

【「市民」とは誰か　－戦後民主主義を問いなおすー】　佐伯啓思　著
　ＰＨＰ新書　022　657円+税

はいかがでしょうか。

著者の佐伯啓思氏は滋賀大学、京都大学で教鞭をとられ現在京都大学大学院教授。あまりマスコミに登場されませんが物腰の柔らかい方で文章表現は明快簡潔、ロジカルなのに平易。目から鱗が落ちるようでぜひご一読下さい。

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/01/04(Sun) 20:07

「百人斬り」の話は、戦争論２『南京大虐殺の謎』という箇所にも出ていますが、事実無根の新聞記事がいかにして二人を死刑に追いやったかが詳細に解説されております。

処刑された向井少尉と野田少尉の遺書を読むと涙がとまりません。
自分の死が、中国と日本のそして、東洋の平和ひいては世界平和につながらんことを信じてやまなかったこと。

歴史を知ることは単に年号を暗記することや○○事変などの言葉を憶えるということだけではなく、さらに突っ込んで中身を知るように努めていかねばならぬということでしょうが、なかなか学校の勉強では余分と言われる部分なのかも知れず、戦争論のような漫画で啓蒙していくことにより、知らされていない部分を知る機会を得ることもあろうと思います。

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：波平 投稿日：2004/01/04(Sun) 22:05

「かかる軍人ありき」(緒方竹虎著)は海軍大将であり総理大臣をつとめた米内光政について書かれた本です。私が最も尊敬する一人であるこの人物について書かれたものは数多くありますがこれが最初に読むものとしては良いと思います。
　歴史を考える時に大切なのは一次資料にあたることです。よく経験することですが子引きや孫引きは同時代に生きた人のものでも疑問符がつくものがあります。ご隠居さんのお話の中の

＞彼のウソ話の一つは、「捕虜を郵便行嚢（こうのう）に入れて口をしばりそれに手榴弾を２個結びつけて海に投げ込んで爆発させた。云々」・・・なんですが

もある明確な意図のもとに語られたもののようです。私の祖母によく聞かされた例の木口小平は後からあれは白神源次郎であったとか神風(しんぷう)特別攻撃隊の最初は関行男大尉ではなかったとかどうも戦場美談に近いものはあやしいものです。艦爆(急降下爆撃機)操縦専修の彼が何故に爆装零戦で出撃をせまられたのか・・・やはり最初の名誉は海兵出身者でなければならなかったのか、そのためには新婚などは無関係だったのでしょう。先のイラク戦争の女性兵士救出もつくられた戦意高揚のにおいがします。
私は黙々と戦い死んでいった兵士たちの声なき声に耳をかたむけるべきだと思います。

私はあれほどの戦争が何故起こったのかをよく考えますがやはり日本がはめられたという感じがします。どう考えても原因を突き詰めていくと明治～黒船来航までさかのぼってしまうのです。そして大切なことは戦争の原因は軍部にだけあったのではなく政党間の政権争いや世論がそこにからんでくるということです。統帥権干犯問題をみると当時の野党政友会こそがそのきっかけをつくった元凶です。それと純粋に国を思う一個人とはどうしても立場がちがうように思うのです。
　私は三上卓元海軍中尉の短冊を持っています。三上海軍中尉は 5.15 事件で官位を剥奪されましたが知人が戦後直接いただいたものを記念に頂戴しました。犬養首相を暗殺した彼が戦後最初の衆議院選挙に出た折りには何も演説しないで尺八ばかり吹いていたそうです。三上中尉の胸中や如何。又「流れる星は生きている」もお奨めの本です。著者の講演を直接聞きましたし、お嬢様は私の同僚です。わたしには一ヶ月もリュックサックの中ミルクがわりに「アカザ」の汁で育った苦労は想像もつきませんでした。今でも髪の毛が赤く縮れているのはその時の栄養失調のせいだと笑っていました。藤原ていさんは講演の中で「あれは終戦ではありません。敗戦です。終戦でなんかあるもんですか」と語気を強めました。その夫たる人が新田次郎でその縁につらなる藤原咲平博士の上司が中央気象台長岡田武松です。「天気晴朗なれども浪たかかるべし」の電文を秋山真之が利用したのは有名です。
　いろいろと長くなりましたが「真実を見極める」力を養い、考えることを学ぶことこそ読書の大切なところであると考えます。
フランシス・ベーコンの四つのイドラではありませんが各種の先入観を取り除くのはそれがどのような立場であれ容易なものではありません。
　勝海舟が氷川清話で曰く「なに、愛国者というものがいて国を滅ぼすのさ」というのは彼一流の皮肉な物言いですが幕末に命を張った彼にして初めて言える至言だと思います。

[2363 へのレス]Re: ペンの暴力、剣の理性

投稿者：花散里 投稿日：2004/01/04(Sun) 22:26

「百人斬り」については、毎日新聞（元東京日日新聞社）、朝日新聞、本多勝一、柏書房が昨年提訴され、現在東京地裁に於いて裁判が行われています。

この裁判のポイントは、「毎日新聞は記事を訂正せず、朝日新聞は本の出版を続け（現にまだ販売されています）、本多勝一はなおもかき続けている」点です。
東京日日新聞記者 浅海一男によって、新聞拡売と記者本人の自己顕示のために書かれたでっち上げ記事により両少尉は銃殺刑となり（両少尉の家族は、浅海一男に記事が創作だったことを証言してくれるようにと必死に頼み込みましたが、浅海一男の証言には「創作」の文字はなく「聞いたままを書いたのだ」という保身に徹したものでした。）、昭和４６年に「中国の旅」を朝日新聞に連載した本多勝一により蒸し返され、両少尉の遺族はまったくの冤罪でありながら長く報道被害を受けています。

浅海一男は戦後、毎日の労組委員長となり、「日本帝国主義の中国侵略」を厳しく非難する記事を書き中国共産党を美化、中国から「反動新聞社の中で、民主化につとめる英雄的記者」と呼ばれ、昭和６３年に死去しています。

昭和２３年１月２８日両少尉を刑場に送り込むことによって、報道は魂を売り渡しました。
「（知性のない）ペンは（理性のある）剣よりも強し」

[2363 へのレス]Re: ペンの暴力、剣の理性

投稿者：波平 投稿日：2004/01/04(Sun) 23:21

＞花散里さん

＞かく言う私も高校生の時に、その衝撃的な内容から、「昭和初期生まれの本多勝一」氏に騙され、その後「いくらなんでも、これはでたらめ」と気づいたのは大学生活も半ばに近づいた頃でした。

このあたりの部分のことをおっしゃっていたんですね。
私は「百人斬り」そのものについてはまったく知りませんでしたが、普通に考えてみてもそんなことができるかどうかわかりそうなものですねぇ。
何でもそうですが新聞をはじめとして私は相反する立場で書かれたものを両方読むことにしています。「南北朝」についてもそうですが・・・。

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：花散里 投稿日：2004/01/06(Tue) 00:19

＞波平さん
本多勝一の一連の著作は、私にとって「自分の子供に読み継がせたくない本」です。これらに限り、私は【焚書】に賛成いたします。
真改さんの仰る、
＞自分（日本人として）に誇りを持てる力を与えてくれるのが、良書の要件の一つと思っておりま

す。
とは対極に位置します。歴史の歪曲どころではなく、日本に対する【侮蔑・脅迫】以外の何物でもありません。

【愛国者によって国が滅ぶ】場合もあるのかも知れませんが、【売国奴】はもっともっと始末が悪いと思いますよ。

[2363 へのレス]Re: 自分の子供に読み継がせたい本

投稿者：花散里 投稿日：2004/01/06(Tue) 00:26

皆さんの経験・良識に基づいた【自分の子供に読み継がせたい本】をご紹介いただき、とても参考になりました。

内記さん、波平さん、ご隠居さん、真改さん、どうもありがとうございました。

これから、ご紹介いただいた本をまず私が読み、子供にも薦めて行きたいと思います。
後から思い出された本がありましたら、今回ご参加にならなかった皆さんも含め、ぜひまたご紹介いただきたいと思っております m(__)m

---

[2383] 「江戸の釣り」を読む

投稿者：隠居 投稿日：2004/01/06(Tue) 06:49

花散里さん、「江戸の釣り」を読みました。
本当は「忠臣蔵釣客伝」を読みたかったのですが視力が弱っているためボリュームの少ないこちらから先に読もうと思ったからです。新書版なので若いときなら１日で読める量ですが、細字が読みづらく４日かかりました。
漁師の漁法が釣りから網を使った量産タイプへと進歩した江戸時代、その旧式の一本釣り漁法が格好の遊びになるわけですが、それが子供の遊びでなく『男の道楽』になるためには、「釣り場」に精通し、竿をはじめとする「道具」に凝り、潮時や風向きなどの「天気予報」に通ずる必要があって、釣りの草分けである旗本津軽采女がこれらを学び集大成したことがよく分かります。
釣りが刀剣趣味（刀の鑑賞や鑑定）とも一脈通じる「趣味道」であることが読み取れました。
本の中に書かれてある『名竿は名刀よりも得がたし』がこれを象徴しています。

[2383 へのレス]Re: 「江戸の釣り」を読む

投稿者：花散里 投稿日：2004/01/06(Tue) 12:56

釣りも趣味とする私としては、前々から和竿を欲しいと思っているのですが、少し良いものになると数十万円しますから、とても手が出ません。
庄内竿で有名な庄内藩では、武士の嗜みとして磯釣りが奨励されていたそうです。

魚拓なども、古くは「勝負絵図」と言っていたそうで、まさに武士の遊びです。
名竿ともなりますと代々受け継がれますので、名刀にも匹敵しますね。

[2383 へのレス]Re: 「江戸の釣り」を読む

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/01/06(Tue) 21:53

私の父は、３日に空けず鯵釣りに出かけております。
父　『ちょっと用事に行って来るけん。』
私　『釣りの用事じゃろ！』
と、毎回同じような会話です。(^^ゞ。

時々、アナゴなんかも釣ってきますが、昨年は６０センチのアナゴを釣ってきました。(@_@;)。
でっか～、気色悪い～。って感じで、大きすぎるのもなんですな～と、感想をもらしましたが・・・。

叔父は磯釣りが趣味。
年末には、子供を風呂に入れている最中の忙しいときに、インターフォンをピンポンピンポンと出てくるまで鳴らされ、『はい　どうぞ』をグレの５０センチくらいのものを２匹くれました。

正直、私はあの魚臭いのがダメですので、釣りは遠慮しております。^_^;。
小さいときはよく鯵釣りに連れて行ってもらいましたが、とうとう慣れませんでした。(>_<)。

釣って、さばくのは父専門。
料理するのは母の専門
私と子供たちは食べて批評するのが専門。

でも、昨日は何匹釣れたん？と、聞かれてうれしそうに答える父の顔が、ええ顔してます！
でも、だいたいこのごろは『８匹くらい』という回答が多いようですね！!(^^)!。

[2383 へのレス]Re: 「江戸の釣り」を読む

投稿者：波平 投稿日：2004/01/07(Wed) 00:17

＞ご隠居さん
　趣味の極意はいろいろな道に共通するものですね。
　私も「忠臣蔵釣客伝」を楽しく読んでいます。津軽采女が実在の人物と　は知りませんでした。乱世であればさぞかしの人物であったと感じまし　た。
＞花散里さん
　釣りもご趣味なんですね。
　私は全くの不調法ですが「庄内」と聞くと多少の縁のあるものとしてう　れしくなります。酒田の町といいやはり豊かな経済力を感じます。

＞真改さん
　うらやましいご家庭ですね。
　特に父を亡くした私にとっては真改さんとお父様とのやりとりが何とも　いえません。
　やはり今は亡い叔父が東京湾のハゼ釣りが趣味で竿を持つ所に漆をぬっ　て手入れしていたことや、釣果を自慢していたことを懐かしくおもいだ　しました。

[2383 へのレス]Re: 「江戸の釣り」を読む

投稿者：菊久 投稿日：2004/01/07(Wed) 07:05

ホント！釣りって楽しいですネ。
近頃、私は「沖の真鯛釣り」を中心に楽しんでいます。
船に揺られて、ポイントまでの船上で「今日の潮の流れはどうだろう？」「どれくらいの深さが今日のポイントになるのだろう？」などとあれこれ考えるのも楽しいし、またその思惑が当たったときは最高です。勿論、おみやげは天然真鯛。
思惑がハズレでも、一日船の上から、水平線を眺めているのも、これまた楽し。

川釣りでは「深山のイワナ・アマゴ釣り」「中流の鮎釣り」。ダム・湖では「鯉釣り（昨年は近くのダム湖で 82 ㎝をあげました）・ワカサギ釣り」海では「磯釣り（上物）」「沖釣り」と多様に楽しんでいます。
でも、竿は海川これ一本というオールマイティーなものはなく、それぞれそろえなければ・・・。
和竿は勿論、高価で持ち合わせが無いですが、鮎竿はカーボンロッドでも非常に高価です。

＞真改さん
私も、「魚臭いのはすっごく苦手！」
でも、釣ってさばくのは私。
食べるのは子どもと連れ合いとなっています。

[2383 へのレス]Re: 「江戸の釣り」を読む

投稿者：隠居 投稿日：2004/01/07(Wed) 08:59

真改さん、波平さん、菊久さん
「江戸の釣り」には、魚釣り図を高彫りした鍔や小柄が数枚載っていますから、著者の長辻象平氏は刀剣の方もご趣味かと想像しています。
釣りが趣味の方なら、「何羨録」の上巻が【江戸の河口から湾内の魚類別釣り場集成】中巻が【竿釣針テグス及び浮き錘天秤等の諸道具考】下巻が【汐時や風向きをなどの気象予測法】と釣りの全容を合理的に解明した最初の書物であり、これを大身の旗本が著述したことに脱帽されると思います。
これぞ真底の“趣味人”ではないでしょうか。

[2385] 刀の鑑賞と手入れ

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/01/06(Tue) 21:41

皆様は、新年になりまして、早々にご所蔵の刀の鑑賞と手入れをされましたでしょうか。

私も、何とか頑張ってやりました！
ちょっと気を抜いていると、すぐに１週間や２週間くらい経ってしまうので、いろんな面で『大丈夫かいな？』とふっと思うことがあります。

寒ーい部屋に鑑賞に向かうのですが、背筋が伸びて姿勢がよくなるのが不思議ですね。
こんな私でも、自然に礼を取っているのがわかります。(^.^)。

[2385 へのレス]Re: 刀の鑑賞と手入れ

投稿者：numarokuya 投稿日：2004/01/06(Tue) 23:02

はい、私は元旦と二日の両日をかけて手入れを致しました。

今回は以前よりお願いしていた拵が大晦日に届きましたので、手入れ後刀掛けに一緒に飾り新年を迎えました。
（年末の忙しい中、成○堂さんには大変お世話に成りました、この場をお借りしてお礼申し上げます。）

晴着を着せて観賞すると更に引き立って観えるから不思議ですね。
馬子にも衣装、と言うところでしょうか・・・？(^^)v

[2385 へのレス]Re: 刀の鑑賞と手入れ

投稿者：菊久 投稿日：2004/01/07(Wed) 08:18

私は、二日に初手入れです。
（拵え入りのものは、油を引いていないので二週間に一回はから拭きをします）

今年は、刀掛けに太刀をかけておくのもと思い、『太刀掛け台』を新年早々購入しました。

[2385 へのレス]Re: 刀の鑑賞と手入れ

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/01/07(Wed) 17:20

二日に事始の行事の一つして所蔵刀の初手入れを行いました。

油は何時もの「岡村」の丁子油です。
一昨年に話題になった、「岡村の丁子油」愛用者も増えたかと
思いますが、その後の使用感は如何なものでしょうか？
手前味噌ですが、なんとなく鍛え肌がしっくりとして研いだ後の
ように地刃ともに冴えたように感じるのは私だけ・・・・・・？

[2385 へのレス]Re: 刀の鑑賞と手入れ

投稿者：花散里 投稿日：2004/01/09(Fri) 00:06

＞鬼丸さん

確かに「岡村の丁子油」を塗りますと、作が１ランク上がった気がしますね(^^)

[2393] 国宝犬山城

投稿者：花散里 投稿日：2004/01/08(Thu) 20:55

現存する最古の天守閣を持ち、また唯一「個人が所有する国宝の城」である犬山城の所有権が、成瀬家からこの春新たに設立される財団法人に移管されることが決まったようです。
成瀬家は天守閣と土地のほかに、約６５００点の古文書や工芸品、刀剣を寄付します。

私は、この決定には不満が残ります。
そもそも、この移管に至るプロセスは、犬山城は高額の相続税の対象となるため、個人所有を続けた場合は古文書などが散逸する恐れがあった、ためと聞いています。
「貴重な文化財と言えども、相続税の対象になる」、これはおかしくないでしょうか？
過去、このようにして、膨大な数の貴重な文化財が散逸していったことでしょう。
文化財の保護よりも税収優先、とても文明国とは言えませんね。

[2393 へのレス]Re: 国宝犬山城

投稿者：波平 投稿日：2004/01/08(Thu) 21:51

＞花散里さん
成瀬(隼人正)家は幕府の付家老の家柄でしたね。たしか「長篠合戦図屏風」を所蔵していたはずです。個人所有のあの名城もついに移管されるのですか。

＞「貴重な文化財と言えども、相続税の対象になる」、これはおかしくないでしょうか？

まったくそのとおりですね。イギリスでは王室にも税金がかけられているとか、イギリスにはナショナルトラストと呼ばれる組織があり、ここに居城等を寄託すると邸内の一部に主人が住む権利を持ちながら財団による保護が可能になっています。

私も一時会員でしたが日本でも知恵を出し合って歴史的な景観や文化財を守る工夫をするべきであると思います。
現状ではへたに文化財の指定をうけると、我が家といえども自由に手を入れることができなくなるため、指定をいやがる向きもあるようです。

[2393 へのレス]Re: 国宝犬山城

投稿者：内記 投稿日：2004/01/08(Thu) 23:32

花散里さん
＞文化財の保護よりも税収優先、とても文明国とは言えませんね

これは難しい問題なのです。
現行の相続税法では、天皇家であっても基本的には課税されるのです。
相続税法の第 12 条（非課税財産）の一項一号で
　皇室経済法第 7 条の規定により皇位とともに皇嗣がうけたもの
のみ非課税なのですね。つまり特定のもの以外は課税するのが原則なのです。
ある意味、相続税法においては課税の公平。つまり『平等』なのです。
文化財は別の「保護法」で保護をする。というスタンスをとります。
法体系としては論理的な構築方法で、「文明国」かどうかは分かりませんが典型的な「法治国家」ということができると思います。

江戸時代は相続税はおろか商家には「所得税」も課税されませんので、大店となれば「大判小判がざっくざっく」となり、貧富の差は拡大する一方だった事を考えると、相続税が悪法とは一概に言えないのかなとも思います。

問題は「文化財」の考え方と「保護法」の運用方法が妥当か否かの問題だと思います。この辺りを詰めていくと何とかなるような気がするのですが・・・　(^_^;)

[2393 へのレス]Re: 国宝犬山城

投稿者：花散里 投稿日：2004/01/09(Fri) 00:03

う～ん(-_-;)
今ひとつ、釈然としませんね～(^_^;)

例えば、国宝って勝手に売れるんでしょうか？
持ち主が、「犬山城を売り払って相続税を払う！」とか言い出したら、どうなるんでしょうか？
（マイケル・ジャクソンなら、買うって言うかも・・・）
または、「相続税として犬山城を物納するから、お釣りをください（相続税の超過物納）。」とか・・・
「国の宝」と認めておきながら、税金ね～(^_^;)

[2393 へのレス]Re: 国宝犬山城

投稿者：内記 投稿日：2004/01/09(Fri) 03:31

遅くなりました。ＰＣは家内の借り物なものですから、時間レンタルです(^_^;)

国宝は多分、譲渡制限があり難しいのでは・・・？
現在、時限立法でＨ19 年まで「重文等の譲渡」は課税の特例があり、国宝が含まれないところを見ると、重要文化財と国宝とはかなり区別があると思われます。この特例は、バブル時期に相当数の重文が「お金の為」に海外に流れ（同じ日本人として実に悲しい(-_-;)）
遅まきながら課税庁が少しでも海外流失を防ぐ目的で「国や国立博物館等に譲渡すれば税金を安くしましょう」という情けない法律で、これぐらいが税法の限界なのです。
これ以上は、「私有財産の自由」の憲法違反となる訳で・・・税法の範疇ではありません。（譲渡禁止ができない！）

花散里さんの憤懣はこれと表裏の関係と思われます。（国宝と重文の違いはありますが・・私は重文も大切と思います）
考え方は私有財産である以上、譲渡自由。その代わり譲渡すれば所得税、相続すれば相続税。ある意味首尾一貫してます　(ーー;)
やはり納得できない・・・(・・？　ですよね。心情的に。

国宝・重文（将来の国宝？）は国の宝　＝誰のもの？
国の宝の所有権は　＝個人でも可？
個人のものならば　＝処分権は？
処分したら　＝収入には税金？（相続税も清算の税金）
このあたりを何処かいじるとグルグル回りのパラドックスとなり・・難しい　(>_<)。

これが現代日本の縮図で、象徴なのかも知れません。民主・自由・平等。
おかしな標語ですね。
文化・芸術はパトロン（大旦那）がいないと衰退するのは必定です。
成瀬家は「犬山城」を維持していた「大旦那」と考えれば、花散里さんの仰る「文化財の散在」は税金が「悪」ではなく「戦後日本」の多くの国民が望んだ「民主主義？」による「平等」や「自由」の結果なのかも知れません。もし「犬山城」を個人所有の為に税金の特例を作れば「人権派弁護士」さんや「弱者の味方の市民派」さん達が【金持ち優遇断固反対】のシュピレヒコールがこだまし、ちょうにち新聞は「社説」と一面トップ記事になるかも知れません　(>_<)
私は「文化財保護」の為の優遇税制　大賛成ですよ。もちろん、花散里さんの憤懣、同感です。
追伸：
「松江城」は私の高校の同級生の「松平君」の曾おじいさんおうちでした(^_^;)

[2393 へのレス]Re: 国宝犬山城

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/01/09(Fri) 06:20

『空から見た名城』という本を中学生の時に買って以来、お城を見るのが好きになりました。
空から見たお城の写真というのは案外少ないような気がします。

その中でも犬山城は特に好きでした。でも、一度も行ったことがありません。
旅行で行った先のお城に行くのが恒例になっておりますが、備中松江城だったかな、学生の頃に行ったこのお城は、綺麗に修復されておりましたが、当時、内部は未公開だったと思います。
明治期の手入れされていない頃の写真を麓の飲食店で見ましたが、あわれな姿でした。

小さなお城も大きなお城に負けないくらいに、『味』がありますよね。

[2393 へのレス]Re: 国宝犬山城

投稿者：隠居 投稿日：2004/01/09(Fri) 19:04

犬山城が成瀬家個人のものとは知りませんでした。犬山から明治村日本ラインの絶好の観光コースの目玉ですから私は二度行きました。城内の狭い階段や部屋の造りは戦国の世にタイムスリップした感じで感激しました。天守閣前の庭も見事に笠松が枝を張っておりよく手入れされていたのを覚えています。たしか拝観料を結構取っていましたよ。成瀬家も早く財団法人化されるべきでしたが、今まで持っておられたとはエライものですね。
刀の方では尾張刀工系鍛治数人のほか、兼辰（かねとき）という会津兼定の弟子がこの犬山藩の鍛治だったと記憶しています。

[2393 へのレス]Re: 国宝犬山城

投稿者：花散里 投稿日：2004/01/10(Sat) 18:29

鉄筋コンクリートの城ばかりの現代にとって、犬山城は貴重な貴重な本物の城ですし(^_^;)
現代では建築できないと言うか、建築したって意味はないと言うか・・・。

「雇用保険で建てた勤労者福祉施設を、厚生労働省所管の特殊法人「雇用・能力開発機構」が１０５０円などの安値で売却している問題で、厚労省が最終的な売却総額を１２８億円と試算していることが１０日、わかった。
施設の時価は計７２５億円で、「投げ売り」による損失は５９７億円に上る見通しだ。同施設は、サラリーマンの福利厚生を目的に全国２０７０か所に建設されたホテルなど。政府は特殊法人改革の一環で、１９９９年に全施設の売却を決めた。１８２４施設は既に売却、７５施設が売却手続き中、７６施設で売却交渉が進んでおり、１９７５施設に買い手がつく見通し。
売却総額の１２８億円は雇用保険に戻されて失業者の職業訓練などに使われるが、当初建設費４４

１３億円の２・９%、時価７２５億円の１７・７%にとどまり、「投げ売り」で雇用保険に還元される額が目減りすることになる。」

一方ではこんな馬鹿なことをやっている役人や、天下りの元役人がいるわけですから、同じ「建物」なのにこの差は無いんじゃないかな・・・と思いました(^^ゞ

[2393 へのレス]Re: 国宝犬山城

投稿者：内記 投稿日：2004/01/10(Sat) 22:27

‘馬鹿な役人や役所”のチェックをしなければならないはずの「会計検査院」は読売新聞の調査によると昨年の「退職時の退職金の上乗せ（号棒の昇給）」率が全官庁の上乗せ率 91%に対し見事‘100%”であったと昨日の新聞に掲載されていました (ーー;) 超！モラルハザード う〜ん・・・ ため息デス 。

上記の施設等の建設費は民間なら半分から数分の一で施工出来るでしょうが、採算から考えると事業計画の段階でおそらく計画はボツになるはずです。しかし、その結果その工事の金額は民需に回らず雇用の減少を招いたかも知れません。この国は法人 250 万社の約四分の一は建設関連会社という現実があります。
花散里さん。逆説のようですが「城」も含めて文化財の維持管理は「民間」の論理（採算重視）では無理なのではないでしょうか。
本来、国や地方公共団体は採算度外視の立場で行政を行う仕事ですからうってつけの仕事のはずですが (^_^;)

コンクリートの箱物ではなく、城郭や城址周りの整備という公共土木事業に目を向けてくれればよいのですが。
この國には、かつて 250 の藩があり、陣屋を含めてそれ以上の「お城」があったということを私は忘れたくありません。 "^_^"

[2393 へのレス]Re: 国宝犬山城

投稿者：花散里 投稿日：2004/01/11(Sun) 00:19

＞内記さん
確かに、城クラスの大物になると民間では無理かもしれませんね。
関ヶ原の古戦場を訪れたときにも、強く感じました。

[2404] 伝聞・近藤勇の最後

投稿者：波平 投稿日：2004/01/11(Sun) 22:45

明治元年四月二十五日、慶応四年五月二十五日、近藤勇は板橋刑場で処刑された。現在の滝野川三軒家、当

時は板橋平尾と云った。これが板橋刑場である。其の場所は現在の板場駅東口に当たる。

この土地は滝野川寿福寺と云う寺の地内であり、勇の墓は板橋駅東口駅前を出て、駅前広場の向かい側にある。後に、久保田勘六と云う人が近藤勇の処刑された土地の側に、私立芳林学校と云うのを建てた。然しそれは寺子屋式であった。

近藤勇が処刑された時、立会人として名主総代芦川十左衛門と云う人が居た。いよいよ処刑されそうと云う時に近藤勇は「首を刎ねられた後も見苦しくない様に、床屋を呼んでくれ」 と云い髭を剃らせたと云う。処刑人の髭を剃るなど初めての床屋は、手が震えて剃刀が上手に使えなかったと云う。名主総代として立ち会った芦川十左衛門は、元武田の一族であったが、先祖は武田家滅亡の後、伊豆三島に逃れ、其の後も所々方々と隠れ住み、最後に滝野川に落ち着いた人である。然し武田の姓も名乗れず、甲州の芦川という所に領地を持っていたので、其の土地の名を姓として改めたという。

私の祖母も近藤勇の処刑の時は見に行ったが、首を刎ねられた時に、勇の胴体が前のめりになり、恰も箕を伏せた様な形であったので、それ以後祖母は商売用の箕を使う場合、必ず箕は上向にして置く様にと注意された。又首を切った時に刀の音が、濡れ手拭をポンと水切りした時と音がよく似ているので、以後手拭もポンと云う音をさせない様厳しく注意を受けた。(昭和５６年１月吉日発行「榎本の思い出集」より)

以上ご紹介しましたのは私が住んでいた旧中山道の滝野川にある榎本種店の４代目の御当主による私家版の回想録からの抜粋で近藤勇の処刑に関する部分です。実際に処刑を見た人の伝聞ですので皆様のご参考までにと思いご紹介いたします。

[2404 へのレス]Re: 伝聞・近藤勇の最後

投稿者：野 投稿日：2004/01/12(Mon) 18:33

あ、引用でしたか。波平先生のお祖母様が目撃されたのなら先生はお幾つ？と思わず勘定してしまいました。

[2404 へのレス]Re: 伝聞・近藤勇の最後

投稿者：波平 投稿日：2004/01/12(Mon) 19:32

＞野崎様
はい、引用です。
私が以前住んでいた旧中仙道沿いには旧家がありました。「榎本種苗店」もその一つで滝野川の種(野菜などの種のことです)は一時全国に有名だったそうです。私の職場で年長の方が四国の愛媛でも滝野川の地名を聞いたことがあるとおっしゃっておいででした。「亀の子束子」で知られる西尾商店もその近くにあります。やはり私家版の回想録を出されています。私の祖母は大正のころそこでパームやしを針金でたばねる作業をしたことがあると言っていました。
PS：野崎様、先生などと呼ばれると身が縮む思いがいたします(^^;)どうぞ波平さんとお呼びくださいまし。

[2405] 新春刀剣鑑賞

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/01/12(Mon) 01:09

個人所蔵の刀剣鑑賞なので個銘詳細は申せませんが、本日、私にとって今年初めての刀剣鑑賞会に参加させていただきました。

千手院義弘さんのご紹介で、隣県の愛好家のご自宅へうかがいました。
全部で八口の刀剣で、ちょっとだけご紹介させていただきますと、古いところでは一文字、新しいところでは陸奥守忠吉などでした。
また、新規製作も含めてすべての刀に外装が付いており、それもかなりこだわったもので、所有者様の所蔵刀に対する愛着が、ひしひしと伝わってくる素晴らしいものばかりでした。

そして、ほとんどが重要刀剣であり、刀身の出来も茎の状態も抜群で、作風も典型的であり、所有者様の詳しい見所などの解説で、短い時間を非常に有意義に楽しく過ごせました。

また、武道にも秀で、槍の名手でもあり、その上、刀剣の勉強を行う上で欠かすことの出来ない刀剣関係の書籍を、私などが見ますと目を回すほど所蔵されておりました。
書籍に関しては、徳島でも古い先輩がおっしゃっていた言葉で、刀を一振り買うくらいの金額を本にも掛けて勉強をする必要もある、ということを思い出しました。
確かに刀剣関係の書籍は一般に高価で、古書などで集めようものなら、あっという間に１００万円は超えそうですが、古書ではなくその発売当事に買い求めていても、かなりの額になりそうです。
うちの家などは、今日見せてもらった書籍を置くだけで、床が抜けそうです。(^_^;)。

新春早々、良いご縁を持ちまして、こういう素晴らしい刀剣鑑賞の機会を持つことが出来ました。

ありがとうございました。m(__)m。

[2405 へのレス]Re: 新春刀剣鑑賞

投稿者：隠居 投稿日：2004/01/12(Mon) 07:52

真改さん、正月早々いい機会に恵まれましたね。こちらは下旬に新年宴会をかねて研究会があります。

[2405 へのレス]Re: 新春刀剣鑑賞

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/01/19(Mon) 14:40

こちらの鑑賞会の写真では無いんですが…今月の刀剣美術に真改さん、写真写ってませんか…？
よく似ている方が…(;^_^A

違っていたらごめんなさいです。

[2405 へのレス]Re: 新春刀剣鑑賞

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/01/19(Mon) 19:45

フフフ・・・。よくぞ見破られた！＞こてつさん。(^^ゞ。

マスクをしているのが私でございます。m(__)m。
つい喋ってしまったら唾が飛ぶので、いつもこうです。
来年は手袋も着けて、こうすれば指紋も付きませんよ！と、無言のアピールをしたいと思っております。

マスクは来年はタイガーマスクにしようと思っておりましたが、口の部分が空いているので不適当ですね。^_^;。
タイガーマスクにさらにマスク。これで来年は写真に写っても私とは誰も気がつかないでしょう！！(^。^)y-.。o○。

ちなみに、最近ご無沙汰の『南北さん』も鑑賞に夢中になっている姿が映っていました。
!(^^)!。

[2409] 刀友新年会について

投稿者：倭 士 投稿日：2004/01/16(Fri) 04:01

ＴＯ、菊久様 ・ 鎬様

以前このＨＰでお話を頂きました電脳関西支部？（真改さん、勝手に支部を作って御免なさい）刀友新年会ですが・・・

平日以外なら、2/7（土）か 2/22（日）頃ならば休みが取れるかも・・？

お二方のご予定は・・・？？

それと、高野山＆某鍛刀場の訪問は暖かくなってからね。
田植えの頃が良いのでは・・・

また、ご連絡お待ちしております。

ＰＳ：関西在住の方で、新年会参加ご希望の方は、幹事の菊久さん迄・・

少々私的な書き込みですがお許し下さいませ

倭 士

[2409 へのレス]Re: 刀友新年会について

投稿者：鎬 投稿日：2004/01/20(Tue) 18:32

あら倭士さん
刀友新年会ですね。
ずばり　2月2日月曜日としましょう。
開始は17時からね。
場所は阿倍野（天王寺）予定だよ。

[2409 へのレス]Re: 刀友新年会について

投稿者：倭 士 投稿日：2004/01/21(Wed) 10:18

私は夕方からなら時間ＯＫです。

菊久さんは、どうでしょうかね？？
以前、土曜日が、ダメみたいな事を言われていたので・・・
土曜出勤の代休取れればイイけどね？

佐助さんや福田さんにも声を掛けてみますね。

これが私の刀剣はじめになりそうです。
もし、実現したら写真付きの書込みは鎬さんヨロシクね！

[2410] 鑑刀会

投稿者：波平 投稿日：2004/01/17(Sat) 19:50

本日新春の鑑刀会が新宿で行われ出かけてまいりました。則重の短刀は今まで在銘１口、無銘１口を拝見しましたが、今日ほど印象に残ったものは初めてでした。１号～５号の鑑定刀では１号刀井上真改の江をねらいとしたものが素晴らしく、３号刀の左行秀の平造・脇差は皆様首をひねられ解説を受けてあちこちから声がもれました。私は刀もさることながら金家の野晒し図鍔に見ほれてしまいました。勤務の後で疲れてはいましたが、それもどこかに吹き飛ぶような楽しい一時でした。

[2410 へのレス]Re: 鑑刀会

投稿者：花散里 投稿日：2004/01/18(Sun) 22:24

＞波平さん
どちらの鑑刀会に、お出かけだったのでしょうか？
最近の私は、刀よりも鐔の方に目が向いていますので、野晒し鐔も大好きです。
いつかは名品を手に入れたいものですね(^^)

[2410 へのレス]Re: 鑑刀会

投稿者：波平 投稿日：2004/01/18(Sun) 22:51

＞花散里さん
日刀保の東京支部の新春刀剣入札鑑定会でした。私のような新参では入札には腰がひけてしまいましたが、女性の方が素晴らしい成績をあげたのには参りました。(ウ～ン道はなお遠し！)
私も鍔にも興味を惹かれていますので後藤・夏雄・金家・信家と大変に勉強になりました。津軽家から出た本阿弥折り紙の代千五百貫の目貫には目が白黒でしたが・・・でも金家の野晒し図は素人の私にも素晴らしいものとうつりました。所有者の丁寧な解説を聞くことができたのもありがたかったです。借り物のルーペで見学しましたので、今日早速行きつけのカメラ店でルーペを購入いたしました。
　そうそう鑑賞刀として「大刀剣市」で見かけた「平信秀」の刀を拝見いたしました。

[2411] はじめまして

投稿者：平蔵 投稿日：2004/01/18(Sun) 11:34

常連さん、ご覧のみなさん、はじめまして平蔵と申します。

こちらのサイトはネットにはまり始めた数年前から存知上げておりましたが
昨秋ころから掲示板をよく拝見させていただくようになりました。

２年程前から日本刀に興味を持ち始め、展覧会に行ったり、ネットを彷徨ったり
入門書を読んだりしておりましたが、地元の刀剣関係の会に入っているでもなく
手にとって拝見したのも１０振ほど、拝見しても匂も映りも何も「見えない」
全くの初心者でございます。

この掲示板は、常連さんの刀に対する熱い気持ちが伝わってくるので、
書き込みさせていただくにも場違いにならぬよう過去ログを読んでから
と思い読み始めたのですが、前述のように超初心者のため、書いてあることが
分からず、四苦八苦の上ようやく本日読み終わり初投稿させて頂いた次第です。

過去ログに「四十を越えて何も分からないでは…」とあったのですが
分からないどころか、不惑を過ぎて興味を持ち始めた場違い野郎でございますが
少しでも日本刀の事が分かるように、日本刀に近づきたいと思っております。
いろいろ勉強させて下さい、よろしくお願いいたします。長文失礼いたしました。

[2411 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：内記 投稿日：2004/01/18(Sun) 12:59

平蔵さん。はじめまして。内記と申します。

私も掲示板に参加させて頂き漸く一年になる新参の超初心者でございます。
こちらの皆様は『刀』のみならず様々な事柄に見識が深く浅学な私は大変勉強になります。「聞くは一時の恥、聞かぬは・・・」のつもりで今後ともドシドシ先輩諸兄に教えて頂こうと思っております。これからも『初心者組』のお仲間として一緒に『日本刀に近づく』よう切磋琢磨致したいと思う次第でございます。
今後ともよろしくお願い致します。若輩を省みず文面のご無礼お許し下さい。

[2411 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：波平 投稿日：2004/01/18(Sun) 16:32

＞平蔵さん

はじめまして、波平と申します。
私も昨年のくれよりおじゃましております同じく新参の超初心者です。
年頃も私と同じとお見受けいたします。皆様と私では拝見している刀の数も桁が違いすぎて恥ずかしい限りですが、こちらの皆様に温かく受け入れていただき豊かな気持ちになっております。
今後ともよろしくお願いいたします。
PS ところで平蔵さんは「鬼平」ファンでしょうか。

[2411 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：平蔵 投稿日：2004/01/18(Sun) 21:58

＞内記さん
ご丁寧に有難うございます。
ただ、内記さんが仮に『初心者組』とすれば
私用に『超初心者組』を作らねばならなくなると思いますが(^^ゞ
こちらの方こそよろしくお願いいたします。

＞波平さん
お察しの通り、数多星の数程いる（大げさ？）中年「鬼平」ファンの一人です。
一生かかってもなれぬとは分かっていますが、憧れをこめて分不相応にも
ハンドルネーム「平蔵」を名乗っております(^_^;)
今後ともよろしくお願いいたします。

[2411 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：波平 投稿日：2004/01/18(Sun) 22:21

＞平蔵さん
波平です。私もご多分にもれぬ鬼平ファンです。先代松本幸四郎のシリーズを録画して楽しんでおります。私は関東ですが正月はケーブル TV で幸四郎・丹波哲郎・萬屋・中村吉右衛門の鬼平が揃い踏みでした。(もっとも留守をして見逃しました(>_<))。平蔵さんや皆様とお目にかかる機会があれば軍鶏鍋屋でオフ会としゃれたいものですね。

[2411 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：花散里 投稿日：2004/01/18(Sun) 22:21

＞平蔵さん
ようこそいらっしゃいました。システム担当の花散里と申します。
超初心者からベテラン・プロまで、楽しければＡＬＬ ＯＫ。
皆様それぞれの、楽しい刀剣ライフを送るお手伝いの場を提供できれば、管理人一同の喜びもひとしおです(^^)

これからも、よろしくお願いします m(__)m

[2411 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/01/18(Sun) 22:45

こんばんは。
真改２００４と申します。
よろしくお願い致します。

刀剣に感心をもって何年か経ちますが、まったく初心者の域を出ません。
本当に！(T_T)。

そんな初心者でも誰でもが楽しく発言できたらいいな、と思って作ったのが始まりですので、過去ログを読んで参加していただくことは大変ありがたいのですが、気軽に発言やレポートなどをお寄せいただければ、それが一番だと思います。

楽しく参りましょう！！

[2411 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：隠居 投稿日：2004/01/19(Mon) 09:11

平蔵さん、日本刀に対するお気持、うれしく存じます。どうぞ刀に対する興味や関心から一歩進めて、出来ましたら知識を深められることをお願いいたします。四十を越えておられるのは刀の研究にとって晩くもありますが、定年後始められたお方もありますのでそれから比べますと２０才も早いわけです。ぜひとも、刀とその周辺のもろもろ、つまり“武の精神”とか“武士道”とかの刀の持ち手についても歴史から学んで頂きたいと存じます。そうでないと“武器”や単なる“工芸品”としての刀に終わってしまいます。
お仲間が増えることを心から喜びます。

[2411 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/01/19(Mon) 14:30

平蔵さん、こてつ。と申します。
四十過ぎても何も見えてない未熟者です(//￣ー￣//)ゞ
よろしくお願いします。
「鬼平」も好きですが「剣客商売」も好きなんですよ～。
楽しくお付き合いください♪

[2411 へのレス]皆様有難うございます

投稿者：平蔵 投稿日：2004/01/19(Mon) 22:52

＞花散里さん
「皆様それぞれの、楽しい刀剣ライフ」
　それが理想なんですが、楽しみを知るためにはまず勉強！
　今のままでは楽しみが広がりも深まりもしない気がしますので
　（とか言いながら結構勉強嫌いだったりします(^^ゞ受験勉強じゃないんで
　　楽しみつつやれればなあと思っております。色々とお教えください m(__)m

＞真改２００４さん
「まったく初心者の域を出ません」内記さんといい、そんなに謙遜されると
　私はどうすればいいのでしょう(^_^;)
　細くとも長く楽しみ続けたいと思っていますのでよろしくお願いします。

＞隠居さん

〝武の精神〟とか〝武士道〟ん～、私にとっては永遠のテーマであり
難しい問題です。「武士」といっても太平の世、江戸時代の武士と
鎌倉の武士とは同じ武士のようでどうなんでしょうか…。あるいは
まるで違うように見えて「もののふ」として連綿と続く「何か」それを
「武士道」と呼ぶのでしょうか…いろいろな事を考え出すと今の私ごときでは
何一つ分かりません(+_+)　これから色々お教えください m(__)m

＞こてつさん
「剣客商売」私も大好きです。池波さんは鬼平から入ったので、
最初「剣客商売」は少し感じが違ってピンと来なかったんですが、
２回目を読み終えた頃から俄然好きになりました。
秋山ファミリーいい味出してますよネ

皆様、暖かいお言葉有難うございます。今後ともよろしくお願いします。

[2414] よみがえる赤羽刀

投稿者：薩州住無学 投稿日：2004/01/18(Sun) 21:36

１６日より鹿児島の黎明館にて「よみがえる赤羽刀―接収刀剣類―」展があり本日出掛けて見ました。今回は２回目で、以前は錆び身ばかりの展示であまり参考になりませんでしたが、全５３振（国宝３点、重文２点、赤羽刀４９点）もの展示で大変見ごたえがありました。
「国宝」正宗、正恒、国宗、「重文」豊後行平、太刀拵、「備前」則房、康光、義光等９点、「山城」定利、国広、国路等７点、「武蔵」正行、興正、信秀等５点、「摂津」真改、助直、国助、「薩摩」波平吉行、正清、正幸、正房、忠重等１５点…。
実に多くの名刀ばかりで目が眩みそうでしたが有意義な時間を過ごしました。
入り口に懐中電灯が置いてあり各人がガラス越しに地、刃の働きを見学できるように配慮してあり大変勉強になりました。
すべてを記憶は出来ませんでしたが、私の好きな薩摩刀の充実さ、国宝の３振の存在感、名刀から出るオーラ…本物のすごみを感じ取ることの出来た一日でした。如何に「本物」を見て目を肥やすことが大切かしみじみと分かりました。以上拙いですが鑑賞レポートでした。

[2414 へのレス]Re: よみがえる赤羽刀

投稿者：波平 投稿日：2004/01/18(Sun) 22:01

＞薩州住無学さん
波平です。私も以前「刀剣博物館」で赤羽刀の展示会を見たことがあります。赤羽には旧軍の兵器廠があり周辺は「日本の満州」と呼ばれていました。そんな関係で進駐軍が没収した刀剣が集められたのかもしれません。当時の写真を見るとモノクロ写真ですが錆びた刀が哀れですね。実際に見学して素晴らしい数々の名刀に驚きました。元の所有者に戻ったのはごくわずかとか・・・。

現在、赤羽には JR 西京線などの駅がありますがかつて池袋－板橋－十条－赤羽とわずか４駅の間を電車が往復していた区間です。それほど軍事上重要な路線で松本清張はこの線路を使って下山事件の推理をしています。

[2414 へのレス]Re: よみがえる赤羽刀

投稿者：隠居 投稿日：2004/01/20(Tue) 10:26

薩州住さん、赤羽刀ですが、私は見逃しましたが友人知人たちが感心していましたから相当の名刀揃いだったと思います。こちら関西では一昨年催され御地が最終です。
おそらく薩摩の物は鹿児島の美術館に嫁入りされる筈ですから、ゆっくりご覧になれるのでは・・・ところで、“黎明館”というのは旧幕時代の薩藩の建物ですか？

[2414 へのレス]Re: よみがえる赤羽刀

投稿者：薩州住無学 投稿日：2004/01/20(Tue) 22:51

波平さま
ＧＨＱの刀狩では多くの刀が接収され廃棄されたそうですが、赤羽には廃棄をまぬがれた刀剣が集められその中でも選別された約５５００振が「赤羽刀」として東京国立博物館へ保管されたそうです。その後持ち主が分かったものは返還され、残った物の内、国で保管するものが６０振と残りが全国の公立博物館へ譲渡されたそうです。廃棄されたものは大変残念ですがこのように陽の目を見たものがあるだけでも有り難いですね。
隠居さま
黎明館は島津氏の居城だった鶴丸城跡地に建てられた歴史資料センターです。鹿児島の歴史と文化を資料やミニチュアなどで分かりやすく展示したところで、刀剣は薩摩刀（特に正清、安代の蔵刀が多い）が展示されて居ります。目玉は「国宝」国宗ですが常設展示ではないのでたまーにしかお目にかかれません。刀剣コーナー以外の場所に島津義弘が朝鮮出兵の時に佩いていた「朝鮮兼光」や宝暦の木曽川治水工事で総奉行だった平田靭負の佩刀「清盈」（きよみつ：正清の初銘）が展示されております。
蔵刀は多いようですが企画展でもない限り常設展示は少ないです。

[2414 へのレス]Re: よみがえる赤羽刀

投稿者：波平 投稿日：2004/01/21(Wed) 23:21

＞薩州住無学さま
私は初めて「赤羽刀」という言葉を聞いた時、恥ずかしながら何のことかわかりませんでした。戦時中に供出されたダイヤモンド等がかつて旧大蔵省から売りに出されたことがありました。あの一粒一粒には様々な思いがこもっているのに・・・と複雑な心境になりました。赤羽刀にもその一振り一振りに込められた歴史があるはずです。各博物館の所蔵となった刀が大切に保管・展示されて日本刀の素晴らしさと技・心を伝えて欲しいものですね。

[2432] 刀剣画報。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/01/22(Thu) 22:01

京橋、○文堂さんから創刊された「刀剣画報」が届きました。
写真もカラーで大きく、しかも原寸大。
ファイルに入れて保存したくなります。
年４回発行というのが少し残念。
御覧になった方いらっしゃいますでしょうか？

[2432 へのレス]Re: 刀剣画報。

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/01/23(Fri) 18:09

私も昨日届きました。

毎年、日刀保から刊行される「重要刀剣図譜」もこのような
体裁で編集されたら、より資料価値が上がると思います。

Ａ－３のクリアファイル購入しました。

[2432 へのレス]Re: 刀剣画報。

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/01/24(Sat) 20:25

こんばんは。
私のところにも来ました。
大刀剣市の時に申し込んでいたので、楽しみに待っていたところですが、こんなに早く第一弾が来るとは思っていませんでした。

大刀剣市で見本に頂戴したものよりも、ほんの少し小さいようです。
私もさっそく１００円ショップでファイルを買ってきました。
鬼丸さんのおっしゃられるように、重要刀剣図譜もこのようにしていただくと、良いですね。

次回は、個人蔵の刀剣も、このように綺麗に画報として原寸大で撮影してもらえる企画の詳細を載せるとか。
額に入れて飾りたいですね！！

お値段はいかほどかかるのでしょう？(~_~)。

[2435] 日本刀の美

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/02/01(Sun) 20:39

徳島県立博物館で開催中の『日本刀の美』特別陳列展へ行って参りました。

たくさんの赤羽刀が展示され、中でも『太刀　銘　泰国　天文十五年八月十日』
の長さ８３．８センチの太刀が目を惹きました。
健全で、こんな海部刀は見たことがありません。
多くの人が前で立ち止まって見ておりました。

また、珍しいところでは、『彦兵衛尉於阿州作之　文禄三年八月日』の脇差がありました。これは長船の祐定が阿波にて駐鎚したというものですが、これも実物は初めて拝見しました。

全体的に今まで知らなかった阿波の刀工の刀があり、赤羽刀の中にはいろいろな意味での貴重な刀剣が眠っていたのだと、感じました。
綺麗に研ぎあがった刀剣は、見ていると気持ちの良いものですね！

刀剣展示の高さが低すぎて、腰が痛くなってきたのが難点でした。
刀剣博物館のように刀剣専門の展示室ではなく、その他の物も展示されることがある多目的な展示室なので、この高さなのでしょう。
その意味から、刀剣博物館の展示の良さが理解できました。

子供たちは戸外の広いスペースで走り回っていたので、じっくりと拝見できたことが一番良かった？!(^^)!。

[2435 へのレス]Re: 日本刀の美

投稿者：倭 士 投稿日：2004/02/02(Mon) 14:51

皆さんお久しぶりです。

真改さん郷土の展示会・・イイですねー！
未だ海部刀を見た事がないんですよー　一度観て見たいです。

私も今日の夕方から刀剣の勉強会に参加します。
これが私の刀はじめです。菊久さん鎬さんも参加されますので、
勉強会終了後の刀友新年親睦会の様子等もお知らせ出来るかと思います？
鎬さんヨロシク！！

私の投げ掛けた質問から討論が白熱して来ている様子ですが、良い事だと

思います。
でも、くれぐれも けなし合い・誹謗中傷にならない様お願い致します。

皆さんからの貴重な意見を肝に命じ、今日の鑑定会にのぞみたいと思います。

[2437] ふぐ刺し

投稿者：花散里 投稿日：2004/02/04(Wed) 22:29

冬も本番を向かえ、毎日寒い日が続いています。
また、今年は雪が多いような気がします。
そして、この季節になると「ふぐ」が食べたくなりますね(^^)
から揚げや雑炊も美味しいのですが､なんと言っても薄切りにして皿の模様を目でも楽しみながら食べる｢ふぐ刺し」が一番でしょう。
まともな「ふぐ」は高いので、そうたびたび食べるわけではないのですが、時々無性に食べたくなる時があります。
関東では「ふぐ刺し」でも、関西では「てっさ」でしょうか・・・

料理関係の本を読んでいて、刀に関係ある記事を見つけましたのでご紹介します。
【昭和十年代に、大阪堺の水野鍛錬所の鍛治師・水野定三郎（刀銘・昭範）が、ふぐ専門の刺身包丁を開発している。てっさは、板場の腕が問われる一品だが、薄く切るために包丁が一役買う。そこで水野は、九州の料亭を回り、長さ約三十三センチ、厚さ約三・五ミリのふぐ刺身包丁を考案したという。】

今度ふぐを食べる機会があった時、この話を披露してみましょうか(^^)

[2437 へのレス]Re: ふぐ刺し

投稿者：久 投稿日：2004/02/05(Thu) 01:24

初耳で勉強になりました。(^ ^) 何時も何も考えないで作っておりました。
フグ刺身包丁（本名：河豚引）は正面から見ますと柳刃包丁と形状は一緒です。が、上で花散里さんのおっしゃっているように重ねが薄く作るのも大変難しい物です。長さも７寸～１尺位が多く、板前さんは７寸と１尺と両方持っている事が多いのではないでしょうか？

関東型の刺身包丁『蛸引』がありますがこの形状は正倉院にある直刀とほぼ似ているのですが重ねは河豚引同様薄く作られています。
本来包丁も刀剣と同じように地方により形状が違っており包丁の形状、重ね、バランスなど違う物でした。今現在は物が流通しすぎておりますのでその違いは殆ど見られなくなってしまいました。

最近感じるのは北へ行けば行く程大型の包丁が好まれます。得に新潟県村上市は江戸時代から鮭の放流をしていた程鮭を食べる文化がありますので一度、村上市で開催された鮭市に包丁販売をお手伝いいたしましたが主婦のオバチャマ方が７寸、８寸もの大型出刃包丁を買ってゆく姿がありました。
プロの方でも８寸出刃はそう注文しません。この大きさになりますと重ねは１５mmになりますので重い、場所とる、研ぐのが面倒、作るのが大変、疲れる、材料を沢山使う、のにも関わらず利益が少ない、、、等大変です。

話が脱線してしまいましたが刺身包丁１つとっても地方の特色がある日本の刃物は奥が深く先代の鍛冶屋の技術には頭が上がりません。

関東の料理屋なのにも関わらず刺身を切る時に蛸引を使わず柳刃を使っている板前さんに「ここは関東なのに蛸引は使わないの？」と突っ込みますと皆固まります。

[2437 へのレス]Re: ふぐ刺し

投稿者：鎬 投稿日：2004/02/05(Thu) 08:47

ふぐの季節ですね。食するだけでなく視野を広げれば
「包丁」観察で楽しめますね。
勉強になりました。
ふぐも好きですが、すっぽんがより好きです。
さっそく包丁観察してみますね。

[2437 へのレス]Re: ふぐ刺し

投稿者：隠居 投稿日：2004/02/05(Thu) 16:39

「日本刀の鍛冶職が作った包丁」面白い話ですね。また一流の板前は大金を包丁にかけるとも聞きますからありそうな話ですね。
大阪の名だたる刃物店は意外に一流の商店街に大店舗を構えていたもので、水心子正秀の立派な彫りのある刀を陳列していました。昭和３０年ごろはこういう「刃物屋に飾っている名刀」を自転車に乗って探し回ったものです。色街の刃物屋にあると聞き、行ったところ隣のやり手婆に袖を引っ張られて困りました。一般に刀が見られなかった時代の話です。
ですが、包丁を扱う刃物屋の大店の中には、水田鍛冶の末裔とか、案外、刀に縁のある家があるもので、店主を冷やかしていると一竿子忠綱のすごい刀を奥から持ってきたこともありました。
もうウン十年前のことです。

[2437 へのレス]Re: ふぐ刺し

投稿者：平蔵 投稿日：2004/02/05(Thu) 19:15

>水田鍛冶の末裔
そういえば、大阪・天六のＫ刃物店には
「先祖は水田國重」であると書いた看板とともに
水田國重が鍛えた刀が飾られています。
水田國重といえば、天六から天満宮一体が焼け野原になった
大塩の乱の首謀者、大塩平八郎の愛刀が水田國重だったそうで
天明年間に、備中から大坂に出てきた國重がとあるお寺の前で
鍛冶屋を始めた、そのお寺が大塩平八郎の菩提寺だったと
なにかの本で読んだことがあります。

[2437 へのレス]Re: ふぐ刺し

投稿者：隠居 投稿日：2004/02/06(Fri) 18:52

平蔵さん、そうですよ。あの大店（おおだな）は水田鍛治の末裔です。あの店の分家が私の会に所属していて、最近は腕ならぬ”目”を上げておいでです。このお方も刃物屋さんです。大坂では河内守国助の末孫も阿倍野筋で研ぎ屋をしていました。研ぎといっても刀でなく鋏くらいでしたが･･･。この店も国助末裔と看板を上げていましたから「何か刀が残ってますか？」と尋ねたら「刀鍛治が刀持つもんやおまへん」とすげない返事でした。

[2437 へのレス]Re: ふぐ刺し

投稿者：内記 投稿日：2004/02/07(Sat) 02:39

東京で有名な「刃物屋さん」といえば、日本橋『Ｋ屋』さんでしょうか。
こちらも江戸時代は有名な「研ぎ屋さん」だったと聞き及んでおります。

我家には「Ｋ屋」の包丁もありますが「Ｋ屋」の『爪切り』のほうが評判が良いようです。知人へのお土産やお世話になった方へのお礼に重宝しております。500 円で本当に良い仕事をしてくれる「名品」かも知れません(^^)!

さて、包丁　→　爪切り　→　(ーー;)　　どうやって「ふぐ」に戻しましょうか　(・・?

『頻繁に包丁研ぎも、爪切りも出来ない人』とかけて『ふぐのおいしい店』ととく
　その「こころ」は・・・
『ずぼらや　さん』　(^_-)-☆

[2437 へのレス]Re: ふぐ刺し

投稿者：平蔵 投稿日：2004/02/08(Sun) 11:53

＞隠居さん
書き込みを拝見してから調べたのですが
天六界隈には２軒Ｋ刃物店があるようで
私が刀を見たのは天六駅近くなんですが
南森町駅に近い天三にあるお店のほうが
店構えが大きく有名なようですね
と言う事は、私が見たほうが分家さん？？

＞内記さん
あははは、うまい！座布団３枚！！(^o^)丿

[2445] 畳水練

投稿者：平蔵 投稿日：2004/02/08(Sun) 15:12

刀剣関係の書物を殆んど読んでいない（入門書１～２冊と図録数冊＋α）ので
こちらの過去ログも参考に一気に二十数冊買い求めてしまいました(^^ゞ
（お陰で、花山大吉をＤＶＤにしようと買う予定だったＤＶＤレコーダーは
どこぞに吹っ飛んでしまい家族の顰蹙を買っています）

届いた本の山の中からつまみ読みしてみると、
今まで正宗が刀剣界の富士山だと思っていたのですが
「日本刀　本質美に基づく研究」（山田英氏著）では評価が低く
「日本刀の近代的研究」（小泉久雄氏著）にいたっては存在自体に疑問を投げかけているのに驚きました（すいません、ホント何も知らないもので(^^ゞ）
で、つまみ読みは止めて、一から読もうとすると
　・中身が難しすぎて判らない
　・同じ日本人なのに、たかだか数十年前の本の仮名遣いや漢字が読めない
事に愕然としてしまい、とりあえず柴田光男氏の「刀剣ハンドブック」を読み始めました。
次は小笠原信夫氏の「日本刀の鑑賞基礎知識」を読もうかと楽しみにしています。

それにしても今回驚いたのは
・刀剣関係の書物の値段の高いのとすぐ絶版になる事
・古書店にもほとんど無い事
・インターネットのお陰でいながらにして専門書店から取り寄せられる事
でした。ついでに隠居さんの薦めもあり周辺にも広げようと「常山紀談」もさがしたのですが、これまた高々

２０年前の国民的文庫にも入っていたのに簡単に見つからないのに驚きました。

[2445 へのレス]Re: Swiming training on tatami

投稿者：Black monk 投稿日：2004/02/08(Sun) 18:48

So I think the Token-maniacs were classic "Otaku" people.
Most of reference books written in Japanese are full of enigma, maze and purple cipher!

[2445 へのレス]Re: 畳水練

投稿者：隠居 投稿日：2004/02/08(Sun) 19:22

平蔵さん、一度に二十数冊とは、驚きました。「本質美の日本刀」や「日本刀の近代的研究」あたりは高かったでしょう。しかしこれらは刀一振買うよりもうんと値打ちがあると思います。
刀剣趣味イコール当て鑑定ではありませんが、できれば研究会に出席されて入札して下さい。これだと思う刀工を紙に書いて試問することは、思われている以上に目を肥やします。これこそお金の掛からない奥のふかい道楽です。刀を求めるのはこういう鑑定を通じてご自分の好みが固まってからでいいのではないでしょうか。
畳水練ではありますが、剣術も竹刀剣法でつよくなるんですから・・・

[2445 へのレス]Re: 畳水練

投稿者：平蔵 投稿日：2004/02/09(Mon) 21:37

＞Black monk さん
はじめまして、最初　一生懸命苦手な英語で返事を書いていたのですが
よく考えれば、何らかの手段で日本語がおわかりだと思いますので
英語に比べれば少しは得意な日本語にてご挨拶させていただきます(^_^;)

「ＥＮＩＧＵＭＡ」とか「ＰＵＲＰＬＥ　ＣＩＰＨＥＲ」なんて文字を見ますと
刀剣書を読むのに暗号解読器（勿論解くのはエニグマやその改良型？帝国海軍の９７式欧文印字機＝コードネーム・パープル）が必要な気になってしまいますね(^^ゞ
そういったものにお世話にならずにすむよう勉強します

＞隠居さん
はい、藤代商店の日本刀工辞典も結構しました(^_^;)
でも、本当におっしゃる通りで、「匂」あるいは「映り」と書いてあっても
実際にどういったものか実物を見ないことには畳水練なので、どこかに入って
とは思うんですが、貧乏ひまなしなのとどうも敷居が高いのでなかなか踏み切れず今日に至っております(^^ゞ

[2445 へのレス]Re: 畳水練

投稿者：隠居 投稿日：2004/02/10(Tue) 06:36

平蔵さん､“匂、沸”地景”等々ありますね。これらの専門用語は「この刀のこの部分が○○」と現物で知る必要があります。畳水練だけではお手上げです。この実物教育は、刀剣研究会が初心者向けに催す講習会でやっています。
初心者講習会では、まず古刀期の備前物、山城物、大和物、相州物、美濃物の５口と、新刀の標準的な刀の６口､を手にとって見せて｢古刀五ケ伝｣｢新刀特伝｣の特徴をとことん理解させています。こうして基礎が分かりますと、次は刀博や佐野美術館で古刀新刀の名品によって「これが鎌倉期の備前長光か」等と見ておけば、いつの間にか忘れられない刀が何十本か出来てしまいます。
研究会ですが、小ぢんまりした会員の少ない支部で、例会を毎月やっているような熱心な支部長のいる支部に入会されることです。
反対に入会してダメな支部は、支部とは名ばかりで例会は年に１，２度、という不熱心な会です。これは支部に直接電話されて、確かめられることが絶対に必要で、ただ入会すればよいとして入ってしまうと後悔することになります。
東京の近辺なら、例えば埼玉には９支部もありますが、これはこの県に熱心な“好き者”ぞろいであることを物語っています。少々遠くても勉強できる面白い支部がこの中に必ずあると思います。

[2445 へのレス]Re: 畳水練

投稿者：宗正 投稿日：2004/02/10(Tue) 23:39

埼玉は、そんなに沢山の支部が有るとは知りませんでした。
東京、近郊に住んでいれば、其の気になれば、月に何回か、鑑定会に出られそうですね。田舎に住んでいる者としては、羨ましい限りです。ちなみに、私の所では、二ヶ月に一度です。

[2445 へのレス]Re: 畳水練

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/02/16(Mon) 21:00

私は昨年、隠居さんのご推薦の『日本刀鑑定要訣』を手に入れることができたのですが、貴重すぎて、手袋をはめて読んでおります。ほんまに。
破損すれば､こんどはいつ手に入るかわかったもんじゃありませんし､しかも､超高価です！(>_<)。

そして、今でも思い出になっている本は、同じく『柴田光男氏の「刀剣ハンドブック」』です。
この本は、本屋さんで見た最初の刀剣に関する本で、初めて刀を知ろうとした時に出会った記念すべき本でした。
その後、たくさんの情報源から、古書に名著がたくさんあることを知り、買い求めました。
買った本は大事にして、大切に読んでいます。

[2451] 春一番

投稿者：波平 投稿日：2004/02/15(Sun) 21:29

春一番が先日は吹き荒れて日一日と暖かさが増してまいりました。刀友諸兄にはお元気でお過ごしのことと存じます。今年は花粉飛散も少ないとのこと。ホッとしております。今日は散歩がてら代々木の刀博で新春名刀展に行き一時を過ごしてまいりました。展示されていた３７点は後水尾天皇御料の延吉をはじめとして正宗・貞宗等々の伝来品ばかり。中でも肥後人吉相良家伝来の光忠はガラスを通って光り輝いて見えました。上杉謙信の愛刀であった不識庵長光も拝見したのは初めてです。素晴らしい展示の数々でした。又、近所の公立図書館に刀剣関係のほんが数冊あるのを発見しました。学芸員の方も大変に親切で、他の図書館の貸し出しもチェックしてくださり、取り寄せて連絡もしていただけるとのことで感激した一日でした。

[2451 へのレス]Re: 春一番

投稿者：隠居 投稿日：2004/02/16(Mon) 09:21

波平さん、いい一日でしたね。光忠の絢爛豪華さは格別です。また長光の静かな落ち着きもいいでしょう。東京近辺のお方は恵まれていますからしっかりご活用下さい。

[2451 へのレス]Re: 春一番

投稿者：波平 投稿日：2004/02/16(Mon) 09:55

はい。ご隠居さま、楽しい一日でした。おっしゃるように光忠の輝きは遠くから目に飛び込んでくるようで本当に絢爛という表現がピッタリでした。信長が大変に好んだとのことですが「安土桃山時代」の気風に接した気がします。謙信は長刀を好んだとのことですが、不識庵（＝謙信）長光は以外に短い（それでも江戸期の定寸以上）と感じましたが品格があり、愛刀にはそれぞれの好みから性格が伺えるものと改めて思いました。これだけの数の名品を前にするとややうろたえ気味になり、鑑賞後は心地よい疲れを感じました。

[2451 へのレス]Re: 春一番

投稿者：隠居 投稿日：2004/02/16(Mon) 12:22

Ａクラスの名刀を見た後は興奮して気が高ぶり、疲れます。そしてそれを頭の中で何度も反芻しています。
長光の良さは静かな落ち着きと鉄質感であり、凛とした品格の高さは日本刀中の最右翼かと思います。光忠と長光１本やると云われると困りますね。

[2451 へのレス]Re: 春一番

投稿者：波平 投稿日：2004/02/16(Mon) 18:40

ご隠居さま。光忠と長光を一本やると云われたら・・・考えてもみませんでしたが手にとらせていただく機会があったらと思うだけでも迷うことでしょう。刀の見どころについてですが、人それぞれであると感じたことが先日ございました。紹介してくださる方があって所蔵の短刀を研師さんのもとへ持参しました。１月の刀剣美術に和泉守国貞の銘について考察されていた方です。大変丁寧に見た後、いろいろと問題点を指摘してくださいました。自分のものでありながらいかにいい加減な鑑賞をしていたのかと冷や汗がでました。私が気になっている点を訊ね、どのような方針で研ぎをするかを話してくださいました。この後、ご自身の愛刀である「伊賀守金道」をお持ちになり鎬の稜線や重ねの様子、見どころを話して「われわれ研ぎ師は刀の健全さに目がいくのです。この刀はおそらく鍛造されてから今日まで下地の研ぎ直しはほとんどされていないでしょう」と云われました。なるほど立場立場によって気になる所は違うものと思いました。刀博の新春名刀展は３月２８日まで開催されていますので、会期中にもう一度足を運ぼうかと思っています。

[2451 へのレス]Re: 春一番

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/02/16(Mon) 20:52

徳島でも春一番の風は凄かったですよ。
急いで窓を閉めて、洗濯物を取り入れました。土埃がひどくて、目も開けていられない状態でした。
子供と遊ぼうとした矢先でしたので、子供たちもがっくりするやら、風の強さに驚くやらでした。
^_^;。

ところで、素晴らしい刀剣をご覧になられたようで、いつもの如く『うらましい』ですね。
私は一度も光忠も長光も手にとって拝見したことがありません。
どんな刀なんでしょう。
もちろん、ガラス越しは何度かありますが・・・。

現代でも有名人で光忠コレクターとして知られている方がいるようですよ。
おじゃましたい～。

[2451 へのレス]Re: 春一番

投稿者：波平 投稿日：2004/02/16(Mon) 22:41

真改さま。お久しぶりです。そうですか徳島の春一番も大変だったようですね。お子様達もせっかくの楽しみを奪われ残念でした。

わたくしもガラス越しの鑑賞でしたが光忠は本当に光り輝いていました。しいてそれに近い輝き

はと云えば 37 番目最後に展示されていた源清麿でしたが(少し無茶な比較ですね（＾＾；）)品格のある姿と強烈な輝きは忘れられません。現代のコレクターはさしずめ「今信長」というところですね。勤め人の私にはとても無理な話ですが一度手にとって拝見したいものです。

[2459] メバル釣り

投稿者：菊久 投稿日：2004/02/17(Tue) 08:43

刀剣とは関係のない話題ですが、以前にココで釣りの話が出ていたので UP します。
昨日、釣友と伊勢・鳥羽へ「メバル釣り」に出かけました。
春一番は過ぎたとは云え、沖では風が強くて魚のアタリが取りづらく、思ったほどの釣果は出なかったものの、家族で食する分には充分で、本命のメバル・アジ・ガシラ・ベラ・鯛に似た魚で何という魚名かわかりませんが、まさしく五目釣り。
帰ってからは、夕飯に間にあわせようと、ウロコを取ったり、内臓を出したりでたっぷり 2 時間近く要したあと、調理に移り、夕食は「メバルとアジの刺身」「メバル唐揚げ」「メバル塩焼き」とさかなだらけ。

しかし、釣りと調理するのは好きなのですが、食するのはダメで私だけ焼き鳥・・・。

[2459 へのレス]Re: メバル釣り

投稿者：花散里 投稿日：2004/02/18(Wed) 10:42

釣りをする方は、意外と魚を食べることができない方が多いですね。
ブラック・バス釣りのように、キャッチ アンド リリースが当たり前のスポーツフィッシングも人気ですしね。

私は魚が好きで、どんな魚でも食べられない物は無いのですが、自分が釣った魚だけは食べられません(^_^;)
針に掛かった後、魚がどのような動きをして、自分と魚がどのようなやり取りをしたかを、まざまざと思い出してどうにも箸を付けられなくなってしまいます。
かと言って、釣った魚を持って帰れば家族が喜びますので、リリースはしませんけどね(^^)
春一番も吹き、のんびりと釣り糸を垂れる季節が、またやってきますね(^^)

[2459 へのレス]Re: メバル釣り

投稿者：久 投稿日：2004/02/18(Wed) 18:38

釣りにはハマらん！と思っていた自分ですが悪友？の手引きによりどっぷりと釣りの魅力にハマってしまいまた、それを楽しんでいます。昨年は鱸釣りをメインにしておりました。つれない時は河口湾内でハゼ釣りに変更してなんとか手ぶら帰りをふせいでおりました。
　新潟県では来月には鰆のシーズン到来です。（釣りを楽しむと言うよりタンパク質確保。）

[2459 へのレス]Re: メバル釣り

投稿者：菊久 投稿日：2004/02/19(Thu) 06:48

花散里さんへ
私も、釣り上げた魚はリリース致しません。持ち帰り、調理をして食してもらう。これが「魚釣り」だというのが私の魚釣りに対しての考えというか、姿勢かナ。
しかし、近頃はＢバスやら外来魚を近くの湖や池に放す人がいるらしく、日本の湖沼の生態系が変わってきました。私としては、非常に悲しく思います。

久さんへ
お久しぶりで～す。
釣りって、ハマるでしょ！
「(釣りを楽しむと言うよりタンパク質確保。)」
(^o^)久さんらしいご発言ですネ。
機会があれば、そちらの方でも釣りをしたいなぁ～、渓流のイワナも狙ってみたいし・・・。

[2462] 他愛の無い話なんですが(;^_^A

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/02/18(Wed) 21:46

先日ネットオークションで刀剣関係の本を落札しまして、本日その本が無事に届きました。
で、パラパラと本の中に目を通していたら…途中、一枚の切符が挿んでありました。
多分持ち主が栞代わりに挿んだ物か…？
で、それが営団地下鉄丸の内線、御茶ノ水駅からの１２０円分の乗車切符なんですよ。
しかもその日付が「６２－２－１８」。１７年前の今日じゃないですか！
何か…偶然にしては…出来すぎ。昭和６２年の今日、地下鉄御茶ノ水駅から乗車した誰かさんもこの刀の本を読んでいたんですね。

…でも切符無しでどうやって降りたんだろ？定期を使っていた？
他愛も無い話でした(;^_^A

先日、日刀保の東信支部に入会しました(#^▽^#)
今月２８日に支部開設第１回目の鑑賞会が上田市で開かれます。
勿論行ってきま～す！

[2462 へのレス]Re: 他愛の無い話なんですが(;^_^A

投稿者：花散里 投稿日：2004/02/19(Thu) 08:29

他愛の無い話どころか、運命的・神秘的な「何か」を感じますね。

１７年も前の同じ日に、どなたかが同じ本を読んでいた・・・まるで、サスペンス小説の書き出しのようではないですか(^^)

[2462 へのレス]Re: 他愛の無い話なんですが(;^_^A

投稿者：波平 投稿日：2004/02/19(Thu) 08:56

こてつさん>
きっとその本はこてつさんの所にくる運命だったのですよ。古本を購入すると栞がわりに葉書やら入場券やらがはさんであることがよくありますね。それも古書の楽しみかとも思います。丸の内線といえば赤い車体に波型の線が入り、つり皮がスプリング式の旧タイプがなつかしいです。地下鉄というと私は平成６年の３月２０日のサリン事件当日、御茶ノ水の病院に検査のために出かけた今は亡き父を心配したことをすぐに思い出します。

[2462 へのレス]Re: 他愛の無い話なんですが(;^_^A

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/02/19(Thu) 13:53

＞花散里さん。
実はもう一つ挿んであったモノがありまして…「つまようじ」でした。
…食後だったのかなぁ…(;^_^A
こちらの方は処分させていただきまして、切符の方は「栞」代わりに使い続けています。

＞波平さん。
僕は巣鴨に住んだ後、「茗荷谷」に２年ほど住んでいました。
神田の学校に通っていたため御茶ノ水駅はよく利用しました。
聖橋から湯島聖堂、神田明神辺りの風情が好きです。
御茶ノ水界隈も大きなビルが随分増えました…。
歩いている学生の気質もかなり変わったようです。

[2462 へのレス]Re: 他愛の無い話なんですが(;^_^A

投稿者：波平 投稿日：2004/02/19(Thu) 17:36

＞こてつさん
聖橋～湯島聖堂といえば「さだまさし」の名曲檸檬の舞台となったあたりですね。湯島聖堂には斯文会があり論語の素読や味読の講義が開かれています。私もあの周辺の雰囲気が大好きです。

[2462 へのレス]Re: 他愛の無い話なんですが(;^_^A

投稿者：内記 投稿日：2004/02/19(Thu) 19:37

＞こてつ。さん 、 波平さん。

神田明神下といえば、銭形の平次親分・・・とつなげるべきでしょうが、
同じ食いつくなら美味しいものもほうが　"^_^"
明神下の『神○川』の『鰻づくし懐石』一万五千円也！
仕事のご相伴でなく、今度はお小遣いで食べてみたいものです　(-_-;)

ローカルな話題で恐縮ですが、少し須田町方面に歩くと懐かしい『交通博物館』がありますが、閉鎖が決まったそうですね。神田・御茶ノ水どんどん変わってしまうと「学生時代」が・・・
ちょっとセンチになりますね。

[2462 へのレス]Re: 他愛の無い話なんですが(;^_^A

投稿者：波平　投稿日：2004/02/19(Thu) 22:05

＞内記さん
「古式蕎麦」は湯島天神の近くでした。失礼いたしました m(_ _)m
交通博物館・・・なんて懐かしい所でしょう。小学校に入ったばかりの私は模型の「O ゲージ」の運転に夢中になり閉館時間をすぎて係の方に「坊やまた来てね」と云われたのが昨日のようです。
あの場所が旧萬世橋の駅の跡とはあまり知られていませんね。戦前有名だった「広瀬中佐と杉野兵曹長の銅像」も博物館の敷地内にあったとものの本に書いてありました。神田の藪蕎麦や池波正太郎がよく通った甘味処などすぐ近くで昔の東京の雰囲気が残っています。
内記さん、「神○川」の鰻、おいしそうですが・・・次回の大刀剣市までに積み立て貯金をして皆様でオフ会というのはどうでしょうか(^o^)
神田には刀剣店も近くにあると思いますが・・・・

[2462 へのレス]Re: 他愛の無い話なんですが(;^_^A

投稿者：内記　投稿日：2004/02/20(Fri) 09:29

＞波平さん
秋の大刀剣市までならばなんとか積み立ても可能かと・・・　(ーー;)
すると今年の幹事は　波平さん？　(^_-)-☆

＞花散里さん
と、とんとん拍子に進んでおり（？）ますので、今年の秋は少し「楽」をしていただきたく存じます　!(^^)!

ところでお二方！！
阿佐ヶ谷の某所でばったり「初顔合わせ」とか
今度は必ず呼んでくださいませ。15 分で駆けつけます。ハイ　"^_^"

[2462 へのレス]Re: 他愛の無い話なんですが(;^_^A

投稿者：波平 投稿日：2004/02/20(Fri) 18:52

＞内記さん
15 分・・・ということは意外にお近くにお住まいなのですね。機会があれば是非ご連絡をさしあげますので楽しみにしております。大刀剣市オフ会幹事などという大役は拙者にはとてもとても・・・まずはプチオフ会程度からいかがでしょうか？

＞花散里さん、先日はありがとうございました。偶然でしたがこれをご縁に以後よろしくお願いいたします。m(_ _)m

[2462 へのレス]Re: 他愛の無い話なんですが(;^_^A

投稿者：花散里 投稿日：2004/02/21(Sat) 15:55

＞波平さん
こちらこそ、ありがとうございました。
知己が増えるのは、嬉しいものです。掲示板上でも充分楽しいのですが、直接お会いすれば一層ですね。
これからも、よろしくお願いします。

[2472] 追善供養名品鑑賞会

投稿者：波平 投稿日：2004/02/20(Fri) 19:54

いやはや本日は先日にもまして心地よく疲れた一日となりました。佐藤寒山博士の追善供養名品鑑賞会にでかけてまいりました。国宝 2 振を含む 30 振の名品の数々でしたがまさに綺羅星のごとくで・・とりあえずいくつかご紹介をいたします。

太刀(国宝)　銘　国行（来）（明石松平家伝来）
刀　額銘　国俊（一橋家伝来）
太刀　銘　来国俊　元亨元年十二月日（上杉家伝来）
太刀(国宝)　銘　延吉（後水尾天皇御料）
刀　銘　兼元
脇差　銘　羽州住人月山近則（谷干城遺愛）
短刀　銘　出羽国住人月山近則（山内家伝采）
刀　無銘　伝貞宗（鷹司家伝来）
脇差　銘　相模国住人広光（因州池田家伝来）
刀　　銘　村正（有栖川宮家伝采）
太刀　銘　信房作（因州池田家伝来）

太刀　銘　宗吉
太刀　銘　助吉（福岡一文字）
脇差　銘　備前国長船兼光
太刀　銘　助国（伊藤博文遺愛）

私は 70 番の札をいただきましたが出口から出てくる皆様の上気したようなそして疲れたようなお顔をご理解いただけると思います。興奮をさますべくなじみのお店に行きお茶と果物をいただいて帰宅いたしました。

国宝を手にとって拝見したのは素晴らしい経験でしたが正直何が何やらわからぬうちに時間が過ぎてしまいました。ただ同名の作者でも見たこともないような素晴らしい作品があることがよ～くわかりました。

＞ご隠居さま
先日のお言葉とおりに東京在住は恵まれていることを痛感いたしました。

[2472 へのレス]Re: 追善供養名品鑑賞会

投稿者：真改２００４　投稿日：2004/02/20(Fri) 22:27

感想の述べようもないような名刀ばかりですね！

これだけで多分、私などは一生かかっても見れないものばかりです。
数・質ともに東京に居るということは、最高と感じます。
それぞれ、在住地の利点を生かして刀剣を楽しみましょう。

今日も一冊、通販誌が届きましたが、地方にいる私にとって今のところ、冊子の届くのが一番の楽しみです。
あと１０年くらいして、子離れした頃には存分に上京したいと思います。
１０年くらいあっと言う間。このごろそれを特に感じます。

[2472 へのレス]Re: 追善供養名品鑑賞会

投稿者：波平　投稿日：2004/02/20(Fri) 23:38

＞真改さん
今日は本当に素晴らしい一日でしたがそれだけに自分の不勉強を恥じた一日でもありました。入り口でパンフレットをいただき、開いた時の驚き！一所懸命に各特徴を思い出しながら順番を待ちました。それでもボーッとした眼には何が何やら・・・なさけない。最近の私はわずかばかり手元にある本を毎日読んでおります。今日の鑑賞刀が何かは事前には知らなかったので印象の強いうちに本と照らしあわせておこうと思います。

刀(特重)　銘　井上真改(菊紋)延宝二二(四)年八月日

も拝見いたしました。
全てが素晴らしかったのは勿論ですが何よりもその健全さには驚きました。太刀　宗吉や助国はいかに大切にされてきたかが窺えました。あのズシリとした感触は忘れられるものではありません。
真改さんはじめ折々に皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

[2472 へのレス]Re: 追善供養名品鑑賞会

投稿者：内記 投稿日：2004/02/21(Sat) 19:31

＞波平さん

佐藤寒山博士の追善供養名品鑑賞会
＞太刀(国宝)　銘　国行（来）（明石松平家伝来）
は刀剣博物館「新春名刀展」に展示中の『国行（来)』二尺五寸三分でしょうか？
『刀博』入り口付近に『国宝「(当麻）国行」阿部家伝来品』と並べて展示してあったあのうぶ茎の見事な太刀姿の「来」でしょうか・・・　(ーー;)

そうですか、・・・。お手に・・　お取りに・・　なっ・た。　(-_-;)

先日、ガラス越しに刀博で拝見した私は、その気品、風格にしばし時を忘れてしまいました。
波平さんは備前の「光忠」と「長光」がお目に留まられたとのご報告でしたが、私はこの「国行（来)」と
偶然ですが同上「追善供養名品鑑賞会」中の
＞『太刀(国宝)銘　延吉（後水尾天皇御料)』の素晴らしい「地鉄」が印象に残りました。
印象に残った２口が「鑑賞会」に含まれていたのも何かのご縁かと思い投稿させていただきました。

同じ「東京在住」ながら私は「ため息」で終り、波平さんは「ズシリとした感覚」を」しっかり記憶に留めておられます。
姿勢の違いというか心構えの違いはこのような経験の相違となって現れるのだなあと赤面の至り。
お恥ずかしい限りです　(-_-;)　反省。

[2472 へのレス]Re: 追善供養名品鑑賞会

投稿者：波平 投稿日：2004/02/21(Sat) 21:41

＞内記さん
はい。おっしゃるようにあの国宝の国行(来)二尺五寸三分です。まさか私もこの手にとれるとは思っていませんでした。鑑刀会の一番目に並んでいましたので頭がボーッとしているうちに時間が来てしまいました。(^^;)
『太刀(国宝)銘　延吉（後水尾天皇御料)』は新春名刀展で拝見したときは太刀そのものの素晴らしさと太刀拵、錦で「延吉」と織りだした袋一式が揃っていることにまず興味をひかれましたが・・・

やはり手に取るということはかくも違うものなのかと・・・(内記さんうらやましがらせるだけでごめんなさい m(_ _)m)

「魅入られる」という言葉がまさにピッタリでした。

会場は常の雰囲気とは異なり「まず手を洗ってください」「ネクタイが触れないように上着のボタンをかけてください」そして要所に係の方がいらっしゃるというように厳重を極めていました(当然といえば当然かも・・)

[2472 へのレス]Re: 追善供養名品鑑賞会

投稿者：swordsmith 投稿日：2004/02/22(Sun) 05:22

当日私もスタッフとして会場内で椅子に腰掛け、鑑賞会が恙無く終るのを見ておりました。波平さんにも気づいたのですが、お声を掛けられず失礼致しました。

鑑賞会終了間際は人も少なく、国宝の前にも人がいないこともあり、数分に渡りゆっくり観る機会もあったようです。またこのような機会がある際には万難を排し、ご参加される事をお勧めいたします。

[2472 へのレス]Re: 追善供養名品鑑賞会

投稿者：隠居 投稿日：2004/02/22(Sun) 06:43

波平さん、村正の大名家伝来物は珍しくまして短刀でなく刀は珍品ですね。大きくうねる互の目でしたか？　それとも直刃？　皆焼でしたか？　多分一この村正は一生忘れられませんよ。

[2472 へのレス]Re: 追善供養名品鑑賞会

投稿者：波平 投稿日：2004/02/22(Sun) 19:58

＞ご隠居さま
お尋ねの村正は「長二尺０五分半」のもので互の目と湾れがまじり、箱刃に見えるように刃をひろっているようでしたが表裏も揃わず村正としては掟とかなり違うものでした。伝来が「有栖川宮家」でしたので明治維新の時、東征大総督であったのと関係があるのではと感じました。

＞swordsmith さん
気がつかずに大変失礼いたしました。入り口で時間差の二アミスだったようで気付いていれば見どころを教えていただけたのにと大変残念でした。

＞内記さん
本日はありがとうございました。以後よろしくお見知りおき願います。

金曜日に拝見した刀の感触を確認するために本日は代々木の刀博でガラス越しに見学をしてきた帰りでした。国行(来)はやはり素晴らしかったです。延吉の乱れ映り・・・もう一度手に持ちたい・・・デス。

[2472 へのレス]Re: 追善供養名品鑑賞会

投稿者：内記 投稿日：2004/02/22(Sun) 22:01

＞波平さん
今日は某所で私とバッタリでしたね。いつお会いできるのか大変心待ちにしておりました。楽しいひと時を過ごさせて頂き有難うございました。あらためて今後とも宜しくお願いいたします。

波平さんは刀博に行かれて今日は『復習』の日とされたのですね。!(^^)!
それに比べ私は朝から若い連中に混じって「棒振り」の稽古を楽しんでおりました。まるで童話の『アリとキリギリス』のようです・・・ (>_<)

しかし、国宝を我々一般人が手に取れるチャンスは今後何回くらいあるのかと考えると、返す返すも自分の「不覚」を口惜しく忸怩たる思いです。
波平さんの刀剣に対する真摯な取り組み方、頭が下がります。
今後ともご指導お願い致します。 (^_^;)

[2472 へのレス]Re: 追善供養名品鑑賞会

投稿者：波平 投稿日：2004/02/23(Mon) 09:38

＞内記さん
こちらこそお会いできてうれしかったです。健全なる精神は健全なる云々と申します。心身の鍛錬に励んでいる内記さんの姿こそ模範となるものです。
少しお話を伺っただけで知識の深さに私など及ぶべくもないことは明らかです。以後よろしくお願いいたします。

[2474] 山中貞則氏訃報

投稿者：薩州住無学 投稿日：2004/02/20(Fri) 22:45

衆議院議員で財団法人「日本美術刀剣保存協会」会長である山中貞則氏がお亡くなりになりました。両議院で最高齢にも関わらず国政に多大なる影響力をお持ちになり、私が住する鹿児島においても「地方から国政を」と常に地元のことを考えて活動された政治家でした。日本刀に関しても戦後に接収された刀剣類を何とか守り保存したいと「接収刀剣類の処理に関する法律」の制定に御尽力され、現在、赤羽刀と呼ばれ国民的文化遺産として保存されて居ります。御冥福をお祈り致します。

[2474 へのレス]Re: 山中貞則氏訃報

投稿者：波平 投稿日：2004/02/20(Fri) 23:42

佐藤寒山博士二十七回忌の追善供養・偲ぶ会が行われた今日。山中氏の訃報に接するとは何という日なのでしょうか。心より氏のご冥福をお祈り申し上げます。

[2474 へのレス]Re: 山中貞則氏訃報

投稿者：花散里 投稿日：2004/02/21(Sat) 15:57

そうですか、山中氏がお亡くなりになりましたか・・・
テレビの中でしかお顔を拝見したことがありませんが、ご冥福をお祈りします。

[2486] 東信支部鑑賞会。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/02/28(Sat) 20:01

昨秋出来ました東信支部の鑑賞会に行って来ました。
約３０人ほどの方が参加されていました。

地元からの出品刀が７口。本部からお持ちいただいたのが５口。
一本入札刀が２口。合計１４口。

地元からは
刀・藤島（無銘）
刀・備前国住長船祐定
脇・洛陽住藤原国広　慶長十五年八月日
刀・出羽大掾藤原（国路）以下切り
刀・和泉守国貞　慶安二年二月日
脇・津軽主為信相州綱廣呼下作之
刀・造信陽士真雄時年六十三　慶応二年八月日
刀・信陽士直心斎兼虎　慶応元年

本部から
太刀・来国光（重刀）
太刀・長光（特重）
短・備州長船住景光　元亨二年八月八日
刀・兼元（孫六）
脇・住東叡山忍岡辺　長曾祢興里入道虎徹　延宝五年二月吉日

一本入札は…やっぱり難しいです(;^_^A
正解は「備前国住長船二郎左衛門尉藤原勝光」の脇差と「左行秀」の刀でした。
「行秀」は全く分かりませんでした…。
「勝光」は「祐定」と入れてしまいました。
一本は「イヤ」、辛うじてもう一本が「同然」。

朝からお腹壊していて体調悪かったんですが参加してみて良かったです。
次回は７月です。今度は写真を撮ってきたいですね。

[2486 へのレス]Re: 東信支部鑑賞会。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/02/28(Sat) 20:02

訂正→地元からの出品刀は８口でした。m(__ __ ;)m

[2486 へのレス]Re: 東信支部鑑賞会。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/02/28(Sat) 21:03

再び訂正→次回は４月でした。m(__ __ ;)m

[2486 へのレス]Re: 東信支部鑑賞会。

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/02/28(Sat) 22:20

こてつさん。良い支部に恵まれましたね！
２月に鑑賞会をして、４月にもうあるんですね。
徳島なんかは、年に一度ですよ。
しかも､勉強会と称しておこなっている刀剣美術誌の誌上鑑定を題材にした会が月に一回あるだけ､それも金曜日の１８時から。
渋滞に巻き込まれて、そんな時間に行けるわけないし・・・。

本部会費は刀剣美術誌購読のため、支部会費は年に一度の特別鑑賞会のために。
それと、支部の方と年に一度だけ挨拶が出来る機会を私的に持てるから。

さて、愚痴はこれくらいにして、積極的な行動による鑑賞の機会を自ら作るように努力するようにします。(~_~)。

また楽しいレポートを待っております。m(__)m。

[2486 へのレス]Re: 東信支部鑑賞会。

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/02/28(Sat) 22:49

こてつさん　ご無沙汰です。
さすがに長野県、「真雄」に「兼虎」ですか。清麿と縁故の深い刀工
ですね。お国柄を感じます。
私のとこではやはり、「義助」や「助宗」、「末相州」が
多いですね。
ところで講師の先生はどなたがお越しになったのでしょうか？
また、どんな講話をなさったのかも興味があります。
それではまた、４月の鑑賞会結果をお待ちしております。

[2486 へのレス]Re: 東信支部鑑賞会。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/02/28(Sat) 23:20

＞真改２００４さん。
東京を離れてみて刀に接する機会はグンと減りました。
本当に自分から進んで仲間を増やしたり、会に参加したりして勉強する機会を増やさないとダメですね。今思うと東京はヨカッタ…。
いつか話題になりました鑑賞する際の「マスク」と「手袋」。
手袋は支部が用意していました。一応僕もマイ手袋と「マスク」を持参♪
でもマスクを付けられる方はやはり少ないです。
長野、永○堂の若い店員の方は着用されてました。
刀を前にお喋りなさる方も残念ながら若干いらっしゃいましたね。

＞鬼丸さん。
講師には主任学芸員の小林さんに来ていただきました。
まだ皆さんの実力（？）が分からないため、初心者口座も開かれました。
先生のお話も大変丁寧で、とうとう時間が足りなくなり、ご説明いただけたのは本部出品刀のみになってしまったのは残念でした。

地元出品の「和泉守国貞」は銘振りは親国でしたが上身の出来は真改のようでした。「貞」の銘振りなど見るとやはり代銘代作かも…？
夕方５時半ころから懇親会。いつもなら必ず酒席には参加するんですが…お腹の調子が悪かったので今回は残念ながらパス…(ノ＿・、)
あと気が付いたことが一つ。
永山光幹氏の「刀剣鑑定読本」を持参されてる方が三名ほどいらっしゃいました。他の方もそれぞれ何かしら本を持参されてましたね。

みなさん、どんな本を持参されていますか？

[2486 へのレス]Re: 東信支部鑑賞会。

投稿者：隠居 投稿日：2004/02/29(Sun) 14:59

こてつさん、一本入札に参加されたのはいいことでした。二本の中一本同然ならご立派です。行秀にイヤということは、新々刀とみて正秀にも入れなかった、ということですか？行秀は土佐ですが江戸の正秀門なら誰でも同然でしたので惜しかったですね。平肉がついて大切先、中直刃太足入りというのが見所なんですが、出来が違っていましたか？
５口の通常の鑑定刀は、基本的な刀ですから、ベテランの方にはやさしかったでしょう。
ぜひ頑張ってください。応援します。

[2486 へのレス]Re: 東信支部鑑賞会。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/02/29(Sun) 20:09

＞隠居さん。
「行秀」は時代から間違えていました…(;^_^A
当てられた方がお２人いらっしゃいました。
他に「清人」「信秀」「国路」「国広」という入札があったようです。
出来は隠居さんの仰るとおりの大切っ先。元幅あり先幅少し落ち地鉄よく詰む。
直調で浅く湾れて刃中沸え付き匂い深い出来。足は目立ちませんでした。
行秀と聞くとついつい「柾気」を捜してしまうんですが、殆んど見えませんでした。
…外してから色々と反省点が出てきますね。
同じ間違いをしないよう頑張りたいです(´▽｀)ゞ

[2486 へのレス]Re: 東信支部鑑賞会。

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/02/29(Sun) 20:54

みなさん、どんな本を持参されていますか？
＞これなんですが、数年前までは皆さん『古刀新刀　刀工作風事典』を持参されておりました。
私が知った頃はすでに絶版でしたので、私は『刀剣鑑定読本』を持っていってました。

今は、日本刀鑑定要訣を持っていくようにしています。

[2486 へのレス]Re: 東信支部鑑賞会。

投稿者：隠居 投稿日：2004/03/01(Mon) 08:54

真改さん、鑑定要訣はたしかに良い本ですが、鑑定会での「必携本」的な使い方としては如何でし

ょう。じゃあ何がいいかとなると、むつかしいですね。
永山光幹氏の「読本」は本阿弥流の仕分け方をしていますから、詳しいようで却って分かり難い点がないでしょうか。古刀五ケ国（伝）新刀新々刀六ケ国で整理した「刀剣鑑定法」（犬塚徳太郎著）が分かりやすいのですが、古書店にないでしょうし、昔のように借りてきて要所をコピーするしかないですかな。
それか「鑑定手控え」としたものを自作されては如何でしょう。

[2496] 展示会のお知らせ！！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/03/03(Wed) 15:26<HOME>

「入魂の芸術・日本刀展」の、ご案内をさせて頂きます。

場所　大丸心斎橋店・南館８階
期間　３月３日～９日まで
時間　午前１０時～午後８時まで（最終日は午後４時まで）

関西で老舗のＹ刀剣店が主催し、年に一度・春に行われております。
刀剣に興味がある方、刀屋は敷居が高いと言われる方、気軽に拝見
出来ますよ！

関西在住の方、是非この機会に一度・・・
勿論、観るだけなら無料で～す。

[2496 へのレス]Re: 展示会のお知らせ！！

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/03/03(Wed) 21:36

こんにちは、倭士さん。
小諸でも展示会があります。

第１０回　武士（もののふ）の表道具展
　３月７日・８日　１０時～１８時３０分
　小諸グランドキャッスルホテル　２階　弥生の間
　　しなの鉄道小諸駅懐古園口

こちらは長野市にある永○堂さんの展示会です。
都市部で開かれる展示会に比べるとスケールはやや負けますが、地元長野の刀工の作品が必ず並びます。
近県、お近くにお住まいの方は是非…。
こちらも観るだけならタダです(＃^▽^＃)！

[2496 へのレス]Re: 展示会のお知らせ！！

投稿者：平蔵 投稿日：2004/03/04(Thu) 22:22

倭士さんはじめまして

友人からも聞いていたので本日仕事を速攻で片付け行ってきました。
平日の１８時半過ぎということで人は少なく見やすかったです。

へっぽこ初心者の私には何がなにやらわかりませんでしたが(^^ゞ
寒山氏の鞘書きで郷則重と書かれていた無銘古宇多の地肌が大変面白く
見とれてしまいました。
拵では、鐺の金具で木賊を模した物が鞘の三分の一ほど迄も有り
その木賊の茂みから飛び出した兎の飾りが鞘の中ほどにある脇差の拵が
兎の様子が愛らしくてとても気に入りました。

大変お粗末な感想ですがとりあえず口火を切らせていただきました(^_^;)
あ、それから夜は最終日を除いて１９時半までのようです。

それにしても、いくら平日とはいえ南館はお客さんが少ない。
店員さんの方が多分多かった気が…
他人事ながら、この人々の人件費どうやって出るんだろう？と心配になりました
世の趨勢とはいえあれで２０時まで開ける意味があるんだろうか…

[2496 へのレス]Re: 展示会のお知らせ！！

投稿者：隠居 投稿日：2004/03/05(Fri) 19:00

倭士さん、
おおきに、友人に知らせましたが、Ｙ店からそれぞれ案内があったらしく、皆さん初日に行ったようです。古研ぎの康光太刀と堀川国儔が印象に残ったということでした。

平蔵さん
木賊あしらいの古鞘に目を止められるとはさすがですね。中々昔の拵は乙でしょう。

[2496 へのレス]Re: 展示会のお知らせ！！

投稿者：刀剣ビギナー 投稿日：2004/03/08(Mon) 07:22

倭士様の情報で 大丸へ行って参りました。
木賊あしらいの古鞘・・面白いですねぇ どんなお洒落な武士が 差していたのでしょうかねぇ（も

しかして昔のヤンキー？）
自分は 越中国 古宇多（太刀拵え）が とても惹かれました。
しかし鎧兜も 家が広ければと思いながら よだれを垂らし見てました。

[2496 へのレス]Re: 展示会のお知らせ！！

投稿者：鎬 投稿日：2004/03/08(Mon) 20:18

最終日すべりこみ（残り時間 30 分）で展示会に行くことができました。
Ｙ店主が説明くださり、倭士さんにも駆けつけてもらっての
鑑賞で十二分に楽しませて戴きました。
「とんぼの兜」が印象的でしたね。

[2496 へのレス]Re: 展示会のお知らせ！！

投稿者：菊久 投稿日：2004/03/09(Tue) 08:31

昨日、私も行ってました。
時間はお昼過ぎぐらいからの入場でしたが、ひょっとして顔は知らねど、お会いした方がいらっしゃったかも・・・。
私は「無銘・大宮」が気になって帰って来ました。

鎬さん、
次回は、ご一緒に夕食を取りたいですネ。
和歌山行きの件は、倭士さんからお聞きしましたか？
ご一緒できることを楽しみにしています。

[2496 へのレス]Re: 展示会のお知らせ！！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/03/09(Tue) 16:24

皆様、多くの書き込みありがとう御座います。

私も先日行って参りました。
欲しい品は沢山ありましたが、手元不如意に付き何も買えませんでした・・・

関西在住の皆さん、何かの機会に是非一度お会いしたいですね！！
出来れば、良き刀友になって下さ～い。

[2500] 富山県支部鑑賞会

投稿者：越中国住人 投稿日：2004/03/05(Fri) 23:58

富山県支部の鑑賞会が、２月１４日に開催されました。鑑賞刀は以下の５口です。

太刀　　銘　定利　　（綾小路）特重
短刀　　銘　宇多国久　　重要
　　応永七年十二月日
太刀　　銘　高□　（高包）　（古備前）重要
短刀　　銘　宇多国清　　重要
短刀　　銘　越前国下坂貞次

今回の鑑賞刀の中では、古備前高包が一番好きでした。地刃が冴えて明るくこの時代の作品としては大変健全な作品です。

三本入札の成績は、一札めで当り１振り、同然１振り、二札めで２振り同然で５５点で６位でした。

現在、２人で手わけして支部機関紙用に押型を書いています。私の担当は、古備前高包、宇多国清、越前貞次です。今日、高包を仕上げました。名刀は書いていてもとても楽しく疲れや時間の経過を感じません。

富山県支部は例年、年８回の鑑賞会と二度、本部より田野邊先生を講師に招き特別鑑賞会を開催します。

展覧会は、

２０００年　「日本刀至高の鉄の芸術」国宝５点、重文８点他
　　国宝の内訳は、有楽来国光、延吉、包丁正宗、長船長重、則重
　　他にも木下正宗、金森正宗、松井郷、則重の重文２振りなど
２００２年　「正宗　日本刀の天才とその系譜」開催協力
２００３年　　北陸地区大会主管
２００４年　１１月　「赤羽刀と越中の名工展」

小さい支部ですが、皆が協力して活気があり入会者も増えてきています。

[2500 へのレス]Re: 富山県支部鑑賞会

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/03/06(Sat) 21:28

こんばんわ　越中国住人さま
富山県支部のご盛況ぶりには大変羨ましく感じます。
当方が所属する支部は前支部長が逝去されてから若干
低迷の兆しで昨年も２回程の集まりだけで終わってしまい、
そのうちの一回は仕事のため已む無く欠席と相成りました。
講師に田野辺先生が来られるとは全く恵まれた環境だなと
羨ましく感じます。
少し、昔なら押形といえば片岡銀作先生でしたが、今は
田野辺先生が第一人者といっても過言ではないでしょう。

当方の所属する支部に専任で来られる講師の先生は小笠原
信夫先生です。静かな口調でお話になる講義は大変に勉強
になり、また入札鑑定用の刀剣は何時も一流の名刀と
呼ばれるものばかりで今でも「正宗の刀」や「来国行の太刀」
は忘れることの出来ない鑑定刀です。

ところで富山県支部では機関紙を発行しているとのことですが
他支部の者でも購入は可能でしょうか？
出来るとすれば、適価でお譲りして貰うわけにいきませんでしょうか？
宜しくお願いします。

[2500 へのレス]Re: 富山県支部鑑賞会

投稿者：隠居 投稿日：2004/03/07(Sun) 08:38

越中国住人さん、
いわゆる“お国物”が２口、山城と備前の古いところが２口、宇多に似て非なる（仮にも間違ってはいけない）越前下坂物、勉強させようとする判者の暖かいお気持ちの分かる、嬉しい鑑定会ですね。
ところで現在の富山は金沢と比べて経済や文化が落ち目のように受け取られがちですが、室町期までの越中は経済文化とも加賀越前よりずっと発展していたであろうことが、刀の世界でははっきりしていますね。つまり郷、則重、宇多のもつ“品格”が自体が、それを明確に語っています。

[2500 へのレス]機関紙「秋水」について

投稿者：越中国住人 投稿日：2004/03/09(Tue) 22:58

鬼丸様
富山県支部の機関紙は年一回発行されております。会員配布となっており支部としては支部員以外の方への販売は行っていないと思います。
近年のものに関しては、予備をもらっていますので、宜しければメールアドレスを載せますのでご連絡ください。

[2508] だいじょうぶですか？

投稿者：笠地蔵 投稿日：2004/03/21(Sun) 12:37

しばらく凍結しているようですが、経営者の皆様大丈夫ですか？

[2508 へのレス]Re: だいじょうぶですか？

投稿者：花散里 投稿日：2004/03/21(Sun) 17:15

申し訳ございません m(__)m

年度末のため、何かとバタバタしておりまして・・・(^_^;)
他意はございませんので、ご了承いただきたいと思います。

[2508 へのレス]Re: だいじょうぶですか？

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/03/21(Sun) 19:35

なんとなく話題もなく、バタバタと過ぎる毎日に流されておりました。

所蔵刀以外の刀に接することも２ヶ月ほどはまったくなく、レポートが出来ないという事情もありました。
股間の熱傷も完治し、花粉症もそろそろ落ち着いてきたので、活動しようかな～～と思っております。

3 月は確定申告や異動など様々なことが重なる時期ですので、ご多忙とは存じますが、皆様の『熱い投稿』をお待ち致しております。m(__)m。

[2510] 文武両道

投稿者：花散里 投稿日：2004/03/21(Sun) 18:30

ＮＨＫの大河ドラマ「新選組」の影響か、はたまた映画「ラスト・サムライ」の影響からか、書店には「侍・新選組・武士道」に関する本が目白押しです。
武士道と言えば新渡戸稲造博士の著作が有名ですが、先日「山岡鉄舟の武士道」と言う本を見つけました。
幕末三舟の一人である山岡鉄舟が、弟子の求めに応じて明治２０年に行った講話を筆記し、講話の合間にやはり三舟の一人である勝海舟の評論をはさむ形で纏められています。
この本の中に、今回ご紹介したい「文武両道」についての問答が載っています。
と言っても、山岡鉄舟の言葉ではなく、勝海舟の言葉でもありません。
江戸時代初期の儒学者 中江藤樹の「翁問答」からの議論です。

【問うて曰く。文武は車の両輪、鳥の両翼のごとし、と申しならわし候えば、文と武とは二色にて御座候や。さて又いかようなるものを文武とは申し候や。】

【師の曰く。文と武に、世俗大きなる心得そこない候。世俗は、歌をよみ詩をつくり、文筆に達し、気だてもの柔らかに、華奢なるを文といい、弓馬、兵法、軍法を習い知り、気だて猛く、いかつなるを武といいならわせり。みな似たる事の、似ぬ事にて候。
元来、文武は一徳にて、格別なるものにてはなく候。天地の造化、一気にして、陰陽の差別あるごとく、人性の感通一徳にして、文武の差別あれば、武なき文は真実の文にあらず、文なき武は真実の武にあらず。－中略－
天を経（たて）とし地を緯（ぬき）として、天下国家をよくおさめて、五倫の道を正しうするを文という。天命を恐れざる悪逆無道の者ありて、文道をさまたぐる時は、あるいは刑罰にて懲（こら）し、あるいは軍

（いくさ）を起こし征伐して、天下一統の治をなすを武という。　－後略－】

文武両道というものについて、なかなか明快に答えがなされていると、思われませんか？

「山岡鉄舟の武士道」勝部真長編 角川ソフィア文庫 ISBN4-04-348501-8 本体 705 円

[2510 へのレス]Re: 文武両道

投稿者：花散里 投稿日：2004/03/21(Sun) 19:29

かく言う私も、「文は軟弱、武は勇猛」などと単純なイメージでおりました(^^ゞ

[2510 へのレス]Re: 文武両道

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/03/21(Sun) 19:39

私は文も貧弱、武も中途半端なので、侍にはまずなれませんね。(T_T)。

毎日少し歩いて、体が鈍るのを遅らせるように努力しているのが、精一杯です。
(^_^;)。

[2510 へのレス]Re: 文武両道

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/03/21(Sun) 19:42

追伸
ラストサムライの文字が見えましたので・・・。
過日、北野武の座頭市を DVD で見ました。
娯楽映画という点では、こちらが面白かったです。(~_~)。

[2510 へのレス]Re: 文武両道

投稿者：波平 投稿日：2004/03/22(Mon) 00:02

「知行合一」を旨とする陽明学者としての近江聖人の面目躍如といったところですね。儒学にはもともと大変合理的・現実的な一面があると思いますが陽明学はその中でも特異な色合いではないでしょうか。大塩や生田万の乱が実践家としての典型でしょう。文明開化のころの「和魂」への思いと、江戸時代も初期の「葉隠」ではずいぶんと武士道に異なるものを感じます。

[2510 へのレス]Re: 文武両道

投稿者：隠居 投稿日：2004/03/23(Tue) 08:30

「文武両道」とはなじみのある言葉ですが、よく考え見ると「車の両輪」のように簡単に身につく

ものではなさそうです。ここで述べられているように、これは理想であり、人間国家のあるべき姿、持つべき覚悟だということに同感します。私たちは戦前、そう教えられて育ちました。

[2510 へのレス]Re: 文武両道

投稿者：花散里 投稿日：2004/03/23(Tue) 23:48

＞ご隠居さん
＞これは理想であり、人間国家のあるべき姿、持つべき覚悟

まさに、そのとおりだと感じます。
最近使われる文武両道とは、「勉強とスポーツの両立」の意味に使われることが多いようです。
最近の世相に端を発するとは言え、レベルが違いますね。

[2510 へのレス]Re: 文武両道

投稿者：隠居 投稿日：2004/03/25(Thu) 08:56

イラクに派遣された自衛隊本隊の番匠幸一郎１佐のサマワ入り第一声に。「武士道精神で人道援助につくす」といったような言葉を使ったことが話題になっているそうです。
進歩的文化人はこの言葉の意味するところを「殺伐な戦争への道を示唆する言葉」とか「軍国主義への回帰」とか、批判しています。つまり「武士道」を「人殺し思想」と曲解するわけで、これが同じ日本人かと驚きますが、今日の若い人たちにはこれで通用するのでしょうか？

[2510 へのレス]Re: 文武両道

投稿者：花散里 投稿日：2004/03/25(Thu) 23:22

ご隠居さんの嘆きには、先に紹介した中江藤樹「翁問答」の中で、私が「後略」とした部分が答えになると思います。

翁問答の続き
【しかる故に、戈（ほこ）を止（やむる）という二字を合わせて武の字を作りたり。
文道を行わんための武道なれば、武道の根は文なり。武道の威をもちいて治むる文道なれば、文道の根は武なり。そのほか万事に文武の二は離れざるものなり・・・。】

平和を守るためにこそ「武」はある、と言うことですね。
ならば、進歩的文化人の「文」は、真実の文では無いのでしょう。

[2516] 真改

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/03/22(Mon) 20:14

あまり話題もないのですが、真改が通販誌に久しぶりに載っていたのでご紹介します。(^^ゞ。
銀座情報（銀座長州屋）
井上真改　延宝二年八月日　一尺六寸強
非常に綺麗な外装も付いた真改です。
時々、国貞銘の真改は見るのですが、井上真改となるとなかなか見ません。
それも脇差の優品はまたお目にかかるのが少ないように思います。

長い真改は無理でも、いつか脇差で真改が持てるようになりたいと思います。
鑑賞も保存も楽そうですし・・・。(^_^;)。

あと画像はないのですが、成蹊堂さんにも真改国貞が研磨中とありました。
是非拝見したい一振りですね！！

[2516 へのレス]Re: 真改

投稿者：波平 投稿日：2004/03/22(Mon) 21:05

＞真改さん
私も銀座情報を拝見して目にとまりました。良いですねぇ。成蹊堂さんの真改國貞は研磨の前に目の保養をさせていただきました m(_ _)m・・・部分的に薄錆が出ていましたが研ぎあげたら「さぞや」と思う名品でした。

[2521] Danny

投稿者：danny fletcher 投稿日：2004/03/25(Thu) 17:54

Student of Budo

[2522] Danny

投稿者：danny fletcher 投稿日：2004/03/25(Thu) 17:56

Hi
I bought this Norihide last year and I need to sell it.
Here is the page with all the info and pics.
http://www.sanmei.com/shop_e/media/H103514_S2194_E.htm

I would appreciate hearing your offer if you have one.

Thank you
Danny Fletcher
Funabashi

[2522 へのレス]Re: Danny

投稿者：kanetoyo 投稿日：2004/03/25(Thu) 20:17<HOME>

Hi Danny

Thank you for showing your sword. I have many sword. Please visit my web site.

Kanetoyo

[2525] 模造刀

投稿者：神無月 投稿日：2004/03/27(Sat) 19:06

模造刀を一振り特注で作ってもらいました。
まぁ、特注といっても既製品をちょこちょこっといじった程度ですが、既製品の拵えは好きだったので目貫と鮫皮と刀身だけを変えました。
中には完全オーダーで原作版「あずみ」の刀を作ってもらうなんて人もいるようですが。

僕は本物も好きですがイミテーションも好きです。本物の車も好きだけど車の模型も好きみたいなかんじですかね。

[2525 へのレス]Re: 模造刀

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/03/27(Sat) 23:31

あ、僕も模造刀一振り持ってます。自分の寝室に飾ってます。
やはり本物をいつも出しっぱなしで飾っておくのは気がひけますので。
特別な時はやはり真剣や本物の拵えを飾りますが、それ以外は模造刀で。
手にする機会は勿論真剣の方が多いですが、何気なく飾っておく分には模造刀は丁度いいです。
「和泉守兼定」の銘で売っていた模造刀ですが…刃文を見た限りではどこが…？という感じです。
模造刀のお値段もピンキリのようですが、特注となると…けっこうしそうですね～。
上野や浅草のお土産やさんに行くとスゴイ模造刀がありますよ(#^▽^#)
やたら竜の絵が描かれてたり、キンキラキンだったり。
ああ、間違った日本が…。

[2525 へのレス]Re: 模造刀

投稿者：神無月 投稿日：2004/03/28(Sun) 19:14

やっぱり真剣は管理するのが大変なので当分は模造刀でいいかなと思っています。
僕は時々一ヶ月くらい部屋に帰らないことがありますからねぇ、真剣だと錆びちゃいますよね。

[2525 へのレス]Re: 模造刀

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/03/30(Tue) 11:51

真剣も案外と錆びない物もありますね。
実際、毎日手入れしていたのに錆びた物、逆にほったらかしだった（言葉が悪くてすみません）のに錆びない、というものも実際に経験しました。
両者とも外装に入ったものでしたが、こればっかりは、なんでこうなるの？といった感じです。

逆に模造刀でもほったらかしだと、刀身が妙に曇ったり、やはり、錆びたようになったりすことがありますよ！特に、居合に使用していたりしたものとか。
スプレー一発コーティングっていうのがあったら、模造刀やナイフには最適なんですがね～。

[2525 へのレス]Re: 模造刀

投稿者：内記 投稿日：2004/03/30(Tue) 17:05

模擬刀の「刀身」のお手入れ（？）は「愛車」の洗車に似ています(^^)!

ご無沙汰しております。まだ、若干仕事が残っておりますが、何とか年度末を無事迎えられそうです。ホッ！ (~_~;)

抜刀練習用の模擬刀は、新品の頃ティッシュで拭うと真っ黒な汚れが取れました。まさしく「鉄」の埃が、た～くさん付いているので擦ったりするとメッキに傷がついてしまいます。丁子油をぬって、打ち粉で手入れなどしたら恐ろしいことになります (>_<)

そこで埃まみれの愛車を綺麗にするつもりで、「水洗い」の代わりに「無水エタノール」「カーシャンプー」をメッキポリッシャーに、仕上げのワックスを、ＣＲＣ556 に替えて手入れしておりました。
そのおかげか「鏡のように小板目肌微塵につんだ新々刀」や「素延べの昭和無鍛錬刀」なにするものぞと肌に気合の入った『クロームメッキ仕上げの鋳造【新刀 虎徹モデル（何故か'直刃調)】』は『びゅんびゅん』樋鳴り勇ましくいまだにピッカピカと異様に光り輝いております。(^_-)-☆

愛車のワックス掛けを楽しむ人、メンドクサガル人、十人十色。

私も最近はメっきりと体力が落ち、ワックスかけより半年効果持続の「○×コーティング」に心動かされそうです　(ーー;)
真改代表がおっしゃるよう「模擬刀」もそろそろ『スプレー一発コーティング』・・・？　　(~_~;)

[2525 へのレス]Re: 模造刀

投稿者：真改２００４　投稿日：2004/03/30(Tue) 17:58

今年の年度末は格別に忙しいです。
明後日から入れ替わる配置職員の異動が、いまだにはっきりしないって？どういうこと！！って感じで、めぐるましい噂先行とはっきりしない人事で現場は困惑しております。

そんな中、股間の熱傷から立ち上がった私をまたしても、『アデノウイルス』が襲い、眼瞼結膜炎となり、全身症状としては発熱が３８度、筋肉痛、のどが痛いなどなどで、休みも取れずに事務所に隔離されても出勤し、頑張っております。
(T_T)/~~~。
最初は、季節遅れの花粉症かとも思っておりましたが、涙が止まらず痛い！、しかも発熱があるので、『やばい！！』と思っておりました。
１０日間ほどは人間に接触してはならないとお達しを受けました。刀なら良いらしいです・・・。
(-_-)/~~~ピシー!ピシー!。

さて、模造刀の話に戻りますが、確かに居合いの稽古の後で拭くと黒かったと思い出しました。
そうですか、鉄粉がついていたのですね。
納得しました。感謝。m(__)m。

ちなみに、私の愛模造刀は武蔵鍔の付いた武蔵拵え風です。(^_^;)。
本物の武蔵鍔を見たときに、こっそり変えておけばよかったなどと、見るたびに思ってしまいます。!(^^)!。

[2525 へのレス]Re: 模造刀

投稿者：内記　投稿日：2004/03/30(Tue) 19:35

＞真改さん
なんと　結膜炎ですか。お見舞い申し上げます。

私も 5、6 年前、検査に行った眼科にて「院内感染」し重度な結膜炎になり『血の涙』を流したことがあります。目は痛いし距離感がつかめず「いらいら」し、もうこりごりでありました。早期のご回復を祈念いたしております。

その時は、さすがに独眼流での刀剣鑑賞は控えましたヨ。　(^_^;)

さて、本物の「武蔵鍔」は数年前の阿佐ヶ谷の某所での事でしょうか。

先日某所にて桃山期の洒落た「平安城象嵌鐔」を拝見した時、稽古の帰りで丁度、愛模擬刀「コテツもどき」の「肥後拵えもどき」を所持していたのですが、　何しろ・・　模擬刀は・・　目釘が・・なかなか・・・抜けませ・・・　　従って「鍔の交換」など　簡単には　・・・
コラ～！　　何の話だ！　　不見識な！　　(>_<)　　失礼しました。

真改さん。無理をなさらず、お大事に　!(^^)!

[2525 へのレス]Re: 模造刀

投稿者：真改２００４　投稿日：2004/03/30(Tue) 21:04

内記さん。
私の場合は、座頭市状態なんです。(T_T)。
悲しくもないのに、ボロボロ涙が止まりません。
端から見れば、場面によれば、『え～～やっちゃな～。』と人格をほめられそうですね。^_^;。

武蔵鍔はその通りです。
で、模造刀は・・・、そうですか、抜けないんですか？試したことがなかったので。(^_^;)。
軽く抜けるように細工してから、うかがうことと致しましょう。
(#^^)/~~~。

[2525 へのレス]Re: 模造刀

投稿者：真改２００４　投稿日：2004/03/30(Tue) 21:10

遅れましたが、またしてもお見舞いのお言葉を頂戴し、ありがとうございます。
m(__)m。

[2525 へのレス]Re: 模造刀

投稿者：花散里　投稿日：2004/03/31(Wed) 01:03

ね、年度末が～(^_^;)

真改さん、私もお見舞い申しあげます m(__)m

[2525 へのレス]Re: 模造刀

投稿者：神無月 投稿日：2004/04/01(Thu) 20:00

模造刀の柄は基本的には抜けないようになっているから、無理に抜くと柄が緩むと聞きましたが、内記さんのは大丈夫だったのですか？

真改さん、片目が見えないというのは大変ですね。
僕も子どもの頃に、２０人くらいで雪合戦をしていたときに雪球が目に当たり、角膜を切ってしまいしばらく目が見えなかったことがあります。
僕からもお見舞い申し上げます。

[2525 へのレス]Re: 模造刀

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/04/01(Thu) 20:09

暖かいお見舞いのお言葉、ありがとうございます。m(__)m。

大分ましになったとはいえ、眼瞼結膜炎は良くなりません。(T_T)。
金曜日にもう一度眼科へ行ってみます。
それに、二男と長女へも高速伝達してしまいました。ADSL を導入したこととは関係ないありませんが・・・。(^_^;)。

職場では相変わらず、『寄るな触るな近寄るな』と言われております。(>_<)。

[2525 へのレス]Re: 模造刀

投稿者：内記 投稿日：2004/04/01(Thu) 23:21

＞神無月さん
おっしゃる通り、模造刀は「分解」などしてはいけません。です。(>_<)
真改さんとの会話は「大人の寓話」として御聞き流しくださいませ。(-_-;)
私も真改代表も目釘を抜いて「鐔」の交換など決して致しておりませんデス、ハイ。鐔を変えたら、さぞや・・・という空想です　(^_-)-☆

【念のためヨイ子の使用上の注意です（シツコイ？）】
一、模擬刀（居合や抜刀剣術に使用するもの）は目釘を抜かない事。
一、小道具（目貫・縁、頭・小尻・鐔等）の交換を想定していません。
一、製作時の小道具セットで重量や重心バランスの調整がされています。
一、経年変化により切羽緩みや鐔鳴りが生じた際はティッシュペパーや爪楊枝などを差し込まず？・・購入店にて修理を依頼いたしませう。

一、振る前に「目釘検め」を必ずいたしませう。

皆様、もひとつ余計なお世話ですが、好奇心で「茎」を鑑賞しないほうが良いと思います。
当然「うぶ無名」、裏年期もありません。真っ黒くろすけの「無メッキ」です。「後悔先にたたず」いや「覆水盆に帰らず」・・「触らぬ神に祟りなし」ですゾ。
・・・時計、カメラ、バイクのエンジン、分解したが元に戻らなかったり部品が余ったり・・・あア・・恐ろしや・・・(>_<)

＞真改さん
ご家族さまにはＡＤＳＬ以上の高速「光ファイバー」伝達ですね。ご自愛ください。

[2534] もう、いくつ寝ると・・・。

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/03/30(Tue) 21:21

実は、今日ですね。ADSL の工事がやっと完了したんですよ！
ネットを始めた頃は、２３時からのテレほーだいの時間を利用して安く上げようと頑張り、それから ISDN にして、それから、ピッチのカード式にと変遷を遂げましたが、職場の１９２センチ君が ADSL はよろしいですよ～と、おっしゃいますので、どうしようかと考えていたんです。

ヤフーBB の電話攻勢に妻も閉口していたのと、甥がパソコンを買うというので、どうしようかとパソコンショップへ相談しましたら、NTT を勧められ、これに至りました。

しかし、帰宅して接続しようとしてもつながらんやんけ～～。と思ったら、開通が明日なんですよ～。(T_T)。
あと三時間起きてましょうか。
でも結膜炎だしな～。
というわけで、寝ることにします。
契約は２４Ｍっていうんでか。これにしました。その上はまだサービスが来ていないそうですし、光なんていつのことやら・・・。

光をすでにご愛用の皆様には、今頃なにを？とおっしゃるでしょうが、ピッチから変更した速さを体験したくてうずうずしております。!(^^)!。
ほんまに早いんかいな？
早かったら、またご報告します。(~_~)。

[2534 へのレス]Re: もう、いくつ寝ると・・・。

投稿者：花散里 投稿日：2004/03/31(Wed) 01:11

私のところは、ケーブルテレビのインターネットサービスを利用しております。
公称２０Ｍで、実際のスピードは１３～１５Ｍぐらいでしょうか。

でね、別に不満は無かったのですが、最大４５Ｍに引かれて（２ヶ月無料にも引かれて）Ｙ○○○○！ＢＢに申し込んで見ました。

モデムが届いて接続してみて、あらビックリ(^^ゞ
１．３Ｍしか出ないではありませんか(^_^;)
もちろん、即解約手続きをいたしました・・・うちはＮＴＴの局舎から遠いですからね～(>_<)
真改さん、スピード出ると良いですね(^^)

[2534 へのレス]Re: もう、いくつ寝ると・・・。

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/04/01(Thu) 20:06

ADSL。めちゃくちゃ早いですわ～。!(^^)!。
今までピッチだったので、原付から７５０に乗り換えたような気分です。
光なんていったいどんな速さなんでしょう？想像できません。(@_@;)。

ところで花散里さん、スピードってどこで見たらいいでしょうか？(^_^;)。
教えてください。m(__)m。

[2534 へのレス]Re: もう、いくつ寝ると・・・。

投稿者：花散里 投稿日：2004/04/04(Sun) 20:12

返事が遅くなり、申し訳ありません m(__)m

私の場合、回線のスピード測定は「Rbbtoday」を使っております。
お試しください。

[2535] 靖徳短刀

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/03/30(Tue) 21:48

靖徳の短刀が、葵美術さんに出ましたね！
戦前とはいえ、現代刀としては高めの　６０万円。
靖国刀の長いものでも、同じくらいの値段ですよね。
やはり、出来と希少性でしょうか。

靖国刀とか軍刀は直刃というイメージが強いんですが、意外と直刃は靖国刀では少数派？だったような。違ってたらごめんなさい。

そして、靖国神社の遊就館で観た『靖徳短刀』を思い出しました。
春の桜のこの時期に、いつか靖国神社を参拝したいと思いました。

[2535 へのレス]Re: 靖徳短刀

投稿者：花散里 投稿日：2004/03/31(Wed) 01:19

桜の時期に靖国神社を訪れると、格別な思いがいたします。
桜の下での待ち合わせを約束した多くの方々も、様々な想いを胸に桜を愛でている事と思います。
今に生きる私たちも、彼らとの約束は守らなければいけませんね。

年度末なんてものが無ければ、靖国の桜を見に行けるんですけどね～(^_^;)

[2535 へのレス]Re: 靖徳短刀

投稿者：隠居 投稿日：2004/03/31(Wed) 09:52

４月２１日が春の大祭の筈です。この日には衆議院議長外３権の長が参拝されるかも知れません。
桜は散って葉桜ですが・・・
私も病弱のため御参りできなくなり、無念に思っています。

[2535 へのレス]Re: 靖徳短刀

投稿者：波平 投稿日：2004/03/31(Wed) 12:11

靖国神社の桜は日本人として特別な思いがあります。私の伯父も祭られていますがあの拝殿にあがり額ずいた時、英霊を思い粛然としたものを感じます。「幾百万の英霊の声を感じ身が震える思いがした」と母が申しておりました。これはいつもの外からの参拝の時には感じることのできないものでした。政治的に利用されがちな靖国神社ですが、遺族にとっては亡き人の魂に出会える何とも厳粛な場所との思いを深くいたします。

[2535 へのレス]Re: 靖徳短刀

投稿者：隠居 投稿日：2004/03/31(Wed) 14:44

靖国神社へ参拝して思うことは、皆さんと同様のことのほか、遺族の方々と出会うことです。とくにみすぼらしい服装のお年寄に出会うと、頼りにされていたご子息を失われたであろうことなどを想像し、なんともお気の毒で胸が痛みます。こういうご遺族がさらに老齢化し参詣も寂しくなられたことと思います。

[2535 へのレス]Re: 靖徳短刀

投稿者：波平 投稿日：2004/03/31(Wed) 21:42

ご隠居さまのおっしゃるとおりです。私の祖母は軍人恩給がおりるたびに「おにいちゃん(伯父は長男でしたので)からいただいたお金」をいつも神棚にあげて拝んでいました。私が会ったこともない

伯父の話をいくたび聞かされたことか・・・今は親子仲良く奥津城に眠っていますが外地で戦死したまま遺骨さえ戻らぬ方にとってやはり「靖国」は我々にとって特別な襟を正す場所のように思えます。

[2539] 私ごとですが・・・

投稿者：菊久 投稿日：2004/03/31(Wed) 05:56

皆さん、お忙しい年度末を乗り切られたようですね(^_^)
「私も、この年度末は特別でした。」
というのも、今日で 27 年間勤めた職場の最後の日となります。
こんな私が、四半世紀も勤められたのは、職場の良き先輩や後輩に恵まれ、また世間の皆様方の支えがあったからと感謝しております。
本日、最後の挨拶も、皆様への感謝の気持ちで締めくくろうと思っています。

[2539 へのレス]Re: 私ごとですが・・・

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/03/31(Wed) 06:25

菊久さん。
本当に長い間お疲れ様でした。
私は、退職の経験がすでに三度もありますが、長期に勤め上げた方の心境たるやさぞやとお察し致します。

生活に新しい息吹が吹き込まれましたら、ちらっとお聞かせ願えれば幸いです。
なにはとおもあれ、とりあえず、年度末。
最後の日を締めくくり、新しい明日を迎える準備を怠りなく行えるように、さあ、顔を洗って出陣です！！(^^ゞ。

[2539 へのレス]Re: 私ごとですが・・・

投稿者：波平 投稿日：2004/03/31(Wed) 12:26

＞菊久さん
波平と申します。この度はご退職の由、お疲れ様でございました。
私の職場でも同僚の退職や移動であわただしい日を過ごしております。

3 月はいずこも別れと新しい出会いの季節ですね。
27 年間もお勤めとあれば菊久様の感慨もさぞやの事とお察し申し上げます。
趣味のお仲間としてこれからもよろしくお願いいたします。

[2539 へのレス]Re: 私ごとですが・・・

投稿者：鎬 投稿日：2004/04/01(Thu) 16:02

お疲れ様でした。
お会いした時はいつも刀友としての話題ばかりでしたので
驚きましたよ。ひょっとして何時かの「エイプリルフール」
話題かとも思いましたが、そんな事ありませんよね。
何時かのエイプリルフールとは。。。
ある刀友から昨年の 4/1 携帯メールにて有名刀匠の刀が３振訳あり販売がある
市価の半額程度が表示されていました。
２分後菊久さんは予約の申込メールをしました。
私は５分後に今夜現物が見たいと申込メールをしたところ
そんな美味しい話は無いよと言われ我に返ったと言う話です。
たまたま私達３人は笑い話になりましたが
一つ間違えば笑えない話になりますのでご注意を。
ななななんと、その刀友から今又、同じ内容のメールが来ました。（笑）
毎年同じ手口ではダメですよね。

[2539 へのレス]Re: 私ごとですが・・・

投稿者：神無月 投稿日：2004/04/01(Thu) 20:20

菊久さん、お疲れ様でした。
これからもよろしくお願いします。

[2539 へのレス]Re: 私ごとですが・・・

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/02(Fri) 08:28

菊久さん、おめでとうございます。永年の職場や職業生活に後ろ髪をひかれる思いをなさっていることと思いますが、一方では第二の人生への門出です。そしてこの第二の人生とは「趣味に生きる人生」と云えるのではないでしょうか。私の知人、友人たちを見ると、この「老後からの趣味へのかかわり」、ズバリ云って刀剣へのかかわりをずいぶん深められた方々がたくさんいます。
二三の方は刀剣の識者といわれるまでになり、現在判者をされていますし、押形も素晴らしいものを数多く遺されています。またある方は家を売ってまで名刀を入手しました。奥さんもこれに協力されました。また刀剣商になられた方もあります。
要するに、本気で取組めば１０年２０年のうちには、相当のことができるという人生の正念場です。
どうか刀の方面でも、新たなお気持でおやりになりますよう、お祝いと共にお願い申し上げます。

[2539 へのレス]Re: 私ごとですが・・・

投稿者：久 投稿日：2004/04/02(Fri) 21:19

菊久さん
　この度はご退職の由、お疲れ様でした。これからまた一層刀剣に打ち込みまた、釣りの腕を磨かれる事だと思います。隠居様の仰られている通りこれからは趣味や御自身のロマンを頑張って下さい。
　これからも宜敷くお願いいたします。

PS:しかしながら『男のロマンは女房のフマン（不満)』と良く言いますのでバランスよく！（＾＾）

[2539 へのレス]Re: 私ごとですが・・・

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/04/02(Fri) 22:05

菊久さん。お疲れ様でした。
＞皆様への感謝の気持ちで締めくくろう
充実した良いお仕事が出来たようですね。うらやましいことです。
そういう気持ちで仕事を終えられるのはご立派だと思います。
今年のお花見はユックリ出来そうですね！
またいつの日かお会いして一杯飲りたいものです(#^▽^#)

[2539 へのレス]Re: 私ごとですが・・・

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/04/03(Sat) 07:23

菊久さん、永年の勤務ご苦労さまでした。
出会いと別れ、新しい事への希望と不安
行動力のある菊久さんのことですから
これからが本領発揮ということですね。
菊久さんの新たな門出に乾杯 (^。^)

[2539 へのレス]Re: 私ごとですが・・・

投稿者：菊久 投稿日：2004/04/03(Sat) 07:37

真改様・波平様・神無月様へ
　一応、今までの仕事の一区切りが終わったので、ここしばらくは、スケジュー　ルに追われることなく過ごせるような気がします。
　仕事は一区切りしましたが、趣味の世界は終わっていません。

これからも宜し　くご教授をお願い致します。
　できれば、今の内に刀剣鑑賞行脚をしたいなぁー。
　今年の大刀剣市は参加できそうだし、皆さんとお会いできるのが今から楽しみ　です。

鎬様へ
　お近くですので、またよろしくネ～。

ご隠居様へ
　いろいろご教示を頂き「ありがとうございます」
　ご隠居様のご友人・知人のようなレベルには達し得ないかもしれませんが、本　当にこれからが「正念場ですよね」。
　この世界、新たな気持ちで精進していきたいと願っていますので、これからも　ご教示・ご教授をよろしくお願い致します。

久　様へ
　こちらこそ、宜しくお願い致します。
　『男のロマンは女房のフマン（不満）』←確かに・・・本当にこのバランスっ　て難しいですよね。今のところ、子どもとのバランスの方がよっぽど楽～。
　でも、女房がいないと生活のバランスが難儀～。

こてつ様へ
　長野はそろそろ梅から桜へ変わる頃でしょうか。
　またいつの日かお会いして一杯飲りたいものです(＃＾▽＾＃)
　懐古園辺りでどうですか・・・
　長野へも行きたい気持ちが天こ盛りです。そのときは、宜しくお願い致しま　　す。

[2539 へのレス]Re: 私ごとですが・・・

投稿者：菊久 投稿日：2004/04/03(Sat) 07:45

鬼丸様へ
　またお会いできるのを楽しみにしています。
　今年の大刀剣市のオフ会で「再度の乾杯！」をしたいですね。
　これからもよろしくお願い致します。

[2539 へのレス]Re: お疲れさまでした。

投稿者：内記 投稿日：2004/04/03(Sat) 08:22

＞菊久さん
ひと段落されたようですね。

これからは、菊久さんの行動力に磨きがかかり、さらに楽しい「刀剣ライフ」となりそうですね。

これからもよろしくお願い致します。

長い間、本当にお疲れさまでした。　"^_^"

[2539 へのレス]Re: 私ごとですが・・・

投稿者：菊久 投稿日：2004/04/03(Sat) 10:56

内記様へ
　ずいぶんご無沙汰しており、申し訳ありませんでした。
　あれから後、退職の心づもりや準備などでご連絡も疎遠になってしまいまし　　た。
　こちらこそ、これからもよろしくお願いします。

[2539 へのレス]Re: 私ごとですが・・・

投稿者：一条 投稿日：2004/04/03(Sat) 20:37

菊久様
　お久しぶりでございます。
　永年のお勤めお疲れ様でした。
　昨年、昨々年と忙しくこの掲示板にも顔を出せませんでしたが
この４月に異動となり、これまでとは違い、時間に余裕ができそうですので、また、この掲示板にも来ようかと思っております。
　また、何卒よろしくお願いします。

[2539 へのレス]Re: 私ごとですが・・・

投稿者：花散里 投稿日：2004/04/04(Sun) 20:08

＞菊久さん

ちょっと留守にしていましたので、出遅れてしまいました。
お疲れ様でした m(__)m
一区切りをつけられたようですが、先はまだまだ長いですぞ～(^^)
これからも、よろしくお願いいたします m(__)m

[2561] 先は長い

投稿者：白龍斎 投稿日：2004/04/04(Sun) 02:15

刀剣博物館で清麿の太刀、虎徹、津田助直の刀、その他
東京博物館で長船景光(のぞき見龍？)その他観て来ました。
細かい評論は出来ませんが良いものはイイのが良く解ったような気がしました。
上京の目的は、ゴールデンウィークに近所の沼から旅立った白鳥を求めて北海道まで再会に行き、写真撮影の準備として、カメラ(中古品)を買った事でした。
良い刀も、超望遠レンズも欲しい。二頭を追う私は勤続三十年ですが、仕事も
それ以外のこともマダマダ先は長いです。

[2561 へのレス]Re: 先は長い

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/04/04(Sun) 11:48

白龍斎さん。ご無沙汰しております。m(__)m。
新年度早々、素晴らしい刀剣を鑑賞されたようで、なによりです。

旅行といえば・・・。
実は、私の甥っ子は新年度から中学三年生になります。
三年生ともなると受験受験となり、あまり休みも休みでなくなるようですから、この春休みにかねてから思っていたそうな、『古いお城』を探訪したいという希望を叶えることになりました。

そこで、簡単にコースを推薦して欲しいというので、次の名所旧跡を紹介しました。(かなりいい加減に適当に思いつくままの場所でした(^^ゞ)
伊予松山城（重文）愛媛県大三島の大山祇神社（武具の宝庫）広島県耕三寺、岡山県倉敷の美観地区、そして、国宝姫路城です。
二泊三日とのことなので、これだけ見ることが出来れば十分かと思いました。

なかでも、本人も私も期待大は『愛媛県大三島の大山祇神社』なのです。
行ったことがないので、これはぜひ、帰ってきたら感想をたっぷりと聞きたいと思います。

私ももう少し子供が大きくなったら、一緒に大山祇神社を訪れてみたいです。

[2561 へのレス]Re: 先は長い

投稿者：白龍斎 投稿日：2004/04/04(Sun) 23:53

真改様、お久ぶりです。
大山祇神社の旅行紀楽しみにしています。

姫路城の情報もよろしくお願いします。
今年の秋に、姫路城－京都－名古屋の徳川美術館を旅行したく思っています。
京都は国宝第１号の弥勒菩薩(これは２度ほど拝観したが何度観てもその都度
新しい美しさ、優しさとは何かを感じさせられます。)その他京都にて、日本刀に関する情報がありましたら、皆様よろしくお願いします。
姫路城は、まだ訪れたことがないので、是非、お薦めのポイントをご紹下さい。

[2566] 刀装具にみる武士のお洒落

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/05(Mon) 10:18

関市にある岐阜県博物館で「刀装具にみる武士のお洒落」展が開かれています。
肥後拵、柳生拵などの各種の拵から金具の凝ったもののほか、旅行の際に使用した柄袋や鞘袋の現存品を展示しているそうで、これだけでも一見の価値がありそうです。
（主宰者は加納誠一氏で、名の示すとおり誠実な研究家で研師。）
お近くの方はどうぞ覗いてください。

[2566 へのレス]Re: 刀装具にみる武士のお洒落

投稿者：花散里 投稿日：2004/04/06(Tue) 00:01

何事にも自由な現代とは違って、昔は刀装具にもいろいろな制約があったようですね。
刀の長さや、鞘の塗り、鐔の形や大きさなど・・・
しかし、不自由な中で各人が工夫を凝らし、精一杯の自己主張や美意識の発露を行った結果として今に残る刀装具を見ると、心を打たれることもしばしばですね。
先人の知恵だけではなく、先人の美意識ももっと見直されても良い気がします。

[2566 へのレス]Re: 刀装具にみる武士のお洒落

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/06(Tue) 09:09

金目貫みしゃれと上る　せいごひら
という古川柳があって、私はこれが分からず苦労して調べたことがあります。
「せいごひら」は精巧平という目がよくつまって防水の役目をする袴地のことで、転じて旅行着のこと。旅姿の武士が旅籠の玄関ですすぎをとる間に刀の柄袋をとるなり、菌目貫を見せびらかすようにして框へあがる様を描いたもの。ようするに田舎侍を冷やかした句ですが、金目貫が武士のステータスシンボルであった一面をも物語っています。
「武士のお洒落」は兜に香を焚いた武士道精神の一面を示すものではないかと思っています。
花散里さん、戦国武士が愛した古美濃の金具にある可憐な草花の図柄は微笑ましいですね。それに鉄鍔の禅味、いいですね。

[2566 へのレス]Re: 刀装具にみる武士のお洒落

投稿者：内記 投稿日：2004/04/06(Tue) 09:57

＞花散里さん
ご無沙汰でした。無事、年度末を乗り切られたご様子。お疲れ様でした　"^_^"

＞不自由な中で各人が工夫を凝らし、精一杯の自己主張や美意識の発露を行った結果として・・・「規制の中の自由」。自由とは何かの本質論ですね。『美』意識に限らず、戦後わが国から失われた感覚は、この事に思われてなりません。
羽織の裏地や紐の結び方。制約の中での自己主張。それが「粋」になったり「野暮（無粋）」になったり。何をしても自由という「フリーダム」には「粋」という言葉はないのでしょうね　(^_^;)
特に刀装具の「厳しい掟」の中での「美意識」の表現は現代人が想像出来ないほどの「教養・故事」の知識、それにも増しての「洒落っ気」のセンス、そしてそれを身に着ける武士の矜持。またそれに応える職方の技量・・・。

ご隠居さん、花散里さん。
私は、先人の知恵や美意識を見直すどころか、少しでも近づくよう努力したいと願っております　^_^;

[2566 へのレス]Re: 刀装具にみる武士のお洒落

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/06(Tue) 10:53

内記さん、
＞羽織の裏地や紐の結び方。制約の中での自己主張。それが「粋」になったり「野暮（無粋）」になったり。
まさにそうです。仰るように、男女の関係にしても、片思いのようなひめやかな表現がすくなくなって、直接的な性体験が低年齢化している今日では物の見方や美醜の感覚はすごく変わっているのでしょう。
私達もこういう昔の小美術品を大事にしながら、粋な心を少しでも見習いたいものですね。

[2566 へのレス]こういうことを言うのは野暮？

投稿者：masahiro 投稿日：2004/04/06(Tue) 21:50

　大小の掛けようは上下が逆です。脇差を上に、大刀を下段に掛けるのが主は来客に害意なしという礼儀だそうです（名和弓雄『絵で見る時代考証百科』）。抜き身の上に拵えを掛けるのも、見ていてなんだかアブナイ・・・。

http://www.gifu-kenpaku.jp/

[2566 へのレス]Re: 刀装具にみる武士のお洒落

投稿者：花散里 投稿日：2004/04/06(Tue) 23:41

＞ご隠居さん

「刀装具は、武士道を目に見える形に現したもの」、と言う事ですね。
私は、鉄鐔の禅味が理解できるほどの目は持っていませんが、手の上で鉄鐔の重さを感じるのが大好きです。
静かに重さを感じながら目を閉じていると、しばし空想の世界に遊ぶことができます。

＞内記さん
ご無沙汰しています。
何とか、今年も年度末を乗り切ることができましたので、また刀屋さんに出没したいと思います(^^ゞ
＞制約の中での自己主張。それが「粋」になったり「野暮（無粋)」になったり。
そうだったんですね。目から鱗、でした(^^)
私も近づきたいです(^_^;)

[2566 へのレス]Re: 刀装具にみる武士のお洒落

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/07(Wed) 08:39

ｍａｓａｈｉｒｏさん、野暮とは思いません。いいご指摘です。
大体、客を通すのは座敷であり、座敷の床には軸を掛け脇床に刀架は置かないものとと心得ています。自分の大小を掛けるのは居間ではないかと考えています。この場合、順序としても大を腰から抜いて掛け、つぎに脇差ですから脇差を上にすることになりますね。
展示会などで、本身の上に拵をかけたものは、寡聞にして経験ありませんが、従たるものを主たるものの上にすることは明らかにへんな感覚ですね。

[2566 へのレス]これはしたり・・・。

投稿者：masahiro 投稿日：2004/04/07(Wed) 23:34

＞座敷の床には軸を掛け脇床に刀架は置かないもの

人様のまちがいを指さしていた自分がまちがっていました。
現代日本住宅で拵えの似合う空間は限られてしまいますね。

型は自然の理に叶う、というご指摘勉強になりました。
居宅に帰った武士が脱刀して大小を刀架に掛け、羽織袴をぬいで着流しの裾を軽く叩いて正座し

一息つく。自然にして端正な動きが目に見えるようです。

　闖入、失礼をば。

[2566 へのレス]Re: 刀装具にみる武士のお洒落

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/08(Thu) 09:06

ｍａｓａｈｉｒｏさん、恐縮される必要はありません。誰も武士の時代の立ち居振舞いを実際に自分の目で見たわけではないのですから。
刀架に刀を掛ける場合でも、身分の上下によって違うと思います。大名や家老クラスは脇差でなく短刀でしょうから、大小用の刀架に短刀は掛けられません。それに次ぐ上士の家でも玄関番が居り来客は刀を預けたでしょうから、迎える側も当然目につく場所に刀は置かない筈です。時代考証といってもどの程度の武士り家で、どういう場合に刀架に大小を掛けるのか、条件によって様々ではないでしょうか。
ところで大名でも“寝間刀”といって大刀を寝室においた人もあったようで（たとえば会津候の場合）、これは刀架にかけたか身近においたのかは、よく存じません。ここまでくると色々なケースがあるようですよ。

[2566 へのレス]Re: 刀装具にみる武士のお洒落

投稿者：内記 投稿日：2004/04/08(Thu) 12:31

＞ご隠居さん、masahiro さん　こんにちは。

以前、刀剣店で「寝間刀」ならぬ『寝間薙刀』を拝見したことがあります。
幕末頃のものらしいのですが、拵がコンパクトで、刀身を含めて三尺五寸程、1m強の長さで反り張りの少ない小ぶりなものでした。太刀架けに立架けてあり、漆塗りの鞘が大振りで布団から起き上がり際に鞘を払えそうでした(ーー;)
が、手にとって応戦するまでに二挙手かかりますので、寝間刀を通常とは逆の右向きに架けて一挙手で迎え撃つ方が早いかな？などと想像も致しました　^_^;

おちおち寝ても居られない緊迫した状況下では、平和なご時世の我々には【想像すら出来ぬ『色々なケース』があった】だろうとのご隠居さんのご指摘、深く同意いたします。

また、【短刀と刀架け】のお話で「短刀・脇差」は嘗ては片時もも放さなかったと云う意味で「脇差こころ」という【覚悟】を近頃はすっかり失念して居り、やはり内なる覚悟が外なるお洒落に反映するものと反省いたしました。　(>_<)

武士のお洒落から話がそれてしまい、大変失礼致しました。

masahiro さん　これからも宜しくお願い致します。

[2566 へのレス]Re: 刀装具にみる武士のお洒落

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/08(Thu) 14:31

内記さん､“寝間薙刀”ですか、珍しいですね。
私の見た“寝間刀”は、会津若松松平（たしか三代）のもので藩工長道の作ですが、常に見る長道といえば地刃が冴えず足のぼやけたものが多いのですが、これは明るくて冴えた地鉄に匂いの深い刃文が力づよくのたれ、鋭く足の入った見事な出来で、虎徹に優るとも劣らぬ刀でした。献上作とはこういうものかと一同うなった次第です。
会津は御三家につぐ家柄で、代々の藩主は徳川本家と命運を共にする覚悟を初代からの遺訓とし、“武士たる志操”を堅持してきました｡“寝間刀”もそうした意味合いのものかと思っています。
要するに”寝込みを襲われて応戦するための武器”というより、寝る間にも一朝事ある時をわすれるな、という戒めではないでしょうか、剣客と一軍の将たる藩主はちがいますからね。

[2566 へのレス]Re: 刀装具にみる武士のお洒落

投稿者：内記 投稿日：2004/04/08(Thu) 20:28

ご隠居さん､『寝間刀』・・・完全に勘違いしておりました｡・・・汗。
「会津候の」寝間刀ですから、小心者の護身刀とは意味合いが異なりますね。　またしても早合点でございました　。(^_^;)

＞寝る間にも一朝事ある時をわすれるな、という戒め
は、まさに日々是戦場の「脇差こころ」と同じですね。
と無理やりこじつけてみました。　(-_-;)

奇遇といえばこの薙刀は後代「会津兼友」の作でした。
会津という國は・・・　、　本当に”愛すべき國”ですね。

ご教示ありがとうございました。

[2566 へのレス]Re:寝間薙刀

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/09(Fri) 12:24

内記さん、勘違いではないです。「会津兼友作」であれば、会津の女性が寝間薙刀として使ったのでしょう。ただ、幕末期というより、明治に入ってからの嫁入り刀として作られたかも知れません。
ご存じのように､会津は幕府徳川家を支えて徹底抗戦し､会津に薩長を迎えて市街戦となりました。官軍とはいっても農民に下級武士の群ですから品性下劣、会津藩士の家に押し込んで物品を強奪し婦女を強姦しました。そのため、多くの子女は舌を噛んで自決するなど凄惨な状況が繰り広げられ

ました。
この恨みを晴らさんと、西南戦争では旧会津藩士の警視庁巡査が「抜刀隊」を組織し、全員日本刀を腰にして奮戦、西郷軍に会津の仇を討ちました。
「寝間薙刀」「会津刀工兼友」とくれば、こういう因縁を秘めた薙刀だと思います。
この意味で珍しいものです。

[2573] はじめまして

投稿者：清麿 投稿日：2004/04/07(Wed) 00:00

皆様、初めまして清麿といいます。いきなりで大変申し訳ないのですが今、私は菊一文字について調べているのですが調べれば調べるほどわからなくなっていき掲示板に書き込みさせていただきました。

菊一文字とはどのような刀か？と調べてみると様々な説がありました！
1．助宗や則宗が後鳥羽上皇に菊花紋を許され、中心に菊紋を切ったから
2．後鳥羽上皇の作には菊紋があり、これは助宗や則宗（一文字一派の刀工）が御相手した太刀であるから
3．則宗は御番鍛冶の筆頭に上げられたので則宗の刀を菊一文字と呼ぶようになった
4．助宗が菊一文字と称した
5．中心に菊紋が切って有る一文字一派の刀
6．一文字を総称して菊一文字と呼ぶ
7．菊御作のこと

どなたか知っている方がいたら教えて頂けないでしょうか？よろしくお願いします。

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/07(Wed) 08:20

清麿さん、こんにちは。責任のある立場から退役しているので、隠居と申します。
ご質問ですが、云われてみると難しいですね。即答できるような事柄ではなさそうです。
常識的には、6と7は違うように思いますが、これについて刀剣史の学者が過去に取上げているか、取上げておればどう書き残しているか、手元にある史料をゆっくり調べてみたいです。
暫く時間をください。

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：刀剣ビギナー 投稿日：2004/04/07(Wed) 10:27

妻の実家の淡路島、松帆神社に 菊一文字が ります。
なにやら　楠木正成の重臣が 落ちのびて淡路で暮らしていらして その方の佩刀だそうです。

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：鎬 投稿日：2004/04/07(Wed) 18:46

はじめまして？？？
または、お待ちしておりましたでしょうか？
無学でご質問の菊一文字のコメントを
できませんが、今後ともよろしくお願いします。
清麿さん素敵な名前ですね。

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：清麿 投稿日：2004/04/07(Wed) 20:33

皆様、返信有難うございます。

隠居さん、こんばんは。私も上記の説を検証しているのですが、１については助宗、則宗の作に菊紋を切ったものはないことから違うと思います。２についても菊御作のことで菊一文字とは別のものだと思うのですがハッキリとはしません。隠居さんも書かれていますが、６と７に関しては私も常識的に考えて違うと思います。しかし、７についてなんですがこれは広辞苑に書かれているものなんです。現在の判断では菊一文字＝菊御作としているということなのでしょうか？

刀剣ビギナーさん、松帆神社で調べてみたところ確かに一文字則宗作、菊一文字と有りました（菊紋 or 菊紋、一の有無は分かりませんでしたが…恐らく菊紋はないでしょう。しかし、則宗を菊一文字と呼ぶのなら３の説が有力となりますね）。また、飯野山神社にも『菊一文字』が有るとなっていますが詳細は分かりませんでした。

鎬さん初めまして。こちらこそよろしくお願いします。

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/04/07(Wed) 23:17

はじめまして。真改２００４と申します。
よろしくお願い致します。

私は、司馬遼太郎の小説のものなのかと、漠然としか思っていませんでした。まったく知識がないので、ネットで検索してみました。
一文字
一文字の文字をクリックしてみてください。
もう相当検索されてご覧かもしれませんが、結構納得しました。

清麿さんの独自の見解がまとまりましたら、ご披露いただければありがたいと思います。
楽しみですね！

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：清麿 投稿日：2004/04/08(Thu) 23:23

真改２００４さん、初めまして！真改２００４さんのご期待に添えるかどうか判りませんが、私の見解を述べさせて頂きます。

先ず、菊一文字と呼ばれる所以を列挙したいと思います。

１．則宗や則宗が後鳥羽上皇に菊花紋を許され、中心に菊紋を切ったから
２．後鳥羽上皇の作には菊紋があり、これは助宗や則宗（一文字一派の刀工）が御相手した太刀であるから
３．則宗は御番鍛冶の筆頭に上げられたので則宗の刀を菊一文字と呼ぶようになった
４．助宗が菊一文字と称した
５．中心に菊紋が切って有る一文字一派の刀
６．一文字を総称して菊一文字と呼ぶ
７．菊御作のこと
８．菊一文字という刀は存在しない

次に以上の事柄について一つずつ検証していきます。

１．則宗や助宗には菊花紋を切ったものは存在しない。
２．これは菊御作のことである。
３．根拠がない（私が調べた範囲で）。
４．根拠がない（私が調べた範囲で）。
５．国宝に指定されている菊の紋を切った吉平の太刀があるが、これは皇室の御用品として菊花紋を切ったものであり菊一文字とは呼ばない。
６．素人の勘違いと思われる。
７．御所焼というのは聞いたこと有るが菊一文字とは呼ばない。
８．以上の事からこの説が最も有力と考えられる。

では、なぜ『菊一文字』なる言葉が生まれた原因について考えて見ます。

①鳥羽上皇の御作（いわゆる菊御作）ですがこれには銘の変わりに『菊』の紋を切った。
②則宗は御番鍛冶の筆頭に選ばれ、御番鍛冶には十二人中七人も一文字派の刀工が選出されている。
③一文字の鍛えで上皇が焼刃をし『菊紋』を切り、さらに『一』の字を切った物がある（現存して

います)。
④鎌倉時代の末期には後鳥羽上皇の慣例に倣って備前国の一文字や雲生などが、皇室の御用品として菊花紋章を切り納入したものがある。

以上のことが原因で『菊一文字』なる架空の刀が生まれ、書籍に誤記され始めたと考えられます。
では、『菊一文字』なる架空の刀は何時頃から生まれのでしょう？また、当時と現在ではどのように解釈されていたのでしょうか？
私が調べた限りでは、室町時代頃から『則宗あり、菊の紋あり、菊一文字』という言葉が書籍に登場してくるようです。、この頃の菊一文字という架空の刀は、菊紋を切ってある則宗の作を菊一文字と当時の人々は解釈していたのでしょう（実際には則宗の作には菊紋 and 菊紋＋一 and 菊紋＋一＋個名を切ったものはありません）！

これが現代になると③や④（④については一文字に限る）また、菊紋が無くとも福岡一文字則宗の作は菊一文字（司馬遼太郎氏の『新撰組血風録』の影響？）と解釈されているようです。
しかし、③の大島子爵家伝来の重要美術品に指定された「十六葉の菊紋」の下に「一」の字を切る太刀については、登録証・重要美術品の認定書にも「(菊紋)一、菊の御作」と書かれていて「菊一文字」なる名称はどこにもなく、④に関してもけんしょう５に記したように③、④共に『菊一文字』と呼べないし呼ばないのが普通でしょう。

結論としては、誤伝されたものが小説や時代劇などで本来は存在しない刀が世の中に広がっていったというのが妥当な答えだと思われます。ですから、『菊一文字』なる言葉は使用すべきではないのでしょう。
しかし、所以３や４の不安要素もあることや今では刀を知らない人達でも菊一文字と聞けば則宗と頭に浮かぶことなど『菊一文字』という言葉が世に広く浸透していることからも、菊一文字＝則宗としても良いのではないかと考えています。

　皆様のご意見も聞かせて頂けると大変有難いです！長々と駄文を書き連ねてしまい申し訳ないと思っています。

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：でもどり太朗 投稿日：2004/04/09(Fri) 10:17

こんにちは。　茎に菊と一文字を切る刀工は新刀や新々刀に数人います。例えば山城守国清や備前の新々刀横山系など。その他、もっと位列の低い刀工達にもあります。実戦に使う刀としてはこれらの刀工達の物を使うのが自然です。　菊紋と一文字を切ってるので「菊一文字」と表現されても間違ってはいません

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：清麿 投稿日：2004/04/09(Fri) 16:34

でもどり太郎さん、こんにちは。確かに『菊一』と呼ばれる刀との関連性についても調べたほうがいいですね。早速、私が所有している常石英明氏の『日本刀の研究と鑑賞（新刀編）』で山城守国清について調べてみるとこんな記述がありました。

『祖先の御番鍛冶助宗が菊一文字と称したことから、朝廷に願って十六葉の菊の紋を特に申請したものと考えられます。』

『島田助宗の祖先は後鳥羽上皇の御番鍛冶一文字助宗の二代目助宗がこの地に移住してから、代々助宗の名跡を継いだ後輩といわれています。』

助宗に二代目がいたというのは初めて知ったのですが、これは事実なのでしょうか？詳しく知っている方がいればこのことについても教えてください。よろしくお願いします。

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：法城寺 投稿日：2004/04/11(Sun) 08:31

横レスで申し訳ありません。

後鳥羽院とその周辺の鍛冶・作について文献上現存する最古のものは「承久記」とされており「御所焼きとは、次家、次延に作をせて、君御手づから焼せたまわり・・・」とあります。
下って長享二年（１４８８）成立とされる長享銘尽では「御製作十六葉八重菊也、御作名定かでない」となっています。
さらに天正七年（１５９７）の天正七年竹屋理安本」では「雲上之御作菊は三も有」。
つまりこの頃までは「菊一文字」という表現は文献上ほとんど出てこないようです。
江戸時代の新刊秘伝抄に「則宗が作が御作あり、菊一文字という」としっかり記載されているところから、いつしか「菊」「御作」「一文字」が融合され非常にゴロもあいまって「菊一文字」の名称が市民権を得たと考えて良いのではないでしょうか？その背景には江戸時代にやはり菊紋と「一」を切る刀工がいたこともあっての呼びやすい状況下にあったことも見逃せない点ではないかと私見ですが推察しています。

さて、管理人様がご紹介くださった「一文字」の文面ですが、実は愚かにも小生が数年前に書いたものでしてかなり断定的な表現が多く（要はあまりにも沖田総司ファンの方々が事あるごとに「菊一文字、菊一文字」とうるさいぐらいに騒いでいたので食傷気味となり多少の怒りと警鐘のために「きつい言い回し」での文面となった訳でして）、今では修正を考えているものでして、参考にはなさらないでください。（汗）

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：法城寺 投稿日：2004/04/11(Sun) 12:16

続きです。
その後の古刀銘尽大全では菊一に関して「なかごは則宗下地をつくるといえども、そのほかの番鍛冶も時によりて下地を作るゆえ云々」の記述が見られ、本朝鍛冶考（寛政年間）ではこの点を「菊一文字のこと一人に限らず、御座の御剣には皆御紋をしるせり」と補足的は解釈がされています。
要するに二転三転がこの時代でもあり、ほんとうのところなぜ「菊一文字」というようになったかは確かめようがないように感じます。
ただ、やはり後鳥羽院存命中にはそのような表現・名称はなく、かなりたってから生まれた新造語であったようです。後鳥羽院崩御以降は、禁裏に納入するものには菊紋を切りましたから、福岡一文字であっても本来の菊作とはあきらかに違いますね。
個人的には「菊一文字」という名称は好んで使いたくないという気が長年ありそれが管理人様の紹介された拙文となって現れたものです。
ですが今はきちんと上記の流れを理解した上であれば使用しても構わないと思っております。その為に人に聞かれた場合はくどくどと長くなりますが上記の簡単な名称の流れと自分なりの見解を説明した上で「私はあまり使用しないが、それは強制しないよ」と補足してます。
これでも少しは軟化してきました、まあ年も年だし。

長々とお邪魔しました。笑って読んでやってください。

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：清麿 投稿日：2004/04/11(Sun) 15:31

法城寺さん、返信ありがとうございます。お怒りよーく分かります！
『菊一文字』なんて最初に言った奴の顔を見てみたいです（笑）

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：法城寺 投稿日：2004/04/11(Sun) 16:28

＞清麿さん
いえいえ、拙い文面拙い知識で答になってないので申し訳ないですよ。
昔は確かに「菊一文字菊一文字とうるさい、日本刀じゃなくて日本酒か！」などと思ってましたが、今ではすごく感心してます。宣伝文句としてはこの上ない出来だと思います。誤記・誤伝であったとしてもこれ程のゴロのよさはなかなか思いつきませんよ♪

＞皆様へ
時々現れては変な書き込みする私ですがどうかご容赦ください。生まれも育ちも多摩は調布の産で

すので（正確には生まれたのは調布の病院、道路一つ挟んで住んでたのは三鷹ですが。どこに行くにも京王線を使うため、調布が遊び場だったということでご容赦のほど）新選組には小学生の頃より愛着があり、ゆえに菊一文字には一層の興味がありますもので今回の書き込みとなりました。どうか拙文ならびに礼を逸した発言があれば平にご容赦ください。

＞ご隠居様
またまたご無沙汰しております。ご隠居様のお手持ちの史料による解説を心からお待ちしております。小生の手持ちではまだまだとるに足らない一笑に付すべきものでしてお恥ずかしい限りです。なにとぞよろしくお願いします。
小生の引用した史料は「菊一文字」というより後鳥羽院の「御作」に関する研究論文からですので、必ずしも古一文字・福岡一文字全般に言及したものではないので、古書にて御作以外の一文字に述べたものには「菊一」なる文言が出てくる可能性は大いにあると思います。これがいつ頃なのかということが清麿さんの投げかけられた問題の焦点でしょう、実は私も興味津々なものですので。

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/04/11(Sun) 21:35

私が検索し、ご紹介したのが法城寺さんの文章とは・・・。
知らぬこととは申せ、まことにご無礼申し上げました。m(__)m。

そのままま ったくコピーして載せては、これは最も失礼にあたると思い、リンクで紹介させていただきました。
事後報告になりましたが、ご了承くださいませ。
昨日からパソコンの調子が悪く、本夕、やっと回復したところで、遅れましたこと、重ねてお詫び致します。

さて、菊一文字ですが、日本刀鑑定要訣にも少し紹介されていましたが、やはり、菊一文字の言葉が出てきます。
また、助宗を大一文字、そのこ助則を小一文字の呼び名がある。と紹介されています。
参考文献は載っていませんが、このような紹介をした本があるのでしょう。

話はそれますが、菊一文字という酒があるのですか？私が小さいころは、菊正宗という酒の宣伝が流行っていました。(^.^)。

法城寺さんのご意見、まことにありがとうございました。m(__)m。

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/12(Mon) 06:42

清麿さん。こんにちは。皆さん、こんにちは。
先に言い訳を致しますが、私は老齢なので夜が早いのと視力減退により細字が読みにくく読書は遅々として捗りません。

さて、菊一文字の淵源を調べる手段ですが、まずまともな研究書を選ぶことです。私は「川口陟著日本刀剣全史（全８巻）」の中、第四巻を調べました。
川口氏程度になると､原典史料はすべて正本かコピーを入手され原本の一字一句を検証されており、信頼できます。
氏によれば、後鳥羽上皇の御番鍛治について記載した最古の史料は「正和銘鑑」であり、この文書でさえ正和五年の筆録であって承元、承久から百年後であり、かつ現存のものは応永三十年の写本であるにすぎず、いたるところに誤字と思われる誤記がある。､
とあり､又氏は｢古刀銘尽大全｣などは史実の記載について語るには値しない｣と論評されている。
要するにこの著者が原本を見ないで“孫引き”に終始していなければこうまでボロクソに云われまいでしょう。現代では清麿さんが挙げておられた常石氏がそうで、ここに引用された文献を著者が実際に見ておられるかどうか、甚だ疑わしく、真面目に刀剣を学ぼうとするお方が手元におくべき書本ではありません。

まだ私はこれに関して全史以外に二三の書本を見ていないので申し上げるのは早いのですが、次のことは云えるのではないかと考えています。
菊一文字と称した刀工はいない。
菊一文字というのは俗称で、しかも一般的な呼称ではない。

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/12(Mon) 09:34

法城寺さん､｢一笑に付すべきもの｣はご謙遜です。色々と調べられたご熱心さに敬服します。｢万書を信ずれば書無きがごとし｣と申しますが、刀剣関係の書物も、玉石混交、まず本物を見抜くことが必要と心得ます。戦後の刀剣研究家の中でも古文書を読解された方は、僅か数氏にすぎないのではないでしょうか。

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：法城寺 投稿日：2004/04/12(Mon) 12:23

＞ご隠居様
さっそくのご指導ありがとうございます。

江戸時代の刀剣書物にはそうした以前の書物の良いも悪いも丸写しに加えて、伝言ゲーム、雪だるま式に余計なものも付け加えられてるのものが多いということは聞き及んでおりますが、なかなか原本資料を見る機会も読み砕く読解力もないもので調べ物ひとつとってもまだまだ苦労しております。

私もご隠居様と同じく「自ら菊一文字と称した刀工はいない」と考えております。刀工ではなく、いつしか刀剣を扱うことで生計をたてる人達（書籍として出版する人も含めて）が作り上げた俗称なのでしょう。
江戸時代という街道が整備され海路も整い流通がそれ以前に比べ発達した中で逆に玉石混合ありとあらゆる情報が氾濫した結果、それらを取り入れ書物とした悪い例のひとつに「菊一文字」もあるように考えております。

ご隠居様のお手持ちの史料による詳細をお待ちしております、楽しみです♪

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：法城寺 投稿日：2004/04/12(Mon) 12:31

＞真改２００４様
いえいえ、たいした文章ではございませんからお気になさらないで下さい。
菊一文字という日本酒はさすがにないと思いますが、日本全国「菊○○」って名前の日本酒は結構あります。それで沖田総司ファンがうるさく「菊一、菊一」って騒いでるときには「酒がどうかしたんか？」と嫌味をよく言ったもんだなという回想でございます（笑）。
ただ、上にも書きましたが、ゴロは確かにあってて感心する出来栄えです。宣伝売り込み文句としてはこの上ない上品さ（爆）。

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/12(Mon) 13:27

法城寺さん、私は旧漢字旧仮名に親しんでいる年寄ですが、毛筆書きの古文書を読み下す能力はありません。(若い頃に一度挑戦しましたが、くずし方が年代と流派でいくつもあるのにはお手上げでした)
しかし「物書き」と云われる職業的研究者があまりにも安直に他人の労作を取り込んで「孫引き」しているのには呆れます。
「菊一文字」には、私にはなんとも云えない想い出があります。
中学（旧制）三年の時、雑誌に出ていた「菊一文字作」の短刀を通信販売で買いました。母親に辞書を買うと云って騙した金額ですから、多分五円くらいの筈です。白鞘で金メッキはばきで、手入れ道具もちゃちなものがついていました。これをカバンに忍ばせて刀の目利きをするという本屋の主人に見せると、鞘を払うなり「こりゃアカン、ダメだ」と云って、何故これがダメな刀か、説明してくれました。

少年の私には充分分かりかねましたが、つまるところ奈良刀といってお土産にするものである由、
「兄ちゃん、これでは腹も切れんで・・・」
それから頭にきてこの短刀を一円か二円で引き取って貰い、その金で藤代商店の刀の本を買いました。
こういうわけで、菊一文字にはひどい目に会いましたが、私にとっては刀の世界への案内者です。
平造り、無地鉄に互の目、ギラギラと光る、名前に似つかぬ野卑なものでした。

[2573 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：清麿 投稿日：2004/04/12(Mon) 16:53

ご隠居様、ご指導まことにありがとうございます。この度は、小生の勉強不足が基で皆様にご迷惑をおかけしたこと大変申し訳なく思っております。
何分手持ちの資料も少なく、周りに刀剣に熟知した方もいないので皆様の投稿とても有難いです。これからは、ご隠居様がいわれた通りただ書物を読み漁るのではなく、そこから本物を見抜く眼を養っていきたいと思います！
法城寺様も書かれていましたが、ご隠居様の見解私も心よりお待ちしております。

[2600] 新々刀の銘について

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/04/14(Wed) 18:08

ごめんください　　初めて投稿いたします籠釣瓶です。よろしくお願いします。この掲示板はよく拝見させていただいています。ログを全て読んでからお尋ねしようと思っていたら、１ヶ月以上もかかってしまいました。お尋ねしたいのは刀工の号についてであります。守、とか、尉、とかは官位ですが、例えば水心子正秀の「子」は何を意味しているのでしょうか？単純に子供の子なのか、「士」が変化したものなのか、それとも特に意味はないののでありましょうか。清麿さまの質問にくらぶれば次元の低い質問ですが、よろしくお願い致します。
その他・・斎
　　・・軒　　これは金工がよく使いますが
等、合わせてお教えいただければうれしいのですが。
ご面倒ではありましょうが、これからもお伺いしてもよろしいでしょうか。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/04/14(Wed) 21:31

真改 2004 と申します。
よろしくお願い致します。

さて、水心子とか氷心子とか水翁子とか、これを号と称するようです。
号とは、簡単な国語辞典で調べてみると、本名とか別名以外につける風流な名前のこと、とありま

した。
ということは、やはり、水心子という号には意味があると考えるのがよろしいかと思います。
そして、子というものにも当然意味が付いてくると思いますが、子という文字にどういう意味があるのかは、この場合は、存じません。m(__)m。

なんじゃそりゃ！といわれるかも知れませんが、私もこうした文字の意味を考えてみたことがほとんどないので、この機会にご存知の方がいらっしゃいましたら、ぜひお聞きしたいです。

ちなみに、真改という意味だけは、かつて調べたことがあります。
真改大鑑であったと思いますが､『真心をもって改める』からきた『真改』ということを知りました。
まさしく、私にぴったりと、その言葉の意味と真改自身の刀の作風が好きなこととあわせて、この名前を使用させていただいております。

水心子あるいは『子』という文字の持つ意味、いったいどんな意味をもつのでしょうか。
解明されるのが楽しみですね！！

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：内記 投稿日：2004/04/15(Thu) 02:41

＞籠釣瓶さん。はじめまして、内記と申します。宜しくお願い致します。

私も真改さんと同じく今まで考えた事がありませんでした。
新々刀期だけの流行かなと思ったのですが、「新刀期」に大銘がありました。「粟田口一竿子忠綱」。鐔では「藻柄子喜多河入道宗典」の「藻柄子」。

国語的な意味ですと【名詞や動詞の連用形に付いて、その仕事をしている人、そのことに当たる人、そのような状態の人、そのためのものなどの意を表す。】とのことですから「一竿」のような・・・フンフン何となく分からないでもないような・・・。 「水心（真ん中・中心）」のような・・・ これも何となく・・・ (^_^;) 本当かナア ？

【号】の意味合いとなりますと､『風流』の雅味の領域ですので刀剣世界以上の門外漢でございますので、私も解明を楽しみにしております。

只、久々に「新刀・新々刀 刀工系図」を見ておりましたら､『水心子正秀系』以外に『号』名乗り（斎・軒も加藤系に若干名）は少ないなアとの印象を受けました。並列関係では『浜部眠竜子寿実』になりましょうか。この二人は『東・西』の儀八郎ですので「お互い」「意識的」な『○○子』の【号】・・・というのは頓珍漢な空想でしょう力・・ (^_^;)

先程この本をナナメ読みした処、新々刀『銘』の例外は、水心子門下の「直胤」がありました。

生国＋氏＋受領銘＋【号】＋姓（かばね）＋名
出羽国荘司筑前大掾大慶藤直胤　　受領銘＋【号】は珍しいと思います。
【前・受領銘＋○×】が原則のようです。

びっくりしたのは「水心子二代正秀」の号＋入道名です。
【水寒子白熊入道正秀】。　これって・・・　果たして「雅味」「風流」の領域なのでしょうか(>_<)　　市井の野暮助にはなかなか理解が・・　デス　(^_^;)

ところで不躾ながら私が気になりますのは珍しいＨＮです。
「籠釣瓶」さんと申されますとやはり「村正」がお好みなのでしょうか？　　"^_^"

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/15(Thu) 12:07

籠釣瓶さん、こんにちは。
○○子、たしかに変ですね。これは真改さん内記さんの仰るように「号」ですが、元々は尊敬をこめた号です。いい例が孔子ですが、孔子は
姓は孔、名は丘、字は仲尼。孔子とは尊称で、単に孔丘とも云う。」とあります。
論語の中では「子曰（しのたまわく）」先生が云われるには、各文章が始まります。
ですから、○○斎が学者の雅号であったのを真似たように、みずからを一かどの人間と自尊してつけた号のようです。
水心子は大勢の門弟を育てた棟梁ですから、云ったのでしょう。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/04/15(Thu) 16:41

真改様
内記様
隠居様
見も知らぬものよりの質問に、早速レスいただきまして恐縮しております。そういえば、遠い昔に習った記憶がございます。水心子の「子」が先生の意味があったとは、思いもよりませんでした。
刀工の名乗り、金工の号、等、意味を考えてみると又、興味の尽きないものがあります。このような研究本はあまり発刊されていないようで、一人で想像して、一人で納得しています。
私の、籠釣瓶のＨＮですが、皆様すでにご承知と思いますが、籠の釣瓶は水がたまらない，すぐ落ちる、水もたまらね切れ味、と、業物の刀を称した異名です。
私は尾張拵えが好きで、その中でも柳生拵えに魅了されています。尾張柳生４世柳生連也斎の差料大小のうち、大が籠釣瓶、小が笹の露といわれております。どちらも尾張刀工秦光代の作ですが、大のほうは自分の力量に合わせ、生涯に３度摺り上げられたといわれています。
この籠釣瓶の拵えを私の愛刀に着せてやりたく、３年がかり位で作成しました。それ以来、私の横

には常に籠釣瓶がありＨＮにも使用しています。
ちなみに私の愛刀は、２尺５寸、南北朝期の青江写し逆丁子乱れの現代刀です。作者は、この版でも話題になっていた刀匠の、平成元年作です。
長々と自分勝手なことを書き込みすみません。
重ねて御礼申し上げます。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：内記 投稿日：2004/04/15(Thu) 18:08

ご隠居さん、こんにちは。

「水心」が【号】で「子」が【尊称】ではないか　との御説は私も昨夜考えてみました。
文化八年二月　日の【六十二翁水心子正秀】の８年後、七十一歳の　文政二年八月　日　の銘が【水心老翁子天秀】とあり、また門人の一人「信義」の銘に【水心門人毛呂信義鍛之】とあったからです。

しかし、宗家筋の【水心子】・【氷心子】・【水園子】は理解できるのですが、師の尊称【子】は憚られるはずの弟子（孫）筋が一様に、
【(月山) 雲竜子貞一】、【剣竜子貞晴】、【古山子英代】、【流采子正重】、【水生子昭秀】、【見竜子秀茂】、【一水子常徳】、【万歳子守寿】、【紫虹子寿秀】、【城慶子正明】、【秋水子秀興】と
【○○子】と名乗るのが気になってしまいます。
恰も【子】を通字としているようにも考えられます。

前述した西国代表『因州浜部』の【眠竜子寿実】の弟子（孫）筋も同様に、
【見竜子寿幸】、【竜淵子寿綱】、【天然子寿昌】と【○○子】と名乗りをしております。

師の尊称を通字（？）とするとは「不遜では」と愚考いたしますが『復古論者』はその思想において【是】としたのでしょうか。
今ひとつスッキリといたしません。
再度、ご教示いただけますれば幸甚でございます。

＞籠釣瓶さん

上記のように（我がままな）私は、いま少しこの欄をお借り致したくお願い申し上げます。

【柳生連也斎の差料大小のうち、大が籠釣瓶】とのこと。
恥ずかしながら存じ上げませんでした。私はてっきり、歌舞伎世話物【籠釣瓶花街酔醒】中の名刀『籠釣瓶の村正』で百人斬り・・・の方かと。(^_^;)
美濃の後代兼定にも「籠釣瓶」のきりつけ銘の業物が・・も聞いたような。(・・？

柳生拵え。好いですね。やはり逆目貫で柳生鐔ですか？。以前銀座の刀剣店で拝見したものは二尺一寸程のものでしたが「二尺五寸」を納めた拵えですと豪壮ですね。
私は、居合いで二尺五寸は抜けても無事納刀の自信はありません。(>_<)。
これからも宜しくお願い致します。　!(^^)!

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：法城寺　投稿日：2004/04/15(Thu) 21:20

＞皆様へ
またまた横レス的登場で申し訳ございません。
「雅号」とすると本来漢詩・書・画・和歌・句の世界において使われた本名とは違うものですよね。そこでは「二字」であり、苗字の下につけたものでったのではないでしょうか。かつ、どちらかといいますと風流を重んじながらその世界におけるニックネームであり、尊称的意味を自ずとつけたもの、もしくは愉快にしたもの。
文壇では石川啄木しかり、「二葉亭四迷」みたいに「くたばっちめい」に引っ掛けたものもありますが、これこそ風流の世界かな（笑）。
刀工の号は必ずしも「雅」、表現にこだわらない独自の「号」の世界があるように感じてます。自らを熊に例えるもある意味「雅」とも言えるし「遊び心」とも言えますよね。この遊び心も「雅」であるとも言えるし、とどのつまり、業をなしえた芸術家・究極の職人として自らを称したものとして「自ら選んだ語句」の「号」、ではないのでしょうか。

わかりにくい私見で申し訳ございません。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：法城寺　投稿日：2004/04/15(Thu) 21:25

すみません、付け足しです。
すなわち他の芸術・工芸・美術の世界にあるときは習い、ある時は独自の世界を表す意味で、苗字のかわりに号したり、あるいは名前の変わりに号したり、そして風流を忘れないことをさりげなくあらわしたものではないでしょうか。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：真改２００４　投稿日：2004/04/15(Thu) 21:54

籠釣瓶の銘は、たしか真改にもあったように記憶しています。
彦根井伊家伝来の中であったかと・・・。不確かで恐縮です。
よく斬れる刀の号で、同じ号が付いた刀は結構あるのかもしれませんね。

さて、『水心』とは。みずのこころでしょうか。
考えると深い意味浅い意味(^^ゞ、多様にあって、これだけである！という意味だけではないようなあるような・・・。想像すると楽しいですね。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/04/15(Thu) 21:57

籠釣瓶さん。
ひょっとして、お持ちの刀は『大野義光』刀匠作ですか！？

ぜひ拝見したいです。(~o~)。

画像掲示板もありますので、機会がありましたら、よろしくお願い致します。m(__)m。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：法城寺 投稿日：2004/04/16(Fri) 09:00

昨夜は酩酊状態で訳のわからぬことを書いてしまいました、すみませんでした。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/04/16(Fri) 19:57

皆様こんにちわ
名乗りについて面白い銘を切る刀工を思い出しました。新々刀桑名で、三品義明斎広房と銘を切る刀工です。何かの本でこの一派が末備前の桑名打ちを作ったのでは、と書かれていましたが、その時はなるほど（偽銘）を切るから　（偽銘斎）　いやいや　義明斎　かいな、と妙に納得したことを覚えています。その後少し調べてみると、親筋の伊勢の大道が（義面斎）と称しており、弟の広道が（義専斎）（義伝斎）と称していることから、この一派が、（義）の字を通称として代々使用していることが分かりました。名乗りや、号、についても必ず意味があると思われますが、今となっては本人に聞くこともならず、想像するだけなのでしょうかね。
＞真改様
お察しのとうりです。
＞内記様
柳生拵えは、本歌は２尺弱の短い刀です。連也斎が小柄ですばしこい人だったらしく、片手切りに便利なように工夫されたもののようです。
本来は、連也拵えとよばれるものであろうと愚考いたします。
なにぶん現代刀のため、金具が合わず全て別注いたしました。縁頭、小尻は、水月　落花の図（４分一）　鍔は曲水宴の図（鉄）目貫は　かこつるべ　文字の図(金）テダマリのよいように鮫皮をへこませて、逆目貫としています。柄巻きは、柄のみねをたいらにして浅黄色の５分糸を使用し、撮

み巻きで１３菱に巻いています。鞘は３分刻み黒蝋色塗りです。
刀共々、写真アップしてもいいのですが、恥ずかしながらやり方がよく分からないのです。デジカメはあるのですが。
本を見ながら挑戦してみます。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/04/16(Fri) 21:56

本題から少しずれますが、大野刀匠の話が出たので、平成三年の林原美術館で開催された『重花丁子の世界』』の図録を見ていました。

山鳥毛の華麗な波紋で代表される大野刀匠の刀ですが、逆丁子の刃文の刀も製作されていますが、図録にもその焼き刃で構成された刀は少ないようです。
しかも、籠釣瓶さんの刀は長さや無鑑査になってからそう間もない時期の作品であることから、出来や刃文の珍しさから、とても貴重なものと感じます。
逆丁子の刃文で実際に拝見したことがあるのは、短刀だけです。
ある刀剣商から頂戴した写真がありますが、大事に保存しております。
目が覚めるような刃文ですね！

最新の日本刀柴田の通販誌である刀和にも大野刀匠の昭和６２年の刀が出ていました。この時期から後の刀がやはり迫力が一層でていると勝手に思っております。

真改と大野刀匠のことになると、ちょっと気になるほうですので、よろしかったら、ちょくちょく大野刀匠や現代刀のことも何かご投稿していただけますと、たいへんありがたく思います。

大野刀匠の作品をお持ちの方と知り合えて、とても感激致しました。(#^.^#)。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/17(Sat) 07:49

【子とは何か】というテーマに私自身も興味を持ちましたので調べてみました。
内記さんの仰る「一竿子」もありますが、この場合の流れから水心子を的にしぼります。

正秀が水心子を名乗ったのは山形から江戸に出た早い時期で、安永十年らしく、同年二月の押形が「新刀賞鑑余録」に所載ありとしています。（※「水心子正秀とその一門」黒江二郎著　雄山閣）
「子」 が尊称であるなら、弟子筋が師匠同様にこの「子」を名乗るのはおかしい、という疑問ですが、
これについては直弟子たちは師に対して敬意をもっており、決して「子」を名乗っていません。
直弟子とは、庄司大慶直胤、細川正義（初二代）、池田一秀、古山弘元、高橋昭秀、白井重秀、加藤

国秀、月山貞吉などです。彼らたちは美濃介などの受領銘を添えることは一時期あったとしても、大体は現代風な本名（または本名らしい姓名）を銘としています。
たしかに「見竜子秀茂（奥州仙台住）」などと「子」を名乗る刀工もいますが、年代が後期であるところから、直胤または正義などに師事し水心子にとっては孫弟子にあたるようです。またこの孫弟子たちは「水心子一門」を名乗りたいため短期門人であったふしもあります。
水心子の門人は、直弟子、孫弟子、後期の短期門人、合わせて百余名を分けて考える必要があると考えます。
ですから「水心子」の号は正秀の書簡に「水心子の号、倅に相ゆずり、私儀は天秀と銘切り候」とあるように嫡子の貞秀に相続しています。（前出※、しかしこの二代目は水心子をやめ、あたかも自嘲するがごとく水寒子に変えます。）
このように水心子正秀一門に関して云えば、「子」の号は孔子時代からの尊称の意味が保たれていたということが出来ます。

さて、このテーマである「○○子」の号に関してですが、私の会社の大先輩が「自分史」を出版し送ってこられたのですが、その表題が「村夫子傳」。立派な装丁の本にこの題名で首をかしげました。一体、何と読み、どういう意味なのか分かりませんでした。調べますと読みは「そんぷーし」、田舎の学者、村の物識りという意味らしいのです。
この場合は尊称というより、謙遜したユーモアのある号かと思います。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：内記 投稿日：2004/04/17(Sat) 08:52

＞ご隠居さん、おはようございます。

水心子正秀の門人を同列に見ず、直（内）弟子と聴講生とに分けるとの仰せ御尤もと承知致しました。

正秀の弟子Ｎｏ１は諸説あるようですが、『直胤』が有力ですね。何故直胤が『○○子』を名乗らなかったのかとは考えが及びませんでした。
毎度、愚考をご鞭撻いただき痛み入ります。
ありがとうございました。

追伸：
＞しかしこの二代目は水心子をやめ、あたかも自嘲するがごとく水寒子に変えます。
『水寒子白熊』・・・私は法城寺さんとは感性が違うのか　、洒落で笑い飛ばせない、重い父子の関係を思い描きました。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：内記 投稿日：2004/04/17(Sat) 09:19

＞籠釣瓶さん。『・・鞘は３分刻み黒蝋色塗りです。・・』

もしかして、勝手な想像ですが、イメージは・・・　神無月さんの・・・
【投稿画像掲示板】の Re: 十衛兵フィギュア　神無月 - 2004/02/11(Wed) 19:10 No.1322 の画像・・・
雰囲気近いでしょうか？
　画像のアップお待ちしております。
（私もアップの方法がわかりません。デジカメもいじれません　(^_^;)

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：花散里 投稿日：2004/04/17(Sat) 11:46

＞籠釣瓶さん
ご挨拶が遅れました、システム担当の花散里です。
今後とも、よろしくお願いします m(__)m

＞籠釣瓶さん、内記さん
画像投稿掲示板への写真投稿は、簡単ですよ。
まず、デジカメで撮った写真をパソコンのハードディスクにセーブします。
後は掲示板の「添付Ｆｉｌｅ」で、その写真を指定して普通に投稿すればＯＫです。（ファイルサイズは 100KB まで）
「失敗したら・・・」などと思わずに、気軽に試してみてください。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：法城寺 投稿日：2004/04/17(Sat) 14:58

＞内記さま
＞『水寒子白熊』・・・私は法城寺さんとは感性が違うのか　、洒落で笑い飛ばせない、重い父子の関係を思い描きました。

直接のレスははじめてでしょから一言ご挨拶しておきます。今後ともよろしくお願いします（あんまり来てませんでしたが、汗）。
私のレスの方を、洒落で笑い飛ばしといてください（汗）。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：内記 投稿日：2004/04/17(Sat) 19:44

＞法城寺さま。

ご丁寧なごあいさつ痛み入ります。が・・、
困ったな・・・。誤解があるようです。
ご意見の引用は軽率でございました。
ご不快な表現でございましたら本意ではございませんのでお許し下さい。

貴殿が某刀剣軍団の棟梁とのお噂は存じ上げております。小生、初心者ゆえそのぶんざいではございませんので直接の討論は差し控えさせて頂きたく御容赦くださいませ。

籠釣瓶さん、ご隠居さんご迷惑お掛け致しました。深くお詫びいたします。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：法城寺 投稿日：2004/04/17(Sat) 20:35

＞内記さま
いやあ、こちらこそ誤解を招いたようでして。
全然不快になど思っていませんですよ。実は上でも書いたとおり、酔いに任せて書いたものでして、支離滅裂な文面だったので翌朝「やばい」と思った次第ですから。
内記さまにも皆様にも逆に私の方が気にさわるような文面であったのではないかと危惧しておったところですので。

私などまだまだ駆け出しのような素人愛好家ですので今後とも一緒に勉強させて頂こうと思っております。あらためてよろしくお願いいたします。
皆様もあらためてよろしくお願いいたします。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：花散里 投稿日：2004/04/17(Sat) 22:14

＞内記さん
＞小生、初心者ゆえそのぶんざいではございませんので

＞法城寺さん
＞私などまだまだ駆け出しのような素人愛好家ですので

いきなりですが、臨時のレフェリー「花散里」でございます(^^ゞ
ご両所とも、「謙遜合戦」はこれにて終了とさせていただきます m(__)m
もちろん、無礼・傲慢は話になりませんが、あまりお堅いのも・・・(^^)
まぁ、楽しく参りましょう。

「刀銘入門」 柴田光男著 光芸出版には、福永酔剣氏の次のような言葉がありました。
【幕末の名工・水心子正秀の水心子は、秦の昭王に金人が水心之剣を捧げたという記事があるので、それから取ったのでしょうね。】

昔の人の漢文の知識は、現代人の私たちから見るともの凄いですから、「古典から取った」というのも頷けると思いませんか？

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/18(Sun) 07:21

籠釣瓶さん、柳生連也の少脇差、「鬼の包丁」の異名ある秦光代（みつしろ）の注文打、さすが武芸者好みのものと惚れぼれします。尾張拵、柳生拵、関の岐阜県博物館でやっていますよ。もし、主催者の加納さんがいたら、声をかけてください。柳生拵のファンだといえば色々話をしてくれる筈です。

[2600 へのレス]Re: 新々刀の銘について

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/04/18(Sun) 11:21

＞隠居様、ご教示有難うございました。秦光代は、（みつしろ）と読むのですか。私は、はたみつよと読むのかと思っていました。柳生拵の本歌はめったに見ることはかなわず、私も手に持ってみたことはありません。時間が許せば、ぜひ拝見したいと思っています。
＞真改さま　　大野刀匠がおすきとか。大野刀匠を紹介している本があるのをご存知ですか。刀匠のエピソードやポリシーが紹介されており、その人となりが推察される本となっています。読んでも面白く勉強になる本です。　　【鉄のある風景】日本刀をいつくしむ男たち　　森雅裕
すでにお持ちでしたら読み捨てにしてください。
もうひとつ、大野刀匠の刀での荒試しもご存知ですか？
ううむ・・・画像を送ろうとしたのですが、悪戦苦闘しています。

[2600 へのレス]大野義光刀匠

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/04/19(Mon) 08:08

【鉄のある風景】日本刀をいつくしむ男たち　　森雅裕
＞は、熱心に読みました！(~o~)。
とても面白かったですよね。この本を読んでから、森雅裕氏の著書も少ずつ読むようになりました。

刀を題材にしたものを読みましたが、靖国鋼を題材にした『鉄の花を挿すもの』では、鉄の行方を小説風に書いて、その時代の雰囲気が感じられました。
『平成兜割』という本も骨董商の随筆風短編小説になっていて、良かったですね。

本歌柳生拵えは、刀剣柴田『麗』の一月号に保存刀装具鑑定書の付いた二尺ほどの宇多が載っていました。
珍しいですよね。

さて、大野刀匠の刀で荒試しですか！
これは、まったく知りません。
重花丁子の刃文の刀で行ったのでしょうか。
個人的にはなかなか勇気のいることですよね。(^_^;)。
例えがちょっと違いますが、外国映画で高級なスーパーカーが惜しげもなく、大胆なカーチェイスを繰り広げているような・・・。
つまり、なんていうか、私なんかはもったいなくて、とても出来ない次元の話です。(>_<)。
どんな内容の荒試しだったのか、差し支えなければ詳細をお教え下さいませ。
斬れ味もどんなものだったのでしょうか。

画像ですが、詳しくは花散里さんに伺っていただければ、間違いないと思います。
私も、画像の大きさ（容量）の変更がよくわからなくて、なんどもエラーが出て、失敗しています。
画像も大きかったり、小さかったり・・・。

[2610] 訃報。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/04/16(Fri) 02:30

「伊賀の影丸」「仮面の忍者赤影」他、少女漫画・歴史漫画等でもご活躍されていました横山光輝先生がお亡くなりになりました。
お疲れ様でした。ご冥福をお祈りします。合掌。
…「バビル２世」も良かったなぁ…(ノ__・、)

[2610 へのレス]Re: 訃報。

投稿者：鎬 投稿日：2004/04/16(Fri) 18:02

「仮面の忍者赤影」「バビル２世」を楽しく観てました。
赤影はアニメではなかったですが、バビル２世はアニメでしたよ。
子供心に、ポセイドンが家に居たらいいな～と思ってましたよ。
そんな夢を見させてくれた横山先生に合掌。

[2610 へのレス]Re: 訃報。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/04/16(Fri) 21:41

魔法使いサリーもそうなんですってね。
私にとっては、なんてったて『赤影』ですよ！！

昨年でしたか、赤影の俳優さんも亡くなって寂しい思いをしました。
でも、作品はずっと残ります。

ご冥福をお祈り致します。m(__)m。

[2610 へのレス]Re: 訃報。

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/04/16(Fri) 22:27

三国志はマンガで在りながら随分と勉強を
させて頂きました。

子供のころ鉄人２８号のシールを筆笥や家の柱に
貼り付け、よく怒られた記憶が蘇ります。

先生のご冥福を深くお祈り申し上げます。

[2610 へのレス]Re: 訃報。

投稿者：花散里 投稿日：2004/04/17(Sat) 11:57

「鉄人２８号」白黒の画面を、オンタイムで見ていました。
マーブルチョコレート（だったかな？）のおまけのシールや当時流行したワッペンなどを、ずいぶんと集めました。
「伊賀の影丸」も大好きでしたね。
ご冥福をお祈りします。

[2610 へのレス]Re: 訃報。

投稿者：内記 投稿日：2004/04/17(Sat) 12:59

花散里さんに負けない・・・レトロ自慢
子供達が「お父～さん、絵～かいて～」のリクエストにまず最初に描くのが『鉄人 28 号』。それも必ず両手を曲げて上に向けた直立不動形。
『これな～に～？』。「鉄人 28 号！」『♪ビルの町にガツオ～、夜の町に♪』の主題歌付き　!(^^)!

『フ～ン。・・・ドラえもんかいて～　』　「・・・・」　「・・・・・」
(ーー;)

私はこうして先生の遺産を 21 世紀に伝えております。

ご冥福をお祈りします。

[2610 へのレス]Re: 訃報。

投稿者：内記 投稿日：2004/04/17(Sat) 20:46

＞横山光輝先生がお亡くなりになりました。

自分の文章を読み返しますと訃報の投稿の場にはあまりにも埒外で軽薄な投稿文と赤面の至りです。
まず故人とご遺族に深く陳謝いたします。
こてつ。さんはじめ皆様に重ねてお詫びいたします。

今日はお詫びばかりです。

[2610 へのレス]Re: 訃報。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/04/17(Sat) 23:36

＞内記さん。
とんでもないです。いかに内記さんが横山先生の漫画を楽しんで御覧になっていたかが十分に伝わってきます。
漫画描きにとっては最高の褒め言葉です。
時代を経て人の記憶に残る作品なんてそう簡単に描けません。
僕も横山作品の記憶を２１世紀に残したいと思っています(#^▽^#)。

[2632] 現代刀荒試し

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/04/19(Mon) 15:58

皆様こんにちは
だいぶ前のことではありますが、現代の名匠大野義光刀を使用しての荒試しの話です。ご存知の方もあるかとも思いますが・・・・
この話は、【三田光剣】先生が（光剣茶のみばなし）のなかでご紹介された話ですが、試刀者、所属、を実名を挙げて、又、写真入りで紹介されており真実の話です。
この事実を、再度インターネットで公開して大野刀匠にご迷惑をかけてはと思い、電話にてお願いしたところ、快くご承知いただきましたのでここにご紹介いたします。
この時の「義光刀」は２尺３寸５分　身幅１寸１分

以下でワラ何本とあるのは、(畳表１枚半で１本のこと) したがってワラ３本というと、畳表４枚半を巻いた太いものになります。

●第１回　　試刀者　　某流　某氏（　実名は了解を得ていないため容赦ください）左右袈裟斬り　ワラ３本　　切断　４回

横一文字斬り(左右)　ワラ２本　　切断　２回

片手左袈裟斬り　　ワラ２本　　切断　１回

据物斬り　　ワラ４本（３回）　ワラ４本半（２かい）　切断

●第２回　　試刀者　某氏　某流

孟宗竹　２日間荒斬り、直径７センチ以上のもの、竹林に生えているもの、切断本数数え切れない。

桜、生木、直径７センチ位　12 本　切断

松、生木、直径 12 センチ位　３本　切断

孟宗竹（枯れ竹）直径７センチ位　右袈裟斬り　１０本　切断

弓　１本　　竹刀立切り　４本　切断

畳表１枚半の中に牛の太骨直径８センチ以上を巻き込んだもの４本切断

鉛板　幅１０センチ　厚２センチ　６回切り込み９分切れ（小さな刃こぼれ）

番線（針金）１・５ミリ　３本巻き　１５回切断

２寸釘（台上）１本切り　２回切断・２寸釘（台上）２本切り　１回切断

●第３回　　試刀者　某流　某氏

孟宗竹　　直径６センチ以上　　荒切り　80 本以上

●第４回　　試刀者　某流　某氏

欅板　幅約 30 センチ　厚９センチ　長 40 センチ　正座切り　３回（2 回約 15 センチ切り込み 3 回目で切断）

銅　丸棒直径２センチ　正座切り２回　８分切（小さな刃こぼれ）

●第５回　　試刀者　某流　某氏

孟宗竹　荒切り　３日間　１５０本以上

鉛板　　幅１０センチ　厚２センチ　２回切断（僅かに刃こぼれ）

ラワン材　幅３０センチ　厚１センチ　左右袈裟切り６回切断

ラワン材　１寸角、台上に５本並べて２回切断

無銘刀　打ち込み合い　１００回以上　相手の刀に棟、鎬、刃、切り込み残る　義光刀、刃こぼれなし　無類の強さ（強靭性の試し）

無銘　槍　約１尺　末備前３角　　中央にて台上切断

無銘　槍　約６寸　３角　台上にて切断　台版切断の上コンクリートに２センチ食い込む。

日本刀（現代刀）２尺４寸　棟より１刀で切断　３回

軍刀の日本刀と棟で打ち合い、日本刀折れる。(２尺２寸）関物　１回

ブロックに打ち込みブロック粉々　５回　（義光刀僅かにはこぼれ）

この後義光刀は強靭さを試すため、折れるまで金床に打ちつけついに 2/3 ほどのところから折れた。

●第６回　試刀者　某流　某氏

兜　砂をつめて試す　　約１センチ切り込み

兜　松丸太にかぶせて試す　　かなりの切り込み

（この兜試しは折れた後の義光刀で試した）刃こぼれほとんどなし

以上が荒試しの内容ですが、第 1 回から第 5 回の折れるまで約 3 ヶ月を要したとのことです。
まさに驚くべきことで信じられない内容ですが、真実のことであります。

実は私が大野刀匠の刀を熱望したのは、この記事を見たからです。
突然電話で作刀を依頼したとき、試斬に使用する刀は今は作っていないと、断られたのですが何回もお願いしてやっと快諾をいただいて、完成したのがそれから 4 年後ぐらいだったでしょうか。
何回もご自宅にお伺いして、切れる刀、強靭性、美しさに関して議論いたしました。出来上がった後、私も試斬に使用しましたが、噂にたがわぬ切れ味で、孟宗竹入りの巻きわら 2 本土壇にて重ねて両断しております。
しかしあまりの出来のよさに、今では研ぎあげて拵えを作成してそばにおいています。
長々と書き込みしましたが、現代刀にも美しさを保ちながらも、強靭性をも併せ持つ刀もあることを、お知らせしたくて紹介いたしました。
刀匠も、狙いは鎌倉期の地鉄、刃紋、映りであるとおっしゃっています。1 日も早く鎌倉期の古名刀の再現を願ってやみません。

[2632 へのレス]Re: 現代刀荒試し

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/04/19(Mon) 21:11

籠釣瓶さん。ありがとうございます。
わざわざ、大野刀匠に承諾までいただくご配慮を、感謝致します。
m(__)m。

それにしても、一気に読ませていただきましたが、まさかこれほどのものとは、想像しておりませんでした。＼(◎o◎)／！。
返信を書きながら、また読んでいますが、何度読んでも驚きです。

無鑑査クラスの刀匠で、これほどまでに試した刀匠の記事を読んだことがありません。
現代刀はとかく『美術品』であるからという話が優先して、あまり斬れることをとことん試すようなことは聞くことが少ないですね。
以前、真鍋純平刀匠宅へうかがった時に、やはり孟宗竹を試している特定の人の存在を聞いたことがあります。

斬れる事は日本刀である以上当然で、使えるという前提の強靭性、それに加えての美しさということがあればこれこそ最上作ということなのでしょう。
だからこそ、過去の刀において名刀といわれる刀は『名刀』として存在しているのだと思いますね。

私は、大野刀匠の刀を直接手に持って拝見したのは二回だけです。
山鳥毛写しの太刀、そして、山姥斬り写しの太刀の二振りです。
特に山鳥毛の太刀は大野刀匠に太刀を目の前にして解説していただいたので、とても印象に残って

います。しかし、感激のあまり緊張して、内容をあまり記憶していないのが情けないですが・・・。(T_T)。

山鳥毛太刀の印象は、その長さに比較して、驚きの手持ちの良さであったことです。山姥斬りの太刀が重い！とい印象に対して、とても軽かったですね。
それに、刃文・地鉄・姿のどれをとっても美しかった！！

大野刀匠の師にあたる吉原義人刀匠も兜割りなどの試しをされていますが、こうした裏づけのある刀匠の作品は『美しさを保ちながらも、強靭性をも併せ持つ刀』と感じます。

さて、籠釣瓶さんは、大野刀匠と『何回もご自宅にお伺いして、切れる刀、強靭性、美しさに関して議論いたしました。』とありましたが、その結果、『南北朝期の青江写し逆丁子乱れ』となったと思われますが、なぜその刃文となったのかという経緯もお手隙の時にご解説頂けますと幸いです。

管理人の一人の空爺さんが復活の狼煙をあげましたので、いずれ『現代刀荒試し』のこの記事をコンテンツ化していただけると思いますが、その時はご快諾下さいますとありがたく存じます。
貴重なお話をありがとうございました。

まだまだ大野刀匠とのエピソードもあろうかと想像します。勝手を申しまして恐縮ですが、徐々にお話いだけますと、これまたありがたく存じます。m(__)m。

[2634] あまりにひどい

投稿者：清麿 投稿日：2004/04/19(Mon) 23:36

皆様、こんばんは。先日ある広告を目にしたのですが、私は自分の目を疑いました。そこには「加州清光　沖田総司の愛刀として有名な菊一文字である」なる文面が有ったのです。加州清光と菊一文字を混同するなんてことがあるんでしょうか？

[2634 へのレス]Re: あまりにひどい

投稿者：法城寺 投稿日：2004/04/20(Tue) 12:36

＞清麿さま
要するに日本刀に関して素人の人が書いたんではないでしょうか？沖田総司の愛刀＝菊一文字という愛称である＝だから加州清光のことだろう、てな具合では。

長曽根虎徹の本名を山野加右衛門であると堂々と書いている「刀剣書籍」が新刊本として３年程前からいまだに売られてるくらいですから・・・。そうすると当時の江戸刀工のほとんどは皆同一人物ってことになってしまう珍説（笑）。それで虎徹には贋作が多いのかなどとある意味納得できる説ですよ、これを信じると（爆）。

まあ、冗談はさておいて、意外に世間一般の日本刀に対する認識はこんなものなのでしょう、悲しい現実ですね。

[2634 へのレス]Re: あまりにひどい

投稿者：清麿 投稿日：2004/04/20(Tue) 16:12

法城寺さん、こんにちは！話は変わりますが、某番組で近藤勇の愛刀として虎鉄がスタジオに登場したらしく、さらにその刀を実際に近藤勇が使用したものだと紹介したらしいのですが・・・近藤勇の愛刀が虎鉄だというのも立証されていないし、仮にそうだったとしても現存していないと思ったのですがどうなんでしょう？私の知らぬ間に近藤勇の虎鉄が発見されていたのでしょうか？

[2634 へのレス]Re: あまりにひどい

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/04/20(Tue) 21:07

模造刀かなにかの宣伝文句にあったような気がします。(^_^;)。

まあ、模造刀を本物と間違って、しこたま買い溜めるようなことがなければよろしいかと・・・。笑って流しませんか。(^.^)。

[2634 へのレス]Re: あまりにひどい

投稿者：清麿 投稿日：2004/04/20(Tue) 23:05

何気なく投稿してしまいましたが、読み返してみると不適切な発言だったと思います。不快になられた方がいらっしゃいましたらお詫び申し上げます。以後このようなことがないように投稿の際は十分気を付けたいと思います。

[2634 へのレス]Re: あまりにひどい

投稿者：子鉄 投稿日：2004/04/21(Wed) 02:18

　其の番組は、所ジョージの番組だと思います。私は見ていましたが、刀は、拵えに入ったまま刀掛けに掛けて有り、名は分りませんでした。アップに成った所では、真剣に間違い無いですが、虎徹かどうかは、説明が無く分りませんでした。美濃物っぽい刃紋でしたが。。。。

　協力、刀剣協会、と一瞬出たような気がしましたが、良く覚えていません。

　おちゃらけていて、あまり、刀の扱いも良くなく、よい番組では無いですね。たけしの番組の思いっきりパクリだし。。。

[2634 へのレス]Re: あまりにひどい

投稿者：親子２代の刀掛け 投稿日：2004/04/21(Wed) 23:09

清麿さま、子鉄さま、皆様よろしくお願いします。生涯「刀掛け」をしています。
子鉄さま、確かに・・博物館蔵とありました。翌日東京支部の集まりで関係者に確認したのですが、番組を見ていなかったのでとやんわりはぐらかされてしまいました。まして現存する近藤勇の刀が虎徹であれば知らない関係者はいないと思いますが・・・・
以前から近藤勇の刀は、様々なところで取り上げられ、戦前の映画で「今宵の虎徹は血に餓えている」のセリフがあまりにも知れ渡り、いつの間にか、近藤の刀は虎徹となってしまったようです。
佐藤寒山著「日本刀物語」では、近藤勇から虎徹を求められた刀屋が清麿に偽名を刻み納めたが、京都から戻った近藤から呼び出しがあり偽がばれたと観念していたら褒美をもらった話が書かれていたと思います。
犬塚徳太郎著「二セ虎徹は清麿」のなかでは、「師匠の吉川恒次郎が壮年の折り研磨された事があり、長さ２尺３寸地鉄の鍛えは板目肌、刃紋は大互ノ目乱れ、明治年間には有名な黒田清隆氏が所持し、大正４，５年の頃同家から売り物に出て最後の所有者は金子堅太郎氏で、震災の時麹町の金子邸で焼失したのである。拵も幕末当時そのままの朱鞘の大刀であった」と書いて無銘だったと思います。
虎徹は大名の持ち物で、近藤勇では所持出来なかったとも、どこかで読みました。

[2641] 加賀刀の名誉のために一言

投稿者：masahiro 投稿日：2004/04/21(Wed) 23:54

伝来大小のうち大刀は加賀の刀です。加賀刀は、一般に身幅狭く万事頃合いの姿で鍛えの「ざんぐり」とした地刃の冴えない出来が多く、「美術刀剣」としての評価は一部の個銘作をのぞいて必ずしも高いとは言えないようです。

しかし、加賀刀に限らず「関系新刀」として一くくりにされている北国地方刀工の中に、見栄えの良い新刀最上作に勝るとも劣らない「業物」が隠れているのは諸書に記されているとおり。

抜いて月光に透かして、「強い味方」としみじみ感じたのは国定忠治だけではありますまい（忠治のは実存しない架空の銘でしたが・・・）。

もしあなたが往時、命を託すとしたらどんな一刀ですか？

[2641 へのレス]Re: 加賀刀の名誉のために一言

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/23(Fri) 10:20

ｍａｓａｈｉｒｏさん、こんにちは。
私は若い頃、予算の都合上高価な刀は買えませんから、「加州清光」の穴二つを愛蔵しておりました。これは仰るように身幅尋常で重ねやや厚く反り少なく、直刃でした。美濃系というより大和系を感じさせました。この刀で加賀物が好きになり、中年になって長い間追い求めた「信長」在銘の短刀

が入手できました。これも冠落し造りで直刃、大和系です。
友人の愛蔵する加賀物では、柾目の家忠も好きです。加賀物は大藩前田家の城下だけに他国に出ない逸品が多く、一般に知られていないだけです。たとえば「備前伝逆丁子の兼若や家忠」などの珍品中の珍品は、知らない人ばかりです。
こういうのを見ると加賀刀工の作域の広さと実力を見直し、ファンになること必定です。

[2641 へのレス]Re: 加賀刀の名誉のために一言

投稿者：くりりん 投稿日：2004/04/23(Fri) 22:17

私がもし戦国期に生きていたら迷わず美濃伝の刀。

隠居様、もしや○○術さんに出てた短刀ですか？
涎を流しつつ眺めておりましたが。

[2641 へのレス]Re: 加賀刀の名誉のために一言

投稿者：masahiro 投稿日：2004/04/23(Fri) 23:50

隠居様
正弘です。フォローいただき、ありがとうございます。
また、賀州刀を評価いただき、嬉しく思いました。重ねて御礼を。

　藤原家忠は、拝見したことがあります。沈んだ匂口の静謐な出来で、鍛えが無類に良くいかにも物切れの良さそうな刀でした。賀州新刀も家忠くらいだと上士の指し料だったのか、金紋魚々子地の殿中拵えが付いていたように記憶しています。

ご存じのとおり加賀藩は日本一の大藩で、１万５千人あまりの家臣を抱えていたにもかかわらず、幕末維新ではさしたる働きもなく歯がゆい限り。佐賀藩がアームストロング砲を製造していた時代に、金蒔絵を散らした加賀具足を作っていたのです。

くりりん様
美濃伝、いいチョイスです。私なら藤島友重ですね。粘りのありそうな刀です。
ま、古刀なら本当は郷か則重がいいんですが、とてもとても・・・。

冠落の短刀は、浅古系によくある作り込みです。あの手は詰んだ地鉄で、直刃の刃縁に細かく変化ある玄人好みの作です。あれは私も欲しかったですね。隠居さまのは、もちろん別口でしょう。

[2641 へのレス]Re: 加賀刀の名誉のために一言

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/24(Sat) 08:02

こんにちは。ご存知のように細川幽齊公好みの信長は稀珍中の稀珍です。この短刀は縁あって「鑑定要訣」の館平吉先生所蔵の某品入手のため、残念ながら手放しました。
くりりんさん、手放しましたのが１５年以上前ですから、あるいはそうかも・・
正弘さん、加州清光も武用の一刀という感じでした。「最高の刀を挙げよ」と言われれば一文字と思うのですが、それであっても身近に置きたい刀は色々ありますね。

[2641 へのレス]Re: 加賀刀の名誉のために一言

投稿者：masahiro 投稿日：2004/04/25(Sun) 08:29

館平吉氏蔵刀をご入手と。興味津々です。
いや、人様のお蔵の詮索はマナー違反でした。

伝来刀は売り飛ばすわけにもいかず、最近は資金不足で欲しい売り品が目の前に現れても、指をくわえて見ているばかりです。

とはいうものの、少子化で刀を受け継いでくれる男子のあても難しくなってきています。興味のない者に相続させるくらいなら、あらかじめの処分も考えなければならないようです。

有り難うございました。

[2641 へのレス]Re: 加賀刀の名誉のために一言

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/26(Mon) 08:58

館平吉先生の蔵刀、と申し上げると、さぞかし・・・と思われますが、先生のメインとされたものではありません。もちろん金額的にはナーンダというような額ですが、好き者このみの渋いものです。先生の御名を出しましたため、この辺りでご勘弁ください。
ですが、名研師で刀剣研究家の愛蔵刀はいわゆる「大銘もの」ではなく、案外こういう渋い物をお持ちですよ。

[2641 へのレス]Re: 加賀刀の名誉のために一言

投稿者：くりりん 投稿日：2004/04/26(Mon) 19:23

masahiro 様、維新の混乱に加わらなかったと言うのも正しいかも知れません。
どちらが良い悪いとかに関係なく、人材を失わずに済んだのですから！
当麻の冠落の短刀をいつか所持したい物です。

>興味のない者に相続させるくらいなら
これで手入れを怠り、錆を発症させるという危険が恐い物ですね。

隠居様、人様のご蔵刀に失礼な事をもうしました。申し訳ありません。
信長の短刀を見た時に本当に欲しいと思った物ですから。

[2642] 子のつけ方

投稿者：笠地蔵 投稿日：2004/04/22(Thu) 18:42

ちょっと下のほうになりますが、○○子というのは、「俳号」や「雅号」で、そのままでは名前にならない品詞に「子」（する人）をつけて号にするという約束があり、その「子」ではないでしょうか。
遊行、遊、は動詞で雅号にできないので「遊行子」、「遊子」のように。水のような心、では名前ではないので水心子、と・・・

[2642 へのレス]Re: 子のつけ方

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/23(Fri) 14:46

傘地蔵さん、こんにちは。下りほうの「子」のもとの意味、お読みくださいましたか？
水心子は幕末より少し前の刀工で、その時代における「子」の号について、あれこれ云っております。明治ちかくになりますと、号に「子」をつける意味もだいぶ変ってきて、一寸した鍛冶が子を名乗っています。
俳人も大正から昭和にかかってくると、高浜虚子とか水原秋桜子とか、「子」のついた名乗りをしますが、それ以前は如何でしょうか。芭蕉門下十哲、百人衆の中には見当たらないように思います。
もっとも、最近の傾向はさっぱり分かりません。

[2645] 青江写し逆丁子

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/04/23(Fri) 20:35

皆さんこんにちは
私が現代刀を依頼したとき、なぜ南北朝期の青江写し逆丁子乱れになったか説明いたします。その前に私は試斬をいたしてはおりますが、居合い、抜刀、に関しては門外漢であります。若干の手ほどきは受けましたが、剣道の発展系としてのものです。居合い、抜刀の練達の方から見ると、不適当なこともあるかと思いますが、あくまで私見でありますのでご容赦の上お読み捨てください。
先日電話したときに、刀匠より、そのときのいきさつなども話されたらどうですか、とのアドバイスも御座いまして記することにしました。
まず、刀匠に何を試斬しているのかと、切れ味、強靭性について、私の考えをお話しました。
試斬の対象は、竹を巻き込んだ巻きわらであること。(袈裟と土壇)
切れ味には、断ち割る切れ味と、切り抜く切れ味があり、両方とも満足させてほしいこと。
土壇を試すため、試刀のハバキ元に一面にしなえが出たこと。

腕が未熟なため試斬中に刀を曲げたり、刃こぼれを起こすことも日常茶飯事の為、腕をカバーしてくれる刀が欲しい等、無理難題をお願いしました。
そこで刀匠がおっしゃるには、切り抜く切れ味には、平造りが一番だが断ち割るための強さに劣る。強靭さは鎬で受けているので両方を満足させるためには、身幅広めにかさねをある程度とって、鎬巾を狭くすればよいとのことでした。
造り込みは荒試し刀と同じ３枚造り、土壇を行うため先巾広め、私の好みで大鋒となれば、南北朝期を狙うしかありません。当時刀匠は、南北朝期青江写し逆丁子の小脇差を最も得意とされていました。
その得意の逆丁子を私の刀にお願いしました。

参考の為、出来上がった刀の寸法を記しておきます。
長　２尺５寸　反り　６分　元巾１寸１分５厘　先巾９分５厘
元重ね　２分７厘　　先重ね　１分７厘
鎬巾狭く棒樋かきながし。　　重さ　裸身９８０グラム
若干先に重心がありますが、切り抜けをよくするため、先に行くほど徐々に重ねをおとしているので手持ちは悪くありません。鞘を払って１３００グラムあるので居合いにはてこずるかもしれませんね。
出来は勾出来の逆丁子、大野刀匠独特の夏空の入道雲のような入道丁子であります。
ご自宅にお伺いしたとき、新潟の銘酒【越の寒梅】を出してくださり、飲みながら時間を忘れて話し込んだのを思い出します。
まだお話しすることもあるのですが、いろいろ書いていると長くなりましたので今日はこのくらいで失礼します。
＞内記さん
柳生拵えはフィギアの写真の感じに似ています。
画像アップ・・・うーむ。

[2645 へのレス]Re: 青江写し逆丁子

投稿者：内記 投稿日：2004/04/23(Fri) 23:49

＞籠釣瓶さん

年度末が終り、新年度になったと思ったらもう・・なんと月末です。
しばらくあっぷあっぷ状態でございます。楽しい刀剣談義は暫し御預けです。
あっぷ、あっぷと言えば、画像アップ・・・。
素人考えですが【ＷｉｎＸｐ】なら【マイピクチャ】を使用して【ファイルとフォルダのタスク】で【このファイルを電子メールで送信する】
で自分のアドレスにメールすると画像が簡単に圧縮できるので、これを再度保存し、添付ファイルに利用するのも簡便法かと・・・アナログ人間は想像します。　　ダメですかね工・・・　花散里さん。

今しばらく参加できませんので、【現代刀匠】はお任せ！の真改さん。宜しくお願いしま～

す。　!(^^)!
菊久さんも　アップ戴いた【短刀？】のお話も含めてお聞かせくださいませ。
神無月さん　「柳生拵え」もうすぐアップですよ～　　"^_^"

[2645 へのレス]Re: 青江写し逆丁子

投稿者：花散里 投稿日：2004/04/24(Sat) 01:18

＞籠釣瓶さん、内記さん

画像のファイルサイズを縮小するには、専用のフリーソフトを使った方が楽ですね(^^)
例えば、「小柳 彰宏氏の縮小専用」など。
このソフトウェアは使い方も簡単ですし、「ファイルサイズの指定」ができますから便利ですよ。
電脳倶楽部の画像投稿掲示板は、ファイルサイズが１００ＫＢ以下の制限がありますから、このソフトでファイルサイズを９５ＫＢくらいに指定して縮小してください。
ピクセルサイズは、800 × 800 か 600 × 600 くらいが適当かと思いますが、いろいろと試してみてください m(__)m

---

[2645 へのレス]Re: 青江写し逆丁子

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/04/24(Sat) 07:00

まずは、私も花散里さん紹介のソフトをさっそく使って投稿してみました。
画像をドラッグドロップしたら、画像が消えてどっかへ行ってしまった？とか、なんか新しい縮小専用の画像のファイルが勝手に出てきたりと、戸惑いましたが、なんとか出来たように思います。(^^ゞ。

私の場合、ろくに説明も読まずにやってしまうので、前なんかパソコン内のすべての画像を取り込んでしまって、それが削除できなくて右往左往しました。
いつもお世話になっているパソコンのお店で、最悪の場合は入院ができますので(^^)、思い切ってやっております。(^^ゞ。

[2645 へのレス]Re: 青江写し逆丁子

投稿者：御家人 投稿日：2004/04/24(Sat) 07:25

通りすがりでお邪魔します。製作されたのですか、刀も拵えも 相当
日にちが掛かると聞きましたが、その辺りのお話もお伺いしたいものです。

[2645 へのレス]Re: 青江写し逆丁子

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/04/24(Sat) 18:05

籠釣瓶さん。
画像を拝見しました。大変お手数をおかけ致しました。m(__)m。
しかし、その苦労のおかげをもちまして、素晴らしい刀を拝見することができ、私だけでなく、多数の方が拍手喝采されたことと推察致します。
＼(^o^)／。

さて､本題の青江写し逆丁子の刀ですが､想像したとおりの大野刀匠の特徴がよくでた刃文ですね！見ごたえたっぷりと思います。それ以上に、この刀で試斬をされていた籠釣瓶さんの腕前の凄さも大変素晴らしいものと感じ入りました。
ところで、一般に樋の入った刀剣は曲がったときに、元に直すのが困難であると聞いたことがありますが、樋を入れることによっての曲がりに対する対策についてはどのように考慮されていたのでしょうか。
このあたり、実際に試斬をされている籠釣瓶のご意見は貴重なものと思いますので、ご意見を頂戴できればと存じます。

拵えの画像ももう少し、細かく見せていただければありがたいなぁ、などと思います。(^^ゞ。
結構、皆さん期待されていると思いますよ！！(~o~)。

大野刀匠の刀に外装付き。しかも、その刀で試し斬り。う～～ん。
私の想像する最高の現代刀での贅沢ですね！！（●＾ｏ＾●）。

[2656] 鑑定会

投稿者：倭　士 投稿日：2004/04/26(Mon) 11:59

皆さん、こんにちは・・・
昨日久しぶりに日本刀剣保存会さんの鑑定会に行って参りました。
報告をかねて参考までに、鑑定刀は、

① 太刀：（畠田）光守・徳川将軍家伝来
② 刀： 兼元（孫六）・毛利家伝来
③ 刀： 井上和泉守國貞（真改）
寛文十年二月日　翁
④ 刀： 横山上野大ジョウ藤原祐定
備州長船住人　（新刀）
⑤ 刀： 伯キ守平朝臣正幸

文化十一年戊二月　八十二歳造
その他、鍔が四点でした。
※　PC 不慣れの為、出てこない字はカタカナで入力しております。

鑑定入札の成績はまずまず（次点）でした。
刀友のＦ氏などは見事、人位を獲得!!
兵庫の真鍋刀匠等も参加されておられ、有意義な時間を過ごす事が
出来ました。
終了後に刀友と３人でアルコールを片手に刀談議で盛り上りました。

尚、保存会さんでは鑑定会への初回参加者無料キャンペーンを、
行っておられるとの事です。
詳しい連絡先等は、ＨＰをご覧下さい。
確か真鍋刀匠のＨＰからもリンクされていたと思いますし、詳しい
ご説明も有ったと思います。
へたくそな書き込みで失礼を致しました。・・・

追伸：
先日、日本美術刀剣保存協会の鈴木嘉定会長がご逝去されたとの
訃報をお聞きしましたが、不幸は続くものですね。

故人の刀剣界への業績を称えると共に、お悔やみ申し上げます。

[2656 へのレス]Re: 鑑定会

投稿者：鎬 投稿日：2004/04/26(Mon) 17:04

鈴木会長がご逝去とは。。。
会長挨拶を読ませていただいたところなのに
お悔やみ申し上げます。合掌

鑑定会さぼりました。
報告いただいた鑑定刀ひょっとして
もう拝むチャンスが無いと思われるもの
ばかりですね。さぼりはダメですね。。。
このレスの後に倭士さんからさぼるなと
書かれるのでしょうね。。。
仕事だったんですよ。倭士さん
しかしＦさんは凄いね。同期なのに差が付きすぎ。。。

[2656 へのレス]Re: 鑑定会

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/04/26(Mon) 19:09

僕も２５日の東信支部の鑑賞会で会長の訃報を聞きました。
慎んでご冥福をお祈りしたいと思います。

鑑賞会の一本入札は「正行　天保十二年八月日」の刀でした。
アメリカ帰りの新発見の刀らしいです。
萩落ちする直前の作ではないか、とのお話でした。
地鉄が良く詰み、地景も見えました。珍しい直調で沸えが良く付き浅く湾たれ刃中に小足が入る出来でした。
当てられた方は０人。勿論僕も…毎回トホホです。
今回の講師は田野辺学芸部長、「大和伝」についての講義でした。

次回は７月の予定です。

[2656 へのレス]Re: 鑑定会

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/04/26(Mon) 23:05

倭士さん。レポートをありがとうございます。
保存会さんでは鑑定会への初回参加者無料キャンペーン
＞これって素晴らしい企画ですよね！
鎬さん。徳島から大阪へは交通は何が一番ですか？
大阪だけに行くということは最近行ったことがないもので・・・。(^^ゞ。

昔は、飛行機でプロペラで行ったり、高速艇で天保山に行ったりしていましたが、いずれもなくなり、ずいぶんと自分の中では遠い存在になりました。
いい刀を手にとって鑑賞する。最高のひと時ですね。

[2656 へのレス]Re: 鑑定会

投稿者：鎬 投稿日：2004/04/27(Tue) 08:29

徳島→大阪への交通手段についてはメールで案内させていただきますね。
参考になれば幸いです。

[2656 へのレス]Re: 鑑定会

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/27(Tue) 09:48

倭士さん、鑑定会で次点、おめでとうございます。
出題刀はいずれもつよく自己主張した名刀ばかりですから、印象もつよかったことと思います。展示会で見ているのと、実際に自分の見た目で入札するのとでは、かなり違いますでしょう。この積み重ねで、「ふかく見る」「見どころをつかむ」ということが出来ていきます。「ホームレスと刀は三日やったら止められん」と云いますから、もう立派な「好き者」ですね。

[2656 へのレス]Re: 鑑定会

投稿者：倭　士 投稿日：2004/04/27(Tue) 12:17

下手くそな書込みで申し訳ございません。

真改さん>
大阪への交通機関として難波までの、高速バスも安くてお勧めですよ!
一番速いのは、水上スキーですよね？？　鎬さん・・・？
また一度お越し下さいませ。

隠居さん>
祐定以外は、特徴がよく出ている刀ばかりだったので二の札で
すべて当り・同然を頂いたのですが・・
久しぶりに天・地・人に入るかと思いましたが、ダメでした。
また次回から、さらに精進努力いたします。

また、鑑定会や展示会がありましたら、書込みさせて頂きます。

[2656 へのレス]Re: 鑑定会

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/04/27(Tue) 21:52

倭　士さん、鎬さん。ありがとうございます。m(__)m。
大阪行きの方法メールを楽しみにしております。(^^ゞ。

東京なら飛行機でひとっとびなのに、橋が架かっていても大阪や神戸は遠い感じがして、腰が重いですね～。(^_^;)。

[2656 へのレス]Re: 鑑定会

投稿者：倭　士 投稿日：2004/04/29(Thu) 21:34

逢える日を楽しみにしております。
３年程前の真鍋刀匠の展示会では、１日違いで会えず・・
お逢い出来る日を心待ちにしております。

[2661] 今月の通販誌から

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/04/26(Mon) 23:12

銀座情報と麗そして、刀和が揃いました。
今月の刀では刀和が最も光っていたように思いますね。
個人的な感覚で申し訳ないですが。(^^ゞ。

特に表紙の古青江助次はうぶ茎で今年の二月に保存を取ったばかりで、しかもお値段もお手ごろ。鎌倉期の太刀がこのお値段とは恐れ入りました。
もう一点は、和泉守兼定の薙刀直し刀ですね！
元重ねが二分八厘もある健全な作で、刀剣美術の５４７号の本部鑑定刀としても出ているそうです。
どちらも重要刀剣指定であってもおかしくないのではと感じました。

両方買っても新刀の重要刀剣よりもお安いですし、いかがでしょうか？
＼(~o~)／。

[2661 へのレス]Re: 今月の通販誌から

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/04/27(Tue) 04:22

やはり、そこに目が行くとは代表の目は素晴らしい。(^。^)

重要刀剣をご自分の名義でとお考えの諸兄チャンスかも？
私はと言えば、先立つものがなく指を銜え、ため息を
つくのがやっとの状態。　(T_T)

しかし、刀和はたまにこういう良い物がでますね。
数年前の短刀：来国光１８５万円、未だに記憶に新しい。

チャンスの前髪を掴むのは誰なんだろう・・・・・・・・

[2661 へのレス]Re: 今月の通販誌から

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/04/27(Tue) 21:56

鬼丸さんもやはり！！(*^_^*)。

あれ売ってこれ売って、おもちゃも売って、と算段しましたが、今夕には実現不可能と気持ちもしぼんでしまいました。ハハハ(ーー;)ガクッ。

数年前の短刀：来国光１８５万円、未だに記憶に新しい。
＞これなんて、今でも印象強いですよね～。
ほんと！！

[2668] 青江写し逆丁子　その２

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/04/28(Wed) 19:20

皆さんこんにちわ。
真改さんより、樋を入れることにより、刀身の曲がりに対する対策のお尋ねがありましたので、刀匠との話の中で決定したことを記します。
作刀を依頼したときの最大のテーマは、強靭性ということでありましたから、特に曲がり（折れに対してもですが）に関しては、詳細に検討を加えました。樋をかく事は重量の軽減に他ありませんが、その可否についてお尋ねしたところ、同じ造り込みであれば若干の強度低下は否めない。とのお話でしたので、その強度低下分を、重ねを厚くする事で（２分５厘→２分７厘）防止して頂きたい旨依頼しました。
刀匠にいろんなことをお尋ねしている内に、刀の強度は心鉄の材質（生鉄から限りなく鋼に近い鉄）と、その入れる量により決まるのではないかと思えるようになりました。勿論最終的な強度は焼きいれにあることは論を待たないところであります。
荒試し刀は、影打ちの丁字刃であったと承りましたが、限りなく鋼に近い心鉄で、３枚鍛えとの事でありました。
もうひとつ、曲がりに関しては焼き刃の高い刀は曲がりにくいとのお話でありました。では折れるのか、と申しますとどうもそうでもないらしいのです。ここで心鉄の材質と量が関係してくるのでしょうが・・・・・
そういえば前に試斬に使用していた刀は、未備前の刃の低い直刃で、身幅１寸に対して鎬巾４分、鎬高の丈夫そうな刀でしたが、すぐ曲がる腰の弱い刀でした。
これなども折れないことのみを念頭に作刀したのでしょうかね。
拵えの写真をアップします。
刀身の写真はなかなかうまく撮れず、もう少しお待ちください。
照明が悪いのかな。

[2668 へのレス]Re: 青江写し逆丁子　その 2

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/04/28(Wed) 21:07

籠釣瓶さん。解説をありがとうございます。m(__)m。
とてもわかりやすく、またその証明が実際に籠釣瓶さんの『大野刀匠の刀』で実践されているので、とても説得力があります。
なるほどと思いました。

画像のアップはまだ花散里さんの監査(^^)が済んでいないようですので、出ていないようですが、楽しみですね。

青江逆丁子刃写しといえば、昨日、泰文堂さんから『刀剣画報』第二弾が送られてきました。
そのなかに、吉原義人刀匠の逆丁子刃の脇差がありましたが、それを見ても大野刀匠の刃文がいかに美しいかが、画像掲示板の写真をみてもよくわかりますね！当代一の人気刀匠と称えられるはずです。

さて、刀剣画報は東京の泰文堂さんから送られ来る『実寸の写真通信販売カタログ』なんですが、今回、この画報の裏に撮影者のお名前がありました。藤代性なのですが、女性のようです。藤代さんの刀の画像はこれまた他の追従を許さない完璧な画像のであると私は思っているのですが、それを伝承する人が他にも出現したということでしょうか。

中身の刀も正宗あり、現代刀あり。
ご覧になっていない方は、ぜひ購読してみてください。
並みの通販誌とは迫力が違います。
私はファイルを買って保存しています。(^^ゞ。

[2668 へのレス]Re: 青江写し逆丁子　その 2

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/04/29(Thu) 11:52

＞御家人さんより、前にお尋ねがあった拵えの製作期間でありますが、書き忘れておりましたので記しておきます。
もう大分前のことで参考になるかどうかわかりませんが、刀身の製作期間につきましては、前にも記したように、約４年を費やしております。
拵えに関しましては、刀身を研ぎあげた時点から、金具の製作に入りまして、（縁頭、目貫、こじり、切羽）を金工の方へ、鍔を鍔工の方へ、お願いして出来上がったのが１年後ぐらいだったでしょうか。
それから拵えの下地に入るわけですが、柳生拵えは鞘を３分刻みにするため、非常に手間がかかりました。

刻み数は８７本あり、１本１本手彫りで刻むため出来上がったときに、鞘師にもう２度とやりたくないといわれました。
これが約半年以上かかったと記憶しております。
それから柄巻きに約２ヶ月位、最後に鞘塗りに約半年位、これも刻み鞘のため蝋色研ぎ出しに非常に手間がかかったとのことでした。
拵え製作の職方にも、直接お会いして当方の要望等いろいろ話をしましたが、イメージどうりのものを作るのはなかなかむずかしいですね。
私の場合、刀身製作依頼から拵えが出来上がるまで約７年ぐらいだったでしょうか。ご参考になれば幸いです。

[2670] 日刀保新会長

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/29(Thu) 06:17

山中貞則日刀保会長の後をうけて元首相の橋本竜太郎氏が候補にのぼっているようで、適任だとの声が高い。たた、鈴木嘉定専務理事急逝のあとがむつかしく、幹部役員方はたいへんだと思います。

[2670 へのレス]Re: 日刀保新会長

投稿者：倭　士 投稿日：2004/04/29(Thu) 20:38

　えっ！　橋竜様ですか・・・

もう一人の鈴木さんも協会を退職されましたしねぇ。
なかなかリーダーシップをとれる方となると・・・
難しいでしょうね？！

二年前の神戸の全国大会で橋竜様に会えるかと期待していたが、
欠席されて実現せず。
就任されれば合えるかも知れませんね？？

[2671] そ～っと・・・

投稿者：法城寺 投稿日：2004/04/29(Thu) 09:24

皆様おはようございます。
愛刀の中の一振り、画像をアップしてみました。お目汚しながらご覧いただければ嬉しい限りです・・・。

http://houjouji.web.fc2.com/aitou_shashinkan_masahiro.htm

[2671 へのレス]Re: そ～っと・・・

投稿者：法城寺 投稿日：2004/04/29(Thu) 09:29

画像は拡大も出来ます・・・・。
宣伝がましく申し訳ありませんです・・・・。
平にご容赦の程を。
m(__)m

[2671 へのレス]Re: そ～っと・・・

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/04/29(Thu) 20:26

法城寺さんのハンドルネームの語源はここにあったのですね！

素晴らしい刀だと感動しました。(~o~)。
貴重な画像の紹介をありがとうございます。
広く皆さんにご覧になっていただきたいと思います。(#^.^#)

[2671 へのレス]Re: そ～っと・・・

投稿者：法城寺 投稿日：2004/04/29(Thu) 22:08

＞真改２００４様
お褒めいただきありがとうございます。
この刀はもう７年くらい前になりますか、銀座長州屋さんで一目見て気に入ったものです。鎬筋の切り込み傷、少磨り上げによる定寸割れもあってか比較的安価で入手出来ました。このくらいのことは支障のない出来口であり、大変満足しております。磨り上げ大いにけっこうではありませんか！
おそらく虎徹風の互の目出来を好まれる方にはあまり向かない作柄なんでしょうが、法城寺正弘のもう一つの作域を示すものだと思います。銘は二代の手によるものとされてますが作柄で初代の極めがなされてます。「城」の書体が一風変わっているところはお分かりいただけますでしょうか？
画像は当時の銀座情報をデジカメにて撮影しトリミングしました。掲載にあたってはきちんと使用方法・趣旨を説明した上で長州屋様の許可も得ました。
次回はこの掲示板でも話題になっている泰文堂さんのところで企画されてる、愛刀画像撮影にて「信国吉包」刀、「高田則行」刀、「無銘島田義助」短刀などを時間かけて（一度にはなかなか高額なので、汗）やってみるつもりです。
それも掲載許可を得ればデジカメ再撮影にてサイトにアップしようと考えてます。
嬉しいお言葉をいただきまして、ほんとうにありがとうございました。今後ともよろしくご指導の程お願い致します。

[2676] 展示即売会

投稿者：倭　士 投稿日：2004/04/29(Thu) 21:18

連休旅行に行かない方必見!!

第８回　京都刀剣まつり！　(勿論・入場無料です)

会　場／京都市歓業会館(みやこめっせ)地下１階
期　間／５月３日１１：００～１６：４０
　　４日　９：００～１６：４０
　　５日　９：００～１６：００
連絡先／ＴＥＬ(０７５)７６２－２６５６(会期中)
　　(０７５)８１１－４６４５(蔵屋はしもと)
最寄駅／地下鉄東西線「東山駅」１番出口より北へ徒歩 10 分
　京都市バス：京都会館・美術館前下車すぐ
※　連休中、市バスは大変混雑致します。
※　会場は、平安神宮の大鳥居近くです。

会場はきれいな建物で京都の伝統工芸等の展示が沢山あり、
家族連れでみえられている方も多いですよ。
近くに美術館や観光名所も多くありますよ。
４・５日は素人さん飛入りｏｋ！試し斬りコーナーもある様です
腕と体力に自信のある方は是非どうぞ・・・

[2678] 岡村寧次元陸軍大将の指揮刀？

投稿者：hyosan 投稿日：2004/04/29(Thu) 21:57

こんばんわ～、中国上海市に住んでいる者です。突然に割り込んでしまい、大変失礼しました。どうぞ宜しくお願いいたします。最近、昔戦時、元中国派遣軍の岡村寧次陸軍大将の名前、天皇という文字の指揮刀を手に入れました。写真をアップロードしました。いったいどんな刀なのかが分かりません。詳しい方がいれば、是非教えてください。

[2678 へのレス]Re: 岡村寧次元陸軍大将の指揮刀？

投稿者：花散里 投稿日：2004/04/30(Fri) 00:05

＞hyosan さん
花散里と申します。
画像掲示板に投稿された写真について、私の考えを述べさせていただきます。

刀身に文字を刻む場合は梵字や神仏の名号が多く、個人名の場合は中心（なかご）に所持銘・截断銘・為銘などを刻みます。
年記も、中心や白鞘にはありますが、外装に記する必然性はありません。
刀身の個人名や天皇の文字、外装の大きな年記などは、日本人の感覚にはマッチしません。
写真のものは鋳物・プレスの類であり、一兵卒ならばともかく、とても将官の持ち物とは思えません。（製造？番号は、量産品の証です）
また、文字の不自然な大きさは、多くの人々に一度に認識させる必要があったのでしょう。

私の結論として、おそらく「中国で製作された映画の中で使われた小道具」だと思います。
辛口な意見で申し訳ありませんが、日本刀は日本の刀剣店で購入されることをお勧めします。

[2678 へのレス]Re: 岡村寧次元陸軍大将の指揮刀？

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/30(Fri) 09:03

ｈｙｏｓａｎさん、
花散里さんが云われるように、芝居の小道具くさいです。以下私の感想を申し上げます。
岡村陸軍大将はシナ派遣軍総司令官を一時期されたお方ですから、中国全土にわたる占領軍の長です。占領地域の治安をはしめ政治経済全般の治世のトップですから、「指揮刀」は第一に無縁です。
中シ派遣軍、北シ派遣軍、南シ派遣軍にもそれぞれ司令長官がおり、それらすべての統括者です。
軍の下に部隊があり、この各部隊の指揮をとるのは部隊長ですが、分列行進して閲兵をうける際、指揮刀を抜いて「かしらー、右っ」と号令して指揮をとるのはそれ以下の中下級将校です。ですから、このような安っぽい刀が岡村長官のものである筈はありません。
さらにシナ地域など戦地での閲兵指揮は、担当将校が自分の軍刀でおこない、サーベル（指揮刀）を用いません。サーベル式の指揮刀は、国内で教練等に主として用います.旧制中学にも備品として小銃機関銃などの兵器とともに指揮刀もありました。
そしてこの画像を見ますと、巾広く重ね厚く、指揮刀というより下士官（曹長）がもった軍刀のようです。しかし、当時は鞘にステンレスが使われず真鍮にニッケル鍍金が施されていたとように記憶します。真鍮の柔かさのため、鞘の下部には凹みや当りキズが避けられないものですが、これにはその点で、使用された形跡が感じられません。

[2683] 色々なご指導を有難うございました。

投稿者：hyosan 投稿日：2004/04/30(Fri) 11:47

日本が大好きな中国人が、偶然に日本刀に出会い、真偽も分からないままに買い取りました。刀が大好きな皆様に見せましたら、やはり偽物だということが分かりました。お蔭様で、日本刀の奥深さが分かりました。私にとって本当に大変勉強になりました。心から親切な皆様を感謝しております。本当に有難うございました。これを機に日本刀について日本のことをもっと沢山勉強しておかないと行けないなあと思っていますので、引き続き宜しくご指導ご鞭撻をお願い致します。

[2683 へのレス]Re: 色々なご指導を有難うございました。

投稿者：隠居 投稿日：2004/04/30(Fri) 12:22

他人様のお刀をあしざまに申し、すみません。
旧日本軍将官の佩刀といえば、最低でも当時の著名刀工が謹作した注文打で、外装や金具も良品です。とくに「大将」は年俸１万円、今の価値なら１億ですから、これをもってご推量下さい。
またこれからもよろしく。

[2683 へのレス]Re: 色々なご指導を有難うございました。

投稿者：花散里 投稿日：2004/04/30(Fri) 13:48

＞hyosan さん

今回は残念な結果でしたが、これに懲りず、ぜひこれからもお越しください。
私たちは、「刀が好き」の一点だけでここに集まっています。
その他の思想・国籍など、な～んにも関係ありません。
刀関係で、hyosan さんの勉強になることなら協力を惜しみませんので、どんどんご参加ください。

[2686] はい、これからも引き続き宜しくお願い致します。

投稿者：hyosan 投稿日：2004/04/30(Fri) 16:42

偽物の日本刀を大騒ぎにして大変申し訳ございません。しかし、これを機に刀が大好きな皆様とお会いすることが出来て、やはり大変嬉しいです。皆様には迷惑を掛けないように心掛けて、皆様とお付き合いしていこうと思いますので、宜しくお願い致します。今後、中国の、チベット刀などについて、刀が好きな皆様に紹介することが出来れば、いいなあと思っておりますのでまた、宜しくお願い致します。

[2686 へのレス]Re: はい、これからも引き続き宜しくお願い致します。

投稿者：刀剣ビギナー 投稿日：2004/04/30(Fri) 17:54

刀など古い物は 一期一会、今を逃がしたらもう出会えないかもと 飛びついてしまいがちですよね！
嫁さんには 一本売ってから一本買えと言われてますが、女性のブランドバックとは訳がちがいますよね・・・

[2686 へのレス]Re: はい、これからも引き続き宜しくお願い致します。

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/04/30(Fri) 20:39

なんだか、日本語が私などより、はるかに上手なので、たじたじです。(°-°)。

迷惑だなんて思わないで下さいよ。
刀の画像も大変楽しませて頂きました。
文章でのやり取りも楽しいものですが、画像はある意味、有無を言わせぬ説得力を感じる時があります。
特に、一陽来復は盛況なのですが、画像コーナーは更新が比較的緩やかなので、更新が頻繁にありますと、訪れる人も期待が大きいというものです。

楽しいレポートをこれからも、お願い致します。

[2689] 刀についての質問！

投稿者：hyosan 投稿日：2004/05/01(Sat) 19:12

こんばんわ～　今まで刀についてあまり深く考えることがないのですが、この偽物のお陰で刀剣について、まじめに考えてきました。刀剣は、私のイメージには敵と戦って、自分の命を守って、敵を傷つけ、また敵を殺す為の物です。いつも血と一緒に連想されるのです。悪く言いますと、一種の凶器ではないかと思われました。しかし、この刀剣という兵器は、日本で刀剣美術とも呼ばれています。美は、絵画とか舞踊とかと連想しますが、まさか、この血と一緒に連想される物も、美のすべと呼ばれていることは、思いもよらなく、びっくりしました。確かに刀剣その物が綺麗だとは思いますが、その冷たく、鋭利な刀剣から美の術が生み出すことは、到底イメージには出てきません。

[2689 へのレス]Re: 刀についての質問！

投稿者：木兔城之主 投稿日：2004/05/01(Sat) 19:21

「兵者凶器也」「君子不論武器」の国からはそう思われても仕方ないですね。日本は 1192 年から 1945 年まで軍事政権で、武人ー農民ー工人ー商人の社会でしたから・・・。

[2689 へのレス]Re: 刀についての質問！

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/01(Sat) 20:25

ナイフや拳銃にも様式美というのがあると思います。
まずは形が美しいこと、鉄の色（刀の場合刃文とか鉄の模様）が美しいこと。
これはナイフや拳銃にも共通すると思います。

優れた外見からの美しさを体配が美しいといいますが、これはすべての物（たとえば人間でも）にあると思います。

[2691] 超有名刀工の改竄された刀の価値とは

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/01(Sat) 20:21

源清麿を兼法に改竄された珍品があるそうな。
また、清麿には「和泉守兼定」と改竄されたものがあり、刀一振り、脇指一振りが知られているそうな。

この価値の図り方をどのように思われますか？
難しい問題ですね。

[2691 へのレス]Re: 超有名刀工の改竄された刀の価値とは

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/05/02(Sun) 00:40

清麿の刀が今のように人気の的になったのは、昭和に入ってからのことだと聞いたことがあります。
だとしたら銘を改竄することもあり得るかも…？
「四谷正宗」という異名も聞きますが果たして幕末にどれだけの人気があったのでしょうか？

[2691 へのレス]Re: 超有名刀工の改竄された刀の価値とは

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/02(Sun) 07:55

うーん、"価値"となると難しいですね。
ですが、刀の値打ちは　"完全性"というか純粋さとか健全さが尺度になると思います。
「和泉守兼定」銘の清麿も歴史の生き証人としての希少価値があるでしょう。

[2691 へのレス]Re: 超有名刀工の改竄された刀の価値とは

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/02(Sun) 08:57

日刀保の鑑定書的な価値としては、当然『偽名』扱いで、その価値はゼロでしょうが、こと清麿とか虎徹にかんしては、刀自体が清麿虎徹なら偽名が切ってあっても金銭的価値はかなりあるのではと、想像します。

村正のように歴史的背景があって、故あって偽名あるいは改竄されたものは鑑定も通るのではないかと思いますが、この場合の清麿は鑑定書発行という前提があるならそれは通らないと感じます。

そして、偽名扱いに関してですが、清麿なら『改竄』扱いで位列の低い刀工作が改竄されたなら『偽名を切った』と表現を変えられるのも、納得いかない感じがしますね。

ただ、『欲しい』という尺度からすれば、たとえ偽名が切られたあるいは改竄された清麿でも需要はかなりありそうですね。

[2691 へのレス]Re: 超有名刀工の改竄された刀の価値とは

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/03(Mon) 06:53

清麿の偽物も少なくないところから考えますと、わざと兼定などの銘をいれる手もありますね。材料は御勝山永貞あたりです。つまり、清麿の正真銘がなくてあくまでも「極め」ですから、こういう恐れもなしではありません。

[2696] 特別重要指定展

投稿者：波平 投稿日：2004/05/02(Sun) 21:38

皆々様、ご無沙汰しております。新年度の慌ただしさはまだまだ続いており 11 時間勤務といった毎日を過ごしています。ゴールデンウィークもカレンダーどおりですがそれでも四日続きの休みは大変貴重です。今日は久しぶりに代々木の刀博に出かけて「特重指定」されたものを見学してまいりました。会期中２回にわけて展示するそうですが私が印象深かったのは「正宗(刀)・教王護国寺伝来の剣・繁慶(脇差)」でした。正宗は阿佐ヶ谷の某所で拝見した短刀が頭から離れなかったのですが、沸の素晴らしさと働きがあまりにも似ていてなるほど古今の第一にあげられる名刀とはかくやと思いました。剣は仏教と大和鍛冶の結びつきを強く感じ、透かし彫りの繁慶は初めてでした。

[2696 へのレス]Re: 特別重要指定展

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/03(Mon) 22:35

正宗展のような企画が、またあればぜひ上京したいですね！
なかなか上京いや上（大）阪すら叶いませんです。(T_T)。

鎬さんから頂いたメールでの大阪行きの手順。
大変わかりやすくて、ありがとうございました。m(__)m。
この場をお借りしてお礼を申し上げます。

[2698] 遅ればせながら、なんでも鑑定団から

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/03(Mon) 22:31

なんでも鑑定団をリアルタイムに見ることができない環境にある私は、義弟に頼んで、３週間分くらいををまとめて見るようにしています。
たまたま、今日見た二本の中には両方とも刀剣が出ていたので、食い入るように見ておりました。

一つは虎徹。もう一方は薙刀の下原の周重だったか。
刀自体に関しては、何も言うことなく、素晴らしいものだったと思います。
感想としては、周重オーナーの人は、なんと１２０口の刀剣をお持ちで、奥様が閉口していたご様子。刀箪

笥がちょっと映っていましたが、箪笥の名の通り、中は刀だらけでしたね！(~o~)。
お金の話で恐縮ですが、一口１０万としても・・・。(@_@;)。

また、虎徹の方では、ナレーションも柴田光男氏も『截断名』のことを『裁断』サイダンと発音していましたね。
裁断は、布を切る様ではなかったでしょうか。間違っていたらごめんなさい。m(__)m。しかし、発音と漢字は『截断』セツダンで間違っていないように思いますが、柴田さんのような刀剣会の重鎮がおっしゃるので、私が間違っているのかもしれません。

最後になりましたが、虎徹も周重も外装に入っていましたが、刀は外装を付けて見ると、一段と迫力があって素晴らしいですね。
これには両者ともほれぼれしました。(^^♪。

皆さんは、ご覧になられましたか？
いかがでしたでしょうか。(*^_^*)。

[2698 へのレス]Re: 遅ればせながら、なんでも鑑定団から

投稿者：内記 投稿日：2004/05/04(Tue) 08:33

＞真改さん、おはようございます。
私も代表と同じく、リアルタイムで見ることができません (>_<)
【下原】の回は拝見しませんでしたね。【虎徹】は偶然見ました(^_-)-☆

最近、刀剣店で「下原」のいい感じのものを何点か拝見しました。
実用刀のイメージがあったのですが、新古境のものはなかなか鍛えに野趣？があって渦巻き肌が特徴的に現れ、いい感じでした。

しかし、いい感じのものは値段も「いい感じ」で・・・ (^_^;)

[2698 へのレス]Re: 遅ればせながら、なんでも鑑定団から

投稿者：鉄の鼻。 投稿日：2004/05/04(Tue) 12:13

下原の回は見ましたが、あれは、拵えが、相当良い物で、そちらの評価の様でした。裁断銘は、普通、「さいだん」と呼んでいるのではと思います。本などにも、そう、振り仮名が振ってある事が多いと思います。

[2698 へのレス]Re: 遅ればせながら、なんでも鑑定団から

投稿者：帽子 投稿日：2004/05/04(Tue) 13:26

『截断』は「せつだん」では？
茎には二ツ胴截断というふうに金象嵌されていると思いますが。
『裁断』とは象嵌していないのでは。
『截断』と「裁断」の実際どちらの象嵌名が多いのでしょうか。
気になるところです。

[2698 へのレス]Re: 遅ればせながら、なんでも鑑定団から

投稿者：法城寺 投稿日：2004/05/04(Tue) 14:50

＞皆様
横レス失礼いたします。
帽子さまの仰るとおり「截断」が正しい字です。「裁断」は印刷物などの誤植や使用時の間違いによるものです。従い銘に切るものには「裁断」の字は使われておりません。あるとすれば間違った字を使ったということでしょう。何振りかこの裁断ではないですが、漢字の使い方を誤った切り銘の刀を見た事がありますので、あながちないとは言えません。
さて、読み方が問題ですが、本来は「切断」の意味の字体ですから「截断」と書いて「せつだん」と読まねばならないところです。ところが、「早急」と書いて「さっきゅう」が正しいところ「そうきゅう」も現在では使用可と認められております。いくつかこういう正規の読み方以外が定着した結果現代国語の読み方として追認されたものがあります。
そこで私見となりますが「截断」、「せつだん」も「さいだん」との読みの混同が起こり、定着した結果「截断」と書いて「さいだん」と読み、ふりがなをふるようになったのではないでしょうか？

[2698 へのレス]なんて読むのかな？

投稿者：内記 投稿日：2004/05/04(Tue) 15:18

＞帽子さん　こんにちは。宜しくお願いします。

鉄の鼻さんは「裁断」ではなく「截断銘（さいだんめい）」と書かれたのではないでしょうか。（タイプミス）

皆様おっしゃるように『截断』＝「切断」で【せつだん】なのでしょうが、鉄の鼻さんのご説明のように、例えば・・・
佐藤寒山先生編集のある本の【虎徹】の解説では、

「・・・彼はいちおうその地歩を固めると、刀身彫刻をやめ、また、かつてはためし切りの大家で

あった山野加右衛門・同勘十郎の協力を求め、多く截断銘（ルビ【さいだんめい】）をその刀茎に加えたが・・・」と書かれておられます。

余談ですが鉄工所で使用する『油圧截断機』・・・かなりの方が【さいだんき】と呼んでおられます(^_^;)

大辞林 でも【截断（さいだん】「せつだん（截断）」の慣用読み。
・・・と　なっているようですね。

刀剣用語は他にも「どっちだろう？（本によって異なる）」ってありますよね。
この際、日頃気になっている読み方皆様に教えていただきましょう!(^^)!

私は、
「当麻」は・・・　たえま　、たいま　、とうま、？？
「石堂」は・・・　いしどう　、せきどう　？？

＞法城寺さん
先日は失礼しました。

私は、「国語的」はともかく、伝統文化の世界では時間の篩（ふるい）にかけられた【慣習】を大切にしたいと考えております。　(^_^;

[2698 へのレス]Re: 遅ればせながら、なんでも鑑定団から

投稿者：法城寺　投稿日：2004/05/04(Tue) 15:55

＞内記さん
あ、そうかタイプミス。こりゃ失礼しました、鉄の鼻さんごめんなさい。
私も、語源と由来や意味をきちんと理解してるのであれば「さいだん」読みも OK と思ってますよ。
なんか響きがいいですもんね！

当麻：寺院としての固有名詞は「たいまでら」なんでしょうが、これのみだと何故か私は「たえま」と読んでます（汗）。

石堂：刀を覚えたての頃から「いしどう」って読んでますねえ・・・・。これといった主張はないのですが（笑）。

[2698 へのレス]Re: 遅ればせながら、なんでも鑑定団から

投稿者：沼六 投稿日：2004/05/04(Tue) 19:33

横レスですみません。

＞石堂：刀を覚えたての頃から「いしどう」って読んでますねえ・・・・。これといった主張はないのですが（笑）。

知り合いの方に石堂本家（幾つかに分かれていますので、どの石堂家か分かりません）の方がおり、年一度親戚筋が集まり系図開きを行うそうです。
その方は、石堂（いしどう）と、名乗っていて、その昔は刀鍛治の家柄のです。

[2698 へのレス]Re: 遅ればせながら、なんでも鑑定団から

投稿者：法城寺 投稿日：2004/05/04(Tue) 21:17

＞沼六さま
（ひょっとしてあの沼六○さまでしょうか？）
もとが地名の石塔（いしどう）ということから何の違和感もなく使ってました・・・・。

[2698 へのレス]Re: 遅ればせながら、なんでも鑑定団から

投稿者：沼六 投稿日：2004/05/04(Tue) 22:29

＞法城寺様

＞（ひょっとしてあの沼六○さまでしょうか？）

失礼しました、屋が抜けてしまいました。m(__)m
この機会に今後はＨＮを屋号の沼六にします。
これからも引き続きお付き合い願えれば幸いに存じます。

[2698 へのレス]Re: 遅ればせながら、なんでも鑑定団から

投稿者：法城寺 投稿日：2004/05/05(Wed) 09:28

＞沼六さま
やはりそうでいらっしゃいましたか、こちらこそあらためてよろしくお願い致します。
下のほうでも書き込みしましたが、私の HN の由来である愛刀画像ぜひご覧ください（汗）。

http://houjouji.web.fc2.com/aitou_shashinkan_masahiro.htm

[2698 へのレス]Re: 遅ればせながら、なんでも鑑定団から

投稿者：沼六 投稿日：2004/05/05(Wed) 18:29

＞法城寺様
愛刀画像、拝見させて頂きます。
そちらにもご挨拶を兼ねて書き込みさせて頂きますね。

[2712] 空海・高野山展

投稿者：波平 投稿日：2004/05/04(Tue) 23:03

今日でかけました上野の東京国立博物館(現在、新指定の国宝・重要文化財その他優品の展観中)で思いがけないものを見ました。それは「お市の方」「浅井久政」「浅井長政」の肖像画の現物（いずれも重要文化財）です。これらが高野山にあるとは不覚にもまったく存じませんでした。大変丁寧に保存されていたものらしく鮮やかな色彩で戦国一の美女と面会することができました。二字国俊の太刀・工芸室の小竜景光の太刀も同時に展示されていて大変満足な一日となりました。

[2712 へのレス]Re: 空海・高野山展

投稿者：花散里 投稿日：2004/05/04(Tue) 23:15

先日の刀剣博物館といい、波平さん精力的ですね～(^^)
私も波平さんと同様、１１時間勤務でみどりの日も出勤でした。
疲れを取るので精一杯の毎日です(^^ゞ
小竜景光は、見るたびに腹が立ちませんか？
「磨りあげたのは、一体誰だ～！」

[2712 へのレス]Re: 空海・高野山展

投稿者：波平 投稿日：2004/05/04(Tue) 23:55

＞花散里さん
ほんとうですねぇ～・・・私も同感です。生茎だったらさぞやですね。「のぞき竜」の異名があるくらいだからまぁよしとしませんか？

[2712 へのレス]Re: 空海・高野山展

投稿者：鉄男 投稿日：2004/05/05(Wed) 03:33

　不勉強で済みません。教えて欲しいのですが、国宝新指定と有りますが、どのくらい前に指定されたものでしょうか？また、どこかの本に載っている者でしょうか？

[2712 へのレス]Re: 空海・高野山展

投稿者：波平 投稿日：2004/05/05(Wed) 08:54

＞鉄男さんはじめまして
私の書き方が紛らわしかったようです、失礼いたしました。二字国俊は新指定ではなくこの期間に同時に展観されていたものです。訂正させていただきます。

現在開催されているのは以下の展観です
特別展観「新指定国宝・重要文化財」の開催について
去る３月１９日（金）に文化審議会から答申のあった、国宝・重要文化財（美術工芸品）を、下記日程により、特別展観いたします。

１．期　　間　平成１６年４月２０日（火）～５月５日（水）
２．場　　所　東京国立博物館　本館　特別３・４室

[2712 へのレス]Re: 空海・高野山展

投稿者：法城寺 投稿日：2004/05/05(Wed) 09:19

＞波平さん、鉄男さん
直レスははじめてですね。よろしくお願いします。
２００１年時点での国宝目録の工芸品部門を見ましたが、二字国俊は国宝指定がないんですねえ！重要文化財では在銘が数振りありますが。意外と言えば意外ですねえ・・・。（見落しであればご容赦の程）
刀剣博物館は来週あたりにでも行ってきます。楽しみです♪

[2712 へのレス]Re: 空海・高野山展

投稿者：波平 投稿日：2004/05/05(Wed) 10:09

＞法城寺さん
こちらこそよろしくお願いいたします。
ＨＰを拝見させていただきました。銀座のお店ですれ違ったことがあるかもわかりませんね。昨日拝見したのはなかなかに華やかな作柄でした。

[2712 へのレス]Re: 空海・高野山展

投稿者：倭　士 投稿日：2004/05/05(Wed) 11:35

皆さんこんにちわ！

＞波平さん
高野山展行かれたんですか!?
私も大変興味がありましたが東京となると、手元不如意！
なんせ本山の高野山でも拝見出来ない仏像が沢山展示されているとか・・
なぜワザワザ東京でするの？
チョット悔しいな～

＞花散里さん
磨上げに関しては私も同感ですが、最近少し思いが変わって参りました。
古刀の磨上げは時代的要求もあり仕方が無いものなのでわと・・
矢張り美術品と言うよりも、道具・実用品としての比重が高かったんでしょうかね。
小竜景光はハバキ元から可愛い竜が覗く風流な姿だと、カンニンしてあげて下さいよ～!!
新刀初期の「堀川國広」等の磨上げの何度か拝見しました。
戦乱の世では「國広」と言えど実用品であったんでしょうねぇ～
少し悔しいけどココまでは時代の要求と思い我慢できますが。

以前、鑑定会で応永備前の「備州長船」以下を切り落し、磨上げた
短刀を見ました。
戦後の刀剣ブームの頃「小反」を「盛光・康光」に化けさせた物とか？
実際、「盛光」で鑑定書が発行されておりました。
ここまで来ると、愛刀家の端くれとして腹立たしさを覚えます。

[2712 へのレス]Re: 空海・高野山展

投稿者：花散里 投稿日：2004/05/05(Wed) 12:37

＞倭士さん
実は私の一番の愛刀も、太刀を磨りあげて脇差しにしたものです。
江戸時代に他人の家を訪れる時は大刀は玄関に置き、脇差しだけを身に付けて室内に入った、と聞いています。
また、戦う時は（戦場以外で）当然大刀を最初に使い、折れたりして大刀が使い物にならなくなった時に脇差しを抜くのでしょう。
そう考えると、脇差しは常に身に付けているもの、また武士の最後を飾るもの、になる訳ですから脇差しへの磨り上げは納得いくんですけどね(^^)
名を惜しむ武士にとって、最後の最後に使う刀が「なまくら」というのは耐えられないでしょうから。
でも、太刀から刀への磨り上げは、どうしても見得や権力誇示が感じられて・・・(^_^;)

[2712 へのレス]Re: 空海・高野山展

投稿者：波平 投稿日：2004/05/05(Wed) 13:03

＞倭士さん
高野山展の混み方には驚きました。招待券が手にはいったので友人と久しぶりに会いがてらと思ったのですが・・・その熱気に気圧されました。おっしゃるように高野山の三大秘宝や唐からの招来品の数々。風信帖の現物など御大師様の御威光を肌で感じました。関白秀次が随分と復興に手をかしていることを再認識いたしました。
＞花散里さん
私の愛刀にも区送りがあります。慶長年期の常寸ですがむしろ茎のバランスをとるためのものかもしれないと思っています。実用時代の名残か幕府による規定の影響と思います。古名刀の大磨り上げとなるとたしかに権力の誇示もあるかもわかりませんね。

[2712 へのレス]Re: 空海・高野山展

投稿者：花散里 投稿日：2004/05/05(Wed) 13:34

＞波平さん
「空海・高野山展」から、話題をずらして申し訳ありません m(__)m

もし、私が江戸時代に生きていて、大小二刀を選ぶとすれば・・・
まず、大刀は徹底的な実用刀。折れず・曲がらず・よく斬れる、先日の籠釣瓶さんの「現代刀荒試し」にあったような、斬りつける相手がブロック塀だろうが電信柱だろうが、躊躇なし。
脇差しは、後で人様に笑われないような、できれば先祖伝来の古名刀。脇差しを抜く時は、それ相当の覚悟が必要でしょうから。
それなりの覚悟があれば名刀を大磨り上げにして、覚悟と共に子々孫々までに伝えるべきでしょう。

でも、やはり古名刀を刀のサイズに磨り上げるのは・・・

[2712 へのレス]Re: 空海・高野山展

投稿者：波平 投稿日：2004/05/05(Wed) 14:09

＞花散里さん
とんでもない。このように話の輪が拡がっていくのが楽しみというものです。私でしたら・・・時代によって選ぶものは違うと思いますが短刀でしたら躊躇なく古刀の品位のあるものを、元禄頃なら伝来品で変わり鍔の拵えを、文化文政のころなら細身でしゃれた拵えで江戸の粋を感じさせるものを誂えます。・・・でも幕末ならば・・・刀はともかくレボルバーに脇差しは２尺に近い信高あたりを腰にするかも・・・(^_^;)

[2712 へのレス]Re: 空海・高野山展

投稿者：倭　士 投稿日：2004/05/05(Wed) 20:47

太刀が脇差に磨り上げ・・
残念な事ですが､私の刀の先生曰く､古刀の大磨り上げでも３５～４５歳位の刀なら買いなさいと･･
８０歳過ぎのやつれた・しわくちゃな物は辞めなさい。
（ご年配の方には不適切な表現ですいません）
花散里さんの御刀も若々しければＯＫ牧場ですよ!!
余り磨り上げを気にしない方が良いのでわと思います。
機会があれば、いずれ一度拝見させて下さ～い

[2712 へのレス]Re: 空海・高野山展

投稿者：花散里 投稿日：2004/05/05(Wed) 22:35

＞倭士さん
あ、いえいえ、私は太刀から脇差しへの磨り上げを気にしておりません。
むしろ、自らの最後を飾るために太刀を脇差しに磨り上げる、その心構えと覚悟は敬服するくらいです。
「天晴れ武士の鑑」、と褒めてやりたい。
私の脇差しは１尺６寸弱ですが、そのサイズならば２度と磨り上げる必要は無く、心構えや覚悟と共に子孫まで伝わるでしょう。
私が嫌なのは、太刀を大刀に磨り上げる中途半端さ、なんです。
幕府の定法によってとか、世の中の流行によってとか、自分の体格によってとか・・・
それを言い出すと、延々と磨り上げを繰り返すことになる気がして。
（血族だって体格は違いますし、流行も変わりますしね）

[2728] ウィルス

投稿者：花散里 投稿日：2004/05/07(Fri) 23:34

討論掲示板で空爺さんも話題にしていますが、最近のコンピュータウィルスの凄まじいこと(-_-;)
私の会社（グループ会社を含め）でも、現在大流行中です。
名ばかりの管理者である私も、おかげで商売大繁盛(^_^;)
「変なメールが来た」、「パソコンが起動と終了を繰り返す」、「インターネットに繋がらない」などなど、碌にコーヒーを飲む暇もありません。

などと思っていたら、「Sasser ワーム、Netsky と合体して凶悪化の可能性」などという記事が・・・
「ITmedia」→「セキュリティ」

げげぇ！　こんなもん、合体させられたら目も当てられません！！
もう、勘弁して欲しいですね(>_<)
皆様も、くれぐれもお気をつけて m(__)m

[2728 へのレス]Re: ウィルス

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/08(Sat) 21:30

なんか凄いですね～、作ったのがドイツの高校生で、拘束されたとか。

ライブアップデイトを欠かさず手動できっちり行ってますが、不安であるには間違いないですね。

[2730] 保存・特保審査

投稿者：波平 投稿日：2004/05/09(Sun) 00:06

コンピューターウィルスが猛威をふるう昨今ですが近頃ショックなことがありました。
皆様に恥をしのんでご報告いたします。２年あまりも愛蔵していた新々刀の刀が先頃の審査で「偽銘」との結果でした。この刀は代々木の団体以外の「正真」の鑑定証がついていたものでなかなかに気に入っていたものでした。それを知ったときの困惑と顔色はご想像いただけるものと思います。新々刀は偽物が多くプロでも保存以上の鑑定証がなければ手を出さないとは聞いておりましたがその意味がよ～くわかりました。幸いにも良いアドバイスをいただいたことと、購入店が即座に全額返金に応じて対処してくださいましたのでこれらの方々のおかげをもちましてダメージはありませんでした。今回のことでいろいろな勉強をいたしました。

①なによりも信用のあるお店で購入すること。
②生兵法はけがのもと。常に勉強をおこたらないで本物に接する機会を多　くもつこと。
③理屈ではわかっているつもりでも「一目惚れ」の時は特に慎重にするこ　と。
④新々刀は特に慎重にすること。

災い転じてではありませんが、私の好きなこの刀鍛冶の正真作を見分けるポイントを実物を手に取りながら今日はさらに詳しくお聞きして勉強してまいりました。・・・くわばらくわばら

[2730 へのレス]Re: 保存・特保審査

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/05/09(Sun) 17:35

僕も昨年、一昨年と２回続けて新々刀で「保留」「現状」でした。
難しいですね…(ノ__・、)
「一目惚れ」ってよ～く分かります…。

[2730 へのレス]Re: 保存・特保審査

投稿者：波平 投稿日：2004/05/09(Sun) 20:51

＞こてつさん
そうでしたか・・・・こてつさん私のは「偽銘」とはっきり書かれていましたのでいっそうサバサバといった感じです。でもあの刀よかったんだけど・・・と未練がましいのはよくないですね(>_<)

[2730 へのレス]Re: 保存・特保審査

投稿者：帽子 投稿日：2004/05/09(Sun) 22:12

私も経験があります。
購入店が即座に全額返金に応じて対処してくださいました＞このお店はほんとに良心的です。私のところなどは「手形三回払い」でしぶしぶ返金です。
素人相手に手形ですよ！
けっこう展示会など今も活動しているところですが、うわさに聞いていた手形払いを実際にやられたときには驚きました。

なによりも信用のあるお店という条件にはいる刀剣店と思っておりましたが、このようなことでした。
なによりも信用のあるお店＞この基準もむずかしいと思いました。

管理人様
不適切でしたら削除してください。

[2730 へのレス]Re: 保存・特保審査

投稿者：鉄. 投稿日：2004/05/09(Sun) 23:00

　御気持ちは分りますが、買って、全額返しで返品していたら、御店も商売に成らないでしょう。一回手に入れたら中古ですから、買う方も御気を付け下さい。

[2730 へのレス]Re: 保存・特保審査

投稿者：波平 投稿日：2004/05/09(Sun) 23:46

＞帽子さん
はじめまして。
それはそれは・・・皆様やはりいろいろと経験されていらっしゃるのですね。私もこのような目に二度とあいたくありませんので勉強に励もうと思います。これからもよろしくお願いします。

＞鉄さん
はじめまして。
このお店は「正真」保証しているものがそうでなかった場合即座に返金する旨約束していました。幾振かお世話いただいた中で今回の一振りが残念ながらたまたまこのようなことになりました。しかし、刀剣商はプロですから、今回このような誠意ある対応をしてくださった事で私はむしろ信頼感が増しました。この鍛冶に如何に偽物が多いかも再認識した次第です。
　おっしゃるとおり気をつける(＝勉強に励むことだと思いますが・・・)必要を感じました。
・・・ところで「一回手に入れたら中古」についてですが・・・私は文化財・美術品を耐久消費財とは同列には思っておりません。
失礼の段がありましたら平にご容赦ください m(_ _)m

[2730 へのレス]Re: 保存・特保審査

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/10(Mon) 06:50

私も中古という言葉には抵抗があります。
陶器や絵画でも中古でしょうか。
美術品にはこれは言葉としては適当ではないと思います。
鉄さんがいう、全額返しで返品なら商売にならないという話も、条件があってのことと思います。

というのも、まあ、一流店といわれるお店のホームページをのぞいてみればわかると思いますが、偽物なら全額返金というのは、文章にされてあたりまえとなっていると思います。
結果的に正真と判断して、偽物を正真の値段で売って買っているのですから、これは売買が成立しないと思いますし、刀剣売買の世界でもどこでも、お客様を守っていかなければ、成長もしないし、お店も繁盛しないでしょう。

あと、昔から不文律としていわれていることに、刃切れがあれば全額返金というのが、絶版となった古書などにも出ていますし、いまでも多くの刀剣店が実行していると思います。

買う方も気をつけるというのは当然のことですが、信頼の置ける刀剣店という条件の一つに、正当な理由があれば、顧客の利益を守ってこそ一流店。もっときつく言えば、あたりまえ当然の刀剣商としての心構えといえるのではないでしょうか。

一方、ネットオークションなどでは、返品返金不可というのも説明文に違反しない限り可能ですが、基本的に鉄さんの言うことの意味するところである『売買不成立』にはなりませんから、入札者落札者の責任が重きを置くと思います。

[2730 へのレス]Re: 保存・特保審査

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/10(Mon) 06:51

波平さん、自分がいいと一目惚れした刀が偽銘、実にいやなものです。私も若い頃二度経験し、その後刀の勉強に精を出すことになりました。
そして刀の勉強を１０年もいたしますと､“偽銘”はなんとなく一瞬にして見抜けるようになります。偽銘の特徴を克明に分析したタガネ遣いの一画一画でなく、偽銘はなんとなく「偽物臭」といいますか正真ものの正々堂々とした感じがありません。一度よく出来た偽銘数本を支部の連中に見せたところ、かなり新参の会員を含め、全員が一目で偽銘を見抜きました。
「何故、こんな馬鹿げた（偽銘然とした）ものが分からなかったのだろうか」と以前の自分の程度のほどがよくよく分かりました。

そこで不思議なのは、刀剣商の良心を判別される「目」です。
＞このお店は｢正真｣保証しているものがそうでなかった場合即座に返金する旨約束していました。
幾振かお世話いただいた中で今回の一振りが残念ながらたまたまこのようなことになりました。しかし、刀剣商はプロですから、今回このような誠意ある対応をしてくださった事で私はむしろ信頼感が増しました。この鍛冶に如何に偽物が多いかも再認識した次第です。

『偽銘を知りつつ販売し、云ってくれば引き取る』､このえげつなさ、これを「良心的」と思われるのは自由ですが、皆さんにお奨めになるのは如何でしょう。お人よしも程度によります。
また、前に申し上げたことがありますが、まともな刀屋なら「証書」の有無は問題にしません。（もちろん客の方も同様です）証書は重要以上の場合、つけたりとして云うくらいで、証書を見せて商売するのは責任転嫁のずるいやり方です。
波平さん、すこし鑑定会の先輩について刀屋さん回りをなさってみては如何でしょう。

[2730 へのレス]Re: 保存・特保審査

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/10(Mon) 06:56

ご隠居さん。

『偽銘を知りつつ販売し、云ってくれば引き取る』
＞この場合のことを、肯定するものではありませんし、波平さんもそうだと思います。

[2730 へのレス]Re: 保存・特保審査

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/10(Mon) 08:52

偽銘と一口に云っても、中には「八分もの」という「八割がた正真で通るもの」という良く出来た偽銘があるようですが、これは私は書物の上で見るだけで（たとえば「日本刀の真贋」）実際に見た

ことはありません。多くの偽銘は、おどおどしたタガネ運びの、見るからに不自然な字体のものです。これを例にして申し上げたのですが、この程度の偽物が分からない刀屋は殆どいません。
ですから、まず第一に、信用のある店では偽物を販売しません。下取りなどで客の持つ偽物を仕入れた場合には市で処分してしまいます。
「えげつない」と申した刀屋は、この処分すべき偽物をそこそこの価格で知らぬ顔をして売る、ということです。この場合、「処分価格」とは相当の値段の開きがあり、その上乗せ価格が問題です。
刀屋さんの中にはもちろん素人同様の人もいましょうが、店舗をもって商売なさっている程度の刀屋さんで偽銘を見抜けない人がいる、とは私には思えません。
私達の支部にも刀剣商の方がかなりの数いますが、彼らは「当て鑑定」で不覚をとることはありますが、真偽の鑑定においては素人に劣るものではありません。目をすればたちまち損をするという、きびしい商いの現実があるからです。
私達も複数の刀屋さんと付き合うことで、刀剣に対するこの方々の見識が分かり、吸収するところがあるのではないでしょうか。

私はこれらのことから、「器物を処分しないで、客に売る」刀屋を無条件で信用する気持になれません。

[2730 へのレス]Re: すんません

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/10(Mon) 08:57

、「器物を処分しないで、客に売る」は「偽物を（市などで）処分しないで、客に売る」でした。

[2730 へのレス]Re: 保存・特保審査

投稿者：備前介 投稿日：2004/05/10(Mon) 10:56

隠居さまも仰いましたが、他人任せで購入してその責任も全てその人ではあまりにも図々しいと思います。任せる以上は共にリスクも負うべきです。

鑑定書のないものはそれ相応の相場まで交渉するか、ダメだった場合のために下取りの約束をしておくのが一般的の様ですが、私は長年付き合っている刀屋に全て任せています。
当然、一時期損もありました。しかし、その刀屋は以前売った悪いものは徐々に良い物と変えていってくれました。刀が高騰していた時期とも重なって、落ち着いた頃にはかなり得をしたという形になっています。

たまたま。というより、ほぼ間違いなく当たりが良かっただけかも知れませんが、ともあれ、返品する客に良い物を勧める業者はいないでしょう。ご自分でも仰られていますが、損をしたくないなら、まずは人を見て、慎重に検討し、納得したうえで購入に踏み切る形をとり、それでもダメだった場合は事情を話し、現在店にあるものか後に出てくる良いものの下取りに使うべきです。その際、絶対に憤る気持ちを押さえ込ませて行きましょう。

その刀屋も少なからず偽物を抱かせてしまった後ろめたさはあるはずですし、顧客を失いたくはないでしょうから、出来る限りの努力はするはずです。怒ったり、交換や返金が当然、とした態度で行くと、相手も人間です、かえってそっぽを向くと思います。

＞隠居さま
市で処分しても結局どこかで第三者（愛好家）に回るのですから、偽物は偽物として処分するか、おとなしく銘を消す方がより良い刀剣商だとかんじるのですが・・・？

[2730 へのレス]Re: 保存・特保審査

投稿者：帽子 投稿日：2004/05/10(Mon) 12:19

他人任せで購入してその責任も全てその人ではあまりにも図々しいと思います。任せる以上は共にリスクも負うべきです.
>私は逆にこういう刀剣店とはお付き合いしないことにしております。
ある意味において刀剣店を信頼して買うということは任せることになり、それまでも否定してしまうと刀剣趣味の世界にこれから入ろうかとする人がふえるでしょうか。

自分に一番近い考えのお店とお付き合いすることまでも、否定することはないのではないでしょうか。
まして偽物なら全額返金とかかれているところから買うならなおさらです。

[2730 へのレス]Re: 保存・特保審査

投稿者：くりりん 投稿日：2004/05/10(Mon) 13:20

大変な目にお会いになられましたね。
結果論で言うと勉強出来ただけでも得なんでしょうか？
新々刀は現代刀がかなり多く混じっていると聞きます。
しかし客に売った以上あまり目の利かない刀剣商なのでしょうか？
知ってて売ったとすればご隠居様の仰るとおり？と私も思います。
帽子様の手形払いというのも凄いですね！よほど高額だったのでしょうか？

[2730 へのレス]Re: 保存・特保審査

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/10(Mon) 13:51

備前介さん、こんにちは。
一軒の刀屋に任せる,いいですね。一生涯付き合う、というのも一法です。地方都市などの場合、こうして任せた刀屋が中央からいいものを仕入れてきてみせる、こういういい信頼関係があれば、いいです。
私が云っていますのは、研究会などで顔見知りの刀屋が数軒あって、「珍しいものが入ったから見て

ください」と案内があり、買うかどうかを別にして気安く見せてくれる、その中で特に気に入ったものを買うことがあり、こんな付き合いも悪くないということです。
プロの刀屋が偽銘をつかむことは滅多にありませんが、仮にあったとしても客に損を掛けないことは当然です。店を構えたところで、これは聞いたことがありません。

[2730 へのレス]Re: 保存・特保審査

投稿者：波平 投稿日：2004/05/10(Mon) 23:19

＞皆々さま
今回のことでは多くのコメントを頂戴いたしましてありがとうございました。私にとって初めての経験でしたので大変に勉強になりました。この刀の購入から返品にいたるまでには多々経過もありますがこのように相談やら御叱責をいただける場があることに感謝いたします。m(_ _)m

---

[2746] 狐ヶ崎

投稿者：法城寺 投稿日：2004/05/11(Tue) 11:59

＞皆様
こんにちは。
皆様それぞれにこの世界に足を踏み入れるきっかけとなった一振りというものがお有りだと思います。書く言う私は、勉強をはじめて数年した頃に東京国立博物館で鑑賞した「狐ヶ崎為次」により真に刀剣の世界への足がかりを掴んだようです。この太刀を鑑る前と後では勉強意欲が格段に違うようになりまして、未熟ながら一歩前進できたと感じております。故に、私にとって本当の意味でのきっかけは「狐ヶ崎」だと言えましょう。
現在この「狐ヶ崎」は長らく委託管理されていた東京国立博物館から十年程前に岩国の吉川史料館開館にあわせて返還されました。以来開館記念となる毎年１０月から約一ヵ月半特別展示されるのみとなっております。
吉川史料館様から以前にこの「狐ヶ崎」の画像使用許可を得ており、サイトにオープンしておりましたがこの度表示方法を変えました。バナーサイズの小型画像から、クリックにて拡大できるようになっております。お使いのＰＣの環境によっていきなり最大表示される場合と、いったん画面サイズにあわせた表示と二通りになります。後者の場合は画像にカーソルを乗せると「拡大表示マーク」が出ますのでそれをクリックすることで最大画像となります。
あまり刀剣書籍でも記載されてませんので、よろしければごらん下さい。
また、やはり史料館所蔵の「振分髪」の号のある「伝相州広光」も使用許可を得てまして載せてあります。磨り上げの由来やそれに関しての私見なども加えてあります。私見のほうはどうぞ笑い捨ててください。
「狐ヶ崎」http://busino-ikuji.hp.infoseek.co.jp/katana3.htm#1
「振分髪」http://busino-ikuji.hp.infoseek.co.jp/katana4.htm#1

どうも宣伝がましくて申し訳ございません。m(_ _)m
皆様の「きっかけの一振り」のお話もお聞かせいただければ嬉しいです。

[2746 へのレス]Re: 狐ヶ崎

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/11(Tue) 21:42

法城寺さん。刀に掛ける情熱の熱さがビシビシと伝わってきます！

私が一番感動したのは、どこの所蔵の正恒か知りませんが、日本のかたな展で古刀の一番最初に展示していた、たぶん『古青江の正恒』ひょっとしたら、『古備前の正恒』だったかもしれません。それです！！
＼(^o^)／。
このあたり、すぐに記憶喪失になってしまう私ですので、ご容赦下さいませ。m(__)m。

しかし、刀を好きになったきっかけの一振りとなれば、これは家伝の『無銘脇差』です。
小学生の頃に父が手入れをしていて、それを見て『刀が欲しいな～』『刀っていいな～』と漠然と思うようになりました。
今見てみると、鍛え傷だらけで無銘で、まったく金銭的な評価は 0 に等しいと思われるような物ですが、これが刀に興味を持つきっかけになったことだけは確かです。
無骨な鉄の金具のぼろぼろの外装も残っていて、一層古めかしい、そして、時代への興味をかきたてたオーラを感じました。
でも、今は感じないかも・・・。(~_~;)。

そんな刀ですが、中学生のころ、こっそりと持ち出して写真を撮ったこをを覚えています。見つからないかなぁと、どきどきしながら撮ったことを思い出します。(^^ゞ。

[2746 へのレス]Re: 狐ヶ崎

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/11(Tue) 21:48

ところで・・・、
刀を勉強する機会になった刀といったなら。何かな～。
う～～む。

よ～～く、考えよう～～。♪刀は大事だよ～～。♪

思い出しましたら、再度返信致します。

今しばらく、お待ちくださいませ。m(__)m。

[2746 へのレス]Re: 狐ヶ崎

投稿者：清麿 投稿日：2004/05/11(Tue) 23:27

法城寺さん、こんばんは！！
狐ヶ崎の画像拝見させていただきました。
出来ることならこの手に取って拝見したいですね！

＞皆様の「きっかけの一振り」のお話もお聞かせいただければ嬉しいです。

小生が刀に興味を持ったのは、TV で『包丁正宗』をみたことです！
地鉄が青く光っていて、吸い込まれそうでした。

話は変わりますが、小生刀の勉強を始め２年になりますが、
実は真剣を間近で見たことが無いんです。ですから皆様がとても羨ましいです。

[2746 へのレス]Re: 狐ヶ崎

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/12(Wed) 09:57

「刀剣に憧れのようなものをもつ動機になった刀」というのは、昭和シングル生まれの私達は陸軍将校の腰にあった軍刀でしょうか。自分もあのように刀を持ってみたいという思いです。その夢は中学生になり剣道部に入ると意外に早くかないました。上級生には居合があり、拵付の日本刀を使っており、もちろん真剣でした。私は世話係を進んで担当し、上級生の使った刀の持ち運びを喜んでやりました。手入れは師範先生がされますが、その手伝いをする中に、段々と触れさせて貰えることになりました。後になって考えると、半鍛錬刀などのしょうもない刀でしたが、少年の心を痺れさせるほどの魅力がありました。踏ん張りがあって反りのある姿、鋭い切先、凛とした地鉄の輝き、すべてが好きになりました。
終戦後、美術館で名刀を見る機会があり、品格の高さにうたれましたが、これはあくまでも「美術品」としての刀剣であり、刀といっても別世界の存在です。ですから自分が手にして楽しむ刀は、これらの古名刀とは区別しております。

清麿さん、刀を手にとってご覧になってください。日本刀がたまらなく好きになりますよ。
どなたかお近くでありませんか。

[2746 へのレス]Re: 狐ヶ崎

投稿者：法城寺 投稿日：2004/05/12(Wed) 12:10

＞真改２００４さん
私の親兄弟親戚筋で日本刀に興味を持ったのは過去一人もいませんでして、また当然趣味とする者

したいと思う者もいませんです（悲）。
なにか突然変異的に現れたのが私のようです（笑）。
真改さんのように家伝の日本刀がもしあれば、もっと早くから興味を持っていたかも知れません。うらやましい限りです。
幼少の頃から日本史が好きでして、歴史小説からはじまり時代小説などを読みまくってました。その中で新選組物等に日本刀の個銘が出てくることに興味を覚えたのがきっかけです。
就職してある程度仕事も覚え余裕が出来たところで新聞広告で見た刀剣展示会に言ったのがことのはじまり。それから自学自習で勉強をはじめました。そうして数年経て「狐ヶ崎」に出会い感銘をうけたものです。
人それぞれ感銘を受ける刀はいろいろあるでしょうが、そこが人それぞれの嗜好や環境などによるところで面白いところですよね。

＞ご隠居さま
ご無沙汰しております。きっかけの一振り、感銘の一振り、それが別であってもそれはそれで良いものですねえ。当然所持出来た中での自慢の一振りというのもありますし、なにも限定することはないといったところですね。
私は家庭環境の中、育った環境の中では日本刀に出会うことはなかったので、ご隠居さまのような「手に触れられる環境」が身近にあられたことがうらやましいです（真改さんにも書きましたが）。
私が「狐ヶ崎」に感銘を受けたのには刀身・拵えの素晴らしさもありますが、双方製作当時の姿を残し、かつ当時の所有者である吉川一族の手から一度も離れていないという歴史的に稀なところも大きかったようです。
当然これほどの名宝を所有することは叶いません、ただしサラリーマンとしての収入の中で許す限りの範囲で自分で絶対に刀を持とうと決めたのはこのときでした。吉川家のように代々受け継ぐことは叶わずとも、私一人でも大事にしてあげられる刀もあるはず。そのためには通り一遍等ではなく、勉強しなおさねばならないと気がついた次第です。その意味で「狐ヶ崎」は思い入れ人一倍の太刀であります。他にも「稲葉江」や「紅雪左文字」など好きな刀剣はいっぱいありますが（笑）。

＞清麿さん
こんにちは。ご隠居さまの仰るとおり、実際に手にとって鑑賞する機会が早々にあるといいですね。
清麿さんはお住まいはどちらの方でしょうか？私は東京に長らく住んでます。刀剣展示をしている公の博物館から民営の博物館などかなりあります。また刀剣を生業とする店も多くじかに触れる機会は非常に多くその面では助かっております。
また、近郊の愛好の面々募って互いの所蔵刀を持ち寄っての鑑賞会などもやっております。清麿さんも、勉強されていく中でそういったお仲間を作られるといいですよ。
東京近郊であれば我々の鑑賞会などにもご参加ください。気兼ねは要りませんよ。

皆様、サイトの方の画像や、拙文までお読みいただきましてありがとうございました。

[2746 へのレス]Re: 狐ヶ崎

投稿者：清麿 投稿日：2004/05/12(Wed) 14:48

>法城寺さん
こんにちは。小生函館に住んでおります。
周囲には日本刀に興味を持っている方は一
人も居りません。また、刀剣を展示している
博物館も全くといっていいほど有りません
（小生が知らないだけかもしれませんが）。

いつかは真剣を拝見する機会があればと思っています。

[2746 へのレス]Re: 狐ヶ崎

投稿者：法城寺 投稿日：2004/05/12(Wed) 16:46

＞清麿さん
北海道は函館でらっしゃいますか。実はまだ足を一切踏み入れた事がないのが北海道でして・・・。さすがに博物館や刀剣店存じ上げません、役に立てなくてすみません。
協会には加入されておられますでしょうか？また、真改さんが購読されてる刀和、麗、銀座情報などの刀剣誌はいかがでしょうか？協会に加入すると刀剣美術が送られてきますね。私はこの他に麗と銀座情報を購読しています。刀剣美術は押形と文章主体ですが各地での鑑定会の速報や本部鑑定会出題刀の詳しい解説などがあり、読み応えがあり勉強になること請け合いです。(昔はもっと良かったとのことですが)
この刀剣美術と麗には誌上鑑定という押形鑑定があります。私も、一時中断したり出したり出さなかったりした時期もありましたが、ここ３年ほどは毎月欠かさず葉書での入札をやってますが、各刀工の特徴を覚えるのに役に立ってます。刀剣美術は年１２回全問当で表彰があり、麗はやはり年１２回で全問当、１１問当１問同然、１１問当１問外 OR１０問当２問同然という年間表彰規定があります。刀剣美術の方は残念ながらいまだ表彰はないのですが、麗では優秀賞もらったことがあります。楽しみながら勉強するという姿勢で行けば良いのではないかと思います（あまり、当に固執するのは良くないですが）。
購読がまだでしたらぜひこの機会にどうぞ（既に購読されてらっしゃるなら聞き流してください）。

＞真改２００４さん
東京の静嘉堂文庫美術館（岩崎家の旧蔵品をまとめた美術館）で備前刀の展示会があります。古備前正恒も今回展示されますよ。私も人に教えていただいたところです。

http://www.seikado.or.jp/

[2746 へのレス]Re: 狐ヶ崎

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/05/12(Wed) 19:19

法城寺さん、始めまして鬼丸と申します。

狐ヶ崎為次がこの世界に足を踏み入れるきっかけですか。
現在、私の知るところでは、在銘の「古青江為次」はこの国宝
「狐ヶ崎」と三島の佐野美術館蔵の重美の太刀、重要刀剣指定
の３振りと僅かに５口です。（その内１口は折返し銘）

青江は、よく刀剣書なんかには玄人好みの作品と言われています。
法城寺さんの出発点のレベルが相当高いことが貴殿のホームページ
を拝見させていただき感じました。

この「為次」という刀工は静岡県になにか縁のある刀工のようで
「狐ヶ崎」は静岡市に現在でも地名として残っていますし、佐野
美術館はご存知のとおり静岡県三島市にあります。

刀剣美術の紙上鑑定はとても勉強になります。
押形の綺麗なことと出題刀の解説が懇切丁寧なこと。
しかし、その解説を理解するまでには２～３年は（初めて勉強する方には）
かかると思われます。（予備知識がないと単語の
意味や歴史的背景などがが解らない等。）しかし、
慣れれば、なんだそういうことかと理解が容易になると
思います。

思いついたこと書き込みまして、まことに失礼かと存じ上げますが
これからも宜しくお願いします。

[2746 へのレス]Re: 清麿さん、

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/12(Wed) 19:21

函館にお住まいでしたら、日刀保の札幌支部か室蘭支部に行かれたら如何でしょう。予め電話して研究会の日時を尋ねられ、「見学」とお断りした上出かけて下さい。
また室蘭には日本製鋼所の刀匠堀井胤匡さんが鍛刀しておられますから、これもお断りして了承を得てから見学に行かれることをお奨めします。
美術館のガラス越しの古名刀鑑賞もよろしいが、刀を「手にもつ」「中子を握る」ことは、また別です。求めよさらば与えられんです。

[2746 へのレス]Re: 狐ヶ崎

投稿者：清麿 投稿日：2004/05/12(Wed) 20:04

>ご隠居様
わざわざ教えていただき有難う御座います！
時間と金銭的余裕が出来ましたら足を運んでみたいと思います。

[2746 へのレス]Re: 狐ヶ崎

投稿者：法城寺 投稿日：2004/05/12(Wed) 20:57

＞鬼丸さん
じかレスでは、はじめましてですね。以前より別な掲示板でもご貴兄のお名前存じ上げておりました。
私などは「狐ヶ崎」と大騒ぎしておりますがとても「玄人」好みとかいうレベルの出発点では到底ないですよ。むしろその当時、この狐ヶ崎所有者である「吉川家」のご当主と、たまたまではございますが知り合え、現在もお付き合えいただいているという間柄ゆえの有頂天からのものかも知れません。
ただ、いろいろ勉強する中で作刀当時から拵えも含め由来が他家に渡っていないものは非常に稀とのこと、ここが歴史としての重みを感じたところです。国宝・重文多々ありますが、意外にこのような例は少なく、そこにきてまさか「刀剣」にこのようなものが？というのが原点です。けっして鑑識眼・鑑定眼レベルでの「きっかけ」ではないので過剰評価なさらないでください。
自分で文字通り独学していた中、ご隠居さまに啓蒙していただいてまだまだ間もなく大した刀剣歴もないまま好き勝手書き込みすること恥じ入るばかりですが、なにとぞよろしくお願いいたします。

[2746 へのレス]Re: 狐ヶ崎

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/12(Wed) 21:21

東京の静嘉堂文庫美術館（岩崎家の旧蔵品をまとめた美術館）で備前刀の展示会があります。古備前正恒も今回展示。
＞行きたいな～。行きたいな～。
情報をありがとうございます。m(__)m。

[2746 へのレス]Re: 狐ヶ崎

投稿者：法城寺 投稿日：2004/05/12(Wed) 21:35

＞真改２００４さん
ぜひお出かけください。と言っても遠いですねえ・・・。

＞鬼丸さん
言い忘れましたが、うちのかみさん静岡産です。身延線の芝川です。

[2746 へのレス]Re: 狐ヶ崎

投稿者：法城寺 投稿日：2004/05/12(Wed) 21:41

追加です：
「狐ヶ崎の号の由来は、正治二年（１２００年)、源頼朝没後鎌倉を背いて京に走る梶原景時を駿河国清見関にて迎え撃った御家人吉香友兼がみずから梶原一族の景茂をこの太刀にて討ち取り、見事梶原景時を討伐した。が、自身も深手を負い翌日亡くなった。その戦場が狐ヶ崎であったため、以来吉香家ではこれを「狐ヶ崎」と名づけて重宝として代々受け継いだ。吉香一族はその功により友兼の子朝経が播磨国福井荘（現兵庫県姫路市）の地頭となり、さらにその子経光は承久の乱（１２２１年）の軍功により安芸国大朝本荘（現広島県山県郡大朝町）の地頭になり代々この地に根をおろした。戦国期に毛利元就の次男元春が養子に入る。これが有名な吉川元春である。」

＞鬼丸さん
関係あるも何も！号の由来はまさに「静岡」にあるんですよ！かみさんが静岡産も縁があるのか･･･、ない方がよかったのか（笑）！

[2746 へのレス]Re: 狐ヶ崎

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/05/12(Wed) 22:42

＞法城寺さん、勝ってな思い込みお許しくださいませ。

しかしながら、貴殿のホームページ、はっきり言って
勉強になりますし、それ以上に刀・・・をすきなんだなあ
と感じます。
製作当時の拵え、うぶの刀身「為次」やはり心に重く残る
荘厳さを感じぜずにいられません。
現在、５口程度しか確認されていない「古青江為次」（鬼丸備忘録より）
出来れば、１振り「古青江」欲しいなと思います。

芝川町ですか？・・ここも歴史の有る町で旧石器時代の遺跡から
縄文時代の遺跡が山の稜線におりかさなるように点在する遺跡の宝庫ですね。

中世には武田・今川方が築城した城や砦が何箇所がありますし、
歴史とロマンのお土地柄でしかも近年では川ノリが採取できる場所
でも有名ですね。（今現在、環境悪化等で殆ど採取できないとのこと。）

またまた、好き勝ってな書き込みをしてしまいましてご勘弁願います。

今後も宜しくお付き合いをお願いします。

[2746 へのレス]Re: 清麿さん

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/13(Thu) 06:33

研究会の会費は最大で２０００円くらいで、支部により異なります。見学は無料にしているところもたくさんあります。
交通費をご心配なら、函館市内の居合の会を見つけられたら如何でしょう。真剣の拵付の刀を腰にさして演技しています。お願いして見せていたく方法もあります。

[2746 へのレス]Re: 狐ヶ崎

投稿者：法城寺 投稿日：2004/05/13(Thu) 20:48

＞鬼丸さん
いやあ、あんまり私のことをたてていただいてるようなので気恥ずかしくなってのことですので、私の方こそ変なレスして済みませんでした。
こちらこそ改めてよろしくお付き合いくださいませ。

[2747] 鑑定会のご報告

投稿者：倭　士 投稿日：2004/05/11(Tue) 21:10

　またまた先日、協会(支部)の鑑定会に参加して参りました。
御参考までに鑑定刀は、
①刀：　村正
②刀：　長船与三左衛門祐定
　　天文五年二月日
③短刀：筑前守(栗原）信秀
　　慶応二年六月日
④刀：　坂倉言之進照包(延宝六年)
⑤脇差：長曽根興里入道コ徹（ハコ虎です）
　　山野勘十郎久英 裁断銘あり

今回は特別講師として、東京より藤代興里先生が刀を持参され
解説して頂きました。
今回、拝見した言之進は素晴しく、砂流や沸のむら等も無く、
丸津田に優るとも劣らない出来でした。
月に１～２度も鑑定会に参加出来るのも、空気は悪いが都会に

住んでいる者の特権なのかも・・？？

[2747 へのレス]Re: 鑑定会のご報告

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/11(Tue) 21:44

都会の特権は大きいですよ～～。(^^)。

返信するより、見てみた～～～～い。(^0_0^)。

[2747 へのレス]Re: 鑑定会のご報告

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/12(Wed) 06:12

よかったですね。村正の「刀」は珍しいです。腰刃がありましたでしょう。
照包のとう乱は、地鉄といい刃文といい見事なものでしょう。助廣とみてもよく、矢筈掛かった癖のある刃を見抜ければ一人前です。祐定も当ててほしいもの、信秀は彫がありましたか。虎徹も、無骨な江戸物の姿と大丸帽子数珠刃などから当てやすいものですよ。
でも勉強になりましたね。

[2747 へのレス]Re: 鑑定会のご報告

投稿者：倭　士 投稿日：2004/05/12(Wed) 10:01

私は、地方の方より恵まれた環境で刀剣の勉強が出来て幸せです。
でも、東京には敵いませんませんが・・
東京は毎週何処かで鑑定会が開かれているとか？
東京がうらやましい～！
隠居さん>
村正は腰刃は無く千子の短刀によくある刃紋でした。
言之進はおっしゃる通り矢筈掛かった刃や三つ連れた刃も有りました。
信秀は彫りは無く大板目に柾掛かり砂流・金筋有り一門の特徴が出ておりました。
庫徹は小五の目仕立てで足が少し太目の刃でした。

[2747 へのレス]Re: 鑑定会のご報告

投稿者：鎬 投稿日：2004/05/12(Wed) 16:46

倭士さんからのありがたいお誘いに
ほとんどお答えできずにいる鎬です。
5/24 の鑑定会には参加できそうです。
目標 30 点でがんばります。

[2747 へのレス]Re: 鑑定会のご報告

投稿者：倭　士 投稿日：2004/05/12(Wed) 18:59

　鎬さん>　了解!!しました。
月末にお会いしましょう!
今度サボったら、もう絶交だ～!!
あの鍔持って来て下さいね。　あっ、それとお願いしていたカタログも・・
終了後、また親睦会でもやりましょう。

[2747 へのレス]Re: 鑑定会のご報告

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/13(Thu) 06:25

鎬さん、３０点目標ですか。２札目同然が５口で２５点ですから、１本は２札同然でないとダメですよ。
私たちの会には２０年やって３０点がどうかという方も結構おります。
紙上鑑定と違って、自分で手に持った刀の特徴を見つけないといけないんで、意外にむつかしいですよ。でも２０点でも１０点でもいいじゃないですか。
今時、大のおとなに１０点０点をつけてくれるところはありませんよ。

[2747 へのレス]Re: 鑑定会のご報告

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/13(Thu) 08:55

すみません。ミスタイプです。
「３の札で同然、５点×５口＝２５点」でした。
偉そうに云っていますが、私も近頃はダメになりました。言い訳めきますが、目が見えにくいのと物忘れのせいです。うかうかしていると３０点も危ないです。それに古参のゆえに格好をつけるため、長い時間刀を見られません。さっさとと見て５口一度に入札します。２の札は原則ナシ、と自分にきめています。
男の趣味はしんどいですよ。・・・だから面白い。

[2747 へのレス]Re: 鑑定会のご報告

投稿者：鎬 投稿日：2004/05/14(Fri) 13:41

隠居さん「２の札は原則ナシ」さすがでございます。
大阪に転勤した当時、鑑定会で「１本鑑定」と
ルール設定がある事を知り驚きました。
恥ずかしながら私の目標は、３の札までフル鑑定して３０点です。が
とても楽しんでいます。当然ですが注意点は、鑑定終了まで刀友の鑑定を

見ない聞かないです。（特に倭士君のは意地でも見ませんよ。）
久しぶりの鑑定会ですので楽しみです。
勝負だ！　倭士！

[2747 へのレス]Re: 鑑定会のご報告

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/14(Fri) 14:58

鎬さん、競い合う刀友がおいでていいですね。私も○十年間先輩につかえ、同輩と競い合って刀を楽しんできました。地方の大会にも参加し同宿して夜半まで酒盃を傾け、刀談義に花を咲かせました。今となればいい思い出です。
そして刀は、なんといっても鑑定会にでて、実刀を手に持ち、あれこれ思案することだと思います。恥をかいたり頭を掻いたり、これも楽しいことですよ。
どうぞ仲良くおやりください。

[2771] 増補日本刀図解

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/13(Thu) 10:25

光芸出版から「増補日本刀図解　得能一男著」が出ています。
これは平成１年の「入門日本刀図解」と本文の内容はまったく同じで、後ろに刀剣関係の古文献一覧を付録として載せたものです。
時代別に代表刀工作品の押形が図録としてかなり多く出ており、それらが国宝重文重美を優先してあげており、小冊子ながら見ごたえがあります。
鑑定必携書としてもいい本と思えますし、値段の２５００円（税別）も手ごろです。
大きい書店で今なら出ています。

[2771 へのレス]Re: 増補日本刀図解

投稿者：倭　士 投稿日：2004/05/13(Thu) 20:06

私も昨年購入致しました。　確かにお薦めですね!
押し型で見易く良い本なので、菊久さんはじめ多くの刀友にも薦めました。
生前は毎年ゴールデンウイークに、京都の刀剣祭で刀剣審査をされて居られましたが。。
お亡くなりになられお顔を見られないのが残念です。
今年は河内国平刀匠が著書のサイン会をされて居られましたよ。

[2771 へのレス]Re: 増補日本刀図解

投稿者：法城寺 投稿日：2004/05/13(Thu) 20:35

＞ご隠居さん、倭士さん
横レスで申し訳ないです。

また、倭士さんには直のレスはじめてですね、よろしくお願いいたします。
旧版の方は持ってますが、増補版は購入してませんでした。
なるほど、古文献の目録が追加されてるわけですか、それは食指が動きますね。
旧版の２２ページ（増補では何ページでしょうか）に「古青江包次」の太刀が載っております。古青江は通常は佩き裏に銘を切りますが、中には表に銘を切る刀工も散見されます。ところが通常裏に切りながらも時々表に切った作を残す例もあるのでややこしい！
確か刀剣美術の３月号の出題は「古青江包次」でした。守次、正恒や恒次が太刀銘に切る、あるいは太刀銘も比較的多いのに、その他の青江刀工はめったに太刀銘には切りません。その中でこの記載されてる包次は日本刀講座にも出ている包次と同様（同じ太刀でしょうか？）太刀銘に切った珍しい例ではないでしょうか。
出題刀は古青江とはすぐに分かるものの個銘判別は通常むずかしいところ。「大振り、太鑿」とヒント文にあり、さらに「通常この派この刀工は佩き裏に銘を切る」とありましたので「古青江の中で佩き表に銘を切った作の多い守次、正恒、恒次を外し、さらに大振り・太い鑿運びの刀工」となるわけで、「包次」をまっさきに思い出した次第です。誌上鑑定という現物をみれない状況かつ古青江という作柄での個銘判別がむずかしい場合には「古青江刀工」に入れれば本来同然のところ「当り扱い」とされる場合もあるでしょうが、今回嬉しい個銘当りと自己満足しております。
名物や有名品の押形や写真も気をつけて見て覚えておくと応用が利くということですね。自慢話みたいですみません。

[2771 へのレス]Re: 増補日本刀図解

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/13(Thu) 21:24

私もこの古い方の本を持っております。
買うことになったきっかけは、現代刀匠の『起正』刀匠の作品が載っていたことでした。
得能先生の為打ちの脇差だったでしょうか。
私も起正の太刀を持っていたこともあって、この刀匠のことを少しでも知りたくて買いました。
得能先生は大阪刀剣市だったかなぁ、鑑定をされていたと思いますが、起正のことを知る前だったので、お話を直接うかがう機会はとうとうありませんでした。

私の場合、自分の持っていた刀のことを知りたくて買い始めたという動機の本がほとんどで、刀が去ると同時に次の本を求めるために本も去っていきました。刀剣の本は本当に高いですしね。(~_~;)。
特に大鑑物は本によっては目が飛び出ます。

[2771 へのレス]Re: 増補日本刀図鑑

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/14(Fri) 08:50

皆さんさすがにお持ちですね。私は体調を崩して以来、繁華街の書店に無縁のため知りませんでした。これは刀友からの頂きものです。

この本のよいところは、著者の刀剣観が随所に出ている点で,例えば古刀末期の項で、祐定や清光などの著名工に続き、下原康重、海部泰吉、平高田鎮教を選んでおり、これらの優品がなんらひけをとらないことを示していることです。
外にも新々刀の項に「政国六十三代孫波平大和介平行安」を挙げているところにも著者の考え方がうかがえ、好感を持てます。

[2779] 私の悩み

投稿者：白龍斎 投稿日：2004/05/15(Sat) 00:05

今悩んでおります。
ずっと前から探し求めていた「会津兼定１１代」を観ることが出来ました。
たまに行く刀剣店にて拝見しました。
見た瞬間、とても気に入りました。
店主曰く、メッタに出ない代物、値段は、地方なので相場の２／３ほど
認定書の概要
　刀銘：表「会津泉守兼定」裏「慶應三卯年二月日
　特別貴重刀剣認定
　昭和五十四年九月二十二日　日本美術刀剣保存協会　　×○殿
今の私の気持ちは、カミサンに内緒でも自分のものにしたい心境です。
この時期を逃すと、この価格でいつ会えるか判らない。でも、偽物だったらと思うと二の足三の足を踏む思いです。
しかし、このＨＰでも戒めている様に、信用のある所で良いものを適正な価格で購入するのが無難。たぶん、(この店で後から偽物と判っても、購入時の価格では引きとってもらえないと思います。)
皆様のご助言等お願いします。

[2779 へのレス]Re: 私の悩み

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/05/15(Sat) 07:43

白龍斎さん　おはようございます。

お気持ち大変よく解ります。白龍斎さんは新撰組ファンなのでしょうか？
だとしたら、会津兼定 11 代はノドから手が出るほどご所望なのでしょう。
しかしながら会津 11 代の作品は、私自身結構お目に掛かる作品です。
あせらず探し回って同工の正真作を多く実見してからではいかがなものでしょうか？お値段は結構人気のある刀工の作品なので少々お高くなると思いますが、後々後悔するよりは良いと思います。

上の出来（刀身）から茎の特徴、鍛法、銘振り等自分自身で確信が持てる作品なら自己責任において購入されるのも良いでしょう。

ですが、特別貴重刀剣認定書のついている作品を購入して、保存なり特別
保存審査に出して審査結果「保留」となった方々を数人知っています。
その逆に重要刀剣まで出世させた方も多々います。
「信用のある所で良いものを適正な価格で購入するのが無難」
その通りだと私は思います。

悩みイコール心の曇り、止鏡明水の心境になってから購入なされた方が
よろしいのではないでしょうか？ (^。^)

[2779 へのレス]Re: 私の悩み

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/15(Sat) 08:02

白龍齊さん、こんにちは。好きな刀の出ものがある、胸の躍るお気持ちがこちらにも伝わってきます。賢明なあなたはそこで待てよと冷静に思慮される、ごもっともです。
十一代会津兼定、旧会津藩出身者からなる警視庁決死隊がこれを所持し、かって薩摩軍の会津攻めで妻や娘を強姦された仇を討たんとして、西郷軍に日本刀で立ち向かった。この勇壮な事件が「抜刀隊」と呼ばれて有名となり、日本陸軍の分列行進曲「抜刀隊」までが生まれるに至ったたという話題の刀です。好き者ごのみの刀ですね。私は何度か経眼しておりますが、いい刀です。

作風はご存知のとおり、よく詰んだ美麗な地鉄に直刃、互の目、三本杉、いずれも刃縁に細かい砂流しの掛かるところが鑑どころです。
ただ波平さんが書いておられたように、新々刀は偽銘が多く、この会津か兼定あたりもありそうですね。

対策としては
○先輩に立ち会ってもらうこと
○刀工銘鑑などの押形をよく見ておくこと、十一代は「和泉」の和の字の口が右上に上がっていることが特徴、しかし偽銘はこの手癖まで真似ているものもあります
○中子の錆、やすり目、などに注意
○なによりも正真のもつ堂々とした銘字かどうか、偽物臭の有無

冒険をしようとされるのは、多分値段が安いからでしょう。これは危なそうな予感が致します。よく御考えください。

[2779 へのレス]Re: 私の悩み

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/15(Sat) 08:18

追伸
マル特の証書は判断材料になりません。第一、本筋の刀屋さんならこんな証書は問題にしません。

昭和５４年ごろは一番いい加減な時代です。ナシと御考えください。

[2779 へのレス]Re: 私の悩み

投稿者：菊久 投稿日：2004/05/15(Sat) 10:56

「こんにちは」、白龍斎様。

鬼丸様や、ご隠居様も仰っていますが、私も白龍斎様の「すぐにでも！」というお気持ちが手に取るように分かります。特に以前から探し求めていた刀が現れたなら当然ですよね。
しかし、白龍斎様の、今のはやる気持ちでのご購入は注意所かと思う次第です。
１．「店主曰く、メッタに出ない代物」
　そのお店を云々するのではありませんが、この言葉は商売の言葉として　どんなときにも当たり前に使う言葉です。
２．「この時期を逃すと、この価格でいつ会えるか判らない。」
　特に、骨董や一点物などの購入を考えている時は、確かに頭の中に木霊　のように響いてきますよね^^;。しかし、この時が一番危ない時です。
　もう一度、冷静な目で見直されるべきだと思うのですが・・・。
　かくいう私も、この悪魔言葉にずいぶんとお金を支払っています。（私　自身の反省）

以上、重複しますが、私はそのお店のことを云々している訳ではありませんのでご理解ください。
ただ、もう一度冷静な目を持って見つめ直し、それでも納得できる物で有るのなら良いのではないかと思います。
ご隠居様も仰っておりますが、信用のおける刀友や先輩に立ち会ってもらうのがベストと思います。

[2779 へのレス]Re: 私の悩み

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/05/15(Sat) 11:11

白龍斎さん　はじめまして
鬼丸さん　はじめまして
隠居さん先日はお世話になりました。
私も昨年新々刀を１振り購入しました。証書も何もついていないものでしたが、茎仕立て、切り銘、錆色、刀身を見て全く疑念を感じませんでした（これは私が思っただけかもしれませんが）。私は刀の鑑定はまだまだ素人ですが、刀を買う場合には、何か１つでもおかしいなとか、気にかかることがあれば買わないようにしています。
前に隠居さんがおっしゃっておられる偽銘臭と言うのがこれだと思っています。私も隠居さんや、鬼丸さんがおっしゃられるとうりだと思います。
＞皆さん現代刀の画像アップしました。うまく撮れなかったので申し訳ないです。

[2779 へのレス]Re: 私の悩み

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/05/15(Sat) 11:22

追伸
菊久さん　はじめまして
パソコン打つのが遅くスレがずれてしまいました。よろしくお願いします。

[2779 へのレス]Re: 私の悩み

投稿者：真改２００４ 投稿日：2004/05/15(Sat) 17:54

私が最近知った『十一代会津兼定　短刀』は有名店で、売価１００万円でした。
また、刀和に掲載されていた古刀の和泉守兼定は、薙刀直しでしたが、出来が大変よろしいらしく、見事な外装も付いて、３５０万くらいだったでしょうか。
これは、鬼丸さんもご存知でしたよね。通販誌なので多くの人が知っていると思います。

十一代会津兼定の刀が相場でどれくらいするのかは知りませんが、短刀の倍と単純に考えたなら、２００万くらいでしょうか。

さて、ご覧になられた十一代会津兼定の購入については、皆さんの意見が至極当然と思います。
でも、惚れた弱みと申しましょうか、どうにもこうにも気になって、夜も寝られないというお気持ちは大変分かりますよ！！(^.^)。

[2779 へのレス]Re: 私の悩み

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/05/15(Sat) 19:28

＞籠釣瓶さん　ご挨拶を頂き有難う御座います。
鬼丸と申します。改めてご挨拶申し上げます。今後も宜しくお願いします。
＞真改代表　やはり涎がでるような刀ですね。一昨年買った刀と新車の
借金が無かったら購入したい一品です。

＞白龍斎さん　ご常連の方々のご意見はお分かりになったかと存じます。
これからは、どちらにお住まいか存じ上げませんが刀屋さん巡りをして
人と人とのお付き合いを重ね、そしてお互いに信頼関係を結べるように
なってから所望の刀を探して頂いた方が懸命かと思います。
ちなみに、私は懇意にしている刀屋さんは２～３店あり、遊びに行く時は
必ず、菓子折りや自宅で採れた野菜などを持参します。刀屋さんの方は
「もう手ぶらで気軽に来て下さいよ。」なんて言って頂いており
ますが、美術館や博物館なら入場料を￥１０００前後を払ってガラス越

にしか見れませんが、私の訪問する刀剣店は重要刀剣はおろか、今年
に入って重要文化財の某在銘の太刀や正宗の刀を手にとって見せて
頂いたりしております。

くどいようですが冷静になってから再考なされては・・・(^。^)

[2779 へのレス]Re: 私の悩み

投稿者：白龍斎 投稿日：2004/05/16(Sun) 20:23

常連の皆様、貴重なご意見有難うございます。
私が兼定１１代にこだわるのは、福島県に住んでいる事もありますが、幕末の会津藩の悲劇、その中で新撰組､土方歳三等々歴史の群像を想像させてくれる一刀だと思います｡今回の件については、ご隠居様の指摘のとおり値段が安く思う心が大きく左右しております。今の気持ちで購入しても、わだかまりは払拭できないでしょう。
結局の所、会津藩の悲劇→白龍斎の喜劇になるでしょう。
菊久様の仰るように自分で、納得できるよう考えることとします。
鬼丸様
私の廻りには、刀を理解する人が少ない(いない)。近くの刀剣店は紹介の場所だけ、年に２、３度の骨董市の刀剣鑑賞、上京時の博物館、刀剣店廻り、そんな訳でこのＨＰを拝見するのが１番の勉強(情報)です。
真改様　籠釣瓶様
まだ、当分眠れない夜がつづきそうです。

[2779 へのレス]Re: 私の悩み

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/17(Mon) 08:34

白龍斉さん、そうですか、あなたは会津人ですか。
それなら余計のこと、会津兼定は真面目な作品をお求めください。十一代兼定は刀剣趣味者のレベルの高い方々や会津びいきの人に持たれている刀ですから、この人たちは簡単に手放しません。ゆっくりいい出物を待ってください。
そしてお待ちになる間、御地におられる趣味者ともお知り合いになられ、ぜひとも本物をご覧になってください。あの歴史ある会津に刀好きのいない筈はありません。

[2779 へのレス]Re: 私の悩み

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/17(Mon) 10:31

自分の愛刀が郷土刀であり、これが会津兼定というのは羨ましい話です。
ぜひとも傑出の一刀に会津塗の鞘に会津金工作の地方色豊かな金具のついた、悔いのないものを狙ってください。

[2779 へのレス]Re: 私の悩み

投稿者：白龍斎 投稿日：2004/05/17(Mon) 18:48

隠居様
会津の拵えは、地味で頑丈に出来ており小粋な飾り等は一切無いのが多い様です。
藩風が現れているのでしょう。今後は、会津の拵えについても注目してみます。
アドバイス有難うございます。

[2789] チベットをご紹介いたします。

投稿者：hyosan 投稿日：2004/05/16(Sun) 23:53

お久しぶりです。中国上海に住んでいる hyosan です。今日、刀を大好きな日本の皆様に中国チベットナイフをご紹介いたします。画像は、既にアップロードいたしましたので、どうぞご意見を聞かせてくださいませ。

「死体は高い岩の台上にうつぶせに横たわらせる。請負人が背中からチベットナイフを入れてゆく。腕、足、首を切り離し、細かく肉を切り刻み、それを傍らに積み上げる。骨は砕いてツァンパ（麦こがし）と一緒にこね合わせ団子状にまるめる。岩の側で木を燃やし、樋上にツァンパをまく。するとその煙を嗅いで聖なる鳥、禿鷲が何十羽も舞い降りてくる。まず骨の団子をやり、ついで肉を投げ与える。さらに残った骨は石でつき砕いて粉にしたり、焼いて灰にして、あたり一面にまきちらす。魂が肉体から完全に自由に離れて天に上って行く事ができるように、死体の一切れでもことごとく他の生物に施与し、処理し尽くすというのがチベット式鳥葬の本質である。 水葬は貧しい人や身よりのない人、寡婦、こじきなどに対して行われる。これも死体を土手に運んで細かく切り刻み、魚への贈り物として与える。魚は川の神々と信じられていたから、チベットでは食べる事を忌避していた。 土葬は欧米や日本とは全く違って最も嫌われている。土葬されるのは人の恐れる伝染病患者や殺人者、犯罪者だけである。彼らは魔力を持つ神の支配する土の中に封じこめて、悪の本性を絶滅させ、再生してくる事を許さないためだという。 これ以外に大ラマ（僧）はミイラにして祭る霊塔葬があるそうです。身分によって色々な葬式がありますが、基本は他の生物に食わしてしまうというのが基本のようです。この本には鳥葬の場で着ていた衣服や死者の髪の毛などが近くの岩に渡した紐の結わえ付けられている写真や、死体をさばいて血のあとが染み付いているまな板の写真が載っていましたが、結構ショックを受けました。」 以上は、＜雲表の国＞（小学館 1988 年 3 月 1 日初刊）色川大吉氏著作からの抜粋でした。。。

[2789 へのレス]Re: チベットをご紹介いたします。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/17(Mon) 19:38

このナイフに対する意見は難しいですね。(~_~;)。

文化風習の違うことに使用するナイフに関して、どのようにコメントしてよいか、正直分かりかねます。

日本刀と比較して、精神性とか文化風習などまったく考慮しないで、ナイフとか刃物としてのコレクター魂がくすぐられるかと言えば、私自身は欲しいという対象ではありませんね。

生々しすぎる解説がそうさせるのかもしれません。

[2794] 私もチベットなんか知らないのよ！

投稿者：hyosan 投稿日：2004/05/17(Mon) 22:57

真改 2004 様が仰った通り、このチベット刀と日本刀の差があまりにも大きすぎるのですよ。しかし、差が大きいところこそ面白いのではないかと思います。どんな物が価値があるかは、住んでいる地域によって、民族によって、時代によって違ってくるに違いないと思いますよね。刀の世界も、住んでいる地域によってこんな大きい千差万別があったよということだけをご紹介したいのです。これから、また面白いなあ！と思われる中国の刀を見つけましたら、またご紹介いたします。

[2794 へのレス]中国に眠る刀はないのか？

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/17(Mon) 23:06

hyosan さん。どうも m(__)m。
積極的な投稿をいつもありがとうございます。

ところで、中国には本当の本物の日本刀を見ることがありますか。
というのも、先の大戦の遺物ではなく、たとえば、日本で言うところの室町時代あるいは安土桃山時代に日本から輸出されたようなものです。

これも、戦中作の刀なら判断は簡単でしょうが、時代の刀であっても先の大戦の遺物があるでしょうから、なかなかむずかしい問題ではありますね。(^^ゞ。

欧米各国から里帰り品として多くの日本刀が帰ってきましたが、中国からの里帰り刀としての可能性はどうなんでしょうか。
そのあたりのレポートも知りたいですね。

また、中国の人の中にも『日本刀コレクター』はいらっしゃいますか？
どうなんでしょうか。

[2796] 白龍齋さん

投稿者：波平 投稿日：2004/05/17(Mon) 23:19

はじめまして波平と申します。以後お見知りおきください。

福島県のご在住とか・・・「中街道」方面でいらっしゃいますか？私の家族も「浜街道」いわき市に縁があります。祖母の家の近くまで会津藩兵が来たという話しも子供の頃よく聞かされました。
11 代兼定さぞやご思案されたことと存じます。この兼定の登場する本をご紹介いたします。「鬼官兵衛烈風録」中村彰彦著・新人物往来社です。1991 年の初版発行ですので現在では書店にあるかどうかわかりません。鬼官こと佐川官兵衛は幕末会津藩の家老として著名な人物(福島にお住まいの白龍齋さんはとっくにご存知ですよね(^_-))でご隠居様がおっしゃった抜刀隊で西南の役で戦死しています。著者の中村彰彦さん(ペンネーム)は会津史談会のかたとも親しく、幕末の東軍(福島ではいまだに官軍とは呼びません)の立場からの著作の多い作家です。会津みやげの駄菓子をお嬢様から頂戴したことがありました。是非ご一読をお勧めいたします。

[2796 へのレス]Re: 白龍齋さん

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/18(Tue) 09:48

私のお奨めは「会津士魂　抜刀隊　早乙女貢著　集英社　６５０円」です。
鬼官兵衛こと佐川官兵衛は会津藩直属の「別撰隊」をつくり京都市中警備に当っていた。この縁で新撰組とも交流があり、新撰組の斎藤一は佐川が仲人となり会津藩士の娘を妻としている。また彼斎藤はこの妻の実家との縁により、西南戦争において佐川の率いる警視庁抜刀隊に加わり戦死することになります。
帯刀禁止令が出た後であるにかかわらず、薩摩の抜刀隊に対抗して日本刀を武器とした警視庁抜刀隊の奮戦は、われら刀剣人の忘れ得ない物語です。
”玉散るやいば抜きつれて　死する覚悟で進むべし”会津人の東大教授外山正吉作詞ルルー作曲の「抜刀隊」は今尚陸自観閲式で演奏されています。

また会津金工のつくる小道具は農具や蝉とんぼなどの中々洒落た粋なもので、実録９０万石といわれた会津文化の証しだと思います。私は”好み”です。

[2796 へのレス]Re: 白龍齋さん

投稿者：波平 投稿日：2004/05/18(Tue) 12:19

＞ご隠居さま

＞斎藤はこの妻の実家との縁により、西南戦争において佐川の率いる警視庁抜刀隊に加わり戦死することになります。

齋藤一の最後についてですが・・・彼（山口次郎・藤田五郎等々の名が伝わっています）会津藩の目付けの息女と結ばれた後、西南の役から無事凱旋帰京して警部試補・陸軍省出仕・巡査部長～警部補～警部と歴任した後に退職。東京高師・東京女子高等師範へと奉職し孫にも恵まれて大正４年に逝去したように記憶しております。

私は会津というと「北京の５５日」でその名を世界各国の公使たちから謳われた柴五郎の中に「会津士魂」を感じます。

[2796 へのレス]Re: 白龍齋さん

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/18(Tue) 16:13

波平さん、そうでした。私の思い違いでした。斎藤一は山田とか、藤田とか名前を変えて長く生きたようですね。
明治といえば遠い昔ではありませんから、彼の回りには語り部の方々もおられたことでしょう。

[2796 へのレス]Re: 白龍齋さん

投稿者：内記 投稿日：2004/05/18(Tue) 17:43

＞波平さん
斉藤（山口）一。新撰組の中で一番の「会津士魂」の持ち主だったかも知れません。
「恩を受けた会津が今、落城寸前である。それを見捨てて仙台なぞ行けるものか、俺は会津の為に戦う。例え新撰組隊士の名を失っても、会津を護る。」と土方と対立し会津と運命を共にし、戦後、斗南配流まで行動が一貫していました。明治の代に「旧会津藩士」と名乗り、戊辰戦争での多くの会津藩英霊が眠る会津若松市の阿弥陀寺は彼に相応しい奥つ城のような気がします。
個人的にも彼は無外流（山口一刀流）の達人で近藤をして剣の天才沖田総司と双璧と言わしめた剣豪であったことも好感度アップです　(^_-)-☆

＞柴五郎の中に「会津士魂」を感じます。
柴五郎大将とくれば
『【ある明治人の記録　－会津人柴五郎の遺書】中公新書 252』をご紹介せずには居れませんネ。
波の平さん。ご解説お願い致します。!(^^)!

[2796 へのレス]Re: 白龍齋さん

投稿者：波平 投稿日：2004/05/18(Tue) 20:48

＞内記さん　大変なご指名をいただきまして・・・トホホ(^^;)

「北京の５５日」は 1963 年のアメリカ映画で柴五郎中佐(1895・明治 28 年当時)の役は近年悲劇的な死をとげた伊丹十三が演じました。この映画で私は柴五郎とは何者なのかに興味をいだきました。調べてみて彼が福島県人として最初の陸軍大将であることは勿論、幼時に戊辰戦争を経験(会津史談会に往時の回想録があります)し、斗南での苦しい生活を経験していることに驚きました。1895 年日清戦争に敗れた後の中国では「扶清滅洋」を唱える義和団の乱がおこり、清国の官憲までが暴徒を利用する状況でした。北京にある各国の公使館も危険にさらされた時、ドイツ・ベルギー・イギリスなど列強の守備隊の中で水際立った働きをしたのが会津人・柴五郎だったのです。イギリス

人の一人は「日本軍は素晴らしい指揮官に恵まれていた」と彼の勇敢さとその働きを絶賛しています。

山川兄弟を初めとして。辛酸をなめた生活の中から数々の人材を輩出した人々の中に、文武を問わず「会津士魂」を私は感じます。

ところで今次の大戦では東軍(いわゆる奥羽越列藩同盟)出身の方の活躍が目立ちますね。山本五十六を生んだ長岡藩、米内光政・及川古志郎の南部盛岡藩・・・なんと出身校の流れをひく盛岡一高では校歌のメロディーは「軍艦行進曲」で前に甲子園の大会に出場した時に流れて球場全体がざわめきました。

文武両道を極めるのが武士ならば私たちはその伝統を守っていきたいものです。・・・駄文を連ねまして申し訳ございません m(_ _)m

---

[2796 へのレス]Re: 白龍齋さん

投稿者：白龍斎 投稿日：2004/05/19(Wed) 00:36

波平様、私は福島県でも陸前浜街道沿いのいわきより北に生まれ現在も住んでおります。従って、会津、さらに先祖は大分昔から農民で武士の生き様等には直接的ではないのですが、会津の幕末の行動を通して今は大分失われている日本人の勤勉な志しをかってに感じているのです。そう言った中で兼定１１代を観ながら会津の地酒をすきな仲間と酌み交わしたいと願っています。

私の会津私観

容保、西郷頼母、管兵衛、土方歳三、斎籐一、中野竹子、白虎隊等々は、個人として守るべきものをわきまえて命をかけたのだと想像しています。

養子の容保があそこまで、頑張れたのは藩祖保科正之の家訓「大君之義一心・・・」を連綿と継承してきたのでしょう。

天皇の軍隊と言いながら、落城後の斗南への国変えや、見せしめのために１年近く戦で亡くなった者をそのままにした行為は、皆様が口にする武士道はそのようなモノなのでしょうか。日本の歴史で、勝者がここまでしたことがあるのでしょうか。

京都でドンちゃん遊びをして、芸者を妻にしたり、ヨーロッパ留学費を一晩で使った明治の元勲、江戸で浪人を雇い暴行掠奪をさせた某藩・・何をやっても勝てば官軍、最近では、未納三兄弟と批判しながら、自分のミスではないと、各ＴＶ局まわりする代表。。今、孝明天皇から信頼されあくまで実直に行動した容保のようなリーダーが現れる事を願ってやみません。

[2796 へのレス]Re: 白龍齋さん

投稿者：内記 投稿日：2004/05/19(Wed) 02:04

＞波平さん。

柴五郎翁の北清事変での沈着冷静な「駐在武官」の鏡ともされる列強諸国賞賛の行動のご解説ありがとうございました。ここ数日不穏な動きのあるサマーワ駐在の我が自衛隊隊長にもメールでお知らせしたい位です。　(^_^;)

＞白龍齋さん 。はじめまして、よろしくお願い致します。
私は現在東京在住ですが、福島は【内記家】発祥の地であり、鎌倉から室町末期にかけて阿武隈丘陵に館（城）があったようで、ぜひとも県人会に加えて下さいませ。

＞『ならぬことはならぬもの』
会津藩校「日新館」入門前の６歳～９歳までの藩士子弟は町内ごとに組織された【什】に属しました。９歳の年長者を什長として運営され、毎日必ず「什」の申し合わせを復唱します。

一、年長のいうことにそむいてはなりませぬ。
二、・・・・
・
・
八、ならぬことはならぬものです。

「ならぬことはならぬ」という【道義】にたいする【絶対信念】と【遵守】が会津武士道の根幹ではないでしょうか。
幕末、西国雄藩に芽生えた「ＡもＢもそれぞれ良いね～」という【価値相対性】と明らかに異なる【価値絶対性】の幼少からのすり込み・・・。
”愛すべき会津！’と何度も【シャウト】してしまいます。　!(^^)!

今、子供に「なぜ人を殺してはいけないの？」質問され、答えに窮したり、論理的に説明しようとする無能な教師や大人が増殖していると聞きます。
「ならぬことはならぬ」と何故言えないのでしょうか。
『温故知新』。先人の知恵を大切に伝えたいと思います。

[2796 へのレス]Re: 白龍齋さん

投稿者：内記 投稿日：2004/05/19(Wed) 03:31

追伸：
＞落城後の斗南への国変えや、見せしめのために１年近く戦で亡くなった者をそのままにした行為は、皆様が口にする武士道はそのようなモノなのでしょうか。日本の歴史で、勝者がここまでしたことがあるのでしょうか。

作戦術論においては「比較占領統治法」という戦術のようです。
西軍（薩長軍）は、占領統治にあたり【会津藩】と【庄内（鶴岡）藩】を比較に利用しました。すなわち【会津＝厳罰・見せしめ流配】、【鶴岡＝お構いなし・70 万両の過料のみ】とあからさまに差別することで、【不安定な新政府軍】の脅威をうえつけ「プレゼンス」効果を上げる茶番作戦を行った為、異常な【会津いじめ】に拍車がかかったと言われています。
近年の心理学的研究では、軽輩出身の西軍将校が婦女子の自刃等「会津武士道」を目の当たりにし

て精神的錯乱を起こした狂気とも言われているようです。
いずれにしても、この比較占領統治法によって
【西郷神話】が生まれました。「優しい西郷さん」伝説です。
【南州○×】・【西郷訓話○×】等の著者はほとんどが、旧庄内藩士であることの理由がここにあるようです。

[2796 へのレス]Re: 白龍齋さん

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/19(Wed) 11:10

内記さん
、＞【不安定な新政府軍】の脅威をうえつけ「プレゼンス」効果を上げる茶番作戦を行った為、異常な【会津いじめ】に拍車がかかったと言われています。
近年の心理学的研究では、軽輩出身の西軍将校が婦女子の自刃等「会津武士道」を目の当たりにして精神的錯乱を起こした狂気とも言われているようです。

明治維新は無血革命だといわれていますが､「会津攻め」を考えると必ずしもそうではありませんね。薩摩軍が会津の老若男女あげての徹底抗戦を眼前にしてショックを受けたとの説は、説得力があります。
過去の大戦の末期の頃も、全国民が会津同様の覚悟を固めていました。もし陛下の玉音放送がなければ全国すさまじい状況になっていたことでしょう。
会津士魂は“大和魂”の中に受け継がれているものと思います。

白龍斉さん
“武士”といえども下級武士は羽織袴の着用を許されず、上士に対しては地べたに片膝ついて物を云うのがきまりでした。百姓町人でも羽織袴が許されたり苗字帯刀御免の家は意外に多く、幕末期には一般庶民の意識はかなり上がっていたといわれています。
“質素倹約を旨として一朝事あれば滅私奉公する精神”に、百姓も武士も変りはなかったと思います。

[2796 へのレス]Re: 白龍齋さん

投稿者：白梟城之主 投稿日：2004/05/21(Fri) 20:19

　仙台・会津藩では「福島県浜通北部の某藩が奥羽越列藩同盟から最初に離反して・・・」。二本松藩では「中通の某藩が西軍に突然ついて急襲され、少年隊が全滅・・・」とか福島県では今でも郷土史研究会がこの前後の敵対関係を引きずって対立しているとか。
　今は一応外部に向かっては出していませんが。皆さんご発言にはご用心。

[2796 へのレス]ご教示ください

投稿者：内記 投稿日：2004/05/22(Sat) 05:27

白梟城之主様。
＞皆さんご発言にはご用心。
の意味がよく理解できません。用心。の後に何と続くのか？
誠に恐縮ですがご教示頂けませんでしょうか。

＞仙台・会津藩では・・・
正宗公以来、【天下の副将軍】格として将軍家に次ぐ第二位の兵力を保持していたにも拘わらず仙台藩兵は『奥羽越列藩同盟』の盟主たる働きがあったのか、会津や二本松に対し【三春狸】や他藩の悪口をどの面さげて云えるのでしょうか。
私事で恐縮ですが、「内記家」は仙台藩にも高禄を貪っておった親族がおり戊辰戦争時の不甲斐なさは一族の名折れとされております。【仙台・会津】ひとくくりとは会津に大変申し訳なく　(-_-;)

確かに【二本松少年隊】は会津白虎隊ほどの全国的認知度は疑問ですが、こちらの皆様はその悲劇を充分ご存知と承知いたしておりますが。

又、昭和、特に戦後になると薩長に気がねする必要もない為、戊辰戦争時の東軍側資料や伝聞口伝がオープンとなり所謂タブーが無くなったはずですが、未だに【一応外部に向かっては出していませんが】などという陰鬱な対立があるのでしょうか。
知人が「三春」におります。幕末の「秋田藩五万石」の城下町と云うよりも、戦国時代は「田村右京太夫家」のお国元、愛姫様の故郷という認識だと申しておりました。ここの郷土史研究会が二本松と対立しているのでしょうか？　今の今までまで存じませんでした。＼(◎o◎)／！

【奥羽列藩同盟】の目的は、
『同盟した目的は、列藩同盟して義兵をあげ、もって【君側の奸】をはらい、海内の乱を沈静せんがためであって、決して幕府回復の為や会津藩に助成するがごとき【私情】よりなしたことではない。』
と白石城下の「奥羽公議所」で諸藩が確認了承している以上、よもや「○×ちゃんが裏切ったから・・○×ちゃんが先に降参したから・・・」などの戯言を列藩の武士が口にするはずが無いと愚考しますが、(・・？

＞福島県では今でも（どこの）郷土史研究会の（どなた様）が
本当に『戊辰閏七月××日。○×峠で隣国××藩兵が寝返り・・・よって我○×藩は窮地に陥り・・・』と【個別戦局の恨み】や【勝敗の結果のみ】を
子々孫々に口伝し続け
＞引きずって対立して

いるのですか？
東京在住の自称【福島県人会】の一人として心配です。
勝敗は武門の習い
死して後の名こそ惜しけれ
のはずですが・・・
詳細をご報告頂ければ幸甚でございます。

[2806] オークションで

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/20(Thu) 21:25

あるオークションで、現代刀匠の吉原義人・国家・義一　各刀匠の注文打ちを受け付けています。
それぞれの刀匠の注文打ちの値段がどれほどかは存じませんが、オークションの行方は楽しみです。

仮に１００万以下で落札されたら、これはラッキーかも。
注文打ちですので、刃文も姿もお好みのままらしいです。
(~o~)。

[2806 へのレス]Re: 注文打

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/21(Fri) 09:20

注文打のチャンスかも知れません。「為○○家重代　平成○○年○月日」と中子に銘打った刀はまさに家重代の家宝。

[2806 へのレス]現代刀

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/05/21(Fri) 12:07

注文打ちのよいところは、自分の希望する寸法、刃紋、姿で出来上がることでしょうか。
現代刀をこよなく愛している者としては、この様なことで現代刀に興味を持ってくれる人が、少しでも増えればいいなと思っているところです。
しかし反面、無鑑査刀匠の注文打ちをオークションにかけるとは＼(◎o◎)／！、その裏事情を考えるのは私だけでしょうか。
３名の内でもやはり義人刀匠の人気が高いようで、兜割のＴＶ放映の影響でしょうかねぇ。
そういえば大野刀匠も無鑑査になられる前までは、地元で３回位武器講をされたと伺っております。
私の籠釣瓶が打ちあがり、受け取りに大野刀匠のご自宅に伺ったとき、その兜割の話が出ました。
大野刀匠は吉原御兄弟の直弟子でありますから、その辺のいきさつはよくご存知でした。
あの物語が完結するまでには、いろんなアクシデントがあったやに承っておりますが、現代刀をもって兜を断ち割ったのは事実でありますから、改めて現代刀の強靭性が証明された事は喜ばしい出来事でした。

あっ、これは私事ばかりで失礼しました。

＞真改さん　１振りどうですか。(^_^)

落札下限が設定されているので、２００以下では落ちないと思いますが。

[2806 へのレス]Re: オークションで

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/22(Sat) 06:53

落札下限が設定されているので、２００以下では落ちないと思いますが。
＞一気に１００万円の大台を超え、１５０万を超えた刀匠もいますね。

しかし、これから伸びるか否かが問題。
オークションですので、私も含めて割安感と通常にないオプションのメリットを考慮して入札しているはずだと思います。

籠釣瓶さん。２００万以下では落ちないですかね～。(~_~;)。
無鑑査刀匠の作品ですから、下限を設けずにド～～ンと太っ腹で行ってほしかったです。
新作刀展覧会出品作との値段や市場価値との比較やら、個人で刀剣商を通じて注文する価格との比較やらを頭に浮かべながら、皆さん悩んでいるのでしょう。
私も入札するならその辺、悩みますね。(^^ゞ。

[2806 へのレス]Re: オークションで

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/05/22(Sat) 12:59

私も、このオークションがどのように推移するか興味を持っています。
いまの現代刀の相場がどのくらいなのかよく知りませんが、
あのクラスの無鑑査の注文打ちとなると、３００万以下では打たないと思うのですが。(^ム^)。
さていかが成りますか。
子息の方で２００万前後で落とせれば上出来ではないでしょうかね。
まあ経緯を見守りましょう。

[2806 へのレス]Re: オークションで

投稿者：沼六 投稿日：2004/05/22(Sat) 18:02

落札下限の補足説明があります。
次のアドレス、http://www.bidders.co.jp/ev/katana/index.html
です。

ページの下方に「お詫び」として、落札下限額が提示されてます。

[2806 へのレス]Re: オークションで

投稿者：現代刀好き 投稿日：2004/05/22(Sat) 18:04

落札下限設定の説明が出たようですね。この下限ではいったいオークションと言えるのでしょうか。わたしは？です。
毎年開催される新作刀展示会（名称が誤っていたら m(__)m）での特に熱の入った作品を求めたほうが良いような気がしないでもありません。
わたしの感想ですのでオークションを非難するものではありませんので、お許しください。

[2806 へのレス]Re: オークションで

投稿者：平蔵 投稿日：2004/05/22(Sat) 19:58

ご無沙汰しております、平蔵です。
件のオークションの最低落札価格の説明で
「無鑑査の刀匠の作品は３００万円以上」とありましたが
ちょうど最近、河内國平刀匠のＨＰの掲示板で
「これこれこういう刀を打って貰ったら幾ら？」
という質問に、刀匠自ら
「研ぎ上がり、桐箱入りで約２５０万円～３００万円」と回答されていました。
不勉強でよく分かりませんが、やはりそれくらいの金額なんでしょうか。

[2806 へのレス]Re: オークションで

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/22(Sat) 20:26

研ぎ上がり、桐箱入りで約２５０万円～３００万円
＞無鑑査になったきっかけの受賞作とかでは、４００万もそれ以上も売価が付いていたのを見たことがあります。

また新作刀展では、高松宮賞や文化庁長官賞受賞作がおおよそ３００万前後。
これらの値段は数年前に横浜そごうで見た時の新作刀の値段ですし、刀匠によっても値段が違うので、おおよそということしか分かりません。

受賞作でも数年前のものであれば、時に通販誌で見かけると会長賞などでも１００万くらいで出ていたこともあったと思います。

現代刀では、新作で買ったときが最高値であるような気がします。
これは、現代刀をあれこれというよりも、時代の刀が陶芸や絵画に比べて安すぎるからだと思いま

す。
『土佐一国にも代え難し』といった時代の評価からすれば、なんと刀剣の値段というものは安くなったのかと思います。

絵画もオリジナルが一番というのは分かりますが、複製でオリジナルに近いものができるように感じますが、刀剣は複製ができない本当の一品であり逸品なのですから、買う側としては安いにこしたことはないのですが、価値を高めてほしいという逆の意識もはたらくのです。

さて、今回のオークションですが、これから伸びますかね～。

[2806 へのレス]Re: オークションで

投稿者：菊久 投稿日：2004/05/23(Sun) 06:57

明治初年の注文打ちの見積だそうです。
某刀剣商 HP 内のものですが、興味あるものなので、情報として・・・。

http://www.hataya.co.jp/engawa-katana.html

金額換算すると、現在と殆ど変わらないのですネ。

[2819] 早い者勝ち

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/05/24(Mon) 18:12

本日、「刀和」と「銀座情報」が届きました。

「銀座情報」を発行している刀剣店で、あの田野辺先生の
「名品刀絵図聚成」が限定１５部入荷、定価のままの販売
云々と出ていました。・・・・・最後のチャンスかも？

これは決してそのお店の宣伝ではありません。
良い情報かと思い書き込みました。

[2819 へのレス]Re: 早い者勝ち

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/05/24(Mon) 19:44

＞鬼丸さん　あ～そうですか。
私も遅ればせながら、刀の勉強をしようと思ってこの前オークションで、何冊か刀の本を買いました。
その時にその本も買いました。値段は１・５倍位でしたかね。

待っとけばよかったなあ。
本が大きいので置く場所に困るけど、１尺程の短刀が実寸押し型で掲載されており、非常に分かりやすい本ですね。
勉強になってます。

[2819 へのレス]Re: 早い者勝ち

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/26(Wed) 06:26

皆さん。早いです！(~_~;)。

翌日、お電話したら、すでに申し込み多数のため完売です！とのことでした。
いったい、１５部もどこにあったんだ～～。
1.5 倍ならとてもとてもお買い得ですよ。
私なんか３倍以上で買ってます。(T_T)。

[2819 へのレス]Re: 早い者勝ち

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/05/26(Wed) 12:28

もう完売ですか。

皆さん勉強なさってるんですねぇ・・・・

刀の１００万は高いとは思わないけど、本の５万は〃ん〃と言う感じですからねぇ。
本当は刀より先に本なんですよね。

[2819 へのレス]Re: 早い者勝ち

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/05/26(Wed) 18:45

なるほど、既に完売ですか・・・
察するところ、私がこの掲示板に書き込みを
した時点では、もう売り切れという状態だった
かもしれませんね。
今度は、「日本刀鑑定要訣」限定１００部入荷
なんて・・・・そんなことはないようなあ・・

[2821] 鎬さんから報告

投稿者：菊久 投稿日：2004/05/25(Tue) 17:49

本日、電話でですが「鎬さん」と話す機会があり、以前（2004/5/12 No.2757）に書き込みの有った「５

月２４日の鑑定結果は如何に・・・」「目標の 30 点はクリヤーしましたか」と尋ねてみたところ、なんと惜しいかな 28 点だったそうです。

しかし、鎬さん本人でなく、何故に私が此所で書き込んでいるのかと申しますと、鎬さんは、只今仕事の都合で、しばらくパソコン打ち込みが出来ないそうで、「菊久さん、代わりに報告しといてください」との伝言を受けた次第です。
｛ホントは、仕事じゃなくって、しばらく刀剣鑑定修行に出ているんじゃないの(^_-)｝
「ネッ！し・の・ぎ・さん」

[2821 へのレス]鑑定刀報告！！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/05/25(Tue) 19:19

菊久さん>
鎬さんは見事!４０点ですよ。
昨日の鑑定会は協会の鑑定会と点数の付け方が違います。
本阿弥流の流れをくむ会なので・・
協会の採点方法では一の札で同然が２枚・二の札で同然が１枚⇒
１５×２＋１０＝４０点
目標を達成された鎬氏より、会の後ファミリーレストランでハンバーグを御馳走になりました。
鎬氏を、袈裟懸けでたたき切ろうと思って居りましたが、危く返り討に逢いかけました。
因みに鑑定刀は・・・

①短刀：広次(末相州)
②短刀：備前國住長船清光
元亀三年八月日
③刀　：備前國長船五郎左衛門ジョウ清光
④太刀：友重(藤島・応永期)
⑤刀　：肥前國住近江大ジョウ忠広（三代陸奥守代作）
参考刀：長直（福岡一文字・鎌倉末）　でした。

菊久さんも次回は是非ご一緒に・・
それと、来月の名古屋の件もう少し待ってくださーい。

[2821 へのレス]Re: 鎬さんから報告

投稿者：菊久 投稿日：2004/05/25(Tue) 20:29

ホォ～(^^)
私は、正直に伝えられたままを報告したのですが、「ホントは、そうだったんですネ」
「鎬さんも、奥ゆかしいところが有るじゃなイ(^o^)」

『凄いネ！』

ところで、倭　士 さん「名古屋行き」の件、是非ともご一緒に行きたいです。
鎬さんにも連絡はしてあるのですが・・・。
只今、修行中なのでどうなるのかなぁ～。
一緒に行ければ、楽しい鑑賞会になること、絶～対なんですけどネ！
よい返事をお待ちしています。

皆様「ごめんなさい」。
伝言板と同じように使ってしまいました。m(_ _)m

[2821 へのレス]Re: 鎬さんから報告

投稿者：法城寺 投稿日：2004/05/25(Tue) 21:51

直接のレスは初めてだと思います、法城寺です。
いやあ、皆様のお話をお聞きしてますとほんとうに楽しんで勉強されてらっしゃる。うらやましいです！
いつの日かぜひとも皆様の足手まといの一人に加えてください。

[2821 へのレス]Re: 鎬さんから報告

投稿者：倭　士 投稿日：2004/05/26(Wed) 10:53

　法城寺さん>
は～い！いつでのお待ちしております。
ただ、関西までお越し頂かなければなりませんが・・
機会があれば是非ご一緒しましょう。

昨年より鎬さんと刀友を増やし、楽しい趣味の集まりでもと考えております。
関西在住の方で刀剣・刀装具等に興味がある方があれば・・
イベント等、また書き込みまーす。
興味のある方、どしどし書き込みお待ちして居ります。

[2821 へのレス]Re: 鎬さんから報告

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/26(Wed) 15:38

倭　士 さん、こんにちは。どんどんお勉強でご苦労様です。
五郎左衛門殿は清光の中でも腕ききで、直刃よし丁子乱れよし、名刀だったことと思います。互の目丁子でしたか？
応永の友重は難しかったでしょう。北陸地金と分かればしめたものですが・・・

参考刀の長直は未見です。鎌倉末期の一文字とは珍しいですね。出題刀にすれば「難物」のようですね。ぜひ感想をお聞かせください。

[2821 へのレス]Re: 鎬さんから報告

投稿者：倭　士 投稿日：2004/05/26(Wed) 17:55

　隠居様>　こんにちは・・
五郎左衛門は直刃で地鉄が良く、鎬さんが大変気に入っておられました。
藤島友重は難問でした。最後まで当りませんでしたね。三の札でも島田
にしか行けませんでした。　(見た事の無い刀は難し～い)
鎬さんは確か宇多に入札されたかと・・??

長直は磨り上げで反り浅め、地鉄：杢目に板目美しく、淡い乱れ映り
立ち、匂い出来の小乱れ刃でした。
もっと映りが鮮明で、在銘で無ければ長光辺りに見えますよ！

[2821 へのレス]Re: 鎬さんから報告

投稿者：鎬 投稿日：2004/05/29(Sat) 08:04

おはようございます。家庭でも繁華街でも首題である鑑定会でも
「イヤ」「イヤ」を頂いている鎬です。
はずかしい得点話題で申し訳ない。。。
次回は倭士さん「天位」を獲得か？シリーズで報告しますね。
今回の倭士さんは「人位」を獲得。それなのにハンバーグを
ご馳走しろと迫るのですよ。しかもドリンクバーまで。。。
しかも福ちゃんまで。福ちゃんパソコンは株だけにつかっちゃダメですよ
得意の小道具について語ってくださいよ。

隠居さんのおっしゃるとうり「五郎左衛門清光」は名刀でした。
またとても健全で新刀新々刀に入札された方が
多数でした。「よだれ」を十分鑑賞しました。
「藤島友重」には悩まされました。場違い判断できませんでした。

法城寺さんまた鑑定会、鑑賞会などご一緒してください。

[2821 へのレス]Re: 鎬さんから報告

投稿者：倭　士 投稿日：2004/05/29(Sat) 13:06

　鎬さん>

先日は、どうもご馳走様どした。＾-＾
次回も高得点をとられたら、焼肉でもご馳走になりますね。

菊さん提案の件も日程を調整中!!
ご一緒出来るのを楽しみにしております。

[2831] 西郷南洲遺訓

投稿者：花散里 投稿日：2004/05/26(Wed) 23:31

「正道を踏み国を以って斃るるの精神なくんば、外国交際は全かる可からず。彼の強大に畏怖し、円滑を主として、曲げて彼の意に従順する時は、軽侮を招き、好親却て破れ、終に彼の制を受けるに至らん。」

[2831 へのレス]Re: 西郷南洲遺訓

投稿者：内記 投稿日：2004/05/27(Thu) 06:27

＞花散里さん
パラレルにリンクしながら話が続いているような・・・ (^_^;)

庄内藩主だった酒井忠篤（さかいただずみ）が旧庄内藩士子弟の教育（庄内学）の為、明治 23 年(1890)に庄内藩の同志と刊行した「南洲翁遺訓」。
（ネチネチとしつこ〜い！ですね (-_-;) ）
それはさておき、
＞彼の強大に畏怖し・・・従順する時は・・・終に彼の制を受けるに至る
明治初頭の 19ｃ頃は明らかに強大な軍事力を背景に理不尽な外交を迫る又は植民地化を迫る西洋列強に対する【気合】の入れ方（個人的には大好きデス）の正論ですが、20ｃでは既成事実として【戦争は外交の一手段】として軍事プレゼンスを諸国が競い、21ｃの現在その王者たる米国に誰も国家存亡を賭けてまで反対できない。

花散里さんの提言は今回の【半島】方面ではなく、むしろ米国外交に対しての反省としたいと考えます。
危惧するのは、今回の【朝貢】外交が彼の国の強大な軍事力に【畏怖】し【従順】したのかを問いたい。そうでなければ何に【畏怖】したのか？
敵の諜報戦に負けず国民全員が一丸となって鳥瞰的視野で立ち向かわなければと思う次第です。
長々と熱〜くなってしまいました。実は【拉致被害者】の方々とは殆んど同世代なのです。25〜30年前、ニュートラだ、ハマトラだと高度成長末期の学生生活を謳歌し遊び呆けていた私たちと同世代が突然【連れ去られた】のです。とても他人事とは考えられません。我両親は既に他界しましたが【被害者】の御両親の年齢を考えるとそれこそ【時間がないんだ！】と言いたいのをぐっとこらえておられる姿に言葉もございません。
全く理不尽極まりない【テロ】そのものではありませんか！

キーボードが焦げそうなのでこの辺で　　(>_<) 。

[2831 へのレス]Re: 西郷南洲遺訓

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/27(Thu) 11:14

今の外交が友好親善を目的とすることに対する賢人の戒めと思います。
ことに今回の訪朝で総理は「国交正常化」のための一歩と云っていますが、正常化することを期待し、メリットを感じる日本国民は何%いるでしょうか。
まさに西郷の云う「円滑を主として・・・」の愚、です。
西郷は会津人にとっては「不倶戴天の敵」ですが、立派な政治家ではた。大久保路線でなく、西郷の征韓論をとっておればわが国はどうだっただろうと考えます。

[2831 へのレス]Re: 西郷南洲遺訓

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/27(Thu) 11:57

花散里さん、ところでこのＨＰを開くと聞こえていた、なつかしいメロディ、どうしたのでしょう。
ぜひ、お願いします。大正琴の音色がいいですね。

[2831 へのレス]Re: 西郷南洲遺訓

投稿者：花散里 投稿日：2004/05/27(Thu) 22:42

私も、拉致被害者とは同年代です。
趣味の場であるこの掲示板に、しつこく話題を持ち出したがるのもそのためかも知れませんね。
北朝鮮だけではなく、中国に対しても、アメリカに対しても、日本の外交は甘いんですよ。
＞正道を踏み国を以って斃るるの精神なくんば
この精神が無く外交（の真似事）を行っているのが、今の日本であり、政治屋・外務省ではないでしょうか？
責任を取ると言っても、せいぜいが議員辞職や懲戒免職くらいです。
現代と言えども、諸外国は日本と違って戦争を放棄していませんから、最悪の場合「外交の失敗は自国民の命に直結」しますので、まさに命懸けの精神を持ってことに当たっている事でしょう。
今回ばかりは、「拉致被害者の命」が懸かっていることを強く認識して欲しかったですね。

＞ご隠居さん
あまり人気の無い大久保利通も、死後は莫大な借金が残ったと聞いています。
まさに「井戸塀」ですね。
今の政治屋に対しても、私財を投げ打てとまでは言いませんが、人道支援の名の元に税金を湯水のように使い、被援助国からリベートを貰うのだけはやめてもらいたいものです。

ホームページの音楽を、復活させました。
いつも選曲に苦労しますので、リクエストがあればお申し出ください。

私に任せていると、唱歌ばかりになってしまいますよ。

[2831 へのレス]Re: 西郷南洲遺訓

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/28(Fri) 09:00

ああ玉杯に花うけて
青葉茂れる桜井の
琵琶湖周航の歌

をリクエストいたします。

[2831 へのレス]Re: 西郷南洲遺訓

投稿者：花散里 投稿日：2004/05/28(Fri) 16:25

＞ご隠居さん

リクエスト、ありがとうございます。
では、６月：ああ玉杯に花うけて、７月：青葉茂れる桜井の、８月：琵琶湖周航の歌、でよろしいでしょうか？
５月（あと数日ですが・・・）は、今流している「真白き富士の嶺」で行きたいと思っています。

[2838] 武道・武術

投稿者：倭　士 投稿日：2004/05/28(Fri) 21:22<HOME>

今、大阪梅田にある本屋さんで、武道・武術書フェアーが
開催されております。
場所：ジュンク堂大阪本店２階・堂島アバンザビル
(地下鉄・西梅田駅下車スグ)
ＴＥＬ：06－４７９９－１０９９
営業時間：Am１０時～ｐｍ９時まで
※千葉周作から中村泰三郎まで沢山の書籍がありましたよ！
その他、鍔や刀剣関連の本も沢山あります。
興味のある方にはお薦めです。

[2838 へのレス]Re: 武道・武術

投稿者：まぼろし探偵 投稿日：2004/05/31(Mon) 18:27

きっとここにもある！かもしれない・・・。

[2841] 教えて下さい。

投稿者：越中国住人 投稿日：2004/05/30(Sun) 07:56

土佐藩山内家の「一国兼光」についてなにかご存知の方がおられましたら教えていただけないでしょうか？
以前何かの本で読んだ気がするのですが、良く分かりません。
来歴と現在の所有（個人蔵または美術館蔵）もご存知の方がおられれば教えて下さい。お手数ですがよろしくお願いします。

[2841 へのレス]Re: 教えて下さい。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/30(Sun) 08:13

土佐山内家宝物資料館
たしかここに収蔵されているはずです。
９時会館ですので、電話で確認してみます。

数年前に山内家から移行されたと記憶しております。

[2841 へのレス]Re: 教えて下さい。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/30(Sun) 08:15

上記資料館をクリックして下さい。リンクしています。(^^ゞ。

[2841 へのレス]Re: 教えて下さい。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/30(Sun) 10:01

電話で確認しました。
現在の所有は、やはり『土佐山内家宝物資料館』で、委託管理を『高知県立歴史民族資料館』に御願いしているそうです。

一国兼光は重要文化財で、今年の展示は『高知県立歴史民族資料館』で、『土佐山内家宝物資料館』の許可の下、５月３日の会館記念日に展示されたそうで、今年度はこれ以後の予定はなし。
来年度も『土佐山内家宝物資料館』の許可が出れば、５月３日の会館記念日に展示するかもしれないそうです。

私もお隣の県ですが、両館とも訪れたことがないので、来年はぜひ行ってみたいですね！！

[2841 へのレス]Re: 教えて下さい。

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/30(Sun) 10:35

「一国兼光」「土佐一国に代えがたい太刀」として山内家に伝来された太刀で旧国宝、現重文。三四寸区送りされて長２尺４寸９分３厘、南北朝期の文和四年二代兼光の作です。小板目肌に地沸がつき乱れ映り立ち見事。刃文はのたれに互の目小足入る出来で、二代兼光初期の作風です。
あまりにも有名な刀ですから、名物名刀を解説した様々な図録に所載されていますが、一つだけ挙げよといわれれば
「昭和大名刀図譜　薫山編　大塚工藝社」を挙げたいと思います。

[2841 へのレス]Re: 教えて下さい。

投稿者：花散里 投稿日：2004/05/30(Sun) 10:43

長船町史に掲載されていますので、内容を転載します。

【重要文化財 太刀 銘 備前国長船兼光 文和二二年乙未十二月日
　長さ 二尺四寸九分三厘(75.5cm) 反り 七分(2.1cm) 元幅 九分三厘(2.8cm) 茎長 七寸四分三厘(22.5cm)
鎬造り、庵棟、身幅やや広く、磨り上げているが、反りやや高く、中鋒延びる。鍛えは小板目肌よくつみ、地沸細かにつき、乱れ映りが立つ。刃文は小湾れに、互の目尖り刃交り、小足入り、匂口締りごころに小沸つき、匂口冴える。帽子は乱れ込み、尖りごころ返る。彫物は表裏に棒樋を掻き流し、腰に細い腰樋を添える。茎は磨り上げ、鑢目勝手下がり、先浅い栗尻。

元弘年紀にはじまった兼光の作風は、年代が進むにつれて多様化する。ここにとりあげた文和四(1355)年紀の太刀は、前掲（転載注．名物福島兼光）の作同様、過渡期の作とみることができる。これらの太刀は、兼光の初期作にみないもので、姿は鋒が延びごころとなり、小湾れに互の目を交えた刃文は、すでに観応元(1350)年紀の太刀に見るところであり、文和四年紀のこの太刀も同様で、やがてあらわれる延文兼光の先駆をなすものと考えられる。
この太刀は、以上のような姿に加え、鍛えは板目肌がよくつまり焼刃は匂深く強く冴えている。江戸時代の山内家では土佐一国にも比すべき重器であったとのことである。】

また、常石英明氏の「日本刀の鑑定と鑑賞」には、
【土佐藩主山内家に伝わるもので、文政のころ徳川将軍家から名刀なるが故にいわゆる供出命令が出たにもかかわらず、ないと称して供出しませんでした。すなわち山内家では土佐一国にも替え難いという意味です。以後同家では特別の一棟を建て、厳重な警戒と極秘を守り続けて明治維新に及んでいます。なお、これは旧国宝で、現在重要文化財に指定されております。】

[2841 へのレス]Re: 教えて下さい。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/05/30(Sun) 11:00

子供達と一緒に近くの図書館へ行ってきまして、重要文化財ばかり載っている本を見てきました。

山内○○氏所蔵の兼光で重要文化財が二口載っていました。
両方とも土佐山内家伝来品なのでしょう。

歩いていったので、いい運動になりました。

四国も梅雨に入って、今日の蒸し暑いこと蒸し暑いこと！！

[2841 へのレス]Re: 教えて下さい。

投稿者：右行劣 投稿日：2004/05/30(Sun) 16:33

今から２０年ほど前だったと思います。高知県立郷土文化会館で、一国兼光、大兼光、の太刀２口と山内一豊愛用の銘「よのやま」？という刀を見た記憶がございます。その時の印象では、小生は一国兼光よりも大兼光のほうが立派だったように思えたのですが、記憶がいまいち定かではありません。

[2841 へのレス]Re: 教えて下さい。

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/30(Sun) 17:42

今回のお尋ねのように、大名家の伝来品についてきとうの資料は

「皇室・将軍家・大名家刀剣目録　福永酔剣著　雄山閣」
が適当かと思いますが、これには土佐山内家の目録が
小夜左文字（筑州住左）とならんで一国兼光が所載されてあり、この太刀の異名のいわれについて、こういう刀剣の故事来歴については現代第一人者の酔剣氏が次のように書いています。

「山内家に備前兼光の稀代の名刀があると知ってこれを欲しがった紀州藩主徳川頼宣がその譲渡交渉を津藩主藤堂高虎に頼んだ。藤堂が山内忠義に申し入れたところ『ご勘弁を』と即座に断った。そこで高虎はすかさず『もし将軍がご所望では』と重ねて頼んだところ『同じでござる。土佐一国に代えてもおことわり申す』と返事し、このことから一国兼光の異名が云われ始めた。」

[2841 へのレス]皆様大変有難うございました。

投稿者：越中国住人 投稿日：2004/05/30(Sun) 19:01

みなさま大変ご親切にご教授頂き有難うございました。私、非才浅学を省みず６月中旬より半年間毎週１回日本刀の魅力について地元新聞の連載記事を書くことになり現在７話まで書きました。支部に記事の以来が来て事務局より勉強になるからがんばるようにとの支持を受けて目下努力中です。その中で「贈答品としての日本刀」というテーマで武家の表道具として別格視されて贈答されていた事と江戸時代の大名が、身分と家格を表すためにいかに苦労して名刀を手に入れていたか、それを守るためにどれほどの努力を払っていたのかを紹介しようと思い、その例の一つとして以前何かで読んだ、土佐藩の一国兼光を取りあげようと思ったのですが、新聞記事にする際は記憶だけでなく必ず文献資料の裏付けをとろうと決めており、何で読んだのか探していたのですが見つからず皆様のお知恵を拝借しようと考えた次第です。
特に直接お電話で確認して頂いた真改さまには頭が下がります。
本当に有難うございました。

[2841 へのレス]Re: 教えて下さい。

投稿者：隠居 投稿日：2004/05/31(Mon) 10:18

越中国住人様
いかに読者の少ない地方紙であろうと、新聞にお書きになる場合は、書籍からそのまま転載は著作権の関係で慎むべきかと思います。
刀剣を贈答した歴史は古く、これは「日本刀剣全史川口渉著」に淵源があったように思いますが、かなり古いことで勿論江戸幕府開府前です。(たとえば、足利義昭が上京を促すために書状に添えて信長に贈った『公方包久』短刀があります)
先に私のあげました福永酔剣氏の著作は酔剣氏が典拠された江戸時代の古文書を明示されていませんので、この原典が不明です。
これらの点に留意なさいますよう、老婆心ながら付記いたします。

[2841 へのレス]有難うございました。

投稿者：越中国住人 投稿日：2004/05/31(Mon) 20:44

原稿については、書籍はあくまで参考と記憶違いの無いように確認する意味で利用するであって勿論そのまま引用すると言うことは出来ません。ただ、変えようの無い事実や定説、基本的事項,来歴、歴史的事項などについては多くの書籍で、ほぼ共通しているのでそこは似たような文になってしまうことはある程度仕方の無いことかと思います。写真、押し型なども著作権者の方と交渉し了解をもらった物のみ掲載を予定しています。
現在、必要な写真、押し型の８割は交渉の結果了解を頂いております。
イラストなどは、新聞社でイラストレーターを用意して新規に書かせるそうです。

[2845] 江戸の坂めぐり

投稿者：波平 投稿日：2004/05/30(Sun) 10:19

刀友の皆々さま。
さきごろの朝日新聞の地域版に「江戸の坂」と題する歴史散歩の特集があり、その中に興味を引く記事がありましたのでご紹介いたします。

新宿区の坂めぐりは南元町から信濃町、左門町を経て若葉、四谷界隈を歩く。
　信濃町駅を出ると左手に歩道橋が見える。このあたりは「南総里見八犬伝」を著した滝沢馬琴の終焉の地だ。歩道橋の左側、一行院千日谷会堂の脇を下るのが千日坂。高速道路が横切り、坂に影を落としている。
　坂下の低地は一行院千日寺の名から千日谷と呼ばれた。明治後期の造成で旧坂は消滅し、今の坂は新しい千日坂だ。この一帯は櫛羅藩主・永井信濃守の下屋敷があった所で、「信濃」が地名や駅名に生きている。
　再び信濃町駅に戻り、裏手の小道に向かう。珈琲館を右折し、1 本目を右折すると新助坂だ。付近に新助という人が住んでいたのが坂名の由来。中央線・総武線に向かって急降下する。坂に沿う植栽の緑が美しく、遠くには明治記念館の森が夕日に輝いている。
　さらに進むと、東医健保会館の脇から出羽坂の下りになる。石塀の古色ぶりは江戸の趣だが明治の坂だ。坂上に旧松江藩主の松平伯爵が神楽坂から移ってきた。松平家は江戸持代、出羽守と名のっていたので坂名にな
った。坂下を左折し、下町風の若葉通りを進む。丸正を過ぎ、1 本日を左折すると戒行寺坂だ。坂上の戒行寺には、池波正太郎の「鬼平犯科帳」で知られる火付盗賊改の鬼平こと長谷川平蔵の供養碑がある。別名を油揚坂。
坂の途中に、おいしい油揚を売る豆腐屋があったという。また、戒行寺向かいの宗福寺には「四谷正宗」と呼ばれた刀鍛冶の名匠・源清麿と、その師匠筋にあたる水心子正秀の墓が建っている。
（坂道研究家・山野勝）

[2845 へのレス]Re: 江戸の坂めぐり

投稿者：法城寺 投稿日：2004/05/30(Sun) 19:50

＞波平さん
直レスはじめましてですね。
毎年清麿の命日にちなんで「清麿会」という愛刀家の集まりがありますね。墓碑に冥福を祈ってから清麿の名刀鑑賞会と相成ります。出席の方々が刀剣界の重鎮ばかりなのでなかなか参加の勇気が出ません！

江戸の坂、鬼平ならばこちらのサイトが面白いですよ。私も時々オフ会や散策に参加しております。
http://www005.upp.so-net.ne.jp/shin1ro/onihei/

[2845 へのレス]Re: 江戸の坂めぐり

投稿者：波平 投稿日：2004/05/30(Sun) 22:00

＞法城寺さん
こちらこそヨロシクお願いします。

面白いサイトを紹介していただきましてありがとうございます。私も鬼平は「○ー○読物」に原作が登場して以来のファンです。ケーブルＴＶで放映している先代「松本幸四郎丈」の鬼平をセッセとＤＶＤにため込んでいる最中です(^o^)。
「清麿」を手にとる機会はなかなかありませんね。そのような会があること知りませんでした・・・

[2857] ☆　新作名刀展　!!

投稿者：倭　士 投稿日：2004/06/02(Wed) 20:38

　今年もそろそろ新作名刀展の季節がやって参りましたね。
毎年、このサイトで発表前から色々と話題になっていたと思いましたが、
今年はどうなんでしょうかねぇ？？
受賞者にはもう内定通知などはされているのかな？

裏情報などお持ちの方は居られますか？
私も、それとなく知人に聞いてみま～す。
　　はやく知りたーい！！

[2857 へのレス]Re: ☆　新作名刀展　!!

投稿者：四誌 投稿日：2004/06/04(Fri) 13:33

本当,早く知りたいね

[2858] 愛刀家の心得るべき「結び」

投稿者：隠居 投稿日：2004/06/03(Thu) 09:41

「刀を見て欲しい」と云われて最近持参されるものをみていて気づくのは、袋についた紐や下緒尻の結び方がまるきり無茶苦茶なことです。
刀箱にかけた平紐の結び方も変な具合で、折角の草木染めの紐がぐちゅくちゃに丸くなっていてひどてものがあります。ご大家の蔵品もこうなっては品格も何もあったものでなく、中身までが疑わしくなってしまいます。

拵を入れる袋についた紐は「兜むすび」か「花むすび」、下緒尻の結びは「松の実むすび」と昔からきまった

もので、愛刀家はこれだけはちゃんとやって欲しいと思います。
これらの「結び方」は刀屋さんにでも現物について習っておかれるといいです。

[2858 へのレス]Re: 愛刀家の心得るべき「結び」

投稿者：花散里 投稿日：2004/06/04(Fri) 23:37

これは、私には耳が痛い問題提起でした。
何を隠そう、私も自己流でございました(^_^;)
まず、拵え袋の紐の結び方から覚えようと反省しております m(__)m

[2858 へのレス]Re: 愛刀家の心得るべき「結び」

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/06/05(Sat) 07:04

刀箱にかけた平紐の結び方＞一度、成蹊堂さんに教えてもらいましたが、刀箱自体にお目にかかる機会が少なくて・・・。

刀袋の結び方は本で見て自己流でした。
下げ緒の結び方、下げ緒尻の結び方も柴田の『麗』にたまたま載っていたのを参考に練習したりしておりました。
この時に、たとえば下げ緒の結び方で、一番いいと思っていた結び方が正式ではなくて、 『浪人結び』と言われていることを初めて知りました。

今日、触れる刀の多くが白鞘で、紐の結び方も白鞘のくるくる巻くだけというものが多いので、こうしたことになかなか考えが及びませんでした。
気をつけたいと思います。

また、拵えや白鞘に刀を入れる場合、袋の縫い目に対して入れる方向が決まっていると聞いたことがありますが、これはいかがでしょうか。
縫い目の方向に刃を向けて入れる、あるいはその逆。
皆様は、いかがなされているでしょうか。

[2858 へのレス]Re: 愛刀家の心得るべき「結び」

投稿者：隠居 投稿日：2004/06/05(Sat) 19:41

「聞くは一時の恥　知らぬは一生の恥」とか、真改さん、よく尋ねられました。
白鞘の「縫い目」は当然、刀を入れて提げた場合に下向きになるように使います。刀に「表裏」があるように、白鞘袋や刀袋にも「表裏」があります・

下緒尻（下緒を二本揃えた切れ端）は、「松ぼっくり」のような、又はサッカーボールのような形に

結びます。
これは刀を腰に指して下緒尻を帯に一回まわしておくと、斬りあいになって乱闘した後にも鞘が抜け落ちず、不覚をとらないところから守られている一つの「掟」です。
こういうことは刀剣趣味とふかくかかわりがありますので、刀屋さんで「拵」をご覧になる際、よく見ておいてください。
現代のサラリーマンがネクタイを結ぶように、刀剣に関係の「結び」も理由に基づいた「掟」があって当然です。

花散里さん、「結び」の伝統と文化をどうぞよろしく。

[2858 へのレス]Re: 愛刀家の心得るべき「結び」

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/06/05(Sat) 22:06

なるほど、縫い目は下向きが正解なのですか。
ありがとうございます。
まちがって納めていたら、直します。

また、下緒尻のことですが、居合などでは下緒尻は、結んでいませんね。
途中を結んではいますが、どうしてなのでしょうか。
今度、先輩に聞いて見ます。

ご隠居さん。ありがとうございました。

[2860] 中国人の私が見た中国にある日本刀

投稿者：hyosan 投稿日：2004/06/04(Fri) 21:10

中国人の私が見た中国にある日本刀の画像を発表しました。如何でしょうかと皆様のご意見をお聞きいたしたいと思っております。宜しくお教えください。

[2861] 色々有難うございました。

投稿者：hyosan 投稿日：2004/06/04(Fri) 21:19

だれでも参加できると仰ったので、積極的に投稿しようと思ったのですが、そうではない事がわりましたので、これからは、絶対に投稿しないことにします。管理者様、色々有難うございました。どうぞ、削除してください。

[2861 へのレス]Re: 色々有難うございました。

投稿者：花散里 投稿日：2004/06/04(Fri) 23:35

＞hyosan さんへ
何か、誤解があるのではないでしょうか？

[2861 へのレス]Re: 色々有難うございました。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/06/05(Sat) 06:55

なにがあったのか知りませんが、まったくの誤解だと思います。

そうではない事がわりましたので＞なにを見て聞いてあるいは聞かされたのか、まったく当方としては不明ですので、管理人一同もコメントのしようがありません。

[2867] 中国人の日本刀に対してのイメージ

投稿者：hyosan 投稿日：2004/06/05(Sat) 21:00

日本刀剣電脳倶楽部で色々お世話様でした。
こう倶楽部を通して、日本刀についての知識を沢山勉強しました。
楽しくて、殆ど毎日この BBS を見させています。
昨日、中国のネットオークションに 1 元からスタートして、
20 回ぐらいの競争入札をして、最後 500 元で落札しました。
このような、中国で人気があった日本刀について、
日本人の方は、どうお考えでしょうかと思って、画像をアップロードしたのです。
刀の真偽、価値につきましては、別の問題にして、外国人でもこのように日本刀に興味があることだけを皆様に議論させたいと思ったのですよ。

[2867 へのレス]Re: 中国人の日本刀に対してのイメージ

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/06/05(Sat) 22:01

この刀は日本刀ではないような気がします。
まず、刀身に銘や年号を打つのはほとんどありませんし、というか年号を打つのはないんじゃないかなぁ。
銘は海部刀工なら刀身に銘を切ることもありますが、これとて脇差などのような短いものにあり、画像のようなものは見かけたことがありません。

また、野崎先生のコメントで『正和（1312-17）が 6 年までしかないのを知らないのですね。』とありますので、正和だとしたら、ありえませんね。

刀身に有った模様というのも、ちょっとどうかなぁ。よくわかりません。

日本刀ではないような気がします。日本刀を見よう見真似で作ったもの。

刀の形をした刃物ではないかという気がします。

最近、アメリカでは、鍛造ナイフの技術で刀スタイルを作って、試斬りをするための日本刀スタイルナイフを作っている人がいるようで、何ヶ月前かのナイフマガジンに載っていました。
中国でも、こういった日本刀スタイルの大型ナイフを作ったほうが、切れ味も外見も良いと思うのですが・・・。

あるいは、海外に刀匠を招き、それを日本に輸出する。
日本では、月に二本しか刀は打てないので、外国で作って逆輸入っていうのも面白いかもしれませんね。

以って、揚子江砂鉄作る、なんて格好いいじゃありませんか？
あくまで、案ですよ！(^^ゞ。

[2867 へのレス]Re: 中国人の日本刀に対してのイメージ

投稿者：隠居 投稿日：2004/06/06(Sun) 09:27

この画像の刀に対する真改さんの鑑定を支持します。

第一に、日本刀の姿ではありません。反りのあり方が青竜刀を感じさせ、日本人の美意識にはほど遠いものです。
また、切先の形に繊細な造形美がなく、「刃物」という感じです。

こういう「中国製粗製日本刀」が廉価で輸入されてくることは、如何なものでしょう。初心者が引っ掛かって買う場合がありそうですが、姿かたちを重視する居合を少しやればやがて持つのが恥ずかしくなること、必定です。

[2867 へのレス]無題

投稿者：守重 投稿日：2004/06/06(Sun) 20:23

残念ながらこの「刀」は日本刀ではないですね。Ebay を Japanses sword で検索すると、出品物の 90 パーセントはこの手の粗製日本刀まがいです。Ebay では China junk とか faik とかで表現されています。最近日本のヤフーでもみかけますね。昨年末に東京税関に行きましたが、中国から三つ EMS がありました。一つは受取人が開封し審査しましたが、当然没、返送となりました。
銘文は全く駄目で、何故か「正和」が多い気がします。また「宮沢理恵作」なんて銘が切られたものもありました。また偽造登録証も中国で印刷されているようです！！！　詳しくは「Ebay 貧乏長屋」のサイトをご覧ください。
日本の税関はそれほど甘くありません。伝統的技法で作成された日本刀以外は絶対に輸入できません。また新作刀（主に戦後（登録制度ができてから）に制作されたもの）は日本刀であっても輸入

不可のようです。

[2868] 画像の数について

投稿者：hyosan 投稿日：2004/06/05(Sat) 21:04

画像の数が多すぎて、住みませんでした。これから気をつけますので、また宜しくお願いいたします。

[2868 へのレス]Re: 画像の数について

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/06/05(Sat) 21:50

画像のアップに少々時間がかかることがありますが、そのことが誤解の原因だったのでしょうか？
画像のアップは直ちにされるのではなく、管理人の判断で適切か否かを判断してアップされます。
少々お時間をいただくのは、そのためです。
ご理解を頂きたいと思います。

画像の多さはではなく、花散里さんのコメントにもありますとおり、一件として扱い、他の画像投稿も尊重したがための処置です。
最初の画像をアップしたら、その次の画像は『返信』として投稿してもらえれば幸いです。

誤解が解けましたなら、またよろしくお願い致します。m(__)m。

[2872] ご親切ご丁寧な解説を有難うございました。

投稿者：hyosan 投稿日：2004/06/05(Sat) 22:22

色々親切にご解説くださいまして、本当に有難うございました。また宜しくお願いいたします。

[2872 へのレス]Re: ご親切ご丁寧な解説を有難うございました。

投稿者：花散里 投稿日：2004/06/06(Sun) 08:08

＞hyosan さん
中国での刀剣事情を、お教えいただけないでしょうか？
専門の刀屋さんはあるのでしょうか？
国外から刀を持ち込む（輸入する）ことは、できるのでしょうか？
刀を持つときは、許可証のようなものが必要でしょうか？
hyosan さんのお知り合いにも、刀が好きな方はいるのでしょうか？

質問ばかりですが、よろしくお願いします。

[2872 へのレス]Re: ご親切ご丁寧な解説を有難うございました。

投稿者：hyosan 投稿日：2004/06/06(Sun) 20:49<HOME>

ご質問を有難うございました。私が知っている限りは、日本刀を専門とするお店はありません。ないからこそ、日本刀に対して、神秘に思われたのですよ。公安局は、銃剣に対しては制限があったようですが、そんなに厳しくないようです。刀剣を持参した上で、飛行機に乗ろうとすると問題を引き起こすかもしれませんが、普通に荷物として預かってもらえば、問題は、ないでしょう。また、私の友達の中に日本刀が好きな人も居ないですが、13 億の中国人なので、やはり好きな人が結構居ますね。日本刀剣についての知識を宣伝するためのホームページも作っている人が居ますね。そのURL もリンクしていますので、そちら様の PC には中国語が読めるかどうか分かりませんが、とても素晴らしいホームページですよ。最近、ネットオークションには、真偽が知らない日本刀が発売されています。とても人気が有ったようです。今の上海は、日本料理店が 1000 以上の店舗があったのですが、まだ日本刀剣店がありません。もし、誰かお店を作ってくれれば、成功するかも知れませんと思います。

[2872 へのレス]Re: ご親切ご丁寧な解説を有難うございました。

投稿者：花散里 投稿日：2004/06/06(Sun) 22:08

＞hyosan さん
お答えありがとうございます。
機会があれば、ぜひ日本にお出でください。
代々木の刀剣博物館や、上野の国立博物館を始めとして、刀剣店も数多くありますので勉強になりますよ。

[2872 へのレス]Re: ご親切ご丁寧な解説を有難うございました。

投稿者：御刀天国 投稿日：2004/06/08(Tue) 01:07

中国での日本刀事情というのが、ほとんど知られていませんので、大変興味があります。中国には、第二次大戦後に没収された日本刀が、軍関係の倉庫にグリースを詰めたドラム缶に束になって突き刺して保管されているという噂を聞いたことがあります。真偽の程は分かりませんが、ありそうな話ですね。もし、本当なら、故山中貞則氏によって赤羽刀が陽の目をみたように、これらの刀にも解放される日が来るとよいですね。ただし、軍刀身が大部分ですので、いわゆる名刀は少ないという噂です。

[2872 へのレス]Re: ご親切ご丁寧な解説を有難うございました。

投稿者：hyosan 投稿日：2004/06/08(Tue) 14:11

＜中国には、第二次大戦後に没収された日本刀が、軍関係の倉庫にグリースを詰めたドラム缶に束

になって突き刺して保管されているという噂を聞いたことがあります＞と仰いましたが、はっきりと言って、中国人の私も知りません。これから、時間を掛けて、関係者に聞くつもりです。また何か面白い情報がありましたら、お知らせ致します。

[2875] ご無沙汰しております。

投稿者：守重 投稿日：2004/06/06(Sun) 20:06

たいへんご無沙汰しております。ここ半年 ROM ばかりで書き込みしていません。この冬に長女が生まれてから、早寝早起きに徹し、頑張って子育てをしておりまして、趣味に身が入りませんでした。
先日、仕事で鹿児島へ行く機会がありました。以前から行きたいと思っていたのは、知覧の特攻平和会館。半日で終わった二日目の午後は、早速知覧へと向かいました。入館して展示品の遺書等読んでいると、ホンの５分足らずで涙が吹き出してきました。噂で聞いていた以上の内容。。。ものすごい資料の量に圧倒されました。ひとつひとつ読んでいて、その文章の素晴らしさには今の自分が情けなくなりました。今、この隊員達が生きていたら、今の日本は大きく違っていたかもしれません。先の大戦では貴重な「日本人」をたくさん失ってしまったことを痛感しました。それに対して、涙を流すご老人達に対して修学旅行の高校生共がはしゃいだり携帯かけていたりと不埒な行動が目に付き、また担任の先生達と来たら、、、見て見ぬふり？して喫煙場所でせっせと煙草すっています。ああっ、日本の教育はほぼ完全に崩壊しているな、と感じました。
刀剣に対してはあまり期待はしていなかったのですが、四国 48 ヶ所巡りに持参され、奉納された宮入○○作（忘れてしまった！）の太刀が展示されていました。また錆錆の軍刀等も沢山あり、日頃あまり見向きもされていない錆刀や軍刀も、隊員の遺族にとってはとても思い入れの深いものと感じられました。趣味の立場から見た軍刀と、戦史の立場から見た軍刀がこれほど大きく違って感じたことには、正直私も予想外でした。また自分の子供を如何に育て教育していくかを考え直す良い機会となりました。
これからも宜しくお願いいたします。

[2875 へのレス]Re: ご無沙汰しております。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/06/07(Mon) 00:18

お久しぶりです。
「月光の夏」という映画を思い出します。
知覧の特攻隊を描いた映画です。

[2875 へのレス]Re: 特攻遺品館

投稿者：隠居 投稿日：2004/06/07(Mon) 08:49

守重さん、よい旅行をされましたね。特攻の遺品を彼らが出撃した基地でご覧になった記憶は、ご生涯永く残るものと存じます。
知覧の近くには
鹿屋特攻基地（かのや・海軍）があり、現在「海上自衛隊　鹿屋史料館」として遺品が整備展示されています。これも海自が威信をんけて整備充実しております。

また万世特攻基地（陸軍）には、万世遺品館があります。万世基地から特攻出撃して散華した英霊の遺品が展示されています。この遺品の収集整備と遺品館の設立には、苗村七郎氏（大阪府枚方市・学生航空連から陸軍入隊万世特攻隊所属）が３０年の歳月と自費をかけて成し遂げられたものです。これは「陸軍最後の特攻器地　苗村七郎編　東方出版　細字５３０ページ」をご覧になればよく分かります。（ただこの力作は 4900 円という価格によって殆どが売れ残り、苗村氏が引き取られ遺族外多くの関係者に進呈されました。老生も縁あって進呈いただき、感謝拝読いたしました。）
この機会にご紹介申し上げます。

[2875 へのレス]Re: ご無沙汰しております。

投稿者：真改 2004　投稿日：2004/06/08(Tue) 06:07

守重さん。お久しぶりです。お元気そうでなによりです。

さて、知覧の特攻平和会館は、今を去ること１９年前に卒業旅行と称して友人と九州を一周した時に参りました。
当時は、今ほど戦争に対する考えや思いもなく、まして刀のことなどは『かっこいいな』くらいにしか思っていない、時代劇の中の印象あるいは、骨董的印象しかありませんでした。

館内を回っていると、写真がたくさん飾ってありました。当時の私とかわらぬ年齢あるいはそれより下の少年が犬を抱いて笑顔で笑っている。この写真を今でも忘れることができません。
当時５人で旅行をしていましたが、３人は感情を素直に出せず話を楽しいほうに持っていき、私はもう一人の友人と『あの写真の人に今の自分の生き方が恥ずかしい』と話し合いました。しかし、それからの自分はあの写真の人に恥ずかしくなかったでしょうか。恥ずかしいことばかりです。
家族を思って逝ったであろう人の思い以上の愛情で家族を思い国を思うことだけを心に生きていくことが精一杯です。

靖国神社は成人して参拝できましたが、知覧の特攻平和会館を成人する前に行くことができたことは、大変感謝しています。

今の高校生だって友人や家族を思う気持ちは間違いなく大きな存在としてあると思います。
いつかそういう気持ちでこうした施設を訪れ、見たときに大きな感動があると信じています。

[2875 へのレス]Re: ご無沙汰しております。

投稿者：鎬　投稿日：2004/06/09(Wed) 17:01<HOME>

「知覧・特攻平和会館」については恥ずかしながら最近知りました。
愛読書の「致知」３月号に特集記事がありそれにて知りました。
たくさん涙がでました。。。表現できない感情に包まれました。
めずらしく読み返しました。へたな感想を述べる事ができない重さを

感じています。機会を見つけ知覧を訪れたいと思っています。

http://www.chichi.co.jp/

[2875 へのレス]無題

投稿者：守重 投稿日：2004/06/09(Wed) 20:22

鎬様
是非訪れてください。自分を見つめ直す良い機会となると思います。私は当初 1 時間の訪問の予定でしたが、閉館ぎりぎりまで 2 時間いても見きれないほどの資料の数でした。(お陰で宿に遅刻しました。) また数年後に再来し、自分がどれだけ隊員達に近づいたか確認したいと思います。あっ、特攻平和会館へ行くときはハンカチを忘れないように。。。
隠居様
鹿屋の資料館のことは知っていましたが、万世のことは未知でした。もう一度勉強し、訪問の機会を伺います。またご紹介いただいた「陸軍最後の特攻基地」は後日探してみたいと考えております。
またいろいろと教えてください。
ありがとうございました。

[2880] 無題

投稿者：刀剣ビギナー 投稿日：2004/06/07(Mon) 07:27

先日　刀剣店で「これはとても高価な名刀だよ」 と店主が 持たしてくれました。 (興奮して銘は忘れました)

なんと 持ちやすい、振りやすい、私の所有物と大違い！

名刀は 見た目も勿論ですが 結局　道具として 使いやすい・・これなんでしょうね。　当たり前の でも驚きの 初体験でした。

[2880 へのレス]Re: 無題

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/06/08(Tue) 06:12

いいものを持って見ることが、とてもよい経験になる。そのことが体験できたことは最高のことですね。
雑誌や本をいくら読んでも、本物の感動には遠いものがあります。
刀剣ビギナーさんが体験したことをこれからもどんどん体験していくとが、刀剣に対する考えを変えることになるかもしれません。

私も名刀に接したいな～。

[2888] 赤羽刀。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/06/11(Fri) 14:32

坂城町の「鉄の展示館」で「再生、赤羽刀展」が始まりました。
平成 16 年 6 月 10 日（木）～8 月 29 日（日)
http://www.tetsu-museum.info/
来週にでも行ってきたいです。

静嘉堂文庫美術館「備前の名刀と刀装具」も行かねば。

[2888 へのレス]Re: 赤羽刀。

投稿者：四誌 投稿日：2004/06/12(Sat) 17:11

初めまして、四誌です。
私も、行きたいです
でもと遠いなー。。

[2888 へのレス]Re: 赤羽刀。

投稿者：内記 投稿日：2004/06/12(Sat) 21:21

＞こてつ。さん 、四誌さん こんばんは。

信州での『赤羽刀展』てことは・・・
【山浦一派】 !(^^)! ・・・

・・・は含まれていないようですね。 (^_^;)

梅雨の晴れ間にビュ～ っと上田あたりまで一っ走り 出来ればよいのですが。 少し期間があるので、【信州の夏】もいいですね。

＞静嘉堂文庫美術館「備前の名刀と刀装具」
は 2004 年 6 月 12 日(土)～7 月 25 日(日)
先月チェックしておいたのに、既に今日から・・・、でしたネ。 (^_^;)

『そのうち』って思っていると、アッと云う間に終ってしまいます。

[2888 へのレス]Re: 赤羽刀。

投稿者：菊久 投稿日：2004/06/13(Sun) 05:46

「行きたいなぁ～」
でも、どちらも「一足遠いなぁ～」
「やはり、ちょっと無理か・・・(-_-;)」

今のところ、私の刀剣鑑賞の予定は、来週の 20 日に私の所属する支部が主催してくれます「熱田神宮・宝刀特別拝観」に行ってきます。
熱田神宮の宝刀を手に持って拝観鑑賞出来るということなので、今からとても楽しみにしているところです。
ここの「書き込み所」でもお馴染みの、鎬さんや倭士さんとそのご友人の F さんも所属支部は違いますが、特別参加してくれますので、楽しさ倍増です。!(^^)!
お三方様、当日のご教授宜しくお願いします m(_ _)m

[2888 へのレス]無題

投稿者：守重 投稿日：2004/06/14(Mon) 23:15

いつかは行こう行こうと思っていた坂城町の「鉄の展示館」ですが、私の家から車で 2 時間くらいの距離なのですが、未だに行ったことありません。この夏には絶対に行こうと思っています。
ついでに蕎麦も。

[2892] はやく写真ＵＰしてよ～!!

投稿者：倭　士 投稿日：2004/06/14(Mon) 10:10

皆さんこんにちは・・
昨日、協会支部の鑑定会に行って参りました。
久しぶりに鎬さんも参加され、刀友達と楽しい時間を過ごしました。
因みに、鑑定刀は・・
①太刀：無銘・長光（重美・島津家伝来）
②太刀：来國光（柳澤家伝来）
③脇指：備州長船實光・応永十六年五月日
④短刀：近江大ジヨウ藤原忠広（素剣に倶利伽羅の彫あり）
⑤刀　：長幸於摂津國作之
参考品として
鍔・数点（金山・太刀鍔・赤坂・後代安親など）
カイラギ（鮫皮）の拵え
小柄・笄（富士に東海道の宿場名毛彫り）　　ｅｔｃ・・

解説は、本部講師・日野原先生でした。
＊小道具に関しては不勉強で上手く解説出来ませ～ん。
鑑賞会の風景は、（名カメラマン）鎬さんがお写真をＵＰするとの事です。
鎬さん>
約束通り解説して置きましたので、ベスト・ショットをお願いしま～す。

[2892 へのレス]Re: はやく写真ＵＰしてよ～!!

投稿者：鎬 投稿日：2004/06/14(Mon) 15:22

「鑑定会の風景」刀友達を画像 UP しましたよ。
前列の青年達は、人間国宝候補です。
私の隣が、小道具の達人Ｆ氏です。
このコメントは画像にしたほうが良いのかな？

[2892 へのレス]Re: はやく写真ＵＰしてよ～!!

投稿者：四誌 投稿日：2004/06/14(Mon) 15:22

イイですねー。。
長光、見てみたーい。。 love

[2892 へのレス]Re: ：倭 士 さん

投稿者：隠居 投稿日：2004/06/15(Tue) 11:14

備前伝の古刀新刀計三口、山城伝の古刀新刀計二口、中々呼吸の合った組合せで判者のお気持が汲める、勉強になるいい出題ですね。
長光は踏ん張りのない大磨上の姿に気付かないと難しかったでしょう。
實光は「小反り」ですか？
長幸は華やかな大ぶりの丁子乱れで、独特の雰囲気がありますでしょう。
来国光は作品も多く、鑑定会では必須の基本名品の一つ。
近江大掾の短刀は数が少なく､「肥前地がねに忠長の彫」とくれば､一札当りと行きたいものですよ。
でも一度見ておかれると頭に入りますでしょう｡､

[2892 へのレス]Re: はやく写真ＵＰしてよ～!!

投稿者：倭 士 投稿日：2004/06/15(Tue) 21:06

隠居さん>
實光は、よく見る小反物に比べると刃紋の出入りが有り地鉄も良かつたですね！
忠広は梨子地鉄で、彫りは義長との解説でした。
長幸は映りは有りましたが、いつもの石堂の匂口よりやわらかく当りませんでした。

因みに私の成績は・・(一本入札で)
①吉岡一文字で、能
②来國次で、同然
③長船盛光で、同然
④初代忠吉で、同然　　(合計・４５点でした。あしからず・・)
⑤出羽大ジョウ行広で、イヤ
今回は、鎬さんを粉砕しました。　(^ ^)
わたくし事ですみませ～ん！

[2892 へのレス]Re: 一本鑑定

投稿者：隠居 投稿日：2004/06/16(Wed) 09:35

①長光→吉岡一文字、大磨上を見抜いて時代・位違わず、同然同様の好札！
②来国光→来國次、ご立派な同然
③応永實光→盛光で、応永備前と見れば当りも同様の同然
④二代忠廣→忠吉で、これもご立派
⑤長幸→肥前行広で、イヤ、これは匂い口を石堂と違うと見られての失点、しかし時代観的確で悪札にあらず。
一札鑑定で４５点は大したものです。刃文などの解説文がある紙上鑑定なら①と⑤も決して逃しておられないと思われ、大鑑定家どのに脱帽！最敬礼致します。

[2892 へのレス]Re: 隠居さま>

投稿者：倭　士 投稿日：2004/06/16(Wed) 20:31

ありがとうございます。　次回も頑張ります。
因みに・・
次回から、鎬さんは３０点以上とれなければ、同席の刀友にジュースの１杯でもご馳走して頂けるようです。　(^ - ^)
(目標は大きく・天位ですよね!!　鎬さ～ん!?)

[2896] コンクールは。。。

投稿者：鉄. 投稿日：2004/06/15(Tue) 02:52

今年の新作刀コンクールは、どなたが、特賞など、取ったのでしょうか？
知っている方が居ましたら、教えて下さい。

[2896 へのレス]Re: コンクールは。。。

投稿者：倭　士 投稿日：2004/06/15(Tue) 10:27

　鉄さん>　はじめまして・・
私も気に成っており以前書き込んだのですが、皆さん新作刀展にはご興味が無いのか?合の手(返信)が御座いませんでした。
　鑑定会で私が耳にした情報ですが・・
特賞は、宗刀匠・川崎刀匠・杉田刀匠・尾川刀匠が親子で入られたとか!?（順位は不明）です。
松田刀匠は残念ながら特賞を逃がされたとの事!!
吉原義一刀匠は無鑑査へ昇進されたとか・・
私も、知人からの又聞きですので、間違っていたらゴメンなさい。
どなたか関東の方、刀剣博物館に行かれた方があれば、書き込みして欲しいで～す。

[2896 へのレス]Re: コンクールは。。。

投稿者：鉄. 投稿日：2004/06/15(Tue) 12:24

　返信、有難う御座います。
　常連の方が、順当な受賞と言う事でしょうか？初受賞と言う方が居れば、面白いのですが。
　杉田氏は、ここの所、評価が上がっていますね。独自の理論で、個性的な刀を作られていますね。この方が、いずれ、地鉄の面でも、一文字に迫る刀を作りそうな感じがします。

[2896 へのレス]Re: コンクールは。。。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/06/15(Tue) 18:27

いえいえ、新作刀展の結果は大いに気になっております。(^^)。
現代刀がとても好きなので、当然毎回チェックしております。

ちなみに、宮入行平刀匠の無鑑査前の高松宮賞受賞作品や尾川兼国刀匠（ご子息）の数年前の文化庁長官賞受賞作品などが徳島にありますよ。(^^)。現代刀愛好家も多いのです。

杉田刀匠の作品の実物は見たことがないのですが、杉田刀匠独自の世界を表現したもので、画像で見る限りですが、とても印象的です。
杉田刀匠←をクリックしてみて下さい。弟さんが作ったホームページがあります。

１０年くらい前に銀座長州屋から出た『現代刀作家優品集』というのがあって、そこに杉田刀匠の太刀が載っていましたが、影映り立つという表現があって、私はとても好きだったので、電話で問い合わせたりして、もう少しで買うところまで行きました。が・・・、資金難で断念しました。(T_T)。

今年の新作刀展覧会も楽しみです。

[2896 へのレス]Re: コンクールは。。。

投稿者：倭　士 投稿日：2004/06/15(Tue) 20:28

真改さんも現代刀の愛好者でしたか・・
　これは失礼致しました。

お金に余裕が有る方は、是非・若手刀匠の作品をご購入下さい。
未来の人間国宝を育てるのも愛刀家の使命で～す!!
ここで一句、「みんなで買おう、一家に一振り現代刀！」
　　・・どこかで聞いた文章だなぁー？？

今、思い出しましたが、今年は新人賞がおられるとの事です。
確か、九州の方でお名前は・・　スミマセン忘れました。

[2896 へのレス]Re: コンクールは。。。

投稿者：tama 投稿日：2004/06/15(Tue) 21:40

鉄様初めまして
tama と申します。
小生も現代刀に魅力を感じている一人です。
今年の新作刀展で新人賞の方は、お二人おられます。
一人は、九州の木村刀匠もう一方は、群馬の工藤刀匠です。
新作刀展の前に工藤刀匠の刀を拝見する機会が有りまたがなかなか素晴らしい出来でした。
工藤刀匠は、藤安刀匠のお弟子さんとの事でした。

[2896 へのレス]Re: コンクールは。。。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/06/15(Tue) 22:05

本日、仕事で上京ついでに「新作刀展」に行って来ました。
平日にもかかわらず意外と（？）お客さんが入っていました。
では主な受賞者の方々をばご報告。

高松宮賞：尾川兼國　文化庁長官賞：宗昌親　日刀保会長賞：川崎晶平　薫山賞：尾川兼圀　寒山賞：杉田善昭　全日本刀匠会会長賞：古川清行　優秀賞７名　入賞８名
松田次泰刀匠は今回は努力賞でした。う～ん…残念。

無鑑査の大隅俊平刀匠の大太刀はナンと１３９．２センチ！
焼きいれや磨ぎはどうやってんでしょう…？

残念だったのは、まだ図録が出来ておらず買えなかったこと。
帰りに吉○家のカレー丼を食べて帰ってきました。
具が少ないです…(ノ＿・、)
とりあえずご報告まで～。

[2896 へのレス]Re: コンクールは。。。

投稿者：daizo 投稿日：2004/06/16(Wed) 00:31

大野義光氏は「山鳥毛」写し。素晴らしかったです。
寒山賞の杉田善昭氏、平造りの刀ですが、一面に明瞭な映りが現れていました。あそこまで明瞭な映りを表現できる作家は、そういないでしょうね

[2896 へのレス]Re: コンクールは。。。

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/06/16(Wed) 10:32

うーん　そうですか。
やはり杉田刀匠が特賞でしたか。４～５年前でしたか叢雲会と言う刀匠グループの展示会で、杉田刀匠とお会いして直接お話を伺ったことがあります。
その時の太刀の刃取りが人工的ではないような気がして、どぶずけですか？とお伺いしたところ、そこからいろいろ話が弾んで、他の刀もわざわざ出してこられて見せていただきました。
如何にも自然な感じが、なんとも言えず好ましく私も注目している刀匠の一人です。

[2896 へのレス]Re: コンクールは。。。

投稿者：倭　士 投稿日：2004/06/16(Wed) 20:54

東京は良いですね～！
大阪の展示会では、昨年より展示期間が短くなり、入賞以下の刀は関西以南の方のみ展示となり、見れないの刀があり残念です。
　こてつさん、坂城と新作展・両方見れるなんてイイなぁ～。

　ところで、○雲会と言えば、久保刀匠も昨年同様・残念でしたね!!
以前は特賞を逃がせば、丸坊主になると公言しておられましたが、どうなんでしょうねぇー？？？

[2896 へのレス]Re: コンクールは。。。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/06/16(Wed) 23:18

＞倭士さん。
大阪でも「赤羽刀」の展示がありますね。
レポートを期待しております(#^▽^#)。

今月～来月はやはり「静嘉堂文庫」の展示は外せません。
埼玉でも「埼玉県名刀展」があります。
足を伸ばして見に行きたいと計画中です。

[2917] 行って来ました(#^▽^#)

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/06/17(Thu) 17:04

天気が良かったので「赤羽刀展」に行って来ました。
お客さんは僕一人でしたのでユックリ見ることが出来ました。
展示内容は…
「備前国住長船清光作　天分十六年八月」刀。
「兼勝」刀。「兼定」平作り脇差。無銘の刀が三口。
「(葵紋) 康継於越前作之」刀。「河内守国助」脇差。等々です。
(詳細は鉄の展示館のＨＰで御確認ください(;^_^A)

磨ぎ上げられた刀の他、研磨途中のもの、まだ錆身の刀も二口並んでいました。
いずれも茎に数字が書かれています。これが「赤羽刀」ってことなんでしょうね。
帰るべき持ち主の下に帰れ無かった証のように見えました。
無銘の刀の出来が良かったです。一口は大磨り上げで地景を交えた詰んだ地鉄。
刃中金筋、砂流しかかり変化のある刃文。直江志津でしょうか。
画像アップした大切っ先の刀も気になりました。どうも上手く写っていませんが…。平地に沸え筋が走り、表裏に彫がありました。
「国助」の脇差は直刃でしたが、これも良いです。
刃中明るく匂いの締まった出来で淡く白け映りが立っていました。

大変良い天気でした。小諸の草笛でざる蕎麦を食べて帰りました。
いつも何か食べてます…(´▽｀)ゞ

[2917 へのレス]Re 行って来ました(#^▽^#)

投稿者：倭　士 投稿日：2004/06/17(Thu) 21:06

こてつさん>
流石、その通りです。
新作刀展と赤羽刀展が同時期に開催されます。(^ ^)
関東以北の新作刀が拝見出来ないのが残念ですが・・

今週末、菊さんにお誘い頂き刀剣鑑賞ツアーに行って参ります。
・・週末は雨かなぁ～？？
報告は幹事の菊さん・写真は鎬さん・解説は小生が担当すると思います。
大阪の展示会についても上記３人で頑張って報告する様に心掛けますね！

ＰＳ；刀剣博物館の写真も撮影されておられましたら、ＵＰして欲しいなぁ～！？　(^ ^)

[2917 へのレス]Re: 行って来ました(#^▽^#)

投稿者：菊久 投稿日：2004/06/18(Fri) 09:09

なかなか　こてつさんと再会できないでいます。

>いずれも茎に数字が書かれています。これが「赤羽刀」ってことなんでしょうね。

そうなんですよネ。
以前、奈良・橿原でも「赤羽刀展」がありました。その時は、大和系で錆身がほとんどでしたけど・・・。
そのいずれも茎にペンキで数字が入っていました。
何故かしら、痛々しい感じを受けて展示を見て回ったことを思い出します。

倭　士さんへ
「えぇー！報告係ですか！」
「まずいです、非常にまずいです！」
私は文章を書く（考える）のが大変苦手とする者です。
どのような文章を書くのか考えるのに３時間、打ち込みに再度練り直して１時間^^;
半日仕事ですネ！

[2917 へのレス]Re: 行って来ました(#^▽^#)

投稿者：倭　士 投稿日：2004/06/18(Fri) 10:14

駄目で～す。(~ ~)

菊さんが我々の幹事ですので宜しくお願いしま～す。
それと、昨日の電話の件もヨロシクです。
どうも当日は、雨に成りそうですねぇ。　台風さん来ないでぇ～！

[2921] 画像掲示板もよろしく！！

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/06/18(Fri) 20:58

画像掲示板が頻繁に更新されるようになりました！

文章が苦手な方もそうでない方も、写真ならまかせとけ！あるいは、写真ならなんとか・・・、という方もいらっしゃるはず。

どうか気軽に画像掲示板へも投稿してみて下さい。

骨董市巡りや自慢のお宝(^^)、日々の日記代わりにぜひ！

[2921 へのレス]Re: 画像掲示板もよろしく！！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/06/18(Fri) 22:14

いつも下手な書き込みで申し訳御座いません！
また、頑張って書き込みます。
新人ですがこれからも皆様ヨロシクお願い致します。

[2921 へのレス]無題

投稿者：守重 投稿日：2004/06/21(Mon) 23:31

真改さんの自宅付近、台風直撃のようですが、大丈夫でしたか？　さすが台風が来ると蒸し暑いですね。

[2921 へのレス]Re: 画像掲示板もよろしく！！

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/06/22(Tue) 06:26

守重さん。お見舞いのお言葉ありがとうございます。m(__)m。
菊久さんからもお電話を頂戴し、ありがたく思っております。

さて、台風は高知に上陸し、徳島沖を北上したのですが、昨日の午前中は暴風雨の最たるもので、ここ１０年くらいは経験したことがないものでした。とても心配して、どうなるのかと思っておりました。

車から降りて職場の玄関に入るまでに、全身はびしょ濡れ。
合羽を着て車に乗ってきた職員もいました。
車のアンテナが折れないかと心配でずぶぬれでたたんで回ったのですが、これが１２時を過ぎると『あれ？！』って感じで、正直、拍子抜けの感がありました。
台風を感じたのは正直午前中の６時から１２時頃までだったでしょうか。

そのあと、町内のお年寄りのお宅を訪ねて参りましたが、途中大きな被害も見ることなく、まあ無事にやり過ごせたようでした。(^^)。

吉野川の増水もさほどではなく、雨台風というよりも、短時間の風台風の印象が強いものでした。

ただ、自宅に食べ量として父が植えていた『とうもろこし』が、なぎ倒されて全滅となり、『イチジク』の木が逆を向いてしまいました。(~_~;)。

近畿地方へも台風は行ったはずですが、皆様、大丈夫であったでしょうか。
被害に遭われた方のお見舞いを申し上げます。

[2923] 宝刀特別拝観

投稿者：菊久 投稿日：2004/06/21(Mon) 17:37

昨日の日曜日ですが、私が所属している日本美術刀剣保存協会　奈良支部が主催する鑑賞会で「熱田神宮」へ行って参りました。
朝８時００分発に誰一人遅れることなく、ジャスト出発。仕事の都合により現地で合流された方もいらっしゃいましたが、総勢３４名の参加です。

当日は台風の影響で降雨が心配されましたが、途中で少々パラついたものの、ほとんど影響なし。

バスの中では日本刀制作過程のビデオ鑑賞。
（見ていると懇意にして貰っている若手刀匠たちの顔が・・・）

熱田神宮では、まずは参拝し次いでお神楽奉納。午後１時より３時まで刀剣鑑賞。

鑑賞刀目録
１．太刀　無銘（伝・國宗）刃長七九．七糎　反り三．〇糎
　　刀身表裏に「熱田大神宮」「天正十四年丙戌七夕菱田助左衛門」と　　寄進斬付銘

２．短刀　銘　長谷部國信藤原友吉　　刃長二二．三糎　反り〇．三糎
　　【重要文化財】

３．短刀　銘　兼友　刃長二四．八糎　反り〇．二糎
　　刀身表裏に「南無熱田大明神」「文安二年二月吉日」と寄進斬付銘

４．脇差　銘　備州長船盛重　長享二年八月日
　　刃長五〇．五糎　反り〇．九糎

５．太刀　銘　濃州関住兼房作　河村京三郎
　　刃長七七．七糎　反り一．八糎
　　刀身鎬地に「奉寄進熱田太神宮兼房作 永禄十一年二月吉日」と寄進　　斬付銘

以上五口。

時間の関係上、あまり長くの鑑賞時間はとれませんでしたが、一緒に参加していた河内國平刀匠からの特別講演も入り、大満足の一日でした。

補足は・・・。倭士さん「バトンタッチね！」

[2923 へのレス]Re: 宝刀特別拝観

投稿者：倭　士 投稿日：2004/06/22(Tue) 21:47

　は～い！！
私は個人的には、１号刀がよかったです。
熱田神宮には刀身に切り付け銘をしている物が少なく無いとか・・・
今の愛刀家から見ればチョット残念ですが・・　当時としては仕方が無いのかも。
河内刀匠がおっしゃられておりましたが・・
他の寺院や神社では沢山流失しているが、この切り付け銘のおかげで、
ここの刀は流失しなかったのでは、と・・
　　確かに、それもありますね！！

話は変わりますが、熱田の草薙の剣は現在どの様になっているんでしょうか？？？
もしかして、七支刀の様な状態なのかなぁ～？
　　ご存知の方お教え下さ～い。(^ ^)

[2923 へのレス]Re: 宝刀特別拝観

投稿者：内記 投稿日：2004/06/23(Wed) 00:10

＞菊久さん　お久しぶりです。倭士さん　こんばんは。

熱田神宮鑑賞会　お疲れさまでした。

＞５号刀．太刀　銘　濃州関住兼房作　河村京三郎
刃長七七．七糎　反り一．八糎
は、身幅広く長寸、大鋩の豪壮な南北朝姿のようの『アレ』でしょう・・・。　(ーー;)
河村京三郎兼房。　後の『若狭守氏房』の傑作品かと。
写真では何かの資料で拝見して、一度実物をと思っておりました。

うらやましいなア～　(ーー;)
毎度の事、菊久さんの行動力に又しても脱帽！
しっかり行動して、きちんと勉強する姿勢のお手本です。!(^^)!

ちょっと気になったのが『年期』です。
＞永禄十一年二月・・・
この年の秋、「織田信長」がいよいよ京に上ります。
と・・すると、信長の本拠地は【美濃】稲葉山（岐阜）城。
その美濃刀鍛治が熱田神宮に奉納とくれば、この刀の【パトロン】は
・・・やはり　信長　となるのでしょうか？

想像すると楽しいですね。　"^_^"

[2923 へのレス]Re: 宝刀特別拝観

投稿者：菊久 投稿日：2004/06/23(Wed) 10:17

『身幅広く長寸、大鋩の豪壮な南北朝姿のようの『アレ』でしょう・・・。』
内記さん、ズバリ！「仰るとおりです。」

順番が来るまでの遠目には、「ん、大鋩っ！南北朝？」「いや、清麿にも似たような作風のものが有ったっけ・・・」などと頭の中でいろいろな思いがグルグル廻っておりました。(^^;)
手に持つと、結構重量感がありましたヨ(^o^)
私も、倭士さん同様に一号刀の凛としていて、それでいて圧倒されるような迫力に魅力を感じました。しかし、三号刀の兼友も「山城物っ？」というような出来に、これもまた魅力を感じました。

[2923 へのレス]Re: 宝刀特別拝観

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/06/23(Wed) 13:07

「若狭守氏房」今月の銀座情報に短刀が紹介されていますね。
＞身幅広く長寸、大鋩の豪壮な南北朝姿のようの…
ああっ、見てみたい！刃文は所謂「兼房乱れ」なんでしょうか？

[2923 へのレス]Re: 宝刀特別拝観

投稿者：倭　士 投稿日：2004/06/23(Wed) 20:46

　さすがは内記さん・こてつさん・・
永禄十一年に左衛門少尉・元亀元年には若狭守を受領してますよね。
この刀は、河村京三郎さんが兼房に鍛えさせて、刀身にも作者自身が
銘を切り付けた様です。
織田信長に仕えたのは、この後くらいですかね？？
身幅広く・手持ち重い豪壮な姿で健全、手にする迄は新々刀かと思い
ました。
　兼房丁子も中程に数力所ございました。
いや～！ 刀って本当に楽しいですねー。（さいなら・さいなら～・・）

[2923 へのレス]Re: 宝刀特別拝観

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/06/23(Wed) 22:20

「日本刀鑑定要訣」には…
「氏房（若狭守)」今川氏真の一字を贈られしものならんか
…とありました。織田方ではないようです。
こういうのを推理（邪推？)・想像するのは楽しいです。

[2923 へのレス]Re: 宝刀特別拝観

投稿者：内記 投稿日：2004/06/24(Thu) 00:12

＞こてつ。さん

【若狭守】受領の元亀元年（1570 年）の戦国勢力圏では【織田信長】は尾張以西の畿内ほぼすべて（約 250～300 万石)。当然兵力も第一位のチャンピオンです。【今川氏真】はその前年の永禄１２年（1569 年）５月掛川城を開城し徳川家康に降伏しています。、【今川氏真ゴットファーザー説】はちょっと・・・　う～ん。　　どうでしょう　？
しかし、【氏房】が本当に今川からの賜り字【氏】を改名しないで、織田信長の庇護を受けたのなら、【氏房】も【信長】も信じがたい【肝っ玉】ですね　　(^_^;)

倭　士さん
＞河村京三郎さんが兼房に鍛えさせて

勘違いかもしれませんが・・・
【河村京三郎】は兼房（＝氏房）の本名ではないかと・・・。

以前、熱田神宮の氏房刀は『自身奉納の切付銘で資料として貴重』と読んだ記憶がありまして・・・(~_~;)
また、新古境～新刀期の正常・氏房・信高の所謂【尾張関】移住組の苗字も確か【河村】だったと思います　(^_^;)

あまり自信がないので、どなたかご教示くださ～い　"^_^"

[2923 へのレス]Re: 宝刀特別拝観

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/06/24(Thu) 12:42

＞内記さん。おそれいりましたm(__　__ ;)m
…確かに少し変ですね。「今川氏真」とは関係ないのかも…。

[2923 へのレス]Re: 宝刀特別拝観

投稿者：倭　士 投稿日：2004/06/24(Thu) 19:18

内記さん>
河村＝兼房ですか・・！？
解説者が刀身の銘は自身銘と言われていたので、てっきり注文主だと思いました。
どうもすみませ～ん

[2935] 第４８回　埼玉県名刀展

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/06/25(Fri) 18:19

↑狭山市立博物館で開かれています。７月４日まで。
木曜日に行って来ました。

古刀～新々刀まで３０口。刀装具が２４点。
重刀・特重・重美、なかなかの逸品が並んでいました。

この展示とは別に博物館の常設展があり、数口の刀剣と刀装具が展示されていました。が、ここでちょっと面白いことが…。
刀装具の「小柄」「笄」「馬針（貫級刀だったかも？）」が展示されており、その解説が実に妙（？）でした。
「小柄」の説明文は問題なかったのですが「笄」を『護身用かんざし』と説明しており、「馬針」には何と『手裏剣』！？
…博物館なのでおそらく学芸員さんがいると思うんですが…何も問題無かったんでしょうか…(;^_^A
「名刀展」の方は埼玉の日刀保の会員の方でしょうか、丁寧に説明されていました。
来月は静嘉堂まて行ってきますです。

[2935 へのレス]Re: 第４８回　埼玉県名刀展

投稿者：花散里 投稿日：2004/06/26(Sat) 20:39

＞こてつ。さん

「護身用かんざし」ってのが、良いですね(^^)
「伝 かげろうお銀所有」とかって解説も、欲しいところです(^^ゞ
冗談はともかく、知らない人が間違えて覚えると・・・ちょっと問題ですね。

静嘉堂は、私の家から近いんですよ。車なら１５分くらいでしょうか。
土日なら、ご一緒できるんですけどね(^_^;)

[2935 へのレス]Re: 第４８回　埼玉県名刀展

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/06/27(Sun) 02:29

いいですねえ～。
柴田さんの展示会もはじまりますし…。
土日の方向で検討してみます(#^▽^#)

[2935 へのレス]Re: 第４８回　埼玉県名刀展

投稿者：隠居 投稿日：2004/06/27(Sun) 09:23

こてつさん。
埼玉名刀展、お近くのお方はいいですね。羨ましいです。
前にも申しましたが、日刀保だけで一つの県に９つも支部があるという「刀好き」にとってたいへん恵まれた地域です。多分、たくさんの蔵刀家がおられ、例会を主宰されるだけの目利きや指導者が多いわけでしょう。
「手裏剣」についてですが、こういうところの博物館の学芸員がいくら若いからといって想像で解説するわけでないように思いますから、馬針でなく棒状タイプの手裏剣かもしれないですよ。もしそうだとすると中々の珍品で一見に値します。

[2935 へのレス]Re: 第４８回　埼玉県名刀展

投稿者：花散里 投稿日：2004/06/27(Sun) 09:54

＞こてつさん

土日にお出でいただければ、運転手をさせていただきます m(__)m
少なくとも、暑く無く移動できますよ(^^)

[2935 へのレス]Re　花散里さん

投稿者：隠居 投稿日：2004/06/27(Sun) 14:48

「ああ玉杯に花うけて」の曲、ありがとう。
昔のメロディはいいですね。若返ります。７８月も楽しみにしています。

[2935 へのレス]Re: ご隠居さん

投稿者：花散里 投稿日：2004/06/27(Sun) 22:44

どういたしまして。
リクエストいただけると、励みになります。
７月からは、「青葉茂れる桜井の（桜井の訣別）」になります。

[2935 へのレス]Re: 第４８回　埼玉県名刀展

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/07/01(Thu) 17:14

＞隠居さん。
貫級刀と馬針の形状の違いがよく分からずネットで調べていたんですが、かなり混同されている部分もあるようです。
そもそもの用途はハッキリ分かれてるんですが…。
また「貫級刀」の説明に「手裏剣の代用、隠剣として代用された」という表記が少なからずありました。
ということは博物館の説明も間違っているとは言えないようです。
僕が博物館で見たのは…
長さが１５センチ足らず。幅は元・先とも１センチくらい。
刀身は剣状、錆びて研ぎ上げられてはいません。
柄頭に猪目抜き、柄部全体に金の線象嵌で唐草模様が施されています。

＞花散里さん。
今週末の日曜日（４日）あたりは如何でしょうか？(#^▽^#)

[2935 へのレス]Re: 第４８回　埼玉県名刀展

投稿者：花散里 投稿日：2004/07/01(Thu) 22:02

＞こてつさん

了解しました。
待ち合わせ場所や時間など、詳しいことはメールで m(__)m

[2944] イベントのご紹介！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/07/02(Fri) 21:12<HOME>

こてつさん・花散里さん、お二人でデートですか・・？　楽しそうですね～。

私も、菊久さんからデートに誘われているんですよ！　勿論、行く先は、○○城と△▽博物館で＾＿＾す。
菊さんは、手がはやいから 鎬さん達も誘ってグループ交際にしたいな～！！
ところで、イベントですが・・

第三回　大阪心斎橋刀剣まつり、が開催されます。
日時：７月１７日（土）～１９日（祝）
時間：ＡＭ１０時～ＰＭ５時まで　（初日はＡＭ１１時～）
会場：御堂筋ビル・９階
住所：大阪市中央区西心斎橋１－４－５　（会場ＴＥＬＯ６－６２４１－５１８７）
最寄駅・地下鉄御堂筋線・７番出口スグ　有料Ｐあり６２台
・各線難波駅より徒歩５～１０分
ご連絡先・むさし屋（刀剣）・ＴＥＬ０７２２－５１－８６００
※ 開催までは少し早いですが・・

只今、大阪では新作刀展も開催中・７日からは「よみがえる赤羽刀展」も
開催されます。　関西の皆様ぜひお誘いあわせの上どうぞ・・

[2944 へのレス]展覧会のＨＰです。

投稿者：倭　士 投稿日：2004/07/02(Fri) 21:24<HOME>

よみがえる赤羽刀展
http://www.mus-his.city.osaka.jp/

[2944 へのレス]続： 展示会の HP です。

投稿者：倭　士 投稿日：2004/07/02(Fri) 21:31

新作刀展（大阪城）

http://www.tourism.city.osaka.jp/ja/castle/Event/shisakutouten_200407_3/shinsakutouten.htm

パソコンの操作が不慣れで申し訳ありません。

[2944 へのレス]Re: イベントのご紹介！

投稿者：花散里 投稿日：2004/07/03(Sat) 23:02

＞倭士さん

はい、こてつ。さんと静嘉堂文庫美術館で「刀剣王国 備前の名刀と刀装具」展に行ってきます。
「展示目録」は、こちらから。
なかなかの、展示内容ですね(^^)

[2944 へのレス]Re: イベントのご紹介！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/07/04(Sun) 19:49

　私も菊さん達と来週刀剣ツアーを予定しております。
また、詳しくご報告申し上げますね。

静嘉堂のお刀は保存会さんで何度か拝見させて頂きました。
無指定の太刀でも並みの重文に優るとも劣らない物ばかりでした。
でも、東京にある博物館には未だ行った事が無いんですよ・・
刀以外にも名品がズラリだもんね！！
機会があれば是非行きた～い。

[2947] 質問があります

投稿者：らふまにのふ 投稿日：2004/07/03(Sat) 00:16

皆様のお力をお借りしたくて、初めて書き込みいたします。
先日ある刀屋さんにお邪魔した時に小道具を見せられました。
その小道具には立派な箱書きがなされ、お店の方に尋ねると「アミヤの箱書きだ」と言われました。時々耳にするのですが、このアミヤとはどういう方なのでしょうか？　今も鞘書きをされているのでしょうか？
ご教授いただけると助かります。よろしくお願いいたします。

[2947 へのレス]Re: 質問があります

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/07/03(Sat) 00:37

「網屋惣右衛門」本名は小倉惣右衛門さん。
明治・大正・昭和にかけての刀剣目利きです。
そういうわけなので勿論故人です。
隠居さんが詳しいと思いますよ。

[2947 へのレス]Re: 質問があります

投稿者：隠居 投稿日：2004/07/03(Sat) 06:37

らふまにのふさん
珍しい箱書きですね。網屋は戦後にはご商売をされていず、小倉惣右衛門氏は小道具界の重鎮としておられたと思います。主に活躍されたのは大正から昭和初期で、清正公拵の写し物を２０ほど作って一つ千円で販売されたことなどのエピソードがあります。当時千円といえば一寸した家が買えた値段です。要するに昔の技術を正確に再現するのには相当なコストが掛かるということを実証し、それも時には必要という持論を持っておられました。またそれを支援する財界人もいたわけです。戦後「網屋」の箱書きは物知らずによってつぶされ、寒山氏の箱書にとって替わりました。

[2947 へのレス]Re: 質問があります

投稿者：らふまにのふ 投稿日：2004/07/05(Mon) 01:45

こてつさん、隠居さん、どうも有り難うございます。
刀剣商の方ですでに鬼籍の入られているのですね。お話をお聞きしていると、北大路魯山人のような通人を彷彿とさせますね。もっと知りたくなりました。なにか資料がないか調べてみます。大変勉強になりました。重ねて御礼申し上げます。

[2947 へのレス]Re: 質問があります

投稿者：御刀天国 投稿日：2004/07/06(Tue) 11:21

らふまにのふさん、遅くなりましたが、捜していた資料が出てきましたので、すこし補足します。網屋は江戸時代から続いた刀剣商で震災まで京橋木挽町に店がありました。ご当主は、代々惣右衛門を名乗り、箱書きの方は、五世網屋惣右衛門氏です。大名家、政、財界の著名人を顧客に持ち、その実力と信用は、抜群でありました。とくに小道具と拵の目利きとして知られ、その判定には権威がありました。身長五尺七寸、体重二十七貫、容貌魁偉と伝えられておりますが、清廉寡欲で、箱書きも求められるまま数多くしたが、その報酬を一円も求めることが無かったそうです。昭和二十八年、七十六歳で亡くなりました。以上、辻本先生の人物刀剣史から要約しました。

[2947 へのレス]Re: 質問があります

投稿者：らふまにのふ 投稿日：2004/07/10(Sat) 09:59

御刀天国さん、どうも有り難うございます。しばらくパソコンから離れておりましたので、御礼が遅くなりました。顧客が一流の筋なのですね。近所の刀剣店で話を聞いたところ、「網屋の箱書きがあるなら物を見なくても買え」と言っておりました。実際はそのようなことは無いと思いますが、それほど筋の良いものを多く扱われている事をおっしゃっているのでしょうね。　それに箱書きの報酬を受けなかったと言うのには驚きです。夏目漱石が代表作「それから」のなかで「全ての神聖

な労力は麺麭を離れている」と記しておりますが、やはり箱書き、鞘書き、鑑定書、極めの類などは無報酬で行うのが理想なのでしょう。よい勉強になりました。御刀天国さん、有難うございます。

[2952] 静嘉堂文庫美術館「刀剣王国 備前の名刀と刀装具」

投稿者：花散里 投稿日：2004/07/04(Sun) 22:43

今日（４日)、こてつ。さんと静嘉堂文庫美術館で開催されている、「刀剣王国 備前の名刀と刀装具」に行ってきました。
拙く、また情けない内容ですが、ご報告まで m(__)m

茹だるような暑さの中、最寄り駅 二子玉川駅の改札で遠路はるばる長野から来たこてつ。さんと１３時に合流後、早速静嘉堂文庫へ移動しました。
いや～、さすが岩崎さんだけあって、「あるところにはある」ものです。
重要文化財４振、重要美術品１２振を含め、古備前・一文字・長船・畠田・吉井・鵜飼など、合計３０振の備前刀が一同に介して出迎えてくれました。
比較的見やすい照明の下、心ゆくまで私の大好きな備前刀を堪能させていただきました。
中でも圧巻は、滝川一益が織田信長より拝領した重文 高綱。朱塗りの打刀拵えも同時に展示されていましたが、２尺２寸弱の長さながら魅力たっぷりでした。
こてつ。さんと二人で、ガラスにへばりつくように見ていると、「説明はいりませんか？」と背後から聞き覚えのある声が・・・振り返ると、そこには swordsmith さんの笑顔が(^^)
その後、３人で刀装具を鑑賞し（中でも、後藤乗真の十二支図の三所物が良かったですね。目貫にはそれぞれ６頭（匹)、小柄・笄にはあの小さい面積に十二支が！）成蹊堂さんへ移動しました。
第１部終わり。

[2952 へのレス]Re: 静嘉堂文庫美術館「刀剣王国 備前の名刀と刀装具」

投稿者：花散里 投稿日：2004/07/04(Sun) 23:34

さて、ここからが情けな～い第２部の始まり。

swordsmith さんがおもむろに取り出した、一振りの刀。脅威の成蹊堂鑑定会が始まりました。何が「脅威」かと言うのは、これから分かります(^_^;)
どうやって絞り込んで行くか、swordsmith さんの解説（ヒント）を聞きながらこてつ。さんと私は刀に目が釘付け。健全ですけど古刀・小切っ先の（本当は「中切っ先詰まる」）沸出来で刃中の働きは砂流・金筋が激しくかかり、刃文は幅が広めの乱れ刃。
大和・山城ではなく、備前でもない。残るは美濃か相州伝。私が選んだ答えは相州伝、個名なんかとてもとても。正解は「志津」。第一刀目から、いきなり重刀 志津ですか？成蹊堂さん(^_^;)
志津なんていう刀は、今までろくにお目にかかったこと無いんですけど・・・
この辺りで波平さんも来店され、気を取り直して第二刀目は、第一刀目にも増して沸出来。中切っ先で、やはり砂流・金筋がかかり、大き目の乱れ、帽子は刷きかけ風。さらに健全ですけど、これ

も古刀ですよね(^^ゞ
やはり、相州伝に見えるんですが、二振り続けて相州伝？
一刀目が志津ですから、それに対し格が上か下か・・・悩んだ挙句の私の答えが「相州伝だが本国ではなく、一刀目より格が下」
無言で、目釘抜きを私に渡す swordsmith さん。
目釘を抜いて鎚を持ち、数センチ中心を抜いた途端に私の目に飛び込んでくる金象嵌の「正」の文字・・・思わず立ち眩みがしました(-_-;)
はい、済みません m(__)m　私の目は節穴です m(__)m　何も見えていません m(__)m
そう、ご想像のとおりです。本阿弥極めの重刀 正宗でした・・・(-_-;)
本国ではなく、一刀目より格が下？　何を訳が分からないことを、堂々と人様の前で言っているんだ、私は・・・
二振りの刀を見て、格の違いを見て取れないのは致命的だな～(+_+)
「穴があったら入りたい」と人は言うけれど、穴なんか探している暇はありません。自分で穴を掘ってでも入りたい・・・(T_T)　一から勉強し直しだ～！
でもね、swordsmith さん。刀屋さんに行って、志津とか正宗がひょいと出てくることなんか、普通は無いんですってば(^_^;)
以前にも郷とか太閤左文字とか、とんでもないものが出てくる「脅威の成蹊堂鑑定会」。皆様も、ぜひ一度ご体験ください m(__)m

その後、波平さんの愛刀も鑑賞させていただき、swordsmith さん・こてつ。さん・波平さんと夕食を共にし、大変楽しい一日でした(^^)
早朝の出張を明日に控えながらお付き合いいただいた swordsmith さん、今回も楽しませていただきました m(__)m
こてつ。さん、次回は大刀剣市でしょうか？　それまで、お元気で(^^)
波平さん、お土産までいただき、ありがとうございました。また、お会いしましょう m(__)m

以上、私にとっては涙あり、涙ありのご報告でした m(__)m

[2952 へのレス]Re: 静嘉堂文庫美術館「刀剣王国 備前の名刀と刀装具」

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/07/05(Mon) 00:13

花散里さん、波平さん、Swordsmith さん、お世話になりました。
花散里さん、Swordsmith さんには暑い中、車を出していただき大変ありがたかったです。
波平さんには「黒糖焼酎」のお土産を頂戴してしまいました。
ジックリいただきます、ありがとうございました。

静嘉堂ではまさに備前伝の歴史・変遷を目撃したような感じです。
これだけ備前刀の良品が揃った展示を見るのは初めてです。
およそ１０００年も昔からの備前刀が実に健全な形で勢揃いしている様子はスゴイです…。

また小道具の豊富さも素晴らしい。こちらは後藤のオンパレード。
貴重な体験でした。ある所にはありますねぇ…。

成蹊堂さんではいつもとんでもない名品を拝見出来ます。
今回も…鑑定はボロボロ(ノ__・、)…どうもイカンなぁ。
答を教えていただいてから説明を聞くと実に納得できるんですが…。
今回は以前（４ヶ月位前）に一度拝見している「正宗」。見ているのに気がつかない！思い出さない！
二度とこのような事の無いよう、今日こそは目に焼き付けて来ました。（本当か？(;^_^A）
志津、吉房も見事でした。重刀を手に取れる機会はなかなか無いです。
今回も眼福に与りましたm(__　__)m

帰りの新幹線を気にしながらだとどうも落ち着いて飲めなくていけませんね。
秋の大刀剣市ではホテルを取りますから腰を据えて飲めそうです。
いや、別に飲むことばっか考えてるわけじゃないんですが…(´▽｀)ゞ

ともあれ皆様、お疲れ様でした。秋に再び…大集合ですね！

[2952 へのレス]Re: 静嘉堂文庫美術館「刀剣王国 備前の名刀と刀装具」

投稿者：波平 投稿日：2004/07/05(Mon) 08:08

花散里さん、こてつさん、swordsmith さん、昨日はありがとうございました m(_ _)m

静嘉堂ご一緒できずに残念でした、私は日本民芸館にいったところ駐車場にはホテルオークラの車両が一杯。何事ならんと思いきや「今日は皇太子殿下がいらっしゃるので休館です」・・・・

ついてない一日になる予感でしたが午後からは皆様とご一緒でき大変楽しい日になりました。

それにしても素晴らしい名刀の数々、熱心に鑑賞する花散里さんとこてつさんからは「う～ん」という声しかもれてきませんでしたね。私も揃って「う～ん　う～ん」・・・
ヒントをいただきながら「相州伝で美濃にうつり・・・」もういけません、冷や汗たらたらでした。
「学ぶというは冷や汗をかくこととみつけたり」
大刀剣市でまたお会いできるのを楽しみにしています。

[2952 へのレス]Re: 刀屋鑑定会

投稿者：隠居 投稿日：2004/07/05(Mon) 08:59

花散里さんこてつさん、波平さん、、
ご苦労様でした。刀屋さんでの鑑定会、これが中々ためになりますでしょう。
今回の志津といい、正宗といい磨上だと思いますから、反りが浅く見え時代をとらえるのが難しい

ものです。新刀と見て「時代違い」をもらう場合も結構あります。この意味で、時代観は２口とも大したものです。
「姿・造り込み」の次に「大ぶりの刃文」とか書いていますが、志津にある「柾まじり」の地がねや、正宗の「地景の入る強い鉄質感」、これを次に見ていただきたかったですね。刃文は最後の（流派などの）決め手です。
雑誌にのる「誌上鑑定」は姿・造り込み、地鉄、刃文を細々と解説してくれていますから、それらの特徴を自分で見て取る「実刀鑑定」とはまったく違います。ですから誌上鑑定が「畳の上の水練」といわれるほどで、知識だけは先走りますから、余計始末にわるくなります。
「恥を掻いた」と云われましたが、人間、いい年配になってしまうと「恥をかく」だけの修行は中々させてもらえるものではありません。囲碁将棋・盆栽・茶の湯・・・男の道楽はすべてはじめは「丁稚修行」です。
どうぞ恥をとっかり掻いてください。

[2952 へのレス]Re: 静嘉堂文庫美術館「刀剣王国 備前の名刀と刀装具」

投稿者：鎬 投稿日：2004/07/05(Mon) 19:20

「花散里さん」「こてつさん」「波平さん」お江戸も楽しそうですね。
河内チームも楽しんでいますよ。実は恥を楽しむ感覚を私も
ご隠居さんから感じとりましてから鑑定会が楽しくなったんです。
隠居さんありがとうございます。しかし答え解説を聞いてると
すべて解かっていたいた様に思えるのは僕だけでしょうか。。。
なにも解からなかったのにね。ほんと丁稚修行です。

[2952 へのレス]Re: 静嘉堂文庫美術館「刀剣王国 備前の名刀と刀装具」

投稿者：花散里 投稿日：2004/07/06(Tue) 00:06

＞ご隠居さん
まさに「畳の上の水練」でした m(__)m
頭の中のイメージと、目で見るイメージとは、まったく結びつきませんでした。
swordsmith さんが参考になるように考えてくれた問題も、「一振り目が相州伝だから・・・」などと深読みを始める始末でした(^_^;)
素直に、目の前のものを見れば良かったんですね。目が利くわけでは無いんですから・・・
一から出直す所存でございます m(__)m

＞鎬さん
答えを聞くと、なんで見えていなかったの我ながら不思議です。
志津には、尖り心の互の目がありましたよ。はっきりと(-_-;)
「恥を楽しむ感覚」まさにそのとおりですね。多謝 m(__)m

[2952 へのレス]Re: 静嘉堂文庫美術館「刀剣王国 備前の名刀と刀装具」

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/07/06(Tue) 01:32

…そうなんですよ、ご隠居さん。志津には流れ心の柾が見えました。
…って言うか、答えを聞いてから見えてきたと言うか(;^_^A
「正宗」に至っては見事に時代を読み違えました（←僕だけ）。
ご推察の通り「新刀」と読んでしまいました。
初心者が陥り易い間違いをレポートの文章から読み取られるとは…さすがにご隠居さんです。
本当に本だけ読んでいたのではダメですね…。
１７日には東信支部の鑑賞会です。
また冷や汗にならないよう気合入れて行って来ます！

＞波平さん
メールをいただけませんでしょうか？
焼酎のお礼をさせてくださいm(__ __)m

[2952 へのレス]Re: 恥かきを楽しむ

投稿者：隠居 投稿日：2004/07/06(Tue) 09:53

鎬さん、今日は
支部に入られて実刀鑑定をおやりになって「恥を楽しむ」ご心境とはご立派です。いかに書本からの知識があったとて鉄質感をつかむのは実刀鑑定のみです。それも何一つヒントのない状態から「自分の判断」だけを紙に書いて出すのは一寸した勇気が要ります。ホント、恥を楽しむくらいの開き直りが必要でしょうね。
でも近頃は会員が増えて、「一札鑑定」をやっているところがままあるようで、これではお気の毒ですね。「イヤ」を貰ってしまえばそこでストップ、良札であっても「０点」はおかしいです。例えば豊%8

[2952 へのレス]Re:続きです

投稿者：隠居 投稿日：2004/07/06(Tue) 10:13

例えば豊後高田の名品でどう見ても勝光に見えるものに「勝光」と入れて「イヤ」の場合、あとが入れられず０点ではいかにも気の毒だし、おかしいです。もし二札目がいれられるなら定石に従って豊後高田にいき「当り」か「同然」になるところだからです。
これらを考えますと得点にこだわらず、開き直って「刀を見る」ことを楽しんでください。
こういうところから、９つも支部がある埼玉は恵まれていますね。将来この地域から「目利き」が育ちますよ！

[2965] 鑑定会・ご報告！！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/07/12(Mon) 00:25

一昨日、新作名刀展並びに赤羽刀展を見学して参りました。 展示会見学後は刀友６人でアルコール片手に親睦会で盛り上りました。
詳しくは菊久さんよりご報告があると思います。
　（こてつさん始め皆様、もう少しお待ち下さいませ。）
さて、昨日私しは協会支部の鑑定会に参加して参りましたので、ご報告させて頂きます。

　１、刀：正 真　［伊勢・千子］
　２、刀：和泉守國貞　［同和銘］
　３、刀：伊賀守金道　（第６回重刀・日本刀大鑑：寒山押型等々に所載刀）
　４、刀：（無銘）長船兼光
　５、刀：肥前國忠吉　［秀岸銘］
　６、脇指：繁 慶
参考刀として・・
　◎ 河内國平刀匠の刀１振り短刀１振り
　◎ 故・宮入昭平（行平）刀匠［人間国宝］の刀２振り短刀１振り
※ 尚、故・宮入刀匠の一振りは最晩年作のお一つで、研ぎ師で故・小野光敬氏（人間国宝）に出されていた間にお亡くなりになられ、一番弟子の故・高橋次平刀匠の代銘が刻まれた貴重な作品でした。
　そして、河内刀匠による地鉄の解説など、とても興味深い講義が御座いました。

☆ 鑑定会の途中からは、赤羽刀展を見学にみえられておられました、徳島支部御一行様（１９名）が参加されました。
徳島支部の皆様は礼儀正しく・とても熱心に出品刀をご鑑賞されておられました。
その姿から真改代表をはじめ多くの刀剣中毒（失礼）が、おられるのも納得いたしました。
真改さんにお会い出来るのではワクワクしましたが・・参加されておられなかったのでは・・？？
まっ、そんな事で大人数となりワイワイと楽しいひと時を過ごす事が出来ました!!
※ 鑑定内容は後日、刀剣美術に掲載される予定ですのでお楽しみに・・
　ＰＳ：私事ですが、三本鑑定で今回またまた欲しくも次点でした。　（くやしい～！）
刀友の佐助さんは見事、人位を獲得され、終了後に北摂（Ｆ）さんと私にコーヒーを御馳走してくださいました。　（ご報告まで・・。）

[2965 へのレス]Re: 鑑定会・ご報告！！

投稿者：隠居 投稿日：2004/07/12(Mon) 09:37

倭士さん,鑑定会がちょくちょくありますね。いやそれとも月日の経つのが早いと言うことですか。

ざっと見て、この出題刀では古刀の二口より新刀の四口が勉強になりましたでしょう。
とくに「五字忠」として名だたる初代忠吉の若打ちはいわゆる肥前刀の地がねでなく、古刀然としていますから、私も若い頃から何度となくてこずっています。
親国貞は切先の伸びた慶長新刀らしいものと、先細りして切先の詰まったものとあり、「道和銘」はあとの方ではなかったでしょうか。
金道も「イガキン」などと呼ばれて軽く見られていますが、慶長新刀らしい堂々とした出来のものはいいでしょう。「美濃伝の正系」を感じさせます。
繁慶は「ひじき肌」を知らないと名前すら浮かばない代物です。
出題のテーマは「新刀初期物の個性ある作柄」ということでしょうか。
次点ならお見事ですし、佐助さんの三賞入りは大したものです。おそれいりました。
そして皆さんお揃いでの打上げ、結構ですね。

[2965 へのレス]Re: 鑑定会・ご報告！！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/07/12(Mon) 10:24

隠居さん>　いつもコメントありがとうございます。

初代忠吉ですが、初期作は肌が出るものが多いのですが、なんとこの刀は
梨地に近いんですよね！（私も驚きました）
私の札も、①大坂新刀⇒②近江大ジョウへ入札しました。
金道は隠居さんのコメント通りでした。
私の札は、①國広（国入り）⇒②越中へ入札しました。
繁慶は初めて拝見しましたが、私の好みでは・・（良い刀なんでしょうけど・・）

[2965 へのレス]Re: 鑑定会・ご報告！！

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/07/12(Mon) 21:15

そうですか。徳島支部の方がいらっしゃってましたか。
ひょっとしたら、南北さんがいたかもしれませんね。

私は支部活動として参加しているのは、年に一度の特別鑑賞会だけなんで、ほとんど幽霊会員です。(^^ゞ。

大阪行きは鎬さんに丁寧に教えていただきましたが、なかなか勇気がありません。(~_~;)。

[2965 へのレス]Re: 鑑定会・ご報告！！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/07/12(Mon) 21:40

　真改さんにお逢いできず残念でした。
そう言えば、何人か若手の方もおられたと思いますが・・・
そのお一人が南北さんでしょうか？？
真鍋刀匠も来ておられたので、お聞きすれば良かったかな～！

[2966] 大阪城＆大阪歴史博物館

投稿者：菊久 投稿日：2004/07/12(Mon) 08:52

倭士さんからも一寸触れられて居られますが、新作刀展（於：大阪城）・赤羽刀展（於：歴史博物館）に行って参りました。
メンバーとしては、予定していた鎬さん・刀士郎さん・徳さん・藤さんが諸事情のため参加できませんでしたが、倭士さん・Ｓさんと Ｉさん、それに今回は東海地区より研師のＳさんとご同行させて頂き、楽しい一日を送らせて頂いた次第です。

先ずは、「赤羽刀展」へ向かいます。
ご存じの方が大多数だと存じますが、赤羽刀というのは先の大戦後、GHQ により大量の刀剣類が接収され、その内の一部が東京都赤羽に集積されたもので、その地名から「赤羽刀」と呼ばれています。
大阪には、大阪新刀を中心として 113 口が譲与され、今回の公開は内 19 口となっており、併せて、国宝・重文・府指定文の鎌倉より江戸時代にかけての「五ケ伝」の展示がされておりました。
私は主に、研師 S さんと見て回ったのですが、S さんが色々と説明や研ぎに対してのコメントを出して下さり、勉強になりました。職方さんとまわると、いつもと違う見方が出来て楽しかったです。
ちなみに、私がこの展示刀でもっとも惹かれ、魅せられた一刀は「太刀・無銘　一文字」（岸城神社蔵）で、その刀の前に足が釘付け状態になっちゃいました。

続いて、大阪城へ移動となりましたが、やはり冷房の効いた館から外へ出ると「暑いわぁ～」
道中は 15 分位なんですが、思わず途中の茶店へ足が吸い寄せられ、ソフトクリームを頬張っちゃいました。

当日の当番は、私的的にもいろいろお世話になっている河内親方刀匠はじめ一門の方々でした。(余談ですが、当日私は一門の中のお一人方の刀匠に短刀の作刀をお願いして帰ったのですが・・・上がりが楽しみ♪～)

新作刀展で作品を云々することは出来ませんが、出品刀は、やはりというか、丁子・丁子乱れが多かったように思います。しかし、この審査の基準てどの様に見るのでしょうかね。人それぞれで、見る観点が異なると思うのですが・・・。

大阪城館内に流れる「蛍の光」に追われるように出た後は、近くの居酒屋でお楽しみの親睦会。

趣味人&研師&槍の研究家＆親方刀匠のお弟子さんとメンバーは揃っております。
初めてお顔を拝見する方もおりましたが、そこは数寄者同士。和気藹々。
ホント、楽しい一日を送らせて頂きました。
「みなさん、ありがとうございました」

[2966 へのレス]Re: 大阪城＆大阪歴史博物館

投稿者：倭　士 投稿日：2004/07/12(Mon) 10:33

　菊さん土曜日はお疲れ様でした。
刀士郎さま・藤さまも参加予定だったんですね！
お二方共まだお逢いした事がなく、また一度次回の集まりにでも・・
菊久さんまた鑑定会にもご一緒しましょうね！

[2966 へのレス]Re: 大阪城＆大阪歴史博物館

投稿者：鎬 投稿日：2004/07/12(Mon) 10:47

何度もお誘いいただいたのに失礼しました。
次回お願いしますね。

本日の日本経済新聞文化面に「杉田刀匠」の論説が載っております。
焼刃土塗らない「異端の焼き入れ」で日本刀を作る。とても興味深い
内容ですね。読み返しましたよ。
「不可能に近いことに一生を賭けてみるのも悪くないなと思った。」
さすがですね。自分が恥ずかしいですよ。
杉田刀匠「寒山賞」おめでとうございます。

[2966 へのレス]Re: 大阪城＆大阪歴史博物館

投稿者：四誌 投稿日：2004/07/12(Mon) 14:51

お写真はないのですか？。。

[2966 へのレス]Re: 大阪城＆大阪歴史博物館

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/07/12(Mon) 16:16

関西刀友会の皆様、発足おめでとうございます。
親睦会、楽しそうですね～。
周りに同じ趣味の方が沢山いらして羨ましいです。

＞鎬さん。

僕も「焼刃土を塗らない焼入れ」に興味が有ります。
全体に焼きが入るのでしょうか…？
記事の画像アップ、若しくは内容だけでもかいつまんで教えていただけると嬉しいのですが。宜しくお願いします。

[2966 へのレス]Re: 大阪城＆大阪歴史博物館

投稿者：菊久 投稿日：2004/07/12(Mon) 17:01

四誌さんへ
「申し訳ないです。画像無しなんです。m(_ _)m」
こういう場所って、撮影禁止になっているところが多くって・・・

当日も、携帯電話のカメラを向けて注意された人が、誰とは申しませんがメンバーの中に約一名おりました。（ネッ、倭士さん(^_-)）

[2966 へのレス]Re: 大阪城＆大阪歴史博物館

投稿者：鎬 投稿日：2004/07/12(Mon) 17:10

日本経済新聞に論説の一部を紹介しますね。

「秘伝書に謎の言葉」
作刀のプロセスの中に、鍛えた刀を真っ赤に熱して水中に漬けるという工程がある。
私の新工夫はこの段階にある。古来、刀工は鍛えた刀身に美しい刃文を出すため、
焼刃土というものを塗るのだが、私はそれをしない。
鍛えた刀をそのまま赤く熱し、ズブッといきなり水に入れる。
それで古名刀に迫る美しい刃文を出す事に成功した。
昔の作刀秘伝書の中に「素焼き」という言葉が見え、何を意味するのかナゾだった。
今となるとこのやり方を指すのではないかと思う。

「素焼き」誕生の瞬間
最初のうちは、刀身に焼刃土を塗って焼き入れをしていたが、なかなか古名刀の
ような美しい刃文が出なかった。考えられる焼入れの仕方のほとんどを試みた。
ある時、私の鍛えた刀身の「感度」がそんなに悪いのだろうかと刀身に
土を置かず、真っ赤に熱していきなり水に入れてみた。
びっくりした。鮮やかな刃文がでたのである。
まるでほほ笑みかけるように美しい刃文だった。

写真も新聞に掲載されていますよ。
新聞の写真ですが良く見えます。

最寄のコンビニで新聞のお求めをお勧めします。
又は、大阪城に行かれるのが最善策と思われますよ。
私も 18 日か 19 日に大阪城に行きたいな。

[2966 へのレス]Re: 大阪城＆大阪歴史博物館

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/07/12(Mon) 18:44

＞鎬さん。
「ずぶ焼き」という方法を何かの本で読んだことがあります。
おそらくコレのことですね。よく分かりました。
＞最寄のコンビニで新聞のお求めをお勧めします。
仰るとおりです。その方が早いですね。
大変失礼しましたm(__ __)m

[2966 へのレス]ずぶ焼き

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/07/12(Mon) 21:09

杉田刀匠の『ずぶ焼き』については、刀剣美術誌に過去何度かその批評が、新作刀受賞のたびに出ていました。

記憶では、最初の頃は、こういった偶然性に頼るような焼入れは認めないというような内容であり、その後、だんだんと認められていったように思います。
偶然であろうがなかろうが、刀にまったく同じものが二つとないのは、当たり前のことで、そのときの最高の作にあるいは価値ある作に評価を正当に与えずして、何の審査かと思いました。
たとえば、山鳥毛などは一振りしかないじゃないですか。
だからこそ、大野刀匠はこの最高の刀を目指して精進されているのだと思います。

新作刀展が、刀匠のコンスタントな力量に対しての評価なのか、その出品した刀剣に対して評価を与えるのか、いったいどちらなんでしょうね。

ずぶ焼きも、杉田刀匠がコンスタントに出品できるようになったから評価したのなら、評価方法に？を感じます。
刀に対しての評価ではないのでしょうか？
そして、その評価された刀を造った刀匠が表彰されるということなのではないかと思います。

いずれにしても、杉田刀匠のコメントが刀剣美術誌に載るのが楽しみですね。
詳細は忘れましたが、過去のコメントには相当気合の入ったコメントがあったと記憶しております。
過去の刀剣美術誌をお持ちでしたら、その時期のものを見てみてください。

[2966 へのレス]Re: 大阪城＆大阪歴史博物館

投稿者：倭　士 投稿日：2004/07/12(Mon) 22:10

韓国や中国の観光客がバシバシ写真を撮っていたので・・・
てっきりＯＫだと思い・・撮影しょうとしたら、私だけがカメラを構えておりご注意を受けました。（トホホ・・）

気を付けます。

はだか焼については、（刀剣美術で）故・Ｓ専務理事は○、無鑑査Ｙ刀匠（兄）は×と、評価も好みも分かれる様ですね～

[2966 へのレス]Re: 大阪城＆大阪歴史博物館

投稿者：鉄. 投稿日：2004/07/13(Tue) 01:14

杉田刀匠の刀は、以前は、年毎に、審査員に寄って、評価が分かれていたように思います。
昨年度の、出品の脇差を手にとって見た事が有りますが、刃文が、覇気に飛んで、土を置かずに、このような焼が、どうして入るのか不思議でした。
古刀の一文字なども、ズブ焼で行っていたと言う説もあり、見た目が複雑な刃文程、作業は、単純だったのでは無いのでしょうかと、思います。
古刀期は、今より単純な作刀方法で、膨大な数の刀を作って、良い物を選び、良い所に収めて、それが、今に残り、大多数の、凡作は、失われたのではと、思ったりします。

[2981] オークション。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/07/20(Tue) 18:41

東京都主税局が公売オークションを始めましたね。
今のところ買いたいものは全く無いんですが…そのうち刀剣類なども出てきたりして…。

[2981 へのレス]Re: オークション。

投稿者：波平 投稿日：2004/07/20(Tue) 20:30

ニュースでも取り上げられましたね。ロールスロイス４０万円～といったってあれは減価償却してしまいますし、維持費はとんでもないものにつきそうですね。それなら御刀のほうが・・・・

[2981 へのレス]Re: オークション。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/07/21(Wed) 19:25

見ました！！

刀剣類も出てくる可能性がありますよね～。
なるべく多くの人に参加してもらおうと思えば、公的機関であっても、これからは、この手のオークションを利用しない手はないですよね。
革新的考えの知事ならではのアイデアでしょうか。

話は変わりますが、銀座情報では、今年度に入って二回目の真改脇差がでました。
助広脇差も成蹊堂さんでも、また、今は葵美術さんにも出ております。

こういうのを見ることができるようになると、つい、嬉しくなってしまいます。(~o~)。

[2981 へのレス]Re: オークション。

投稿者：花散里 投稿日：2004/07/21(Wed) 20:42

お役所も、ネットオークションをする時代になったんですね(^^)
天保小判も出品されていますから刀も期待したいところですが、オークションのベースシステムが「刀嫌い」の Yahoo ですからねぇ(^_^;)
どんなもんでしょうか？

[2981 へのレス]Re: オークション。

投稿者：沼六 投稿日：2004/07/22(Thu) 16:11

当初、刀剣や刀装小道具等の出品もそれ程多くなかった頃を思い出すと今の流行は凄いですよね。

＞オークションのベースシステムが「刀嫌い」の Yahoo ですからねぇ

刀剣はビッダーズで、なんて事に成ると面白いですね。(^_^)

[2981 へのレス]Re: オークション。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/07/22(Thu) 20:56

もういっそのこと「ｅＢａｙ」に任せるってのは…(;^_^A
すごいのがイッパイ出てきそう～！

[2987] おそまきながら・・・

投稿者：波平 投稿日：2004/07/24(Sat) 23:07

静嘉堂で開催されている「備前刀の美とその変遷」に行ってまいりました。東京に住みながら静嘉堂文庫博物館には足を運んだことがありませんでした。明日７月２５日までの開催ということでなんとか間に合った次第です。１１時に到着したところ「丁度、列品解説が始まったところです」とのことで日本刀剣保存会の

吉川氏が解説してくださいました。緑に囲まれたゆったりとした環境のもとこころゆくまで楽しい一時を過ごしました。「こてつ」さん、「花散里」さん、やっと私も拝見できました。３０振あまりどれも無言になってしまうようなものばかりですが「嘉禎友成太刀　２尺５寸」､「本多平八郎忠為所持之　一文字守利太刀　２尺６寸８分」等は素晴らしくなによりも古備前から系統的に鑑賞できたことや、一振り一振りごとに良好な光線下、解説付きは何よりでした。刃文もさることながら生ぶの姿に接することができ、腰刃を明瞭に認識できたのが勉強になりました。

[2987 へのレス]Re: おそまきながら・・・

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/07/25(Sun) 00:33

お疲れ様でした(#^▽^#)
行って良かったでしょ～？
しかも解説付きですか？羨ましいですね。
いやしかし、僕と花散里さんには成蹊堂解説員が途中からご一緒してくれましたっけ。
静嘉堂は刀剣類もさることながら、古道具類も実に素晴らしかったです。

日曜日は東信支部の鑑賞会に行ってまいります。
今回のテーマは「備前伝」だそうです。
タイムリーですね。

[2987 へのレス]Re: おそまきながら・・・

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/07/25(Sun) 09:20

波平さん　こんにちわ
実は私も先週の土曜日に行ってきました。
建物のある坂道の入り口が解らず、３０分位
周辺の道路をうろついてしまいました。

佐野美術館では太刀は刃を下にして展示しますが、
ここは、より刃文を鑑賞し易いように刃を上に向けて
展示してあったのが印象的でした。

ところで建物周辺に可愛い野良猫が２匹ほど居ませんでしたか？

それではまた、今後も宜しくお願いします。

[2987 へのレス]Re: おそまきながら・・・

投稿者：花散里 投稿日：2004/07/25(Sun) 16:11

確かに、あの入り口は分かりにくいですね(^_^;)
こてつ。さんと行った時も、入り口を通り越してしまってUターンしました(^^ゞ
鬼丸さんの言うとおり、刃は上に向けてくれた方が刃文が見やすいですよね。
太刀は刃を下に、刀は刃を上に、昔からのやり方なのでしょうが、こればかりは形式にとらわれて欲しくは無いですね。

[2987 へのレス]Re: おそまきながら・・・

投稿者：波平 投稿日：2004/07/25(Sun) 18:39

＞こてつさん
今頃は鑑賞会からお帰りでしょうか？
備前伝＝丁字とだけ考えてはいけないことがよ～くわかりました。今日さっそくに復習の機会をつくられるとはさすがでございます m(_ _)m
＞鬼丸さん
野良猫でござるか・・・・
入り口についた時は心せくばかりでまったく気付きませんでした・・・でも緑濃い素晴らしい環境でした。
　刃文がとても見やすく刀好きの心理をよく考えてくださっている展示でした。映りもよく見えました。
＞花散里さん
実は私も入り口に迷ってウロウロいたしました。門から博物館までの長いこと、さすがスリーダイヤモンズ！！展示方法は上野の東京国立博物館より素晴らしいですね、それにこてつさんもおっしゃっているとおり小道具類が想像以上に素敵なものばかりでした。解説を聞く来館者のみなさんも話声一つなく礼儀ただしく熱心でした。ひととおりの解説が終了後、拍手がおこり、その後熱心に質問される人の周辺に輪ができました。

[2987 へのレス]Re: おそまきながら・・・

投稿者：倭　士 投稿日：2004/07/25(Sun) 20:52

波平さん・みな様、お久し振りです。 (間から割込んですいませ～ん！)
静嘉堂イイですねぇ～。　私も一度行きたいのですが・・(手元不如意で・・！)

福岡一文字守利の太刀は、私も手にとり一度拝見させて頂いた物だと・・
「本多平八郎忠為所持」は、確か金象嵌でしたかねぇ～？？
吉川永一先生が以前(４年程前)に、大阪での鑑定会に持参して頂きました。

その時、同じく持参して頂いた、古青江(為次)と共にイイ刀だったので
印象深く覚えてます。
　ああ～！　もう一度見て見たーい。

[2987 へのレス]Re: おそまきながら・・・

投稿者：波平　投稿日：2004/07/25(Sun) 21:51

＞倭士さん　おばんです
そうですか～倭士さんはあの福岡一文字をお手にとられたのですか(-_-)
本多平八郎は千姫が想いを寄せた武将とか・・・同様の金象眼所持銘があるものが三振あるとかうかがいました。

＞ああ～！　もう一度見て見たーい。

私は一度でいいからこの手にとってみた～い(羨望)です。

[2987 へのレス]Re: おそまきながら・・・

投稿者：隠居　投稿日：2004/07/26(Mon) 11:16

波平さん。
静嘉堂文庫美術館での備前刀鑑賞、感激されたお気持が同感できるコメントです。
古名刀は佐野美術館のように格調高い日本建築の中で観るほうが落ち着きますね。
私は静嘉堂文庫を話にきくだけで知りませんが、旧大名家の屋敷跡でしょうか。いずれにせよ、最高の環境でのご鑑賞、よろしゅうございました。

[2987 へのレス]Re: おそまきながら・・・

投稿者：刀士郎　投稿日：2004/07/26(Mon) 11:20

波平様、倭士様　はじめまして
みなさま　ご無沙汰いたしております。
私は　２３日に静嘉堂にいきました。
本当は波平様と同じくギャラリートークのある 24 日を予定いたしておりましたが
吉川先生の解説をお聞きできず残念でした。
備前の名刀はどれもこれも素晴らしく一振り一振り息をのみながらひとり鑑賞してまいりました。
小道具も素敵で、特にちかじかご縁のありそうな一乗をじっくりと拝見しました。
なかでも　そら豆目貫は食べてしまいたくなるほどで流石に格の違いをかんじますね。

ところで本当に皆様お久しぶりです。
じつはパソコンを高校生の娘にとられてしまい少々不便しております。

娘の部屋にはいるとしかられるので留守をねらって恐る恐るでなんとなさけない　。
そんな訳です。メールをいただいた皆様、返信もせずに大変失礼いたしました。
波平様、倭士様はじめ　皆みな様、今後ともよろしくお願いします。

[2987 へのレス]Re: おそまきながら・・・

投稿者：刀士郎 投稿日：2004/07/26(Mon) 11:54

ご隠居さん　こんにちは
実は私本年度より佐野美術館の渡辺先生の刀剣講座に参加させていただき毎月勉強させていただいております。
昨日も午前中講座がありまして午後は講堂での打ち粉つくり、夕刻からは館内、隆泉苑での懇親会と楽しくすごしてまいりました。
おしゃるとうり、隆泉苑のような数奇屋建築の中での古名刀鑑賞は素晴らしく本当に幸せな気分になります。

[2987 へのレス]Re: おそまきながら・・・

投稿者：隠居 投稿日：2004/07/26(Mon) 12:27

刀士郎さん、こんにちは。
そうですか、刀剣勉強の会場が佐野美術館、教師が渡辺妙子先生、とくればこれ又、最高至極の取り合わせですね。
ご存じのとおり、渡辺先生は茶人であり、お着物の趣味も立派です。この暑さでは芭蕉でしょうか上布でしょうか。
折角の良き師とふんだんにある贅沢な鑑定刀に恵まれてのご勉強、これで目利きにならねば罰が当りますよ。
「打ち粉づくり」の講習があるようでは、いよいよ本格的な目利きへの修業ですね。

[2987 へのレス]Re: おそまきながら・・・

投稿者：倭　士 投稿日：2004/07/26(Mon) 22:23<HOME>

　刀士郎さん、こんにちは・・
今年の新作刀展でお逢い出来ず残念でした。
一昨年の新作刀展では私が予定を合わせられず・これまたお逢い出来ず。
いずれそのうち・・　楽しみにしております。　宜しくお願いします。

[2998] ご質問

投稿者：四誌 投稿日：2004/07/26(Mon) 13:13

関西刀剣会でわ鑑定会も行われていますか？

教えてください

[2998 へのレス]Re: ご質問

投稿者：倭　士 投稿日：2004/07/26(Mon) 22:11<HOME>

こんにちは・・
「関西刀友会」へのご質問でしょうか？？
残念ながら、刀友会としては鑑定会はおこなっておりません。
数日前に副会長とメールで「将来、刀剣会主催で鑑定会でも開催したいですね！」と、言っていた所なんですが・・　〔夢みたいな話ですが〕
（その時は、電脳のみな様ご参加下さいね。）
ただ、日刀保〔支部〕・保存会・刀剣店等で行われている鑑定会・鑑賞会
には、参加させて頂く予定です。
※ 先日も、刀剣展や日刀保地方支部の日帰りツアーに、大勢で参加して参りました。

「関西の刀剣界」への、ご質問であれば・・
日刀保は各県に支部がありますし、保存会は阪神支部、春霞会は大阪の茨木市で鑑定会をされているとお聞きしております。
（詳しい事は真鍋刀匠のＨＰにご案内がありますよ・・！）
また、刀剣商でも独自に鑑定会や刀剣展をされている処も御座います。

参考までに・・　（あくまでも参考で宣伝では御座いません。）
㈱ むさし屋〔大阪・堺市〕　ＴＥＬ０７２－２５１－８６００
明倫産業 ㈱ 〔大阪市内〕　ＴＥＬ０６－６７７２－３０２６
※ 明倫産業さんでは、８月２日〔月〕夕刻より刀剣勉強会が開催される様です。
※　詳しい事は直接お問合せ下さい。

[3001] 回答　御礼。。

投稿者：和さん 投稿日：2004/07/27(Tue) 16:59

刀剣＝美術品　よくわかりました。
僕も刀剣の友がほしくなりました。。

[3002] またしても・トリビアの泉！

投稿者：内記 投稿日：2004/07/28(Wed) 21:58

前回の【日本刀ＶＳピストルの弾】は見逃してしまいましたが、今日はＯＮ　タイムでラッキーでした　!(^^)!
おまけに前回の VTR で復習できましたし　"^_^"

【日本刀 VS ウォーターカッター】
しかし、ちょっとドキドキしましたね。
焼きの入った【切先】側からだったので多分大丈夫だとは思ったのですが。
【棟】側からだったらどうだったでしょうかね。

も一つ驚いたのは、刀剣杉田の社長が登場したことですね。
暫らくお目にかからないうちに白いものが増えたような・・・。
今度、お店に行って確認してこよっと　(^_^;)

[3002 へのレス]無題

投稿者：守重　投稿日：2004/07/28(Wed) 22:09

私も見ました。うーーむ、果たしてあんな実験していいのだろうか、と思いました。確かに日本刀の優秀性は示されたと思いますが、私には一寸いただけない印象でした。万が一日本刀がボロボロに砕けてしまったら、とても悲しい気持ちになってしまいます。(でも絶対大丈夫とわかっていたからやったのかな？）で、切断されてしまった鍔は模造品ですよね、ね、ね。

[3002 へのレス]Re: またしても・トリビアの泉！

投稿者：内記　投稿日：2004/07/28(Wed) 22:21

＞守重さん
こんばんは。
私も正直“ちょっとイイノカナー？”と思ったのですが。

考えすぎかもしれませんが・・・
日本刀【応援団】の杉田氏の肩書きは　刀剣商ではなく、【日刀保】でした。　協会公認ではないのかなア　　と思い直し、日本刀キャンペーンと思うことにしました　(#^.^#)

仰せのように鍔は居合い用の量産品と思いましょうね　(^_-)-☆

[3002 へのレス]Re: またしても・トリビアの泉！

投稿者：波平　投稿日：2004/07/28(Wed) 22:28

前々から話題の「トリビアの泉」私は二度続けて見逃しました(-_-)
どのようになったのでしょうか、どなたかお教え願いませんでしょうか？

＞ご隠居様・刀士郎様
レスを頂戴しておきながら大変失礼致しました m(_ _)m

飛騨に旅行して今しがた戻りご返事が大変遅れました。
飛騨古川の神社で「虎明」銘（山浦真雄の弟子にあたると解説されていましたが)の大太刀が展示されていました。

ご隠居様、静嘉堂文庫美術館は二子玉川という所にあり、江戸の府内ではありませんので大名家の屋敷跡ではないと思います。不勉強で申し訳ございません。環状８号線(東京の幹線道路です)沿いの近くには徳富蘆花の「蘆花公園」にもほど近い所です。

[3002 へのレス]Re: またしても・トリビアの泉！

投稿者：内記 投稿日：2004/07/29(Thu) 02:17

＞波平さん、こんばんは。
飛騨からのお帰りとか、お疲れさまでした。
飛騨というと私は上高地の先の奥飛騨の温泉が“大好物”です　!(^^)!

このところ、文化教養に不調法とのイメージがついた武闘派（福島正則風）の内記がこの際ですので、ヒンシュク覚悟でご説明いたします　(>_<)

本日のトレビアは、
どんな物でも切断できるという最新式のウォーターカッターの水圧（流速マッハ 3）を切先を上に台に固定した日本刀が防御できるか　という実験でした。
前座としてこの W カッターさまの威力のご披露として、鋳造もの数㌔の【ダンベル】を縦に真っ二つ。包丁（材質不明）の切先を垂直に上にして（当該日本刀と同じ方法）刃方より水圧を掛け重ね約 2 ㍉を真二つ・・・。

結果は上述の如く、日本刀は無傷で刃毀れ・めくれ共になしでした。

さて、この実験をどう評価または批判するかは各人にお任せするとして
私には、新手の“荒試し”に見えました。

＞静嘉堂文庫美術館
以前、危惧した通り７月予定に入れられず“パス”となりました。　残念　(>_<)
ついでに波平さんのアシスト的観光案内・・・
静嘉堂文庫美術館は比較的新しく 10 年程前ではなかったかと思います。
本体の岩崎家【静嘉堂文庫】は大正末期の建築でイギリス貴族のカントリーハウスをモデルされた洋館ですが、おそらく内部は未公開のままかと。
建物は【岡本静嘉堂緑地】の一画にあり“国分寺崖線”という武蔵野台地の端っこの崖の上です。この崖は字の如く多摩の国分寺までつながっており、崖下には“野川”が流れ多数の湧水の名所です。
太古の多摩川の【土手】沿いと考えればイメージがわきますでしょうか。北西の小金井・国分寺方

面では【はけ】の道と呼ばれ武蔵野の面影を残す名所です。

都内の方はご存知でしょうが静嘉堂のある世田谷区【岡本】は田園調布とは別格の隠れた超高級住宅地なんですよ。
関西方面では芦屋の六麓荘のような雰囲気です　(^_^;)

[3002 へのレス]Re: またしても・トリビアの泉！

投稿者：菊久　投稿日：2004/07/29(Thu) 06:31

『新手の"荒試し"』見逃しました。
というか、私はほとんどテレビを見ないんです。(別に、隔離された生活を強いられてる訳では無いのですが・・・^^;)

しかし、内記さんや守重さんの話を聞くと、なんかスゴク損したような感じ・・・「見たいよぉ～～、見たかったよぉ～～。」

再放送は無いのかなぁ～。フジテレビ様、再放送してよ！
「ネェ、波平さんも同じ気持ちでしょ(^^)」

友達でＶＴＲ取ってる人が居ないか聞きまくったろぉーっと。

[3002 へのレス]Re: またしても・トリビアの泉！

投稿者：刀剣ビギナー　投稿日：2004/07/29(Thu) 07:46

タモリさんは 刀剣好きで 居合いも されているんですね。
コメディアンの しょうへいさんも以前ＴＶで 刀剣を電灯にかざして 繁々と眺めている写真が 紹介されていました。意外な方が お好きなんですね。

[3002 へのレス]Re: またしても・トリビアの泉！

投稿者：隠居　投稿日：2004/07/29(Thu) 12:33

内記さん、解説おおきに。武蔵野の面影を残す「世田谷岡本静嘉堂緑地」の風景と大正末期建築の英国風建物のイメージ、大体想像がつきました。
私は神戸北野町生まれの夙川育ち、風見鶏の館から英国領事館まで大正末期から昭和初期に建てられた建物の良さはよくよくわかります。
それにしても六麓荘までご存じとは・・・改めて脱帽です。

[3002 へのレス]Re: またしても・トリビアの泉！

投稿者：鉄. 投稿日：2004/07/29(Thu) 12:38

　前の、トリビアの実験は、新作刀でしたし、それなりに、楽しめたのですが、今回は、どうも。。。。と言う感じです。
　見た感じでは、刀を、物打ち辺から、切断して、機械に設置している様に見えましたが（ビデオで再見して確認した）こんな事をするのは、許されるのでしょうか？
　それに、実験の投稿者が、杉田○○子と有りましたが、杉田刀剣の関わりも、気になります。無関係かも知れませんが、勘ぐりたくも成ります。

[3002 へのレス]Re: またしても・トリビアの泉！

投稿者：内記 投稿日：2004/07/29(Thu) 13:31

＞鉄さん
・・・　(ーー;)　・・・。
そうですか。　物打ちから切断して設置していたのですか・・・。

ちょっと気がつきませんでした。画面では「ちょっと疲れた刀だなあ」と思っていました。
もし、そうであったなら、【実験目的】の是非はともかく、
【実験方法】は大反対！と表明致します。
実験後、日本刀は“無傷”ではなく　無残な【残鉄】になったことになりますね。

＞ご隠居さん
【六麓荘】のことですが、赤面の至りでございます。

これこそ､“日常に何の役にもたたない無駄知識”＝【トリビア】というものです。　(^_^;)

[3002 へのレス]Re: またしても・トリビアの泉！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/07/29(Thu) 20:42

　こんばんは・・
私も、見逃しました。再放送がありましたら何方かお教え下さい。
どんな内容だったのか見てみた～い！

タモリさんが、居合をしておられるのは、刀友の人影さんに以前
お聞きした事がありますねぇ～。　そこそこの腕前らしいですよ！

[3002 へのレス]Re: またしても・トリビアの泉！

投稿者：波平 投稿日：2004/07/29(Thu) 23:25

＞内記さん
丁寧に解説をしていただきましていたみいります m(_ _)m
なるほど、かなり大仕掛けの実験だったのですね。「新手の荒試し」と表現されるのももっともなことと思います。なぜか結果にホッとしてしまう思いですが・・・実験の方法は私も如何なものかと思います。ただ菊久さんと同じでその TV 放映を実際に見てみたかったです。
刀剣○○の社長がでていたんですね。池袋の近くで育った私ですがあの周辺は住宅街でありながら道を一本間違えると○俗街といった所です。でも素晴らしい真改を拝見させていただいたことがあります。

[3002 へのレス]Re: またしても・トリビアの泉！

投稿者：鉄. 投稿日：2004/07/30(Fri) 20:33

タモリさんは、何流の居合なのでしょうね。

[3002 へのレス]Re: またしても・トリビアの泉！

投稿者：匿名希望の森田 投稿日：2004/07/31(Sat) 01:03

【柳生新陰流】三段　右、允可（いんか）ス。（参照文献：芸能大辞典より）

[3014] 台風・来たる！！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/07/30(Fri) 17:08

また、台風が来てますね！　今年はよく上陸しますね。
四国・中国地方へ・・　進路にあたられる方、くれぐれもご注意を！！
我がボロ家など直撃でなくともヤバそうです。

[3014 へのレス]Re: 台風・来たる！！

投稿者：四誌 投稿日：2004/07/31(Sat) 14:35

台風いったね。。」
台風去って夏が来た！

[3018] 昭和 20 年 8 月 15 日　京城（ソウル）

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/01(Sun) 11:25

人の人生や国家の歴史などには必ず「光と影」があり、一面だけを捉えての断言・批判はできません。
もちろん、大東亜戦争中に亡くなった多くの方々のご冥福をお祈りいたしますが、特に朝鮮半島や広島で亡くなった方々や生活していた方々のご家族・ご親族・ご本人のご心情から、この投稿には当然、様々なご意見やご批判があるものと承知しています。
電脳倶楽部や一陽来復に「相応しいか、相応しくないか」の判断は、閲覧している皆様や管理人合議体の判断に委ねたいと思います。

朝鮮最後の王家である李王家（李氏朝鮮）は日韓併合後も存続し、日本政府は王族たちに対して日本の皇族に準じる処遇をしました。
その男子は、日本の皇族と同様に軍人となり、明治 45 年生まれの李○（金偏に禺）殿下もその一人でした。
陸軍幼年学校から陸軍士官学校（45 期）に進み、昭和 19 年 2 月、陸軍大学研究部員から中国・山西省太原の北支方面軍に情報参謀として派遣され翌 20 年 4 月、第二総軍司令部の教育参謀（中佐）として広島に転勤しました。

8 月 6 日朝、いつものように馬に乗って司令部へ出勤途中に、爆心地に近い相生橋の辺りで原爆に遭遇、全身に火傷を負い土手の防空壕に避難しました。
原爆投下直後の大混乱の中で陸軍当局が派遣した捜索隊は、李殿下を発見し広島湾・似島(にのしま)の陸軍検疫所に設けられた臨時救護所に収容しましたが、手当ての甲斐も無く、翌 7 日午前零時過ぎに容態が急変し殿下は死亡しました。
東京から日本皇族や軍関係者が駆け付け通夜が営まれた後、翌 8 日の午後、山口県小月の陸軍第 12 飛行師団から派遣された一式高等練習機によって、吉島飛行場から玄界灘を越え、現在は「ヨイド広場」になっている漢江の中洲の汝矣島(ヨイド)飛行場に到着。遺体は朴賛珠夫人ら家族の元に届けられ、阿部信行総督ら各界要人が出席し、あらためて通夜が行われました。
8 月 15 日、正午から天皇陛下の「玉音放送」があり、さらに阿部総督が疑心暗鬼、動揺混乱、軽挙を戒めた「諭告」を発表した後、葬儀は午後 1 時から陸軍葬として京城運動場(現在の東大門運動場)で行われました。

また、殿下のお付武官であった吉成弘中佐は、8 月 6 日当日、「腰にはれ物ができていた」と「ひどい水虫」の二説あるのですが、馬に乗れなかったため殿下の配慮で別途、車で司令部に出勤したため難を逃れたものの、原爆投下直後から、地獄図のような市内で行方不明の殿下を捜し回り、夕刻、見つからないままぐったりして司令部に戻ったところで連絡があり、収容先の似島に駆けつけました。
7 日夜に通夜を済ませ翌 8 日朝に棺を送り出した後、殿下が息を引き取った陸軍検疫所臨時救護所

の民家で、吉成中佐は責任を負って自決しました。

昭和 37 年、李殿下と同期の陸軍士官学校 45 期生の生き残りが、任官 30 周年を機に慰霊祭を東京で行い、同期生たちは殿下の未亡人、朴賛珠さんをソウルから招きました。吉成中佐の妻、まきのさんも招かれて朴賛珠さんと対面、ともに靖国神社に参拝したとのことです。
二人の未亡人の間には手紙の往来があり、季節ごとに暑中見舞いや年賀状をやり取りしていました。
朴賛珠さんからまきのさんに寄せられたある手紙には、こう書かれています。
「…吉成様は武人の鑑、深く深くご冥福をお祈り申し上げます。亡き主人の供をしていただきまして、地下にて主人は寂しくないことと思っております…」。

以上長々と、大東亜戦争最末期の事実を投稿させていただきました。

[3018 へのレス]Re: 昭和 20 年 8 月 15 日　京城（ソウル）

投稿者：隠居 投稿日：2004/08/02(Mon) 11:19

李殿下のお付き武官である良成中佐は原爆投下のあった際殿下のそばを離れていたことに責任を感じ、自決されたという話、正にいにしえの武士そのものと思います。
こういう良成中佐の人生観は、当時の軍人ならだれしも持っていたことで、そのため大きく報道されなかったと思います。
この話が、この電脳倶楽部に不適切であるかどうかという懸念は、私は寸分もないと考えます。何故なら、日本刀はこのような「武士」のための指し料であり、武士の心や武士道とは不可分のものだからです。
電脳倶楽部関係者の皆様も、ラストサムライ以上の侍の実話を拒否されるわけはないと存じます。
韓国の反日侮日政策の中、埋もれてしまっていた貴重なエピソードをよくお聞かせ頂きました。ありがとうございました。

[3018 へのレス]Re: 昭和 20 年 8 月 15 日　京城（ソウル）

投稿者：内記 投稿日：2004/08/02(Mon) 19:19

＞花散里さん
【昭和 20 年 8 月 15 日　京城（ソウル)】の午後 1 時・・・。
玉音放送終了後の京城運動場で阿部信行総督以下参列した帝国軍人の精神状況と不安・恐怖感は想像に難くありません。
亡国の瀬戸際の中、出来得る限りの朝鮮王族に対する【礼】を尽くしたのではないでしょうか。
東京ではなく、朴賛珠夫人の待つ京城に送り届けたことに深い感動を覚えます。
現在の日本政府（国民）にはこの【感覚】は極めて薄いのではないかと危惧しています。
八月は「光と影」をしっかり認識し、影ばかり反省するのでなく、このような“光”を矜持として見直すことも必要かと思いました。

＞隠居さん
＞韓国の反日侮日政策の中、埋もれてしまっていた貴重なエピソート
今更驚くべき事ではないのが悲しいのですが・・・
この話、韓国では「朝鮮人の上官に日頃反感を抱いていた某中佐が原爆の混乱に乗じ、殺害した・・」と教育されており
かの国とはいったいどうやって信頼関係を築けばよいのか、途方に暮れてしまいます。
せめて、日本人には公正な“事実”を伝えて貰いたいと望む次第です。

＞日本刀はこのような「武士」のための指し料であり、武士の心や武士道とは不可分のものだからです。
我意を得たりの思いです。

[3018 へのレス]Re: 昭和 20 年 8 月 15 日　京城（ソウル）

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/02(Mon) 21:45

＞ご隠居さん、内記さん
私があえて書かなかった「言外の意」を汲み取ってくださり、ありがとうございます。

責任を感じ自決した吉成中佐、カタログスペック（最高の整備・燃料・操縦技術）でさえ最高速度 370 ㎞/h 強しか出ない丸腰の練習機で米軍に完全に制空権を掌握された玄界灘を越えた操縦士たち、玉音放送を聞き心は海を越えて故郷にあったであろう葬儀に参列した兵士たち、彼らの心情と責任感には頭が下がる思いです。
もちろん私は、日本の内外で幾多の悲劇があったことも充分承知しており、「一事が万事」などとは夢にも思いません。
しかし、内記さんの言われるように、「光は光、影は影」。
私たちは、もっと「両方」を知らなければならないのです。

吉成中佐の四男一女の子供たちへの遺書には一言、「楠公ニナレヨ」と書かれていました。

[3018 へのレス]Re: 昭和 20 年 8 月 15 日　京城（ソウル）

投稿者：隠居 投稿日：2004/08/03(Tue) 13:20

内記さん、韓国はやはり「近くて遠い国」ですね。これは貿易額もさることながら、文化交流とか信頼関係とかをみればわかります。そしてこれは、永い日韓の歴史から変わっていません。逆説的ですが、近くて遠い国だからこそ、むしろいいのでしょう。

花散里さん、「光と影」仰ることに異論はありませんが、影ばかり教えられてきた人たちには、日本の光輝く過去の部分を、もっと知らせるべきだと思います。
そして「責任をとらない」今の時代にこそ、武士道精神は消し去ってはならない日本の心柱です。

出来るだけこういう話を折にふれご紹介ください。

[3018 へのレス]Re: 昭和 20 年 8 月 15 日　京城（ソウル）

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/03(Tue) 22:38

＞ご隠居さん
戦後の「心無い教育者」や「進歩的文化人」、「左翼政党」や「ちょうにち新聞」などによって、戦前の日本はまるで「暗黒帝国」だったかのようです。
また「責任」は、まるで「他人に押し付けるもの」のようで、いたるところで「ババ抜き」が行われています。
自分の子供のためにも、これからも「光」をお伝えしたいと思います。

[3022] 関西刀友会・活動報告

投稿者：倭　士 投稿日：2004/08/03(Tue) 10:25

刀友の皆様・こんにちは・・
昨日、ある刀剣店で開催されました、刀剣の勉強会に参加して参りました。
　☆ 鑑賞刀を参考まで・ご報告させて頂きます。
①脇指： 左行秀
②片手打：〔初代〕備州長船盛光・応永十六二月日
③刀： 奥大和守平朝臣元平・寛政二二〔4 年〕子春
④刀： 越前國住兼法〔第 14 回重要刀剣・珍品〕
⑤太刀： 来國末〔重要美術品・庄内酒井家伝来〕

昨日は月曜と言う事もあり,関西刀友会のメンバーは４名程の参加となりました。
写真の方は鎬さんが担当されておりますが、鎬会長多忙に付きもう暫らくお待ち下さい。
尚、次回集いは９月末頃を予定しております。 日程が決りましたらまたご報告させて頂きますね！
　☆　簡単ではありましたがご報告まで！！

[3022 へのレス]Re: 関西刀友会・活動報告

投稿者：隠居 投稿日：2004/08/03(Tue) 16:03

倭士さん、こんにちは。次々とご勉強ですね。

行秀は新々刀の相州伝と観れば行き着くのですが、どうでした？
片手打・盛光、脇差ではなくあくまでも２尺前後の片手打ですね。盛光にはこの寸法のもので平造りもありますが、多分注文打ちでしょう。解説を聞きたいです。
薩摩刀はがっちりした造り込みと芋づるでさっと見当がつけば、一人前です。
越前兼法は出来がいいでしょう！　いいものは直刃だと思いますが、古刀然として品格があります。

私の好きな刀工です。
来国末は未見ですが、国光などに似ていますか？

[3022 へのレス]Re: 関西刀友会・活動報告

投稿者：倭　士 投稿日：2004/08/03(Tue) 22:40

まだまだ、駆け出しですので解説とまではいきませんが・・
行秀は柾目鍛えで直刃でした。（参の札でようやく行秀にたどり着きました。）
盛光は少々磨り上げで、いつも見ている盛光とは違い・小反の様に焼き刃高低が少なかったです。
〔初代の盛光は小反の出身だとの説もあるとか・・！？）
元平は１本目で同然（正幸に入札）でした。
兼法は、慶長の姿で元は小模様に乱れ・中程より上は五の目入る乱れ刃でした。
（刀の出来は良く裏日本の鉄等は無く地鉄は冴えてました。）
参の札ででも、尾張関の氏房〔兼房〕に辿り着くのがヤットでした。
来國末は、古青江か来物かに見て取れます。
私は来國俊に入札しました。鎬さんも壱の札は古青江で・弐の札では来國光に入れておられたので、特徴がよく出ているんでしょう！！
（何によく似ているかと言うと了戒みたいですね！ でも、柾気等は余り目立ちませんでしたね。）
※ この様な解説でよろしいでしようか・・

[3027] 刀友と・・・

投稿者：菊久 投稿日：2004/08/08(Sun) 06:26

昨日、大阪・難波で刀剣展示即売会をしているから、時間を合わせて見に行きませんかと、倭士さんからお誘いを受けて久しぶりに大阪に出かけました。当日は、倭士さんとそれからＦさんの３人であれこれ云いながら刀を見て回りましたが、当然、私は資金難のため展示会では見るだけ・・・。

私の楽しいのはここから。
地下街のそば屋で遅い昼食を取りながら、刀剣談義に限らず温泉の話等々あれこれ談笑。
刀を通して友人が出来、刀の話は勿論のこと他の話題でも気兼ねなく楽しく話が出来る・・・。ホント、楽しい時間を過ごさせて頂きました。
刀友会の皆さん（当日はお二人でしたが）ありがとう御座いました。

ざるそば一盛りで２時間近くねばらせて頂きました蕎麦やさんもありがとう御座いました。(サービスでのアイス・コーヒーも m(_ _)m)

[3027 へのレス]Re: 刀友と・・・

投稿者：倭　士 投稿日：2004/08/08(Sun) 11:56

菊さん、昨日は色々ありがとう御座いました。
メンバーの北摂さん（Ｆさん）から お誘いをうけ、ある刀剣商の出張展示会を荒らしに行きましたが・・
手元不如意につき・あえなく撃沈されて参りました。

ある刀友の方は、もう昨日よりお盆休みで帰省とか・・！
　（もう、お盆か～！ もうすぐ秋かな～ でも、まだ暑すぎー！！）
まっ、そう言う事で参加メンバーは少なかったのですが、楽しい時間を過ごして参りました。
　次回は、９月末に刀友集合!!しょうと決定致しました。
詳しくは、予定日が近付きましたら、書込みまーす。

[3027 へのレス]Re: 刀友と・・・

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/08/08(Sun) 13:23

お暑うございます～。
楽しそうですね、羨ましい。
大阪の夏は未だ経験したことがありませんが、かなり暑いんでしょうね…。
展示会の方はいかがでしたか？何か良い出物はありましたか？

この場をお借りして、残暑お見舞い申し上げます。

[3027 へのレス]Re: 刀友と・・・

投稿者：倭　士 投稿日：2004/08/08(Sun) 13:51

こてつさん、どうも・・　　おばんでーす。
残暑お見舞いありがとうございました。
奈良の山奥から出て来られた○○さんも暑い!暑い!の連発でしたよ！
大阪の暑さときたらもう・・　以前、出張などで東京はじめ多くの都市に行きましたが、大阪の暑さは違うんですよ！（それと京都も暑いです！）
東京でも同じ気温にはなるんですが・・湿度とか町並みとかの関係なんでしょうか？？本当・夏に強い私でもバテますね！
（仕事で東京から来られた方もよく同じことを言われますよ！）
でも、冬は暖かい方ですね。冬嫌いの私には寒いが・・。
以前・仕事で行った仙台は雪は少ないがホンマに寒かった～!それより北は冬に言った事はないが、たぶん私だと凍死してしまいますねぇ。

すいません！　暑いのでついグチってしまいました。　ゴメンなさ～い。

[3031] 台風の中継で・・・

投稿者：隠居 投稿日：2004/08/10(Tue) 13:42

台風の実況中継ではじめて海部の街を見ました。台風の被害に遭われた方々には心からお見舞い申し上げますが、老齢のため旅もままならぬ者にとっては、さすがこれが阿波水軍の本拠地かと、海部刀を思い出しながら見ていました。
海部刀も五ケ伝にはない独特の焼き入れであり、同田貫や古くは山鳥毛にも通じる堂々たる実力を感じます。
こういう刀を「郷土刀」として持てる徳島県人の方はいいですね。
折から「子連れ狼」が佳境に入り、こういう「物切れする刀」の魅力をＰＲしています。
しかし、私も海部の売り物を永年待ちましたが、無いものですね。

[3031 へのレス]Re: 台風の中継で・・・

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/10(Tue) 21:53

今回の台風は以外に徳島県下に大きな被害をもたらしました。
主に県南に集中した豪雨は、合計１２００ミリに達した地域もあり、橋や道路が流されました。
家ももちろん全壊半壊など被害は多く、未だ行方不明の方もおられます。
一日も早い復旧と、生活の安定が訪れるように祈るばかりです。
地元選出の国会議員も被災地域を訪れて、被害状況を確認しておりました。

さて、こうした豪雨と洪水の可能性を見ておりますと、よく耳にします『長船鍛冶の壊滅』となったという川の氾濫を彷彿とさせます。
海部鍛冶はこうした川の氾濫もあったと思いますが、その影響で壊滅するようなことはなかったようです。

海部刀の名品は、名物岩切海部をはじめとして、主なるものは県外の文化財として、あるいは海南町立博物館に所蔵されております。
海部刀の散逸を防ぎ、一堂にみることができることは意義あることと思いますが、個人が所蔵する喜びは反してその機会が少なくなりますね。

昨年でしたか、銀座長州屋の銀座情報に海部泰吉だったと思いますが、その刀が出ておりました。
末古刀のものということでしたが、備前祐定の影響を受けたというものでした。

波平、同田貫、山鳥毛、末備前と、思いを馳せて探してみるのも楽しそうです。
全国から寄ってくる今年の大刀剣市あたりに、縁があれば会えそうな気がします。
(~o~)。

[3031 へのレス]Re: 台風の中継で・・・

投稿者：隠居 投稿日：2004/08/12(Thu) 08:05

真改さん。大刀剣市で探してみてください。
ご存知のように、海部刀は一般人の目からは「出来のわるい変な刀」としか見えないものです。「岩切』とか「末備前風」とかはむしろ海部物では異端です。もちろん私もはじめは「海賊のもつような変な刀」と思っていました。しかし年月の経過とともに、「山刀があるように海刀もあっていいし、これこそ船上での使い方を考えた実用刀」と感心するようになりました。事実海部物フアンは少ないですが中々強烈で、永年かかって蒐集し愛蔵しています。人も知る日刀保某（大都市）支部長もこの中の御一人です。
要するに海部物の見方は特別ですね。

[3041] 暑さの新記録

投稿者：波平 投稿日：2004/08/12(Thu) 19:51

真夏日の連続新記録達成とか、刀友の皆様にはお元気でお過ごしのことと存じあげます。
今日「刀剣美術八月号」が届き興味のある記事がいろいろと掲載されていました。
①名刀鑑賞の虎鉄、自身彫もさることながら大和伝があったことはしりませんでした。
②会津兼定の作風に関する外山登氏の論文は大変に興味深く拝読しました。外山氏のことについては「こてつ」さんをはじめとして皆々様ご存知でしょうが
http://www.geocities.co.jp/Hollywood-ouen/9135/index.html
の HP とあわせて大変に参考になりました。この外山氏の栗原信秀の講演会が「星と森の美術館」
http://www.hoshi-uta-m.jp/index.html
であります。少し遠方ですが可能ならば如何でしょうか。
③「平成十六年新作刀展覧会の概要」と題する各受賞者の寄稿の中で特に杉田善昭刀匠の文は先日、そのご苦労のほどを知人より聞いていただけに何度も読み返しました。

[3041 へのレス]Re: 暑さの新記録

投稿者：倭　士 投稿日：2004/08/13(Fri) 14:05

波平さん　残暑お見舞い申上げます・・
当方も、本日「刀剣美術」到着しました。（遠方なので 1 日遅いのか？）
今、パラパラとみましたら なんと！私の姿もチョロット・・
因みに、５４ページの上の写真で、奥の方に刀で串刺しになって小さく写って居る〔2 人〕のが、私と堺の佐助さんでーす。
また、５６ページには、菊久さん・鎬さん・北摂さんはじめ「関西刀友会」のメンバーが数人いまーす。
私は、５６ページでは後ろの榊の所に、前列の方と重なり顔半分だけ・・ 〔トホホ！〕

私くし事でスイマセ～ン！（男前に？）興味のある方・刀剣美術をお持ちの方は一度どうぞ・・

☆ 内容に関してはこれから拝読しま～す！　また、誌上鑑定刀で悩みそう～。

[3041 へのレス]Re: 暑さの新記録

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/13(Fri) 20:48

新作刀展覧会の彫金の部に『菊花紋金具元帥刀拵』という素晴らしい一作金具の大作がありました。以前、この掲示板でも元帥刀についての話題がありましたが、この製作された元帥刀拵は、７年もかかって完成したとあります。
どんな方が依頼したのでしょうか。

また、元帥刀を製作されるにあたっての流れが記載され、元帥刀とはについても書かれています。背景にある歴史を知ることは、刀それ自体だけではなく、外装にいたってもずいぶんと苦労されるのだと感じました。

完成された元帥刀拵を遊就館で拝見したいですね。

[3041 へのレス]Re: 暑さの新記録

投稿者：波平 投稿日：2004/08/14(Sat) 11:39

＞倭士さん
残暑お見舞い申し上げます。週末からは幾分暑さもやわらぐと天気予報では言っていますが、そちらは如何でしょうか。刀剣美術の写真をマジマジと拝見いたしました。常につつましやかに写っている姿を拝見しなかなか奥ゆかしきお人柄と感服しております(^_-)

＞真改さん
大雨被害の復旧はいかがでしょうか。災害時はひんぱんに報道されましたが、被災者の方は復旧がより大変かと存じます。
先日訪れた遊就館で最初に目に飛び込んできたのはこの「元帥刀」でした。この他に元帥杖があったのか疑問に思いましたが展示品に釘付けになってしまいました。

[3046] 生野先生を偲んで

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/13(Fri) 18:05

今月号の刀剣美術を見ていたら、協会元評議員・元徳島県支部長の生野勇先生がご他界されておりました。先生には鑑賞会にお招きいただいたり、ご自宅へ訪問させていただいたりして、何度か交流をさせていただきました。

思えば刀剣の趣味に入ったきっかけであった徳島城博物館で開催された『刀剣講座』に講師としておられた先生の話から、一つ勉強してみようかと思い立ったのは何かのご縁だったのでしょう。

ご自宅にはたくさんの刀剣はもちろん、書籍が山のようにあり、『刀を一つ買うくらいの投資を書籍にもしなさい』と言われたのも、生野先生でした。
ご自慢の刀の一つに重要刀剣の行光があり、刀をかじりかけたばかりの私にとっては、雲の上の話の刀剣の一つでありましたので、恐ろしくて手に持つ時間もそこそこに、遠慮ばかりして拝見した記憶があります。

また、先生のご先祖は、阿波三好氏の館のあった勝瑞城のご門番をされていた古文書の記載があり、そういった話をきいたこともありました。
先生は刀剣だけではなく、広く歴史にも通じておられ、郷土史では地元の町史編纂にも主として従事されたりと、ご多忙であったようです。
私も、阿波細川家ゆかりの短歌が書かれた掛け軸を見ていただいたことがありますが、読み方から意味まで、ご親切にお教えいただいたこともありました。

徳島では刀剣と歴史の先駆者の一人であることはもちろんのこと、お世話になった方は数え切れないと思います。
私はほんの数えるくらいの先生との思い出しかございません。
先生が残された刀剣や書籍はきっとご遺族や有志のみなさんが引き継いでいかれると思います。
時間としてはほんの少しではありますが、先生と刀剣を通じてお話できたことを大切にして行こうと思います。

ご冥福をお祈りいたします。

[3048] 靖国参拝

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/14(Sat) 08:43

「靖国神社に参拝したい」
高校２年生(17)の長男の希望もあり、今日これから参拝してきます。
本当は明日行くべきですが今日にした理由は、おそらく今日の方がいろいろな意味で「雑音」に悩まされず、ゆっくりと参拝できると判断したからです。
初めて参拝する彼に、正しい参拝作法を伝え、靖国神社の歴史や意義などを語り合ってきたいと思います。
帰宅後に、またご報告します。

[3048 へのレス]Re: 靖国参拝

投稿者：波平 投稿日：2004/08/14(Sat) 11:16

＞花散里さん
＞本当は明日行くべきですが今日にした理由は、おそらく今日の方がいろいろな意味で「雑音」に

悩まされず、ゆっくりと参拝できると判断したからです。

私も先日参拝をすませてまいりました。花散里さんと同じ理由からです。我が家の仏壇の位牌には伯父の戒名にのみ「英霊」の二文字がついています。顔も知らぬ伯父の死は祖母の心に深い傷となって残り、それは戦後何十年たとうと変わるものではありませんでした。同じ思いを幾百万の人々が味わっていることか。近くの千鳥ヶ淵には戦没者のための施設がありますがそこに参拝した時と靖国とでは心にせまるものがあまりにも違いすぎるのです。私はこの季節になると各新聞が一人一人の閣僚に対して「参拝するかしないか」をアンケートにとって掲載することが不思議です。またこの神社があまりにも政治的なことに利用されすぎていると感じています。戦後の一時期、戦争を批判した者が平和主義者・愛国者、という風潮がありました(今もそうかもしれませんが)。しかし当時の社会状況の中で懸命に勤めた者が国を愛する者でなかったと誰が批判できましょう。大上段に振りかぶった議論を私はあまり好みませんが、大きな時代のうねりの中にのみこまれた庶民のごく普通の気持ちとして、選択肢のあまりなかった時代、国のため、家族のためにと命を落とした人々が手厚く祀られている場所は、現在の日本では靖国神社以外にはありません。「諸外国によりイデオロギーの道具に利用されるのはたくさん」というのがいつわらざる私の気持ちです。

[3048 へのレス]Re: 靖国参拝

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/14(Sat) 11:24

昨晩は通しで勤務でした。
２１時からあったＮＨＫスペシャルの『一兵卒の戦い』を見ました。
そして、今日もＮＨＫスペシャル『遺された声」新発見二千枚の録音盤が語る太平洋戦争▽特攻隊員遺言▽大陸に消えた父満州国崩壊』があります。

ぜひ、ご覧下さい。

[3048 へのレス]Re: 靖国参拝

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/14(Sat) 19:12

長男と家内と私の３人で、参拝して参りました。（長女は友人と先約があり、パス）
昨年の大刀剣市の際に、真改さん達と参拝した折に車を止めた北の丸公園内の武道館前駐車場は、明日の全国戦没者追悼式の準備と警備のため関係者以外の駐車が出来ず、引き返して科学技術館脇の少し離れた第２駐車場に車を止めました。

３人でそぞろ歩きながら、田安門から靖国神社境内へ進み、参拝の作法を長男に説明しながら大手水舎で手口を清め、掲示されている英霊の遺書を拝読してから、拝殿で参拝。
その後、遊就館を巡り九段会館内のレストランで遅めの昼食を取り、先ほど帰宅しました。
今回、初めて長男と共に靖国神社に参拝した訳ですが、遊就館内にある英霊の遺影は若い人が多く、長男と同年齢の英霊もたくさんおられ、人の親として胸に迫るものがありました。

英霊に感謝の気持ちとご冥福を祈りつつ、2時間ほど時間を掛けてゆっくりと一巡して参りました。
遊就館の1階にある茶房では、お参りに来られた1人のご夫人と相席になり、しばらくの間ご婦人の思い出を聞かせていただきました。
明日に備え泊りがけで来られたのであろう、各地の遺族会の方々を乗せたバスがひっきりなしに到着する中、蝉の声が響き渡る中で代替施設建設反対の署名をして靖国神社を後にしました。

ところで、今日長男に聞いたところでは、意外なことに授業で靖国神社に関する説明は受けていないとの事。
彼が靖国神社に行きたかった理由は、毎年この時期になると繰り返される内外のドタバタを見聞きして、「本当はどうなのか、自分の目で確かめたかった。」という理由だそうです。
参拝後の長男の感想は、「中国や韓国は日本人の心が分かっておらず、無礼そのもの。日本の国会議員も、情け無い議員ばかり。もっと、靖国神社のことを知りたい。」とのことなので、昨年ご隠居さんに紹介していただいた「正論　臨時増大号　靖国と日本人」を渡しました。
まぁ、私の子供の割には、まともな方かもしれませんね。

今日も暑い一日でしたが、とても意義のある参拝でした。

[3048 へのレス]Re: 靖国参拝

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/14(Sat) 19:50

昭和２６年５月３日（東京裁判結審後２年半）アメリカ上院 軍事外交合同委員会聴聞会にて、マッカーサー元帥の証言
「日本は絹産業以外には、固有の産物はほとんど何も無いのです。彼らは綿が無い、羊毛が無い、石油の産出が無い、錫（すず）が無い、ゴムが無い。その他実に多くの原料が欠如している。そしてそれら一切のものがアジアの海域には存在していたのです。もしこれらの原料の供給を断ち切られたら（日本の産業は壊滅状態に陥り)、一千万から一千二百万の失業者が発生するであろうことを彼らは恐れていました。したがって彼らが戦争に飛び込んでいった動機は、大部分が（侵略などでは無く）【安全保障の必要に迫られて】のことだったのです。」

平成１４年２月、ブッシュ大統領が訪日した折に明治神宮を参拝した。
訪日に当たってブッシュ大統領が希望していたのは、小泉総理と一緒に靖国神社に参拝することだった。
だが、打診された外務省も官邸も小泉総理も、中国・韓国との悶着を起こしたくない事なかれ主義でこれを拒絶、明治神宮に変更された。
その上、小泉総理と一緒に参拝したいとの要望も蹴り、ブッシュ大統領一人の参拝となる。

以上、扶桑社文庫　前野 徹著　「ついに、来た　第四の国難」　ISBN4-594-04554-5 定価：本体６１９円　より抜粋

[3048 へのレス]Re: 靖国参拝

投稿者：隠居 投稿日：2004/08/14(Sat) 20:22

花散里さん、靖国神社ご参拝、残暑きびしい中たいへんご苦労さまでした。

ご長男の靖国観、ご立派です。あなたの場合「親から子へ申し送るべきこと」の大事な一つが確実に送られているようで結構ですね。
昭和２０年のわが国男子の平均寿命は「２３才」でした。

前野徹先生の本は日本人必読の檄書です。「日本の敵は日本人」もどうぞ。

波平さん、ご参拝ご苦労様です。

私は３才年上の従兄弟が祀られており、伯母が亡くなった今は私が代参すべきなのですが、老病のため遠出がならず、毎年八月十五日に遥拝しております。
シナ事変の際は戦死者の遺骨が帰国していましたが、大東亜戦になると遺骨が戻ったのはごく少数、だからこそ故郷の墓は石碑のみであり、「英霊」をお祀りする靖国の意義がつよいわけです。
仰るように靖国を政治的な「踏み絵」にする一部マスコミには怒りを感じます。あと○十年経てば、「普通の国」になれるのでしょう。

[3048 へのレス]Re: 靖国参拝

投稿者：波平 投稿日：2004/08/14(Sat) 21:39

＞花散里さん・真改さん・ご隠居さん
私なりに考えるとこの問題を複雑にしている要因は政教分離の問題ではないかと思います。戦前の神社制度ですが明治四年の太政官布告により１０万以上の神社を３つに分けました。
①神宮－伊勢神宮(内宮・外宮)・・単に神宮と称している明治神宮や平安神宮とは違います。これは国家の宗廟としてのもので内務省の管理です。祭事をつかさどる神宮司庁の長である神宮祭主は皇族又は侯爵で親任官のポストでした。
②官国幣社－官幣社(皇室の祖神その他を祭り、大社５８・中社２５・小社５・別格がある)と国幣社をあわせた呼び名で官幣大社を筆頭に七種の社格に分けられました。天皇を祭る神社を神宮と呼称することが多いようです。大社は石清水八幡宮をはじめとして台湾神社・樺太神社・朝鮮神宮などがありました。別格官幣社は臣下を祭るもので靖国神社はここに含まれました。その他、東照宮や湊川神社等２５社。靖国は内務省管轄ではなく海陸軍の共同管轄なのですが不思議なことに当時の「職員録」では陸軍省の欄に記載されているようです。別格の意味は大中小のいずれでもないというだけで社格としては官幣小社と同等とされていました。
③その他の神社－民社とよばれた府県社・郷社・村社・無資格社などで昭和１４年には従来の招魂社を護国神社とし、府県社・郷社と同格とされました。

昭和２０年１２月マッカーサー元帥から神社神道の国家からの分離が指令され２１年２月以降神社は宗教法人として発足することになりました。

皆様ご存知のとおり靖国神社はその創建から戊辰戦争以来の国難に殉じた(いわゆる官軍のみというのがわたくしにはちょっと気にいらないのですが・・・)人々を祭ったものです。しかし前述のようにその管理はあいまいで戦後の信教の自由とあいまって事情をさらに複雑にしているように思います。神道が宗教かどうかについては私なりに考えもありますが・・・少数ではありますがクリスチャンの軍人もおりましたから遺族の中には祭祀を辞退されたかたもいらっしゃいます。欧米の国々よりも近隣特に半島と大陸の国の政党にとっては「日本の侵略」を防いだというのが一枚看板ですから自身に都合のよいことだけを声を大にしてとりあげるのはむべなるかなと感じます。

現在中・高の授業でこの問題をどのようにとりあげるかはなかなか大変な問題です。これをつきつめると明治はおろか幕末までさかのぼらざるをえないからです。私の経験でも現在大陸・半島からの生徒がいますし過去にはアメリカ(ユダヤ系の学生は最も優秀でした、その他にも複数です)・オーストリア・インドネシアからの留学生もいました。私の学生時代の先生は神道界の重鎮でしたしそのご紹介で卒業生の中には現在も靖国神社に奉職しているものもおります。又先輩は中国の青島海軍航空隊で終戦を迎え、毎年戦友と靖国に参拝しています。先輩の右足は空戦でくるぶし付近に貫通銃創をうけました。戦後三上卓氏(五・一五事件の三上海軍中尉でわたしはその短冊をいただいています)や先頃亡くなりました四元義隆氏(血盟団事件に連座し戦後は歴代首相のブレーンとして知られていました)とも関係したようです。戦後初の選挙で三上氏が出馬した時、その手伝いをしたそうですが三上氏は演説もせず尺八ばかり吹いていたそうです。三上氏の先生が旧制山形高の森先生とおっしゃって京都帝大ボート部出身・バックに流れる琵琶湖周航歌で思い出してしまいました。いろいろと先輩から当時の話を聞くうち、大東亜戦争の真の原因、欧米列国の政略にはまった日本の無策について考えるようになりました。最近のテロリズムは行きすぎた民族主義の所産でもありますがそこに先進諸国の政治経済事情がからんでいるのは承知のとおりです。皆様はだいぶ前エジプトのアスワンの神殿で日本人の新婚旅行の方々が銃撃を受け多数亡くなった事件をご記憶されているでしょうか？夕刊には多くの披露宴での写真が掲載されていました。そのトップに受け持った生徒の顔を見いだした時の衝撃は忘れられません。それぞれの立場で主張もあります、中には相当に頑迷で不愉快きわまるものもあるのはアジアカップを見るまでもありません。私は歴史の話をする時に遠くを見る目と近くをみる目を忘れないようにしたいと思います。せっかくの楽しい掲示板に長々と個人の考えを書き込みましたことお詫び申し上げます。このようなことを書いてよいかややとまどいながら記入させていただきました。

m(_ _)m

「昭和戦前期の日本(吉川弘文館)」を参考にいたしました。

[3048 へのレス]Re: 靖国参拝

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/14(Sat) 22:50

いつも皆さんに教えられ、知らないこと教えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

書籍では、隠居さん、花散里さんにご紹介いただいた『前野徹先生の本』を明日にでも、さっそく探しに出かけてみます。

[3048 へのレス]Re: 靖国参拝

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/15(Sun) 01:39

＞波平さん
私が神社で手や口を清め頭を下げるのは、靖国神社に参拝する時だけです。
私にとって靖国神社は宗教施設では無く、今の私たちのために亡くなられた方々に対し、自然に頭が垂れ、手が合わさるのです。（先祖に対する気持ちと同じだと思います）
私は所謂「宗教」が嫌いです。
波平さんの教え子の命を奪ったイスラム原理主義も嫌いですし、今日辺り靖国代替施設に対する調査予算計上を要求するであろう「連立政権内の某教団」も大嫌いです。
遊就館では、小泉信吉大尉の遺影と出会えました。
意志と責任感と誇りを持ち、まっすぐに前を見ていた日本人の顔でした。

＞真改さん
お勧めのＮＨＫの番組を、見ました。ナレーターが「強制連行」を連発するのにはちょっと閉口しましたが、良い番組でしたね。
大刀剣市で上京されるときには、また靖国神社に参拝しましょう。
今年は私もホテルに泊まる積もりですし車も出しますから、いっそ靖国神社近辺のホテルに泊まって、朝一番に参拝しませんか？

＞ご隠居さん
茶房で相席になったご婦人の話を聞いていても、今も多くの人々が大切な人に会うために靖国神社を訪れていることが分かります。
代替施設が靖国神社に取って代わった時、精神的に日本という国が滅びるのでしょう。
私の子供たちに対しては、これからも私の持論である「子供は親の言うことを聞いて育つのでは無く、親のすることを見て育つ」、で接して行きたいと思います。

「日本の敵は日本人」、悲しい言葉ですね。

[3048 へのレス]Re: 靖国参拝

投稿者：隠居 投稿日：2004/08/15(Sun) 09:41

花散里さん
＜私にとって靖国神社は宗教施設では無く、今の私たちのために亡くなられた方々に対し、自然に頭が垂れ、手が合わさるのです。（先祖に対する気持ちと同じだと思います）
＜私は所謂「宗教」が嫌いです。

今日辺り靖国代替施設に対する調査予算計上を要求するであろう「連立政権内の某教団」も大嫌いです。

これはもう一度ご再考ください。

欧米では「無名戦士の墓」として、遺体を埋葬した墓地に戦没者を祀ります。ですから、遺体の確保に国をあげて努力します。しかし、墓地は警備されているものの、宗教的祭祀はなされていません。
これに比べ、靖国は「神社」であるがために、英霊は祭神となり、これにお仕えする宮司が年中おまつりしています。

そしてわが国の「神社」ですが、これは全国津々浦々に鎮守様として祀られ、初詣や春夏の祭礼、七五三参りなどのように、各地の年中行事の核になっています。
これはキリスト教とも違い、ましてやイスラムのような「原理主義」に結びつくような宗教とは大いに違います。

ですから､靖国は一般の宗教法人法による神社でなく､特別法人にできればいいと思うんですがね､。

[3048 へのレス]Re: 靖国参拝

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/15(Sun) 18:05

＞ご隠居さん
私の想いをうまく説明できる自信がないのですが、もちろんご隠居さんの仰ることは充分理解できます。
私自身の頭の中では、ご隠居さんの仰ることとそう大きく違ったことを考えているつもりは無いのですが・・・
今は、ご隠居さんに言葉で説明できない自分が、歯がゆい限りです。

[3048 へのレス]Re: 靖国参拝

投稿者：波平 投稿日：2004/08/15(Sun) 19:51

＞花散里さん、真改さん、ご隠居さん
皆様の思いに大きな差はないように思います。「国難に殉じ、今日の日本を築く礎になった人々に敬虔な祈りをささげ感謝する象徴的な場所」という認識のように思います。靖国に参拝する人が好戦的なわけではありませんし、むしろ特定のイデオロギーによって一律に教育された国々の恐ろしさを感じる次第です。現在の高校では場合によっては３年間で日本史の授業が１年間・週２時間でもよいとされているのですがこれでよいものやら・・・。

[3048 へのレス]Re: 靖国参拝

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/15(Sun) 23:29

花散里さん。ＮＨＫの番組、たしかに連発は感じ悪かったですよね。
大刀剣市での靖国参拝企画、よろしくお願い致します。m(__)m。

さて、ＮＨＫの番組、なかでも特攻隊の生存者である３人の方が、意見を述べてちょっとした議論になっているのはとても印象が強かったです。
戦後の多くの情報を得た今だからこそ、過去を振り返って勝てる戦争ではなかったのだと一方が言い、それは、あのときに国を信じて死んでいった戦友を冒涜するものだという一方の戦友。
なにか胸が苦しくなってくる一場面でした。

今日のＮＨＫスペシャルは、子供達の戦争だったと思いますが、職場行事の阿波踊り参加のために、ビデオで後日みることになりました。
この子供達の戦争はまさに父の世代のことでありますので、父と一緒に見て、父の話も聞いてみたいと思います。
昭和一桁の世代でも、戦争に行った人、小学生だった人など様々です。
私が知らない子供の戦争を父と一緒にみてみたいと思います。

[3048 へのレス]Re: 靖国参拝

投稿者：内記 投稿日：2004/08/16(Mon) 09:17

＞ご隠居さん
花散里さんは
『靖国は-すめらおほもとを 【社稷】（しゃしょく）- である』
と仰っておられるのだと思います。

「社稷墟となる」社稷がなくなるということは国が滅ぶのと同意ですね。
大昔、征服者が入ってくると、まずやることは社稷を焼き払うことでした。
コミュニティが小さい頃『村』＝【国】でしたのである意味「鎮守の杜」は『社稷』であったとも云えましょう。ご隠居さんの云われる鎮守様ですね。

靖国を賤しめる人々は護国の英霊を屈辱することはもとより社稷を焼き払い【征服者】たらんとする心理が見え隠れしますので、私にとって同胞ではありません。この感覚を教育で訓練できるのか正直わかりません。

毎年８月15日は反省の為おとなしく自宅謹慎の日です。
【祖国をこんな国にする為に、英霊は戦いそして戦死したのではない】

[3048 へのレス]Re: 靖国参拝

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/17(Tue) 23:38

＞波平さん、内記さん
私の言葉足らずを補っていただき、どうもありがとうございました m(__)m

[3033] 今回（第１８回）の特別重要刀剣に指定された「額銘の延寿国村」

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/10(Tue) 22:24

今回（第１８回）の特別重要刀剣に指定された「額銘の延寿国村」について、日本刀・刀装具の研究を主催されている伊藤三平さんのホームページに載っています。

かいつまんで言いますと、昭和４９年（１９７４年）の第２２回重要刀剣に「無銘　国村（附）在銘茎尻」で指定されているものが、今回額銘となって特別重要刀剣に指定されたというものです。

詳細は日本刀・刀装具の研究をクリックして下さい。
非常に興味深いものです。

[3033 へのレス]「額銘の延寿国村」

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/08/10(Tue) 23:45

何か…イヤーな気持ちになりました。
さらに驚いたのは茎尻自体が昭和になってから切られていたということ。
お持ち主がどういった意図でこうしたのか「額銘」にしたのか、経験の浅い僕にはよく理解できません。

[3033 へのレス]Re: 特別重要刀剣の指定とは・・

投稿者：内記 投稿日：2004/08/11(Wed) 00:42

伊藤三平氏の危惧に同意します。

・・・この延寿国村は・・・切断された茎尻に銘が残っていたものを【H12 年 6 月から H14 年 10 月までの間にその切断片を細工して】額銘にしたあと特別重要に指定された・・・
と茎の注意書きが【特別重要刀剣図譜】に記載されるのが道理と考えます。

近年の刀剣鑑定の見識が問われる“踏み絵”になる可能性も。

[3033 へのレス]情報化社会の中で・・・

投稿者：内記 投稿日：2004/08/11(Wed) 02:42

今日も熱帯夜で・・・安らかな眠りとは程遠く・・・
先ほどの投稿に自問自答を重ねると、ふとこんな逆説も・・・

つまり、額銘“国村”を見て『ちょっと待った～　！』と鑑定できるのだろうか。物証で判断することは、物証がない時・・は　？

情報をたくさん持っていると賢くなったかのように錯覚します。また早く収集するすることを能力と勘違いしてしまいます。
迅速に多数の情報を保持しても自分で考えて捨取選択し自分の知識にし知恵として処理できなければ只のデータ。ノイズのようでもあります。

さて、今回の改造【額銘】の是非にあたって“外的情報”以外の自分の見識・知識・知恵は動員されたのか。本当に自分の意見、判断だったろうか？　よくよく考えなければならないのではなかろうかとも。

一昔前までは情報収集には【時間と手間】が必要でした。然るに“判断”にはそれ相応の重みがありました。

刀剣の歴史と同じ長さの薄っぺらな正義感など一蹴されてしまう裏の歴史もあるのでは・・・と・・草木も眠る丑三ツ時に考えた次第です　(^_^;)

[3033 へのレス]Re: 「額銘の延寿国村」

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/08/12(Thu) 10:12

以前に同じ刀で重要刀剣に２度指定された大磨上げ無銘刀を
ご存知でしょうか。１度目に指定された「きわめ」が恐らく
その刀を所蔵された方が納得が行かずに、２度目に本阿彌家の
古い折紙を附として添付し２度目の審査に出したところ
折紙どおりの審査結果で合格したということです。

今回の額銘「国村」は登録証は取り直したのでしょうか？
無銘から額銘になったのですから・・・・・・・・・・
何れにせよ、既に発行された重要刀剣指定書との記載内容が
若干相違してきますよね。
ちなみに平成１２年から平成１５年までの重要刀剣指定品の

中に額銘「国村」の指定品はありませんでした。
要するに額銘「国村」としては指定されていないということ
なりませんでしょうか？
そうなると、特別重要刀剣審査に出す資格要件が無いようにも
おもいますが・・・・・あくまでも素人考えですが・・・・・・

こてつさんが仰るとおりなんかイヤーな気持ちになりますね。
また、内記さんと同様に伊藤三平氏の危惧に同意いたします。

[3033 へのレス]Re: 「額銘の延寿国村」

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/12(Thu) 16:54

私も、額銘に改造したこと自体、それは良いことなの？と考えますし、『要するに額銘「国村」としては指定されていないということ』と思いますので、重要刀剣指定品としての国村ではないにも関わらず、特別重要刀剣に出すことができるのか？参加資格があるのかと感じました。

このあたりのことをきちんとしないと、審査の意味ってなんなのかと考えてしまいます。
たまたま今回のことが世間に知れたわけで、こんなことが他にもあるのかと思ってしまいます。
そして、これから刀剣趣味をはじめようとする人になんと説明するのかとも思います。

[3033 へのレス]Re: 今回（第１８回）の特別重要刀剣

投稿者：内記 投稿日：2004/08/12(Thu) 18:21

＞真改さん、こてつ。さん、鬼丸さん
まだ、日があるうちにこんなお話・・・。

おばけ。のお話ですよね。
丑三つ時なら構わないと思って投稿したのですが、ついに白昼のお話ですネ。

さて、お化けの正体は明かされるのでしょうか　(ーー;)

[3033 へのレス]お、おばけ！？

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/08/12(Thu) 21:01

今年は例年以上に暑いせいか“お化け”がアチコチに現れているってことでしょうね～。
そういえば「鑑定団虎徹お化け」もいましたっけ。
今回は「額銘国村お化け」。
…化かされたくないですねぇ…(;^_^A

まずかったらサクサクッと削除しちゃってくださいm(__　__)m。

[3033 へのレス]Re: 今回の特別重要刀剣に指定された「額銘の延寿国村」

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/13(Fri) 10:34

確かに、皆さんの仰るとおり後味が悪いですね。
そもそも、「昔の鑑定家に銘が悪いと言われ」たために、銘のある部分を切り取るというのが理解できません。
普通は、銘消しをするのではないでしょうか？
伊藤さんのＨＰにある、
１．切断されたままの状況の方が、国村の生ぶの姿がわかる。
を逆に読めば、切断した断片を隠してしまえば「生ぶの姿がわからなくなる」わけで・・・
延寿国村は来国行の外孫との事なので、そもそもの切断の動機は「姿を分かりにくくして、あわよくば国行と極めさせる」気持ちがあったのではないでしょうか？
それでも、結局のところ国村としか極められず、断片を付属して重要刀剣審査に望んだ。
まぁ、私の邪推ですけどね(^^ゞ

でも、その後の「額銘」の理由は分かりませんね。
本当に、「額銘にした方が切断片をなくさずに済むし、収まりがいい」、などという理由なんでしょうか？

[3033 へのレス]Re: 特別重要刀剣に指定された「額銘の延寿国村」

投稿者：法城寺 投稿日：2004/08/13(Fri) 11:54

興味深いお話、ありがとうございました。
帰宅したら昔の銀座情報ひっぱりだしてみます。

[3033 へのレス]額銘刀剣に思う

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/14(Sat) 11:21

この刀の悲劇は昭和に入って一度、平成に入って一度と、最低二度にわたって茎に手を加えられてしまったということです。

同じ刀なのに三通りの銘の資料を持つ？ことになったわけですが、刀としては価値が上がったのでしょうか？
価値とは売買上の価値、歴史を伝える刀としての価値。生の価値。等々。

確かに重要刀剣から特別重要刀剣にはランクが上がりました。
それが、この刀剣に対してプラスになったのでしょうか。

この刀がこれから目に触れる機会があると、人々は『あ～、あの額銘の国村ね！』と様々な反応を示すはずです。

そして、他の刀にも言えることですが、額銘状態が必ずしも古いとは限らないということです。なんといっても、ここ二三年のうちに額銘になった刀で、特別重要刀剣にまで出世した刀が現に存在するわけなのですから。

[3033 へのレス]刀剣美術誌

投稿者：兜鍬形虫 投稿日：2004/08/14(Sat) 17:53

「刀剣美術」第５５０号（２００２年１１月号）に、
「十月本部定例鑑賞会」の鑑定刀１号として出品されての講評が
掲載されている。
とのことで本を見ましたが、額銘改造のこと重要刀剣指定品
であるとのことについてはなんら触れられておりませんでしたね。

[3033 へのレス]冷静さが大切

投稿者：越中国住人 投稿日：2004/08/14(Sat) 21:05

日本刀に限らず美術品は、出来るだけ姿を変えないと言うのが、保存の原則だと思います。今回の件も出来れば額銘にせず切断された茎とセットで保管してほしかったと思います。この改造について私自身は、不本意であると考えます。
ただ、審査に関しては金象嵌銘、額名、折返し銘は、何が書いてあろうと何が付けてあろうと大磨上無銘と同じ扱いとされると聞いています。
刀身の出来に関して特重の基準を満たしていたことが合格の大前提で、在銘ならともかく無銘が額銘になった事で在銘と見なされ評価が上ることはありません。
協会としても出来れば重要の審査の状態で特重に出して欲しかったと思いますが、持ち主の意向が最優先されるのが当然で協会が、強制的に改造することを止める権限はありません。
重要の指定当時と違っていても登録書の記載変更がなされていれば、現行の特重の審査基準を満たしていれば審査不本意であっても持ち主に「これは本来やるべきではない行為だ」と言うコメントを付けて審査を通すのが公平だと思います。
審査上許されないのは、この刀に、来国行などの格上の銘を切ったり付けたりした場合でこれは偽銘となります。
また、鑑賞会の説明は、作風や見所を勉強するための物で個別の欠点について文章で触れる必要は無いと思います。欠点を強調すると鑑賞会という多数の人が手に取って鑑賞する場に愛刀を提供して下さった方に不愉快な思いをさせてしまう結果となり次回から鑑賞刀の提供者が減るという事にもなります。
　実際に鑑賞会や大会などの企画で鑑賞刀の調達を手がけたことのある人なら鑑賞刀を用意するこ

とが如何に難しく大変か良く分かっているはずです。
たくさんの人が手に取らない美術館の展覧会でさえ自分の持ち物を貸すのをためらう人が多く、ましてたくさんの人が手に取る鑑賞会には貸したくないと言う人が大多数です。
協会本部が毎月の鑑賞会や支部への貸し出しの刀の調達でどれほど苦労しておられるかもう少し考えるべきです。
　今回の件では、だれもどういった経緯で額銘にされたのかと言う点を確認した人はおらず、誰もが「美術品の健全な保存という正義感」のもとで冷静さを失い推測で感情的な発言しておられると思います。
　額銘は、いつの時点で行われた物であれば許されるのか？彫り物は、制作されてから何年してから彫ると後彫りになるのか？研磨による欠点の補修はどこまで許されるのか？など冷静に議論をしていく必要があるのではないでしょうか？

[3033 へのレス]私の意見としては

投稿者：真改 2004　投稿日：2004/08/14(Sat) 22:45

審査に関しては金象嵌銘、額名、折返し銘は、何が書いてあろうと何が付けてあろうと大磨上無銘と同じ扱いとされる
＞ということは、これらの銘に関しては審査上は、銘が刀身と異なる場合であっても、良い意味で無視していただけるということですか。そうであるなら、生茎で刀身と銘が異なっていても、無銘扱いでも良いような気がします。銘は偽名であるが、刀身鑑定は○○であるというように。

また、現行の特重の審査基準とは、茎を改造していても可能ということでしょうか。

さて、今回の件に関して個人的には、まったく感情的にはなっておりませんし、むしろ冷めた感じて見つめております。
投稿の表現でそういう印象を与えてしまったのなら、それは本位ではありません。
越中国住人さんのご意見も一つの意見としてなるほどと拝見しております。
多くの人が、多角的なたくさんの方の御意見を待っていると感じますし、その中には日刀保のなんらかのコメントがあればもっともっと勉強になります。
ここに日刀保が直接コメントをくれるはずもなく、それは期待が大きすぎでしょうが。

ご紹介した伊藤氏のホームページにもありましたが、最初に今回のことを示した方がおられるように、疑問を感じる方もたくさんいると思います。

また、鑑賞会の説明のこともおっしゃる通りと思いますが、近年あとから額銘にしたことを説明することは欠点になるということでしょうか。このあたりのことは、正直どうなのか、私にはわかりません。

私の気持ちは、伊藤氏の言葉をお借りして表せば、

『「特別重要刀剣に指定してもらう為に改造した」とは思いたくない。「額銘にした方が切断片をなくさずに済むし、収まりがいい」という程度の動機で改造したのだと思いたいが、もし相談された人がいたのならば見識を持ってもらいたかった。もっとも特別重要刀剣の審査の場で、このような議論があったのだと思うが、そのあたりのことについては部外者であり、私にはわからない。

今後発行される「第１８回特別重要刀剣図譜」に、「この国村は、元は切断された茎尻に銘が残っていたものであるが、それを額銘にしたものである」というような注書きが入ると信じているが、一筆したためておきたい。

という、最後の文言に尽きます。

[3033 へのレス]正直不愉快です。

投稿者：内記 投稿日：2004/08/14(Sat) 23:04

＞今回の件では、だれも・・・冷静さを失い推測で感情的な発言しておられると・・・

自分の発言には責任を持ちたいので、申し上げます。
私ははっきりと『・・・薄っぺらな正義感など一蹴されてしまう裏の歴史もあるのでは・・』とあえて自説と相対する参考意見も不本意ながら表明しました。
意図的な黙殺が度重なりますと少し考える事が出てきますので。悪しからず。

＞持ち主の意向が最優先されるのが当然で協会が、強制的に改造することを止める権限はありません。
【権限】の話など誰も仰ってはおられないのでは。

それとも権限が付与されるほどの【組織】になりたいとの願望でしょうか。
問題とされるのは日頃【健全な刀剣愛好家の育成】と大上段に謳っておいて、この審査過程や結果は【ダブルスタンダード】ではないのか。
だと思うのですが。

＞額銘は、いつの時点で行われた物であれば許されるのか
額銘は大磨上の結果起こるもので『武器ではない』現代に茎を切る理由は皆無です。従って大東亜戦争での軍刀磨上【額銘】以降は、議論の余地も無いはずです。

[3033 へのレス]それでもやっぱり「冷静さが大切」ですね(^^)

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/15(Sun) 02:39

＞皆様

冷静な議論をお願いしますね～(^_^;)

＞越中国住人さん
私の場合、今回の一件に対して少々茶化しております。もっと正確に言えば「馬鹿なやっちゃな～」ぐらいには思っています。（もちろん、私の邪推ですが）
越中国住人さんの仰る、
＞日本刀に限らず美術品は、出来るだけ姿を変えないと言うのが、保存の原則だと思います。
に関しては全面的に賛成ですが、
＞今回の件も出来れば額銘にせず切断された茎とセットで保管してほしかったと思います。
については、「切断」そのものが馬鹿な行為だと思っています。
また、彫り物や研磨による修正とは少々別の問題だと思いますので、
＞額銘は、いつの時点で行われた物であれば許されるのか？
につきましては、越中国住人さんの仰るとおり
＞日本刀に限らず美術品は、出来るだけ姿を変えないと言うのが、保存の原則だと思います。
ですので、許されるのは「刀が武器であった時までで、かつ必要があった時まで」と思います。（内記さんの意見と同じですね）
新刀の場合は、磨り上げや区送りがあると重要刀剣の対象にならないと、聞いたことがあります。これが本当ならば、その理由は「不必要な改造」にあると思われますので、今回の場合も同様であり、特別重要合格には疑問を感じる次第です。

[3033 へのレス]文章ではなかなか真意が伝わりにくいです。

投稿者：越中国住人 投稿日：2004/08/15(Sun) 22:47

　この手の話は、面と向かってお話できればもっと真意が伝わるのですが、なかなか思いが伝わらず不愉快な思いをさせてしまい申し訳ありません。私の表現力のなさもあり文章での議論の難しさを痛感しています。
難しさと誤解を招く危険ををを承知しつつ皆さんと議論する場が限られているのであえて書かせて頂きました。
　審査において刀身に明らかに偽名が切ってある場合は、刀身の出来を作風と様式論的に判断し極めて偽名については持ち主と相談して了解が得られれば消して無銘として指定するのだと聞いています。偽名のまま指定する例は、私の知る限りでは聞いたことがありません。
　銘の切断についても、そもそも鑑定家なる人に言われたからといって切断することは許されないと思います。こう言うこがなければ、しっかり在銘の国村として額銘にされることもなかったわけですから。
　今回の改造については、繰り返しますが銘の切断も額銘にしたことも個人的には許せません。しかし、その当事者から事情を聞くことなく結果だけを判断して批判することに疑問を感じているだけです。
凶悪犯罪であっても反抗に至る経緯や被告の主張を聴き事件の全体像を把握し厳罰にするべきものと酌量の余地があるものを区別するのが当然と考えます。

だれも額銘にした詳しい経緯が分からない以上、過剰に推察や憶測で論じることは慎むべきかと思います。慎重さを欠く非難はこの刀を更に台無しにすることになるのではないでしょうか？凶悪犯罪の被害者が多くのマスコミに揉みくちゃにされ必要以上に傷つく例と似ているように思います。

協会が持ち主の意向に強制力が無いという話も偽名や不正改造の相談を受けた際にはやめるように指導はすべきであるという思いで書きました。なにも権限が必要等とは一言も言っていません。健全な愛刀家を育てる為にも不正改造に対しては強く指導すべきであると思います。それでも、聞く耳もたずで改造を行う人は、協会も対処の仕様が無いと思います。

何がどこまで許されるのかと言う話も、戦後の額銘については議論の余地が無いと言われますが、議論の余地が無く誰もが当然だと思っているのなら額銘にする人はいないのではないかと思います。現代においても額銘にする事を良しとする人が現にいる以上議論は必要だと思います。

勿論、額銘に限らず現代の改造は出来る限り避けるべきであるというのが私の意見ですが。

今回の件については、私も疑問に思う事がありますので機会を見て直接協会に問い合わせしてみようと思います。詳しい事情が分からない段階で刀の実名を挙げての議論は控えたいと思います。ルール全般の話であれば参加します。

最後に鑑賞会の説明については、説明を書いた人は些細なこと、当然な評価と考えたとしても、作品を提供する人が不快と感じたら次回から提供を拒む人が多いのが現実です。理屈ではなく持ち主が不快と感じて「貸さない」と言ったらそれで終わりです。さりとても美点ばかりも強調できず解説文の執筆は難しいと思います。　実際に書いている人は良くお分かりと思いますが、ここまで褒めるとやりすぎか？この欠点は書くべきかどうか？などなど冷静な解説と持ち主への配慮には大変苦労します。

鑑賞会に企画参加している人は、参加者の皆さんのために数多くの作例を集めるために大変な苦労をしておられます。

[3033 へのレス]冷静なご返信に感謝致します。

投稿者：真改 2004　投稿日：2004/08/15(Sun) 23:12

越中国住人さん。冷静なご返信に感謝致します。
とかく議論は白熱しやすく、面と向かっての話ではなく、文章のやり取りであるので、真意を汲み取るのがなかなか難しいです。
こちらこそ、不愉快な思いをさせてしまったのでしたら、ご容赦下さい。

さて、実はすでに協会に電話で問い合わせた人があります。しかし、内容は額銘に関しては特に触れず、当たり障りがないという印象であったようです。回答された方のお名前も不明です。
越中国住人さんをはじめ、何人の方かはきっと協会へ電話や直接の会話の方法で、聞かれる機会があろうかと思いますので、先の話にはなろうかと思いますが、楽しみに待ちたいと思います。

さて、『何がどこまで許されるのかと言う話も、戦後の額銘については議論の余地が無いと言われますが、議論の余地が無く誰もが当然だと思っているのなら額銘にする人はいないのではないかと思います。現代においても額銘にする事を良しとする人が現にいる以上議論は必要だと思います。』

この点に関してですが、額銘にすることをよしとする人のご意見を頂戴できないと議論ができません。
私も、議論の余地はないと思っている方ですので、議論の余地ありという方のご意見をお待ちしたいと思います。
特に、今回の国村の刀で取った方法の是非に対して、お伺いしたいと思います。
架空の話では、よくわかりませんので。

また、私も協会に対して、機会があれば、今回のような額銘改造にたいしての協会の意見を特別鑑賞会などで講師がお見えになったときなどに、聞いてみたいと思います。

『今後発行される「第１８回特別重要刀剣図譜」に、「この国村は、元は切断された茎尻に銘が残っていたものであるが、それを額銘にしたものである」というような注書きが入ると信じている。』
この文言に近い内容があるかないかで、額銘改造に対する協会の考えが伺えるような気が私はいたします。
失礼にあたる文言でありましたら、削除いたします。

[3033 へのレス]追伸

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/15(Sun) 23:19

それと、特別重要刀剣審査の資格についてですが、
やはり、額銘にした時点で、重要刀剣指定品とは明らかにことなっているわけですから、指定された時と状態を異にした（この場合は茎を改造した刀）状態であっても、審査資格ありという規制事実ができてしまったわけですよね。

今後、このような茎を改造した重要刀剣があっても特重の審査資格はあるということが公になったわけです。

これは一つの大きな話題ではないかと思います。

[3072] 額銘の某特重について

投稿者：法城寺 投稿日：2004/08/16(Mon) 21:23

いろいろと皆さんのお考えを聞いておりました。
私なりの拙い疑問と考えですが、聞き流してくださって結構です。

まず重要審査合格以降に、持ち主の方が額銘にしたいことを告げた上で
協会に事前に申し入れすることはないでしょうか？重要刀剣ではあるが、以前から茎を切り取った謂れがはっきりしているということで仮に認可され変更されたとして、その上で特重審査を受け、そのことを学術見識のある方が認識されて、かつ「特重に値する上身の出来」であったなら協会認知のもとでの額銘であり、

特重審査の要訣を逸するものではなく資格もあり出来も良かったゆえの合格とはとれませんでしょうか。
私としては額銘にすることをとても簡単に決めたとは思えないし、また
審査する方が一人も過去の「茎を切り取った無銘の国村」極めの重刀に気がつかなかったとは思えないのです。重要図譜録・特重図譜録含め、審査に携わる方で当然所持されてる方も中にいらっしゃるはずだし。

要は、切り取りされた茎の保存方法の手段として額銘もよし、と判断の上で行われたことであれば、その是非は愛刀家として不満でも認定する協会としては「致し方ない」ということも方向性は違えどあり得ることではないでしょうか。あとは個人の「嫌だ」「容認できないこともない」「筋が通っていればやむを得ない」となるのではないでしょうか？今回は協会が「やむなし」と以前の重要と「変わりなし」との見解で審査した結果ではないのでしょうか？その意味では特重の文言に一筆必要とのご意見は賛成であり至極まともなことだとも充分承知しております。ただし、これも本当にそうであった場合のこと。
おそらく、越中様はこのへんのいきさつを抜きにして簡単に述べるのはいかがなものかという観点から書き込みをされたのではないかと推察します。
個人的にはこちらにいらっしゃる方と同様に額銘にしない方がいいかもしれないとは思いますが、逆にこの切断された茎尻だけがどこかに廻ってしまい、他の大磨り上げに額銘され「国村」の銘を汚すことになりはしないかという危惧もあります。
なんの説得力もない愚説に堕してしまい申し訳ないと思います。
くだらぬ意見を長々と書いてしまいました、ほんとうに申し訳ございませんでした。聞き流してください。

[3072 へのレス]Re: 額銘の某特重について

投稿者：内記 投稿日：2004/08/16(Mon) 23:28

＞法城寺さん、ご無沙汰致しております。

真改さんの提案
＞額銘にすることをよしとする人のご意見を頂戴できないと議論ができません。
に対しての【法城寺説】拝見しました。
法城寺さんは【切り取りされた茎の保存方法の手段として額銘もよし、と判断】の肯定派と拝察いたしました。

法城寺さんは
重文　東京国立博物館蔵の
青磁茶碗　銘『馬蝗絆（ばこうはん）』をご存知ですか。
釈迦に説法とは存じますが
【由来は、平重盛が宋の育王山に黄金を寄進したとき、住持仏照禅師から返礼としてこの茶碗を贈られました。その後、足利義政の所持するところとなったが、ひび割れがあるので、同じような茶碗を入手したいと中国に送ったところ、すでにこのような名品の青磁は作れないため鋲（かすがい）を打って送り返してきました。鋲があるところから、馬蝗絆茶碗といわれるようになりました。】-原色日本の美術より引用-

馬蝗（イナゴ）に見えるのでこんな名前が付いたと云われています。

繕いの技術をもってすれば雑作もないことを無骨なカスガイを填めて返品した【中華】思想はちっとシャラクサくもありますが、12～13 世紀の南宋龍泉窯の上作に対する“扱い”としては 550 年後の今日でも妥当と評価されています。足利将軍家においても美術品の所作を考え直したとのことです。美的とは云えない修理跡の茶碗が【重要文化財】であります。

さて、今回の【額銘　延寿　某】この茶碗とほぼ同世代の名品です。

現代人は（美術品に対して）進歩したのでしょうか？
憶測や邪推などの低次元の水掛け論でなくもっと根本問題として。

どんな個別事情や例外と言い訳してもあまりにも品がないのではなかろうか。

蛇足：
現代の冶金繕い技術を駆使すれば、【切り取られた茎】を接続する【ソケット】などちょちょいのチョイ！
ただし、原型に戻す意志があればの話ですが・・・。

[3072 へのレス]Re: 額銘の某特重について

投稿者：真改 2004　投稿日：2004/08/17(Tue) 00:44

なるほど。法城寺さんのご意見も可能性ありだと思います。

この場合、少なくとも協会のそうであったという経緯を刀剣美術誌などで公にする必要があると思います。
公にする義務のある機関であろうとも思います。

一方でこんなこともにあったそうです。また聞きなので実際にそうなのかといことは協会には確かめていませんが、ご容赦下さい。
『物故刀匠の現代刀作で為銘があり、所持者がそれを頼んで消してもらった。保存審査に出したところ、茎をさわってあり、不合格になった。』
こういう説明で、販売していた刀剣商があるそうです。

これが本当なら、協会の了解がないままに為銘を消したので、不合格になったのなら、今後は事前に了解を求めた上で消せば問題がないでしょう。
もしダメなら、為銘を消してはいけない、茎をさわってはいけないという理由もそのときに聞けるわけです。
額銘国村の場合であれば何百年という時代の茎をさわるわけですから、現代刀とは比較になりませ

ん。
それを協会が良しとするならば、茎をさわることを協会の許可というか責任において、この刀に対して何百年の状態を変えることに責任をもったわけです。
協会は世界のすべての刀に対して、そのような責任をもてるのでしょうか。
国村の場合、審査目的以前の問題として、協会が額銘改造の了解のサインを出したなら、すべての刀剣に対しての処置に関して、協会の了解の下ならそれは正しいことなのだとも言っている様に思います。

最初は偽名といわれた在銘の古刀で、それを信じないで頑張って研究を依頼して、最後に重要刀剣になった例を知っています。その刀を所有し、その方が重要刀剣にされたので、間違いない事実です。これを偽名として、銘を消していたとしたなら、なんとした損失だったでしょうか。
とても回復できる損失ではないといえませんか。

刀は一時預かって、後世に伝える役目をさせていただいているのが現所有者の私達の役目と、時によく聞く言葉です。
一時の所有者と一時の協会の判断でそのようなことが可能かという大きな問題もありえると思います。

私自身が書いていて、言いたいことがうまく伝えられないような文章になってしまいました。
分かりにくくて、申し訳ありません。

ただ、伊藤氏も危惧されていることですが、何の事情も知らない者が『特重の文言に一筆必要とのご意見』が実現されることなく、この国村を見た時、この額銘状態の銘を国村の一つの資料として受け取ることなんですよね。
本間薫山著『日本古刀史』（昭和３３年発行）には茎尻が切断される前の状態（国構えの上部も識別できる）で掲載されているのと同じようだということで、切断される前の資料も確かめられる状態でのこっているので、額銘国村の処置、なんとももやもやしたというか、引っ掛かりを残しそうで、気持ちの上ですっきりしたいと思いますね。

[3072 へのレス]追伸

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/17(Tue) 01:12

追伸ばかりで恐縮です。

多くの皆さんが額銘にした可能性として一番考えられているのが『切断された茎の散逸を防ぐため』ということです。

では、この理由が本当の理由であるなら、協会としての判断においては、額銘にするのが一番と判断したということですよね。

逆に言えば、額銘改造は散逸を防止するための協会の最良の方法として採っている方法である。
この場合も、額銘改造をするということを国村だけに特例を与えるには弱いような気がします。
だったら、他の刀でも改造を認めないわけにはいかなくなると思います。

他に、散逸を予防する方法はなかったのでしょうか。
たとえば、切断された部分の管理を協会に委託するとか。特重になるほどの名品なら管理料とかの問題もありそうですが、無理難題なことであろうとは一概に言えない方法ではありそうです。

いずれにしても、仮定の話ばかりで、真実は協会のご意見を聞くしかないわけですね。

[3072 へのレス]Re: 額銘の某特重について

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/08/17(Tue) 03:51

なかなかこの話題は尽きませんね(;^_^A
法城寺さんの説は大変好意的な性善説的な考え方ですね。
ひねくれている僕にはどうもシックリきません。

＞切り取りされた茎の保存方法の手段として額銘もよし、と判断の上で行われたことであれば…
…というのがどうにも…納得ができません。
仮定のお話ではありますが、果たして「茎」の保存はそんなに大変でしょうか？どこかに行くような物でもないと思うんですが…。

もし今回のような「額銘」が当たり前になってしまったら…最悪「額銘偽物」が作り放題になりそうな予感がします。
勿論そんな不心得者はいないと信じますが。
…でも絶対いないとは言い切れませんよね。

[3077] 問題の争点

投稿者：法城寺 投稿日：2004/08/17(Tue) 09:04

皆様、いろんなレスありがとうございます。
ただ一言申し上げておきますと、私自身は肯定派ではありません。個人的にはいやですねえ。

私が申し上げてるのは額銘にすることの良し悪しはひとまず置いて下記の争点を取り上げております。
額銘にすることの「許可」という表現を使ってしまったのは私の間違いです。個人所有物ですから茎の残片を額銘にすることは個人の問題であり協会が許可する、しないの問題ではありませんね。書き方が悪くもうしわけございません。
私は今回の審査合格の争点はそれ以前にあると考えてます。
すなわち、現在の所有者が額銘にするに当って、

「こうした場合、既に指定の重要刀剣として生きるのかどうか」
（重要証書が生きるのか）

ということをきちんと協会に打診したか、という点です。この刀は茎の残片が切断されたいきさつ、重要審査時にもそれが踏襲された上で合格となっているわけですね。それを踏まえて

「額銘にしても重要指定は生きる」

と判断され、証書に裏書などの手続きが追認されていればこの無銘国村は額銘となっても重要刀剣であり。それならば特重審査の資格は持ちえるわけです。
きちんとこの手順を踏み、その後特重審査に出された際に審査に当る学識経験者の方がそれを知った上で上身の出来を「特重としての価値あり、額銘やむなし」としたのが今回の合格ではないかなという希望的推測に過ぎませんがこれが私の考えです。

真改さまの言われる現代刀における銘消しとはニュアンスが違うような気がします。もっとも「許可」という表現を使った私の文章能力のなさによる誤解と思いますが、すみません。

で、個人的にはやはりこうした本来の姿をわざわざ変えることは好きではありません。ただ、上のように理解してみると、これがすなわち改竄額銘による偽物が氾濫にすぐ結びつくとは思えないのです。
出来のいい刀に額銘とっつけ新規発見のように見せ新規登録するのは昔からあること、今回の額銘とはまったく違うように考えてます。
「重要指定がこの時点で生きるかどうか」という問題点ご理解いただけますでしょうか。（もしこれがきちんと申し入れ・問い合わせもなしに額銘にされ、それが特重になっていたのなら、それは大いに問題です）

長々と書いてしまいました、申し訳ない。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：法城寺 投稿日：2004/08/17(Tue) 09:45

レスつけるところ間違ってしまった！
ついでに追加です。
↑のように私は今回の特重合格と、額銘に直したことは別なことと考えておる次第です。当然額銘にすべきではないと言う点では皆様と同じです。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：法城寺 投稿日：2004/08/17(Tue) 13:56

それから、昼休みに、なぜ持ち主の方が「額銘」に直されたのかを考えてみました。

これも推測ですがお聞きください。
この方は茎の改竄になることは充分わかっているが、せっかく残片ながら銘が残っているので「茎に銘がある状態に戻したい、その上で保持したい」という思いが強くなりじっとしていられなかったのではないでしょうか。もともと額銘は大磨り上げで銘が消えることを惜しんで行われたものですよね。
額銘にしなくても内記さんの言われる方法もあるにはありますが、現在この刀のあるべき姿は「「茎尻が切断された状態」に他ならない。逆にこれを崩さずに銘を茎に残すとなると額銘にするしかないのではなかったでしょうか？
これについて当然協会には打診したと思いますし「そのようなことはしなくても充分このままでもけっこうな刀です」くらいは言われたでしょうが、どうしても銘を茎に戻してやりたいの念が強く、協会としても「やめろ」とは言えないですから根負けしてそのまま重要指定も継続容認したのではないでしょうか。当然切断された銘が正真であり、かつこの刀から切り取られたものであるという過去の云われ、登録時から重要指定までその都度刀身といっしょに提出されたであろう残片を協会が見てきているという前提があってこそですが。
　言わば、まさに平成の額銘となったわけですね。

なんてことを思ったりしましたが、やはり私なら額銘にはしません。また、額銘にしたことが特重合格に影響したとも思えないです。こてつ。さん仰るとおり性善説ですかね（笑）。
まあ、実際のところは協会に問い合わすしかないでしょうねえ・・・。私としてもあまりこんなことは容認できないが、必ずしも悪い方向には考えたくないのですよ。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/17(Tue) 15:40

額銘にしたことが特重合格に影響したとも思えないです。＞このあたりの邪推を生む土壌を払拭するためにも、協会は経緯を刀剣美術誌などで公表するのが良い方向ではないでしょうか。

あれこれ想像でそれも良い意味悪い意味で言われつづけるよりも、しっかりとした方向性を見せるべきだと思います。

何にも言わないからこうなってしまうわけで、伊藤氏にご連絡を入れた方のように不信に思ってしまうわけです。
筋の通った判断なら誰もが納得する上の処置なら、何ら問題がないわけです。

額銘の改造の良否判断と特重審査資格という二つの問題を少なくとも抱えているわけですね。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：法城寺 投稿日：2004/08/17(Tue) 16:05

＞真改さま
最初に申し上げたとおり、私も「いきさつ」をしっかり公表することには賛成です。図付録にはぜひ「いきさつ」を記載してもらいたいものです。
仰るとおり「何も触れない」から、「あれ？これは以前茎が切断されていたものでは？」という疑問から尾ひれ羽ひれつくのだと思います。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/08/18(Wed) 00:33

持ち主がどんな気持ちで額銘にしたのか我々には知る由がありません。
ひょっとしたら法城寺さんの説のようだったのかも知れません。
しかしそれならば何故「登録」も直さなかったのでしょうか？
その上「保存審査」も「重刀審査」もパスして「特重」にご出世されては…。僕のような下衆の勘繰りされても致し方ないですよね…？
どうして「大磨り上げ　無銘」のままで特重審査に出さなかったんでしょうか？
額銘にしたならしたで何故そこで終らなかったんでしょうか？
「額銘」にした方が「特重審査」に通り易いと思われたんじゃないんでしょうか？

ああ、オレって本当に下衆…(´д｀、)

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：法城寺 投稿日：2004/08/18(Wed) 00:56

＞こてつ。さん
けっして下衆の勘繰りではないと思いますよ。そう思われる方が普通ではないでしょうか？
登録も再登録したかどうかですが、この点も今は不明で登録やり直していないとも断言できないわけです。越中国住人さんが仰る「冷静に」の意味は真実がわからないうちはどうとも言えないというところにあり、私の仮説も推測の域をでないので一つの考察でしかありません。再登録に関してもそれを踏まえた上で協会とも協議した結果であったとしたら重要証書の文言を書き換えるか追認の形で重要含め審査不用となると思います。
ただし仰るとおり、こうして重要刀剣を存続したとして特重の審査を受ける必要性があったかどうか、結果合格したことに疑問や批判はどうしても生じます。これは「いきさつ」を講評しない限りついてまわるものｄしょう。
その意味での「一筆」は必要であると言うのは誰しも賛成するところであります。

なんか独りよがりの書き込みばかりで申し訳ない。内記さんも私が肯定しているわけではないとご理解いただけましたでしょうか？

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：出戻り太郎 投稿日：2004/08/18(Wed) 01:30

　こんばんは。書き込みをさせていただきます。
額銘にするのはダメだと言う方が殆どのようで驚きます。
協会のほうから「額銘にした方が良い」と言うアドバイスがあったとは
皆さん思われないのでしょうか？？
　良い刀を審査に出した場合、研磨の職方を協会が紹介してくれたり、
上身は良いが銘が悪い時等は、銘を消す事をアドバイスしてくれます。
今回の額銘も、刀匠が額銘の加工を施したわけでしょうし、このクラスの刀を加工するとなると、有名刀匠が行っていると考える方が自然ですし。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：内記 投稿日：2004/08/18(Wed) 02:17

へそ曲がり故かオツムが足りない為か正直に申し上げて法城寺さんの考え方が“理解”できません。
問題点抽出にあたりその前提条件が既に理解不能です。申し訳ありません。

“中央官庁（又は族議員）”に公開入札無しで受注を貰った“業者”の一件がマスコミに洩れ、【入札があったのか、入札基準はどうだったのか、公開する義務があったのか】と不透明性が騒がれている。の例えは不謹慎でしょうか。
私の理解は、【特別重要】にしたい人とさせたい人の利害が一致しただけ。と冷めています。

いつも申し上げることで恐縮ですが、
美術品の【美】をいかに維持継続するのか派（日本の財産）と
“商品”として【交換価値】（値段＝物の価値）をいかに引き上げるか派（自分の財産）では土俵が違う。

両者は目的が異なる為、取り扱いも当然考え方も異なって致し方ないと思います。
一番始末が悪いのは前者の衣をかぶった後者や
両者の折衷と称しあるときはＡある時はＢという“価値相対論者”ではないでしょうか。

私のスタンスは一貫して前者ですが、子供ではないので世の中は後者で動いているのを認め、『不愉快だ、下品だ！』とダダをコネ、ヒンシュク覚悟の少数派と居直るしか術がありません。
青磁茶碗の心意気伝わらず残念でした。

＞出戻り太郎さん
“協会”って誰さまでしょうか？
100 年後、500 年後にも“協会”さまってあるのが前提ですか。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：内記 投稿日：2004/08/18(Wed) 02:52

追伸：
言葉足らずでした。

＞“中央官庁（又は族議員）”に公開入札無しで受注を貰った“業者”の一件がマスコミに洩れ、【入札があったのか、入札基準はどうだったのか、公開する義務があったのか】と不透明性が騒がれている。

法城寺さんの考え方が理解できないと云うのは
①【工事】は本来必要でなかった。と考えている
②工事の“良し悪しはひとまず置いて”
この一件にはこういう“経緯”があったと推論出来るので、少しはやり方も理解でき、事後とはいえ【情報公開】すれば免責でも良いのでは・・。

そもそも必要のない【工事】の入札手続きの論証や議論って・・？
工事は無効だが手続きは有効って・・・？
手続きは有効と論陣を張るには工事は有効でなければ単なる言葉遊びになってしまうと愚考しております。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：法城寺 投稿日：2004/08/18(Wed) 12:39

＞内記さん
ちょっと私の考えとはニュアンスが違うようです。
まず真改さんを含め何人かの方が「額銘にしたことで前とは別な刀のはず。これだといきなり特別重要審査を受ける資格はあるのだろうか？という問いに対する一つの見解が「重要指定を生かす」というくだり。
重要刀剣として存続できているなら特重を受ける資格はあるというのはおわかりいただけますよね。その方法の例として愚考した見解を述べただけです。

ただ額銘にした理由ははっきりわからないから言い分を聞いてみたい。ひょっとすると致し方ないと渋々でも容認せざるを得ない（まあ、あんまり考えつかないが）かも知れないし、逆に「なんだやっぱりたいした理由はないのか」と完全否定に立つかも知れないですよ。そのあたりは一応聞い

てみてから私個人は判断したいという見解を示しただけ。また自分なりになぜを考えてみただけであり、けっして肯定してませんよ。これを皆さんに押し付ける積りも論陣張って誰かを言い負かそうなどという気は一切ありません。

それと上にも書いてますが、額銘にしたことと特重審査および合格については分けて考えているわけです。理由はあまりはじめからうがった見方をしたくない。ただそれだけのことですよ。当然内記さんのような考えはあってしかりですが、あくまで私は最初からそうは考えたくないと思っているだけのこと。こてつ。さん曰く「性善説」なのかもしれませんが（笑）。

基本的に最初の書き込みから一貫して「個人的には好ましいとは思っていません」旨申し上げてますよ。そのあたりはご理解いただけませんでしょうかね。
最初から私のことを肯定派と決めてかかられてるようですが他の方も今までの書き込み見てそのように感じられたのでしょうか？

[3077 へのレス]Re: 額銘特重への感想

投稿者：隠居 投稿日：2004/08/18(Wed) 13:40

皆様の書き込みを拝見していますと、一二のお方を除いて云いたいことをズバリ云わないで遠慮されているような、もどかしさを感じます。もちろん協会に属しておられるお方が大半であるからと想像します。
しかし、こういう問題について直裁に発言できないような研究団体であればアマチュアであるわれわれが所属している必要はないのであるまいかと思います。

また、越中国住人さんは、結果だけから云々することは如何なものか、（茎の変造を行うに至った）事情を知った上で、意見を云うべきではないかと仰り、犯罪における場合にも犯人の事情による情状酌量のあることをその理由に挙げておられます。
これはいかに田野邊先生のお弟子さんであろうと、このご発言がもし協会審査の中枢におられる先生をかばっての発言であるなら、却って先生の信用を傷つけることになりはしないかと考えます。

【額銘国村の特重昇格について、私の感想】
① まず、茎尻を故意に切断した延寿国村が重要刀剣に指定されたこと自体に、私はいかがわしさを感じます。
② さらに、切断された茎尻を元の位置に戻すことなく、茎の中央近くを大きく切除開口し銘の近傍を額縁状に（三辺を）切断嵌合し熔接した接合部分をどうごまかしても、錆び付けを含め、今出来の工作であることは明白でしょう。
このような変造茎の刀剣を特重に認定したことは、審査への信頼が大きく揺らぎます。
③ そもそも額銘とは、古刀末期から江戸初期にかけて長寸の太刀や長巻を磨上げる際に行ったもので、それがなされるためには「大磨上」して自らの佩刀にするというそれを行うにふさわしい持ち手の存在があったからこそなし得たわけです。

今日この刀を「額銘」にしなければならない理由は微塵もなく、そこには不純な打算
のみが感じられます。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：法城寺 投稿日：2004/08/18(Wed) 14:47

う～ん、鶴の一声。
それでも私は今回の額銘直しと特重指定とは分けて考えたいです。
あまちゃんと言われても仕方がないですが、すべて疑ってかかると
この世界が暗雲になってしまう気がして。
その分自分の目を鍛えようと苦労してますが。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：内記 投稿日：2004/08/18(Wed) 17:23

ご隠居さんの“水入り”が入りましたのでこれで終わりにします。

法城寺 さんの名誉の為、言明致します。
法城寺 さんの云われていることは、【その通り】でございます。
発言内容に間違いはありません。
私が申しましたのは、考え方が論理的に理解できないということです。
これ以上は『不毛』と成りかねませんので失礼させて下さいませ。

【権威】と【権限】について久々に考えてしまいました。
権威と権限の分離を我が国の先達たちは知恵を絞って考え実効してきました。
権威と権限を同時にもった時、取り返しのつかない事になるとの戒めからでしょう。

【権威＝学術的信頼】と【権限＝鑑定・審査】に無理はないのでしょうか。
かの財団法人 30 年前の轍を踏まないことを心から祈ります。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/08/18(Wed) 18:01

改めて自分の読解力の無さ、また語彙の貧弱さ表現の拙さに凹んでしまいました。
色々な考え方がありますね、勉強になりました。
この続きは秋の大刀剣市、オフ会で…なんて、ウソだっぴょ～ん♪

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/18(Wed) 18:14

こてつさん。大刀剣市オフ会での激論(^^ゞを期待しております。

辛口爆発と参りましょうか！(~o~)。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：隠居 投稿日：2004/08/18(Wed) 19:11

法城寺さん、こんにちは。
「鶴の一声」は買いかぶりです。ですが、次のことを考えてみてください。

◎現在の特重は、（もちろん物にもよりますが一般的に人気が高く）旧重美よりも高価であること。
◎ われわれ一般人がこういう「額銘工作」をやって協会の審査に持ち込んだとして、結果はどうでしょう。まず、９９％救いようのないペケ品に化すこと間違いありません。
◎ こういう問題は夜の席で心安い刀屋さんに聞くと一寸した情報が貰えます。
◎ 私はこういう「工作物」を手にするとアラ探し（額銘部分の嫌な錆付けと茎尻の無残さ）に終始することになりますから、とうてい持ちきれません。ですからタダなら別ですが、お金を出してまで欲しいとは思いません。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：倭　士 投稿日：2004/08/18(Wed) 19:19<HOME>

皆さんこんにちは・・
暫く休憩している間に、何やら白熱してますね～！

　一個人としての意見ですが・・
偽銘であると思い茎を切った・・ 余り頂けない事ですね～。
額銘にせず　こう言うやり方はいかがなものかと・・

足利将軍家伝来・国立博物館蔵：中国南宋時代の青磁（龍泉窯）茶碗で
「馬コウ絆」と言う、物がありますが、今回の件でもこんな感じで繕い、原型を残せたのではないかと・・。〔切断された茎が短いので可能と思いますが？〕
（・・素人考えですが！）
　※ 詳しくは、博物館のＨＰを・・

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：法城寺 投稿日：2004/08/18(Wed) 19:35

なんとか出張にかこつける算段しますので、こちらの関西の方々の会合に出席させていただいても構いませんか？

＞内記さん
いろいろ考えさせられる良い機会でしたよ。わざわざかばい立てしていただきありがとうございました。自分の考えが甘いのはわかってます、でもやはり人を信じたい。この先はこういう信じられるこの世界になればいいと思ってるだけです。

＞ご隠居さま
お久しぶりです。相変わらず甘い考えですが、こういう性格は直りません。
ただ、良い方向に解釈しながら間違ったものを見抜けるような目を持ちたく勉強を続けますので今後ともご指導ください。

[3077 へのレス]誤解されてしまいました。

投稿者：越中国住人 投稿日：2004/08/18(Wed) 20:30

酌量についての見解を書いたのは、協会の審査についてではなく刀の持ち主に対しての話を書いたつもりです。
現代において刀剣の姿を不必要に変えることについては慎むべきと思いますが、その全てが同じ量刑ではないということを言いたかったのです。
例えば、現代刀に古名刀の銘を切る。作位が下の刀工の銘を消し上作の銘を入れる。などいわゆる偽物を作為的に作ったと言うのは重罪だと思います。
額銘を入れるにしても刀身が磨耗してどうしようもない刀の銘だけを切り取って刀身はしっかりしている健全な無銘の作に付け替えるなどと言うのはより多く批判されるべきと思います。
今回の場合は、明らかに銘と刀身は同じ刀の物で 100 パーセント悪意のなせる業と断定できない面もあります。悪意が合ったのか？ただ知識が無かったのか？持ち主の美的感覚が一般の感覚とは違っていたのか？持ち主の見解が無いままに結果のみを見て善悪判断をするのはどうか？と言いたかったのですが。
偽名、偽作作りは、酌量の余地無く非難されるされるべきですが、悪意でない可能性もある場合には慎重に対応すべきと考えます。この持ち主に悪意があったかどうかは知りようもありませんが、私は幸いにして詐欺的な人や悪意を持つ人と付き合いをせずに生活しておりますので頭から人を非難したり悪意があったと決め付けることが出来ません。
私は、悪意が 100 パーセントと認められない場合には、なるべく美点を見るようにしています。刀剣商やそれで商売をしているわけではないので素晴らしい点や美しいに主眼を置いて見るほうが楽しいと思います。

刀剣美術合本１で本間順治先生はどんな名刀名物にも探し求めれば大概は欠点を見出されることは、人間も同様である。私どもは、刀に対してもお互い同士も、まず美点を見よう。いわゆるあら探しというものがいかに人生を淋しくすることでであろう。といっても傷や疲れに無関心であれというのではない。美しさを見る前に欠点を探すことが習慣にならぬように注意しようというまでのことである。
今回の件である現代に行われた改造についても確かに倫理的には認められないとは思いますが、長州屋の販売目録を見る限りでは刀身は、姿も良く上作の様に思われます。上の出来について触れておられる人が少ないことは淋しいことです。
　協会の審査に関して言わせていただければ、私は相手が誰であろうと納得がいかなければ不用意に弁護したりしません。おかしいと思えば総理大臣だろうとアメリカ大統領だろうとローマ法王だろうとお為ごかしに弁護することは無いでしょう。審査について私なりの疑問については直接協会に質問しますと以前にも申し上げました。私が誰を尊敬して学んでいるかは今回の件となにか関係があるのでしょうか？
繰り返しになりますが、私は今回の改造については否定的な考えであることは間違いありません。その中でその改造について重大な悪意があっての行為かどうかが確定できない現状において慎重を欠く追及が多くの人をより多く傷つけることになることに警鐘を鳴らしたかっただけです。
　現に初心の方も多くご覧になり、今後の参考となる健全な議論の場であるはずのこのサイトで実名を挙げての意見の書き込みがあったことで私自身は深く傷つきました。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：法城寺 投稿日：2004/08/18(Wed) 20:54

＞越中国住人さま
私が拙い書き込みをしたがためにご迷惑をかけました。
そのための仲裁として思わず実名が出たことと思います。
なにとぞご容赦の程お願いします。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/08/18(Wed) 21:33

万人が自由に閲覧できるこのサイトで実名を使うとは？

某氏は、越中国住人さんに対して謝罪すべきだと思います。

国村の額銘の件より、このサイトのイメージダウンを危惧する。

管理人一同さま、不適切な内容と判断された場合削除をお願いします。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：法城寺 投稿日：2004/08/18(Wed) 21:46

＞鬼丸さま
はじめまして。
すべて不用意なわたしの書き込みが原因ですからなにとぞご容赦ください。まことにもって申し訳ございませんでした。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/19(Thu) 00:42

田野邊先生のお名前が出たことで、不快発言が出ておりますが、それに対して、発言者がなんの考えもなしに短絡的にお名前をだしたとは思えません。
責任ある上でのご発言と思いますので、鬼丸さん、謝罪すべきとのご意見今しばらくお待ち下さい。
田野邊先生のお名前に関しては、私だけではなく複数の人が、この掲示板上で書籍での紹介でもご紹介なさっておりますし、刀剣美術誌でも広く知られるところでもあります。
よって、実名がすべてダメというなら、これも問題ありとなります。

私は、審査員に誰々が関わっているとは知りませんが、協会のあらゆる審査に関しても知りえる立場ではあろうかと思います。
そういう意味で、公に知られる先生ですので、この場合、お名前が出たという意味合いがあったのではないかと、私は思っております。

そして、額銘に関しての越中国住人さんのご意見に関してですが、私は納得がいきません。
それは、なんども他の方も書かれていることです。

また、『額銘は大磨上の結果起こるもので『武器ではない』現代に茎を切る理由は皆無です。従って大東亜戦争での軍刀磨上【額銘】以降は、議論の余地も無いはずです。』とのご意見とまったく一致した考えですので、協会の額銘改造を認めた上での特重審査資格ありは、納得がいかないものです。

悪意があったかなかったとか、美的感覚の相違、知識がなかった、これは本人に聞いてみないと分かりませんが、この額銘改造にあたり、複数のプロが関わっているでしょうから、感覚の欠落や今日の刀剣に対しての接し方に対して、これらを助言しなかったとは想像ができませんね。
まあ、たしかに額銘改造を施した本人でない限り、真意は知りようがありませんね。
反対からの推論ですが、そういう意味での１００％断言は出来ないという意見には賛成です。

上の出来に関してですが、それを論じる今回の投稿内容ではありませんので、別問題と受け止めます。

私は次の点で問題を抱えていると再度提言します。
これは推測ではなく、推測される部分を除いても首を傾げる部分です。

①額銘改造はまったく現代においては不必要な行為である。
②重要刀剣指定状態とは異なった『不必要な額銘改造をされた』刀を特重審査資格ありと結果的に示した協会の態度（指定状態と異なった状態でもその上のランクの審査は受けることが可能と示したことになった。これは保存や特別保存そしてそこからの重要刀剣にも波及し、特重だから別格という意味合は見当たらない）

この二点を私はごっちゃにしないで論じないこと、感情論に流されてはいけないと思います。

不透明に感じることを行っていては、今後の刀剣人口の増加にはつながりません。
私は多くの方に不信を抱かせるような結果になった今回の審査について、経緯を公にしない限り、不信感は仮に表向きは納得したように見えても､根に深い物を残したままになると危惧いたします。

特別重要刀剣などという、私から見れば雲上ランクの刀ですが、それをどうこう言うなと、もし誰かに仮に言われるなら、刀剣美術誌上などで、審査結果を公表しないことだと思いますね。
公表することは誰もが知ることになるのですから。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：内記 投稿日：2004/08/19(Thu) 00:55

鬼丸さんの【削除依頼】に異議を申し上げます。
不適切な内容の理由が不明確です。

文面から以下の理由しか思い浮かびません。
①【Ｔ先生】の実名を記載したから。
②Ｔ先生とＥ氏が師弟関係と記載した事
③Ｅ氏の意見を批判したから
④電脳倶楽部のイメージダウンと感じるから。
⑤鬼丸さんが不愉快だから
⑥Ｅ氏が“私は傷ついた”との声に同情したから。

しかして、
①は日常茶飯事のことです。
②は以前よりＥ氏がご自分で表明されていたことです。
③は論外です。
④は主観の相違です。

⑤鬼丸氏に限ってありえません。
⑥力の限り“反駁”します。

日常のご意見を拝見しておれば【人となり】は皆さんご存知でしょう。
【削除】とは、書籍の【発行禁止】と同意の行為です。
発言者の名誉にかかることです。ご教示くださいませ。

＞法城寺さん
ぐっと咽元で堪えていたのですが､“発禁”覚悟でシャウトします。
子供染みた発言は周りに迷惑をかけます。容赦しされるのは誰ですか。
この赦免の意味は限りなく重いですよ。

＞管理人ご一同様
毎度、波風を立て続け、誠に申し訳ございません。
ご検討の程宜しく申し上げます。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：内記 投稿日：2004/08/19(Thu) 00:59

＞真改さん
かぶってしまいました。
削除のご判断、重ねてご検討お願い致します。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/19(Thu) 01:13

意見を戦わせる上での責任ある発言を､私達管理人一同は不愉快と受け止めるものではありません。

考えの相違や意見の相違を戦わせることは意義あることであることなら、なんら問題ありません。

全体にあるいは一部に問題を感じたものは、管理人一同で合議致します。

感情的に走らず、冷静な議論を御願いしますと、過去から御願いしておりますのは、その議論を有意義なものとしたいからです。

責任ある意見を封鎖せず。訂正すべきは遅からずです。
すべての投稿に対して善意を持って読み取り、そして、持論を展開し戦わせるのがこの場と考えております。

好意と厚意をもってよろしくお願い致します。

[3077 へのレス]鬼丸さん、御免なさい！

投稿者：内記 投稿日：2004/08/19(Thu) 01:24

が～ん！
鬼丸さんはご自分の発言に対して【削除】依頼を一任されたのですね。
なんという早とちり。

＞鬼丸さん
本当に申し訳ありませんでした。
伏してお詫び申し上げます。
⑤で鬼丸さんに限ってない　と本気で思っておりましたので、削除依頼を不可思議かつ不明瞭に思っていました。
あ～、よかった！　勘違いで。
鬼丸さん本当に御免なさい。

でも、【謝罪すべき】とのご意見は大反対です。理由は前述の通りです。

＞管理人ご一同様
恥ずかしながら"こんなこと"になりましたので、削除云々は取り消してください。
鬼丸さんの投稿は当然、不適切の訳はありませんのでご査収ください。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/19(Thu) 01:36

いやはや、この話題は皆さん並々ならぬ想いをお持ちですね(^^)
皆さんの意見を拝見していますと、皆さん「真面目であり」、「刀が好き」ということが伝わって参ります。
ただ、何とかの落書きではありませんので、ここは一つ「大人」の対応をよろしくお願いいたします m(__)m

過去にも何度か話題にしたことがありますが、代表管理人である真改さんや他の管理人諸氏も、もちろん端くれたる私も、電脳倶楽部を通じて知り合えた皆様の発言は、できる限り削除したくないと思っております。
「例え一時的に不愉快な思いがあったにしても、冷静に議論を重ねることで必ず理解し合える」
これは単なる希望的観測ではなく、現に電脳倶楽部は今までそのようにして、皆様に育てていただいて参りました。
「自分とは異なる意見でも、できる限り善意に捉え、刀兄・刀友・同好の士として末永くお付き合

いいただきたい」
私たち管理人は、それが真改代表の意思であると信じ、その考えに共鳴してお手伝いをさせていただいております。

この、一陽来復の上の方の「過去ログ」をクリックしていただき、「ワード検索」に「田野邊」と入力し、「全ログから検索」にチェックをいれて「検索」ボタンを押してみてください。
「どのような方々」が「どのような発言」を、されているでしょうか？

私たち管理人は、皆様全員とこれからもお付き合いいただけると信じておりますし、この一陽来復を閉鎖したくもありません。
皆様全員に、私たち管理人の気持ちが通じますことを、切に希望しております。
どうか、よろしくお願いいたします。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：法城寺 投稿日：2004/08/19(Thu) 07:25

＞内記さん
今回はいろんな諸事情もあるのではとその可能性のある説を考えてみたんですが、結果的にそれがこちらの皆さんの普段の間柄にひびを入れるようになってきたので、原因は私の書き込みですからという意味合いで書いたんですがお気に召さなかったようで。確かに軽々しかったかもしれません。皆さんの意見を私に免じてという大それた積りは毛頭なかったのですがそのように受け取れますね。この点は素直に謝ります。
別に内記さんが発禁にはならないですよ。

＞皆様
この度は愚説を書き込んだがために大変ご迷惑をおかけしたようです。お騒がせして申し訳ございませんでした。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：内記 投稿日：2004/08/19(Thu) 08:25

＞法城寺さん

“お気に召さない”ことは一歩外に出れば山のようにあり、ひとつひとつブツブツ云っておれば【危ないおじさん】になってしまいます。
仰る言葉の【意味合い】を十分承知したうえで敢えて“小姑”の小言を言ったまでです。
関心や興味のない人に“クレーム”は云わないものと相場は決まっています。エネルギーの無駄使いですからね。
これからも“バンバン”やりましょう。楽しみにしています。

＞皆さんの普段の間柄にひびを入れるようになってきたので、原因は私の書き込みで
それこそ杞憂というものです。
理由は上記の通りです。
また真改代表、花散里さんが仰る如く、みなさんキチンとした大人です。
何よりも刀が三度の飯より好きな“刀友”同士ですから全く問題ないと信じます。

追伸：
＞倭　士 さん
前スレで青磁茶碗「馬コウ絆」の提案を私もしたのですが【イマイチ】反応がなかったです。
しかし、偶然同じ発想をした“倭　士 さん”気が合いますね～。
嬉しかったです。

[3077 へのレス]Re: 問題の争点

投稿者：隠居 投稿日：2004/08/19(Thu) 12:21

誤解があるようですから一言させていただきます。

この問題には、「額銘に加工された刀」、という【結果】からこれについてどう思うか、というのか【テーマ】である筈です。
ですから、意見はこの結果についての是非だけのいたって単純な問題です。

これに対して、「このような工作をするに至った事情」とか「所有者の考え」とかの推理や、絶対に審査経緯については説明をしない協会に問合せる等々の議論は、本線から大ずれた議論になるのではないでしょうか。
そしてこういう枝葉論は、是か非かの集約をさまたげ、結果として本質をぼかしてしまうおそれがあります。
この意味で、越中国住人さんにコメント致しました。Ｔ先生のお名前を出したのは、あなたが先生のことを慮ってのご発言かとかんぐったからです。
Ｔ先生は学究派のお方でありこの件に直接かかわっておられないと信じております。だからこそ余計、「額銘肯定派」か「ぼかし派」になって貰いたくないのです。

[3109] 古備前行秀

投稿者：法城寺 投稿日：2004/08/19(Thu) 11:03

青磁茶碗「馬コウ絆」については格別無視も黙殺する積りじゃなかったんですが自説を愚考しているうちについつい・・・。

同じような話になるかどうかはわかりませんが、以前刀剣博物館で見た「末古備前行秀」の話など。ご存知

の方もいらっしゃると思いますが。
日本刀講座の４巻の１６６ページを参照ください。博物館で見たのは所載のものよりさらに出入りの激しい逆丁子で（だったと思います、笑）およそ古備前としては異色の刀工異色の作でしょう。雅な体配、品よく、比べてこの覇気のある焼き刃。地鉄もよく練れ文句のつけようなどない優れた作です。
ところが、この作には帽子に表裏二個づつ系４箇所、きりで突いたかのごとき傷が残されてます。
記憶が定かでなく申し訳ないのですが長らく鞘のない状態で保管され、その際に金具で固定されていたとのこと。ようやく日の目を見た際に誰にでもわかる美術的には致命傷にもなりかねない傷ですが、刀身のあまりの出来の良さにあえてこの傷を研ぎでなくそうともせず（実際傷がなくなるまで研ぐことは帽子をなくすに等しい傷なので無理なのでしょうが）伝えてこられた先達がいたわけです。
おかげで、この二個ずつ並んだ傷が「かすがいの痕」のように見えるのでこの太刀は「かすがい行秀」と異名され、知る人ぞ知る作となったのでした。
これを見たときには「無理に研がなくてよかった」としみじみ思ったものでした。何もしない、確かにこれも美術品の基本かもしれませんね。

などと時と場合でどちらにも転んでしまう私です、笑ってやってください、はははは！
また展示されることもあると思いますのでその際はお知らせします。

[3109 へのレス]Re: 古備前行秀

投稿者：法城寺　投稿日：2004/08/19(Thu) 11:19

失礼、「確かにこれも美術品の基本かもしれませんね。」ではなく「確かにこれが美術品を伝えるうえでの基本ですね」です。

[3109 へのレス]秋の刀友会全員集合!!

投稿者：倭　士　投稿日：2004/08/21(Sat) 22:10

こんばんは・・　倭　士です。

お書込み頂いておりましたのに、返事が遅れ申し訳御座いません。

ＰＣにふれる間がなく・・　菊久さんに（直接）ご連絡して頂き助かりました。

さて、秋の刀友会ですが、菊久さんから〔直接〕ご連絡して頂いた様に、未だ詳しい内容は

決定しておりません・・。

もし、ご参加の是非については、刀友会一同・大歓迎致しま～す。

ご都合もありますので、企画している予定内容としましてあは・・

◎ 企画：2004 年秋だ！関西刀友会全員集合!!　（勝手に命名しました・・。）

日時：９月２６日（日）　正午頃集合！

☆ 刀剣展ｏｒ鑑定会にでも参加し、夕刻より刀友親睦会でもと考えております。

費用につきましてもなるべく安価にと、考えております。（実費のみ徴収・５千円迄位で・・？）

内容に付きましては、９月の頭頃までに決定し、電脳上ででも発表させて頂きたいと考えております。

今回の企画に関しましては菊久＆倭士で担当する予定ですので、何かありましたらご連絡下さいませ。

ナカナカいつも刀友全員集合!とはいかず・・　今回は多くの方が参加して頂ければうれしいで～す。

わざわざ関東から来て頂いても､ご満足頂けるかは？？ですが､宜しければお待ちしております。

[3112] 鑑賞用照明

投稿者：波平　投稿日：2004/08/19(Thu) 23:50

刀友の皆様、こんばんは。仕事でしばらく高原に行っておりました。富士山や八ヶ岳がきれいでしたが、TVもない、携帯はなんとか入る程度(アンテナ棒が２本)で朝は寒いほどの所から戻ってみると東京の何と暑いこと。そして白熱した議論にも驚きました。何人かの刀友の皆様に某所でお会いしたことがあるだけですが秋の大刀剣市の折りなどお話をうかがえるのを楽しみにしております。

ところで私は最近自分の部屋の照明をどのようにすれば愛刀の鑑賞に最適か悩んでいます。私の部屋は白熱灯 4(はやい話が電球です)とダウンライト２ですがスポットライトがありません。量販店にいけばクリップなどでとめる簡易型がありますが色温度のいろいろなものがありすぎて・・・刀持参というわけにもいかずやや悩んでいます。アドバイスをお願いする次第です。m(_ _)m

---

[3112 へのレス]Re: 鑑賞用照明

投稿者：隠居　投稿日：2004/08/20(Fri) 09:45

波平さん、こんにちは、今年の残暑はきびしいでしょう。

さて、自宅の観賞用光源をどうするかですが、私は次のように云っております。
【古武士スタイル】
昔のは部屋の明かりはそのままにして、燭台に百目ろうそくを灯し、かざした刀の刀身にろうそく

の炎を映して、その近くの地刃を見るのがきまりであったと聞いており、そのまま伝えています。
もっとも「太い蝋燭」がありませんから、私は１０Wの「黄色電球」で代用していますが、部屋の明るさは押えたほうが刀が良く見えると思います。
鑑定会場では部屋自体が明るすぎますから、スポットライトを使いますが、自宅では暗いめのほうが私は落ち着きますし、刀剣鑑賞の雰囲気が出ます。
ご参考まで・・・

[3112 へのレス]Re: 鑑賞用照明

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/08/20(Fri) 13:17

波平さん、おかえりなさい(＃^▽^＃)
信州も日差しはまだ強いですが風はかなり秋めいてきました。

さて照明ですが、僕は家電量販店で売られているクリップ式のライトを使っています。
角度も変えられるし場所も付け替えられるし…。でも照明の色が黄色っぽいのが難です。
刀剣店で使われているような白くて綺麗な照明が本当は欲しいんですが…。
鑑刀中はご隠居さんと同じく部屋の明かりは消しています。
「百目蝋燭」を一度試してみたいですねー。

[3112 へのレス]Re: 鑑賞用照明

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/20(Fri) 22:08

こんばんは。
私はホームセンターで買ったクリップ付きの１００W白色電球のものを使っています。
かつて支部の特別鑑賞会や地元の研磨師さんにお使いの物を聞いて教えてもらいました。
３０００円から４０００円くらいするのかな～。

私の感想では、沸映りなどは明るいほうがよくわかりました。見えなかったものが見えたような感じを受けました。

あと、目を痛めないようにして窓の外に刀を向けて見る。
刃文を見ると直射日光でやられますので、この場合は地鉄を見るときには有効ではないかと思います。

それと、これは経験したことですが、刀剣商から買った刀を自然光下で見ていると刃先に錆びを発見したことがあります。
そして、さらにシュアファイヤー（商品名）などのライトで刃先から強烈なライトを当てたら、たちまち錆びがあるのを見つけました。
当然、クレーム返品しました。

[3112 へのレス]Re: 鑑賞用照明

投稿者：波平 投稿日：2004/08/20(Fri) 22:18

＞ご隠居さん
お暑うございます。東京は昼は３５度を超えましたが夕方からは秋の気配を感じる風が吹いております。
さっそくのご教示ありがとうございます。そういえば私の部屋の光源は拡散するものばかりです。光の色に私はこだわっていたのですが光源が点であることと適切な雰囲気が大切なのですね。「百目蝋燭」の揺れる灯火は確かに幽玄の境地へといざなってくれるものとは思いますが・・・環境がゆるせば挑戦してみたいものです。鑑賞にも「心映え」の大切さを教えていただいた思いです。
m(_ _)m

＞こてつさん
お暑うございます。都電荒川線では北島選手の金メダルを祝う特別仕様の車両が走っているそうです。
私もクリップ式のライトをすぐに考えました。私は部屋の明かりを全て点けて鑑賞していました。目の前にある刀をいかに充分鑑賞していなかったかと冷や汗ものです。お二方からいただきましたアドヴァイスを参考にしていろいろと試してみます。ありがとうございました。m(_ _)m

PS　今度機会があったら「百目蝋燭鑑賞会」ってのはいかがでしょう(^^;)

[3112 へのレス]Re: 鑑賞用照明

投稿者：波平 投稿日：2004/08/20(Fri) 22:43

＞真改さん
書き込みが相前後してしまい失礼いたしました。
ウ～ン 3000 円から 4000 円ですか。100W 白色電球ですね、この電球は特殊なものではなく普通の電球ですか？窓の外へ向けるのは昼間ならできるのですが・・・刃文ではなく地鉄を特に鑑賞するのに良いとのこと、やってみます。真改さんはこの方法で錆びを見つけられたのですね。自然光はすごいものだと思いました。
「シュアファイヤー」って初めて聞きました。車のヘッドライトに使われるハロゲン球やクリプトン球のようなものでしょうか？でしたら相当強烈ですね。
思いもよらない方法いろいろとありがとうございました。自分の刀を見直してみる楽しみが増えました。m(_ _)m

[3112 へのレス]Re: 鑑賞用照明

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/21(Sat) 21:52

私が使用しているライトを画像掲示板に載せました。
ご覧下さい。
シュアファイヤーをはじめて知って使ったのは、数年前の東京国立博物館での『日本のかたな展』でした。
最初は東急ハンズでマグライトを買って刀身に当てて見ましたが、まったく光量不足でダメ。
急遽、アメ横で強力なライトを紹介してもらったのが、たまたま今回書いたシュアファイヤーでした。
中には、懐中電灯の大型を持参して見ている人もいましたが、効果の差は歴然でした。
どんなものかは、ネットでシュアファイヤーで検索をかけてもらえれば、たくさん出てきます。
日本のかたな展では、照明の暗さで刃文も地鉄もよくわからず、このシュアファイヤーは重宝しました。

[3112 へのレス]Re: 鑑賞用照明

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/21(Sat) 22:00

今月号の銀座情報に沸映りは『一般に蝋燭の炎や弱い白熱電灯の光を直接反射させることによって確認できる』とあります。

うっ・・・。
私は弱い光ではまったく見えなくて、明るいほうが良く見えました。
近眼のせい？
それとも、見たそれは、沸映りではなかった？？？
こまった～～。(ーー;)。

[3112 へのレス]Re: 鑑賞用照明

投稿者：波平 投稿日：2004/08/21(Sat) 23:46

＞真改さん
　画像拝見いたしました。百聞は一見にしかず。大変によくわかりました。ご配慮ありがとうございます m(_ _)m
　実は私もマグライトを持っているんですが電池の消耗が激しくそれにつれて色温度が変化するような気がします。この「シュアファイヤー」興味がわきました。「日本のかたな展」私も行きました。ひょっとすると会場でお会いしていた可能性もありますね(^o^)。真改さんは会場にこの照明器具を持参されたのですか？
　それに銀座情報も見ましたが私も明るいほうが良いと思っていたので驚きました。ご隠居さんの

ような域にはやく達したいものです！

[3112 へのレス]Re: 鑑賞用照明

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/22(Sun) 06:31

シュアファイヤーは、マグライトのように光が分散しにくく、中心に光が集中して大変明るい物です。
最近は、長時間明るくてしかもより白色に近い LED 球が装備された物が増えてきました。

日本のかたな展では、私はシュアファイヤーをもって回りました。
支部の刀兄から事前に照明の状態が悪いので、持参したほうが良いとアドバイスを受けていたので、大変よく見ることが出来ました。

私がこれを持って回っていると、一緒に回る集団が一塊出来て、面白い光景が見えたことでしょうね。

３日間通い詰めたので、シュアファイヤーの電池がたくさん要りました。
いまでは結構安くかえるこの手の電池も当時は大変高くて、参りました。

[3112 へのレス]Re: 鑑賞用照明

投稿者：隠居 投稿日：2004/08/22(Sun) 08:56

多分皆様は生まれた時から蛍光灯の明るさを当然としてこられたと思います。どんな田舎道でも明るい街燈があり、星明りや月明の道は山にでも登らないとありません。
鑑定会でも天井には白色蛍光灯が一杯並んでいますから、それに負けずにつよく光るスポットライトが必要で、５本の刀に通常３個以上を使用します。
ですが、地景をはじめ、チフ映り、沸映り、くものいわたなど、微妙な地がねの働きをあらわす言葉は、すべて行燈と燭台の時代のものです。とくに「くものいわた」などのもやもやっとした働きは明るすぎるとかえって分かりません。
最近は博物館でも採光をとくに押さえる傾向のようで、刀剣示に際して暗くした代わりにペンライトを用意しているところもあります。
鑑定は「精査する」という面がありますが、鑑賞は「ゆっくり味わう」という心の癒しを求めるところがあります。
昔の軍人が戦地で軍刀を抜いて月を光源にして鑑賞することは、よく伝えられていました。こうすることでその日の疲れや心の不安が癒されたようで、そういうことを書き残した記録はたくさんあります。

要は刀を何のために観るのか、という目的によって光源を選ぶということでしょう。

[3112 へのレス]Re: 鑑賞用照明

投稿者：波平 投稿日：2004/08/22(Sun) 23:29

＞隠居さん　こてつさん　真改さん
皆様、親身のアドバイスありがとうございました m(_ _)m
　TPO と言いますがその時々に応じて照明にもいろいろな工夫があることを改めて認識いたしました。隠居さんのおっしゃる「ゆっくり味わう」ことが私は多かったと思います。部屋を明るくしていましたのでいままでは「より明るく」ということを考えていました。
　皆様のご意見をうかがい、画像を拝見して「今、家にあるものを何とか工夫して・・・」と考えるうちにハタと思い当たるものがありました。それはバイオライトという商品名のものです。クリプトン球と白熱球のものがありますがたしか一台ねむっていたはずと探し出しました。65W の電球ですが色温度が太陽光に近いものだと思います。使い勝手もまあまあで「灯台もと暗し」でした。
　「刀を何のために観るのか」このことを心にとめて大切にしたいと思います。諸先輩の皆様本当にありがとうございました。m(_ _)m

---

[3121] Ｒｅ：秋の刀友会全員集合!!

投稿者：倭　士 投稿日：2004/08/21(Sat) 22:31<HOME>

追伸：内記さん・法城寺さん
馬蝗絆についての書込みありがとうございました。

　テレビ「ＮＨＫスペシャル：天才画家・光琳の国宝 最新科学謎を解き明かす」を見て書き込みをしておりましたが・・
　あの国宝・紅白梅図屏風の背景の金箔と川の模様は本当の金箔ではなく
金泥等で金箔に見せて描かれていたんですって・・　ビックリ！！

　馬蝗絆に続き美術工芸のおはなしでした。

[3121 へのレス]Re: Ｒｅ：秋の刀友会全員集合!!

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/08/22(Sun) 15:28

見ました、僕も。
ちょっと驚きでしたね。金箔ではなく「金泥」！？
それ以外にも「漆」で作った「黒楽茶碗」があったとは。
「擬作」というのだそうです。現代風に言い換えたら「コピー」でしょうか？
「偽作」に代表される悪質なコピーでは無く、純粋に本物に模して作られた「擬作」。
ひょっとして「刀剣」にも同様のケースがあったのでは…と考えてしまいました。

[3121 へのレス]Re:ビックリ～！！！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/08/22(Sun) 21:40

そうなんですよ！　私もこてつさんと同じ事を書き込もうと思っていたんですよ。
あの「擬作師」の茶碗の出来にはビックリしました。漆なので凄く軽い様ですね！
大名達の間でこう言う物が流行ったらしいですね！？

[3125] 大刀剣市での宿泊予約

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/22(Sun) 11:46

まだ２ヶ月も先のことで気の早い話ですが、今年の大刀剣市に備えてホテルの予約をしました(^^)
私は神奈川在住ですから本来ホテルに宿泊する必要は無いのですが、毎年ＯＦＦ会が盛り上がったところで帰宅しなければならないのが少々不満でした。
毎年１泊で上京される方々が多いので、今年はいっそのこと宿泊することにしました。
先日の「靖国参拝」の投稿で真改さんをお誘いしたところ快諾いただきましたので、真改さんと私の宿泊先は「九段会館」に決定(^^)
九段会館は昭和天皇即位記念として建設され、2.26 事件の際に戒厳司令部が置かれた旧軍人会館という歴史的な建築物です。(もっとも、煙草を吸わない真改さんと、ヘビースモーカーの私ですから、シングルを２室予約したら残念ながら新館になりましたが(^_^;)　)
結構人気の宿泊先ですので、早めの「予約」をしました。

大刀剣市当日、私は車を使って移動ですが、九段は東京の真ん中ですから車を置いて飲み会に行くのも便利(^^)
また、真改さんとは朝一番に靖国神社へ参拝する約束をしていますが、大太鼓の合図と共に神門が開くのは朝 6:00 ですよ(^^)
前夜はＯＦＦ会もありますが、せっかくですから気持ちを引き締めて 6:00 に参拝しませんか？　徒歩５分ですから(^^)　＞真改さん

当日、１年ぶりに皆様とお会いできるのを楽しみにしています m(__)m

[3125 へのレス]Re: 大刀剣市での宿泊予約

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/08/22(Sun) 15:20

今年の大刀剣市は１０月２９日～３１日ですね。
「新撰組ゆかりの名刀展」の展示もあるようです。

＞花散里さん。
早いですね！九段会館ですか。
僕はどこに泊まろう…？これから物色です。
何しろ朝が苦手なのでチェックアウトの遅いホテルでなければ…(;^_^A
しかしもう一年経ってしまうんですね、早いなぁ…。
昨年の刀剣市二日目は完璧二日酔いでした。今年は少し控えなければ…。
それと毎年皆さんが持ち寄られる「自慢の逸品」も楽しみですね。
今年も眼福に預かれますよう…(￣▽￣*)ゞ
（さて僕は何を持参しよう…？）

皆さんとの再会、また新しい刀友と知り合える日を楽しみに待ちたいと思います～。

[3125 へのレス]Re: 大刀剣市での宿泊予約

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/22(Sun) 16:22

＞こてつさん
私の投稿の中の、「予約」をクリックしてみてください。
チェックアウトは、12:00 ですよ(^^)

[3125 へのレス]Re: 大刀剣市での宿泊予約

投稿者：倭　士 投稿日：2004/08/22(Sun) 21:58<HOME>

みなさんこんばんは・・　　イ イ ですね～。
毎年の恒例行事ですね。　お話だけはいつも鎬さん・菊久さんからお聞きしております。
いつも羨ましく思っておりました。　今年は？ですが、来年には参加したいで～す。

[3125 へのレス]Re: 大刀剣市での宿泊予約

投稿者：波平 投稿日：2004/08/22(Sun) 23:56

皆様２泊３日なのでしょうか？宿泊は無理だと思いますが土曜の午後から日曜にかけてご一緒させていただければと思っております。必要ならば車をだしますので・・・諸兄とお会いできるのを楽しみにしています。

[3125 へのレス]Re: 大刀剣市での宿泊予約

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/08/23(Mon) 02:21

長州屋さんの展示会はどうなっているんでしょう？
銀座情報にはまだ詳細は掲載されてないですよね？
昨年は全国大会もあったので新宿に宿を取りましたが…。

他の皆さんはどうされるんでしょう？
僕も九段にしようかな。東京美術倶楽部には１５分位で行けそうですね。

＞波平さん。
僕は金・土曜日の一泊二日になります。
皆さんも多分そうなるかと…。
土曜の午後にご一緒できますね(#^▽^#)

[3125 へのレス]Re: 大刀剣市での宿泊予約

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/23(Mon) 06:34

花散里さんお手数をお掛け致しました。m(__)m。
あとは、航空券の予約だけです。
２ヶ月前から予約を受け付けますということらしいので、遅れないように予約をしたいと思います。
飛行機の予約状況も、例年のように祝祭日を含まないので、比較的予約状況はすくないかなと、予想しております。

こてつさん。金土の宿泊ですか。
オフ会への参加は？(^^)

[3125 へのレス]Re: 大刀剣市での宿泊予約

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/23(Mon) 07:25

＞倭士さん
来年は、ぜひご一緒しましょう(^^)

＞波平さん
おそらく、上京される大体の方が１泊２日だと思います。
真改さんと私は、土日の参加（30 日土曜日の宿泊）です。
私も車を出します。（８人乗り）

＞こてつ。さん
宿泊は、ぜひ九段に(^^)　でも、金曜日の宿泊ですか？　土曜日ではなく？

＞真改さん
どういたしまして m(__)m
首を長くして、お会いできるのをお待ちしています(^^)

[3125 へのレス]Re: 大刀剣市での宿泊予約

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/08/23(Mon) 20:24

…土・日に変更しました(;^_^A
やはりオフ会は外せないです。
宿も九段を第一候補に物色中です。
晴れるといいなぁ。…って気が早い？

[3125 へのレス]Re: 大刀剣市での宿泊予約

投稿者：波平 投稿日：2004/08/23(Mon) 20:40

皆様、大集合の予感が(*^_^*)
土曜日、有給休暇とろうかな・・・・・・
花散里さんの車って８人も乗れるんですね。土日のコースによって交通手段を考えますが、皆様愛刀持参なんでしょうね？

[3125 へのレス]Re: 大刀剣市での宿泊予約

投稿者：隠居 投稿日：2004/08/24(Tue) 11:00

九段会館（旧軍人会館）での宿泊とオフ会、そして靖国神社の朝参り、羨ましいです・・・もしや、若かりせば・・・。
みなさん、どうぞ存分に刀談義に耽ってください。そして結果を逐一お知らせください。

[3125 へのレス]Re: 大刀剣市での宿泊予約

投稿者：四志 投稿日：2004/08/24(Tue) 15:26

この大会わ何をするの？？
飲み会、鑑定会ですか？？

[3125 へのレス]Re: 大刀剣市での宿泊予約

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/24(Tue) 20:55

四志さんは、大刀剣市をご存知ありませんか。
大刀剣市は東京美術倶楽部にて毎年11月頃に全国の刀剣商50件あまりが集い開催される刀剣のお祭りみたいなものです。

その後に電脳倶楽部で知り合った仲間が食事会を楽しんでいるのがオフ会です。
その時に持ち寄った刀剣や刀装具で楽しい刀剣談義に花を咲かせているというわけです。

ほとんどの方が、年に一度だけ顔を会わせる楽しいひと時です。(^^)。

[3125 へのレス]Re: 大刀剣市での宿泊予約

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/25(Wed) 00:10

＞ご隠居さん
真改さんにも同意いただけると思いますが、九段会館の宿泊や靖国神社の参拝、大刀剣市やオフ会など今回は全てにおいて、ご隠居さんに同行いただいている気持ちで参加させていただきます。
皆さんのご報告と共に、写真などもご覧いただく積りでいます。

[3125 へのレス]Re: 大刀剣市での宿泊予約

投稿者：隠居 投稿日：2004/08/25(Wed) 08:35

花散里さん、御気に掛けて頂いておおきに。
皆さんが楽しく語り合う様子が拝見できればおすそ分けになります。

また大刀剣市では、目を引く話題の刀も見逃せないでしょうが、みんなが全く問題にしない脇物や三流物の傑作が出ている可能性がありそうですね。郷土ゆかりの刀探しの絶好の機会ですね。今からご報告をお楽しみにしています。

[3138] 今さらながら・・・

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/23(Mon) 21:39

今まで一度も見たことのない『トリビアの泉』の再放送をたまたま偶然見る機会がありました。
それがなんと例の日本刀 VS ウォーターカッターをやっているではありませんか！！

日本刀に詳しい○田さん登場ということでしたが、日本刀は鉄の芸術品なのですから、負けるわけはありません、という今一説得力に欠ける説明での対決でしたね。
単に刀の提供者だから『日本刀に詳しい立場』としての登場であったのかと想像しましたが・・・。
今回のような意味での日本刀に詳しいというなら、刀匠ではないかと思うのですがね。

結果は知っていても、どきどきしました。マッハ3ですか。恐ろしい。
マッハ文朱に横から踏まれたらダメだったかも。ふっる～～。(~_~;)。

でも、タモリが日本刀好きというのは私の印象を良くしました。(^^)。
日本刀ネタなら◎らしいし。

次回はどんな日本刀ネタが出るのでしょうか。

日本刀対弾丸　日本刀対水。過去には日本刀対バイクのタンクがありましたね。対兜なんてのは昔からありますし。

[3138 へのレス]Re: 今さらながら・・・

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/25(Wed) 00:14

日本刀対弾丸の回は、見ました。
仕事から帰るのが遅く、ほとんど見ることができません(^_^;)
日本刀は、結構人気ネタなんですね(^^)

[3145] やられちまった

投稿者：鉄の鍔 投稿日：2004/08/28(Sat) 20:01

いい感じの鍔が店にあったのですが、
悩んでいたら横から買って行かれました。
ガックリ。

[3145 へのレス]Re: やられちまった

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/29(Sun) 09:18

それは残念でしたね。(>_<)。
刀にしろ、鍔にしろ、きっと巡り合う時もありますよ！(^^)。

私も、良い感じの手頃の物を見つけましたが、売れたかな～。(^_^;)。

それにしても、また四国は台風に見舞われそう。
今度の台風はちょっと被害が出そうなので、緊張しています。
飛ばされそうな物はきっちり片付け、シャッターはこれまたきっちりと鍵を掛けておかないと、シャッターを下ろしただけでは、風で巻き上げられて壊れた家が近所にあります。

日本を横断する可能性もありますので、皆様、くれぐれもお気をつけ下さいませ。

[3145 へのレス]Re: やられちまった

投稿者：沼六屋 投稿日：2004/08/29(Sun) 19:35

釣り逃がした魚は大きい、と言いますね。
私も何回か経験しています。(^_^.)

今回の台風は勢力が大きそうですね、真改 2004 さん、皆様お気を付け
ください。

[3145 へのレス]Re: やられちまった

投稿者：倭　士 投稿日：2004/08/30(Mon) 21:10

鉄の鍔さん はじめまして・・
私も同じ様な経験を何度かした事がありますね！

＞釣り逃がした魚は大きい。
　私はイイと思った時には、出来るだけ購入する様にしておりますが、
刀など金額の張る物は手が出ず・・
最近、購入せずいつまでも愛おしく思うより、購入してバチ物で失敗しても、その方が症状が軽いのではと・・。
最近 そんな考えも出てきましたね。
刀に関しては、先立つモノが無く、騙されて 同じテツを踏まずの 勉強方法は出来ないので、只今・勉強中で～す。
鉄の鍔さん そのうちまたイイ物に出会いますよ。

[3149] 台風その後

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/29(Sun) 22:03

沼六屋さん。
ありがとうございます。
現在、やや強い風が出始めたような気がしておりますが、まだ雨戸やシャッターを閉めるほどではありません。

目が覚めた時が怖いな～。(~_~;)。

[3149 へのレス]Re: 台風その後

投稿者：花散里 投稿日：2004/08/29(Sun) 22:26

これから、雨風が強まるでしょうから、くれぐれもお気をつけください m(__)m
それにしても、今年は台風が多いですね(-_-;)

[3149 へのレス]Re: 台風その後

投稿者：波平 投稿日：2004/08/29(Sun) 22:28

今日、発電所の見学会から帰ってきました。昨日お昼頃の御前崎では風力発電のプロペラが強い風で最大発電量を示し、波のしぶきが見学している私たちにかかってきました。今年は台風の当たり年、真改さん、そして台風の道筋にあたっている皆様、災害に遭われませんようにお気をつけください。

[3149 へのレス]Re: 台風その後

投稿者：倭　士 投稿日：2004/08/30(Mon) 20:49

本当に今年はよく台風がきますねぇ～！
今回の台風なんか、沖縄～九州・九州～四国、そして今夜未明～明日には近畿へ・・
普通は沖縄⇒台湾・中国大陸へ抜けるだろうに・・
日本列島に沿って北上しているジャ～ン！！

[3149 へのレス]Re: 台風被害

投稿者：隠居 投稿日：2004/08/31(Tue) 11:28

四国や九州を心配していましたが、私が代表をしている会社の倉敷工場が高潮と河川氾濫の被害にあい、床上浸水しました。現在は電気ストップ・電話不通で、被害甚大の模様です。機械器具類もＩＴ化されているのでオールアウトの可能性大、
まさか台風がうちにこようとは・・・。

[3149 へのレス]Re: 台風その後

投稿者：波平 投稿日：2004/08/31(Tue) 19:48

私の方では雨よりも風の害がひどいようです。
＞隠居さん
今日のニュースで倉敷の被害状況を放送していました。心からのお見舞い申し上げます。
＞真改さん
吉野川で流された方の救助の様子をＴＶでみました。まだ後ろに台風 18 号が控えているとか・・・何事もないことを祈ります。

[3149 へのレス]Re: 台風その後

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/08/31(Tue) 21:39

隠居さん。お見舞い申し上げます。

徳島のことばかりで、必死だったので（昨夜の強風と雨は最近体験したことのないクラスでした)、他県の状況まで見る余裕がありませんでした。

吉野川で流されそうになった事故も、実は車で 3 分くらいの場所ですが、夕刊を見るまで知りませんでした。
川の流量測定に来ていたプロだったようですが、そのプロの眼を誤らせるくらいの突然の増水だったようです。
よくぞ、しがみついた手を離さず、また、上からの流木などに当たらなかったなと胸をなでおろした次第です。
あの時期に河川敷で車を止めて休憩していたという、ツワモノ？もいたようで、こちらも車から脱出して無事だったようです。

河川の増水は異常で、風の音に子供達も恐れをなして、なかなか眠れないようでした。

職場の方の自宅では、瓦が数十枚隣の家のカーポートに突き刺さって、大変なことになったと言っておりました。
幸いにけが人はありませんでしたが、停電も長く、風呂にも入れず、クーラーもなしで、雨戸を閉め切った家ではさぞ辛かっただろうと、お見舞いを申し上げました。

自宅の周囲ではさほどの被害はありませんでしたが、次に控える台風 18 号の行方次第では、吉野川の増水がどうなるか心配しております。

10 号 11 号の爪あととともいえる川の濁りは、未だ回復しておらず、河川に与える影響がどのようなものか、私には想像できませんが、決して長期の濁りが良い影響を残すとは思えません。

今年は、例年にない台風の当たり年ですので、皆様くれぐれも御気をつけ下さいませ。

[3149 へのレス]Re: 台風その後

投稿者：花散里 投稿日：2004/09/01(Wed) 00:16

私のところも波平さんと同じく、雨はさほどでもなく風が強かったですね。
次の１８号も、１６号と同じようなコースを辿っていますので、今後の展開が心配です。
被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げると共に、一日も早い復旧をお祈りいたします。

[3149 へのレス]Re: 台風その後

投稿者：隠居 投稿日：2004/09/01(Wed) 08:42

波平さん、真改さん、花散里さん、お見舞いありがとうございます。

倉敷の大部分は幕末以後の干拓によって造成された土地ですが、この数十年間高潮被害はありませんでした。まさに「忘れていたこと」が到来した感じです。
工場からの第一報は早朝自宅に入り､「高潮により近くの河川が溢れ敷地内に溜まり水の力で回りのブロック塀が全部倒壊し室内は床上浸水、壊滅的な打撃です」とのことでした。
午後になってデジカメ写真が送られて来、惨状を目の当たりにしました。
まさに「災害とは忘れた頃にやってくる」ものでした。なった以上は天の与えた試練と思い、復旧に努力します

[3149 へのレス]Re: 台風その後

投稿者：鎬 投稿日：2004/09/01(Wed) 10:11

隠居さん大変な目にあわれているのに
「天の与えた試練」と受け止められる心境。
さすがに精神が高い位置にあられますね。
僕なんかは、できてません。。。反省します。
友人と共に避難させていた船４艇のうち１艇は沈みました。
１艇は沖にて発見しましたが損傷あり。
自宅は無事でしたが
一つの小屋は窓ガラスが全壊、室内はめちゃくちゃ
もう一つの小屋は屋根破損、室内は無事。
台風って嫌ですね。。。

[3149 へのレス]Re: 台風その後

投稿者：隠居 投稿日：2004/09/01(Wed) 11:45

鎬さん、こんにちは。お宅も被害に遭われましたか。
「天の与えた試練」はわれわれの育った頃の常套句の一つで、エライ目にあった時には先ずこう思うように躾られてきました。私自身が特別精神的にどうこうということではありません。、

今年は旧制中学の同級生が喜寿記念同窓会を倉敷のアイビースクエア・ホテルで催すことになっていますが、さてこの災害でどうでしょう。われわれは卒業をすることなく、ずっと手前で錨マークやプロペラマークに行きましたから卒業生の中の異端児です。戦後学校から「卒業証書を渡す」といってきましたが全員拒否、「卒業しなかった」ことをむしろ誇りにしています。
あっこりゃ、余談が過ぎました。

[3149 へのレス]Re: 台風その後

投稿者：倭　士 投稿日：2004/09/01(Wed) 21:01

鎬さんの実家も大変だったんですねー！！

ご家族にお怪我が無くて良かったです。

あっ！！　今、ＴＶの ニュースで、浅間山が噴火したとか・・？？

今年は、自然災害の当たり目か～？？

浅間山って、こてつさん近くでは？？

被害が拡大しない事を祈ります。

[3149 へのレス]Re: 台風その後

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/09/01(Wed) 21:37

＞倭士さん。
ご心配いただきありがとうございます。

我が家の北側の窓から浅間山が見えます。
ラジオのニュースで聞くまでは噴火には全く気が付きませんでした。
音も聴こえなかったです。
二階の窓から双眼鏡で見たところ…噴火の様子は何も見えません。
群馬の守重さんとこは大丈夫でしょうか？
浅間山といえば「天明の大噴火」が有名ですが、当時も被害は小諸より群馬県方面に多かったようです。遠く江戸湾まで降灰したとか。

今年はどうも天災の当たり年のようです。
台風被害、噴火被害等に遭われた方には心中よりお見舞い申し上げます。

[3149 へのレス]Re: 台風その後

投稿者：花散里 投稿日：2004/09/01(Wed) 22:37

いやはや、こんどは噴火ですか(-_-;)
なんとか、最小限におさまって欲しいものです。
こてつ。さん、守重さん、くれぐれもご注意を m(__)m

[3157] 秋だ!関西刀友会全員集合!!

投稿者：倭　士 投稿日：2004/08/31(Tue) 22:03

スミマセン！！
只今、刀友会のイベントに関して書き込ませて頂きましたが、画面を

間違えて、「電脳討論掲示板」に 書いてしまいました。　あしからず・・

　詳しくは、「電脳討論掲示板」ご覧下さいませ!

[3165] 信州の名刀展。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/09/03(Fri) 20:03

坂城町「鉄の展示館」、秋季特別展が始まりました。
「信州の名刀展」と題しまして山浦一門が中心に展示されています。
展示内容はこちら↓
　　http://www.tetsu-museum.info/

東信支部会員がボランティア（？）で土日・祝日に来館者への作品解説、会場整理のお手伝いをすることになっています。
僕も２３日に行くことになっています。
…な、何をしたらいいんでしょう(;^_^A

信州の秋も良いですよ。お出かけくださいm(__　__)m

[3165 へのレス]Re: 信州の名刀展。

投稿者：波平 投稿日：2004/09/03(Fri) 23:36

＞こてつさん
　私は小布施や別所には行ったことがあるんですが、坂城町の鉄の展示館には行ったことがありません。ＨＰを拝見しましたが、魅力的な作品が出ていました。９月は慌ただしい月ですが会期中に都合をつけて是非行きたいものです。

　ところで・・昨日２日付の日本経済新聞に「たたら鉄の火　海軍が延命」と題する記事があり副題として－山陰地方の鉄の歴史・民俗学を研究－としてありました。内容は明治期、当時のスウェーデン鋼よりも優秀でリン含有量の少なさに注目した海軍がたたらによる包丁鉄と玉鋼を年間最大2750 トン(明治 37 年)も納入させたが、大正 11 年のワシントン条約締結により決定的打撃を受けた。というものです。今次大戦というとすぐに靖国たたらを想像してしまったのですが、盲点をつかれた思いでした。あの日本海海戦が明治 38 年ですからその前年にピークを迎えたわけです。しかもこの研究が社会人入学をした女性の研究員によってなされたのがさらなる驚きでした。刀友の皆様にご紹介する次第です。

[3167] 地震だ～！！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/09/05(Sun) 19:47

さきほど、自宅にもどり、食事を終え、ＴＶを見ながら電脳の画面も２～３日確認していないので、パソコンでも・・と、思っていたら！
ユラユラ～・ガタガタ・・。　じ、地震だ～！！
我が家は、ボロ家の為・・しばらくゆれてました。
揺れがナカナカ、治まらなかったので屋外に出たら、台風来てて小雨は降るわ・風も吹くわ・おまけに雷までゴロゴロ・・
本当！今年は自然災害の当たり年か！？
私の所は震度４．奈良・和歌山は震度５だって・・。
☆ 菊さーん、大丈夫～？？

[3167 へのレス]Re: 地震だ～！！

投稿者：隠居 投稿日：2004/09/06(Mon) 06:50

一夜に地震が２回、しかも震源が違って震度４と震度５のかなり大型でした。
阪神大震災で自宅が全壊になって地震のこわさはとっくに承知。俗にも「地震雷火事親父」といいます。ですから、○中工務店の免震構造のマンションに住み替えました。
この免震構造、はじめての体験ですが揺れますよ。まるで「やじろべえ」の如し。揺れによって地震の震動を吸収するのでしょうか。１３階ですと１ｍほど揺れてる感じです。
台風につづいて地震が一夜に２回、えらい当たり年です。

[3167 へのレス]Re: 地震だ～！！

投稿者：菊久 投稿日：2004/09/06(Mon) 07:05

倭士さん、
お心配りを頂き恐縮です。

今回の地震は、広範囲で強い揺れを記録したようです。
皆様方の方面は如何なものだったか、心配しているところです。

私は、一回目の地震の時は三重・名張市で家族と回転すし屋で食事中。
不謹慎で失礼かもしれませんが、貴重にも私は各々ファミリーの行動の取り方を観察することが出来ました。
急いでテーブルの下にかくれる家族・外へ避難する家族・揺れていても食事する家族と様々。
我がファミリーは「食事タイプ」でしたけれど、私は厨房に高く積まれてある皿が倒れるようなら『避難勧告』を出そうと思っておりましたが、幸いに倒れるまでなく収まりました。

帰宅後の被害は、長女が保育卒園記念に作った「お皿一枚破損」で済みました。
二回目は「就寝中！」
三回目は起床して「パソコンのスイッチを ON」にした時に弱い揺れ。

話は変わって、
昨日は私が所属する支部で『納涼特別鑑賞会』が有りました。
場所は、奈良市を一望できる山の中腹にあるホテルの広間を借用して行われました。
鑑賞刀は、
１号刀　【刀】　藤原是一
２号刀　【刀】　五郎左衛門尉清光
３号刀　【脇差】井上真改
４号刀　【短刀】来　國次
５号刀　【刀】　左行秀

観賞後は、『暑気払い懇親会』

名刀を鑑賞したあと、杯を交わしながら「刀剣談義」。
楽しい時間を過ごさせて頂きました。

で、私の鑑定結果は・・・
「聞いて欲しく無い。ボロボロに打ちのめされました」

[3167 へのレス]Re: 地震だ～！！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/09/06(Mon) 20:43

隠居さん・菊久さん　こんにちは・・
皆さんご無事で何よりです。
阪神大震災を体験していない（千葉の柏に出張中で・・）私としては、
今まで体験した地震では最大級でした。（関東の人に笑われるかも）
阪神大震災以来関西では地震の回数が確実に増えていると思うのですが？
（小さい頃は地震なんて本当に珍しかったのにね！
明日からはまた台風ですよー！

＞所属する支部で『納涼特別鑑賞会』が有りました。
　☆　月末にお逢いした時に詳しくお話しを聞かせて下さいね。

[3167 へのレス]Re: 地震だ～！！

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/09/06(Mon) 21:17

皆様。大事に至らなかったようで、安心しました。

明日は台風ですね。(>_<)。困ったもんです。
もう、雨も風も当分要りません。
引き続いて来る１９号の雨の量如何では、吉野川の緊張の度合いが、私が生まれて体験したことのないほどのものになる可能性があります。

地震も阪神淡路大震災の再来かと、思わせるような長い揺れを感じました。
気色悪かったです。

１０年以上も前に東京の八王子にいた頃は、しょっちゅう地震に遭って、四国とは違った感じで、慣れるまでにずいぶん掛かりましたが、棚から物が落ちるほどの大きな揺れを体験したときは、寮にいた関東の友人もさすがに部屋から飛び出して来てました。
関東の方も地震には大変な思いをされているようです。

隠居さん。
免震構造の建物って、そんなに揺れるのですか。
部屋の物は落ちたりしないのでしょうか。
免震構造の一般家庭版というのは、住宅メーカーでも最近の広告を見るに限っては、言っていないように思いますが、普及度はどうなんでしょうか。

地震対策のために、住宅の診断をしますというフレーズで、公共のものかなぁ、チラシが時々新聞に入っているのを見かけますが、補強などの費用を考えると、いくらくらいかかるのでしょう。
シロアリ予防の費用捻出や屋根外壁の塗装代などを捻出しないといけないこの時期、頭が痛いです。

[3167 へのレス]Re: 地震だ～！！

投稿者：隠居 投稿日：2004/09/07(Tue) 06:32

倭士さん、阪神大震災のときにご主張ですか。幸運というべきなんでしょうね。

真改さん、「免震構造」はこのマンションに限って云えば、基礎柱の全部にゴムの緩衝材を設けていることで、そのために高い階ほどものすこく揺れます。下の階の１センチが１メートルになる理屈です。これはマンション購入時模型で確認しました。

「それだけ揺れると棚の上の物が落ちないか？というお尋ねですが、私も落ちて当然と思っていま

したが、始めての体験では震度５程度では大丈夫です。揺れ方がゆらりゆらりと「やじろべえ」や「起き上がりこぶし」のように遠心力を伴ったふわっとした揺れ方でした。(私はよい気持ちでしたが家族はひどくこわがりました)
この免震構造、低層家屋だといいのではありませんか。

[3167 へのレス]Re: 地震だ・台風だ～！！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/09/07(Tue) 12:16

＞阪神大震災のときにご出張ですか。幸運というべきなんでしょうね。
う～ん。どうなんでしょうか？　体験していた方が今後の備えになったかもと・・？
震災後、仕事で神戸（ポートアイランド）まで行くのに半日かかったた事と、家が壊れて車がペチャンコに成っているのは覚えてますね！
まるで空襲のあとみたいでしたね！（勿論、空襲は体験していないが・・）

今日は、ＯＦＦで、８時過ぎまで寝ていたらまた地震が・・
もう勘弁して～！！
関東の方から見れば震度４や５で、何を騒いでるのかって感じでしょうが・・

さっ、これから 台風とのたいけつだ～！

[3167 へのレス]Re: 地震だ～！！

投稿者：法城寺@設備屋 投稿日：2004/09/07(Tue) 12:20

地震にあわれた皆様、謹んでお見舞い申し上げます。
ご隠居様の仰る免震構造は積層ゴムの上に建築物を載せることで地震の揺れによる構造物の歪曲、ひいてはそれが原因での破損・倒壊を防ぐ効力があります。

→ http://www.sumitomo-siporex.co.jp/

構造物そのものを均等に揺らすことで破壊を防ごうというもので、たとえば下敷きなどを手に持って下の方を強くゆすると下敷きがしなりますね。ところが下敷き持った手を平行に動かすと、下敷きが異動するだけでしなりません。これが免震の考えです。(わかりずらい説明で申し訳ございません）しなりが建物の耐久力の限界点を超えると破損・倒壊するので、建物全体を揺らして力が一点に集中しないように分散させるということです。
さらに建築物に外部から引き込む給排水管の横引きの接合部、縦管との接合部の下部にも可動式の積層ゴムを用いてますのでライフラインをも保護しています。
現在は病院や庁舎などに広くこの免震構造が使われており、これからの新築物件にはますます増えていくことでしょう。低層住宅にも積水ハウスなどがいち早く取り入れているようです。

[3175] 関西の刀剣店

投稿者：ドットコム 投稿日：2004/09/12(Sun) 15:57

はじめまして。
皆様に教えていただきたい事があります。
初めて刀剣を購入しようと思って居ります。
展示会方式の販売をされている所やホームページを
持たれている刀剣店へは 2～3 度伺ったことがあります。
初めての為まずお店から決めたほうがよろしいでしょうか。
初心者でも相手にして頂けるお店があればご教授下さいませ。

[3175 へのレス]Re: 関西の刀剣店

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/09/12(Sun) 16:40

関西方面在住の皆様。
よろしくお願い致します。m(__)m。

[3175 へのレス]Re: 関西の刀剣店

投稿者：隠居 投稿日：2004/09/13(Mon) 09:38

私は関西在住が永いのですが、お付合いする刀屋さんはしもた屋風で、初めての人では不向きでしょう。
○さし屋という刀屋さんが有名で展示会のたびに出品しています。無茶なことはしないと思いますが、できれば刀の会に入って先輩方の所有刀を見せてもらい、相談にのってもらうことをお勧めします。

[3175 へのレス]Re: 関西の刀剣店

投稿者：ドットコム 投稿日：2004/09/13(Mon) 12:46

真改様、隠居様　ありがとうございます。

堺市の骨董屋さんでしょうか、
ホームページを見たことがあります。
一度伺ってみようかなと思います。

何も判らない為、かなり信頼できるところ
からでないと、不安であります。

勉強の為、刀剣の会も検討してみます。

ご指導戴きありがとうございます。

[3175 へのレス]Re: 関西の刀剣店

投稿者：倭　士 投稿日：2004/09/14(Tue) 00:15<HOME>

ドットコムさん　はじめまして・・
私くしも隠居さん同様、先ずは鑑定会などでどの様な刀が好みなのか、勉強されてからご購入されるのが良いと思いますが・・。
ナカナカ高い買い物なので、じっくりご検討されるのがイイですよ！
関西の刀剣店ですが、大手と言うか老舗では難波・日本橋の吉☆刀剣さんや隠居さんお勧めの堺のむ☆し屋さんなどが有名ですね。
　今週末 堺で刀剣展が開かれますので、そこに行かれるのもよいと思います。（詳しくは投稿画像掲示板で・・）
どの刀屋さんがイイかはそれぞれ好みがある様です。

もし宜しければ、関西刀友会の秋の企画にもご参加下さいませ。
　（詳しくは、電脳討論掲示板で・・ 初心者大歓迎！！です。）

[3175 へのレス]Re: 関西の刀剣店

投稿者：ドットコム 投稿日：2004/09/14(Tue) 20:46

倭士様、はじめまして、
色々と教えて頂き有難うございます。

大阪刀剣まつりは観に行く予定です。
堺のお店は出展されているとのことでした。
日本橋のお店は知りませんでした、のぞいてみます。

店主の方のお人柄で長くお付き合いできる
お店を見つけたいと思っています。

京都市でも何軒か伺いました中で
Ｏ陽堂さんも面白かったです。

刀剣店も色々社風みたいなものがありますね。

時間があればぜひどこかの会に行ってみたいものです。

ありがとうございました。

[3175 へのレス]Re: 関西の刀剣店

投稿者：倭　士 投稿日：2004/09/14(Tue) 21:40<HOME>

＞ 店主の方のお人柄で長くお付き合いできる
お店を見つけたいと思っています。
私もドットコムさんのお考えに賛成です。
じっくり気長に探されるのをお勧めします。
お互い あせって下手物をつかまない様にしましょう！

もし、京都の方なら毎年５月の連休には刀剣展がありますよ！
☆ 来年まで、気長にお待ちくださーい。　（＾＾）

http://www.alles.or.jp/~kuraya/festival.htm
近々一度、刀剣会にでも ご一緒出来る事を楽しみにしております。

[3182] 無題

投稿者：吉井 投稿日：2004/09/14(Tue) 21:54

初めまして。
名古屋在住の初心者です。
名古屋周辺で、刀の見方等をきちんと教えていただけるようなお店をご存じの方はいらっしゃいませんか。
私もそろそろ、刀剣を購入したいと考えております。
初心者でも、相手にしていただけるお店があれば教えてくださいませんか。
それと、協会の支部の鑑賞会等はどうも敷居が高いので、名古屋周辺で刀剣の勉強会を開催して見える方をご存じの方はいらっしゃいませんでしょうか。お教えください。

[3182 へのレス]Re: 無題

投稿者：倭　士 投稿日：2004/09/15(Wed) 11:30<HOME>

吉井さん　はじめまして・・　　↑
名古屋の刀屋さんはよく知りませんが、関西の展示会で「刀剣徳川さん」がよく出店されておられますね。

＞協会の支部の鑑賞会等はどうも敷居が高いので
関西では、刀屋さんでも勉強会をしている所もありますよ！
一度、問合せてみればどうでしょうか・・？

[3182 へのレス]Re: 無題

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/09/17(Fri) 06:39

名古屋では、刀剣徳川さん以外には私もあまり知りません。
大きな都市ですので、刀剣美術などにも広告が出ていそうな気がしますが・・・。

名古屋では、大阪京都そして東京と、素早く移動ができそうですので、地元になくてもちょっと東京あたりに足を伸ばすのがよろしいかと思います。

私の地元にも骨董屋さんはあっても、刀剣商がないんですよね～。

[3182 へのレス]Re: 無題

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/09/17(Fri) 11:57

吉井さんこんにちは。

名古屋ならば、やはり「刀剣徳川」さんだと私も思います。
そこの、ご担当者の福岡勇仁（ふくおかゆうじ）さんは物腰穏やかな、とても親切な方です。
お店にいってみてお話してみてください。
きっと、色々な事を教えてくれると思いますよ。

[3182 へのレス]Re: 無題

投稿者：吉井 投稿日：2004/09/17(Fri) 13:16

倭土さん、真改さん、こぶ平さん、懇切な御教授ありがとうございました。
先ほど、地図で「刀剣徳川」さんの位置を確認してみました。私の家から車で１時間程のところでしたので、明日にでも行ってみようと思います。
仕事の関係で、毎月１週間は東京に、２日間は大阪にいますので、またお目にかかることもあるかと思います。その節はよろしくお願いいたします。

[3182 へのレス]Re: 無題

投稿者：鉄. 投稿日：2004/09/17(Fri) 23:08

　そう言えば、関市の春日堂さんが、犬山辺りで、鑑定会をしているみたいですよ。ホームページも有るので、問い合せてみては如何でしょう。

[3183] 勉強の仕方

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/09/15(Wed) 11:02

みなさん、始めまして。
千葉県在住のこぶ平と申します。
刀を見始めて既に幾年かたっていますが、未だに鑑識という点で成長がありません。本を読んで覚えようと思ったのですが、なかなかに覚えきれるものではなく・・・。懇意の刀剣店でいいものを見せてもらってはいるのですが。また、手持ちの松田次泰刀匠の刀をみて、勉強しようとはしているのですが・・・。
大刀剣市にも、毎年行って刀を見てくるのですが、現状ではただ見てくるだけ・・・といった感じです。
みなさんは初心者のころ、どのような勉強をされたのですか？
よろしければお教えください。

[3183 へのレス]Re: 勉強の仕方

投稿者：倭　士 投稿日：2004/09/15(Wed) 12:04

こぶ平さん　はじめまして・・
　今日はＯＦＦで昼間からお邪魔しております。
私も本格的に勉強をはじめてまだ数年の駆け出しですが・・。
私の勉強方法ですが、主に鑑定会に参加して見てきた刀の特徴と図（画）
でノートに記入しております。
鑑定会で初めて見た刀やよく判らない刀は、帰ってきてから本などで確認しますね！

こぶ平さん同様、はじめは各刀工の特徴など覚えようとしましたが、ナカナカ・・↓。
私には予習より復習の方が勉強になりますね！

博物館などで刀を見るのもイイが、矢張り鑑定会が一番勉強に成りますよ!
敷居は高いかもしれませんが、何処かの会に一度参加されたらどうでしょうか？
関東なら毎週の様に色々な所で開催されてますし、刀友も沢山出来ると思います。　（勉強するには地方の方から見たら羨ましい地域ですよ！）

松田刀匠の刀をお持ちとか・・　うらやましいですね～！
刀匠とは、以前一度ある方から紹介され、一緒にお写真を撮影させて頂き
御送りしたら、わざわざお礼状頂きました。
もの静かで優しいお人柄でしたね。
刀匠も確か、千葉の船橋在住だったかと・・？　地元刀匠の刀を購入して応援するのはイイ事だと思います。

[3183 へのレス]Re: 勉強の仕方

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/09/15(Wed) 16:08

倭士さん　こんにちは。

コメント有難うございます。
刀を見てきた後に、復習のようなものはしたことがありませんでした。
それじゃあ、勉強にはなってなかったかも・・・と今では思います。
松田刀匠の刀は、懇意にしている池袋の刀剣店で格安で入手できたものです。
ゴールデンウィークに、松田刀匠のご自宅で個展が開かれました。
その際にお持ちして、松田刀匠ご本人に見ていただきました。
とても懐かしがられ、茎のお手入れまでして下さいました。
この刀、松田刀匠の独立第１作目で、コンクール初出品作だったそうで、結果は、入選の上位だったそうです。
銘は「松田周二作　昭和５５年２月日」です。
刀匠ご本人はとても気さくで、優しい方です。
松田刀匠は、現在千葉市在住、鍛刀場も敷地内に建設中とのことです。
たしか、地元佐倉に刀友会があったはずなので、訪ねてみます。
しかし、鑑定会とは、読んで字の如く、鑑定をする会ですよね？
あの、入札鑑定をするには、まだまだ勉強不足で、恥をかきに行くだけのような気が・・・。
私は、立身流という古武道を習っていますが、なかなか刀友というものができず、周りには刀趣味の人が余りいないので困っていました。
会社の上司でいい刀をたくさん持っている部長さんがいるので、お邪魔して、見せてもらったりしていました。備前長義、村正、為継、綱俊、康継など、重要刀剣が目白押しで。この方が刀友と言えるかもしれませんね。
大刀剣市でも、同じくらいの年頃の方なんかに声をかけようとするんですが、小心者なので、声をかけられたことがありません。

ってことで、インターネットをうろついていたら、こちらにたどり着いた次第です。
ちょくちょく、覗いてみますので、宜しくお願いいたします。

[3183 へのレス]Re: 勉強の仕方

投稿者：和さん 投稿日：2004/09/15(Wed) 16:41

ココの人わみんなよい人ばかりですよ。。私も新人です。宜しくネ。。

鑑定会が一番勉強になるとよく聴きますネ。。
僕も地元で参加するつもりです。。

[3183 へのレス]Re: 勉強の仕方

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/09/15(Wed) 20:45

こぶ平さん　こんにちわ　鬼丸と申します。

大刀剣市に毎年見学にこられているとのこと。
私もここ５～６年毎年行っております。
ひょっとすると、会場で何度となくニアミスをしているかも
しれませんね。この掲示板の参加者で年一度、大刀剣市見学
及び OFF 会を行っているのはご承知でしょうか？
皆が持ち寄った刀剣・刀装具の鑑賞や歌あり涙あり？
の楽しいひと時です。今年も来場予定であればこぶ平さんも参加
してみては・・・べつの意味の勉強もできますよ。
今後も宜しく御願いします。

[3183 へのレス]Re: 勉強の仕方

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/09/15(Wed) 22:49

こんばんは。
真改 2004 と申します。よろしくお願い致します。

なかなか刀剣の勉強は進みませんよね。(>_<)。
実感しております。
やはり、鑑定会や展示即売会、会社の上司でいい刀をたくさん持っている部長さんがいる(^^ゞなどなど、実物を見ることが一番！！

そして、本も読みます。

なにわともあれ、大刀剣市でご一緒しませんか。
オフ会での皆さんが持ち寄ってワイワイガヤガヤの討論会？
楽しいですよ！

[3183 へのレス]Re: 勉強の仕方

投稿者：倭　士 投稿日：2004/09/15(Wed) 23:04<HOME>

本当にここは誹謗・中傷などの書き込みは少なくイイ・サイトだと思います。 今後ともヨロシクお願いしますね！
　鬼丸さんがおっしゃる通り大刀剣市の集りに参加されるとイイと思います。

刀友が沢山出来ると思いますよ。（私も参加したいが¥が少々・・。）

　ＰＳ：昼に書込みをした後にＬＯＶＥＲＳ（映画）を見て来ました。
とても映像や衣装が華やかで綺麗でした。
チャン・ツィイーの好かったし、流石、金城 武の中国語も上手かったですね。
　　余談でした・・。

[3183 へのレス]Re: 勉強の仕方

投稿者：花散里 投稿日：2004/09/15(Wed) 23:52

こぶ平さん、こんばんは。
永遠の素人、花散里と申します。
ぜひ、大刀剣市＆OFF 会にご一緒しましょう(^^)

OFF 会の幹事は私が務め、今月後半以降に参加者募集をする予定です。
ご不明な点などありましたら、直接私宛にメールをいただけたらと思います。

[3183 へのレス]Re: 勉強の仕方

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/09/16(Thu) 01:45

はじめまして、こぶ平さん。こてつ。と申します。
「松田次泰」刀匠の刀をお持ちですか…、羨ましい…。
古備前写しの太刀に上がるあの映りは見事です。
電脳倶楽部には経験豊かな刀兄、そして気の置けない刀友が目白押しです。
大刀剣市でもご一緒出来たら良いですね。

[3183 へのレス]Re: 勉強の仕方

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/09/16(Thu) 09:44

皆さんはじめまして。ってゆーか、おはようございます。
たくさんの書き込み有難うございます。
ＯＦＦ会ですか・・・いいですね。
今年も大刀剣市には必ずいく積りですので、ぜひＯＦＦ会も参加させてください！
その折には松田刀匠の刀もお持ちします。
ですが、最初期のものですので、今の作風とは違うと思いますのでご了承ください。

大刀剣市の観覧や、ＯＦＦ会の日取りは今月末に書き込みされるということですよね。
楽しみにお待ちしております。

[3195] 刀の勉強

投稿者：隠居 投稿日：2004/09/17(Fri) 09:27

刀の勉強を考えておられるこぶ平さんに心から声援を送ります。
千葉在住といえば名著「日本刀鑑定要訣」の著者館平吉先生が支部長をつとめられた日刀保の支部があり、また東京都内には大小さまざまな研究会がありますから、刀の勉強には実にもってこいの場所です。これと思われるところに電話して「見学」を申し込まれ、一度雰囲気がご自分に合うかどうか実際に経験されたら如何でしょうか。こういうのは大支部よりは、こじんまりした会のほうが良いと思います。
刀の楽しみ方は幅ひろく色々ありますが、その中でも江戸時

[3195 へのレス]Re: 刀の勉強

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/09/17(Fri) 11:39

エール、有難うございます。
一生涯の勉強として、真摯に励んでいきたいと思います。
相談の書き込みの際にはアドバイスの程、宜しくお願いします。
本筋からいえば、日刀保の千葉県支部に行くのが良いのでしょうね。
しかしながら、少し私には敷居が高いようです。
ですので、当面は地元で刀友会などを探して、まずはそこで勉強してみようと思います。

[3195 へのレス]Re: 刀の勉強

投稿者：幹 投稿日：2004/09/20(Mon) 22:16

久しぶりです。
少々疑問に思いましたので意見をひとつ
自分は岡山の田舎で本筋の物を拝見しようと岡山在住ではありますが、特別展のときなどは一日車をはしらせ､または電車にのって近県まででかけております｡それがすごいこととはいいませんが、せっかく県内にいい支部があってそれにいかないのはもったいない話です。敷居などといわず、せっかくの機会ですから、教えを請うつもり
でうかがってはいかがですか。
自分も教えを請いたい人はたくさんいますが田舎のこととととてかないませんが、せっかくの千葉県であり、しり込みしてるならもったいない話と思いかきこませていただきます。最初だから刀友会でなくて最初だからこそ本流を学ぶべきだとおもいます。
参考になさってくだされば幸いです。

[3195 へのレス]Re: 刀の勉強

投稿者：幹 投稿日：2004/09/20(Mon) 22:38

おくれましたが自分では本流と思い日保○の○○支部にも出席させてもらっています。貪欲に学ぶべきです。恥じてはいけませんよ。

[3195 へのレス]Re: 刀の勉強

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/09/21(Tue) 11:53

幹さん、ご意見有難うございます。
仰るとおりです。
前回の書き込み後、色々調べてみました。
その結果、今考えているのは、地元にこだわらず、東京までもたいした距離ではないのだし、日本美術刀剣保存協会の本部で参加してみようかと。
自分が勉強するのですから、しやすい環境を第一に考えています。ですから、まずは「見学」からですね。

[3195 へのレス]Re: 刀の勉強

投稿者：隠居 投稿日：2004/09/21(Tue) 12:42

幹さん、こんにちは
岡山はかって小林種次先生や岡野備山先生が指導される会が日刀保とは別にあり、そこで学ばれた古参の方々が沢山おられますし、美術館は林原美術館という刀では日本屈指の美術館があり、最近では倉敷にもできたと聞きます。刀匠は大野義光師が林原鍛刀所におられるという刀では恵まれたです。この県から隣県に足を伸ばしても刀剣の面ではさしたることもありません。
ですが千葉県内にはさいたまや東京都に近いところにお住みの方がたくさんおいてです。そして隣県埼玉は小さい県ながら日刀保だけで九つも支部があるという「刀好き」の先生方がひしめくところです。この中で雰囲気のよいところを探すというのは決して本流から外れるものではないと思います。数十人が詰め掛ける大支部では刀わ手にする時間も制限されますし、初心者の指導もマンツーマンではやりません。

こぶ平さん、大支部と小支部の雰囲気をぜひ比べてください。そしてどなたかに声を掛けてみて反応をみてください。

[3195 へのレス]Re: 刀の勉強

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/09/21(Tue) 17:23

隠居さん。こんにちは。

私が今現在で踏ん切りがつかないのもご指摘された点でなのです。
本筋を学びたいと思いますが、本部や大支部では、人数が多いだけに初心者にばかり教えている時間が無いのではないかと思います。
現状では日刀保本部に入会して・・・と考えてはいるのですが、ご指摘の点がどうにも不安なのです。
最低限の基本から教えて頂けるような場所が、私には必要です。
刀の部位名などから始める必要はありませんが、せめて、古刀・新刀・新々刀・現代刀の見分け方、傷や欠点の見分け方、刃中の景色の楽しみ方位は修めたいと思います。そして、力量を付けたら鑑識へ・・・と考えております。
そのためには、初心者が一から学べる場が入り用です。
ですから、私も先ほど書き込みましたが、まずは「見学」です。

[3196] 刀の勉強　つづき

投稿者：隠居 投稿日：2004/09/17(Fri) 09:31

江戸時代から続いた「当て鑑定」は実に奥の深い道楽です。幾多ある趣味道楽の中でも屈指のものだと自賛しています。
そして倭士さんが云われるように、鑑定会が見た刀を後で自分の「入札票」を前にして思い出します。こういう復習や反省が知らぬ間に実力をつけていきます。
書物の知識も鑑定会で恥をかいたあとはすごく身につきます。どうぞ頑張って下さい。

[3203] 軍刀や短刀の展示が無茶苦茶

投稿者：隠居 投稿日：2004/09/21(Tue) 10:25

舞鶴の海軍記念館に行ったところ歴代長官の短剣や軍刀が展示してありました。明治年間の将官のものだけに外装の質もよく、中身も古刀らしく見える立派なものでした。
しかし、残念にも飾り方が裏表逆、柄を向って右にし、中身についても刃を下にしています。これではいかにも情けないので、帰宅して電話をしました。
「刀剣類の展示がおかしいです。短剣といえど表裏がありますから、逆向きの展示はたいへん見苦しく残念です。ぜひ、東郷神社や靖国神社にならい正しく展示願います。」
と申し上げました。
それにしても短剣を吊らない今の自衛官では、こういうことなんでしょうね。

[3203 へのレス]Re: 軍刀や短刀の展示が無茶苦茶

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/09/21(Tue) 17:52

隠居さん。小諸の懐古園の中にも徴古館という小さな資料館があります。
大したものは展示されていないんですが、それでも数口の刀剣が飾られています。
やはり飾り方はメチャクチャです。

見るからに銘のいい加減なもの、出来のあやしいものが殆んどですので誰も何も言わないのかも知れません。市の観光課（？）からして、刀剣類にはかなり無関心ですから…これも仕方ないと諦めています。

[3203 へのレス]Re: 軍刀や短刀の展示が無茶苦茶

投稿者：隠居 投稿日：2004/09/22(Wed) 08:46

こてつさん、そちらでもそうですか。
日本各地に歴史博物館や資料館ができ、刀剣や武具の展示がありますが、ちゃんと飾っているところのほうがむしろ少ないのでしょう。
どんな地方都市でも刀剣の登録審査員はいますから、そういう方々が大いに指導して頂きたいものです。
舞鶴の海軍記念館は世界に誇る提督たちの大切な資料の展示場所ですから、表裏が逆ではなんとも情けない次第です。小生の注意にたいして関係者からは感謝の一言もありませんでしたから、直す意志があるのか疑わしく思います。情けないことです。

[3203 へのレス]Re: 軍刀や短刀の展示が無茶苦茶

投稿者：守重 投稿日：2004/09/22(Wed) 23:09

で、何時も思うのですが、こういった展示館で、果たして展示している刀剣類の手入れは誰がするのでしょうか？　懐古園に行ったとき、明らかに手入れ不足で曇りや錆が始まっているなあ、という印象がありました。学芸員も「自分たちが手に触れるものではない、触らぬ刀に祟り無し、、、」とでも思っているのでしょうかね。刀剣展示の最低限のマナーなるものを、日刀保とかで講習会を開けばいいなあと思うのですが。。。

[3203 へのレス]Re: 軍刀や短刀の展示が無茶苦茶

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/09/22(Wed) 23:38

守重さん、お久しぶり。
そうですね、懐古園は酷いです…(;^_^A
それに引き換え上田城址にある市立博物館はしっかりした展示をします。
ここには「真雄」の９７．５センチの大太刀があります。
やはり所蔵品のクラスによって学芸員の質が変わってくるのでしょうか？
推測ですが、小諸には学芸員すらいないと思われます。
上田や松代の真田記念館等の展示には真田の郷としてのプライド、誇りのようなものを感じます。

[3203 へのレス]Re: 軍刀や短刀の展示が無茶苦茶

投稿者：守重 投稿日：2004/09/23(Thu) 00:33

こてつさん、毎度です。上田の市立博物館は行ったことありませんね。今度言ってみます。確かに小諸はパートの退職者がやっている感じでしたね。懐古園、、、桜がキレイで古びた懐かしい動物園があって出かけるのには良いのですが。。。小諸にも美術館（近くにハローアニマルがある）あったと思いますが、学芸員はいないのかなあ？　でも市町村レベルでも長野県レベルでもしっかりして欲しい。。。でもあの知事じゃ駄目かな？　私個人としては長野県では戸隠の忍者村の戸隠忍者の展示物は面白いと思いました。忍者モノは芸術とか美術とかには縁遠いものですが、一つの影の文化として大切に保存して欲しいと思います。（とかカキコしていたらまた行きたくなりました。）あーあ、また長野に行きたくなった。

[3213] ◎ 関西刀友会 ◎ ☆

投稿者：倭　士 投稿日：2004/09/23(Thu) 20:47

みなさんお久しぶりです。
さて、２６日に予定されております秋の刀友会行事ですが、何人かの方からお問合せが御座いました。
皆さん いつも勝手な書込みで画面を占領しまして申し訳御座いません。

関西の方で参加ご希望の方は、前日まで参加受付しておりますので、ドシドシお問合せ下さい。　（詳しくは、電脳討論掲示板Ｎｏ９６４をご覧下さいませ。　（ご参加お待ちしておりま～す。）

＞刀剣ビギナーさん・・
初参加でだいぶ緊張しておられる様ですが、気軽にご参加下さい。

ベテラン刀友の鎬さんが、手取り足取りお教えしますので・・。(^ _ ^)
当日、お逢い出来るのを楽しみにしておりま～す。

[3213 へのレス]◎ 関西刀友会 ◎ ☆

投稿者：倭　士 投稿日：2004/09/23(Thu) 22:51

波平さんおばんです　＞２６日の刀友会のご盛会を祈っております。

　応援メッセージ有難う御座います。　何とかイイ集いにしたいと、菊久さんなどと日々談合しております。
必ずご報告する様に致します。　お楽しみに・・。

[3212] 燃えよ剣

投稿者：花散里 投稿日：2004/09/23(Thu) 20:23

やっと暑さも和らぎ、過ごしやすくなってきましたね。
今年の暑さは異常でしたが、それでも季節は移り変わり２８日は十五夜です。
「芸術の秋？」ということもあり、以前こつこつと買い集めたビデオ「燃えよ剣」を改めて見ている、今日この頃です(^^ゞ

新選組 土方歳三役の栗塚旭さんの大ファンである私ですが、昔の時代劇は何度見ても面白く、その他の出演者も魅力的で最近の時代劇とは一味違います。
また、その中でも新選組屯所 八木家の番頭 伝蔵役の小田部通麿（おたべ みちまろ）さんは、一種の狂言回し的な役なのですが、最後まで物語に絡む結構重要な役で出演されていて、そのキャラクターが良い味を出している私の好きな俳優さんでした。

最近は俳優をやめ、脚本家 結束信二氏のお墓がある、京都市北区の誠心寺（じょうしんじ：お寺の名前がいかにも新選組ですが、本当の話です）の住職をされていたようですが、今年の 8 月 29 日に死去されていました。77 歳。
また一人、個性的な俳優さんが亡くなり寂しい限りです。
ご冥福をお祈りいたします。

[3212 へのレス]Re: 燃えよ剣

投稿者：倭　士 投稿日：2004/09/23(Thu) 20:59

＞ 花散里さん こんばんは・・。
上にすぐ下らない事を書き込んでしまいスイマセ～ン！

＞ やっと暑さも和らぎ、過ごしやすくなってきましたね。

流石に暑かった関西でも昨日から少し涼しく成りましたが・・
でも・・本日も、30℃を超え大阪で９１日・京都で９４日連続真夏日です。（過去最高記録！）

２６日の〈秋の刀友会〉も、《残暑刀友会》に名称を改めようかな～！？

[3212 へのレス]Re: 燃えよ剣

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/09/23(Thu) 21:15

＞花散里さん。
僕もテレビの時代劇は殆んど見なくなりました。最期まで欠かさず見たのは「鬼平犯科帳」「剣客商

売」まででしょうか。
ＮＨＫの大河ドラマもすっかり芸能人隠し芸大会の装いで…。
年に一度なら許せるが毎週見るのは辛いものがあります。
画面の作り方や演出、役者の演技も昔の方が何故かシックリ感じます。
来年の大河は…「義経」でしたっけ？ハァ～ッ(ー_ー#)

[3212 へのレス]Re: 燃えよ剣

投稿者：花散里 投稿日：2004/09/23(Thu) 21:39

＞こてつ。さん
最近の大河ドラマは、「大河」という気がしませんね。
来年も、見るのは最初の１回だけかな～(^_^;)
何ででしょうか？　「役者」と「タレント」の差でしょうか？

[3212 へのレス]Re: 燃えよ剣

投稿者：波平 投稿日：2004/09/23(Thu) 22:27

＞花散里さんおばんです
　花散里さんが栗塚旭ファンとはうれしいです。私も大好きではまり役の土方歳三はもちろんですが「俺は用心棒」なんてとってもなつかしいです。これに出演していた左右田一平さんは柔術・天地正大流の先生役で大好きな役者さんの一人です。数年前、京都の哲学の小道近くにある「若王子」で栗塚さんご本人にお会いして記念写真を撮らせていただき大感激でした。風の新十郎役の放送はケーブルＴＶで放映しましたので全巻 DVD に録画してあります。最近は本当に味のある時代劇が少ないですね。
＞倭士さんおばんです
　東京もきょうは涼風がたっています。２６日の刀友会のご盛会を祈っております。その日は仕事（((-_-)）ですが画像掲示板などで是非ご様子を拝見したいものです。
＞こてつさんおばんです。
　ボランティアご苦労様です。今日も浅間山は中規模噴火とか、お気をつけください。
　まったく最近の時代劇ときたら歩き方からなっておりませんね。私はケーブル TV の時代劇専門チャンネルを見ることのほうが多くなりました。鬼平犯科帳はオール読物掲載のころから大ファンです。脇を固める役者さんの良し悪しが作品を大きく左右しますね。

[3212 へのレス]Re: 燃えよ剣

投稿者：花散里 投稿日：2004/09/23(Thu) 23:30

＞波平さん
どうも、波平さんとは趣味が似通っているようで、光栄の至りです(^^)

「若王子」当時何も知らなかった家内を連れて、私も行きましたよ、新婚旅行の時に(^^ゞ
八木邸と壬生寺と黒谷の金戒光明寺も行きましたので、家内は「どこへ連れて行かれるのか」と思ったそうです。
栗塚旭さんと左右田一平さんは、私の中の「はまり役」です。
「燃えよ剣」と「新選組血風録」は、ビデオで全巻そろえました。
「俺は用心棒」も欲しいんですけどね(^^)

[3212 へのレス]Re: 燃えよ剣

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/09/24(Fri) 12:00

皆さんこんにちは。
なにやら時代劇談義のご様子。飛び入りいたします。
私は、海音寺潮五郎の「天と地と」を昔から飽きずに見ています。
その中で出てくる、柿崎弥二郎（後の柿崎和泉守景家）が好きで好きで。
映画で彼の役だった俳優さんもいい味を出していました。
武田の魚鱗の陣に突撃する勇壮さがたまらず、名高い武田武者でも彼と一合とてまともに槍を合わせられる者が無い絶倫の武勇をよく表現していたように思います。
かねてより、彼の佩刀は何だったのかと調べていたりします。
海音寺潮五郎といえば、私の会社の部長さんの所有の村正の前所有者が海音寺潮五郎だそうで、彼の小説のあとがきにその刀の事が書いてありました。（なんという本だったかは覚えていませんが）
夜な夜なひとりでに刀が鞘から抜けるそうで、奥方が怖がって売ってしまったそうです。
まあ､鯉口がかなり緩かったんでしょう｡部長が白鞘を新調した時に鯉口を堅く作ってもらったら、そういうこともなくなったそうで。
世に伝わる村正の気持ち悪い話というものは、こういう風に説明がついてしまうものかもしれませんね。

[3212 へのレス]Re: 燃えよ剣

投稿者：波平 投稿日：2004/09/24(Fri) 23:09

＞花散里さん
　こちらこそビックリです。何故って京都でまわられた所がまるで一緒です。でも新婚旅行で行かれたとはさすがです(脱帽！)。
　初めて八木家をおとずれた時はまだ御子孫が住んでいらっしゃいましたよね。そばの前川邸も昨今のようにきれいに修理などされていないで当時の雰囲気が残っていたように思います。
　「俺は用心棒」やはりご存知ですよね。♪闇に燃えるは　蒼き白きかがり火　命の影を　遠く遠く映した～♪　あの主題歌が聞こえてきます。
　劇中で沖田総司を演じていたのは島田順司(はぐれ刑事の課長さんよりは沖田のイメージが強いのです)でしたし、それになんといっても最後の終わり方が余韻があってよかったですね。
　なんだかとってもうれしい気持ちになりました(^o^)

＞こぶ平さん　はじめまして　波平と申します。
　私も「天と地と」大好きで原作を読んで大河ドラマも見ましたよ。私は凛々しい石坂謙信と宇野重吉のたしか宇佐美定行(でしたっけ？)そして鉄上野介の役どころが好きでした。
　これからもよろしくお願いいたします。

[3212 へのレス]天と地と

投稿者：吉村貫一郎 投稿日：2004/09/26(Sun) 15:43

＞こぶ平さん

【私は、海音寺潮五郎の「天と地と」を昔から飽きずに見ています。】
とありますが、ビデオやＤＶＤになっているのでしょうか？

私は今年４２歳ですが、初めて感動した時代劇が、
川中島の八幡原に住んでいた祖母と一緒に見た、
ＮＨＫ大河の「天と地と」なんです。

今では川中島合戦の前に石坂謙信が、
「刀の折れたものは敵の喉笛を噛み切ってでも戦え」
のような内容で激を飛ばしていた場面しか覚えていないのですが、
是非ともまた見てみたいと思います。

真田松代藩ゆかりの者ですが、
伝来の赤備え甲冑を虫干しのために床の間に飾った際、
天衝の前立てを画用紙で作った謙信の日に三日月の前立てに変えて、
怒られた記憶があります。

なにはともあれ、
再度見てみたいので、どなたか情報をお持ちの方、
是非とも教えて下さい。

宜しくお願い致します。

[3212 へのレス]Re: 燃えよ剣

投稿者：花散里 投稿日：2004/09/26(Sun) 20:35

＞吉村貫一郎さん
NHK 大河ドラマの情報を調べてみましたが、残念ながら「天と地と」は１話分のビデオまたは DVD しか発売されていないようです。

詳しくは「NHK ソフトウェア」をクリックしていただき、さらに右側の「大河ドラマ」をクリックしてください。
「NHK 想い出倶楽部 黎明期の大河ドラマ編 ５巻セット ビデオ 21,000 円、DVD19,950 円」ですが、その中の１巻(ビデオ 4,200 円、DVD3,990 円）だけでも購入できます。
収録されているのは「第５０回川中島の章 その４」で、まさに謙信と信玄が対決する回ですので、もしかすると吉村さんが記憶している場面が収録されているかもしれません。

【永禄４年、上杉・武田両軍は川中島で一大決戦の時を迎えた。武田信玄は兵力を二手に分け６割を上杉軍の立てこもる妻女山へ向けた。しかしそれを察知した上杉軍は夜のうちに山を降り、川を渡り、粛々と武田軍が本陣を引く八幡原へと向かっていた。やがて朝を迎え、車がかりの陣で攻めたてる上杉軍に対し、武田軍は妻女山へ向かった奇襲隊の帰りを待ちつつ応戦する。両軍ともに多数の死者を数え膠着する戦況の中、上杉政虎（後の謙信）は放生月毛の馬を駆り単騎武田本陣に突入、一直線に敵将信玄へ向かっていった。】

[3212 へのレス]ありがとうございます。

投稿者：吉村貫一郎 投稿日：2004/09/27(Mon) 13:08

＞花散里さん
ありがとうございます。

「NHK 想い出倶楽部 黎明期の大河ドラマ編 ５巻セット

是非とも購入して秋の夜長を楽しみたいと思います。
大兼光や一文字の手入れをしつつ、越の寒梅や久保田をチビリチビリ

なんて何年先に実現できるでしょう。
志津や氏房じゃ雰囲気出ませんね。

[3225] ◎ 刀友会のご報告 ◎ ☆

投稿者：倭　士 投稿日：2004/09/27(Mon) 22:58

皆さん 毎度お騒がせして居りました刀友の集いが 昨日 無事終了致しましたので、簡単ですがご報告申上げます。

☆ 鑑賞刀 ☆
①脇指：備州長船光景（小反物・額銘）
②脇指：（藤島）友光
③脇指：和泉守藤原國貞(寛永頃の作)
④短刀：藤原三河守大道陳直

天正拾==年十一月日
⑤刀　：加州住兼若
寛文十年八月吉日
⑥短刀：村 正(２代)　　・・でした。

刀剣鑑賞の後、百貨店の骨董フェアと刀剣の展示を見物し、居酒屋へ直行！！

☆ 一人一品会では、それぞれが持ち寄った刀装具などを拝見しました。
なかでも刀剣ビギナーさんが持参された末古刀の大磨上げ脇指が注目を
集めておりました。　（皆さんが絶賛しておりました。）

＞ 刀剣ビギナーさん　昨日はご参加頂きまして有難う御座いました。
はたしてご満足頂ける集りであったか？？ですが、これを機会にまた
ご参加下さいませ。

次回は、忘年会か新年会の頃 集う予定をしております。

※ 刀剣鑑賞や親睦会の様子(写真)は、近々、別の方からご投稿頂く予定です。

（↑その方は、今週 関東甲信越の電脳会員○○○さん達と刀剣鑑賞ツアー
をされるとか・・！）
○て○さん刀剣ツアーの様子もまたご投稿下さ～い。 ヨロシクお願いします。

[3225 へのレス]Re: ◎ 刀友会のご報告 ◎ ☆

投稿者：波平 投稿日：2004/09/27(Mon) 23:19

刀友の集いのご成功おめでとうございます。
「一人一品会」楽しそうですね。画像掲示板で拝見するのを楽しみにしています。

[3225 へのレス]Re: ◎ 刀友会のご報告 ◎ ☆

投稿者：こ○つ。 投稿日：2004/09/28(Tue) 02:50

＞倭士さん。了解しました。
天気が少し不安ですが、「鉄の展示館」「松代城」「真田宝物館」「文武学校」「松代大本営跡」等を巡り、その後は別所温泉でサッパリ、その後キンキンに冷えたビールでキュ～ッ、詳細にご報告したいと思います。
あ…そろそろ寝なくては…(;^_^A

[3228] ありがとうございました

投稿者：菊久 投稿日：2004/09/28(Tue) 05:16

刀友会の皆さん、
ご参加「ありがとうございました」m(_ _)m

私は、どうしても外せない所用のため「鑑賞会」と「骨董フェア」がご一緒できず、居酒屋から合流しましたが、やはり同じ趣味を持つ人間同士ですネ。
全然気心を構えることなく談笑でき、楽しい時間を過ごさせて頂きました。
しかし、残念なのは刀剣ビギナーさんが持参された脇指を拝見できなかったことですネ。
まさか、居酒屋で抜くことが出来ないし・・・。
倭士さんは、「トイレで見てきたら」なんて云ってたけど、まさかねぇー！
そこへ人が入ってきたら悲鳴もんですよ。
それこそ、居酒屋の周りを警官隊で囲まれ、翌日の新聞には大きな見出しで『居酒屋籠城男逮捕』、サブ見出しには「道頓堀で日本刀を振り回す」なんて書かれそうですもん・・・。

[3228 へのレス]Re: ありがとうございました

投稿者：刀剣ビギナー 投稿日：2004/09/28(Tue) 07:25

菊久さん 倭士さん をはじめ 他 沢山の方 有難う御座いました。

鑑定会初体験も 頼りの関西刀友会の皆さんは もちろん 協会のお偉い方（たぶん）にも とても親切にしていただきました。

ＰＳ：これから刀剣趣味をと お考えの方 ぜんぜん敷居高くないですよ、 関西刀友会仲間入り希望と 投稿しましょう！！ 。

[3228 へのレス]Re: ありがとうございました

投稿者：倭 士 投稿日：2004/09/28(Tue) 21:20

＞刀剣ビギナーさん 初参加お疲れ様でした。
＞波平さん・こ○つさんコメント有難う御座います。

＞ こてつさ～ん 菊◎さんですが、奥さんからお酒を止められているとか？？？
くれぐれもお酒は飲まさないで下さい。 特によく冷えたビールわ！！

それと、東京の大刀剣市と電脳の集いに関してですが、詳しい日時と予定を
お教え頂きたく何方か宜しくお願いします。
何とか日程と￥の都合がつけば行きたいので・・！？

ヨロシクお願い致します。

[3228 へのレス]Re: ありがとうございました

投稿者：こ○つ。 投稿日：2004/09/28(Tue) 21:50

＞倭士さん。
あ、飲ませちった…(＃￣▽￣＃)ゞ

[3228 へのレス]Re: ありがとうございました

投稿者：花散里 投稿日：2004/09/28(Tue) 23:35

皆さん、楽しいＯＦＦ会で何よりです。
大刀剣市までも、あと１ヶ月強になりました(^^)

＞倭士さん
今年の大刀剣市は、10 月 29 日（金）～31 日（日）までですので、ＯＦＦ会は 30 日の 19：00 ごろからかな～。（そろそろ、募集もせねば(^_^;)

[3228 へのレス]Re: ありがとうございました

投稿者：倭　士 投稿日：2004/09/29(Wed) 22:17

有難う御座います。
日程・了解致しました。　一度、調整してみま～す。
ＯＦＦ会開催場所などわかりましたら、またお教え下さいませ！
ヨロシクお願いします。

[3228 へのレス]Re: ありがとうございました

投稿者：菊久 投稿日：2004/09/30(Thu) 19:07

＞ こてつさ～ん 菊◎さんですが、奥さんからお酒を止められているとか？？？

＞あ、飲ませちった…(＃￣▽￣＃)ゞ

えっ！
倭士さん、どこからそんなことが飛び出てきたのぢゃ～(^_^;)
こ○つ。さん
「うそですよ～」
「大刀剣市・OFF で、またご一緒に飲もうネ」

[3235] 一泊二日一人旅

投稿者：菊久 投稿日：2004/09/30(Thu) 18:52

秋になり、季候が良くなってくると、何だか何処かへ出かけたくなり、思い立ったが何とやらで、坂城「鉄の展示館」と掛川「ふじ美術館」に行ってきました。

9/28（曇のち晴）
AM6:00 に自宅出発し、名阪国道→東名阪→東名→中央道と乗り継ぎ、いざ信州を目指しドライブ。
調子よく走るが、中央道・恵那トンネル付近の事故のため、強制的に中津川 IC で降ろされ、久しぶりに R19 木曽路を走ることに・・・。
しかし、何処かで飯田に出て中央道に戻らないと、このまま木曽路を北上していたのでは、長野を「こてつさん」に案内して貰おうとしていたのが、待ち合わせ時間に間に合わない。
えらく遠回りになるが、仕方がないので途中、R256 へ入ることにする。この道は妻籠宿を経て「昼神温泉」を通り、阿智村・飯田市へ抜け出ることが出来る。しかし、どちらにしても、鉄の展示館待ち合わせの 11:30 には間に合いそうにないので、時間変更の連絡を携帯 TEL しようと思うが「木曽路はすべて山の中」・・・電波が心配。なんとか連絡が付き、１時間ずらして貰うことに。
PM12:15 に目的の「鉄の展示館」へ到着することが出来き、無事こてつさんと合流。
展示刀は「清麿」「真雄」のパレードといったところ。
私のお気に入りは、二尺三寸一分、反り六分二厘、身幅・元先あまり差がなく、中切先、大板目流れ地沸。腰の開いた互の目乱れで、特に横手下は二段になったよく暴れた焼刃で、二筋の樋をかきながしてある嘉永二年八月の作品が特に気に入りました。
ここを見学後、今度は松代へ移動です。
松代・真田宝物館の、青江の大太刀を見たくて行ったのですが、あいにく宝物館だけ休館日！（折角ここまで来たのに・・・日頃の行いが悪いの？）
こてつさんも、未だ見たことが無いと云うことだったのですが、気を取り直して二人で遅い昼食をとることにし、近くの土産物屋兼食堂に入ったのですが、メニューは「そば」だけ。（こてつさんは大盛り）
二人、早々に食事を済ませたあと、「真田邸」「文武学校」「松代城跡」を見て回り、今夜の宿泊地である「別所温泉」へ。
ここは、確かちょうど一年前になると思いますが、内記さんに教えて頂いた温泉。（やっと来ることが出来ました）
先にチェックインを済ませ、こてつさんと外湯へ行き一風呂浴びた後、軽くビールでも飲もうということで、居酒屋を探すのですが、時間が早いのか暖簾が下がってなぁーい。（日頃の行いの成果?^^;）
仕方がないので、ごく普通の食堂へ（どうしても飲みたいか）行き、やっとこさビールに有り付いた後、「大刀剣市」での再会を約束し、こてつさんは帰宅のため駅方面へ、私は宿へと別れました。

9/29（雨）
朝 4:30 に目覚めるが、自宅じゃないのでパソコンが無く何もすることがない・・・。6:00 の内湯が開くのを待ちかねて風呂に入る。

8:40 出発。今日はとにかく中央道へ出て南下し、東名自動車道へ入り「掛川」へ、そこで「刀士郎さん」と会う約束が出来ている。
中央道で出口を間違え、R52 を経て清水 IC へ入るつもりが R358 で富士五湖である精進湖・本栖湖の側を通り、R139 で冨士 IC から入る羽目に(-_-;)。
なんとか、掛川へたどり着き、ここでも無事に刀士郎さんと会うことが出来、昼食を食した後「ふじ美術館」見学。
ここは、個人コレクションで甲冑と刀剣を展示してあります。刀剣は重要指定が主で、刀「大和守安定」・太刀「五条兼永」・脇差「備州長船康光」・刀「吉岡一文字」etc・・・と並んでおりました。
PM3:30 位に刀士郎さんと別れ、掛川より帰途についたのですが、台風の影響で東名・浜松辺りから前が見えないほどの大雨・・・(やはり、日頃の行い？)

まっ、とにかく無事に PM7:30 に帰宅することが出来ました。

一泊二日の短い旅ではありましたが、「こてつさん」や「刀士郎さん」それに別所温泉を勧めてくれた「内記さん」、このスレッドをご覧の皆様にも、ひょっとしたら何処かですれ違っていたのかも分かりませんネ。
皆様のお陰にて、楽しい旅が出来ましたことをこの場をお借りしお礼申し上げます。

長々なスペースを取ってしまいました。(ごめんなさい)
また、乱文で読みづらい文章を最後まで見て頂き「ありがとうございました」m(_ _)m

[3235 へのレス]Re: 一泊二日一人旅

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/09/30(Thu) 21:24

菊久さん、お疲れ様でしたm(__ __)m
信州人のくせに土地勘の無い悲しさ、あまりお役に立てず申し訳なかったです。不景気とはいえ…本当に風呂上りのビールを飲むのに右往左往…開いてる店が無〜い！
本当は地元の美味しいものなど召し上がっていただきたかったのですが、あの状態では…御勘弁願いますぅ(´д`、)
…特に別所は「マツタケ」でも有名なのに…。
やはり日頃の行いのせい？

二日目も楽しんで来られた様で何よりです。
台風が少し心配だったんですが、直撃は免れたようですね。
僕の方もいつか、いつの日か関西刀剣冒険漫遊大ツアー（？）が実現出来るよう計画中です。その時は「食い倒れツアー」いやいや、「刀剣ツアー」のご案内をお願いしたいと思っております。
ともあれ、お疲れ様でした。もうアッと言う間に１０月です。
今月末の再会を楽しみにしております。

…画像の方も送らせていただきますので♪

[3235 へのレス]Re: 一泊二日一人旅

投稿者：内記 投稿日：2004/10/01(Fri) 07:04

＞菊久さん
お疲れさまでした。良い旅になられた御様子が文面から仄々と伝わって参ります。
ご想像よりも“意外と小さな温泉”ではなかったですか。別所の秋は【マツタケ】ですが今回はちょっと早かったでしょうか。
【北向き観音】等の神社仏閣の散策で信州の小京都の趣きを満喫されたでしょうか。
“別所温泉”をお薦めした張本人としては少し“どきどき”です。

別所は軟らかい温泉も好みなのですが、【上田方面】から塩田平を経て小さな峠をこえる“ドライブ”が【明るい信州】を感じさせ大好きな場所です。山深い【大きな信州】とは一味違った日本の【原風景】を感じる次第です。
元ラリー選手である菊久さんの【ＳＳ】の一つに加えて頂ければ幸甚です。

[3235 へのレス]Re: 一泊二日一人旅

投稿者：刀士郎 投稿日：2004/10/04(Mon) 23:34

みなさん　こんばんは。
菊さん　遅くなりましたがお疲れさま。
三度目の掛川、ゆっくり楽しんでいただきたかったのですが
嵐が近ずき帰路が気がかりで心配しました。
菊さんとは二人で八月に備前長船や大山祇神社など、刀剣鑑賞ツアーを
御一緒させていただきいつもお世話になってます。
思えばこちらの電脳倶楽部で知り合い、前々回の大刀剣市での off 会以来のお付き合いです。
大刀剣市もすぐそこに来ました。
刀友の皆様とお会いできるのが本当に楽しみです。

[3245] 『旧日本帝国陸海軍　軍刀』

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/10/04(Mon) 00:27

『旧日本帝国陸海軍　軍刀』というホームページがあります。
上記箇所をクリックしてみて下さい。移動ができます。

さて、この中にある『軍刀の意義』『終わりに』そして『軍刀雑抄』を読んだのですが、士官軍刀論や一般の刀剣愛好家にも興味深い『柄握りの間違い』や『独断・折り返し鍛錬と刀身強度考』『洋鉄考』『現代刀への提案』『知覧行』などのお話があります。

是非一読して下さい。
興味深いですよ！！

[3245 へのレス]Re: 『旧日本帝国陸海軍　軍刀』

投稿者：花散里 投稿日：2004/10/04(Mon) 23:54

はい、大変興味深く拝見しました m(__)m
軍刀に対する気持ちが良く見て取れる、素敵なホームページですね。
実のところ、このホームページを見るまで、私にも軍刀に対する「偏見」があったのかも知れません。
それは、おそらく「無知」から来たものだったのですね。
電脳倶楽部ＴＯＰからリンクしている、Japanese Sword Index のように外国には真面目に軍刀を研究している方がいるのですが、かえって日本にはあまりありませんでした。
じっくり、拝見させていただきます m(__)m

[3251] トリビア

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/10/05(Tue) 17:25

先日放送されたトリビアの泉で、日本刀対マシンガンをやったそうですが、ご覧になった方はいらっしゃいますか？
私は見れませんで、良かったのか悪かったのか。結果だけは聞いているのですが。
私的には、荒試しなどで実績を積んだ刀工さんに次回リベンジを果たして欲しいなんて思っています。私の知っている範囲では、大野刀匠・松田刀匠などの方々だったら、リベンジなるのでは・・・と思ったりしています。もともと、勝負の仕方が日本刀の利点を生かしていないように思われ、不公平感を感じたからです。
もっとも、友人の話を聞いてのことで、ご覧になられた方々からすると的外れかもしれませんが。
曰く、日本刀を直角に立てた状態だったからなのでは・・・。
日本刀は、斬る際に反りを利用しますよね。
それと同様、勝負を受ける日本刀も心持ち傾きを与えたらどうでしょう。
日本刀が西洋の兵器に敗れたことがくやしくて。
つまらない話題を書き込んで申し訳ありません。

[3251 へのレス]Re: トリビア

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/10/05(Tue) 19:56

こんばんは、こぶ平さん。
こてつ。と申します。宜しくお願いします。
「トリビア～」のその放送、僕は見ました。
以前からこの番組では日本刀を使って色々試しているということを聞いていたので興味があって見

たのですが…。
バラエティ色が強すぎて荒試しとしてはあまり意味は無いなぁ、というのが実感でした。
弾頭は鉛、刃は鋼。鋼に鉛が当たれば斬れて当たり前。
また、マシンガンの大きな弾丸が刀身の一箇所に集中して連続して当たれば刀身が折れて当たり前。
例えば、連続して弾丸が一箇所に当たるという形ではなく、一発ずつ撃ってしかも刀身をずらして少しずつ弾丸の当たる位置を変えていけば、ひょっとしたら全弾両断できたかもしれませんね。
…無理かな？

日本刀が刀の目的に即した形で荒試しされるのなら分かるのですが、「刀対銃」という対立の構図が少し…幼稚すぎるように感じました。
最初は少しワクワクして見てたんですけどね(´▽｀)ゞ。
御覧になった他の皆さんはまた違う感想かも知れません。

[3251 へのレス]Re: トリビア

投稿者：龍 投稿日：2004/10/05(Tue) 20:17

私も見ていましたがコメントを控えておりました。
最初は興味があってよろこんでスイッチを入れたのですが、日本刀を愚弄するかのごとき鞭打つ行為に正直言って気分を害しました。
タモリが「どこまで行くんだろうね」と発言した意味には、こうした意味があったのかとも推察しました。タモリは日本刀が好きなんですよね。

日本刀の強さを示すには、第二段の水圧カッターまでで良かったと思いますね。
マシンガンを出してきた意味はなんだったのでしょう。
強靭な刃物であることを示したり切れ味を試すなら、もっとスカッとした方法でアッといわせてほしかったです。
重ね２０センチくらいの脇差を作って対抗すればマシンガンでも大丈夫かもしれませんが、それに何の意味があるというのでしょうね。
ミサイル対刀でも最後にはやるんでしょうか。（笑）
折れた刀を見たときに私は悲しくなりました。

日本刀は拳銃の弾も斬るほどのすごいものなんだよ！という意味がここまでさせたのでしょうが、なにごとも過ぎると不快感をも一緒に連れてくる可能性があるということを今回のことで私は感じました。

日本人としての心のよりどころとしての日本刀というのがあります。
私が不快になったり気分を害したのは、その心を汚されたような気がしたからかもしれません。

[3251 へのレス]Re: トリビア

投稿者：正弘 投稿日：2004/10/05(Tue) 20:21

6 発耐えたのすら、感動的でした。相手が相手ですから。
全弾両断していたら米軍はライフルを捨てて、日本刀を採用するでしょう。
その「マシンガン」はこんな銃です。

M2 重機関銃　1920 年に米軍に採用されて以来現役を維持するブローニングの傑作機関銃。この機銃に採用された 12.7x99 弾は、なんと鹵獲したドイツ軍の対戦車ライフル弾から開発されたものであった。M2 の信頼性は 80 年たった今でも代わらず航空機や戦車の同軸機関銃、歩兵の拠点防衛用として活躍している。長時間の連射に耐えうる銃身は 1000m先の走行車両をいとも簡単に破壊する。湾岸戦争に於いて M2 は多くのハイテク兵器や近代的ライフルなどが故障する中悠然とした作動を見せその健在を誇示した。

重量 29Kg
全長 1,420mm
線条 8条右回り
使用弾薬 12.7x99(.50BMG)
口径 12.7mm
銃口初速 838m/s
発射速度 750～850 発/分

[3251 へのレス]Re: トリビア

投稿者：菊久 投稿日：2004/10/06(Wed) 06:51

私は、前回・前々回の「荒試し」は見ておりません。
今回初めて「日本刀 VS・・・」を見ました。

日本刀の一点に荷重をかければ、刃切れが生じることと思います。しかも、この場合相手は対戦車機関銃!
日本刀は一点に受けていました。
正弘さんの仰るように、私も 6 発も耐えたのは感動でした。
しかし、終わった後、云うに云われぬ「もの悲しさ」も感じました。
映画「ラストサムライ」の最後の戦闘シーンと重なりました。

[3251 へのレス]Re: トリビア

投稿者：鉄. 投稿日：2004/10/06(Wed) 11:58

　６発耐えて、其の内数発は、真っ二つに切っていたので、それは凄いと思いました。このシリーズは、さすがに終わりじゃないでしょうか。

[3251 へのレス]Re: トリビア

投稿者：内記 投稿日：2004/10/06(Wed) 18:14

今夜の“トリビア”にも【日本刀】が登場するはずです。(^_-)-☆

内容は全く不明ですが、先日、某道場での【収録現場】に立合いました。
“袈裟斬”の撮影がどのように【編集】されるのか興味深々です。

収録現場は真剣勝負ゆえ【ピーン】と張詰めた極めて真摯な収録でしたので
【編集】如何によって、この番組の方針や方向性、また【日本刀】の考え方や取り扱いが解るかも知れません。

“バラエティ”か“情報”か・・・。　まずは今夜【拝見】してから考えてみます。

そんな“大上段”に構える必要もないとは思うのですが。　　(^_^;)

[3251 へのレス]Re: トリビアはボツ！

投稿者：内記 投稿日：2004/10/06(Wed) 22:09

申し訳ありません　(>_<)

なんだか間の抜けた【投稿】になってしまいました。

あの“映像”どこに【お蔵入り】になってしまったんでしょうね。　(ーー;)

お騒がせしました。　ごめんなさい　　(^_^;)

ついでに　興味深々　→　興味津々　ですね。　(>_<)

[3251 へのレス]Re: トリビア

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/10/06(Wed) 23:28

＞内記さん内記さん。
それ…どんな企画内容だったんですか？
すっごい知りたいんですけど…。
「袈裟斬り」がどうなるんですか？
○ジテレビ関係は多分見てないですよ(#^▽^#)
話しちゃいましょうよっ。…楽になるからっ。
あ～っ、すっげ知りたい～っ。

[3251 へのレス]Re: トリビア

投稿者：内記 投稿日：2004/10/07(Thu) 00:22

＞こてつ。さん

実は私も
＞あ～っ、すっげ知りたい～っ。
訳よ。

どういう企画かも知らないで、撮影協力した我【道場】って・・・
かなり､“お人よし”でしょ！ (^_^;)

【流派】､【道場】は匿名で放送する のが唯一の約束事だったのですが・・・。

ＯＦＦ会に参加できるよう、仕事を超特急で片付けています。
旨く“問屋が卸したら”･・・

【レアもの】好きの“こてつ。さん”に 【手土産】を持っていきます。

藁を一緒に“袈裟斬り”された 【短冊】はいかがでしょうか (^_-)-☆

いかん！ トットと仕事しないと “ＯＦＦ会”が・・・ (>_<)

[3251 へのレス]Re: トリビア

投稿者：鉄. 投稿日：2004/10/07(Thu) 02:04

収録してから、放映まで、結構、間があくみたいなので、其の内、やるのではないですかね？楽

しみな気がします。

[3251 へのレス]Re: トリビア

投稿者：内記 投稿日：2004/10/13(Wed) 22:42

あっちゃ～　！
こういう【企画】だったのねエ～　。

一時間半の収録。見事・・・、一秒のオンエアーでした。

しかし、ＴＶ局のスタッフには頭がさがりますね。
私はもう、一秒の枠にあれだけの労力はかけられないかもしれません。
若さ故の特権ですね。　羨ましいゾ～　　(ーー;)

【老いては子に従え】
こてつ。さん
かなりトーンダウンですが、この【短冊】いりませんよねエ　　(^_^;)

[3251 へのレス]Re: トリビア

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/10/14(Thu) 00:24

なるほど～っ、こういうことかぁ～ｏ(〃^▽^〃)ｏ
本当に一瞬でしたが、見事な袈裟でした。
あの撮影の為にどれくらいの時間をかけたんでしょう？
オフ会でジックリ聞かせていただきたいです。
【短冊】も喜んで頂戴いたします！
自慢できるじゃないですか！ヤフオク出しちゃいますよ！
「トリビアで袈裟斬りされた短冊」
最落なし！定形外で発送！希望落札価格××万円！
あ、これはマズイな…(;^_^A
またまた暴走している…。

[3239] 大刀剣市ＯＦＦ会のご案内

投稿者：花散里 投稿日：2004/10/02(Sat) 13:16

いよいよ、今月末はお待ちかねの大刀剣市が開催されます。
もちろん大刀剣市も楽しみですが、それにも増して楽しみなのは、皆様とのＯＦＦ会です。
ここ数年の吉例となっており、昨年も多数ご参加いただきましたので、今年も開催いたします m(__)m
参加を希望される方は、この投稿への返信か私宛に直接メールをお願いします。

日時：１０月３０日（土）１９：００頃から２時間程度（１次会）
（例年、２次会までは行きますね(^^ゞ）
場所：まだ未定ですが、今年は九段会館に宿泊される方が多いので、その周辺を予定しています。
会費：５，０００円程度／人

参考までに、例年の行動パターンをお知らせします。
初日（刀剣市自体は２日目ですが）は、会場の東京美術倶楽部にそれぞれが三々五々集合、連絡場所は成蹊堂さんになると思います。
適宜情報交換をしながら、１８：００まで大刀剣市を楽しんだ後、OFF 会会場へ移動。
２日目は､刀剣博物館や靖国神社等を訪れてから再度大刀剣市会場へ向かい､それぞれの都合で夕刻に解散。
２日目は、皆さんの都合や希望を話し合い、都合が合うグループで行動することが多いですね。

初めての方の参加も、大歓迎です。
ご質問があれば、ご遠慮なく私宛にメールを m(__)m

[3239 へのレス]Re: 大刀剣市ＯＦＦ会のご案内

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/10/02(Sat) 15:50

今年もお世話になります。
宜しくお願いします～。

[3239 へのレス]Re: 大刀剣市ＯＦＦ会のご案内

投稿者：波平 投稿日：2004/10/02(Sat) 23:29

初めて参加させていただきます。ヨロシクお願いしま～す。

[3239 へのレス]Re: 大刀剣市ＯＦＦ会のご案内

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/10/03(Sun) 09:26

今年も夫婦揃って参加予定です。
毎年、花散里さんには色々とお気遣いを
頂いてとても感謝しております。
今年もお世話になります。宜しくお願いします。

＞こてつさん　親国の茎の押形を持参します。こてつさん
のもあったら拝見したいと思います。ヨロシクネ (^-^)/

[3239 へのレス]そ～っと・・・

投稿者：法城寺 投稿日：2004/10/03(Sun) 21:46<HOME>

締め切りはいつぐらいでしょうか？
出張勝ちでして金曜・土曜も詰まることが多くて・・・。
できれば参加させていただきたいのですが皆様の了承もあるでしょうし、私自身今のところ上記の理由ですぐさま「参加します」と言い切れないので。
たいへん自分勝手で申し訳ございませんです。

[3239 へのレス]Re: 大刀剣市ＯＦＦ会のご案内

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/10/03(Sun) 22:24

私も、今年はばっちりと航空券の予約ができ、あとは時が来るのを松茸です。間違いました、『待つだけ』です（画像コーナーで松茸病に感染！！）(~o~)。

私の持参品は、過去、画像コーナーにも投稿しましたが、現代鍔工の林又七写しの鍔を二点お持ちしようと思っております。
文字通り、透かすと綺麗なんですよね～。

豪壮なナイフなんかも持っていきたかったのですが、いらんお世話になると面倒なので、次回にしま～す。

今年の目標は、郷土刀の発掘と、鍔を主体とした小道具の情報交換です。
大刀剣市でこれらの情報がありましたら、よろしくお願いします。m(__)m。

[3239 へのレス]Re: 大刀剣市ＯＦＦ会のご案内

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/10/04(Mon) 09:22

初めてですが、参加させていただきます。
宜しくお願いいたします。

[3239 へのレス]Re: 大刀剣市ＯＦＦ会のご案内

投稿者：花散里 投稿日：2004/10/04(Mon) 22:56

法城寺さんからご質問のあった締め切りですが、最終的にＯＦＦ会会場となる店に確定人数を伝える日は、１週間前の２３日としたいと思います。

また、間際に参加を表明される場合は、スレッドが下の方に移動している可能性がありますので、

返信時に「トップソートをする」を選んでいただくか、直接私にメールをいただきたいと思います。

よろしくお願いします。

[3239 へのレス]Re: 大刀剣市ＯＦＦ会のご案内

投稿者：刀士郎 投稿日：2004/10/04(Mon) 23:48

今回も宜しくお願いします。

私にとっては、三回目の大刀剣市。
三度目の正直！
良い出会いがあるかも？？

[3239 へのレス]Re: 大刀剣市ＯＦＦ会のご案内

投稿者：法城寺 投稿日：2004/10/05(Tue) 20:09<HOME>

＞花散里さん
ありがとうございました。締め切りまでにはっきりと返信させていただきます。

[3239 へのレス]Re: 大刀剣市ＯＦＦ会のご案内

投稿者：菊久 投稿日：2004/10/06(Wed) 06:34

昨年は、仕事の都合で参加できませんでしたが、今年は OK!
大刀剣市・OFF 会とも参加させて頂きます。

ご参加される皆様、よろしくお願い致します。

[3239 へのレス]Re: 大刀剣市ＯＦＦ会のご案内

投稿者：花散里 投稿日：2004/10/12(Tue) 16:16

大刀剣市ＯＦＦ会会場を、決定いたしました。
ご参加の皆様には、メールでご連絡差し上げます m(__)m

[3239 へのレス]Re: 大刀剣市ＯＦＦ会のご案内

投稿者：倭　士 投稿日：2004/10/12(Tue) 16:26

お久しぶりです～。
参加したいが・・ 今月末の予定が微妙～！
もし、参加可能の時は菊さんにでも場所と時間をお聞きしま～す。

[3267] 大刀剣市 2004

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/10/12(Tue) 21:27

花散里さんの音頭で、今年も楽しい大刀剣市ツアーになりそうで、あといくつ寝ると♪と指折り数えて待っております。(~o~)。

さてさて、今日、成蹊堂さんから大刀剣市の図録が送られて参りました。
待ちに待ってやってきました。
めくるめくる。どんな刀が載っているのかと、楽しみに見まくりました。

成蹊堂さん、今年は最後の方に載っているのか～、と思いきや。
なんと、今年は図録のめくり方が昨年までとは反対になっており、成蹊堂さんは二番手におりました！！ヽ(^o^)丿。
しかも、載っているのは三振りですが、正宗・村正この二振りを知らん人はおらんやろ～と、言わんばかりのものでございます。

あと、注目したいのが、青山コレクションといわれている刀の一つでしょうか、大坂城代青山家伝来の丹後守兼道。
これは、昨年か一昨年の重要刀剣新指定展で拝見した物だと思いますが、完璧なコンディション。たとえて言うなら、無傷の宝石状態でした。
刀でもミントコレクションというのがあるなら、こういうのを言うのかと、思ったくらいです。

さてさて、こんな図録を見せられますと、うずうずしますよね！

最後に、この図録の最後に過去の図録と昨年の大刀剣市の様子を写したページがあるのですが、そこにも成蹊堂さんが載っていましたので、だれか電脳倶楽部の人いないかな～と、見ましたら、私が載っておりました。
(^^ゞ。
肩から斜めにバッグを掛けて、店の中にいる、背中を見せているのがそうです。
顔が写っていないので、残念でした。(~o~)。

[3267 へのレス]Re: 大刀剣市 2004

投稿者：菊久 投稿日：2004/10/13(Wed) 16:54

＞真改さん
昨年は都合がつかず上京できませんでしたが、今年は大丈夫！上京できそうです。
月末が楽しみですね、その節にはよろしくお願いします。
「大刀剣市の図録」は当日に購入しようと思っていたのですが、本日、刀士郎さんより TEL があり、

まだ入手していないのなら郵送しますとのこと。ありがたきお言葉とご厚意に感謝しているところです。(刀士郎さん「ありがとうございます」m(_ _)m)
お陰様で、前もってチェック出来そうで大変うれしく思っております(^-^)

＞花散里さん
お忙しい中、いろいろな段取りをまとめて頂き恐縮に存じます。
また、上京の折には前段にもまして、お世話をお掛けすることと存じますがよろしくお願い致します。

＞ご参加される皆さん
皆さんに会えることを嬉しく思っておりますが、なにせ当方不躾者にて、粗相・ご無礼の節は寛容な心にてご容赦のほどよろしくお願い致します。

[3267 へのレス]Re: 大刀剣市 2004

投稿者：倭　士 投稿日：2004/10/14(Thu) 00:17

皆さん楽しそうですね～！
私は先程帰宅して風呂からあがった処です。 しばらくは、こんな感じで忙しい日が続きそう！！
＞真改さん　　青山コレクション〔大坂城代の青山家？〕
　　内容はよく知らないんですが？
　　古刀も新刀もあるんでしょうか？？
　　もしかして、私の好きな丸津田なんかも・・。

＞菊久さん　　もし、大刀剣市参加出来なければ、図録また見せてね～！

※ 最近、バタバタしていますので返信出来なかったらすいませ～ん！

[3267 へのレス]Re: 大刀剣市 2004

投稿者：内記 投稿日：2004/10/14(Thu) 00:31

＞真改さん
私も成蹊堂さんから“カタログ”ご送付頂きました。

正宗、村正と共に掲載されているもう一口の【吉房】ですが・・・。
申し訳ありません。
先月一足お先に“拝見”させて頂きました　(^_^;)

正しくこれぞ【一文字】。福岡一文字吉房の在銘品でありました。
『あ～、やっぱり備前はいいなア～』と夢心地でございました　"^_^"

＞菊久さん
今年はやっとお会い出来そうですね。足掛け二年越しのご対面が叶います(#^.^#)
どうぞ宜しくお願いいたします。

ご参加の皆様、今年もよろしくお願い致します。　m(__)m

[3267 へのレス]Re: 大刀剣市 2004

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/10/14(Thu) 16:02

私の好きな丸津田なんかも・・。
＞倭　士さん。
助広といえば、やはり、青山家伝来の『号　村雨』でしょう！！

昨年は、売品として真玄堂さんにありましたし、その前年は、特別重要刀剣新指定展にて、さらにその前々年は、重要刀剣新指定展にてお目にかかることができました。

何が凄いって、これはやはり機会があれば、実物を見てほしいですね。
詳しい解説は、久さんが一番詳しいでしょうが・・・。(*_*)。

手にとって見ることは、空恐ろしくてできませんでしたが、ガラス越しでも迫力は堪能できました！！

あれは、大阪に帰るべき刀ではないでしょうかねぇ～～。(^。^)。

[3267 へのレス]Re: 大刀剣市 2004

投稿者：倭　士 投稿日：2004/10/14(Thu) 23:31

＞新改さん
ありがとうございます。
是非、一度 拝見したいな～！

[3267 へのレス]Re: 大刀剣市 2004

投稿者：花散里 投稿日：2004/10/14(Thu) 23:53

大刀剣市も、もうすぐですね(^^)

＞菊久さん
こちらこそ、よろしくお願いします m(__)m

[3267 へのレス]Re: 大刀剣市 2004

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/10/15(Fri) 01:00

大刀剣市以外の寄り道先を物色しています(´▽｀)ゞ
原宿の刀屋さんも展示会やってましたね。
刀剣博物館の「重要刀剣等新指定展」も外せないです。
あと映画「隠し剣　鬼の爪」も見て帰りたいし…。
ああっ、忙しくなりそうです。

皆さん宜しくお願いします。

[3267 へのレス]Re: 大刀剣市 2004

投稿者：刀士郎 投稿日：2004/10/15(Fri) 22:27

みなさん　楽しみですね。
大刀剣市当日も待ち遠しいですが
出品目録をチェックするのも楽しいものです。
以前から探していた刀装具が目に留まりましたので
目録がとどいた翌朝、電話で問い合わせたところ
すでに売り切れでした。
なんじゃこりゃ～
昨年は初日の十時半に会場入り、
目当ての鍔を拝見したいと店主にお尋ねしたら
すでに売り切れ！
となりでその品を前に代金を清算している買主が・・・
なんと、偶然にも私の大先輩でした。
お陰様で、大刀剣市では
お金をつかわずにすんでます。

[3278] 台風

投稿者：花散里 投稿日：2004/10/20(Wed) 00:02

いい加減うんざりしますが、またもや台風が接近しております。
日本を縦断しそうな勢いですので、特に進路の東側にお住まいの方は充分ご注意ください。
もう 11 月もすぐそこだというのに、台風の心配をしなければならないなんて・・・

すぐ後には、次の台風 24 号が控えております。
まさか、大刀剣市とぶつかるんじゃないでしょうね？

[3278 へのレス]Re: 台風

投稿者：波平 投稿日：2004/10/20(Wed) 09:25

本当に心配です。
山中鹿之助ではありませんが・・・
今回は「我に七難八苦を与えたまえ」は勘弁してください！
10 月の 29(金)・30(土)の二日間、阿佐ヶ谷駅周辺では JAZZ フェスティバルがあるそうですが、成蹊堂さんの周辺も人手が多くなりそうです。

http://www.asagayajazzst.com/

この時期はいろいろとイベントが花盛りですね。
漫才ネタですが・・・日本列島に別の地域の大きな地図をかぶせて
「オーイ」場所が違うぞ～！と台風を騙したい気分です・・・ハイ。

[3278 へのレス]Re: 台風

投稿者：波平 投稿日：2004/10/20(Wed) 09:28

人手→人出です。

[3278 へのレス]Re: 台風

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/10/20(Wed) 21:09

徳島です。
こちらは、今のところ、台風の強風域にあるとは言いながらも、時たま、ほんの少し強い風が吹く程度になりました。

昼間の豪雨では、職場の駐車場へも浸水し、一般道路では、水であふれた
所へ車を乗り入れた職員が、あきらめて放置して帰宅するということもあり、あるいは、送迎中の職員が一般道路で斜面からの土砂が目の前に流れてきて、難をなんとか逃れたということもありました。

送迎の途中では、何台も増水した箇所に突っ込んだ車がエンストを起こし、牽引されていくのを何台も見ました。特にローダウンした車は、困ったことでしょうね。

今回は、なんと言っても、その雨の凄まじさで、吉野川や宮川内谷川という、私が住んでいるところを挟む大きな二つの川が、あと数メートルで氾濫という所まで来て、避難勧告まで出る始末でした。

父も、こんなに暴れる宮川内谷川を見たのは初めてという有様で、今でも両河川では、消防車が走り回って警戒をしております。

同僚は、肩まで水に浸かり、アパートまで帰宅しており、アパートに停めたままの他の人の車は、すでに屋根をみるだけとなっていたそうです。
私の職場の数メートル先では、小さな河川が氾濫し、湖状態！！
１６時ごろに見えていた、田んぼの中の車の屋根も１７時には、完全に沈んでおりました。
水の恐ろしさを今日は、嫌と言うほど味わいました。

現在、そして、これから台風の向かう進路にお住まいの皆様、十分に御気をつけ下さいませ。

[3278 へのレス]Re: 台風

投稿者：倭　士 投稿日：2004/10/20(Wed) 21:54

みなさん　こんばんは・・。
今日は仕事先のビルが台風の為 急きょ閉館となり早く帰れました（＾＾）
何故か？小中学生の時の様に少しワクワクしましたね！

大阪でも雨がすごかったですよ！（一部地域では、浸水もあった様です。）
風は、通り過ぎてから先程まで少し吹きました。（風はこちらでは余り凄くは無かったですね。）
我がボロ家でも少し雨漏りしました。

本日久々にトリビアの泉～ を 見ましたが、残念ながら刀剣 対 ○△ は、無かったです。（少し期待してたが・・。）

これから台風の進路にあたられる方は、くれぐれもご注意下さい！！

[3278 へのレス]Re: 台風

投稿者：波平 投稿日：2004/10/20(Wed) 22:22

今回の台風は前回の３倍の暴風圏を持っているそうです。私の自宅近くにも石神井川という河川が流れています。２０年以上も前に氾濫した時は線路が冠水し西武鉄道が止まり、私は消防団のかたのボートで勤務先にたどりつきました。改修工事をしたのですが、今回は心配です。関東では明日の明け方が降雨のピークのようですが危険水位を知らせる警報を夜中に聞くのは気味の悪いものです。我が家のカーポートの屋根は前回の台風で破損したままなのですが、次も控えているようで不安なかぎりです。被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げるとともに皆々様のご無事を祈る次第です。

[3284] 地震

投稿者：花散里 投稿日：2004/10/23(Sat) 18:19

今度は地震です。
新潟地方で震度が大きかったので、急いで久さんに電話しました。
電話の混雑で始めはなかなか繋がらなかったのですが、お元気な声を聞けて安心しました。
私の住む神奈川でも、かなり揺れました。
なんで今年は、天災の当たり年なんでしょう・・・？
皆さん、被害はありませんでしたか？

[3284 へのレス]Re: 地震

投稿者：花散里 投稿日：2004/10/23(Sat) 19:29

その後も、大きな余震が続いていますので、くれぐれもご注意ください。

[3284 へのレス]Re: 地震

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/10/24(Sun) 04:26

まだ深夜ですが被害の状況が少しずつ分かってきました。
朝になれば救援活動ももっとはかどるんでしょうが…。
新潟のこの時期はもうかなり寒いはずです。
阪神の震災を思い出します。
被害が少ないことを祈りたいですね。

[3284 へのレス]Re: 地震

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/10/24(Sun) 05:53

久さんの無事が花散里さんの電話で確認することが出来安心しました。
なにか、できることがあれば・・・と思っています。
夜が明け、段々と被害状況が判明してくると思いますが、甚大な被害で
ないよう心から祈るのみです。

[3284 へのレス]Re: 地震

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/10/24(Sun) 07:12

震度６が３度もあったということですが、ほんとうに、怖かったでしょう。
水害といい、地震といい、新潟は今年は大変な年になりました。

花散里さんのおかげで、久さんの無事が確認でき、ありがとうございます。
何も出来ませんが、一日も早く日常の日々が取り戻すことができることを、お祈り申し上げます。

[3284 へのレス]Re: 地震

投稿者：花散里 投稿日：2004/10/24(Sun) 09:22

最初に久さんに電話したときは、余震の真っ最中でした。
「立っていられない」と仰っていましたので心配していたところ、神奈川にも揺れが伝わってきました。
神奈川では震度３くらいでしたが、震度６は私の場合起震車での体験しかありません。
被害にあわれた方には、一日も早い復旧をお祈りしております。

[3284 へのレス]Re: 地震

投稿者：花散里 投稿日：2004/10/24(Sun) 11:04

先ほど、久さんと２回目の連絡が取れました。
ご本人やご家族にお怪我はありませんが、やはり物的被害はあったそうです。

[3291] 台風来るな！

投稿者：菊久 投稿日：2004/10/24(Sun) 17:58

台風２４号が日本列島に向きを変えて来ています。このままの進路予想だと、27 日には沖縄本島近海に達するとか・・・。
もうやめてヨ！
雨が降れば、この前の台風でうけた被災地や、今の地震被災地では崖崩れや緩んだ地盤の為、大きな二次災害の可能性が益々高くなってしまいます。
それでなくても、避難地で生活している人たちにとって新たに大きな打撃を与えることは必至。
台風がそれてくれるのを祈るばかりです。

[3291 へのレス]Re: 台風来るな！

投稿者：花散里 投稿日：2004/10/25(Mon) 07:26

今朝の予報では台風は太平洋側に進路を変え、日本列島の南側を通過しそうです。
なんとか、甲信越地方への直撃は避けられそうですが、太平洋側でも先日来の大雨により地盤が緩んでいるところも多くありますし、風は避けられたとしても雨は必至です。
皆さん、くれぐれもご注意ください。

[3294] Warren Thomas(USA) Titanium Katana

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/10/26(Tue) 20:02

Warren Thomas(USA) Titanium Katana
ついに出ました！
アメリカのナイフ職人のウォーレン・トーマス氏が、チタンブレードの刀身、鍔もチタン、柄巻きを施し、鞘は木製の上にカーボンを巻いたものという、とても現代的なものです。
刀身の長さは５５センチくらい。片手打ちの長さと言ってもよろしいほどの長さを持っております。

驚くべきことは、これがナイフとして日本に輸入され、販売されているということです。
ということは、切るためだけの道具としての軽さと耐久性を追求した刀の別の意味での流れともいえるような気がします。

アメリカのカスタムナイフメーカーの間でも日本刀の人気は高く、デザインを見ても、日本刀のスタイルを踏襲したと思えるような物はたくさんあります。

しかし、これが販売されるとはねぇ～。
意外な気がします。

数年前に、久さんと話したことがありますが、カーボン製の外装。
現代には現代の外装があってもよいのではないかという発想のもとに浮かんだものでした。(~o~)。

[3294 へのレス]Re: Warren Thomas(USA) Titanium Katana

投稿者：花散里 投稿日：2004/10/28(Thu) 00:24

ほお～！　チタンとは驚きましたね(^_^)
私の場合、チタンと言えばメガネのフレームくらいしか思い浮かびませんが・・・(^_^;)

確かに、これが日本で販売を許可されたと言うのも、ある意味で凄いことですね。
でも、値段も凄いな～(^^ゞ

[3294 へのレス]Re: Warren Thomas(USA) Titanium Katana

投稿者：刀剣ビギナー 投稿日：2004/10/28(Thu) 18:23

いやぁ　すごいですね・・・気分は キルビル でしょうか？
キャンプに持っていったら　うけるでしょうね。

[3297] お疲れ様でした m(__)m

投稿者：花散里 投稿日：2004/10/31(Sun) 21:19

＞真改さん、菊久さん、久さん、こてつ。さん、鬼丸さん・笹丸さん、刀士郎さん、内記さん、波平さん、こぶ平さん

大刀剣市＆電脳倶楽部ＯＦＦ会にご参加くださった皆様、お疲れ様でした。
30 日の朝から降り出した雨の中、皆さんとても精力的で楽しい時間を過ごせましたことに、お礼申し上げます。
レポートなどは追々皆様にお願いするとして、まずは幹事として取り急ぎお礼まで m(__)m

[3297 へのレス]Re: お疲れ様でした m(__)m

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/10/31(Sun) 21:41

花散里さん　色々とご配慮頂き楽しい２日間でした。
やはり、刀剣仲間はいいですね。
今、昨夜の出来事を回想しつつ、ニタニタと顔を歪ませ、
安酒をチビリチビリと思いにふけっております。
ご同行された、電脳倶楽部のみなさん、本当にお世話に
なりました。家内の笹丸ともども今後も宜しく御願い
します。
追伸：　久さん　本当に有難う。　勇気を逆に貰いました。
　　１日も早く、元の生活に戻れることをお祈りします。

[3297 へのレス]Re: お疲れ様でした m(__)m

投稿者：波平 投稿日：2004/10/31(Sun) 21:43

>皆々様
こんばんは。初めて参加の私を皆様温かく迎えてくださいましてありがとうございました。又、花散里様の数々の心くばりに甘えて大変に楽しい一時を過ごせたことを感謝いたします。楽しい時は速くすぎるものですね。遠方よりおいでの方々、お気をつけてお帰りください。

[3297 へのレス]Re: お疲れ様でした m(__)m

投稿者：内記 投稿日：2004/10/31(Sun) 22:36

毎年、花散里さんの微細に亘るお心配りは感謝に耐えません。
お陰様で今年も楽しいひと時を過ごさせて頂きました。
ありがとうございました。また幹事の大役お疲れさまでございました。

＞久さん
この時間では新潟へはまだお着きでないでしょうね。
不通の関越道でどこまで距離を稼げたか心配です。
地震の只中でも、仲間に元気な顔を見せに一般道を乗り継いでご参加頂いた【心意気】と優しい【心配り】。感謝感激でした。

鬼丸さん、笹丸さん、波平さん、無事ご帰還、祝着至極でございます。

帰途の皆様。
無事お帰りの際は、御一報（投稿）下さいませ。

しかし、じつに楽しかったですね工～　。
素晴らしい刀兄、刀友にもう一度　　乾杯　　（●＾o＾●）

[3297 へのレス]Re: お疲れ様でした m(__)m

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/10/31(Sun) 22:52

皆様お疲れ様でした。
７時過ぎに小諸に戻りました。新幹線の中ではひたすら睡魔と闘っていました。
今、ビールを飲みながら色々と思い返しています。
土砂降りの中での二次会、三次会。これはなかなか思い出になりそうです。
初参加の波平さんがスッカリしっかり溶け込んでいたのが素晴らしかったです。
新潟の被害の中、車でお越しの久さん、お疲れでは無かったでしょうか？
真改さんのくじ運の強さ、引きの強さは羨ましかったですよ。
花散里さんには毎度の幹事役、本当にお疲れ様でした。
やはり一緒のホテルにして大正解でした。
九段会館…定宿になるかもしれませんね？
パスタも大変美味しかったです！
また来年の大刀剣市を楽しみにしています。
楽しい時間を持てました。皆様ありがとうございました。

[3297 へのレス]Re: お疲れ様でした m(__)m

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/10/31(Sun) 22:58

皆様。お疲れ様でした。
そして、毎年、お世話をかけている『花散里さん』に厚く御礼申し上げます。
無事に帰ることが出来ました。
ありがとうございます。

今回は、私の突然のテーマ『外装付きのお求め安い刀』(~_~;)、に全員の方にかかわっていただきまして、まことにありがとうございました。
m(__)m。

詳細は、明日になってまた書き込みたいと思います。
が、メールの送受信ができないなど、パソコンが入院しそうですので、どうなることやら・・・。(>_<)。

では、お疲れと思います。
熟睡下さいませ。(#^^)/~~~。

[3297 へのレス]Re: お疲れ様でした m(__)m

投稿者：久 投稿日：2004/11/01(Mon) 01:22

１２時頃帰宅致しました。疲れて途中のサービスエリアの駐車場でちょっと寝てしまいました。
今回自分の住んでいるエリアが水害、台風そして地震などの災害に遭ったにも関わらず大刀剣市に来た私に優しくして頂き本当にありがとうございます。

今回は行けないのでは？と諦めていたのですが私の妻が私の気分転換＆リフレッシュの名目で私を大刀剣市に行かしてくれた妻に頭が上がりません。

また詳しい内容は明日に致したいと思います。

この度は本当に楽しんでスカッ！としました。

[3297 へのレス]Re: お疲れ様でした m(__)m

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/11/01(Mon) 11:13

皆さんお疲れ様でした。
初参加の私をとても暖かく迎えていただき、感謝に耐えません。
同好の士の集まりって、本当に良いものですね。
久さんも無事お帰りになったようで安心しました。
本当は２次会・３次会まで参加したかったのですが・・・申し訳ありませんでした。
来年は九段会館で宿泊して皆さんと楽しい時間を長く過ごせたらと思います。(刀も２本くらい増やし、小道具も面白いものを手に入れておこうと思います。乞うご期待！)
花散里さん、さまざまにご配慮頂き、有難うございました。
真改さん、菊久さん、久さん、こてつ。さん、鬼丸さん・笹丸さん、刀士郎さん、内記さん、波平

さん本当にお疲れ様でした。
飲みすぎませんでしたか？（笑）
来年までには少しは鑑識力を上げて置きたいと思います。
また東京に来られる際は呼んでください。
千葉の奥地よりすっ飛んでまいります。
又来年、全員コスプレでお会いしましょう。
もちろん、掲示板は毎日覗かせていただきます。
これからも、色々ご指導下さい。
よろしくお願いいたします。

[3304] 楽しかったです。

投稿者：菊久 投稿日：2004/11/01(Mon) 07:34

大刀剣市にご参加下さった皆さんへ
昨日・一昨日とお疲れ様でした。
お陰様で、楽しい時間を過ごさせて頂きました。お礼申し上げます。

皆さん、ご無事にご帰宅されたようでなによりです。
寄せられたコメントを読ませて頂くと、帰宅してから二日間を思い出し、お酒をちびり、ちびりと・・・。
皆さま取られる行動が一致してますネ(^^)
私も、昨夜の７時半頃に最寄りの駅に着き、駅前の知り合いの焼き肉屋でビールを煽っていました。同じ頃、刀士郎さんも掛川でお湯割りを飲んでいたそうです。

このコメントを打ってるとき、「刀剣市はどうでしたか」と、現在刀匠のブースで銘切り実演の予定であった○○刀匠から電話・・・。
来年は是非とも off 会にもご一緒しましょうよという話をしたところです。

皆様、本当に「ありがとうございました」
来年の大刀剣市を早くも今から楽しみにしています。

[3304 へのレス]Re: 楽しかったです。

投稿者：倭　士 投稿日：2004/11/01(Mon) 21:59

みなさん こんばんは・・。
　＞ 楽しかったです。
書込みを見てると、みなさん本当に楽しそうですね～！
先月は忙しくて、休みがとれず残念でした。

（刀剣）芸術の秋・今月からは休みがとれそうなので、刀見まくりま～す。

大刀剣市やＯＦＦ会などのお写真でもありましたら、またＵＰして下さいね！！

３日は休みがとれそうなので、三島まで刀剣鑑賞会に出掛けて参りまーす。
みなさんに負けないくらい立派な刀剣を見て来て自慢するぞー！！
　　（東京に行け無かったので・・。）
詳しい鑑賞刀は、またご報告致しま～す。

[3304 へのレス]Re: 楽しかったです。

投稿者：波平　投稿日：2004/11/01(Mon) 22:20

＞菊久さん
　ご無事のお帰りなによりです。遠いところご苦労様でした。
二次会ではゆっくりお話を伺えませんでしたが、刀剣博物館からの車中では楽しい話を聞かせていただきました。次回を楽しみにしています。

＞花散里さん
　本当～にありがとうございました。かゆいところに手の届くような気配りに脱帽です。m(_ _)m
　そればかりか大変なお土産まで頂戴して・・・宝物がふえました。
あれに似た鍔を見つけたらすぐにお知らせいたします。阿佐ヶ谷で又お会いできるのを心から楽しみにしています。
　前々から伺っていたとおり、こちらの方々は社会人として、趣味人としてこれからもおつきあい願いたい素晴らしい仲間でした。

＞こてつさん
　皆様に「痩せた」といわれて気になさってましたが、今度、ラーメン巡りなんていかがですか？いつでもおともいたします。あの雪華紋拵の兼舎の短刀、こてつさんに「もう一言」言われていたらあぶなかったところです。２日目のお昼の蕎麦、一番おいしそうに食べていましたねぇ(^o^)
　今日、家に○州屋さんの展示会のお知らせが届いていましたけれどご一緒にいかがですか？・・・もっとも軍資金がトホホですが・・・

＞鬼丸さん
　私は鬼丸さんとお話できて very very 楽しかったです！人見知りの私が初対面であんなに話がはずんだなんて初めてです(^^;)これも同好の士なればこそです。もっとも鬼丸さんの知識は私の数段上ですが。刀剣博物館で教えてくださったことは大変に勉強になりました。又ご一緒したいです。

＞笹丸さん
　お二方のハンドルの由来を伺いなるほどとおもいました。仲良く物静かななかに「名伯楽」の風格を感じました。さりげなく気をつかってくださり料理をとりわけていただいたり、ありがとうございました。こちらで「おろしそば」のおいしい店お教えいたしますね。

＞刀士郎さん
　お初にお目にかかった時「いよっ！若旦那」と声をかけたいような気になりました。地道に活動されていることに頭が下がりました。いまだに拝見した鍔が頭から離れません。眼福眼福。遠州に行くことがありましたら是非、佐野美術館などご一緒したいものです。

＞こぶ平さん
　私も今回が初参加なんです。でも楽しい雰囲気でしたね。私がこぶ平さんくらいの時は刀を手に入れられるなんて夢にも思っていませんでした。雨の中長いのを担いでこられてその熱心さにビックリいたしました。これからもよろしくお願いいたします。

＞久さん
　本当にお疲れ様でした。無事ご帰宅の由、ほっといたしました。お話の一言一言が勉強になることばかり、そして久さんの情熱が伝わってくることばかりでした。そして実作者ならではの貴重な経験談の数々は忘れられません。一刻もはやく災害の後始末が終わりますように祈っております。駐車場をでてしばらく駐車されていましたが大丈夫でしたか？関越まで誘導できればよかったのですが不慣れな道で急左折してしまい失礼いたしました m(_ _)m
　こちらにいらっしゃることがあればいつでも「鴨渓造之」ご覧にいれます。ご一報くださいね。

＞内記さん
　初日の和服素敵でしたねぇ。内記さんとは車中でいろいろなお話が伺えて学生時代に訪ねた四国の城下町をたくさん思いだしました。道場のお帰りなどの時、又阿佐ヶ谷でお会いできるのを楽しみにしています。ご近所のよしみで又よろしくお願いいたします。

＞真改さん
　一度お会いしたい思ってからしばらくたちましたが、念願かないました。すがすがしい Nice Guy でした！これからしばらく直刃を見ると真改さんを思いだしそうです。本当に皆様の人柄あってこその同好の士の集まりと思いました。

本当に楽しい二日間でした。皆々様に心から感謝申し上げます。m(_ _)m

[3304 へのレス]Re: 楽しかったです。

投稿者：花散里 投稿日：2004/11/01(Mon) 23:17

毎年のことですが、OFF 会終了後は「もっと皆さんに楽しんでいただく方法が、あったのでは？」と、反省しきりです m(__)m
刀を鑑賞できる店探しに時間を取られて・・・などと、ちょっと弁解(^_^;)

そろそろ、皆さんのレポートが投稿されると思いますが、一番乗りはどなたでしょうか？

また、「顔を出さないで～」という方は、お申し出ください(^_^)

[3304 へのレス]Re: 楽しかったです。

投稿者：沼六屋 投稿日：2004/11/01(Mon) 23:35

今回の大刀剣市見学も、少しの時間でしたが真改さん、花散里さん、何時もお世話に成っている成蹊堂さん、方々のお顔が拝見出来て良い一日に成りました。
また、今回は成蹊堂さんの紹介で刀士郎さんとお知り合いに成れました。
来年の大刀剣市では OFF 会に参加をして、皆さんとお会いする事が今から楽しみです。

[3310] ｔｈｅ　ｂｅｓｔ　ｏｆ　大刀剣市は・・

投稿者：内記 投稿日：2004/11/02(Tue) 00:37

え～っと・・・
花散里さんからウルトラビームと思しき強烈なプレッシャー光線が発射されております。

そこで、（どこで？）
ＯＦＦ会参加者のみならず、『大刀剣市』を見られた方にもご参加頂き
今年の大刀剣市において“私が選んだ【この一口】”と参りませんか(^^)!
では、僭越ながら愚生の　【ｔｈｅ　ｂｅｓｔ　ｏｆ　大刀剣市 2004】は

『享保名物帳』記載漏れとの噂もでた・・・
【迷刀 “帽子悩み”】の一口です。
この刀は今後、『電脳名物帳』に記載され、未来永劫、伝説として語り継がれるでしょう。
詳細報告はどなたにお願いしましょうか？

しかし、今回は仕事が片付かず二日間で会場に居た時間は二時間位で、
柄を握った刀は僅か三口・・・、うち二口は成蹊堂さんで、
柄を外して茎を見たのは　この迷刀のみ・・・でして、
あまっさえ！　　購入希望者本人は　抽選に当選して商品を受け取りに・・・
その間・・・　店先では微妙な空気が流れ・・・汗、汗。
ご本人がお戻りになるまで　無言の・・　汗、『鑑賞』となった次第です。
以上が、大刀剣市の鑑刀レポートでした　　(>_<)
来年は、早く仕事終らせるぞ～ッ　！

＞花散里さん
諸事情によりモザイクＣＧで“いい男”に修正してくださ～いナ　(^_^;)

[3310 へのレス]Re: ｔｈｅ　ｂｅｓｔ　ｏｆ　大刀剣市は・・

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/11/02(Tue) 01:54

家に戻ってきてから「図録」を改めて見直しているんですが…チェックし忘れた刀の多いこと多いこと。実は今回、図録にある会場の見取り図を縮小コピーして、そこに要チェックの刀と店名に印を付けて持ち歩くようにしていました。
現場で図録を引っ張り出してページをめくって…では手間がかかるし動きにくいからです。
それでも図録を見直してみると…気になる刀が出てくる出てくる(;^_^A
しかし現場で気が付いたことですが…それら「気になる刀」は大抵手の届かないような高さ、位置に飾ってあったりします。
今回、某店から出ていました「長義（特重）」などは店員さんに「見せて」と言い出しにくいような位置（高さ）にありまして…やはり他のお客さんも手に取られた様子はありませんでした。
勇気を出して「見せて」と言えればいいんですが…(;^_^A
そういう意味で…見そびれたけど気になって仕方なかった【この一口】が「長義」でした。
あ、あと刀剣市の本番前に売れちゃった「朱銘　正宗」！
波平さんが迷っておられた「雪花紋短刀拵え」もかなり良かったです。
小道具でも気になるものはいっぱい有ったのですが…買い物を考える前に刀も小道具ももっと勉強しなきゃ恥をかく一方…。
痛感しました(＃￣▽￣＃)ゞ

＞花散里さん
僕はＣＧで“ヨンさま”にしてくださいませ(＃^▽^＃)
あ、いや、無理ならいいです…。素のままで…。

[3310 へのレス]Re: ｔｈｅ　ｂｅｓｔ　ｏｆ　大刀剣市は・・

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/11/02(Tue) 10:30

内記さん、こてつ。さんこんにちは。
私が選んだ【この一口】ですか・・・。
わたしはまだ見る目というものが確立していないので、あくまで「いいナ」と思ったものとなってしまいますが・・・
小品ですけど、三善長道の小刀でした。
というのも、通常の刀などは今回お財布との相談の結果、断念しました。
ですので、何か小品を・・・と考えていたのですが。
そこでそれを発見いたしました。
喘喜堂鑑定書によれば、６代長道とのことで、帰宅後に色々調べて見ますと、代々の中でも上手として有名な方とのことでした。
しかも、小刀の書籍にも所載されているものだそうです。

三善長道の小刀はこれまで見たこと無かったので、「買ってしまえぇ～い」などとは思いましたが、刀剣はたやさんで「青龍軒盛俊」を取り置きしてもらってるのを思い出し、諦めました。
今思います・・・
買っとけばよかったぁぁぁぁぁぁ～。
・・・と、このように後悔の一口でもありました。

[3310 へのレス]Re: ｔｈｅ　ｂｅｓｔ　ｏｆ　大刀剣市は・・

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/11/02(Tue) 18:11

私は、真玄堂さんにあった小脇指の「繁慶」ですね。
鎬造りで、ちょっと小粋な感じのする作品
あまり売品として市場に顔を出すことの少ない刀工
なので、余裕があれば欲しい一品でした。ちなみに
１６０か１８０万位だったと思います。
しかし本命は SKD さんにあった「行光」の短刀、あれ
いいよなあ・・・ほ・し・い・下取り交渉すればよかった。

[3310 へのレス]Re: ｔｈｅ　ｂｅｓｔ　ｏｆ　大刀剣市は・・

投稿者：波平 投稿日：2004/11/03(Wed) 18:03

私は「やしま」さんにあった室町時代の瓢鯰図の赤銅鍔が印象に残りました。小柄と目貫を同様の図柄で持っていますが時代が違うので拵には使えず、迷っているうちに３日目にケースから消えていました・・・。「つるぎの屋」さんの雪華紋拵(短刀・兼舎)はいまだに未練があります。
＞花散里さん
あまり目立たぬようにお願いできれば(^^;)

[3310 へのレス]Re: ｔｈｅ　ｂｅｓｔ　ｏｆ　大刀剣市は・・

投稿者：刀士郎 投稿日：2004/11/03(Wed) 19:36

おそくなりましたが
皆さんお世話になりました。
電脳倶楽部の方々のお陰でとても楽しい二日間をすごせました。
御礼申し上げます。

大刀剣市も三度目となりますとだいぶ気持ちにゆとりをもって会場を見廻ることができました。何軒かの刀屋さんとも馴染みになっておりましたので良いものをいろいろ拝見させていただきました。それでも、こてつさんと同じく今思えばみのがしたものがあるきがします。しかし、一日あたり、手にした刀の数はこれまでの最高だと思います。少々目もつかれました。
さて、今回印象に残って夢にまで出たものは「柳生鍔」です。

柳生はこれまで数枚拝見したことがあり　今回も数枚売りものを見かけましたがどれも何となく粉っぽい印象をもったものです。
そんな話を業者さんと交わしているうちに「売り物じゃないけど」と奥から出して見せてくれた「一枚」
しろうとの私ですが流石にこれは本歌だと直感しました。
売り物じゃなくて残念！！
でも、売り物じゃなくて良かった？？

[3310 へのレス]Re: ｔｈｅ　ｂｅｓｔ　ｏｆ　大刀剣市は・・

投稿者：花散里 投稿日：2004/11/03(Wed) 21:03

いろいろと刀は見たのですが、やはり【迷刀 ‘‘帽子悩み’’】に尽きるでしょうか(^_^;)
何しろ、友人が購入を考えてアドバイスを求めている訳ですから、無い知恵を絞り過ぎて気持ちが悪くなるほど、真剣に拝見しました。
地肌は良く詰んで一見すると肥前にも見え、直刃出来にうっすらと映りがあり、研ぎ減りもなく健全な姿。
ただ、帽子が気になる点でしたね～(^^ゞ
帽子に関しては、皆さん完全に意見が一致していましたね。
妙に焼き幅が狭く、差し表は完全な焼き詰め、指し裏はわずかに返りが・・・描き帽子？
凝視しても、光を反射させても確信はもてませんでしたが。
しっかりした拵えもついて、金具もなかなか凝った物がついていて、常寸で、しかも手頃なお値段。
でも、やっぱり帽子が・・・(^_^;)
ご本人も迷われていたようでしたが、内記さんのとどめのアドバイスで購入を見送られて、それはそれで正解だったでしょうね(^_^)

他に気になる刀といえば、成蹊堂さんでみた長巻き直しの長州顕国でした。
身幅広く大切っ先の、私の好きな姿でした。
良い研ぎを施せば、重要に合格すると思います。

鐔では、某店の店頭で波平さんを巻き込んで悩みに悩んだ、扇透かしの金工鐔。
四分一風の色合いでしたが、赤銅の古金工。
魚子も揃い、金象嵌を施してあり拵えにつけたら映えそうな鐔でしたが、時代がどう見ても古金工には見えず、悩んでいるうちに売れてしまいました(^^ゞ
成蹊堂さんでは、鳳凰・五本指龍の安田鐔や、値段を付け間違えた「お宝探し」の古赤坂など、今回もとても楽しめました。
ありがとうございました m(__)m

P.S.
真改さんのパソコンは入院しましたので、大刀剣市の感想はしばらく後になるかと・・・

[3310 へのレス]Re: ｔｈｅ　ｂｅｓｔ　ｏｆ　大刀剣市は・・

投稿者：久 投稿日：2004/11/05(Fri) 23:20

今回の私の一振りは、、、。○島さんにあった特重指定の大摩上無銘の長義です。趣味を極める為にはまず妻との戦いですな！なんとか話していてヒョンなことからお互いオーディオ趣味と分かりまして大刀剣市でオーディオの話に花を咲かせておりました。その後見せてもらいました。

今回の大刀剣市の感想を一言で言いますと

やはりオーディオは『western electric』

[3310 へのレス]Re: ｔｈｅ　ｂｅｓｔ　ｏｆ　大刀剣市は・・

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/11/06(Sat) 01:12

えっ！？久さん、あの長義見せてもらったんですか？
一番上に飾ってあったヤツ！
…ご一緒するんだった～っ(´д`、)。
「見せて」と言いにくい位置ですよ、あの高さは…。うらやますい。

[3310 へのレス]Re: ｔｈｅ　ｂｅｓｔ　ｏｆ　大刀剣市は・・

投稿者：久 投稿日：2004/11/06(Sat) 23:43

こてつさん～！
みましたよ～ん！
しかし長義は凄い。『備前であって備前でないのが長義』と言われる意味が分かるような長義でした。去年も同じお店で同じく特重指定の違う一振りを見せて頂いたのですが南北朝オーラがビンビンの長義でした。
隠れ長義ファンです。

[3310 へのレス]Re: ｔｈｅ　ｂｅｓｔ　ｏｆ　大刀剣市は・・

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/11/08(Mon) 12:03

久さん、こてつ。さんこんにちは。
特重の長義ですか・・・。
あっしは結構見る機会があるんですけど、イイですね。長義。
どこがどう・・という風にではありませんが、何となく・・・イイです。
私の会社の元上司の部長さんなんですが、いろいろイイ刀をおもちなんです。かなり恩義のある方なので、四季折々の贈り物などをするのですが、そのお礼にといつもご自宅に招待してくださるんです。

もちろん、刀の鑑賞会になりまして、２～３時間ほどため息つきながら拝見しています。ラインナップは、「大磨上無銘：長義（重要）」「無銘大宮盛景（重要）」「村正（特保）藤堂家伝来」「(葵紋)越前康継（特保)」、脇差「和泉守国貞（真改）(たしか特保)」「長運斎綱俊（特保)」、寸延短刀「無銘相州広正（正宗銘あり）(特貴)」「大磨上無銘美濃為継（重要）大徳川家伝来」などです。
その方のお父上が収集したものだそうです。研ぎは全て藤代の先代の研ぎです。いつもそちらにお願いしたそうで。ちなみに、藤代の先代はこれらの刀全てに関して重要刀剣を保障してくれたそうです。特に、長義と為継に関しては特重まで大丈夫でしょうとのことだったようです。
あるところにはあるものですね。
もっとも、お呼ばれするたびに２～３時間はじっくり鑑賞させて貰いますが。近いうちに呼ばれていくので、そのときは写真を撮ってきますね。

[3313] 情報提供

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/11/02(Tue) 16:08

今、Yahoo オークション覗き見してみたら、「宗匠金道造　伊賀守金道」銘
の鐔が出品されていました。現時点の値段は１２万円。ちょっと懐オーバー。興味がある方はがんばってみて下さい。

[3313 へのレス]Re: 情報提供

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/11/04(Thu) 06:02

オフ会の刀匠鍔良かったですね～。

これとそれとでは、鍔の感じが違うので、なんとも言えませんが、確かに珍しい鍔ではありますね。

こぶ平さん。６０回ローンでいかがでしょうか？(^^ゞ。
えっ？ヤフーじゃ、やってないって！(-_-;)。
失礼しました。m(__)m＆(^.^)。

[3313 へのレス]Re: 情報提供

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/11/04(Thu) 17:51

真改さん、実は考えてしまいました。
２４回ローンなんて・・・って考えてたんですが、よく考えてみればローンやってませんでした！
さらに、色々教えてくださる、愛知県の業者で刀剣○○の○○さんが言うには、金道の在銘鐔ならば１２万円位が相場とのこと。
相場値がスタート値になっとるゥ～！
って、これじゃ状況によっては凄く高い買い物になってしまう・・・。
ということで、やめました。

その代わり、方々に頼んで面白い、または良い鐔を世話してもらえるように頼んでおきました。
どんなのが来るんだろう・・・。(ワクワク)
刀が好きな私ですから、やはり刀匠の在銘鐔がいですしね。
あの夜の左行秀の鐔が頭から離れません。
その意味で私にとって衝撃的な一（逸）品でした。
なにげに小道具にも興味を持ち始めている今日この頃のこぶ平でした。

[3313 へのレス]Re: 情報提供

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/11/04(Thu) 20:07

オフ会（食事会）では皆さんが持ち寄った短刀や鍔を拝見させていただきました。しかし…食べたり飲んだり話したり拝見したりとけっこう忙しかったですねーっ。
今思い出してるんですが…「あの鍔はどなたの？」っていうのがけっこうありまして…。行秀の鍔のお持ち主はどなただったのでしょう？誰かコソ～ッと教えてくださーいっ。

[3313 へのレス]Re: 情報提供

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/11/04(Thu) 22:06

…教えていただきました。
あの方の物でしたか…。
良いものイッパイ持ってますな～っ。

[3319] 秋の特別鑑賞！！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/11/04(Thu) 01:09<HOME>

みなさん こんばんは・・。
やっと休みがとれました～。
皆さんに負けず私くしも 日本刀剣保存会さん主催の秋の特別鑑賞会に初めて参加して参りました。
（東京に行け無かったので皆様に対抗して書き込みますね。）

於；三島・佐野美術館 隆泉苑
★ 鑑賞刀は・・。　　【解説・渡邉妙子先生(佐野美術館館長)】
①太刀：〔古備前〕利恒　〔重要美術品〕
②太刀： 来 國次　〔重要刀剣〕
③太刀：〔長船〕長元　〔重要文化財〕徳川家⇒前田家伝来
④太刀：〔古青江〕俊次　〔重要美術品〕
⑤太刀：〔中青江〕真恒　〔重要美術品〕
⑥短刀：〔中青江〕吉次　〔重要美術品〕
⑦太刀： 実 阿(大左の父)〔重要美術品〕越後新発田藩・溝口家伝来

⑧ 刀 ： 堀川 國広　　〔晩 年 作〕
⑨ 刀 ： 康継・初代　　〔重要美術品〕
⑩刀装： 秋草文黒漆太刀拵〔重要文化財〕上杉謙信所用!!
　刀身・ 豊後 行平　　上杉景勝佳品 35 振りの１つ

☆ 鑑定刀・・
　Ⅰ・短刀：京丹波吉道（初代）
　Ⅱ・脇差：尾崎 助隆
　Ⅲ・脇差：薩州住正房　　でした。

参加費は５千円と格安でした、交通費が往復・壱万以上かかり、
少し予算オーバーでしたが、参加してよかったで～す。
行きの新幹線では、兵庫の真○刀匠と、席が隣合せ作刀について色々御伺いできましたし、
帰りは帰りで、刀友達と拝見した宝刀の話題で、あっ!と 言う間に関西に到着しましたね。
今回拝見した鑑賞刀の一部は、11 月 12 日～12 月 15 日まで開催される
　特別展：大名の宝刀でご覧頂けます。
※ 但し、ガラスの向こう側ですが・・。（詳しくはＨＰをご参考に・・）

http://www.sanobi.or.jp/syuzou/honjitu/honjitu5.html

http://www.sanobi.or.jp/korekara/mokuroku.htm

現場の写真に付きましては、関西刀友会の写真担当者が欠席の為 撮影出来ませんでしたが、
知人に伝送して頂く様にお願いしておりますので、そのうちＵＰ出来るかも!？（貧乏暇無しに付きご猶予を・・。）
その時は菊さんヨロシクで～す。

[3319 へのレス]Re: 秋の特別鑑賞！！

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/11/04(Thu) 06:06

三島・佐野美術館は、凄いですね！
鬼丸さんや刀士郎さんもいらっしゃったのではないでしょうか。

私も、今月はあと一回、千手院さんと一緒に岡山の林原美術館と倉敷刀剣美術館へ行く予定です。
秋は芸術の秋ですね！

[3319 へのレス]Re: 秋の特別鑑賞！！

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/11/04(Thu) 14:01

１１月１４日は清麿の命日「山浦忌」です。
長野東信支部の次回鑑賞会は山浦研究家の花岡先生をお招きして山浦一門のみの鑑賞会になるそうです。
秋は刀の季節だったんですね…。…ん？秋刀魚？

[3319 へのレス]Re: 秋の特別鑑賞！！

投稿者：倭　士 投稿日：2004/11/04(Thu) 21:22<HOME>

数年前にも佐野美術館にて特別鑑賞がありましたが、その時は仕事の都合で、
参加出来ず悔しい思いをしたので、今回は無理して参加しました。
前回も名品ぞろいだった様です。
　☆ 因みに前回は・・。
無銘正宗：重文・新藤五：重文・本阿弥極め郷：重文・の定 等々・・
こんなのナカナカ手に持って鑑賞出来ないでしょう！！

[3319 へのレス]Re: 秋の特別鑑賞！！

投稿者：花散里 投稿日：2004/11/06(Sat) 16:21

大刀剣市(2004)ＯＦＦ会の様子をＵＰしました m(__)m

[3319 へのレス]Re: 秋の特別鑑賞！！

投稿者：四誌 投稿日：2004/11/06(Sat) 17:46

ほんと。。
いい刀ばかりですなー！
僕も行きたかった

[3318] 大刀剣市レポート＆入院しました。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/11/03(Wed) 21:56

ちょっとパソコンをお借りして、アクセスしております。(~_~;)。
先週の金曜日の朝から突然､メールが受信できなくなり､作業中も突然に電源が切れるといった症状が出て、ショップに月曜日に持ち込んだのですが、部品交換が必要ということで、メーカーに全治三週間の診断と入院を言い渡されました。(T_T)。

感動が熱いうちにレポートを書きたかったのに、もう、3日も過ぎ、すっかり忘れちまいました！！(-_-;)。
というか、もともと物覚えが悪いので、そういう理由にして、独断で勝手に書くことにします。(^^ゞ。

初日も帰りも雨だった今回の大刀剣市ですが、多くの刀友の皆様と楽しく回ることができ、かつ、オフ会も大盛況で、とても楽しい２日間でした。
最終日には、岡山の赤松伸咲刀匠の文鎮が当たり、大きなお土産を頂戴しました。＼(~o~)／。
もう８年も通っている大刀剣市ですが、やっと、くじ運が回ってきたという実感がこみ上げて参りました！
良かったよ～～。)^o^(。

さてさて、私の今回の大刀剣市での目的は郷土刀と自分感性の小道具の逸品を探すことでした。
しか～し、悲しいかな、結局、郷土刀は一振りもなし。
小道具では、重要刀装具であった『仁王の図』が気にいりましたね！
２８０万じゃ、買うとか買わないとか、そういう問題ではなくて・・・。
見ることが嬉しかったですよ。

今回の大刀剣市は、名品の数々は星の数ほどありましたが、人出がなんとも寂しいものでした。
年々、減っているんじゃないですか？
今回、２０回払いまでローンの無金利という素晴らしい提案があり、購入者も増えただろうと想像しますが、なんせ『手の届く名品』が少ないこと。
私は提案したい！
来年は６０回無金利！しかも、『手の届く名品展　きっとあなたも買えます！』
これですよ！＼(~o~)／。

は～、(~_~;)、で、元に戻って・・・。
最初の郷土刀の発見が夢破れた私は、下にも書いていますが、突如『外装付きのお求め安い刀』というテーマに振り替えたのでした。(^^ゞ。
でも、これが納得のいくものがなかなかないんですよね。
高名高額の刀なら、いくらでも納得のいく刀はあるんです。
しかし、こと５０万円くらいで、外装つきのしっかりしたものというと、現代の居合刀でもそうそうありません。

そんな中、最終日の１６時まで悩みました。
あれ！それは・・・。
みんな、『宇多』とか『肥前』とか言ってましたけど、あれはきっと『南紀重国』じゃ～～～！！そんなわけない？失礼しました。m(__)m。
でも、直刃で焼き詰帽子の綺麗な地鉄。そして、物打ち辺りから先にかけての乱れた映り。直刃の映りにも惚れたんですが・・・。研ぎ減りなく健全。
でも、花散里さんもおっしゃってますが、帽子がね～。直感で『違和感あり！』でしたし・・・。
そんでもって、最後のご審判を仰ぐために内記さんに無理を言ってお願いし、その結果『本音トーク』で語られてちょっと、しょげてしまいましたが、自分の中では良かったな～と思っているわけです。

金着せ二重はばきが付いて、鉄の縁頭の蘭の花の図。時代の鉄鍔。まったくがたつきのない拵え。普段着の刀ということなら、もってこいだったのですが。
刀士郎さんにいたっては、『特重の青江』の直刃が良かった～、ですって！
比べたら、あかん！いけません！(T_T)。

でも、今回、こんなにたくさんの刀友の皆さんが、時間を惜しまず、私のテーマと悩みに真摯に応えてくださり、感謝の念にたえません。
この場を借りて、御礼申し上げます。m(__)m。

この悩んだ刀から派生したことですが、刀士郎さんの情報で、入札形式の『大和志津』があり、外装付きでとても良いものでしたので、刀士郎さんのバックアップのもと、入札しましたことも、あわせてご報告致します。
落札のあかつきには、どうしよう～～～、とひやひやしております。
たのみますよ！刀士郎さん。(~_~;)。

それにしても、毎回驚かされるのが、成蹊堂さん。
せっかく正宗を見せてもらえると思ったのに、初日に完売ですって！
でもって、行光も売約済み！？
今回も、お世話になりました！！m(__)m。

ちょこっと書きましたが、刀剣博物館のことなど、まだまだ、皆さんにも書いてほしいことがたくさんありますので、よろしくお願い申し上げます。ヽ(^。^)ノ

あ～あ、早くパソコンがなおらんかいなぁ～。(T_T)。

[3318 へのレス]Re: 郷土刀

投稿者：隠居 投稿日：2004/11/04(Thu) 09:35

真改さん、大刀剣市、刀友諸氏との出会い、貴重な日々でしたね。
郷土刀と郷土ゆかりの小道具が見つからず残念との書き込みを拝見しましたが、ご尤もに思います。しかし考えてみますとどこの地方の郷土刀であろうとその地域が特別な刀剣生産地でない限り、そうそう簡単に出くわすものではありません。
私の経験では郷土刀は刀をやり出して３０年経った頃の偶然の出会いですし、「求めていた自分好みの刀」が入手できたのは老病者となったほんの最近です。
もし貴兄お求めの郷土刀が「海部刀」であるなら、そのことを信頼できる刀屋さんに頼んでおかれることです。どうぞ気長に、楽しみにしてお探しください。

[3318 へのレス]Re: 大刀剣市レポート＆入院しました。

投稿者：花散里 投稿日：2004/11/04(Thu) 22:20

そうですね(^_^)　忘れないうちに、投稿しておきましょう。

30 日それぞれ大刀剣市を楽しんだ後、九段会館へ車で移動。チェックインを済ませた後、OFF 会会場へ。
入口に扉は無かったものの一般客の目には触れない部屋でしたので、レストラン支配人に刀の鑑賞を告げたところ快く了承していただけました。
飲み物が配られ、食べるものが来る前に早速始まる鑑賞会(^^ゞ
こてつ。さん・波平さんの短刀、刀士郎さん・真改さんの鐔、こぶ平さんの刀を存分に鑑賞させていただきました。
食事を楽しみながらそれぞれのテーブルで話が弾み、あっという間に２時間が過ぎ一次会は終了しました。
ここで、時間切れのこぶ平さんは再会を約して帰宅、お疲れの様子だった笹丸さんは一足早く部屋に戻られましたので、残った９人で土砂降りの雨の中を２次会会場へ移動。
２次会は一つのテーブルでしたので、さらに話が弾みあっという間に時間が過ぎて行きました。
東京美術倶楽部近くのホテルに宿泊した刀士郎さん・翌日も仕事の内記さん・波平さんと別れ、歌を歌えずに物足りない顔のこてつ。さんを先頭に、さらに激しさを増す雨の中を飯田橋駅近くのカラオケボックスに移動し、転寝をしていた真改さんをよそにカラオケで盛り上がるおじさん達(^_^;)
お開きになったのは深夜１時を過ぎていたでしょうか・・・
実家へ戻る久さんと別れ、宿舎の九段会館で爆睡・・・

翌日は雨も上がり薄曇の中、真改さん・菊久さん・鬼丸さん・笹丸さん・実家からとんぼ返りした久さんと合流し、靖国神社へ。
昇殿参拝し玉串を捧げ、心地よい緊張感とすがすがしい気持ちになったところで、刀剣博物館へ。
こてつ。さん・波平さんと合流し、昼食をとった後に再び大刀剣市へ。
会場で、刀士郎さん・内記さんと合流し大刀剣市を楽しんだ後、それぞれ名残惜しそうな顔をしながら来年の再開を約して帰宅の途へ。

駆け足でご紹介すると、ざっとこんなものでしょうか m(__)m

[3318 へのレス]Re: 大刀剣市レポート＆入院しました。

投稿者：守重 投稿日：2004/11/05(Fri) 21:29

皆さん、大刀剣市・オフ会、楽しかったようですね。昨年も参加できなかった私も今年は参加したいと考えていたのですが、オフ会の日は職務で町より出られなかったため、今回も見送りました。

結局、翌日の日曜日に大刀剣市に行きましたが、時間差で皆さんとお会いできなかったのが残念です。また来年こそは、、、と考えております。
私もいろいろとじっくり回りましたが、特にこれだ！というものは記憶に無く、大刀剣市の後に伺った○剣堂の一文字の荒波波紋がやたらと目に焼き付いています。宝くじで一億当たったら間違いなくこれを買いに走るでしょう。
真改さん同様、私も郷土関係を物色しましたが、目ぼしいものはありませんでした。(軍刀一振りあったが高すぎた。) 来年こそオフ会に出たいと思います。

[3318 へのレス]Re: 大刀剣市レポート＆入院しました。

投稿者：花散里 投稿日：2004/11/06(Sat) 10:50

＞守重さん
そうですか、大刀剣市会場ですれ違っていたんですね。
それは、惜しいことをしました。
次回はぜひお会いしたいですね(^_^)
お忙しいとは思いますが、電脳倶楽部にも以前のような積極的なご参加をお待ちしています m(__)m

[3318 へのレス]Re: 大刀剣市レポート＆入院しました。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/11/06(Sat) 19:47

パソコンショップから修理が完了するまでの間､代替のノートパソコンが借りることができたので、投稿ができるようになりました。
一安心・・・。(^o^)丿。

守重さんとは、今年もあえなかったなぁと、会場で花散里さんとも話をしました。
お仕事ではしょうがありませんね。残念でした。

軍刀一振りは、ひょっとして、菊水刀ではなかったでしょうか。
私は、それが気になり拝見しましたが、錆身であるし、出来も昨年見た別の菊水刀とはまったくレベルが違い、工作代や出来、外装の状態を考慮しても、とても売り物の値段とは思えず、後にしました。
他にも、軍刀の外装入りのものがありましたが、魅力的なものはありませんでした。
以外に良質の保存状態の良い軍刀は、陸海軍を問わず、ないものですね。

来年は、ぜひ、オフ会にもご参加いただき、楽しい刀剣談義をお願いします。

[3318 へのレス]Re: 大刀剣市レポート＆入院しました。

投稿者：守重 投稿日：2004/11/08(Mon) 21:07

花散里さんも真改さんも気にかけていただきまして、ありがとうございます。(涙) 来年はきっと都合をつけます。今年の冬に子供ができまして、刀の鑑賞の間は子供の遊技の間になってしまいました。で、大刀剣市ではキーホルダーに子供の名前を彫ってもらいましたが、花散里さんの去年のホルダーはちゃんと仕上がったのでしょうか？　結構待たされたような。。。
私が気になったのは成○堂さんのお隣のブースで、全くの郷土軍刀でした。ちょっと群水鋼を混ぜた感じの地鉄の備前伝の刀で、提示価格の半額だったら手を出したかもしれません。
今年も菊水刀、確かに高すぎました。去年のは良いもので、未だに脳裏に焼き付いています。状態の良い軍刀はホントに少ない、でも海外には意外にも状態の良いものが結構あります。

[3318 へのレス]Re: 大刀剣市レポート＆入院しました。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/11/08(Mon) 21:51

キーホルダーに子供の名前。
実は、私も昨年は、大野刀匠が担当だったので、自分のを含めて子供たちの分も大野刀匠にお願いしました。

子供たちはそれぞれランドセルに。
私も公私共に使用する鞄に付けて、いつも刀精神とともにあると信じ、お守り以上の高い精神的価値を見出しております。
このキーホルダーは、意外と刀匠や刀というものを別の角度から常時感じることができる貴重なヒット作と思っております。

こうしたお手軽な作品は、大刀剣市にあっても、次も来ようと思う大切な思い出の品としての役割を果たしている名品の一つと思っております。

今年は、買えなかった『手作りの目くぎ抜き』もヒット作だと思います。

[3318 へのレス]Re: 大刀剣市レポート＆入院しました。

投稿者：花散里 投稿日：2004/11/08(Mon) 23:51

昨年の大刀剣市では、大野義光刀匠に私のハンドル名「花散里」をキーホルダーに彫ってもらいました。
３時間以上、待たされましたね～(^_^;)
一年経ちましたから時効だと思いますので言っちゃいますが、私より先に注文された方が文鎮に彫ってもらったのは、「飛べ麒麟」(-_-;)

鑿で彫ってもらうには、ちょっと無理があるかと・・・やり直しと休憩で、確実に１時間以上は掛かりました。
でも、「花散里」のキーホルダーは、毎日身に付けています(^_^)

[3318 へのレス]Re: 大刀剣市レポート＆入院しました。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/11/09(Tue) 02:09

真改さんの仰る「目釘抜き」ってＬ字形のヤツでしょうか？
僕買ったんですが…。違う形かな？

[3318 へのレス]Re: 大刀剣市レポート＆入院しました。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/11/09(Tue) 06:42

「目釘抜き」ってＬ字形のヤツ＞正解です！！(^o^)丿。

欲しかったんですが、飛ぶように売れていたようで、買おうかと思ったときには、陳列ケースの物まで出してきて、銘切りをしていたようで、惜しいことをしました。
こてつさん、良い物を手に入れましたよねぇ。
うらやましいなぁ。(^.^)。

[3318 へのレス]Re: 大刀剣市レポート＆入院しました。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/11/09(Tue) 13:59

僕が買った時は陳列ケースの中に２つ残って（？）いました。
「楽在其中（楽しみ其の中に在り)」と切られています。
伸咲刀匠の銘もあります。
キーホルダーなんですが、鍵と一緒にジャラジャラさせるといかにも傷が入りそうで…勿体無くて今のところ使えません(´д｀、)

[3332] 良書ご紹介

投稿者：隠居 投稿日：2004/11/06(Sat) 07:15

正論１２月臨時増刊号「日本海海戦と明治人の気概」副題に【戦勝百年記念】とあります。
中身はかの有名な「敵前大回頭」という捨て身の作戦をはじめ、東郷司令長官の人柄を偲ばせる数々のエピソードや乃木大将の武士道精神にもとづく敵将ステッセルとの会見など、現代の日本人が誇りにすべき武人の生き様が語られています。
日本刀を愛する皆様方にぜひともお奨めいたします。売り切れのおそれがありますから早くお買い求めください。７８０円。

[3332 へのレス]Re: 良書ご紹介

投稿者：花散里 投稿日：2004/11/06(Sat) 10:04

ご隠居さんには、昨年も「靖国と日本人」をご紹介いただきましたね。
内容と申し込み方法は、「日本海海戦と明治人の気概」でご覧いただけます。
「気概」と言う日本語が、だんだん遠のいていく昨今の風潮は寂しいですね。
送料も不要で、自宅からでもメールやフリーダイヤルで申し込みができます。
価値ある７８０円ですね。

[3332 へのレス]Re: 良書ご紹介

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/11/06(Sat) 20:00

ご隠居さん。
郷土刀は、探し出すと、なかなかないものですね。
実は、一昨年は、海部刀の銘鑑漏れの刀があって、悩んだのですが、とても高くて手が出ませんでした。
ところが、その刀が、昨年の海部刀の講義の際に、収集家の手に入っていたのを拝見した時、『しまった！』と思いました。
見事に研ぎあがったその刀は、とても魅力的な刀でした。

さて、ご隠居さんから紹介される書籍は、いつも、ありがたく思っております。
この本も、手に入るうちに購入し、読んでみたいと思います。

日本刀鑑定要訣、そして、犬塚徳太郎氏の刀剣鑑定法も、ようやく手に入れ、今は、基本から確認し直すために、刀剣鑑定法を読んでおります。

これからも、ご紹介いただける本がございましたら、よろしくお願い致します。

[3332 へのレス]Re: 良書ご紹介

投稿者：隠居 投稿日：2004/11/07(Sun) 07:58

真改さん、その海部刀、残念でしたね。海部物は研究が進んでいないので銘鑑洩れは当然ありえます。また海部刀は実用刀ですからいわゆる「五ケ伝的価値観」で良否を論じてはならないと思います。海部鍛治やそれを生んだ時代背景などをゆっくり勉強されていかれれば、その中に良品とめぐり合われることでしょう・・・。

花散里さん、同感です。
「日露戦争戦勝１００周年」で思うのですが、「５０周年」は戦後のため何ひとつ言われませんでし

た。日本人は「敗戦」に浸り過ぎて今でも「戦勝」というのは自国のことと感じないのでしょう。「負け犬根性」はこわいですね。

[3348] 鐔に・・・

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/11/12(Fri) 13:48

みなさん、こんにちは。
先日のＯＦＦ会以来、小道具等にも興味が出始め、先日私にとって始めての買い物を致しました。もともと勉強の積り、さっそく勉強の機会がやってきたようです。というのは、妙に手触りのいい鉄鐔だとかんじたのですが、よくよく見てみるとワックスがかかっている様子。早速してやられましたようで。注意力散漫でした。でも、ワックスさえはがせば物は良いものだと思います。銘は作者銘・年紀・行年まではいっており、購入先でも正真保証で鑑定書もつけていただきました。ですが、鐔本来の良さを味わう為にワックスをはがしたいのです。鐔にかかっているワックスはどのようにはがすのが鐔を傷めず最良なのでしょうか。ご意見・ご教示お願いします。

[3348 へのレス]Re: 鐔に・・・

投稿者：花散里 投稿日：2004/11/12(Fri) 23:33

こぶ平さん、ＯＦＦ会ではどうもありがとうございました m(__)m
ところで、鉄鐔にワックスですか？
取り方をお尋ねのところを見ると、車用のワックスなどではなくニスのようなものでしょうか？

[3348 へのレス]Re: 鐔に・・・

投稿者：正弘 投稿日：2004/11/13(Sat) 10:16

こぶ平さんはじめまして。

昭和始め頃までの数寄者のなかには、手入れ済みの鍔に透き漆をかける趣向があったようです。それも素人掛けでなく、職人に頼んで焼き付け水研ぎして艶出しにしているようです。そうなると下地を痛めずに容易に剥がすことは出来ません。鉄醤を焼き付けたのを見たこともあります。

お持ちの鍔がどのような状態か存じませんが、鑑賞に差し支えなければそのままにしていたほうが・・・。

正真保証で鑑定書もついているのであれば、「してやられた」とは思われないのですが？

[3348 へのレス]いぼた蝋

投稿者：正弘 投稿日：2004/11/13(Sat) 10:47

いぼた蝋を忘れていました。これも取り去るのは難しいといわれています。

川口渉師は梅雨期に戸外に晒して少し錆びさせて、木綿布で根気よく拭く方法を『鍔大鑑』で勧めています。

もっとも、「落ち着くまで５，６年かかる」と書いていますが。

[3348 へのレス]Re: 鐔に・・・

投稿者：花散里 投稿日：2004/11/13(Sat) 11:13

正弘さん、お久しぶり(^_^)
漆ですか・・・それも職人が手がけたものならば、素人には手におえそうに無いですね。
漆にしろ、いぼた蝋にしろ、最高の状態で保存したいと言う気持ちからでしょうか。
私などは、あまり手を加えたくないと思うのですが、考え方は人それぞれですね。
参考になりました。
ありがとうございました。

[3348 へのレス]Re: 鐔に・・・

投稿者：正弘 投稿日：2004/11/13(Sat) 12:41

花散里さん。どうもです。
手入れや保存方法は、いろんな試行錯誤があったらしいです。

字が違っていました。

×鉄醤→○鉄漿　おはぐろの液です。

[3348 へのレス]Re: 鐔に・・・

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/11/15(Mon) 09:46

花散里さん、正弘さん、レスありがとうございます。
花散里さんＯＦＦ会では本当に有難うございました。
さて、問題の鐔ですが専門家の手によるものではなさそうです。
鐔の表面、あくまで表面にしか膜がかかっていません。切羽台縁の掘り下げてる所など、影になる部分には総体的に膜がかけられていないのです。

専門家ならそんな塗り残しは出ないでしょう。
さらに、かけられている膜の下から錆が本当に極僅かですが出てきています。本当に極僅かでも放置しておきたくないもので。
ですので、土・日とひたすら木綿の布でひたすら拭き込んでいましたら、徐々にですが剥げて来ました。
鐔の事を考えれば薬品などは使わず、ひたすら拭きこんだ方がよさそうですね。
有難うございました。

[3355] 佐野美術館

投稿者：菊久 投稿日：2004/11/15(Mon) 14:58

昨日の日曜日に、『大名家の宝刀展』を見てきました。

３日ほど前、刀士郎さんと電話している中で「佐野美の大名家の宝刀展を見に行きたいですね。」なんて話から、日曜日に私の所属する支部が渡邊館長のギャラリートークと鑑賞会を企画しているから、もし都合が付くならご一緒にどうですかとお誘いを受け、当日は朝５時に出発。
掛川で刀士郎さんと合流し、東名・沼津から美術館へ向かう車中で刀士郎が「鬼丸さんとこは佐野美の近くなんですよ」なんて・・・。
それなら、連絡して一緒になんて思ったのですが、電話番号が分からない。
花散里さんなら、ひょっとしたら知っているかもわからないと云うことで、花散里さんに電話して鬼丸さんの携帯番号へ信号を送るのですが、繋がらない。
急なことだから、しょうがないよね。なんて言いながら館内に入ると、向こうに見覚えのある後ろ姿。
そう。
鬼丸さんと笹丸さんがすでに刀剣鑑賞中！
【偶然】と【二週間ぶり】の再会にビックリした次第です。
勿論、鬼丸さん・笹丸さんも一緒に鑑賞会に参加。午後より、刀剣鑑賞と一本入札鑑定刀の計 10 口を鑑賞し、午後４時過ぎにまたの再会を楽しみにしながら別れました。

しかし、帰ってから思うに。
このサイトが無かったら、佐野美で鬼丸さん・笹丸さんに会ったとしてもお互い知らない存在であったはずです。勿論、刀士郎さんともこうしてお誘いを受け、一緒に鑑賞していなかったでしょうね。
ホントに存在の大きいサイトだと思います。

追伸
倭士さんにもお誘いを受けていたのですが、なにせ「大刀剣市」の二日後でしたから、家を出にくくって・・・^^;。
倭士さん、ゴメンネ。懲りずにまた誘って下さい。

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館

投稿者：刀士郎 投稿日：2004/11/15(Mon) 17:13

大刀剣市に続き、おかげで楽しい一日を過ごすことができました。

実は、今回の佐野美は私の支部ではなく、名古屋刀剣会、会主様よりのお誘いでした。以前にも数度ご一緒させていただいたので今回もと思っておりましたが
、大刀剣市、久能山東照宮と毎週続いておりましたので迷っておりました。
がしかし、菊さんとの電話で決心！菊さんをダシに奥さんを説得！！

行って良かった!
鬼丸、笹丸さんにおあいできるとは。
大刀剣市のときは「じゃ、また来年」なんていって別れたのにネ。
菊さんのお話のとうり､花散里さんから携帯をお聞きして通じなかったときはダメかと思いました。
まさかその携帯を佐野美　駐車場の車内において「宝刀展」会場におわすとは！
しかも急な誘いにもかかわらず、鑑定　鑑賞会への参加を快諾。
楽しい鑑定会となりました。
菊さんのお話のように仲間をふやして下さるこちらの存在は大きく感謝してます。

鑑定　鑑賞会の詳細については鬼丸さん、宜しくお願いします。

それにしても今週末は東京の刀屋さんの展示会。
月末は佐野美の刀剣講座と続きます。
そろそろヤマノカミがいかるかも・・・。

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館

投稿者：菊久 投稿日：2004/11/15(Mon) 18:02

後で読み返し気付いたのですが、私の親記事書き込みの頭から 5・6 行目に、刀士郎さんを呼び捨てになっております。
打ち込みに失敗したもので、本意ではありません。
大変申し訳なく、ここに深くお詫び申し上げます。
本当にすみませんでした。
以後、気をつけて投稿致します。

菊久　m(_ _)m

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/11/15(Mon) 19:31

朝一番で佐野美の正面入り口にてパチンコ屋の開店を待つお客さんと同様に
今か、今かと待つこと１０分少々、会館と同時にすばやく２階展示場に駆け込む
ギャラリースコープを使用して名刀の数々を鑑賞している最中に背後から聞き覚
えのある声で「解説いたしましょうか？」ふりむけば、なんとそこには刀士郎
さんと菊久さんじゃあ、あーりませんか。
ほんの２週間前に「来年またね。」と言いつつ再会を約束したのに「あれ？」
とりあえず、ビックリシャックリでその後、午後別棟にて鑑賞・鑑定会への
参加を刀士郎さんからお誘いを受け、２つ返事で「宜しくおねがいします。」
ってな訳で昼食を取りながら刀剣談義に花を咲かせ、いざ観賞・鑑定会へ
以下、鑑定刀５振り・鑑賞刀５振りを紹介させていただきます。
鑑定刀
１号刀「来国次」在銘の太刀　摺上げながらも茎尻に「三字銘」が残る。
２号刀「包平」言わずと知れた古備前の「包平」備前三平の一人
３号刀「長船長義」「兼光」への入札が多かったとの渡辺館長の講評
４号刀「三善長道」コテツに似た作風であった。某家伝来品なり。
５号刀「延寿国資」大振りの短刀で一見大和物に紛れる地鉄柾が目立った。
鑑賞刀
６号刀「二字国俊」貼銘ながら輪反りつき優雅な刀姿「重美」なり。
７号刀「雲生」徳川将軍家伝来「重美」なり。
８号刀「長船兼光」名物「大兼光」手持ちが重たく、さすが（重要文化財）
９号刀「親次」鮮明な映り立ち、備前・備中・備後でも造ると言われる、名工
10 号刀「親国貞」西南戦争で活躍、伊藤内閣で農商務相になった「谷干城」の
　　愛刀（重美）なり。
以上簡単で御座いますが今回の鑑賞・鑑定会の出品目録です。

菊久さんと刀士郎さんが仰るとおり、このサイトの存在意義は大変貴重だと
思います。このサイトを通じて知り合えなかったら今回の佐野美できっと
「変な夫婦」に「変なおじさん」とお互いヒソヒソと思ったかもしれません。
「一期一会」という四文字熟語がありますが、あえて私流に「一期多会」と
言う言葉がこのサイトに似合ってるかと思います。

最後に、菊久さん遠路はるばるご苦労さまでした。またお会いできることを
心待ちにしてます。
刀士郎さん、鑑賞・鑑定会のお誘い有難うございました。また、昼食・・・
ご馳走さまでした。・・・・・

そして電脳倶楽部の管理人一同様これからも宜しく御願いします。

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館

投稿者：花散里 投稿日：2004/11/15(Mon) 22:39

楽しい集まりであったようで、何よりです(^^)
最初に私の携帯に菊久さんから電話があった時には、気づくのが遅れてしまい留守電になっていました。
「何事か？」と思って菊久さんに電話すると、何と電話に出たのは刀士郎さん(^^ゞ
「あ！また、二人で楽しもうとしているな・・・」と思ったのも束の間、お二人からの問い合わせ内容は鬼丸さんの電話番号でした。
「あ！また、三人で楽しもうとしているな・・・」と思ったら、笹丸さんもご一緒でしたか(^^)
電脳倶楽部も最近は、関西・中部の活動が活発ですね。
関東甲信越も、負けていられませんぞ～(^_^;)

この電脳倶楽部が有意義な出会いの場となるなら、真改さんを始め管理人冥利に尽きると言うもの。
これからも、楽しく参りましょう m(__)m

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館

投稿者：波平 投稿日：2004/11/15(Mon) 23:29

＞皆々様
なんという偶然かと感心して拝見しておりましたが・・・偶然というよりも必然的な出会いのような(^^;)
二週間前の楽しい一時を思い出しました。いいなぁ私も車が点検中でなければ・・・・。ところで今日「○○○の屋」さんに伺って思いもかけぬものを拝見していたら刀士郎さんの鍔のことがふっと話題に出てきました。あれ印象的だったみたいですよ。私もこちらから世界が広がりました。今週の末にはひょっとしたら懐かしい顔(たった二週間余前ですが・・・)に某所でお会いできるかもしれませんね！

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館②

投稿者：倭　士 投稿日：2004/11/15(Mon) 23:30

みなさんこんにちは・・。
お三人様・なかなかイイ鑑賞会であったようですね～！

大兼光・二字銘國俊など前回私が訪問した時には 拝見出来なかった
名刀も御座いますな～！！

写真などありましたらまたＵＰして下さいね。

ところで・・ 鑑定成績はどない どしたか？？
天・地・人 どなたか、獲得されましたか？？

＞ 菊さん
今月末か来月初旬にでも今年の刀納めしょうと刀友たちと検討中ですので・・。
　ご参加ヨロシクね！！
新年会は２月初旬ごろでどないですか～！（来年の事言うと鬼に笑われるかな！？）

では、また・・。

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/11/16(Tue) 01:20

何か…羨ましいことになっていますね…(;^_^A
縁とは不思議なものです。
「縁」は円であり園でも宴でもありますね。

僕は日・月曜と上京。２０日２１日と展示会を開く銀座の刀屋さんに寄って来ました。
当初展示会にも行く予定だったんですが…どうも行けそうにありません。
仕事の進み具合が少し…気になってまして…(;^_^A
そんなわけで一足先に刀屋さんに寄って何口か拝見してきました。
展示会を控えてかなり皆さんお忙しいようでしたよ。
波平さん、そんなわけで…多分僕は行けないかと…。
改めてメールのお返事をしますので～。

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/11/16(Tue) 06:25

皆さん。刀の秋を楽しんでますね！
何事も、行動力ですね。
私も、昨日は、地元の刀屋さんに行ってきました。郷土刀も二振り拝見しました。
初めて見る銘でしたが、確かに調べてみると、あるんですねぇ。知らない郷土刀。
値段がとても高く、錆身状態だったので、ちょっと勇気がありませんでした。

その刀屋さんで見ていると、気配がするので横を見たら、近所の愛好家先生ではありませんか。
やはり、皆さんと同じく、刀好きはその土地土地で、引き寄せられるように会うようになっているんでしょうか。(^○^)。

今週末の銀座の展示即売会のレポートが楽しみです。よろしくお願い致します。

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館

投稿者：隠居 投稿日：2004/11/16(Tue) 09:07

佐野美術館での刀剣鑑定会、刀を学ぶ環境としてはまさに当代随一、刀良し講師良し場所よし、これで目が上がらねば不思議です。
古名刀が天下の名物づくしであることは当然として、新刀初期のいわゆる親物も最高作揃いですから勉強になると思います。、
しかも顔見知りが何人もおれば一派をなしますね。まことに結構なこととお慶びします。

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/11/16(Tue) 15:34

刀剣美術を見ていたら…あれ？
菊久さん、写真…写ってますよね？

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館

投稿者：刀士郎 投稿日：2004/11/16(Tue) 17:29

菊さん、鬼丸さん、笹丸さん
改めてお疲れさま

花散里さん
何かといつもいつもお世話になります。

波平さん
週末、銀座でお会いできるといいですね。

倭士さん
一応、私が人位に入り（かなり甘くみていただいて）
関市刀剣史考「金筋と稲妻」篠田幸次著を賞品にいただきました。

こてつさん
そのうちバッタリお会いできるかも・・。

真改さん
ひょっとして落札の鐘が鳴るかも・・？

ご隠居さん
当代随一の環境でもなかなか目が上がらないのが残念です。
何とか落第しないよう頑張りますので、今後ともよろしくご指南下さい。

皆様
土曜日、見かけたら声を掛けてください。ヨロシク！

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館

投稿者：隠居 投稿日：2004/11/17(Wed) 08:53

刀士郎さん、三位入賞とは〝立派です。この出題、一見やさしそうでどうしてどうして簡単ではありませんよ。
難物は５号の延寿で、また４号刀の長道も関西人では一寸思いつきにくい刀工です。それに包平も備前に入れながら時代がとれないとヨクヨクで札を無駄にします。
これで人位なら決して「トーシロー」などではありません。電脳チームからの入賞おめでとうございました。

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館

投稿者：菊久 投稿日：2004/11/17(Wed) 08:56

＞こてつ。さん
確かに写ってますネ(^_^;)
でも、ちょっと小さく写っているのではっきりとはわかりませんが、他にも何処かで会ったような雰囲気のお人が・・・。

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館

投稿者：四誌 投稿日：2004/11/17(Wed) 15:39

またまた、、良いですなー。。

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/11/17(Wed) 21:06

＞菊久さん　お気づきになりましたか。

[3355 へのレス]Re: 佐野美術館

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/11/17(Wed) 21:27

おーっ！
一番奥の人ではないでしょうか！！

[3369] 流采予正重

投稿者：Richard Turner 投稿日：2004/11/17(Wed) 09:17<HOME>

Hello, I hpe this can be understood. I have a wakizashi by Ryûsaishi Masashige [流采予正重] and I thought I would share the nakago [茎] with you. It is going to Japan to be repaired polished next year.

[3369 へのレス]Re: 流采予正重

投稿者：野崎 投稿日：2004/11/20(Sat) 19:31

流采子正重、投稿画像掲示板にご返事を書いておきました。

[3369 へのレス]Re: 流采予正重

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/11/22(Mon) 22:26

野崎先生。
ありがとうございました。

Richard Turner さん。
惚れているなら、研磨しましょう！！（*^_^*)。

[3369 へのレス]Re: Transl to English

投稿者：Nozaki 投稿日：2004/11/28(Sun) 05:07

Comment from "Shinkai 2004"
Dear Richard:
If you really love this sword, let's polish!

[3374] 教えてください。

投稿者：正廣 投稿日：2004/11/22(Mon) 19:49

数年前に何度か、お邪魔させていただいた者です。

刀剣に目覚め、このサイトを見つけてから、何度かお世話になりました。
数口所蔵しておりました刀剣も、思うところあって手放してしまいましたが、最近になって妙な縁に引かれ、我子となった「御刀」について、教えていただきたく、参加させていただきました。
最近、我子となった「御刀」は、茎に正廣と二字銘で刻んであります。
ただ、それ以下が磨り上げられた脇差なのです。
銘の後に「作」があるのか？どうなのか？明治時代らしい折り紙（本阿弥）には、相州正廣　時代は永正とあります。
この刀匠について、お教え願えませんでしょうか？宜しくお願い致します！

[3374 へのレス]Re: 教えてください。

投稿者：正廣 投稿日：2004/11/22(Mon) 20:00

画像掲示板に茎に画像を、送ってみました。管理人様の許可があれば、刀身の画像も送ってみたいと思います。

[3374 へのレス]Re: 教えてください。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/11/22(Mon) 22:24

まずは、画像の件ですが、管理人の判断で了解した内容であれば、どのようなものでも大丈夫です。
私なんか、いつも刀剣とは関係のない、私生活の画像を送ったりしておりますし・・・。(~o~)。

さて、お尋ねの正廣銘の刀についてですが、どうなんでしょう。
結局はこちらでお尋ねになっても、あくまで想像の範疇をでませんし、即、回答が欲しい時などは、刀剣柴田さんなどに送ってみると、口頭鑑定もしていただけますよ。
私も、その昔々、村正偽名を鑑定していただきました。(T_T)。

今ひとつ、それとは別に『相州正廣　時代は永正』とするならばの情報としては、多くの皆さんから情報を得ることが可能でしょうから、こちらに関しては、私からも、広く情報をお願いします。
m(__)m。

[3374 へのレス]Re: 教えてください。

投稿者：正廣 投稿日：2004/11/22(Mon) 23:30

真改様！ご無沙汰しております。真改様と同じ四国は愛媛県松山住の○○です。ここでお世話になっていた頃は、ず～っと前の事ですので、お忘れになっているでしょう？この数年間は、刀剣から遠ざかっておりましたが、縁あってまたまた夢と浪漫を求める世界に戻ってきました。とは言え青二才の駆け出し初心者ですので、今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。早々のご返事に感謝いたします！

[3374 へのレス]Re: 教えてください。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/11/22(Mon) 23:59

様は、やめましょうよ。(^_^;)。
皆、『さん』でよろしいではありませんか。(^.^)。

そうですか、四国松山ですか。
私も温泉郡や西条市に在住していたことがありますよ。
非常に、懐かしい所です。

隣県にも千手院さんや、いつも親しくして頂いている、某氏がいらっいますし、よろしくお願いします。
２８日には千手院さんとご一緒して、林原美術館等を見学予定なんですよ！
機会があれば、またご一緒しましょう！

[3374 へのレス]Re: 教えてください。

投稿者：内記 投稿日：2004/11/23(Tue) 00:30

＞正廣さん　はじめまして。
内記と申します。宜しくお願い致します。

＞『相州正廣　時代は永正』とするならばの情報
にもなりませんが、
一般には“四代正廣”が永正の正廣になるのでしょうか。
五代正廣は有名な【初代　綱廣】同人ですね。
北条早雲の嫡男　“氏綱”より綱を賜り“正廣”改め【綱廣】ですね。

ここからは想像ですが・・・
明治時代の折り紙は時代上がりが間々あるとか・・・
空想を膨らますと“永正”から一時代下がり“天文”とすれば【綱廣】の可能性も・・・　"^_^"

さて本題。
綱廣は駿州島田鍛治で、相模鍛治広次の養子となり、相州正宗の系統を再興したと伝えられる。姓は山村、小田原北条氏抱え鍛治。

とくれば・・・。
このあとはやっぱり“鬼丸さん”にお願いするしかありませんね。　(^_-)-☆

[3374 へのレス]Re: 教えてください。

投稿者：正廣 投稿日：2004/11/23(Tue) 00:45

内記さま！はじめましてっ！早々の御返事有難うございます！
色々と勉強になります。今後ともご指導のほど、宜しくお願い致します。

[3374 へのレス]Re: 教えてください。

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/11/23(Tue) 18:15

正廣さん　はじめまして鬼丸と申します。

内記さんからのご指名で「正廣」と「島田鍛冶」について少し
ばかり、手元の資料により書き綴ってみたいと思います。
兎角、刀剣関係の書籍について所載の各刀工の代別などはまちまちで
どれが正しいとういうのは、今の私には少し難しいのですが、「正廣」
から「綱広」と改めたのは私の資料によれば「六代正廣」で天文頃と
されています。「初代正廣」は広光の門弟にて「九郎二郎」と称して、
時代は貞治頃、以下２代が明徳・三代が応永・四代が文安・五代が永正
となっています。画像からの印象では先反りがあり、鎬造りの脇差姿から
時代は、永正の少し前から天文頃を下って、永禄頃にも見られる姿ですね。
これを「初代綱広」と仮定してお話を進めます。この人は「相州」の「綱家」
「康国」の弟され、内記さんの記述どおり北条氏綱に召し出され「綱」の一字
を賜り「綱広」と改めました。姓は「山村」「対馬守」というが不詳です。
法名を「連向」と号したとあります。
この「綱家」は島田の「義助」門とされ、「平三郎」と称し「北条氏綱」の
命により、「里見追討大願成就」の太刀を「綱広」と「康国」との合作を作刀し
鶴岡八幡宮の奉納した太刀は有名です。
また、「義助　相州住綱家作」と銘する刀も幾振りが現存しており、末相州と
駿州島田鍛冶の関連はとても深いものであったことは明白です。
「広次」ですが、名鑑によれば建武・応安頃には「九郎三郎」といい、正広・
広正の次くらいに位置していたものと思われますが、現存する作品は文明頃
からだそうです。代々名跡を継いだもとと思われす。
最後に「島田義助」といえば「天下の三名槍」の一つ「お手杵」の作者で
あまりにも有名ですね。そう言えば先週、菊久さんと刀士郎さんとで「とんぼ
切り」を見たばかりだった。また、「おそらく」という短刀は「島田の助宗」の
作で「武田信玄」の腰刀として有名ですね。
余談はさておき、末相州と島田鍛冶は密接な関係で結ばれ、駿河の今川・甲斐の
武田・相模の北条と戦国時代のこの地方の刀剣需要を一手に引き受けた刀工群で

「脇物」と呼ばれるのは少し言いすぎではと内心思っています。
こんなところで、今日は失礼させていただきます。

[3374 へのレス]Re: 教えてください。

投稿者：隠居 投稿日：2004/11/24(Wed) 10:14

正廣さん、こんにちは。現役ではないので隠居としています。刀への興味や関心を再び持たれたそうで何よりです。
さて画像を拝見しました。刃文の感じといい茎の状態といい偽物臭は感じませんね。茎尻がつまんであるところから少し区送りされていろものと思われます。
明治ごろの本阿弥の鑑定がついているそうですが、無銘の太刀ならばともかく、この程度の区送りされた小脇差ではたいへん珍しく、この点、裕福な商家に伝来されたものではあるまいか等と想像されます。
と云いますのも帯刀禁止令が出てからの明治は刀の受難期で、二束三文の代物となり、ひどい例は人力車のバネにされたという位ですから、今日の感覚とは大分違います。当時の拵がついていると更にそのあたりの由来が分かりそうですね。

[3374 へのレス]Re: 教えてください。

投稿者：正廣 投稿日：2004/11/24(Wed) 20:05

はじめましてっ！鬼丸様！
返事が遅れて申し訳ありませんでした。軽い気持ちで参加させていただいたのに、皆様に勉強させていただき、本当に嬉しいです！
有難うございました。今後とも宜しくお願い致します！

[3374 へのレス]Re: 教えてください。

投稿者：正廣 投稿日：2004/11/24(Wed) 20:18

ご隠居 様！はじめましてっ！まさか・・・ご隠居にまで意見をいただけるとは思ってもおりませんでした。有難うございます！勝手に投稿しておいて、ＢＢＳの確認をしておらず、不義理いたしました。真改代表をはじめここに集われる多くの方々のご意見を頂戴し、益々この世界に足を踏み入れ（出戻りですが・・・）良かったと思っております。
ご隠居様の仰る「拵」ですが、私見では合わせ物ではないか？と思っております。かなりガタツキがあります。本阿弥の折り紙と併せ、今度画像掲示板の方へ投稿しますので、宜しくお願い致します。
以前と変わらず、ここに集われる皆さんのお人柄を感じ、今日はこの気持ちを酒の肴に失礼いたします。
本当に有難うございますっ！！

[3374 へのレス]Re: 教えてください。

投稿者：正廣 投稿日：2004/11/24(Wed) 21:09

度々申し訳ありません。どうも、ご隠居の仰る区送りと私が不思議に思っていた錆色の違いが気になって、よく観察してみましたところ、確かに一寸程区送りされているようです。実は、画像掲示板の茎の写真は、その辺の錆色の違いが判らぬところから、撮っているもので、ちょうどあの画像の上から、明らかに錆色の違いが見て取れるのです。それに、目釘穴も２個あり、ハバキを一寸程下げ、柄に納めて、目釘穴の位置を確認すれば、下部の目釘穴が綺麗に顔を出します。恐れ入りましたっ！ということは、この拵も合わせ物ではなく、純正？の物かもしれません。益々・・・楽しくなってきました。いやぁ～驚きました。

[3374 へのレス]Re: 教えてください。

投稿者：隠居 投稿日：2004/11/25(Thu) 09:07

正廣さん、
今回のように画像で意見を求められる場合は、茎の画像ははばきを取り除いて写してください。これは展示する場合も同様で、刀屋さんがもしはばきを着けたまま展示しておれば「瑕かくし」と思って間違いありません。
区送りは欠点であり、とくに小脇差の場合「格安」になる条件ではあります。ですが今すこし観点を変えますと「区送りしてまで大切に使用し来たった由来」が浮かび上がります。われわれ趣味者は、刀のこういう奥深い由来をも含めて味わいたいと思います。
「がたつきのある拵」、大いに結構です。それでこそ「本物」ではありませんか。また「合わせもの」と仰いますが、一作ものの金物こそ大名家か上級武士の伝来でなければとうてい無理な話、「あり得る形」という分別のある目でみてやってください。

[3374 へのレス]Re: 教えてください。

投稿者：正廣 投稿日：2004/11/25(Thu) 16:46

ご隠居 様
素人とは言え、数々の無礼お許しください。
一から勉強し出直します。
色々と思いを馳せ、見つめていると、何となく断片的に浮かんでくるものがあります。自分なりに抱いていた疑問も、ほんの少しではありますが、ここに来て色々感ずるものがありました。
昨日、２０歳の誕生日を迎えた娘の長男（６ヶ月になる孫）に受け継がせたいと考えております。
本当に数々の無礼をお許しください。
新参者の戯言と一笑に伏してお忘れください。ご指導有難うございました。

[3390] 刀剣の美と心

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/11/29(Mon) 08:33

昨日、隣県の千手院さんとご一緒して、岡山県の林原美術館・倉敷刀剣美術館と香川県丸亀市の丸亀市立資料館に行って参りました。

朝、７時半から高速を飛ばし、少々道に迷いながら１０時ごろには林原美術館に到着しました。
ほぼ１０年ぶりに訪れる同館でしたが、落ち着きのある雰囲気は私達を快く迎えてくれたのでした。

早々に入場しますと、やはり、愛好家が何人も来ていますし、岡山を旅で訪れた際に寄ったと見受けられるご婦人方も何組かいらっしゃいました。
このために購入した単眼鏡を取り出すと、千手院さんもご持参とのこと。
はたまた、２０代くらいの若者と思われる人も持参して鑑賞されているのを見ました。
流行ってますね。

今回の展示は、備前刀が２３口展示されておりました。
なぜか、南北朝期の刀剣はなく、鎌倉期の太刀の次は室町期の刀になり、ちょっと違和感がありました。
しかし、国宝の一文字良房、同じく国宝の備前国長住左近将監長光造の二口の太刀がこれを十分に補ってあまりあるものでした。
特に良房の出来は言うに及ばず、その健全さに驚きました。これは、伊予西条松平家伝来とのことですが、同家の伝来品としては他に特重の粟田口吉光の短刀を見たことがありますが、さすが紀州徳川家の分家らしく、禄高は確か３万石くらいだったと思いますが、禄高と比較しても、とてもすばらしい刀剣を蔵していたのですね。
あと､丸亀市立資料館で伺ったことですが､粟田口では生茎在銘太刀として唯一の国宝　粟田口久国もまた、伊予西条松平家伝来品とのことでした。

また、真長の太刀が二口ありましたが、もし、これを並べて当ててみよと言われたら、それが同じ刀工であるとは、思いも寄らないだろうと思いました。この点は、実際に見てみないとわかりませんし、わかるように解説できる力もまったくないので、ぜひ、林原美術館を訪れて実見して下さい。
もっとも、地鉄などは、手に持って見ないとガラス越しではほんと、よくわかりませんね。単眼鏡でみると部分的ですが、ガラス越しに見る地鉄の感じとはまったく違って見えて、やはり、全国大会のように、すばらしい刀を手にとって見る機会があるなら、何をおいても参加すべきだと、つくづく感じました。といっても、一度も参加したことがないので・・・。
二年に一回あるんですよね？
たしか。
ということは、来年は何とか参加したいものです。

２３口の太刀・刀、どれも見入ってしまうものばかりでしたが、中には菊御作の太刀もあり、刀剣書籍でし

か知らないものでもあり、なんとも言えない感動がありました。
林原美術館には刀剣関係だけでも膨大なコレクションがあると聞いております。これらが一堂に見ることが出来るような、そう、かつて東京国立博物館で開催されたような『日本のかたな展』のようなものがあればいいのになぁと、思ったのでした。

次に訪れたのが、倉敷刀剣美術館。
開館二周年記念で『日本刀・神聖なる世界』展を開催中でした。
気軽に訪れることが出来る美術館兼刀剣店ということで、地域の小学生の勉学の場としても提供されているとのことで、その際の感謝の気持ちを伝える手紙が壁にはってあり、子供たちの同館に対する感謝と刀に対する気持ちが正直に書かれてあり、微笑ましい感動を与えてくれました。

新しい建物は、気持ちがよく、初めて訪れる私たちにもお茶を出してくださるなど、気さくな印象で、とても感じが良かったです。
刀も三条の近村上（ちかむらたてまつる）の珍しい太刀や古備前から始まり、現代刀まで約４０口の刀剣が展示されており、目の保養に十分な効果を頂戴することが出来ました。

同館は、勉強会にも力を入れており、初心者から上級者まで参加できるようになっているようです。詳細は倉敷刀剣美術館で検索してみると、ホームページがあります。
このホームページも良く出来ていますよ！

小耳に挟んだついでに、お伺いしたのですが、現代刀匠の『大野義光刀匠』とも親しいそうで、早ければ来年の秋には、同館で大野刀匠を招いての個展を開催する予定だそうです。
これは、行かねばなりませんね！！

また、ここでは、同館のホームページにもあります、大野義光刀匠の青江写しの脇差を拝見することができました。
これも、機会があれば見てほしいですね。

最後に訪れたのが、香川県丸亀市立資料館です。
丸亀市は京極家の城下町、日本一高い石垣を持つ城として有名で、刀剣好きには『ニッカリ青江』と申せばわかるでしょうが、それを所蔵していた大名の町です。
いまでは、ニッカリ青江もこの故郷に返ったようですし、名実ともに故郷を代表するお宝ということですね！

さて、資料館では『修復からのメッセージ展』というのを開催中でした。
私達は、中でも赤羽刀を展示してあるコーナーでひと時を過ごしたのですが、中青江の太刀と思われる刀が特に目を惹きました。地鉄美しく、雲のイワタと表現される刃文もくっきりと現れており、存在感のある品格に満ちた刀でした。
私の隣町の資料館にも赤羽刀が展示されておりますが、これほどの刀は見当たらなかったように思います。
千手院さんと共に、絶賛でした！！

このように駆け足で昨日は刀剣三昧をさせてもらったわけですが、千手院さんには本当にお世話になりました。
また近いうちにお会いできることを楽しみにしております。

ところで、皆さん。
昨週にあった銀座長州屋さんの展示会はどうでしたか？
レポートが見えないので、寂しいです。
ぜひ、お願いします。m(__)m。

[3390 へのレス]Re: 刀剣の美と心

投稿者：籠釣瓶 投稿日：2004/11/29(Mon) 12:35

真改さん、皆さん、ご無沙汰しております。
先月の東京の刀剣市は金曜日にしか行く事が出来ず、皆さんともお目にかかりたいと思っておりましたが残念でした。
毎年この刀剣市では大野刀匠にお目にかかって、親しく歓談できるのを楽しみにしておりました。
昨年の暮れに、自作の山鳥毛写しの太刀に上杉家伝来の合口拵えを新作したので御覧になりますか、との連絡をいただいて大野刀匠の鍛刀場に伺った時以来でしたので、お会いできるのを楽しみにしておりましたが、今回はお会いできずこの事も又残念でした。
真改さんは刀剣市で大野刀匠に銘切りをしていただいたそうですね。
荒試しの話などお聞きになりませんでしたか？

私は現代刀が好きで、大のファンでもあります。刃紋を焼く技術では、すでに新刀　新々刀をはるかに超えているのではないかとも思っております。
先月長船博物館に行く機会があって、若手の刀匠と話したのですが、長船博物館がリニューアルしてから新作刀の注文は未だゼロだそうです。一部の人気刀匠を除いては刀で生活していくのはなかなか難しいようでした。
鉄の美術工芸品としては世界に冠たる日本刀の伝統技術が後の世に継承されていくのか、危惧を抱かずにはいられませんでした。
出来得れば地元の刀剣愛好家の方々が一振りずつでも、刀工を育てるという意味でも注文していただければと願わずにはいられません。

[3390 へのレス]Re: 刀剣の美と心

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/11/29(Mon) 13:20

こちらこそ、お会いできず、残念でした。
大野刀匠はお見かけしましたが、お話する機会はなく、銘切りしていただいたのも去年のことで、荒試しのことに触れる機会もございませんでした。

さて、長船博物館では新作刀の受注もしているんですか？
知りませんでした。
昨日行った『倉敷刀剣美術館』では、岡山の刀匠で『備中国住義久作平成十一年二月日』の作品があり、この方は、吉原義人刀匠の弟子で、そういう意味からも大野刀匠とは兄弟弟子といことでした。
一文字良房を目標にしていると書籍でみたことがありますが､展示していた太刀も､入選作らしく、とても地鉄・刃文とも美しいものでした。
お値段をここで書くことはちょっと気がひけますので控えますが、サラリーマンでも手に入れることが出来そうな価格帯でしたよ。

いい太刀でした！！

[3393] 阿波刀

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/11/30(Tue) 20:49

今日は、先取りで今度の土曜日の代休だったので、近くの愛好家のご自宅におじゃましました。
大した刀は無いが阿波の刀が何振りかあるのでどうぞ、ということだったので、大刀剣市では郷土刀にはお目にかかることができなかった分、ワクワクしながら参りました。

刀袋に入った刀を前にして、『自由に見て下さい。』ということだったので、順次、拝見して参りました。

片切り刃造り無銘脇差の海部刀､片切り刃造り脇差で刀身銘　阿州海部住氏次､陸奥守歳長脇差､(吉川六郎)源祐芳　鎧通し短刀（縁頭に卍紋入り)、安芸佐重の『佐重』二字銘の二尺五寸ほどはあろうかという、細身で重ねの厚い太刀姿の刀、以上を拝見しました。
中でも歳長と佐重は大小をなし、古い時代の同じ外装で整えられたもので、上級の阿波の武士が用いたものであろうかと、想像しました。

特に、佐重の刀は、時代も新新刀ですので若いものですが、まったく研ぎ減りがなく、茎の色も状態も良く健全そのもので、外装や太刀姿・二字銘にしているところから､『左行秀の二字銘は献上銘である』ということを思い出すような素晴らしいものでした。
作風としては、やや匂い口の締まった互の目乱れという風なものでした。
常に見る阿波の新新刀の反り浅く身幅広い豪壮な出来ではない、優美な姿に見とれました。

そして、一通り拝見しますと、『軍刀などは見ますか。』と問われたので、大好きですと申しますと、外装だけではありましたが、サーベル拵えの軍刀・海軍太刀拵えの軍刀・陸軍軍刀・海軍短剣外装などを拝見しました。
すべて模造刀が入っており、刀身が無かったのが残念でしたが、なにか次のものを購入する予定と見えて、近いうちにまた呼んでいただけそうな予感がしました。(#^.^#)。

また、陸軍軍刀には佐官の刀緒が付いており、貴重ですねと話していますと、尉官の刀緒をお土産にいただきました。なんともありがたいお話で、こんなにたくさんの阿波刀を一堂に見せていただいた上に、今では貴重な刀緒まで頂き、大変うれしい一日となりました。

まだまだ、近くにも私が存じ上げなかった昔からの愛好家が沢山いらっしゃるようで、こうした発見にも似た感動を味わうことができましたことをレポート致しました。(^^♪。

[3393 へのレス]Re: 阿波刀

投稿者：隠居 投稿日：2004/12/01(Wed) 14:36

片切り刃の海部もの脇差、銘に阿州海部住氏次とあるのがいいですね。徳島県人ならずともまさに垂涎の品。
のちに会津へ移住した伊予の長国にも片切り刃造りの名脇差があり、四国刀工の十八番はどうも片切り刃のようです。
真改さん、本格的郷土刀ファンになりかかりましたか？、

[3393 へのレス]Re: 阿波刀

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/01(Wed) 21:47

どうも。御隠居さん。(^^ゞ。

郷土刀というのは、意外なところに大切に保存されているのだと思いました。
こんな近くに阿波刀が何振りもあるなんて、驚きでした。

[3393 へのレス]Re: 阿波刀

投稿者：守重 投稿日：2004/12/01(Wed) 22:15

こんばんは。真改さん。私同様郷土の刀に興味があるのですね。阿波刀というと片切り刃を連想してしまいますが、実は一振り私も「阿波刀」なるものを持っています。銘文「阿州海部住藤原氏吉」２尺４寸で柄糸と目抜き無しの陸軍軍刀拵え入りです。新々刀ですが、切先が研ぎ減っていて、丸棟であるのがすごく印象的です。ただ、多分軍刀拵えを製作時に茎を金具で叩かれてしまっていて、傷が残っているのも玉に瑕です。あまり自慢できるものではないのですが、何となく気に入っています。でも２尺４寸入りの軍刀は長いですね。戦場では邪魔になりそうな感じがします。背が高い人が使用したのでしょう。

[3393 へのレス]Re: 阿波刀

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/03(Fri) 08:15

守重さん。海部刀を持っていらっしゃるんですか！

いいな～。
丸棟って、海部刀は結構あるようですね。
しかし、長い刀で丸棟というのも見たことが無く、珍しいんじゃないですか。
茎を叩かれて変形したものは、林原美術館で見た、国宝の長光もやはり叩いていたように思います。
外装に合わせるために、そうしたのでしょうか。

阿波刀をお気に入って頂いて、ありがとうございます。(*^_^*)。

[3394] 無題

投稿者：正廣 投稿日：2004/11/30(Tue) 21:58

先日の無礼はお許しいただきたく、再び舞い戻ってきた者ですが、
どうしても、皆様にお聞きしたいことがあります。
ここの集われる皆様のことですから、今更という感はありますが、
皆様にとっての「御刀」とは何でしょうか？
率直なご意見を、お聞かせ願いたく、再び参加させていただきたいと思います。もし？出戻りの意見に耳を貸していただけるなら幸いです。

[3394 へのレス]Re: 無題

投稿者：菊久 投稿日：2004/12/01(Wed) 08:16

「趣味」
私は、居合い等もやっておりませんし（剣道は 4 年ほどしましたが)、一言で言うならこの言葉しかないでしょうネ。まさか、帯刀して表を歩く時代じゃないし・・・。

趣味とは何でもそうですが、入り込むと奥深いもので、その趣味のない人から見ればなんと云うこともないものなんですけれどネ。
刀に興味のない友人から「ただの鉄の棒に、よくそれだけお金が出せるね」なんてことも言われたこともあります。
でも、その友人はゴルフに凝っていて、クラブに何十万円も出しています。
しかし、「趣味」って高く付く「道楽」ですネ。

[3394 へのレス]Re: 無題

投稿者：正廣 投稿日：2004/12/01(Wed) 20:48

菊久 様
はじめまして。御回答有難うございます！
確かに、その通りだと思います。「ただの鉄の棒」ですよね・・・。
価値観の違いでしょうか？でもその鉄の棒に対しての価値観は、それぞれ違うと思います。無傷無

欠点の「御刀」しか美的感覚を持ち合わせない人。言葉では「歴史を見てきた鉄の棒」だから浪漫を感じる。とか言いながら、美術的要素でしか判断しない人。私が以前、このサイトにお邪魔していた時に、私よりお若い人でしたが、尊敬できるお方がいらっしゃいまして、その方と個人的なmail をやりとりする中で、私の御刀への思いが確立したように感じます。出来る範囲での「道楽」。貧乏サラリーマンには、それが最高の道楽なのかもしれませんね。
これからも、痩せて傷まみれの御刀への「愛情」は持ち続け、大事にしていきたいと考えます。
菊久様、本当にご回答有難うございました。

[3394 へのレス]Re: 無題

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/01(Wed) 21:37

『刀を楽しむ』ということでしょうか。
その手段は人それぞれ違いますね。
楽しみ方は様々。

また、生計の手段である場合もあります。

時が経てば、また感じ方や考え方も変化が生じるでしょう。あるいは不変か。

さて、私の場合はなんでしょうか。
喜怒哀楽がありましたから・・・。
使用という意味では、剣道やったり、模造刀で居合もしたり。

今では、人のつながりをもたらした『ありがたい存在』でもあります。

[3394 へのレス]Re: 無題

投稿者：守重 投稿日：2004/12/01(Wed) 22:32

こんにちは。正廣さん。
簡単そうで難しい質問ですね。私も居合はしませんし、やっぱり「趣味=心の休息の必需品」と言う感じでしょうか、ひとそれぞれ感じ方が違いますよね。あと、私にとっては言い方が悪いですが、「腐れ縁」。幼稚園の頃からライオン丸にはまり、帰宅後は何時も近くの山でちゃんばらしていました。小学生の時に堂々と刀剣の展示即売会に行き、店主につみま出され「餓鬼の来るところじゃない、帰れ」と言われ、なにくそ将来はきつと堂々と刀買うぞと思い込みました。でもいろいろと世間の勉強して成長していくと、やっぱり刀剣の精神的魅力に引かれ、今に至っている状況です。流石に大学生の時は貧乏ながら遊びに夢中で刀剣のことは頭になかったですが。。。
刀剣の趣味は確かに高額な資金が必要ですが、ある意味使ったお金が「生きる」趣味だと思っています。仲間が増えて、楽しめて、精神的にも良い、、、（車などの趣味は 10 年経つと廃棄物ですが、刀剣は将来処分するときにはそれなりに換金できる---環境に優しい---）こんなこと考えているの

は私だけでしょうか？

[3394 へのレス]Re: 無題

投稿者：隠居 投稿日：2004/12/02(Thu) 08:42

正廣さん、中々ふかい意味のあるテーマですね。
菊久さんの仰る「趣味」といえばそれに違いありませんが、刀が家にある意味といいますかその感じ方は色々ありそうです。
私の場合は刀の会に入って何十年間月一度の例会に行き、先輩方や師匠と交流し、全国大会や講習会で宿を共にして夜明かし談義をした積み重ねは、これすべて刀あればこそです。
それに古書、とくに戦前の雑誌や個人作成の鑑定伝書の類を探したり、刀剣趣味の世界は裾野がたいへん広いです。
私のような老人にとって刀は「人生の伴侶」と云えそうです。

[3394 へのレス]Re: 無題

投稿者：こぶ平 投稿日：2004/12/02(Thu) 17:28

はじめまして正廣さん。
１０月より参加させていただいているこぶ平です。
私にとって刀とは「励み」であり、「道具」です。
「励み」とは、会社で嫌な事があっても、家に帰り、愛刀を抜くことによって得られる安息・・・とでも申しましょうか。日々の自分を支えてくれる「支え」とも申せましょう。
「道具」とは、古流兵法を嗜む身としては、刀とは手の延長、つまり「道具」です。ただ一口に「道具」と言っても、ぞんざいに扱ってよい物ではなく、「宝器」「神器」とも置き換えられます。
まさに「武士の魂」です。

[3394 へのレス]Re: 無題

投稿者：正廣 投稿日：2004/12/02(Thu) 20:34

真改代表・御隠居様を始め、ここに集われる皆様のお話をお伺いでき、大変感動しております。有難うございます。
皆様の御刀に対するお気持ちは、このＨＰをのぞく度に感じていたことで「何を今更・・・」と思いながらも、皆様の声を直に聞くことができ、安心いたしました。この暖かい雰囲気を長きに渡り、維持されている真改代表の、人と成りを感じずにはいられません。
また、ここに集われる皆様のお人柄も、このＨＰを築き上げている賜物だと思います。何時までも大切にしたい心の魂を感じさせていただきました。無礼者の初心者に「お声」を掛けて頂き有難うございました。
今後ともご指導のほど、宜しくお願い致します！

[3394 へのレス]Re: 無題

投稿者：法城寺 投稿日：2004/12/02(Thu) 21:27<HOME>

横レスです。

皆様お久しぶりです、正廣さんはじめまして。
私にとっては今や金銭的なものではない「財産」です。
少し話はずれますが、４年前までメールすら打てなかった私が仕事の都合とは言えＰＣをいじり、インターネットに飛び込みました。
そこで、日本刀を好きな方がこんなにも多くまたＨＰも様々あるというこのに気がつきました。いつしかネットに夢中になりそこで多くの愛刀家の方と知り合えました。ネットの力もさることながらやはり根底には「日本刀」の存在ありき、です。
住むところを問わず、全国の愛刀家の方と知り合え親しく付き合える、これが一生の財産と言っては過言では決してないはず。その意味で趣味であり「真の財産」なのです、私にとっては。

＞真改代表様
自分もＨＰを立ち上げることが出来るようになりました。
まだまだ内容に自分でも納得いかぬところもありまして苦労しています。
せめて訪問数「１００００」を超えるくらいになったら、それでも恐れ多いですがリンク貼らせてくださいませんか。まだ先のことになると思いますが（笑）。

[3394 へのレス]Re: 無題

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/03(Fri) 07:56

正廣さん。
私はただの立ち上げのきっかけを作ったに過ぎない素人です。
空爺さん、花散里さんには、いつもおんぶに抱っこなのです。
良い空気、熱い空気を感じずにはいられません。(^.^)。
ぜひ、常連として、お越し下さいませ。

法城寺さん。
ホームページ開設おめでとうございます。
これからも、よろしくお願い致します。
リンクはご自由にお貼り下さい。
表紙のリンク&バナーから入って頂きますと、下記のような表示が一番下にあります。
よろしくお願い致します。

--日本(美術・武士道)刀剣電脳倶楽部--このサイトです。LINK に際してはご連絡無用です。●

Bunner は、ご自由にお使いくださいませ。ただし、相互 LINK 等の条件付きご要請は平にご容赦ください。特定業者様、団体様の営利用ＣＭ要請もご容赦を。いつも「嬉しく」「楽しく」「気持ちよく」！URL=http://WWW.NIHONTO-CLUB.NET

[3394 へのレス]Re: 無題

投稿者：邦太郎 投稿日：2004/12/03(Fri) 09:40

皆様、ご無沙汰しています。
正広様、はじめまして、
海外に在住している自分にとって日本刀は、まさに「心のよりどころ」です。
日本の刀剣は「武士の魂」と称され、侍階級のものでありましたが、その「武士道」の高い理想は、やがて日本国民全ての生活や思想に浸透し「日本人全体の道徳」になりました。
「刀匠が注文主の為に命を懸けて作刀する」＝「一所懸命」
そして、その技術や芸術性の高さは日本の刀剣、刀装具類等を研究する事によって簡単に証明できます。
種子島に伝わった鉄砲を数年で完成（コピー）させ、数十年後には世界最大の鉄砲保有国になったのも当時すでに５００年以上に渡る伝統的な作刀（鋼鉄加工）技術があったからです。１７世紀、平戸商館を開いたオランダの奴隷売買計画からから日本人を守ったのは徳川幕府、武士道のお陰です。
ちょんまげ姿で蒸気機関も見た事のなかった時代から維新後、数十年で西洋を脅かす軍事大国になったのも、江戸時代２５０年の泰平の蓄積があったからこそですし、敗戦後、数十年で経済大国になったのも、その職人達の誇り高い技術と滅私奉公（武士道型）を実践したモーレツサラリーマンの「一所懸命」の精神と「西洋には負けない」と言う勝気な性分の賜物であります。
それらの要素が全て詰まった日本の刀剣類を所持し拝見する事によって、その強烈な作者や過去の所持者の心を察し、工作をした職人さん達の気分を感じ、その時代背景や物語に心がときめきます。この時「日本人に生まれて良かったなあ」と実感できます。
そして日本刀には「他の為に自分を厳しく制する」と言う平和の為の高貴な精神的教訓が含まれていると思います。それらが「日本人の誇り」につながり、自分にとって日本刀とは「日本人として誇り高く生きて行くための心の支え」であると言う訳です。
　後レスの上、ダラダラと書いて申し訳ありませんでした。

[3394 へのレス]Re: 無題

投稿者：法城寺 投稿日：2004/12/03(Fri) 12:00

＞真改様
ほんらい掲示板でのお願いなどという失礼なことをしたにもかかわらず快く了承くださいましてありがとうございます。
また、へんなメール送りまして深くお詫び申し上げます。あれは忘れてください。

[3394 へのレス]Re: 無題

投稿者：正廣 投稿日：2004/12/03(Fri) 18:26

守重 様・こぶ平 様・法城寺 様・邦太郎 様、皆さんの貴重なご意見が聞けて、大変嬉しく思います。私自身は、御刀に対しては全くのド素人ですが、皆様のような博学者の方々の意見を聞くことで大変勉強になります。学生時代とは違い、日々是勉強と思っています。今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。
私は、今日会社でインフルエンザの予防接種を受けました。真改代表を始め、皆様方も風邪を拗らせない様、ご自愛ください。

[3406] 京都国立博物館

投稿者：菊久 投稿日：2004/12/03(Fri) 06:55

【題名】の場所で平安・鎌倉・南北朝・室町の備前刀の展示をしております。
太刀　正恒（国宝）はじめ、重文の利恒、伝助真・等々十数口があり、入館料 420 円で平常展示全部が見られますが、この展示品だけでも見応え充分でした。
私は 4 倍モノキュラーと小型電灯・赤本（刀剣鑑定読本）を持って行きましたが、さすがに国立博物館だけあって照明にも気を配ってあり、使ったのはモノキュラーと赤本だけでした。

三十三間堂も向かいにあり、ロケーション良いところですので関西住の方は勿論、秋の京都観光もかねて中部・関東の方も無理すれば日帰り圏内ですのでいかがですか。

[3406 へのレス]Re: 京都国立博物館

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/03(Fri) 08:11

先日から筋肉痛で体がだるいと思い、肩凝りもあって、昨夕に整体に行って来たのですが、猛烈な寒気に襲われ、ファンヒーターの前で２８度くらいに設定してしばらくたたずんでいました。
肩凝りのシップと、寒さのためにカイロを貼って寝ましたが、朝起きたら、３８度の熱！！
風邪かい！！(°レ°)。

というわけで、こんな時間にも関わらず、９時からの近くの医院が開くのを待っているわけです。

こんな強烈な悪寒を体験したのは、初めてでした。(T_T)。

さて、菊久さんの投稿を拝見し、体も少し楽になったようです。(^0_0^)。

[3406 へのレス]Re: 京都国立博物館

投稿者：鎬 投稿日：2004/12/04(Sat) 14:32

真改さん養生してくださいね。
風邪には「ゆず」と「蜂蜜」のお湯割りがいいと思いますよ。
最近「ゆず」にはまってます。
特に「ゆずみそ」もうご飯がおいしくて困りますよ。

[3406 へのレス]Re: 京都国立博物館

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/04(Sat) 19:20

鎬さん。
ご無沙汰です。(^0_0^)。

熱がね～～。ひかないんですよ。
ゆず味噌、私も毎日、食してます。アツアツのご飯にかけるだけ！！
県南から毎年、送られてきます。
母がそれをゆず味噌に仕立てます。

美味いっすね！！

[3414] はじめまして

投稿者：行光 投稿日：2004/12/04(Sat) 18:24

はじめまして。始めての投稿です。宜しくお願いします。
日本刀に魅せられて、とうとう一振りの御刀を手に入れることが出来ました。ある試斬家の方が、つい最近まで千本以上の青竹を斬られたという御刀です。が、研ぎ上がりとはいえ、一点の曇りも無く、仲介頂いた先生からは、研ぎ減りも無く、無疵・無欠点と評価頂きました。
これから、色々と勉強もしたく、またご教授も頂きたく存じます。
ところで、日本刀というのは、上記のような使い方をされても、当たり前に平気なのでしょうか？驚異です。
片方では、鞘から抜く時に瑕を付けない様に気を使います。こんなことも良く知らず恥ずかしいのですが・・・。

[3414 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/04(Sat) 19:15

こんばんは。
はじめまして。真改 2004 と申します。
とは申しましても、あと少々で真改 2005 となりますが・・・。(^^ゞ。

さて、はじめての刀を所持されたということで、まことにおめでとうございます。
試し斬りについては、過去ログの『2632] 現代刀荒試し
投稿者：籠釣瓶　投稿日：2004/04/19(Mon) 15:58 』をご覧下さい。
詳細なレポートが載っております。

また、行光さんの刀の銘やどんな刃紋であるかなど、はたまた、どんな外装をしているのか、どんなところが気に入っているのか、などなど、ご自分の感性で投稿して頂きますと、またそこから話が広がると思いますので、よろしければお願いします。m(__)m。

画像掲示板などもありますから、携帯のカメラでも結構いけますので、試して下さいね。

こちらは、刀に関しての経験や年数を気にしないで、気軽におこし頂けるところで、皆さん楽しくて、親切な方ばかりです。
ぜひ、これからも投稿下さいますよう、お願い申し上げます。

[3414 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：tetunohana 投稿日：2004/12/05(Sun) 03:19

余計な事と思いますが、物を切った刀は光に透かすと地鉄が波打って、デロデロに成っているのが多いです。電球などを刀に映して見ると分かります。成るべく、鑑賞向けと、切り用と分けられた方が無難なのではと思います。

[3414 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：行光 投稿日：2004/12/05(Sun) 17:00

真改 2004 さん。色々とアドバイス有難うございました。早速、過去ログの『2632] 現代刀荒試し読んで、ビックリするやら感心するやら・・・。ただ、残念なことに私は試斬等の心得が無く、ほとんどが想像の世界となってしまいますけど。
名刀については、切れ味についての色々な逸話がありますよね。でも何となく石灯籠が真っ二つになったり、地面を突いて歩いていると、石を突き刺して団子のようになっていたり・・・と。結構、童話っぽくて面白くもあるのですが、日本刀の信じられない一面を見ると、それはまた楽しいです。もともと歴史が好きだったのですが、手元の無名の御刀がその歴史の何かに立ち会っていたかと考えると、時間がたつのも忘れてしまいます。
写真の勉強もして、色々参加させて頂きたく思います。有難うございました。

[3414 へのレス]Re: はじめまして

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/05(Sun) 17:41

tetunohana さんが、書かれていることも、試してみるとよいでしょうね。
私は、金額の高低に係わらず、なかなか斬ってみようという勇気が湧きません。(^_^;)。
もったいないというか、なんというか。
人それぞの考え方や用い方があるので、むずかしいですね。

それと、画像掲示板に所蔵の槍の外装写真を載せてみました。
購入してから、もう１０年くらいになりますが、ひょっとして一度も登場していなかったのではないでしょうか。
今の今まで、すっかり画像コーナーに出すことを忘れていました。(>_<)。

ご覧下さいませ。

[3420] わたしも

投稿者：美濃 投稿日：2004/12/06(Mon) 14:03

はじめましてです。以前からこの掲示板は読んでいましたが、新たに刀を購入して浮かれていますので今回はじめて投稿させて頂きます。
私の蔵刀に新入りが加わりました。備前長船盛光の脇差です。裏年期は応永２１年とあります。長さは一尺三寸ほど、平造りの脇差です。拵えが付属していて、頭と返り角は金漆を塗り、目貫は後藤系と思われる赤銅の獅子。小柄も後藤系と思われ赤銅ナナコ地に金の小鳥が飛んでいる図柄。縁は鉄製で腰の低い天正縁で鍔は赤銅に金色の漆をかけて葵紋が彫ってあります。鞘は黒呂をベースに、雷文様の図柄に青貝を埋め込んだものを鞘尻までぐるっと巻いています。所々剥落はしていますがとても手間がかかっただろうなぁという感じです。この拵えだけでも結構お金がかかっているのではないかなと思います。私は元来、切れ味重視の実用刀としての美濃刀が好きで、自分でも一振り所有していますが、この脇差を見て備前刀もやっぱり良いなぁと思ってしまいました。この盛光は腰の開いた丁子が焼き幅広く残り、棒映りが立って、地鉄が精美です。わずかに区が送ってあることと護摩箸の彫りの中に鍛え割れか若しくは地鉄が緩んだのかわずかに傷があり、強いて言えばこれが欠点です。もっとも時代を考えたら、無傷無欠点と言えるでしょう。
この脇差は刀屋さんですばらしい出来の兼房の脇差を見せられて悩んでいる私に、参考にということで見せていただいて、一目で気に入り、まだ値札もつけていないし売り物にするか検討中という店主にお願いして購入しました。兼房もとてもすばらしくていわゆる兼房丁子が見事に焼かれ、典型的な出来に加えて、傷一つ無い地鉄もとてもよく、保存も抜群、拵えも品よくまとまっていました。もう一本見せていただいたのは与三衛門祐定の脇差です。これもさすがに上位工だけあって精美に詰んだすばらしい地鉄に見事な互ノ目を焼き、梵字を丁寧に彫っていました。でも私は盛光を選びました。なんと言うのか、目が吸い込まれてしまって、他の二本と並べても盛光ばかりに目が行ってしまっていて、それを見た刀屋さんが「この三本はどれもがとても出来が良くて、それぞれの特徴をあらわしているから、どれが良いとは言えないけど、少なくて

もあなたは盛光が気に入ったようだね。こうした刀との出会いはなかなか少ないものだよ。」といわれ、高額で予算をオーバーするなぁ思いましたが思い切って購入しました。刀ではなく脇差・・・、しかも一尺三寸ほどの平造りですが、とても気に入って愛蔵しようと思っています。
つまらないことを長々書きました、お許しを・・・。

[3420 へのレス]Re: わたしも

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/06(Mon) 19:17

こういう投稿の連続を待っていたんですよ！！
真改 2004 と申します。
よろしくお願い致します。

読んでいて、気持ちがひしひしと伝わってきます。
よろしいですなぁ。(~o~)。

ご覧になるだけだった皆様も、投稿いかがでしょう？
文章の組み立てなどは後にして、気持ちで書いてみませんか。
きっと、読んでいても、そういう文章には覇気を感じると思います。

私としては、画像に出したこともあって、たとえば、『槍一筋の愛好家』や『郷土刀ご紹介』などの有名刀工以外のお話がたくさんありそうと想像するのですが。

どんどん投稿して下さいませ。

[3420 へのレス]Re: わたしも

投稿者：倭　士 投稿日：2004/12/06(Mon) 21:55

美濃さん・行光さん・正廣さん・始め みなさんこんにちは・・。

倭士と申します。　ヨロシクお願いします。

みなさん暫らくのご無沙汰でした・・。

少し見ない内に新しい方が沢山参加されているみたいで・・。

新しい方がドンドン増えるとイイですね！

最近時間がなくて書込み出来ませんでしたが、
皆様これからもヨロシクお願いしまーす。

[3420 へのレス]Re: わたしも

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/12/06(Mon) 22:46

＞美濃さん。
はじめまして、こてつ。と申します。宜しくお願いいたします。
以前「宗光」の脇差を所持していました。得能鑑定で「後代　宗光」。
応永備前を代表する盛光にはかなり見劣りしそうですが、腰開きの互の目、乱れ映りが立っていました。肌はかなり疲れていましたが、僕にとっては初めての「備前刀」、時間を忘れ感動して見入ったものです。
美濃さんの「盛光」、拵えも含めて是非画像で拝見したいものです。
画像アップに挑戦してみてくださいませんか？

[3420 へのレス]Re: わたしも

投稿者：波平 投稿日：2004/12/07(Tue) 10:44

＞美濃さん
　はじめまして「波平」と申します。
１２月は何かとあわただしく掲示板を毎日みているだけでしたが、美濃さんの書き込みを拝見して私も自身の感激を思い出しました。
　応永備前・・いいですねぇ。いつかは備前刀をと思いながらなかなかご縁がありません。備前伝(おそらく応永備前を写したもの・・・宗次脇差等)を愛蔵していますが映りまではなかなかといったところでしょうか。初めて手に入れたものを持ち続けるのは自分の心との鬩ぎあいのようなところがありますね。最近やっと落ち着いてきたところでしょうか。しかし、不思議と「刀装具」は手放す気にならないものです。これは自分でもよくわかりません。いつかは愛刀に拵えをと思い少しずつ集めているところです。でも拵えをつけたらその刀は終生手放す気にならないでしょうねぇ。美濃さんの愛刀、是非画像でも拝見したいものです。これからもよろしくお願いいたします。

[3420 へのレス]Re: わたしも

投稿者：美濃 投稿日：2004/12/07(Tue) 11:47

皆様、ありがとうございます。画像がアップできるかどうか分かりませんが、挑戦してみます。いつになるか分かりませんので余り期待せずお待ちください。私の所蔵品（脇差１、美濃古刀１、現代刀１、透かし鍔１）はたいしたものではありませんが、もし可能ならこれもアップしてみたいと考えています。よろしくお願いします。

[3420 へのレス]Re: わたしも

投稿者：隠居 投稿日：2004/12/08(Wed) 16:17

美濃さん、はじめまして
盛光の平造り小脇差、「投資金額の割にうんと質の高いもの」を購められましたね。
つまり「長くて重たいもの」好みが多い中で、「本質美志向」といいますか何十年先になっても胸を張って自慢できるいい買い物だと思います。
私も短刀脇差などの短いものファンです。これからもよろしく

[3420 へのレス]Re: わたしも

投稿者：花散里 投稿日：2004/12/08(Wed) 22:34

美濃さん、よろしくお願いします。

以下、私の勝手な想像ながら m(__)m
登城した際、または他人の家を訪れた際など、玄関先に大刀を預け脇差しのみを身に付けます。
その時点においては、身につけた脇差しが武士の心根を表すものであり、脇差し即ち「武士の魂」と言うことになります。
伊達政宗の「振り分け髪」、などと言う話もありましたね(^_^)

心ある武士は、脇差しにこそ気を使ったのではないでしょうか？
私などは、もっと脇差しが見直されても良いと思っています。

[3420 へのレス]Re: わたしも

投稿者：内記 投稿日：2004/12/08(Wed) 23:39

美濃さん、はじめまして。宜しくお願いいたします。

花散里さんに同感です。

脇差は“最後の砦”であり逆説的には公的な“唯一の武器”とも云い得ます。
それ故に大刀以上に刀身を吟味して選択していたと思われます。

斯様な理由から個人的には大磨上の脇差に熱い思い入れをもっております　!(^^)!

又、その【狼】を覆い隠す穏やかな【羊】たる“拵え”に所持者の人格・心根が表されているように感じます。
普段指しの脇差拵え・小さ刀拵え・合口拵え等を拝見するのはとても楽しみです。

応永備前の名人“盛光”それも徳川（松平）家ゆかりの拵え入りの大名家伝来品となれば、「こてつ。」さん、「波平」さんと同じく是非とも画像アップをお願い申し上げます　　!(^^)!

一尺三寸、平造、応永 21 年となれば・・・
反り：0,4　センチ 元幅：2,7　センチと予想してお待ちしております　(~_~;)

[3429] ところで

投稿者：美濃 投稿日：2004/12/10(Fri) 16:46

あんまり長くなるといけないので、新しい投稿にさせていただきますが、
以前に投稿した通り、盛光には拵がついていますが、この拵は古いので大事に保存したいと思っております。そこでお伺いしたいのですが、古い拵を保管するのに最適の方法とはどのような手段が良いでしょうか？一応、盛光と一緒に桐箱に入れておこうとは思いますが、何か気をつけなくてはいけないことなどはありませんでしょうか？
私は以前赤銅の金具のついた拵に緑青錆を発生させてしまったという苦い経験があります。今回の脇差も赤銅の鍔がついていますし、他にも鉄の縁や鞘の漆などがあり、これらの破損や汚損、錆などが怖いです。刀はもちろんですが、拵も大切な文化財と存じます。どなたかより良い保管方法をご存知の方がいらっしゃりましたら、ご教授ください。

[3429 へのレス]拵えは

投稿者：正弘 投稿日：2004/12/11(Sat) 12:26

美濃さん、初めまして。

立派なお道具をご入手のよし、慶賀に存じます。
拵えは、日焼けしないように袋に入れて定期的に虫干しを、というのが一般的な保存かと思います。時代の刀箪笥など、引き出しのなかで床板や側板にふれないように仕切り板がついているようです。湿気対策なのでしょうね。
本身は白鞘に移すのは、いうまでもありません。油が鞘を割ったり、内で固まって鞘当りを作ったりします。

私はしまいっぱなしより、むしろ積極的に飾るのを提唱したいのです。
どんな名刀を手に入れても、住宅では本身を剥きだしで出して置くわけにもいきません。普通に飾れる武士の表道具であるところが、拵え・小道具のいいところです。
床の間に刀を掛けるのは、近代の変な習慣ですが人が往来する部屋では床の間は比較的安全な空間です。皆様の書き込みにもあるとおり、武家脇差の拵えは力の入った立派な物が多いです。良い物は見る人の眼を理屈抜きで肥やし、子孫にも無言のうちに日本の伝統美を伝えてくれます。日々めでてやるのも立派な保存かと思います。

いたずら盛りのお子さんがいたり、お品に特に由来があったり、時代の深い貴重品の場合は別です・・・。

以上、私見を申し上げました。

[3429 へのレス]Re: ところで

投稿者：波平 投稿日：2004/12/11(Sat) 14:29

＞美濃さん
＞正弘さんにははじめまして。波平と申します。

私も正弘さんの考えに賛成です。
以前、刀箪笥のことでいろいろお伺いした折、皆様それぞれの工夫に感心いたしました。
拵えはしまっておくだけでなく、部屋に飾り日々楽しむということもできますよね。冬場は暖房の乾燥に気をつけながら、豊かな気分に浸っています。また鍔などは小皿を立てるスタンドなどを利用するとよいと教えられ机の上に飾っています。折を見て画像 UP してみます。

[3429 へのレス]Re: ところで

投稿者：美濃 投稿日：2004/12/13(Mon) 09:09

ご回答ありがとうございます。
床の間は無いので、どこか目立つところ、且つ子供の手に触れないところを探してみます。

[3447] 義光。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/12/13(Mon) 17:34

「刀剣美術」１２月号が届きました。
１１月の本部定例鑑賞会の鑑定刀４号って…あれ～？
一昨年のオフ会で見たことあるんですが…？
寸も反りもピッタリ…！
ひょっとして…やっぱり…ですよね～？
ついに鑑定刀になってしまいましたね！(#^▽^#)
お持ち主もさぞかしビックリ…？

[3447 へのレス]Re: 義光。

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/13(Mon) 19:38

早いですね～。(@_@;)。

本部の定例鑑賞会というのは、会員であれば誰でも参加できるのでしょうか。
お持ち主は参加されたましたか？(^^)。

[3447 へのレス]Re: 義光。

投稿者：花散里 投稿日：2004/12/13(Mon) 22:30

今後は二度と無いでしょうから、光栄の至りです m(__)m
私の家にも刀剣美術が今日配達されましたが、一足早く先週の土曜日に成蹊堂さんから一冊頂きました。
普段読む用と保存用と、分けたいと思います(^_^)
もう、かれこれ３０回以上は読んだでしょうか・・・近年ちょっと無いほど熟読しております(^^ゞ

刀剣美術の解説を読んで、「あ～、こういう刀だったのね」などと感心している私が、本部鑑賞会などに参加できる訳が無いじゃありませんか(^_^;)

[3432] 大阪新刀

投稿者：内記 投稿日：2004/12/12(Sun) 17:17

昨日、都内某所で某方々とお会い致しました。
その折、例によって某店主さんが無造作に白鞘を抜き、無言で「どうぞ」・・
う～ん、空気が重い・・。　三次試験の口頭試問の雰囲気です。
某方々は遅れてきた私の困惑顔を二ヤ二ヤと覗って居られるような・・・。　まずい、日頃以上のプレッシャーがかかります。

当然のように当の筈も無く、続いて　「では、こちらを・・」と二振り目。

答え合せは、両刀とも大阪新刀の巨匠の揃い踏みでした。
この様な傑作を過去に拝見した事が無い為（ガラス越しがやっと）目から鱗状態で、暫しのあいだ出るのは溜め息ばかりでした。

この二大巨匠の作が高額にも拘らず競って求められる理由がほんの少し理解できたように感じました。
自称古刀好きというのは案外、寛文新刀の喰わず嫌いなのかも知れませんね。

やはり、【よい物を鑑る】ことの大切さをしみじみ実感した師走の一日でした。
その後、某方々と旨魚と美酒で楽しい時間を過ごした事は云うまでもありません　(^_-)-☆

某方々（電脳倶楽部の博識二大巨匠）、昨夜は大変お世話になりました。!(^^)!

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/12(Sun) 17:37

ちょっとちょっと・・・。(^_^;)。
お待ちなせ〜〜〜。(^0_0^)。クンクン。
大坂新刀のいい匂いが、してきましたよ〜〜〜。(#^.^#)。

いかんね〜〜〜。私にそれを見せてくれないと。
それを思っただけで、夜も寝られなくなっちゃいます！！

そんな名品が揃っているなんて、教えて下さいまし〜。

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/12/12(Sun) 18:10

内記さん、都内某所？中央線界隈でしょうか？
私事ですがやっと脱稿しました。
年内に一度は上京してプチ観刀ツアーに出歩きたいです。
二大巨匠、お導きを〜っ！

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：波平 投稿日：2004/12/12(Sun) 19:25

>遅れてきた私の困惑顔をニヤニヤと覗って居られるような・・・。
内記さん、そうんなつもりでは〜と言いながら口元のほころびを何としょう(^^;)
「学術的武人」の内記さんの困惑顔はなかなか拝見できないものですから。あれ前にみせていただいた時は、私も背筋に冷や汗がツッ－と流れてまいりました。名刀・良き友に良き肴、そして良き酒で時間のたつのがやけに早く感じた一日でした。

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：花散里 投稿日：2004/12/12(Sun) 20:26

＞内記さん
「電脳倶楽部の博識二大巨匠」ってのは、一体誰のことでしょうねぇ〜(^_^;)
私だって、内記さんの前に冷や汗を掻きながら、妄言を口にしていたんですってば(^^ゞ

＞真改さん
ご想像どおり、拝見したのは「ご同名」と「丸いお方」です m(__)m

＞こてつ。さん
ご都合が合うようでしたら、ぜひご一緒しましょう。

＞波平さん
やはり、波平さんが仰ったように「年内にもう一度」でしょうか？(^_^)

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：波平 投稿日：2004/12/12(Sun) 21:05

＞花散里さん
「年内にもう一度」大賛成(^^)/
それが無理なら２００５年新年会でも如何かと・・・。
＞内記さん
「巨匠」になるには某所に早く到着するに限りますね(^^;)
＞真改さん
私にとっては直接手にとらせていただいたのは二振目でしたが、本当に驚いたのは・・・・長さなんです。
＞こてつさん
「鍋」を是非一緒につつきたいですハイ(^o^)
＞某店主様
ご配慮に感謝いたします。

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/12(Sun) 22:08

すみませ～～ん。
きっちりとした法量は、結構ですので、ご覧になった『詳細な感想』を希望致します。m(__)m。

た・の・み・ま・す！！m(__)m・m(__)m・m(__)m・m(__)m・m(__)m・m(__)m・m(__)m・m(__)m・m(__)m・m(__)m・m(__)m・m(__)m・m(__)m・m(__)m・m(__)m・m(__)m

---

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：花散里 投稿日：2004/12/12(Sun) 22:21

では、内記さん・波平さん、よろしくお願いします(^^ゞ

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：波平 投稿日：2004/12/12(Sun) 22:38

＞真改さん
　お手をおあげくださいまし。
私は昨日は手にとりませんでしたが・・・まず「延宝年期・菊紋の平造短刀！」なんですよ。先反りがつき沸あくまで深く帽子深く返っています。沸の美の極致です。真改の短刀なんて誰が想像できるでしょうか？
あとはしみじみとお手にとっておられた内記さんにバトンタッチいたします。<(_ _)>

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/12(Sun) 22:50

真改の短刀！！！
これは、またまた眠れなくなりましたよ～～。

菊紋が入っている！？＼(°ロ＼)ココハドコ? (／ロ°)／アタシハダアレ?

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/12(Sun) 22:59

ついでに語っちまいますと・・・。
真改の短刀は、真改大鑑にを見ましても、掲載されていたのは確か二振り。
内、一振りは和泉守国貞銘。もう一振りが真改銘の延宝年期で菊紋があり、刀身に龍の彫りがあったと思います。

そして、あと見たことがあるのが、日本刀柴田の刀和に押し型が掲載されていた『国貞』銘のもの。
さらに、某刀剣店に出ていた、菊紋なしの延宝年期の真改銘の短刀。

私が知っているのが以上のものです。
しかも、古刀新刀刀工作風辞典の著者である『深江泰正』氏にいたっては、同本の中で、真改の短刀は未見であると解説されておりますので、これはとても希少価値の高い作品であることには間違いありません。

真改の短刀・・・、う～～む。

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：波平 投稿日：2004/12/12(Sun) 23:09

＞真改さん
この短刀は「井上真改」銘です。延宝年期入りですが龍の彫り物はありませんでした。ということは恐らく代表にとりましても未見のものということになりますね。俗にいう「めあか」がつかずに数寄者のあいだに伝えられたのかもしれませんね。

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：内記 投稿日：2004/12/12(Sun) 23:58

夕方から所用で出かけておりまして・・・
帰って見たら、話がとんとん拍子で進んでおりますようで・・・
某所の某大銘のはずが・・　　すでに【真改の短刀】と判明しており・・　(^_^;

＞真改さん
手渡された時から【真改】など絶対考えないですよね～。
真改の短刀を当て鑑定なんて反則ですよね～。
しかし、今から思えばあの地鉄、美しいとしか表現できないあの肌、刃縁の深くしかしあくまで軟らかく上品な沸、刃中の長い金筋の錵の妙・・
波平さんの仰るとおり、【沸の美の極致】でした。
新刀を見間違えなければ答えは【真改】しかないかも知れませんでした。(>_<)

もう一振りの「まるいお方」は見事な直刃でした。
私の第一印象は、地刃の冴え、特に刃中の働きの見事さは躊躇なく【古刀】大和ものの最上作(^_^;)　　あ～　いいな～　　うっとり　(*^。^*)
しかし鍛肌は小板目微塵に詰みよく錬れ最高の鉄質でありまして、その美しさは千手院かまさかの粟田口　(・・?
どっこい体配は【新刀脇差】なんですよね。見事な働きに気が動転して時代を読み違いまして寛文新刀には行き着きませんでした。　(>_<)
真改も見事でしたが、【直刃のまるいお方】も見事でございました。
思い出してもやはり溜め息ものの絶品でした。　!(^^)!

[3432 へのレス]Re: 刀屋鑑定会

投稿者：隠居 投稿日：2004/12/13(Mon) 13:02

「当ててみて下さい」と出される刀屋のあることはいいですね。昔かたぎの刀屋さんでは店頭でよ

くある風景でした。私もここで恥をかきながら勉強させて貰いました。
新刀の短刀は数すくないものですから、一度恥をかいておくと一生忘れません。忠吉の直刃の短刀に「国光」と入れたり、政常を手掻とみたりしたことはザラです。
ところで真改助廣、大阪新刀二大巨匠の短刀の合作があって、この真贋論争は昭和３０年代刀剣誌を沸かせました。一方の論客が犬塚徳太郎先生でした。こういう稀珍品はどこかに仕舞い込まれて全然出てきません。巨匠の短刀を手に出来ただけお幸せでした。

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：倭　士 投稿日：2004/12/15(Wed) 00:35

隠居様・みな様　こんにちは・・。。
助広・真改の合作刀ですが、確か三年程前に刀剣博物館の重刀指定展示展
で拝見した記憶があるんですが・・。
※　同じ刀かは・・？？

ある方が「あの刀は昔は偽物だと言われていたが・・」と、言っておられたの記憶に御座いました。

確か助広の方が表銘「青山家の抱え工で格上の為」だと、少ない脳ミソに
記憶しております。

★　記憶違いならスイマセ～ン！！

[3432 へのレス]Re: 助廣真改合作短刀

投稿者：隠居 投稿日：2004/12/15(Wed) 09:44

倭士さん、下の方になっていて見逃しすんません。
助廣真改の合作短刀、重要刀剣になっていましたか。
仰るように助廣が表銘だったように思いますが、助廣が青山家の抱え工なら井上真改も親の代から日向伊東家の抱え工ですし、熊沢蕃山などの識者とも親交を結ぶ中々のインテリでした。これらの意味で真贋相半ばする短刀でした。

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：久 投稿日：2004/12/15(Wed) 20:17

そういえば、、、。前回の特重展覧会（助廣の号村雨）があったときですがその時、定寸の刀で助廣が焼きを入れて鍛えは真改のがありましたよね！
あれは一体、、、、。（？＿？）

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/15(Wed) 20:32

久さんがおっしゃっている合作刀は、たぶん、真改大鑑にも掲載されているものではなかと思います。

私も、手元にその本がないので、うろ覚えで恐縮なんですが、記憶をたどってみますと、助広が禄をもらっている藩が、真改の藩よりも大きいあるいは格上の藩であるので、助広が表名になっていると解説にあったと思います。

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：法城寺 投稿日：2004/12/15(Wed) 20:58<HOME>

お邪魔します。
重要刀剣新指定展で展示されていたのは合作でも刀のほうでしたね。
短刀の合作は見たことがないです、見たい見たい・・・・。

ところでその展示されていた合作刀は指し裏が当然見れないの確認できませんでしたが、表は助広、裏が真改ですね（真改代表の仰る通りだと思います）。真改大鑑持ってないので裏が分からないのが残念ですが、表はいかにも助広得意の焼き刃。ひょっとして「この手柏」風にあくまで表裏刃文を変え、真改は真改風なのかと思って学芸員の方に尋ねたところ「いえ、裏も涛乱ですよ」とあっさり言われてしまいました。
真改大鑑の図譜ではどのようになっているのでしょうか？

いや横レスですみません・・・・。

[3432 へのレス]Re: 大阪新刀

投稿者：倭　士 投稿日：2004/12/16(Thu) 00:15

みな様・あらためてこんにちは・・。

久さん。法城寺さんお久しぶりです。　ご当地・大坂物と云う事で再参戦致します。

私の見た物は、隠居様のおっしゃる短刀ではなく、御二方の書込みの刀でした。
　☆　因みに・・
（表）津田越前守助広・延宝三年二月日
（裏）井上真改　　・延宝三年二月日
　※ 長さ・７２,6 反り・１,8　　（ｃｍ）

Ｈ１４．６月号・刀剣美術 Ｐ36 をご参照下さい。

＞ 真改様・はじめみな様・・
私も真改の短刀を拝見した事があります。これは知人の持ち物で、鑑定会で始めて目にした時は、当てる事が出来ませんでしたね！

因みにこの短刀ですが・・
（表）和泉守國貞 （裏）〔菊紋〕延宝８年２月日
不動明王の彫があり・帽子の返りがそのままハバキもと迄 棟焼になっております。
中島新一郎先生の「真改大鑑」に記載されている短刀では・・。
大鑑をお持ちでしたら 一度、ご参照・ご確認下さいませ！

ある刀剣店で、よく似た不動明王の彫のある親國貞の短刀も拝見した事も
ありますよ（その時は、菊久さん・鎬さんも一緒でした。）

☆ 珍しいけど、何振りかはあるんですね～！

[3432 へのレス]真改の短刀・追記

投稿者：倭 士 投稿日：2004/12/16(Thu) 00:32

☆ 追記！！
真改の不動明王彫りの短刀ですが！

長さ・１尺７寸５分？ 反り・３分３厘
不動尊ではなく、仁王の浮き彫りとの書きとめが出て来ました。
この寸法では短刀では無く平造りの脇差でしたね！
またまた、悪しからず・・。

[3457] 奈良国立博物館＆春日大社宝物館

投稿者：菊久 投稿日：2004/12/17(Fri) 16:33

☆奈良国立博物館
『大和の神々と美術』「談山神社の名宝」平成 17 年 1 月 23 日まで
刀剣展示として
重文 薙刀（銘 一） 鎌倉
重文 脇指（銘 備州長船義景） 応安 7 年(1374)
重文 短刀（銘 成縄） 鎌倉
重文 短刀（銘 来国俊）鎌倉
重文 短刀（銘 備中国住忠平〈以下切〉） 南北朝

以上６口が展示されておりました。

☆春日大社宝物殿　　１２月２８日まで
「春日大社の刀剣！」～秘蔵の御神宝毛抜形太刀を中心に～
ということで、イベントされているようです。
問い合わせたところ、二十口が展示されているということですので、興味のある方は行かれてはいかがでしょうか。

私は博物館の方は行きましたが、春日大社の方はまだ未見ですので近いうちに行きたく思っております。

[3457 へのレス]Re: 奈良国立博物館＆春日大社宝物館

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/12/20(Mon) 19:13

談山神社ですか。一度は参拝に行きたいと思います。

その時は、菊久さん案内よろしくです。
春日大社の毛抜形太刀も興味深々ですね。一度は
見てみたいものの一つです。
最近、「蕨手刀」とか「毛抜形太刀」に凝ってます。
初期の日本刀を勉強したい。そんな気持ちです。

[3457 へのレス]Re: 奈良国立博物館＆春日大社宝物館

投稿者：波平 投稿日：2004/12/20(Mon) 22:08

＞菊久さん
　一年のうち必ず一度は奈良・西の京～京都方面を訪れます。春日大社の宝物殿は無理かもしれませんが、奈良国立博物館の展示は拝見できるかもわかりません。
＞鬼丸さん
　お久しぶりです。大刀剣市の時は本当に楽しかったです。西でイベントがあったら、是非ご一緒させてください！

[3457 へのレス]Re: 春日大社宝物殿・秋季特別公開

投稿者：菊久 投稿日：2004/12/21(Tue) 11:36

先日の日曜日に、春日大社宝物殿に行ってきました。
出品目録は下記のとおりです。

国宝　　平安　　紫檀地螺鈿飾劔
国宝　　平安　　黒漆平文飾劔（柄白鮫）

国宝　平安　黒漆平文飾劔
国宝　平安　金地螺鈿毛抜形太刀
国宝　平安　毛抜形太刀（紫檀地螺鈿銀樋）
　　復元模造毛抜形太刀（平安）
国宝　鎌倉　沃懸地獅子文毛抜形太刀
国宝　鎌倉　沃懸地酢漿草平文兵庫鎖太刀
国宝　鎌倉　沃懸地酢漿草紋兵庫鎖太刀
重文　鎌倉　錦包太刀
重文　鎌倉　赤銅造太刀
旧重美　南北朝　黒漆皮包太刀
旧重美　南北朝　黒漆山金造太刀
国宝　南北朝　菱作打刀（葉室長宗奉納）
国宝　南北朝　金装花押散兵庫鎖太刀（足利義満奉納）
重文　南北朝　金銅柏文兵庫鎖太刀
重文　南北朝　柏木菟腰刀
重文　南北朝　菊造腰刀
重文　南北朝　梅花皮腰刀
重文　室町　太刀身（銘　家助）
　　江戸　野太刀身（下坂忠兵衛作）本多内記家中奉納
　　江戸　脇差（銘　助廣）
　　明治　正倉院宝物模造金銀鈿装横刀
　　明治　上古様金銅装太刀
　　現在　太刀身（銘　大隅俊平作）
　　江戸　鍔各種（埋忠・埋忠橘重成・法安兼房・忠治・他全 30点）

うーん、でもこういうのって漢字変換が大変ネ^^;、それと・・・照明が残念。（それなりに気を配っているとは思うのですが・・・）

＞鬼丸さん・波平さん
もし、こちらへ御来県の折りはご一報下され<(_ _)>
時間が合うようであれば是非、ご一緒仕りたく存じ上げる次第です。

[3457 へのレス]Re: 奈良国立博物館＆春日大社宝物館

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/12/21(Tue) 18:45

よ・・涎がでそうな出品ですね。

国宝　平安　毛抜形太刀（紫檀地螺鈿銀樋）
　　復元模造毛抜形太刀（平安）

国宝　　鎌倉　　沃懸地獅子文毛抜形太刀
この２点は、是非見てみたいと思います。
来奈良できれば、菊久さんその時は宜しくお願いします。

＞波平さん　ご無沙汰です。
「特攻ギャリソンゴリラ」か
「ジェリコ」のビデオお持ちではないでしょうか？
有りましたらダビングをお願いしたいのですが・・・

関係ない横レスを書き込みまして、菊久さん御免なさい。

[3457 へのレス]Re: 奈良国立博物館＆春日大社宝物館

投稿者：波平 投稿日：2004/12/21(Tue) 21:20

＞鬼丸さん、こんばんは。
またまた懐かしき番組の数々。私はもう涙ものです(^^)/
う～ん。これらのＶＴＲがあれば私も欲しい！！なにせあのころは家庭用ＶＴＲなんて思ってもみない時代でしたので・・・。レンタルショップでみつけましたら即借りておきます。この手の情報がありましたら「一番！」に鬼丸さんにおしらせします(^o^)

[3480] 写真

投稿者：美濃 投稿日：2004/12/26(Sun) 00:29

しばらくぶりです。以前投稿しました私の愛刀の盛光ですが、こちらになんとか写真をアップしようと四苦八苦しているうちに、私が盛光を購入した泰文堂さんのカタログ刀剣画報に出てしまっていました。私の家にもカタログが届いて、開けてびっくりしました・・・。そういえば購入するときに、そんなことを言われたような気が･･･。こちらの皆様で刀剣画報を取っていらっしゃる方はもうご覧になったかもしれません･･･。というわけで、あのカタログの盛光は私の住む四国の田舎に身請けされていきました。ちなみに以前裏年期を応永２１年としていましたが、２７年の謝りでした。訂正致します。それでは。

[3480 へのレス]Re: 写真

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/12/26(Sun) 01:16

＞美濃さん。
見ました！ああ、これでしたか！？
（売り物じゃなかったんですね、このカタログ…(;^_^A）
二尺五寸の元平と盛光は（拵えも含めて）印象に残っています。
裏に載っている押し型が原寸ですね。
ますます“現物”を拝見したくなりました。

[3480 へのレス]Re: 写真

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/26(Sun) 08:27

私も、たった今、改めてみておりました。
これ！良いですね。

美濃さん。
四国の田舎って、どちらですか？
私は徳島なので、お近い？

[3480 へのレス]Re: 写真

投稿者：波平 投稿日：2004/12/26(Sun) 16:11

＞美濃さん
　素敵な愛刀への愛着がさらに深まるよいクリスマスプレゼントになりましたね。私はそのカタログを持っていませんが、刀友の皆様にお会いする時がありましたら是非見せていただきたいものです。皆々様よろしくお願いします<(_ _)>
　美濃刀では最近地鉄の素晴らしいものに出会いました。以前所持していたものもそうですが、改めてその魅力に取り憑かれている昨今です。

[3480 へのレス]Re: 写真

投稿者：美濃 投稿日：2004/12/27(Mon) 11:27

こてつさん　いや、誤解されるといけないので訂正させていただきますが、あのカタログ掲載品は売り物です。ただ、私が盛光の購入の交渉をしていた時期には店主もカタログに掲載して売り物として出すかどうかを検討していた微妙な時期だったものでして、私にはまだ売り物にするか分からないという言い方をされていたのです。
真改２００４さんは徳島ですか。私は愛媛の松山というところです。徳島と愛媛って微妙に遠いんですよね。お会いできたらお会いしたいものです。四国って意外と刀剣愛好家は多いんですかね。私は自分以外の愛好家にお会いしたことが無いので分かりませんが・・・。
波平さんは美濃刀をお持ちでしたが。私もＨＮにあるように美濃刀を所有しています。こちらは高名ではないものの定寸の折り返し銘の物ですが、出来良く、傷もほとんど無く拵えも完備しており、気に入っています。美濃というと下作に思われがちですが、なかなかどうして良いものですよね。

[3480 へのレス]Re: 写真

投稿者：法城寺 投稿日：2004/12/27(Mon) 12:05

＞美濃さん

はじめまして、法城寺と申します。
泰文堂さんの雑誌はまだ購読してないのですが、相当な画質の良さだと思います。
といいますのも私は泰文堂さんでやられている愛刀撮影を試しにお願いしたのですが高画質で驚いています。
おそらく美濃さんのカタログの写真も撮影者は同じだと思います。そこでせっかくですからスキャナーもしくはデジカメで再撮影して電子データでの保存をお勧めします。
デジカメでの撮影でも元の画質がいいのでかなり実写に近い形で残せます。

http://houjouji.web.fc2.com/aitou_shashinkan_yoshikane.htm

上のＵＲＬの画像は撮影・プリントした「紙」からデジカメで写しなおしたものですが、これほどの詳細画像として保存できます。こうして私は自宅のＰＣだけでなく勤務先のＰＣにも保存して時々見てはにんまりとしています。

＞真改２００４さん
自分のサイトの宣伝がましくてすみませんでした。

[3480 へのレス]Re: 写真

投稿者：波平 投稿日：2004/12/27(Mon) 20:32

＞美濃さん
　松山でしたか。私は学生時代に研究会の合宿でおじゃましました。
宇和島～大洲～内子～伊予吉田～(西条)～新谷～松山と１０日にわたる旅でした。戦災にあっている所は無理ですが古地図片手にそのままの道筋の残る伊予吉田なんてとても懐かしいです。私の職場の先輩は松山のご出身で隣の道筋が秋山好古・真之兄弟の家だったときかされました。宇和島については、内記さんが詳しいはずですよ(^^;)
　美濃刀の良いものは魅力がありますよね。私は一振だけ所持しています。ほぼ定寸で、(まだ定寸という言葉のなかった頃のものでしょうが)中国の武備志にでてくる銘の刀です。白鞘ですが気に入っています。応永備前は永遠のあこがれです。

[3480 へのレス]Re: 写真

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/27(Mon) 21:01

美濃さん。
私は重信町に住んでいました。お近くでしたね！
徳島の実家から重信までは、高速も無い時代にいましたから、５時間くらいかかっておりました。
一年前に松山に出張に行った際、西条市で降りて西条の町並みの変化に驚き、そのまま国道を走って川之江まで行きましたが、何度も寄った喫茶店などが高速道路の開通のあおりを受けたと思われる閉店した状態は、なんとも寂しい、時代の流れを感じました。

松山はどうか知りませんが、香川県は刀剣熱が高いですよ！
でも、松山も確か道後近くの県立の施設に長大な現代刀が展示してあったような・・・。

[3484] 今年の通販誌

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/26(Sun) 19:20

今日、刀剣柴田の『麗』増刊号『現存の優品』が届き、今年の通販誌もこれをもって最後となりました。
早いもので、もう一年が終わろうとしております。
今年は夫婦ともに前厄で来年は本厄歳ですが、そんなことは何にも感じない、子育てと仕事、そして刀剣と、忙し楽しの一年でした。(^^)。

毎年、『一年を振り返って、思い出の刀剣を語ろう』というこの企画(^^)v、本日到着の通販誌も含めて、思い出のあるいは気になった、またまた、語り忘れていた刀剣小道具を語っていただけませんでしょうか。
m(__)m。

それでは、よろしくお願い致します。

お前はどうなんじゃ？という、声が聞こえてきそうですので、一言。
え～、私はですね。
今から子供たちを風呂に入れて、寝かせて後に語らせて頂きたいと存じますで、お先にどうぞ・・・。(^^ゞ。

[3484 へのレス]Re: 今年の通販誌

投稿者：花散里 投稿日：2004/12/26(Sun) 22:57

早いもので、今年もあと数日ですね(^_^)
全体的には、天災の多さが目に付いた 1 年でした。特に、久さんは水害・台風・地震と次々と被害を被る中で、大刀剣市と OFF 会ではお元気な姿を拝見できて胸を撫で下ろしました。
上越新幹線や関越自動車道が不通の中、一人で車を運転し東京までの往復は本当に大変だったと思います。

さて、今年一番印象に残った刀ですが、なんと言っても成蹊堂さんで拝見した本阿弥極めの正宗でしょうか。
あまりの健全さに一見新刀かと悩みましが、潤いのある地鉄から何とか古刀と判断したまでは良かったのですが、格を完全に読み違え直前に拝見した志津よりも下に見て「脇物」などと私が妄言を吐いた刀です(^_^;)
成蹊堂さんではそれ以外にも、多くの名刀を拝見し勉強させていただきお礼を申し上げます。

来年こそ穏やかな 1 年となり、いつもどおり皆さんのお元気なお顔を拝見できることをお祈りして

います m(__)m

[3484 へのレス]Re: 今年の通販誌

投稿者：波平 投稿日：2004/12/27(Mon) 00:33

今年は私にとりまして記念すべき年です。
それは皆々さまと知り合え、初めて大刀剣市のオフ会に参加できたからです。安心して自分の趣味を語り合える諸友を得たことは何ものにも代え難いことです。

さて私が一番印象に残った刀は 11 月に某所で拝見した「天正十七年・日州住藤原国廣(いわゆる天正打)」の平造・一尺三寸余の脇差(重要刀剣)です。表に毘沙門天の深い彫があり、何よりも地鉄の強さといったら・・・今考えても惚れ惚れとします。そのザングリとした地鉄は１０日ほど毎日みても飽きるどころか、場合によっては愛刀をまとめて処分してでも手に入れたいと思ったほどでした(先輩の好意でしばらく手元に置かせていただきました)。幾分身幅が細いのは、わずかな刃こぼれでも修正したためでしょうか？刃紋は教科書とおりでやや美濃のような感じをうけました。表に深く掘られた「毘沙門天」の姿といい、主家をなくし、血筋の伊東マンショをはるかローマに送り、放浪した「国廣」の精神性までを感じ、たちまちのうちに私を國廣ファンにしてしまいました。
実は大刀剣市で私が購入を迷った「雪華紋拵・短刀兼舎」の購入を迷い、訪ねたお宅で拝見したものです。結局迷った末にどちらも手に入れませんでした・・・・これも縁ですねぇ。

刀装具では、これも大刀剣市で迷ったすえに購入できななかった「瓢箪鯰」の鍔でしょうか。

でも「雪華紋拵」や「瓢箪鯰鍔」を皆々様と、ためすつがめつしたことそのものが、大変楽しかった思い出です。
そうそう真改さんの直刃の名刀と花散里さんのお眼鏡にかなった鍔も思い出の品です(^_^;)

[3484 へのレス]Re: 今年の通販誌

投稿者：tetunohana 投稿日：2004/12/27(Mon) 02:39

私にも投稿差せて下さい。私が、一番印象に残ったのは、上杉三十五腰の一つの一文字の太刀です（特重)。身幅が広く重ねが厚く、寸も長い、健全な太刀です。鎬に掛からんばかりの重華丁子の波紋と、地、刃に複雑に入る働きが大変に素晴らしかったです。宝くじでも当ったら、迷わず購入します(笑)

[3484 へのレス]Re: 今年の通販誌

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/12/27(Mon) 09:39

本阿彌の研場の注連や年の暮れ（宗祇）

もう、残すこと数日となりましたが、今年一番印象に残ったのは
佐野美術館で手に取って拝見した重要文化財の「大兼光」と同じく
某刀剣店で拝見した重要文化財で「貞和三年丁亥十月日守吉作」の太刀ですね。この作者は青江の刀工の一人だそうです。
いずれも、南北朝の豪壮な姿が印象的でした。
通販誌でこれはと思ったのは「刀和１２月号」の「備州長船兼光」の短刀
でしょうか。「延文」の裏年期と保存証書がついて１８０万円、ローンを
組んでも欲しい１刀でした。（ギター侍風にざんね～ん）

それと最後に大刀剣市とオフ会、靖国神社の拝殿にての参拝でしょうか。
今年のオフ会は、新しい方に知り合えてほんとに楽しかったです。

[3484 へのレス]Re: 今年の通販誌

投稿者：菊久 投稿日：2004/12/27(Mon) 10:44

『一年を振り返って、思い出の刀剣を語ろう』企画！

今年も、計何十口拝見したんでしょう・・・。
今まで拝見したものの殆どが頭の中に入っていれば､かなりの目利きになっているはずなのですが､しかし、しかしですねぇー。
これが忘れてしまっているんですね。その時点では分かったような気になっているのですが・・・(-_-;)
確かに、鬼丸さんご夫婦・刀士郎さんとご一緒に佐野美で拝見した刀や、日刀保支部・特別鑑賞ツアーで拝見した熱田神宮の奉納刀など名品揃いでした。
古刀・新刀・新新刀を問わず、それらの名品はどれらもやはり素晴らしいし惹かれます。
でも、今年の一番の思い出となるものは、画像掲示板の方でも出していますが、自分の為の短刀を製作して頂いた事でしょう。
自分の命は、あと何十年持つやら何年持つやら定かではありませんが、この短刀の命はこの先何百年もあるはずです。
その誕生の瞬間に立ち会えたことと、一番最初の所持者になれたことに幸せを感じます。

[3484 へのレス]Re: 今年の通販誌

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/27(Mon) 20:56

はいはい。どうもどうも。
子供を寝かせたら、自分も寝入ってしまいます。いつものことですが。(^^ゞ。

私の思い出の『一刀』は、やはり、大刀剣市で見てさんざん悩んであきらめた、あの『直刃の刀』でしょう。

寝ても覚めても思い出されます。
直刃なのに、乱れ映りのある綺麗な刀でした。
高価な刀でなくとも、魅力のある（自分にとって）刀というのは、なんとも言えない思い込みと共にあるものですね！

数で言えば、近所のおっさん家（親しみを込めて）(^^)で見た、『阿波刀』の集団。
これだけ一度の郷土刀を拝見できたことは、いまだかつてありませんでした。感謝致しております。

また、刀ではありませんが、日本刀鑑定要訣や鑑刀秘書などの新旧の名著を求める機会に恵まれたことです。

来年は、小道具のこれ！っていうのを見つけたいと思っております！

[3484 へのレス]Re: 今年の通販誌

投稿者：倭　士 投稿日：2004/12/27(Mon) 21:53

　みなさん・こんばんは・・。
＞『一年を振り返って、思い出の刀剣を語ろう』・・

う〜ん！ 印象に残る刀は色々ありますが・・？
あっ！そうそう。
数ヶ月前の刀剣美術の誌上鑑定刀・[長船師光]⇒(後代吉井物に入札で×)でしょうか！
それ以外は全て当たりなのに・・　今回も服紗もらえな〜い。。
残念ー！斬り！！　ですかねー！

刀剣以外では、知人数人と刀友会を造り、新しく刀友が数人で来た事ですかね＾＾
今年も刀好きの病友！イヤ``刀友を増やして交流を活発にしたいで〜す。

掲示板にもチョク・チョク登場しますので皆様ヨロシクお願いしまーす。

＞鎬さん・
メール頂いた「鑑刀秘書」って、上記の事ですね！ 来年・新年会でお会いしましょう。

[3484 へのレス]Re: 今年の通販誌

投稿者：内記 投稿日：2004/12/28(Tue) 00:04

＞思い出のあるいは気になった、またまた、語り忘れていた・・
真改さん・・・
う〜ん、電脳名物帖　記載洩れの　直刃の名物【帽子なやみ】。

まだ、お、う、ら、み　です　よ　ね　(-_-;)
申し訳ありませんでした。もうしません　ので　どうか　　ひとつ　　_(_^_)_

最近、歳のせいか物忘れがひどく、
＞一年を振り返って、思い出の刀剣を語ろう
の記憶が怪しくなってきました　ので
表題の【今年の通販誌】　それも　【今、手元にある　“麗別冊 59】の中で　(^_^;)
ズバリ　【信国吉包作　　天文八年二月吉日】二尺四分半（61.9ｃｍ）　反り七分　元幅一寸強　重ね二分七厘
　室町後期の片手打ちですが、写真の姿は何故か　同時期の長船刀と印象が異なり、“いいな～”と感じました。
それに付属の肥後拵えがいい感じですね。　新物ですが白黒写真なのに鮮明にカラーの想像が出来ます。改めて肥後拵えは“短寸”が似合うと感じました。
新年、大丸に見に行こうかな～　　"^_^"

[3484 へのレス]Re: 今年の通販誌

投稿者：真改 2004　投稿日：2004/12/28(Tue) 07:28

内記さん。
まったく、うらむなんて、勘違いですよ！(^_^;)。
なんていうか、久しぶりに『心が燃えた刀』だったという、思い出です。
お気に触ったようでしたら、ごめんなさい。m(__)m。

私の場合、買おうという気持ちが湧かないと、どうも必死にならないようで、ですかから刀剣の勉強もはかどらないのでしょうね。

あの直刃の刀も、これから先、一生の思い出の刀になりました。
あれだけの刀友に真剣に見てもらった刀は、後にも先にもないかと思います。
皆様。ありがとうございました。m(__)m。

内記さん。『もうしません』などと言わないで下さいね。
心から正味の話ができる刀友いるからこそ、楽しいのではありませんか。
私は、そう思っておりますよ。
これからも、正味でお願いします。m(__)m。

[3484 へのレス]Re: 今年の通販誌

投稿者：内記　投稿日：2004/12/28(Tue) 12:39

真改さん、かえってお気遣いさせてしまったようで　　(^_^;)

当然、これからも、正味ですよ　！！
聞かれなくても応えそうで・・・　　お節介は治りません　　^_^;

私も“楽しむ”ことが一番だと思っています　"^_^"

しかし、私もあの【直刃】・・・今年一番真剣に鑑刀した一振りでした。
やはり、平成電脳名物帖　に記載しましょうね　!(^^)!

[3484 へのレス]Re: 今年の通販誌

投稿者：こぶ平　投稿日：2004/12/28(Tue) 15:01

みなさん、お久しぶりです。
え～、私のＰＣが入院してしまい、昨日退院してまいりました。
『一年を振り返って、思い出の刀剣を語ろう』・・・ですか。
う～ん、ゴールデンウィークにお招き頂いた、松田次泰刀匠の個展に展示された特賞受賞作の数々が印象的でしたね。なかでも、「日明刀」前田日明さんの引退記念刀が凄かったです。

それから、大刀剣市で某店にあった、「勝吉」（だったと思いますが）の脇差ですね。あれは凄かったです。上は村正そのもの。下の銘が村正ならばまず重要刀剣クラスでしょうね。知り合いの刀匠さんから聞いて見に行ったんですけどね。欲しかったなあ。値段は銘からすると高かったですが。

今年は皆さんと知り合うことが出来ましたし、私の中では思い出に残る年でした。

さあ、来年は刀友会にいよいよ入るつもりです。目星はつけました。来年のＯＦＦ会にはレベルアップこぶちゃんをお見せできるようにがんばりまっす！

[3492] 天網恢恢疎ニシテ漏ラサズ

投稿者：内記　投稿日：2004/12/27(Mon) 13:08

昨日の剣術道場での出来事ですが、
昼食時、普段“刀剣話”の輪に参加しなかった物静かなＡ君が中国地方の有名な美術館所有者のお孫さんであると私が気がついてしまいました。同門の仲間は美術刀剣よりも現代の“武用刀剣”派が多く誰も気がつかなかったようでした。　(^_^;)
帰り際、密かに確認しました処、『ハイそうです。よくご存知ですね。B（内記）さんは刀詳しいそうですね』とにっこりされてしまい、あの寒さの中、顔から火が出る思いをしました。
【天網恢恢疎ニシテ漏ラサズ 】
「天の道は、争わずして善く勝ち、言わずして善く応え、召さずして善く来たり、禪然（せんぜん）として善く謀る。天網恢恢疎にして失わず。」(『老子』第七十三章)

しかし、個人所有物で数百久振りそれも天下の名刀幾余多の家に寝起きする人に『刀、お詳しいそうですね』はショックでした　<(_ _)>　。

だけど、今度、中国地方に行く機会があったら、【ガラスケース】から出して見せて頂けるような・・・　約束（？）もしましたので　すぐ立ち直りました　!(^^)!

[3492 へのレス]Re: 天網恢恢疎ニシテ漏ラサズ

投稿者：内記 投稿日：2004/12/27(Mon) 13:49

誤記訂正
＞個人所有物で数百久振りそれも天下の名刀幾余多
は昔のお話で、今は『財団法人』所有で『個人』のお宅とは無関係ですね。
税務署の方がご覧になってると要らぬ誤解をされると困りますので・・
ご賢察の程、よろしくお願い申し上げます　<(_ _)>

[3498] 別解　“郷土刀”

投稿者：内記 投稿日：2004/12/27(Mon) 23:09

「麗」現存の優品 59　を見ておりまして　ある文章に興味を持ちました。

重刀【備前介藤原宗次作　応阿州臣正木利啓需　　万延元年八月日】

　説明文・・・為銘」も入り、入念の一振りである。
なお、この時期、宗次には阿波家臣からの注文が続いている。

やはりこれは、阿波の郷土刀　と考えていいんですよね、　真改さん　（＾ｕ＾）

以前【宗平】を調べていた時の資料に、天保期に一宮藩重臣の兄弟二人が宗次に作刀依頼をするのですが、当時相当の“バックオーダー”があったと思われ、現存する二振りの裏年期は【天保十五年甲辰年三月吉日】（1844 年）と【弘化四丁未年九月吉日】（1847 年）と三年の歳月の隔たりがありました。

弘化は宗次の晩年といえども連続作刀の【依頼が可能な】阿波藩と考えるべきなんでしょうか　（・・？
上記“麗”の解説の【この時期・・注文が続いて・・】が非常に興味があります。

[3498 へのレス]Re: 別解　“郷土刀”

投稿者：内記 投稿日：2004/12/27(Mon) 23:15

また“間違え”ました　<(_ _)>

＞弘化は宗次の晩年といえども
【弘化は】ではなく　【万延元年は】でした。

[3498 へのレス]Re: 別解　“郷土刀”

投稿者：真改 2004　投稿日：2004/12/28(Tue) 07:37

阿州臣銘がある宗次の重要刀剣は、前に長州屋さんの銀座情報でもみたことがあります。
今回のとは違った刀だったかもしれません。

幕末の阿波藩の家臣は、裕福だったのでしょうか。
それに宗次に作刀依頼する背景には、何か特別な事情があったのでしょうか。
気になりますね。

郷土刀の研究もさることながら、こうした『阿州臣』銘が入った刀の研究も郷土刀の外論として、面白いと思います。
阿波藩では、時の家老が助広に作刀を依頼して、断られたことがあるという話を聞いたことがあります。
また、伊勢守国輝の阿波打ちもあり、面白い藩ではありますね。
また、さかのぼって戦国時代には、祐定が徳島の池田で駐槌しており、色々と知らないことがたくさんあります。

幕藩体制が崩壊して､蜂須賀家が上京したときに､この宗次刀を依頼した阿州臣の正木氏も上京し、子孫はそのままいらっしゃるかもしれませんね。
想像すると、楽しくなります。

[3470] 鑑刀秘書

投稿者：花散里　投稿日：2004/12/23(Thu) 16:08

日刀保の刀剣美術 12 月号に、「鑑刀秘書」という書籍の広告が載っていました。
曰く、「本邦初の誌上鑑定 虎の巻」とのことでしたので、早速購入してみました。
刀剣博物館の 2 階でも販売しているようですが、発行者のご自宅に火曜日の朝に連絡したところ、その日のうちに発送いただけ水曜日には自宅に配達されました。
著者はキャリア 25 年の日刀保の熊本県支部の山田 晴比古氏で、正規の出版社の書籍とは違い装丁はシンプルなものでしたが、問題はその中身でした。
実は、その中身を見た時に、私はある意味でショックを受けたのです。

一般的な刀剣書とは異なり、見開きの 2 ページには特記事項としてのワンポイントが記述され、「同然」の刀工が横一列に並んでいます。

例えば粟田口ですと、国友・久国・国安・国綱・国吉・吉光と並んでおり、形状（造込み、棟、身幅、重ね、反り、峰、姿、その他）、地鉄（地肌、沸・匂、映り、その他）、刃文（刃文、足・葉、金筋・砂流し、沸・匂口、焼出し・腰刃）などのように簡潔に特徴が並べられています。（内容は至ってシンプルで、ほぼ誌上鑑定の出題の内容を纏めたものです）
つまり、横に眺めていけば「同然」の刀工達の特徴を一覧で比較できる訳です。

私がショックを受けたのは、装丁のシンプルさや内容の簡潔さではなく、著者 山田氏の刀に対する姿勢です。氏の 25 年におよぶキャリアの中で、刀剣美術を中心に少しづつ書き留めてきたものを一冊にしたもので（姿勢は日本刀鑑定要訣に通じるものがあります）、この努力が刀を勉強すると言うことなんですね。
正直なところ、この本を開いた時には「これなら、私にもできる」と思いました。
しかし、それは「やろうと思えば、技術的にはおそらく可能である」ということに過ぎず、実際に行動された方との差は天と地ほど・・・
高価な刀剣古書を買い求めて勉強をしている気になっている私と違い、やろうと思えば毎月の刀剣美術だけでも勉強には充分すぎる訳です。

本当の意味で刀剣を勉強されている著者の山田氏と、単に刀を眺めているだけの私との差を思いっきり感じた年の瀬の一日でした(^_^;)

[3470 へのレス]Re: 鑑刀秘書

投稿者：波平 投稿日：2004/12/23(Thu) 17:00

＞花散里さん
私にも思い当たることばかりです。
「この程度なら自分にもできる」とその時には思っても、それを実際に行動に移している人とは天と地ほどの違いが出てくるものですよね。例えば引退後に趣味をつくるなんてよく言いますが、果たしてできるだろうか？と思います。書き込みを拝見して心新たにいたしました。<(_ _)>

[3470 へのレス]Re: 鑑刀秘書

投稿者：法城寺 投稿日：2004/12/23(Thu) 17:33<HOME>

＞花散里さん、波平さん
この本は発刊当時から買い求めあまりに素晴らしいので十冊ほど追加購入して調布刀剣軍団に配布しました（実費はいただきました）。
刀剣美術だけでなく他の誌上鑑定でも基本的なヒント文の語句は刀剣美術＝鑑定用語に準じてますので応用が利きます。
ただし、何も分からない人がこれを活用しようと思っても出来るものではなく、勉強を積んだ人がこれを使いこなすことが出来、そのうち表が頭の中にインプットされ該当するところをさっと開けるようになるのではないでしょうか？
山田氏の功績を称える意味で、おおいに使いこなしましょうよ。それが我々の出来る「先達への真

の感謝」ではないでしょうか？

実際、これ凄く役に立ってます♪

[3470 へのレス]Re: 鑑刀秘書

投稿者：法城寺 投稿日：2004/12/23(Thu) 17:39<HOME>

>>何も分からない人がこれを活用しようと思っても出来るものではなく、勉強を積んだ人がこれを使いこなすことが出来

すみません、つまりこの本の素晴らしさが分かる時点で花散里さんも波平さんも相当勉強が進んでいるということを言いたかったものでして。
言葉足らずで申し訳ない。

[3470 へのレス]Re: 鑑刀秘書

投稿者：花散里 投稿日：2004/12/23(Thu) 18:51

＞波平さん
まさに「言うは易し、行なうは難し」ですね(^^ゞ
私はショックと共に、冷や汗をかきました(^_^;)

＞法城寺さん
刀剣書も古書ともなれば高価なのが当たり前の昨今ですが、25 年間の努力の賜物が送料を入れても 2,000 円で入手できるのですから、感謝しつつ使いこなさない手はありませんね。
＞言葉足らずで申し訳ない。
大丈夫、大丈夫(^_^)
真改さんがよく言われる「好意と厚意」が、ここのモットーです。
言葉足らずはお互い様、人様の言葉はできる限り好意的に(^_^)

[3470 へのレス]Re: 鑑刀秘書

投稿者：法城寺 投稿日：2004/12/23(Thu) 20:49<HOME>

＞花散里さん
いやあ、ほんとに偉そうなこといえるほどの者でもないのに御二方に生意気申し上げてすみませんでした。
「好意と厚意」ですか、至極名言ですね。

ところで実のところ、この本を軍団各自が常備してからというもの刀剣美術含め正解率が格段に上って私の立場かたなしといった状況です。
ただ、半面語句でとらわれるといけないよ、とも言ってます。ヒント文を字面だけでとらえては文字だけでの鑑定となります。つまり紙上での専門化となってしまう・・・。字面をイメージでとらえて、それを現物を見たときに活かせるようでないと机上の鑑定であり、習得した知識がそこで終わってしまうわけでしょう。
などと言いながらなかなか現物鑑定で活かせないところが私も勉強不足であり面白くもあり止められないこの世界、と言ったところです。

[3470 へのレス]Re: 鑑刀秘書

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/23(Thu) 23:05

私も、刀剣美術が送られて来た時に見て、すぐに注文させて頂きました。
本当に素晴しい本ですね。
比較がしやすく、どこか同違うのかというのが一目でわかります。

ちなみに、刀剣入札鑑定辞典で誌上鑑定の訓練を兼ねて、刀剣の特徴を勉強中ですが、了戒と延寿の違いがよくわからなかったので、見てみると、やっぱり、解説も良く似ていて、『良く似ている』というのがわかりました。なんのこっちゃ！(^^)と言わないで・・・。(^_^;)。

刀剣入札鑑定辞典（深江泰正著）や刀剣鑑定のきめ手（柴田和男著）で問題集をするように誌上鑑定の練習をすると、結構、特徴が頭に入ってきますね。
その後に、刀工作風事典や日本刀鑑定要訣、刀剣鑑定読本などを見ると良くわかるかなぁと、思ったりします。
繰り返し繰り返し代表刀工の特徴を叩き込んで、現物を見る。この基本的なことが大切なんでしょうね。
しかし、現物を見るという、この機会の少ないこと・・・。(ーー;)。

皆さん。
本を見つけるのが早いですね～。
私も、田野辺先生の押し型集を買い損ねた経験から、本が出たらとても敏感になります。(*^。^*)。

[3470 へのレス]Re: 鑑刀秘書

投稿者：隠居 投稿日：2004/12/24(Fri) 10:36

「鑑定秘書」これも「鑑定要訣」に比肩する実戦家の覚え書だろうと想像します。
書物はなんと云っても自分が気に入って何度も読み返すものが値打ちですね。
この「秘書」の内容は知りませんが、「要訣」のように刀工の特長を自分なりの知識を集約してまとめているものと、刀工の代表的な作刀の個々を法量をはじめ地鉄刃文帽子などをそのまま書いたも

のとがあって、この両方を愛読し熟読することが鑑定力のアップにつながると思います。
今は故人となった某会某支部長は分厚い「日本刀押形大鑑」を装丁がバラバラになるまで日夜愛読し、修理が不能になったのでもう１冊購入したという逸話があります。
これは「抽象的な刀工の特長」を覚えるのでなく、あくまでも１口１口の作刀の現物押形をそのまま記憶するという後者の方法で、単に文章だけでなく、刃文や帽子の形を頭の中に写真をとるように視覚的に覚えていくという方法です。

私の属している会の中のある勉強家は、鑑定会で出た刀は必ずノートに刃文と帽子の形を筆写し法量なども細かくメモしています。この人は私たちの会の他に二つの刀剣会に属し、毎月３箇所で実刀鑑定をしており、誌上鑑定は２誌の常連です。
こういう熱心なお方の所為で、私たちの支部には熱心な会員が多く、みんなの実力がかさ上げされてきたようです。ですが、全国大会ではこういうベテラン達の中で天地人を競うわけですから、上には上がいるということですし、だからこそファイトを持って取組めるほど刀剣鑑定の世界は奥が深いと云えるのではないでしょうか。
要するに鑑定の実力涵養は、書物と共に実物入札鑑定の二面で、鑑定会での積み重ねが一番だと思います。

[3470 へのレス]Re: 鑑刀秘書

投稿者：鎬 投稿日：2004/12/24(Fri) 13:55

まさに「虎の巻」なのですね。
猫に小判か？真珠かわかりませんが
是非購入させて頂こうと思います。
花散里さん貴重な情報ありがとうございます。

[3470 へのレス]Re: 鑑刀秘書

投稿者：花散里 投稿日：2004/12/25(Sat) 00:06

＞真改さん
一般的に刀剣書は、その内に買おうと思っているとすぐに無くなって、あっという間に古書店で数万円ですからね(^_^;)

＞ご隠居さん
この本は、
＞刀工の代表的な作刀の個々を法量をはじめ地鉄刃文帽子などをそのまま書いたもの
の方です。

＞鎬さん
最近はご登場が少ないようで(^_^)

お忙しいとは思いますが、ぜひもっともっとご参加を m(__)m

[3470 へのレス]Re: 鑑刀秘書

投稿者：鎬 投稿日：2004/12/28(Tue) 15:42

ありがとうございます
参加させていただきますよ。
ただ目標 30 点がなかなかクリアできませんので
鉄馬に乗って憂さ晴らししている状況です。
ありがたいことに良き刀友に恵まれまして
ひっぱってもらっておりますので
長い目で見てくださいませ。
では、皆様よいお年をお迎えくださいませ。

[3506] 御刀天国さん。

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/12/28(Tue) 20:16

信州にご実家がある御刀天国さんが小諸まで足を運んでくださいました。
夕方から駅前の蕎麦屋で刀剣談義。経験豊富な御刀天国さんから色々なお話が伺えました。
僕の方が時間が無くあまりお相手出来ずに大変申し訳なかったです。
（体調も二日酔い状態で…(´д`、)）
東京の長州屋さんで鬼丸さんもお会いになられたとか？
５日の離日まで日本でお正月を過ごされるそうです。
成田に行く前に刀剣博物館に寄りたいと仰っていました。
またお会いできるかも…？

[3506 へのレス]Re: 御刀天国さん。

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/12/28(Tue) 21:31

半年ほど前から御刀天国さんとはメールで情報交換をしていまして、
帰国なされた時には是非お会いしたい旨、連絡したところ東京都内に
用事で来られるとのことで長州屋さんを待ち合わせ場所にして、
遅い昼食を東京駅の地下で取り、その後神田の古書店街巡り、以前から
お探しの刀剣書も見つかりご満悦の様でした。
６時間ほどご一緒に都内をブラブラとしながら貴重なお話を伺いまして
大変に有意義な時間を過ごせました。
これも、この掲示板があるからこそだと管理人さんご一同に感謝します。
どうも、ありがとうございます。

[3506 へのレス]Re: 御刀天国さん。

投稿者：波平 投稿日：2004/12/28(Tue) 22:05

＞こてつさん
刀剣博物館には今日、行ってみようとTELしましたら。本日は休館ということでした。休館の日はいつまでかわかりませんが・・・御刀天国さんの帰国までに開いているとよいですね。
＞鬼丸さん
ナ・ナント今日、長州屋さんに行ったのですか？私は土曜日と昨日連続してうかがい、それぞれ数時間ダベッテご迷惑をおかけしておりました・・・ハイ。惜しいすれ違いでした。東京へおいでの節はご一報くだされ(^^;)

[3506 へのレス]Re: 御刀天国さん。

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/12/28(Tue) 22:23

＞波平さん、長州屋さんには昨日訪問致しました。時間は午後１時丁度に
入店し３０分位お邪魔させていただきました。

１月５日から刀剣博物館１月分の特別保存・保存審査の受付開始日です。
刀担いでいくかも？　そのときは連絡しますので宜しくお願いします。

[3506 へのレス]Re: 御刀天国さん。

投稿者：波平 投稿日：2004/12/28(Tue) 22:38

＞鬼丸さん
昨日でしたか。昨日は１０時半頃から昼前までおじゃましておりました。数時間のすれ違いで残念でした。４日は靖国神社の「新春展示実演会」に行こうかと考えております。ご一緒は無理でしょうね？よろしければ私信メールをください。

[3462] 居合と刃毀れ

投稿者：本身初心者 投稿日：2004/12/21(Tue) 19:51

始めて登校させて戴きます。
先月、夢に迄見た日本刀を一振り購入しました。
刃渡り７２．５ｃｍ、元幅３．１５ｃｍ、重ね０．７４ｃｍ、鞘を払った重量１．１ｋｇ　肥後兼嗣の現代刀です。
最近再開した居合で利用しているのですが、制定の受け流しで高段者の方が打ち太刀の動きを実際に行い、軽く私の愛刀に刀を当て、少し刀同士が擦れ流れたのですが、その時はヒケが付いたのでは思い後で確認したところ、瑕もついておらず安堵したのですが、家に帰って手入れをしていたら、何と物打ち下１０ｃｍ位

の処に１mm位刃毀れが出来ていました。
教えて戴いた方に悪気が無いのは十分理解出来ますし、その場で気が付いて云った訳でもないので、今更どうし様もないのですが、ショックでした（ローンも始まったばかりですし...）。
以前､会の刀で畳表を試斬した時､力余って曲げた事はありますが刃毀れを起こした事はありませんでした。
硬物同士の場合は簡単に欠けるのでしょうか？　この刀、研磨を行う予定ですが（刀代に研磨も含まれていました－以前の方の付けたヒケがかなりあるので）この程度なら隠せるものでしょうか？　又、居合で使う場合はこの位の事は皆さん日常茶飯事なのでしょうか？

[3462 へのレス]Re: 居合と刃毀れ

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/21(Tue) 20:16

真改 2004 と申します。
よろしくお願い致します。

さて、刃こぼれができたことは、さぞやショックも大きいでしょう。お察し致します。
刃物のことは久さんが詳しいので、解説はお任せしたいと思いますが、畳職人であった祖父は畳包丁を使用していた時を思い出し、時々こう言っておりました。
『硬いものは脆い』
実際そうであるかどうかの解説も久さんにお願いしましょう。(^^ゞ。

で、刃こぼれは、研磨師に実際にみせて見るのが一番でしょうが、私などが単純に考えると、１mmの欠け（刃毀れ）を取るとなると、単純に１mm の幅で身幅が狭くなると思います。
しかし、実際はそれどの違和感無く、研磨されてくると思います。
研磨師あるいは信用ある刀剣商にご相談されるといいでしょう。

私も居合を本当にちょこっと覗いたくらいの者ですが、先生は木刀で鎬を実際の動きのように当ててみせました。
模造刀でしたので、別になんとも思いませんでしたが、真剣ならちょっとびくっとしたかもしれません。

居合の稽古は、最初から真剣使用が好ましいとありますが、ガンガン刀身に当てて指導される域を超えて後に用いてもいいかなぁと、個人的には思いますが、これも考え方が色々あるでしょうし、指導される方の考え方もあるでしょう。
私が行っていた道場の人は男性で大体、三段くらいから真剣を使用していたようです。女性では真剣使用の人は四段でもいなかったなぁ。

以上、私の考えと体験実見したことを書きましたが、他の方の意見もぜひ、聞いてみてください。

皆さん、よろしくお願い致します。

[3462 へのレス]Re: 居合と刃毀れ

投稿者：本身初心者 投稿日：2004/12/21(Tue) 21:22

※※　管理人様、投稿（も）初心者でレスのレスをすべきを無題記事として※※　投稿してしまいました（記事 No.3464）。　削除願えれば幸いです。

真改 2004 様、早速のレス有難うございます。

以前私用していた模造刀－肥後拵え２尺４寸８分－は鞘払って８００ｇ程度で振ればビュンビュン刃音が出ていたのですが、愛刀１．１ｋｇは聊か前に重心がある様で重く、樋があるのですが刃筋を立てても模造刀の様に刃音がなかなか出ません。　愛刀は元幅／先幅共に広いので１mm痩せて少しダイエットさせると考える事にします。

[3462 へのレス]Re: 居合と刃毀れ

投稿者：久 投稿日：2004/12/22(Wed) 01:27

初めまして。本身初心者様

この度の刃こぼれの件ですがさぞかしショックでしょう。私もこの度の中越地震で居合刀が箪笥の下敷きに合い鍔が支点になり１センチ強の刃切れ＆曲ってしまいました。

さて、本身初心者様がどの程度金属に対してご存じかどうか分かりませんので基本からまいりますと鋼の硬度は鉄に炭素が何%含まれているかによります。そこに鍛冶屋がどれだけ気を使って鋼を付け、丁寧にならし打ちして鋼をシメているか、焼き入れの温度、焼き戻しの温度によって鋼の強度、粘り度が違って来ます。

今回の刃こぼれは刀剣なので炭素量は大体０,７%位と思いますので本来は鉈や包丁と違い刃こぼれはしにくいと思いますが刃先に硬いものを当てれば刃こぼれは簡単にします。この度の組みでどの程度の力や刃角で当たったのかは分かりませんので何とも言えないのが現状です。

真改さんの仰るとうりに炭素量の高い刃物は粘りがあっても硬くて脆いです。(剃刀など炭素量１,３５%位)

[3462 へのレス]Re: 居合と刃毀れ

投稿者：tetunohana 投稿日：2004/12/22(Wed) 02:37

こんばんは。愛刀の作者は、今年、大太刀で、確か優秀賞を取られた方ですね。良い刀をお持ちで羨ましいです。

１ミリ程度の刃毀れは割りと姿を崩す事無く取れると思います。刀屋さんか、信頼できそうな研屋さんに相談されたら良いと思いますが、下地に返さないといけないので、それなりの費用は掛かるかも知れないですね。

[3462 へのレス]Re: 居合と刃毀れ

投稿者：本身初心者 投稿日：2004/12/23(Thu) 09:04

真改２００４様、久様、ｔｅｔｕｎｏｈａｎａ様、
御意見・御説明有難うございます。
１２／２３及び本年最後の２５の稽古の後、刀屋さんに愛刀持参して残っている研磨を御願いしようと思います。
その時のやり取りについては後日報告させて戴きます。

[3462 へのレス]Re: 居合と刃毀れ

投稿者：本身初心者 投稿日：2004/12/30(Thu) 19:23

先達ての刃毀れ、刀屋さんで研磨を御願いしましたが（購入費用に別途研磨を含む)、刀屋さん曰く「居合で使うのであれば研磨をしても直ぐヒケがついてしまうので、観賞用に移す段階で持ち込んでくれれば１０年後でも研磨します。その際白鞘も原価で提供いたしますヨ。」と云うので、それならと今回研磨は延期し、１～２年後により安価な刀を購入した際に（又、小銭貯金の開始かぁ）御願いする事にしました。

刀剣博物館近くにある刀屋さんで、砥ぎを自前で行っている模様でした（店内足元に水に浸かった砥石が幾つか置いてあり、店主以外に中国人と思しき店員が複数人いて、もしかするとこの人達が研ぐのかもしれません)。

人を信じない様で嫌ですが、数年後に持って行って費用請求されない様にメールで無償研磨の言質を取っておくつもりです。

年明けには東京大丸デパートの刀剣大即売会と明治神宮の刀屋さんの即売会に行くつもりです。
何処かで皆さんと擦違うかもしれませんねぇ。

[3462 へのレス]Re: 居合と刃毀れ

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/31(Fri) 00:39

私達も、大刀剣市の時、刀剣博物館の帰りにそのお店に寄りました。
砥石には気がつきませんでしたが、従業員が上手に押し型を取っていました。

年明けの刀剣即売会の感想など、よろしければ、ご投稿下さいませ。
来年もよろしくお願いします。

[3513] ゆく年

投稿者：花散里 投稿日：2004/12/31(Fri) 14:32

今年も、いよいよ残すところ数時間となりました。
2004 年は鳥インフルエンザで始まり、12 万人以上が犠牲となった大津波で終わろうとしています。
水害・台風・地震・殺人事件と、気が滅入るような話題には事欠かない年でしたが、それら全てを覆い隠すかのように外は雪が降り積もっています。
亡くなられた方のご冥福と被害に遭われた方々のご健勝をお祈りしながら、来年こそは明るい 1 年であれと思わずにはいられません。
今年ここに集われた方々のご多幸と健康をも祈念しつつ、来年も活発で楽しい投稿をお待ちしております。

皆々様、本年は大変お世話になりました。
来る年も変わらず、ご指導をよろしくお願いいたします。

[3513 へのレス]Re: ゆく年

投稿者：内記 投稿日：2004/12/31(Fri) 15:51

花散里さん、大晦日ですね。
東京も大雪となりました。
首都高速も全線通行止めとなり、帰省で人の減った東京は、時が止まったように静かです。珍しく雪景色の中での年越しになりそうです。
私も同様に真っ白な気持ちで新年を迎えたいと思っています。

＞刀友・刀兄の皆々様。
本年は大変お世話になりました。
良いお年をお迎え下さいませ。

[3513 へのレス]Re: ゆく年

投稿者：真改 2004 投稿日：2004/12/31(Fri) 16:36

行く年の最後を徳島でも初雪を見ることになりました。
そして、ただ今、勤務を終了し、帰宅しました！
明日も仕事。

２日と３日だけが休みですが、２日の晩は当直業務のため出勤です。
でも、休みがないとか言っていられるだけ有難いと思う周囲の状況です。
来年も愚痴をこぼしながらも、健康で仕事ができる有難さをかみしめて生きて行こうと思います。
名品との出会いを期待しつつ、皆様、良いお年をお迎え下さいませ。

さぁ、夕方からはプライドとＫ－１で楽しみましょうか！！(^^)v。

[3513 へのレス]Re: ゆく年

投稿者：こてつ。 投稿日：2004/12/31(Fri) 17:02

東京も雪ですかぁ…。信州も昨日、今日と大雪です。
今年は本当に嫌なニュース、出来事が多かったです。
来年こそは良い年であって欲しいです。

電脳倶楽部の皆さんには今年も色々とお世話になりました。
来る年もまた宜しくお付き合い願えればと思っております。
良いお年をお迎え下さいｏ(〃^▽^〃)ｏ

[3513 へのレス]Re: ゆく年

投稿者：鬼丸 投稿日：2004/12/31(Fri) 17:29

今年も一年、電脳倶楽部参加の皆様、お付き合い頂き
まことに有難うございました。
今年最後の運試し「年末ジャンボ宝くじ」　ふ・ふ・ふ・
当たったですよ。　６等と年末ラッキー賞が・・・・・
これじゃあ、刀は買えないけど元は取りました。

それでは皆さん、良い年をお迎えください。

[3513 へのレス]Re: ゆく年

投稿者：沼六屋 投稿日：2004/12/31(Fri) 18:28<HOME>

２００５年も皆様にとって素晴らしい一年でありますように。
来年もよろしくお願い致します。よいお年をお迎えください。

[3513 へのレス]Re: ゆく年。by 鬼丸さん宅にて

投稿者：久 投稿日：2004/12/31(Fri) 23:20

　今年は水害、地震と色々ありましたがその分来年は良い年を迎えられると
思います。まだ地震の後片付けも終わらないまま４日前に震度５の地震があり
ヒヤヒヤしながら実家に帰宅いたしました。ただ今鬼丸さん宅にて年越し忘年会を実施中！８畳の
密室にて男２人で、、、、。
　来年も宜しくお願い致します。